
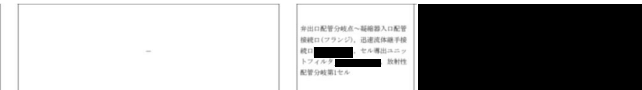

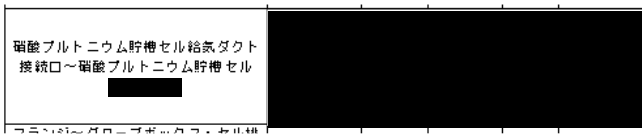



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																															
<p>17) <u>(=)17)-①</u>低レベル廃棄物処理建屋換気筒            排気口地上高さ 約 75 m            排気量 約 80 万 m<sup>3</sup>/h</p> <p>(ホ) 主排気筒 <u>(=)18)-①</u>            排気口地上高さ 約 150 m            排気口内径 約 5 m  <u>(=)16)-②</u>排気量 約 150 万 m<sup>3</sup>/h</p>	<p>第7.2-30表 主排気筒の仕様            種類 鉄塔支持形            排気口高さ 地上高さ約150m            排気口内径 約 5 m            排気量 約150万m<sup>3</sup>/h            主要材料 炭素鋼</p>	<p>注記 *1:北換気筒(ハル・エンドベース及び第一ガス固化体貯蔵建屋換気筒)を支持する支持鉄塔は、廃棄物管理施設と共用する。            *2:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「北換気筒」と記載。            *3:マイルズへの減衰係数を示す。            *4:公称値を示す。            *5:既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p><u>(=)18)-①</u></p> <table border="1" data-bbox="1537 741 1947 1131"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">主排気筒</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">四角鉄塔支持形</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>出口内径*1</td> <td>5.15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地上高さ*1</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ*1*2</td> <td>上部:12+2 下部:15+2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>筒身</td> <td>ステンレスクラッド鋼: JIS G 3601 (母材: S8A400RP, 合せ板: SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支持鉄塔</td> <td>STK400 STK490</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">基礎</td> <td>種類</td> <td>鉄筋コンクリート</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td>55.00×55.00</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>14.50</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>鉄筋: JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート: JASSN の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td>T.M.S.L. 40.50m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数*3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。            *2:厚さは、母材+合せ板を示す。            *3:既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称		主排気筒		種類		四角鉄塔支持形		主要寸法	出口内径*1	5.15		地上高さ*1	150		厚さ*1*2	上部:12+2 下部:15+2		主要材料	筒身	ステンレスクラッド鋼: JIS G 3601 (母材: S8A400RP, 合せ板: SUS304)		支持鉄塔	STK400 STK490		基礎	種類	鉄筋コンクリート	変更なし	主要寸法	たて×横	55.00×55.00	高さ	14.50	主要材料	鉄筋: JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート: JASSN の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm <sup>2</sup>		底面の標高	T.M.S.L. 40.50m		個数*3	1		<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた<u>(=)17)-①</u>は、本設工認の対象外である。</p> <p>設工認の<u>(=)18)-①</u>は、事業変更許可申請書（本文）<u>(=)18)-①</u>と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																
名称		主排気筒																																																	
種類		四角鉄塔支持形																																																	
主要寸法	出口内径*1	5.15																																																	
	地上高さ*1	150																																																	
	厚さ*1*2	上部:12+2 下部:15+2																																																	
主要材料	筒身	ステンレスクラッド鋼: JIS G 3601 (母材: S8A400RP, 合せ板: SUS304)																																																	
	支持鉄塔	STK400 STK490																																																	
基礎	種類	鉄筋コンクリート	変更なし																																																
	主要寸法	たて×横	55.00×55.00																																																
		高さ	14.50																																																
	主要材料	鉄筋: JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート: JASSN の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm <sup>2</sup>																																																	
	底面の標高	T.M.S.L. 40.50m																																																	
個数*3	1																																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																					
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-101 配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第3表(2)））5系列</p>	<p>a. 配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第7.2-37図）） 数量 5系列</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-101 前処理建屋 1系列</p> <table border="1" data-bbox="1469 415 2160 478"> <tr> <td>サイアム製</td> <td>口径</td> <td>105.2</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>サイアム製</td> <td>口径</td> <td>105.2</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>サイアム製</td> <td>口径</td> <td>50.8</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>サイアム製</td> <td>口径</td> <td>50.8</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>変更なし</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>分離建屋 1系列</p> <table border="1" data-bbox="1469 611 2172 716"> <tr> <td>本出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口（ワンオン）</td> <td>凝縮器本体手摺</td> <td>口径</td> <td>50.8</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>本出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口（ワンオン）</td> <td>口径</td> <td>50.8</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> </tr> </table> <p>精製建屋 1系列</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1469 919 2172 1014"> <tr> <td>硝酸プルトニウム貯槽</td> <td>口径</td> <td>105.2</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>硝酸プルトニウム貯槽</td> <td>口径</td> <td>105.2</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>混合槽</td> <td>口径</td> <td>50.8</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>混合槽</td> <td>口径</td> <td>50.8</td> <td>圧力</td> <td>SS304LTP</td> <td>変更なし</td> </tr> </table> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 1系列</p> <table border="1" data-bbox="1469 1123 2172 1297"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径** (mm)</th> <th>厚さ** (mm)</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径** (mm)</th> <th>厚さ** (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	サイアム製	口径	105.2	圧力	SS304LTP	サイアム製	口径	105.2	圧力	SS304LTP	変更なし	サイアム製	口径	50.8	圧力	SS304LTP	サイアム製	口径	50.8	圧力	SS304LTP	変更なし	本出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口（ワンオン）	凝縮器本体手摺	口径	50.8	圧力	SS304LTP	本出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口（ワンオン）	口径	50.8	圧力	SS304LTP	硝酸プルトニウム貯槽	口径	105.2	圧力	SS304LTP	硝酸プルトニウム貯槽	口径	105.2	圧力	SS304LTP	変更なし	混合槽	口径	50.8	圧力	SS304LTP	混合槽	口径	50.8	圧力	SS304LTP	変更なし	変更前					変更後					名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径** (mm)	厚さ** (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径** (mm)	厚さ** (mm)						高レベル廃液ガラス固化建屋					<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-101は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-101を具体的に記載しており整合している。</p>	
サイアム製	口径	105.2	圧力	SS304LTP	サイアム製	口径	105.2	圧力	SS304LTP	変更なし																																																																															
サイアム製	口径	50.8	圧力	SS304LTP	サイアム製	口径	50.8	圧力	SS304LTP	変更なし																																																																															
本出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口（ワンオン）	凝縮器本体手摺	口径	50.8	圧力	SS304LTP	本出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口（ワンオン）	口径	50.8	圧力	SS304LTP																																																																															
硝酸プルトニウム貯槽	口径	105.2	圧力	SS304LTP	硝酸プルトニウム貯槽	口径	105.2	圧力	SS304LTP	変更なし																																																																															
混合槽	口径	50.8	圧力	SS304LTP	混合槽	口径	50.8	圧力	SS304LTP	変更なし																																																																															
変更前					変更後																																																																																				
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径** (mm)	厚さ** (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径** (mm)	厚さ** (mm)																																																																																
					高レベル廃液ガラス固化建屋																																																																																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-102 ダクト・ダンパ（設計基準対象の施設と兼用（第3表(2)））5 系列</p>	<p>b. ダクト・ダンパ（設計基準対象の施設と兼用（第7.2-37図）） 数 量 5 系列</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-102 前処理建屋 1 系列 </p> <p>分離建屋 1 系列 </p> <p>精製建屋 1 系列 </p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 </p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 1 系列 </p>	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-102は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-101を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ⓧ(1)(i)(b)(i)-101</p> <p>隔離弁（「ト. (1)(ii)(a)(ロ) 1) 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備」, 「ト. (1)(ii)(a)(ロ) 2) 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備」, 「ト. (1)(ii)(a)(ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」及び「ト. (1)(ii)(a)(ロ) 6) 高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用) 20 基</p>	<p>c. 隔離弁（「7.2.1.3 塔槽類廃ガス処理設備」と兼用）</p> <p>基 数            20</p>	<p>5. 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>5.1 気体廃棄物の廃棄施設</p> <p>5.1.6 代替換気設備</p> <p>＜中略＞</p> <p>ⓧ(1)(i)(b)(i)-101</p> <p>セル導出設備の隔離弁は、想定される重大事故等時において、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の気相中に移行する放射性物質、水素掃気空気に同伴する放射性物質及び水素爆発により「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器の気相中に移行する放射性物質をセルに導出するための必要数である 20 基を設ける設計とする。</p>	<p>設工認のⓧ(1)(i)(b)(i)-103は、事業変更許可申請書（本文）のⓧ(1)(i)(b)(i)-103を同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-104                      水封安全器（「ト. (1)(ii)(a)(ロ)1) 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備」，                      「ト. (1)(ii)(a)(ロ)2) 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備」，「ト. (1)(ii)(a)(ロ)3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」及び「ト. (1)(ii)(a)(ロ)6) 高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用） 4 基</p>	<p>d. 水封安全器（「7.2.1.3 塔槽類廃ガス処理設備」と兼用）                      基 数 4</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-104                      前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 359 2131 470"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>廃ガス洗浄塔 シールポット</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 573 2131 684"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>塔槽類廃ガス処理設備 リリーフポット*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 747 2131 858"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>廃ガスポット</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 968 2131 1079"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>廃ガスシールポット *2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	名称	変更前	変更後			廃ガス洗浄塔 シールポット	名称	変更前	変更後			塔槽類廃ガス処理設備 リリーフポット*2	名称	変更前	変更後			廃ガスポット	名称	変更前	変更後			廃ガスシールポット *2	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-104は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-104を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	変更前	変更後																										
		廃ガス洗浄塔 シールポット																										
名称	変更前	変更後																										
		塔槽類廃ガス処理設備 リリーフポット*2																										
名称	変更前	変更後																										
		廃ガスポット																										
名称	変更前	変更後																										
		廃ガスシールポット *2																										

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																				
<p>(1) (i) (b) (i)-105 塔槽類廃ガス処理設備からセルに導出するユニット5 系列</p>	<p>e. 塔槽類廃ガス処理設備からセルに導出するユニット 数 量 5 系列</p>	<p>(1) (i) (b) (i)-105 前処理建屋 1 系列   (中略)                      分離建屋 1 系列                        精製建屋 1 系列                        ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋                        高レベル廃液ガラス固化建屋 1 系列  <table border="1" data-bbox="1543 1186 2151 1291"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主要材料</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主要材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p>	変更前						変更後						名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料													<p>設工認の(1) (i) (b) (i)-105 は、事業変更許可申請書（本文）の(1) (i) (b) (i)-105を具体的に記載しており整合している。</p>	
変更前						変更後																																		
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																						
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-106 セル導出ユニットフィルタ 10 基（予備として故障時のバックアップを 5 基）</p> <p>粒子除去効率 99.9 %以上（0.3 μm DOP 粒子）／段</p>	<p>f. セル導出ユニットフィルタ</p> <p>種類 高性能粒子フィルタ 1 段 内蔵形</p> <p>基数 10（5 基×1 段，予備として故障時のバックアップを 5 基）</p> <p>粒子除去効率 99.9%以上（0.3 μm DOP 粒子）／段 容量 約2,500m<sup>3</sup>／h／基</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-106 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 363 2107 1150"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>セル導出ユニットフィルタ 高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>単品 %</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径*4</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径*5</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>1（予備として故障時及び付機除外時のバックアップを1台）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>F. M. S. L. [redacted]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*2</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*3</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *4：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。 *5：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。 *6：重大事故等時における使用時の値を示す。 *7：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。 *8：内蔵フィルタの定格処理風量は2500m<sup>3</sup>/h/個以上とする。</p>	名称		変更前	変更後	種類	—		セル導出ユニットフィルタ 高性能粒子フィルタ	最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]			効率	単品 %			主要寸法	吸込口径*4	mm		吐出口径*5	mm		たて	mm		横	mm		高さ	mm		主要材料	ケーシング	—		ろ材	—		個数	—		1（予備として故障時及び付機除外時のバックアップを1台）	取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	設置床	—	F. M. S. L. [redacted]	溢水防護上の区画番号	—	*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*2	化学薬品防護上の区画番号	—	*3	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*3	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-106は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-106を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																																							
種類	—		セル導出ユニットフィルタ 高性能粒子フィルタ																																																																							
最高使用圧力	MPa																																																																									
最高使用温度	℃																																																																									
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]																																																																									
効率	単品 %																																																																									
主要寸法	吸込口径*4	mm																																																																								
	吐出口径*5	mm																																																																								
	たて	mm																																																																								
	横	mm																																																																								
	高さ	mm																																																																								
主要材料	ケーシング	—																																																																								
	ろ材	—																																																																								
個数	—		1（予備として故障時及び付機除外時のバックアップを1台）																																																																							
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備																																																																							
	設置床	—	F. M. S. L. [redacted]																																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	*2																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*2																																																																							
	化学薬品防護上の区画番号	—	*3																																																																							
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*3																																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																	
		<p>分離建屋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>セル導出ユニットフィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>ml/h/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>単品 %</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。  *3：重大事故等時における使用時の値を示す。  *4：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。  *5：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。</p>			変更前	変更後	名称			セル導出ユニットフィルタ	種類	—		たて置円筒形	最高使用圧力	Pa			最高使用温度	℃			容量	ml/h/個			効率	単品 %			主要寸法	吸込口径	mm		吐出口径	mm		胴内径	mm		胴板厚さ	mm		鏡板厚さ	mm		主要材料	高さ	mm		胴板	—		鏡板	—			ろ材	—			個数	—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	設置床	—	T.M.S.L. 〇	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. 〇		
		変更前	変更後																																																																																		
名称			セル導出ユニットフィルタ																																																																																		
種類	—		たて置円筒形																																																																																		
最高使用圧力	Pa																																																																																				
最高使用温度	℃																																																																																				
容量	ml/h/個																																																																																				
効率	単品 %																																																																																				
主要寸法	吸込口径	mm																																																																																			
	吐出口径	mm																																																																																			
	胴内径	mm																																																																																			
	胴板厚さ	mm																																																																																			
	鏡板厚さ	mm																																																																																			
主要材料	高さ	mm																																																																																			
	胴板	—																																																																																			
	鏡板	—																																																																																			
	ろ材	—																																																																																			
	個数	—	2																																																																																		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備																																																																																		
	設置床	—	T.M.S.L. 〇																																																																																		
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																		
	化学薬品防護上の区画番号	—	—																																																																																		
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. 〇																																																																																		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																			
		<p>精製建屋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>セル導出ユニット フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>箱型(高性能粒子フィ ルタ1段内蔵形)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*2</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径厚さ*2</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*3</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>2(予備として故障時の バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>I. M. S. L. [ ]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—*5</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 セル導出ユニットフィルタの構造図 管台一覧表 P1/P2」を示す。  *3: 記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 セル導出ユニットフィルタの構造図 管台一覧表 P3/P4」を示す  *4: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。  *5: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。  *6: 内蔵フィルタの定格処理風量は2500m<sup>3</sup>/h/個とする。  *7: 重大事故等時における使用時の値を示す。  *8: 水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。  *9: [ ] [ ]が連結されている寸法を示す。</p>			変更前	変更後	名称			セル導出ユニット フィルタ	種類	—		箱型(高性能粒子フィ ルタ1段内蔵形)	容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]			最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			効率	単品	%		総合	%		主要寸法	たて	mm		横	mm		高さ	mm		厚さ	mm		入口管台外径*2	mm		入口管台外径厚さ*2	mm		出口管台外径*3	mm		主要材料	ケーシング	—		ろ材	—		個数	—		2(予備として故障時の バックアップを1)	取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	設置床	—	I. M. S. L. [ ]	溢水防護上の区画番号	—	—*4	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*5	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*5		
		変更前	変更後																																																																																				
名称			セル導出ユニット フィルタ																																																																																				
種類	—		箱型(高性能粒子フィ ルタ1段内蔵形)																																																																																				
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]																																																																																						
最高使用圧力	MPa																																																																																						
最高使用温度	℃																																																																																						
効率	単品	%																																																																																					
	総合	%																																																																																					
主要寸法	たて	mm																																																																																					
	横	mm																																																																																					
	高さ	mm																																																																																					
	厚さ	mm																																																																																					
	入口管台外径*2	mm																																																																																					
	入口管台外径厚さ*2	mm																																																																																					
	出口管台外径*3	mm																																																																																					
主要材料	ケーシング	—																																																																																					
	ろ材	—																																																																																					
個数	—		2(予備として故障時の バックアップを1)																																																																																				
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備																																																																																				
	設置床	—	I. M. S. L. [ ]																																																																																				
	溢水防護上の区画番号	—	—*4																																																																																				
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4																																																																																				
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*5																																																																																				
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*5																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 359 2139 1209"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>セル塔出ユニット フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>箱型(高性能粒子フィ ルタ1段内蔵形)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2(予備として故障時の バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>- *2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>- *3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。  *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。  *4: 内蔵フィルタの定格処理風量は2500m<sup>3</sup>/h/個とする。</p>			変更前	変更後	名称			セル塔出ユニット フィルタ	種類	-		箱型(高性能粒子フィ ルタ1段内蔵形)	容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]			最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			効率	単品	%		総合	%		主要寸法	たて	mm		横	mm		高さ	mm		厚さ	mm		入口管台外径	mm		入口管台外径厚さ	mm		出口管台外径	mm		出口管台外径厚さ	mm		主要材料	ケーシング	-		ろ材	-		個数	-		2(予備として故障時の バックアップを1)	取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替換気設備	設置床	-	T.M.S.L. m	溢水防護上の区画番号	- *2	-	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の 区画番号	- *3	-	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	-		
		変更前	変更後																																																																																							
名称			セル塔出ユニット フィルタ																																																																																							
種類	-		箱型(高性能粒子フィ ルタ1段内蔵形)																																																																																							
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]																																																																																									
最高使用圧力	MPa																																																																																									
最高使用温度	℃																																																																																									
効率	単品	%																																																																																								
	総合	%																																																																																								
主要寸法	たて	mm																																																																																								
	横	mm																																																																																								
	高さ	mm																																																																																								
	厚さ	mm																																																																																								
	入口管台外径	mm																																																																																								
	入口管台外径厚さ	mm																																																																																								
	出口管台外径	mm																																																																																								
	出口管台外径厚さ	mm																																																																																								
主要材料	ケーシング	-																																																																																								
	ろ材	-																																																																																								
個数	-		2(予備として故障時の バックアップを1)																																																																																							
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替換気設備																																																																																							
	設置床	-	T.M.S.L. m																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	- *2	-																																																																																							
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	-																																																																																							
	化学薬品防護上の 区画番号	- *3	-																																																																																							
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	-																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																										
		<p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>セル導出ユニットフィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*4</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*4</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>2(予備1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T. M. S. I.</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。  *3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。  *4：重大事故等時における使用時の値を示す。  *5：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。</p>			変更前	変更後	名称			セル導出ユニットフィルタ	種類	—		高性能粒子フィルタ	容量	m³/h/個			最高使用圧力*4	MPa			最高使用温度*4	℃			効率	単品	%		総合	%		主要寸法	吸込口径	mm		吐出口径	mm		たて	mm		横	mm		主要材料	ケーシング	—		ろ材	—		個数		—	2(予備1)	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	代替換気設備	設置床	—	T. M. S. I.	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3		
		変更前	変更後																																																																											
名称			セル導出ユニットフィルタ																																																																											
種類	—		高性能粒子フィルタ																																																																											
容量	m³/h/個																																																																													
最高使用圧力*4	MPa																																																																													
最高使用温度*4	℃																																																																													
効率	単品	%																																																																												
	総合	%																																																																												
主要寸法	吸込口径	mm																																																																												
	吐出口径	mm																																																																												
	たて	mm																																																																												
	横	mm																																																																												
主要材料	ケーシング	—																																																																												
	ろ材	—																																																																												
個数		—	2(予備1)																																																																											
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	代替換気設備																																																																											
	設置床	—	T. M. S. I.																																																																											
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2																																																																											
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2																																																																											
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3																																																																											
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考														
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-107 高レベル廃液ガラス固化建屋の気液分離器 1 基</p>	<p>g. 高レベル廃液ガラス固化建屋の気液分離器</p> <table border="0"> <tr> <td>種類</td> <td>たて置円筒型</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約0.2m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> </table>	種類	たて置円筒型	基数	1	容量	約0.2m <sup>3</sup>	主要材料	ステンレス鋼	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-107</p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">気液分離器</td> <td style="text-align: center;">[REDACTED]</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>		変更前	変更後	名称	気液分離器	[REDACTED]	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-107は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-107を具体的に記載しており整合している。</p>	
種類	たて置円筒型																	
基数	1																	
容量	約0.2m <sup>3</sup>																	
主要材料	ステンレス鋼																	
	変更前	変更後																
名称	気液分離器	[REDACTED]																

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																														
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-108 凝縮器 5 基（前処理建屋 1 基，分離建屋 1 基，精製建屋 1 基，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 1 基，高レベル廃液ガラス固化建屋 1 基）</p>	<p>h. 凝縮器 種類 横置き多管式 基数 5（前処理建屋 1 基，分離建屋 1 基，精製建屋 1 基，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 1 基，高レベル廃液ガラス固化建屋 1 基） 容量 約68 kW（前処理建屋） 約80 kW（分離建屋） 約82 kW（精製建屋） 約20 kW（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋） 約1,200 kW（高レベル廃液ガラス固化建屋） 主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-108 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1528 367 2122 1260"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">種類</td> <td>-</td> <td>凝縮器</td> </tr> <tr> <td colspan="3">容量</td> <td>設計熱交換量 kW/個</td> <td>横置U字管式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>管側</td> <td>MPa</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>管側</td> <td>℃</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3">伝熱面積</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">主要寸法</td> <td rowspan="7">管側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td rowspan="14">-</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">胴側</td> <td>出口管台外径**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>フランジ厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">管板厚さ</td> <td>管板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1528 1291 2122 1575"> <thead> <tr> <th colspan="3">主要寸法</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">管側</td> <td colspan="2">全長</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">胴側</td> <td colspan="2">全長</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">管板</td> <td colspan="2">全長</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>管板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>伝熱管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3">個数</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>	名称			変更前	変更後	種類			-	凝縮器	容量			設計熱交換量 kW/個	横置U字管式	最高使用圧力	管側	MPa	-	-	胴側	MPa	最高使用温度	管側	℃	-	-	胴側	℃	伝熱面積			m <sup>2</sup> /個	-	主要寸法	管側	胴内径	mm	-	胴板厚さ	mm	鏡板厚さ	mm	鏡板長径	mm	鏡板短径の2分の1	mm	入口管台外径**	mm	入口管台厚さ**	mm	胴側	出口管台外径**	mm	出口管台厚さ**	mm	フランジ厚さ	mm	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	鏡板厚さ	mm	鏡板長径	mm	管板厚さ	管板厚さ	mm	伝熱管外径	mm	伝熱管厚さ	mm	主要寸法			変更前	変更後	管側	全長		mm	-	胴板	-	鏡板	-	胴側	全長		mm	-	胴板	-	鏡板	-	管板	全長		mm	-	管板	-	伝熱管	-	個数			-	-	<p>設工認のト ト(1)(i)(b)(イ)-108 は，事業変更許可申請書（本文）のト ト(1)(i)(b)(イ)-108 を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称			変更前	変更後																																																																																																														
種類			-	凝縮器																																																																																																														
容量			設計熱交換量 kW/個	横置U字管式																																																																																																														
最高使用圧力	管側	MPa	-	-																																																																																																														
	胴側	MPa																																																																																																																
最高使用温度	管側	℃	-	-																																																																																																														
	胴側	℃																																																																																																																
伝熱面積			m <sup>2</sup> /個	-																																																																																																														
主要寸法	管側	胴内径	mm	-																																																																																																														
		胴板厚さ	mm																																																																																																															
		鏡板厚さ	mm																																																																																																															
		鏡板長径	mm																																																																																																															
		鏡板短径の2分の1	mm																																																																																																															
		入口管台外径**	mm																																																																																																															
		入口管台厚さ**	mm																																																																																																															
	胴側	出口管台外径**	mm																																																																																																															
		出口管台厚さ**	mm																																																																																																															
		フランジ厚さ	mm																																																																																																															
		胴内径	mm																																																																																																															
		胴板厚さ	mm																																																																																																															
		鏡板厚さ	mm																																																																																																															
		鏡板長径	mm																																																																																																															
管板厚さ	管板厚さ	mm																																																																																																																
	伝熱管外径	mm																																																																																																																
	伝熱管厚さ	mm																																																																																																																
	主要寸法			変更前	変更後																																																																																																													
	管側	全長		mm	-																																																																																																													
		胴板	-																																																																																																															
鏡板		-																																																																																																																
胴側	全長		mm	-																																																																																																														
	胴板	-																																																																																																																
	鏡板	-																																																																																																																
管板	全長		mm	-																																																																																																														
	管板	-																																																																																																																
	伝熱管	-																																																																																																																
個数			-	-																																																																																																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																
		<p>分離建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>凝縮器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>横置U字管式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量</td> <td>処理容量</td> <td>kg/h/個</td> <td rowspan="10" style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td>設計熱交換量</td> <td>kW/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>管側</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>管側</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td rowspan="5">管側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>中央部の内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>隅の丸み内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">胴側</td> <td>入口管台外径*4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td rowspan="5">管側</td> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>中央部の内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>隅の丸み内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">胴側</td> <td>入口管台厚さ*6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*7</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*7</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*8</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*8</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出口管台外径*10</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出口管台厚さ*10</td> <td>mm</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>管板厚さ</td> <td>mm</td> <td rowspan="10" style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td>伝熱管外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要材料</td> <td rowspan="2">管側</td> <td>胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胴側</td> <td>胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>伝熱管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>凝縮器</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>			変更前	変更後	名称			凝縮器	種類		—	横置U字管式	容量	処理容量	kg/h/個		設計熱交換量	kW/個	最高使用圧力	管側	MPa	胴側	MPa	最高使用温度	管側	℃	胴側	℃	伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	主要寸法	管側	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	中央部の内半径	mm	隅の丸み内半径	mm	鏡板厚さ	mm	胴側	入口管台外径*4	mm	入口管台厚さ*4	mm	出口管台外径*5	mm	出口管台厚さ*5	mm	胴内径	mm	主要寸法	管側	胴板厚さ	mm	中央部の内半径	mm	隅の丸み内半径	mm	鏡板厚さ	mm	入口管台外径*6	mm	胴側	入口管台厚さ*6	mm	出口管台外径*7	mm	出口管台厚さ*7	mm	出口管台外径*8	mm	出口管台厚さ*8	mm		出口管台外径*10	mm		出口管台厚さ*10	mm			変更前	変更後	主要寸法	管板厚さ	mm		伝熱管外径	mm	伝熱管厚さ	mm	全長	mm		高さ	mm	主要材料	管側	胴板	—	鏡板	—	胴側	胴板	—	鏡板	—		管板	—		伝熱管	—		個数	—			変更前	変更後	名称			凝縮器		
		変更前	変更後																																																																																																																																	
名称			凝縮器																																																																																																																																	
種類		—	横置U字管式																																																																																																																																	
容量	処理容量	kg/h/個																																																																																																																																		
	設計熱交換量	kW/個																																																																																																																																		
最高使用圧力	管側	MPa																																																																																																																																		
	胴側	MPa																																																																																																																																		
最高使用温度	管側	℃																																																																																																																																		
	胴側	℃																																																																																																																																		
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																		
主要寸法	管側	胴内径		mm																																																																																																																																
		胴板厚さ		mm																																																																																																																																
		中央部の内半径		mm																																																																																																																																
		隅の丸み内半径	mm																																																																																																																																	
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																																	
	胴側	入口管台外径*4	mm																																																																																																																																	
		入口管台厚さ*4	mm																																																																																																																																	
		出口管台外径*5	mm																																																																																																																																	
		出口管台厚さ*5	mm																																																																																																																																	
		胴内径	mm																																																																																																																																	
主要寸法	管側	胴板厚さ	mm																																																																																																																																	
		中央部の内半径	mm																																																																																																																																	
		隅の丸み内半径	mm																																																																																																																																	
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																																	
		入口管台外径*6	mm																																																																																																																																	
	胴側	入口管台厚さ*6	mm																																																																																																																																	
		出口管台外径*7	mm																																																																																																																																	
		出口管台厚さ*7	mm																																																																																																																																	
		出口管台外径*8	mm																																																																																																																																	
		出口管台厚さ*8	mm																																																																																																																																	
	出口管台外径*10	mm																																																																																																																																		
	出口管台厚さ*10	mm																																																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																																																	
主要寸法	管板厚さ	mm																																																																																																																																		
	伝熱管外径	mm																																																																																																																																		
	伝熱管厚さ	mm																																																																																																																																		
	全長	mm																																																																																																																																		
	高さ	mm																																																																																																																																		
主要材料	管側	胴板		—																																																																																																																																
		鏡板		—																																																																																																																																
	胴側	胴板		—																																																																																																																																
		鏡板		—																																																																																																																																
		管板		—																																																																																																																																
		伝熱管	—																																																																																																																																	
	個数	—																																																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																																																	
名称			凝縮器																																																																																																																																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																										
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>凝縮器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>横置多管式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>kW/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>管側</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>管側</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="20">主要寸法</td> <td rowspan="10">管側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板フランジ厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却水入口管台外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却水入口管台厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却水出口管台外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却水出口管台厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">胴側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>湿合ガス入口管台外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>湿合ガス入口管台厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴側ベント管台外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴側ベント管台厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>凝縮液出口管台外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>凝縮液出口管台厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">管板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱管外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">全長</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづき）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要材料</td> <td rowspan="3">管側</td> <td>胴板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>胴板フランジ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">胴側</td> <td>胴板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>管板</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱管</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称			凝縮器	種類		-	横置多管式	容量	設計熱交換量	kW/個		最高使用圧力	管側	MPa		胴側	MPa		最高使用温度	管側	℃		胴側	℃		伝熱面積		m <sup>2</sup> /個		主要寸法	管側	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	鏡板厚さ	mm	鏡板長径	mm	鏡板短径の2分の1	mm	胴板フランジ厚さ	mm	冷却水入口管台外径	mm	冷却水入口管台厚さ	mm	冷却水出口管台外径	mm	冷却水出口管台厚さ	mm	胴側	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	鏡板厚さ	mm	鏡板長径	mm	鏡板短径の2分の1	mm	湿合ガス入口管台外径	mm	湿合ガス入口管台厚さ	mm	胴側ベント管台外径	mm	胴側ベント管台厚さ	mm	凝縮液出口管台外径	mm	凝縮液出口管台厚さ	mm	管板厚さ		mm		伝熱管外径		mm		伝熱管厚さ		mm		全長		mm				変更前	変更後	主要材料	管側	胴板	-	鏡板	-	胴板フランジ	-	胴側	胴板	-	鏡板	-	管板	-	伝熱管		-		個数		-			
		変更前	変更後																																																																																																																											
名称			凝縮器																																																																																																																											
種類		-	横置多管式																																																																																																																											
容量	設計熱交換量	kW/個																																																																																																																												
最高使用圧力	管側	MPa																																																																																																																												
	胴側	MPa																																																																																																																												
最高使用温度	管側	℃																																																																																																																												
	胴側	℃																																																																																																																												
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個																																																																																																																												
主要寸法	管側	胴内径	mm																																																																																																																											
		胴板厚さ	mm																																																																																																																											
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																											
		鏡板長径	mm																																																																																																																											
		鏡板短径の2分の1	mm																																																																																																																											
		胴板フランジ厚さ	mm																																																																																																																											
		冷却水入口管台外径	mm																																																																																																																											
		冷却水入口管台厚さ	mm																																																																																																																											
		冷却水出口管台外径	mm																																																																																																																											
		冷却水出口管台厚さ	mm																																																																																																																											
	胴側	胴内径	mm																																																																																																																											
		胴板厚さ	mm																																																																																																																											
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																											
		鏡板長径	mm																																																																																																																											
		鏡板短径の2分の1	mm																																																																																																																											
		湿合ガス入口管台外径	mm																																																																																																																											
		湿合ガス入口管台厚さ	mm																																																																																																																											
		胴側ベント管台外径	mm																																																																																																																											
		胴側ベント管台厚さ	mm																																																																																																																											
		凝縮液出口管台外径	mm																																																																																																																											
凝縮液出口管台厚さ	mm																																																																																																																													
管板厚さ		mm																																																																																																																												
伝熱管外径		mm																																																																																																																												
伝熱管厚さ		mm																																																																																																																												
全長		mm																																																																																																																												
		変更前	変更後																																																																																																																											
主要材料	管側	胴板	-																																																																																																																											
		鏡板	-																																																																																																																											
		胴板フランジ	-																																																																																																																											
	胴側	胴板	-																																																																																																																											
		鏡板	-																																																																																																																											
		管板	-																																																																																																																											
伝熱管		-																																																																																																																												
個数		-																																																																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考						
		<p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1528 352 2131 420"> <thead> <tr> <th data-bbox="1528 352 1893 384"></th> <th data-bbox="1893 352 1958 384">変更前</th> <th data-bbox="1958 352 2131 384">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1528 384 1893 415">名称</td> <td data-bbox="1893 384 1958 415"></td> <td data-bbox="1958 384 2131 415">凝縮器 █████</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>		変更前	変更後	名称		凝縮器 █████		
	変更前	変更後								
名称		凝縮器 █████								



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																										
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-109 予備凝縮器 4 基（前処理建屋1基，精製建屋1基，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋1基，高レベル廃液ガラス固化建屋1基）</p>	<p>i. 予備凝縮器 種類 横置き多管式 基数 4（前処理建屋1基，精製建屋1基，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋1基，高レベル廃液ガラス固化建屋1基） 容量 約68 kW（前処理建屋） 約82 kW（精製建屋） 約20 kW（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋） 約1,200 kW（高レベル廃液ガラス固化建屋） 主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-109 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1549 363 2133 1260"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名称</td> <td colspan="3">予備凝縮器</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種類</td> <td colspan="3">横置き多管式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>kW/個</td> <td colspan="3" rowspan="15">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>管側</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>管側</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td rowspan="5">管側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">胴側</td> <td>入口管台外径*4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>フランジ厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">胴側</td> <td rowspan="5">管側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">胴側</td> <td>入口管台外径*6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*7</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*7</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*8</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*8</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>フランジ厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>管板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1549 1291 2133 1575"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要寸法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> <td colspan="3" rowspan="10">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">管側</td> <td>胴板</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">胴側</td> <td>胴板</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>管板</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1686 2125 1770"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">予備凝縮器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[Redacted]</td> <td colspan="2">[Redacted]</td> </tr> </tbody> </table>	変更前			変更後			名称			予備凝縮器			種類			横置き多管式			容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]			最高使用圧力	管側	MPa	胴側	MPa	最高使用温度	管側	℃	胴側	℃	伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	主要寸法	管側	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	鏡板厚さ	mm	鏡板長径	mm	鏡板短径の2分の1	mm	胴側	入口管台外径*4	mm	入口管台厚さ*4	mm	出口管台外径*5	mm	出口管台厚さ*5	mm	フランジ厚さ	mm	胴側	管側	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	鏡板厚さ	mm	鏡板長径	mm	鏡板短径の2分の1	mm	胴側	入口管台外径*6	mm	入口管台厚さ*6	mm	出口管台外径*7	mm	出口管台厚さ*7	mm	出口管台外径*8	mm	出口管台厚さ*8	mm	フランジ厚さ	mm	管板厚さ	mm	伝熱管外径	mm	伝熱管厚さ	mm	変更前			変更後			主要寸法	全長	mm	[Redacted]			管側	胴板	mm	鏡板	mm	フランジ	mm	胴側	胴板	mm	鏡板	mm	フランジ	mm	主要材料	管板	mm	伝熱管	mm	個数	mm	変更前		変更後		名称		予備凝縮器		[Redacted]		[Redacted]		<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-109は，事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-109を具体的に記載しており整合している。</p>	
変更前			変更後																																																																																																																																											
名称			予備凝縮器																																																																																																																																											
種類			横置き多管式																																																																																																																																											
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]																																																																																																																																											
最高使用圧力	管側	MPa																																																																																																																																												
	胴側	MPa																																																																																																																																												
最高使用温度	管側	℃																																																																																																																																												
	胴側	℃																																																																																																																																												
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																												
主要寸法	管側	胴内径				mm																																																																																																																																								
		胴板厚さ				mm																																																																																																																																								
		鏡板厚さ				mm																																																																																																																																								
		鏡板長径				mm																																																																																																																																								
		鏡板短径の2分の1				mm																																																																																																																																								
	胴側	入口管台外径*4				mm																																																																																																																																								
		入口管台厚さ*4				mm																																																																																																																																								
		出口管台外径*5				mm																																																																																																																																								
		出口管台厚さ*5				mm																																																																																																																																								
		フランジ厚さ	mm																																																																																																																																											
胴側	管側	胴内径	mm																																																																																																																																											
		胴板厚さ	mm																																																																																																																																											
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																																											
		鏡板長径	mm																																																																																																																																											
		鏡板短径の2分の1	mm																																																																																																																																											
	胴側	入口管台外径*6	mm																																																																																																																																											
		入口管台厚さ*6	mm																																																																																																																																											
		出口管台外径*7	mm																																																																																																																																											
		出口管台厚さ*7	mm																																																																																																																																											
		出口管台外径*8	mm																																																																																																																																											
出口管台厚さ*8	mm																																																																																																																																													
フランジ厚さ	mm																																																																																																																																													
管板厚さ	mm																																																																																																																																													
伝熱管外径	mm																																																																																																																																													
伝熱管厚さ	mm																																																																																																																																													
変更前			変更後																																																																																																																																											
主要寸法	全長	mm	[Redacted]																																																																																																																																											
管側	胴板	mm																																																																																																																																												
	鏡板	mm																																																																																																																																												
	フランジ	mm																																																																																																																																												
胴側	胴板	mm																																																																																																																																												
	鏡板	mm																																																																																																																																												
	フランジ	mm																																																																																																																																												
主要材料	管板	mm																																																																																																																																												
	伝熱管	mm																																																																																																																																												
	個数	mm																																																																																																																																												
変更前		変更後																																																																																																																																												
名称		予備凝縮器																																																																																																																																												
[Redacted]		[Redacted]																																																																																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																							
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名称</td> <td></td> <td>予備凝縮器</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種類</td> <td>-</td> <td>横置多管式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>kW/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>管側</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>管側</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">伝熱面積</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">主要寸法</td> <td rowspan="7">管側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板フランジ厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水入口管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水出口管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">胴側</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板長径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板短径の2分の1</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>混合ガス入口管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>混合ガス入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴側ベント管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴側ベント管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝縮液出口管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凝縮液出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">管板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">伝熱管外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">全長</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要材料</td> <td rowspan="3">管側</td> <td>胴板</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板フランジ</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胴側</td> <td>胴板</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">管板</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">伝熱管</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">個数</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称				予備凝縮器	種類			-	横置多管式	容量	設計熱交換量	kW/個			最高使用圧力	管側	MPa			胴側	MPa			最高使用温度	管側	℃			胴側	℃			伝熱面積			m <sup>2</sup> /個		主要寸法	管側	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		鏡板厚さ	mm		鏡板長径	mm		鏡板短径の2分の1	mm		胴板フランジ厚さ	mm		冷却水入口管台外径	mm		冷却水入口管台厚さ	mm		冷却水出口管台外径	mm		冷却水出口管台厚さ	mm		胴側	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		鏡板厚さ	mm		鏡板長径	mm		鏡板短径の2分の1	mm		混合ガス入口管台外径	mm		混合ガス入口管台厚さ	mm		胴側ベント管台外径	mm		胴側ベント管台厚さ	mm		凝縮液出口管台外径	mm		凝縮液出口管台厚さ	mm		管板厚さ			mm		伝熱管外径			mm		伝熱管厚さ			mm		全長			mm					変更前	変更後	主要材料	管側	胴板	-		鏡板	-		胴板フランジ	-		胴側	胴板	-		鏡板	-		管板			-		伝熱管			-		個数			-			
			変更前	変更後																																																																																																																																																																							
名称				予備凝縮器																																																																																																																																																																							
種類			-	横置多管式																																																																																																																																																																							
容量	設計熱交換量	kW/個																																																																																																																																																																									
最高使用圧力	管側	MPa																																																																																																																																																																									
	胴側	MPa																																																																																																																																																																									
最高使用温度	管側	℃																																																																																																																																																																									
	胴側	℃																																																																																																																																																																									
伝熱面積			m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																																																								
主要寸法	管側	胴内径	mm																																																																																																																																																																								
		胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																								
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																								
		鏡板長径	mm																																																																																																																																																																								
		鏡板短径の2分の1	mm																																																																																																																																																																								
		胴板フランジ厚さ	mm																																																																																																																																																																								
		冷却水入口管台外径	mm																																																																																																																																																																								
	冷却水入口管台厚さ	mm																																																																																																																																																																									
	冷却水出口管台外径	mm																																																																																																																																																																									
	冷却水出口管台厚さ	mm																																																																																																																																																																									
	胴側	胴内径	mm																																																																																																																																																																								
		胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																								
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																								
		鏡板長径	mm																																																																																																																																																																								
鏡板短径の2分の1		mm																																																																																																																																																																									
混合ガス入口管台外径		mm																																																																																																																																																																									
混合ガス入口管台厚さ		mm																																																																																																																																																																									
胴側ベント管台外径	mm																																																																																																																																																																										
胴側ベント管台厚さ	mm																																																																																																																																																																										
凝縮液出口管台外径	mm																																																																																																																																																																										
凝縮液出口管台厚さ	mm																																																																																																																																																																										
管板厚さ			mm																																																																																																																																																																								
伝熱管外径			mm																																																																																																																																																																								
伝熱管厚さ			mm																																																																																																																																																																								
全長			mm																																																																																																																																																																								
			変更前	変更後																																																																																																																																																																							
主要材料	管側	胴板	-																																																																																																																																																																								
		鏡板	-																																																																																																																																																																								
		胴板フランジ	-																																																																																																																																																																								
	胴側	胴板	-																																																																																																																																																																								
		鏡板	-																																																																																																																																																																								
	管板			-																																																																																																																																																																							
伝熱管			-																																																																																																																																																																								
個数			-																																																																																																																																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考						
		<p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 457 2131 514"> <thead> <tr> <th data-bbox="1537 457 1893 483"></th> <th data-bbox="1893 457 1961 483">変更前</th> <th data-bbox="1961 457 2131 483">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1537 483 1893 514">名称</td> <td data-bbox="1893 483 1961 514"></td> <td data-bbox="1961 483 2131 514">予備凝縮器 ■■■■■</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（中略）</p>		変更前	変更後	名称		予備凝縮器 ■■■■■		
	変更前	変更後								
名称		予備凝縮器 ■■■■■								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(1) (i) (b) (イ)-110 凝縮液回収系（設計基準対象の施設と一部兼用（第3表(2)））6系列 分離建屋の高レベル廃液濃縮缶凝縮器（「ト. (2) (ii) (a) 高レベル廃液処理設備」と兼用）1基</p>	<p>j. 凝縮液回収系（設計基準対象の施設と一部兼用（第7.2-37図）） 数 量 6系列</p>	<p>(1) (i) (b) (イ)-110 前処理建屋 1系列 [図面] (中略)</p> <p>分離建屋 2系列 [図面]</p> <p>精製建屋 1系列 [図面]</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 [図面]</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 1系列 [図面]</p>	<p>設工認のト (1) (i) (b) (イ)-110 は、事業変更許可申請書（本文）のト (1) (i) (b) (イ)-110 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																										
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-111                      分離建屋の高レベル廃液濃縮缶凝縮器                      （「ト. (2)(ii)(a) 高レベル廃液処理設備」と兼用） 1 基</p>	<p>k. 分離建屋の高レベル廃液濃縮缶凝縮器                      （「7.3.2.2 高レベル廃液濃縮設備」と兼用）                      基数 1                      その他の仕様は、「第7.3-1表 高レベル廃液濃縮設備の主要設備の仕様」に記載する。</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-111                      分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 352 2142 1224"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <td>高レベル廃液濃縮缶凝縮器*3</td> <td>高レベル廃液濃縮缶凝縮器*1</td> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <td>—</td> <td>横置U字管式（横置多管式）</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">容量</th> <td>処理容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設計熱交換量</td> <td>kW/個</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">最高使用圧力</th> <td>管側</td> <td>MPa</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">最高使用温度</th> <td>管側</td> <td>℃</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <th colspan="2">伝熱面積</th> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td rowspan="18">変更なし</td> </tr> <tr> <th rowspan="12">主要寸法</th> <th rowspan="6">管側</th> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <th rowspan="6">胴側</th> <td>入口管台厚さ*4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <th rowspan="6">管側</th> <td>短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*7</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*7</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <th rowspan="12">主要寸法</th> <th rowspan="8">胴側</th> <td>出口管台外径*8</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*8</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*10</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*10</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*10</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*10</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*11</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*11</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <th rowspan="4">管側</th> <td>管板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <th rowspan="4">主要材料</th> <td>高さ*12</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>管側</td> <td>胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>管板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伝熱管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th>個数</th> <td>—</td> <td>—</td> <td>変更なし</td> </tr> </thead></table>			変更前	変更後	名称		高レベル廃液濃縮缶凝縮器*3	高レベル廃液濃縮缶凝縮器*1	種類		—	横置U字管式（横置多管式）	容量	処理容量	m <sup>3</sup> /h/個	変更なし	設計熱交換量	kW/個	最高使用圧力	管側	MPa	変更なし	胴側	MPa	最高使用温度	管側	℃	変更なし	胴側	℃	伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	変更なし	主要寸法	管側	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	長径	mm	短径の2分の1	mm	鏡板厚さ	mm	入口管台外径*4	mm	胴側	入口管台厚さ*4	mm	出口管台外径*5	mm	出口管台厚さ*5	mm	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	長径	mm	管側	短径の2分の1	mm	鏡板厚さ	mm	入口管台外径*6	mm	入口管台厚さ*6	mm	出口管台外径*7	mm	出口管台厚さ*7	mm	主要寸法	胴側	出口管台外径*8	mm	出口管台厚さ*8	mm	出口管台外径*10	mm	出口管台厚さ*10	mm	出口管台外径*10	mm	出口管台厚さ*10	mm	出口管台外径*11	mm	出口管台厚さ*11	mm	管側	管板厚さ	mm	伝熱管外径	mm	伝熱管厚さ	mm	全長	mm	主要材料	高さ*12	mm	管側	胴板	—	鏡板	—	胴側	胴板	—	鏡板	—	管板	—	伝熱管	—	個数	—	—	変更なし	<p>設工認のト                      (1)(i)(b)(イ)-111                      は、事業変更許可申請書（本文）のト                      (1)(i)(b)(イ)-111                      を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																											
名称		高レベル廃液濃縮缶凝縮器*3	高レベル廃液濃縮缶凝縮器*1																																																																																																																											
種類		—	横置U字管式（横置多管式）																																																																																																																											
容量	処理容量	m <sup>3</sup> /h/個	変更なし																																																																																																																											
	設計熱交換量	kW/個																																																																																																																												
最高使用圧力	管側	MPa	変更なし																																																																																																																											
	胴側	MPa																																																																																																																												
最高使用温度	管側	℃	変更なし																																																																																																																											
	胴側	℃																																																																																																																												
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	変更なし																																																																																																																											
主要寸法	管側	胴内径		mm																																																																																																																										
		胴板厚さ		mm																																																																																																																										
		長径		mm																																																																																																																										
		短径の2分の1		mm																																																																																																																										
		鏡板厚さ		mm																																																																																																																										
		入口管台外径*4		mm																																																																																																																										
	胴側	入口管台厚さ*4		mm																																																																																																																										
		出口管台外径*5		mm																																																																																																																										
		出口管台厚さ*5		mm																																																																																																																										
		胴内径		mm																																																																																																																										
		胴板厚さ		mm																																																																																																																										
		長径		mm																																																																																																																										
管側	短径の2分の1	mm																																																																																																																												
	鏡板厚さ	mm																																																																																																																												
	入口管台外径*6	mm																																																																																																																												
	入口管台厚さ*6	mm																																																																																																																												
	出口管台外径*7	mm																																																																																																																												
	出口管台厚さ*7	mm																																																																																																																												
主要寸法	胴側	出口管台外径*8	mm																																																																																																																											
		出口管台厚さ*8	mm																																																																																																																											
		出口管台外径*10	mm																																																																																																																											
		出口管台厚さ*10	mm																																																																																																																											
		出口管台外径*10	mm																																																																																																																											
		出口管台厚さ*10	mm																																																																																																																											
		出口管台外径*11	mm																																																																																																																											
		出口管台厚さ*11	mm																																																																																																																											
	管側	管板厚さ	mm																																																																																																																											
		伝熱管外径	mm																																																																																																																											
		伝熱管厚さ	mm																																																																																																																											
		全長	mm																																																																																																																											
主要材料	高さ*12	mm																																																																																																																												
	管側	胴板	—																																																																																																																											
	鏡板	—																																																																																																																												
	胴側	胴板	—																																																																																																																											
鏡板	—																																																																																																																													
管板	—																																																																																																																													
伝熱管	—																																																																																																																													
個数	—	—	変更なし																																																																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																										
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-112                      分離建屋の第1エジェクタ凝縮器                      （「ト. (2)(ii)(a) 高レベル廃液処理設備」と兼用） 1 基</p>	<p>1. 分離建屋の第1エジェクタ凝縮器                      （「7.3.2.2 高レベル廃液濃縮設備」と兼用）</p> <p>種類 横置き多管式                      基数 1                      容量 約330 kW                      主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-112                      分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1531 352 2148 1234"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前 第1エジェクタ 凝縮器</th> <th>変更後 第1エジェクタ 凝縮器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>横置U字管式</td> <td>横置U字管式*<!--1</td--> </td></tr> <tr> <td rowspan="2">種類</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>処理容量 m<sup>3</sup>/h/個 設計熱交換量 kW/個</td> <td>— —</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>管側</td> <td>MPa</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>MPa</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>管側</td> <td>℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">主要寸法</td> <td rowspan="7">管側</td> <td>胴板内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**3</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**4</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">胴側</td> <td>胴板内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**5</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**6</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>管側</td> <td>胴板 — 鏡板 —</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴側</td> <td>胴板 — 鏡板 —</td> </tr> <tr> <td colspan="2">管板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱管</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1531 1270 2148 1612"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>管板厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伝熱管外径</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伝熱管厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全長**2</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高さ**2</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要材料</td> <td rowspan="2">管側</td> <td>胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胴側</td> <td>胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">管板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱管</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			変更前 第1エジェクタ 凝縮器	変更後 第1エジェクタ 凝縮器	名称		横置U字管式	横置U字管式* 1</td	種類	種類	—	—	容量	処理容量 m <sup>3</sup> /h/個 設計熱交換量 kW/個	— —	最高使用圧力	管側	MPa	—	胴側	MPa	—	最高使用温度	管側	℃	—	胴側	℃	—	伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	—	主要寸法	管側	胴板内径	mm	胴板厚さ	mm	長径	mm	短径の2分の1	mm	鏡板厚さ	mm	入口管台外径**3	mm	出口管台外径**4	mm	胴側	胴板内径	mm	胴板厚さ	mm	長径	mm	短径の2分の1	mm	鏡板厚さ	mm	入口管台外径**5	mm	出口管台外径**6	mm	主要材料	管側	胴板 — 鏡板 —	変更なし	胴側	胴板 — 鏡板 —	管板		—	—	伝熱管		—	—	個数		—	—			変更前	変更後	主要寸法	管板厚さ	mm	—	伝熱管外径	mm	—	伝熱管厚さ	mm	—	全長**2	mm	—	高さ**2		mm	—	主要材料	管側	胴板	—	鏡板	—	胴側	胴板	—	鏡板	—	管板		—	—	伝熱管		—	—	<p>設工認のト                      (1)(i)(b)(イ)-112                      は、事業変更許可申請書（本文）のト                      (1)(i)(b)(イ)-112                      を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前 第1エジェクタ 凝縮器	変更後 第1エジェクタ 凝縮器																																																																																																																											
名称		横置U字管式	横置U字管式* 1</td																																																																																																																											
種類	種類	—	—																																																																																																																											
	容量	処理容量 m <sup>3</sup> /h/個 設計熱交換量 kW/個	— —																																																																																																																											
最高使用圧力	管側	MPa	—																																																																																																																											
	胴側	MPa	—																																																																																																																											
最高使用温度	管側	℃	—																																																																																																																											
	胴側	℃	—																																																																																																																											
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	—																																																																																																																											
主要寸法	管側	胴板内径	mm																																																																																																																											
		胴板厚さ	mm																																																																																																																											
		長径	mm																																																																																																																											
		短径の2分の1	mm																																																																																																																											
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																											
		入口管台外径**3	mm																																																																																																																											
		出口管台外径**4	mm																																																																																																																											
	胴側	胴板内径	mm																																																																																																																											
		胴板厚さ	mm																																																																																																																											
		長径	mm																																																																																																																											
		短径の2分の1	mm																																																																																																																											
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																											
		入口管台外径**5	mm																																																																																																																											
		出口管台外径**6	mm																																																																																																																											
主要材料	管側	胴板 — 鏡板 —	変更なし																																																																																																																											
	胴側	胴板 — 鏡板 —																																																																																																																												
管板		—	—																																																																																																																											
伝熱管		—	—																																																																																																																											
個数		—	—																																																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																																																											
主要寸法	管板厚さ	mm	—																																																																																																																											
	伝熱管外径	mm	—																																																																																																																											
	伝熱管厚さ	mm	—																																																																																																																											
	全長**2	mm	—																																																																																																																											
高さ**2		mm	—																																																																																																																											
主要材料	管側	胴板	—																																																																																																																											
		鏡板	—																																																																																																																											
	胴側	胴板	—																																																																																																																											
		鏡板	—																																																																																																																											
	管板		—	—																																																																																																																										
伝熱管		—	—																																																																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-113 「冷却機能の喪失による蒸発乾固の発生を仮定する機器」（設計基準対象の施設と兼用（第3表(1)））53基</p>	<p>m. 「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器（設計基準対象の施設と兼用）（第7.2-31表(2)） 基 数 53</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-113 前処理建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">名称</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前 中間ポット *3</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後 中間ポット *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 中継槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 中継槽 *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 リサイクル槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 リサイクル槽 *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 計量前中間貯槽 *3</td> <td style="text-align: center;">変更後 計量前中間貯槽 *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 計量後中間貯槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 計量後中間貯槽 *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 計量・調整槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 計量・調整槽 *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 計量補助槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 計量補助槽 *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <p>分離建屋 14基</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">名称</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前 溶解液中間貯槽 *2</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後 溶解液中間貯槽 *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 溶解液供給槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 溶解液供給槽 *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 抽出廃液受槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 抽出廃液受槽 *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 抽出廃液中間貯槽 *2</td> <td style="text-align: center;">変更後 抽出廃液中間貯槽 *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">変更前 抽出廃液供給槽 *3</td> <td style="text-align: center;">変更後 抽出廃液供給槽 *1</td> </tr> </table> </table>	名称	変更前 中間ポット *3	変更後 中間ポット *1	(中略)			名称	変更前 中継槽 *2	変更後 中継槽 *1	(中略)			名称	変更前 リサイクル槽 *2	変更後 リサイクル槽 *1	(中略)			名称	変更前 計量前中間貯槽 *3	変更後 計量前中間貯槽 *1	(中略)			名称	変更前 計量後中間貯槽 *2	変更後 計量後中間貯槽 *1	(中略)			名称	変更前 計量・調整槽 *2	変更後 計量・調整槽 *1	(中略)			名称	変更前 計量補助槽 *2	変更後 計量補助槽 *1	(中略)			名称	変更前 溶解液中間貯槽 *2	変更後 溶解液中間貯槽 *1	名称	変更前 溶解液供給槽 *2	変更後 溶解液供給槽 *1	名称	変更前 抽出廃液受槽 *2	変更後 抽出廃液受槽 *1	名称	変更前 抽出廃液中間貯槽 *2	変更後 抽出廃液中間貯槽 *1	名称	変更前 抽出廃液供給槽 *3	変更後 抽出廃液供給槽 *1	<p>設工認のト ト(1)(i)(b)(イ)-113 は、事業変更許可申請書（本文）のト ト(1)(i)(b)(イ)-113 を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	変更前 中間ポット *3	変更後 中間ポット *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 中継槽 *2	変更後 中継槽 *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 リサイクル槽 *2	変更後 リサイクル槽 *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 計量前中間貯槽 *3	変更後 計量前中間貯槽 *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 計量後中間貯槽 *2	変更後 計量後中間貯槽 *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 計量・調整槽 *2	変更後 計量・調整槽 *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 計量補助槽 *2	変更後 計量補助槽 *1																																																											
(中略)																																																													
名称	変更前 溶解液中間貯槽 *2	変更後 溶解液中間貯槽 *1																																																											
名称	変更前 溶解液供給槽 *2	変更後 溶解液供給槽 *1																																																											
名称	変更前 抽出廃液受槽 *2	変更後 抽出廃液受槽 *1																																																											
名称	変更前 抽出廃液中間貯槽 *2	変更後 抽出廃液中間貯槽 *1																																																											
名称	変更前 抽出廃液供給槽 *3	変更後 抽出廃液供給槽 *1																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																		
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 抽出廃液供給槽*3</td> <td>変更後 抽出廃液供給槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 抽出廃液供給槽*3	変更後 抽出廃液供給槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 抽出廃液供給槽*3	変更後 抽出廃液供給槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第1一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第1一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 第1一時貯留処理槽	変更後 第1一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 第1一時貯留処理槽	変更後 第1一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第7一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第7一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 第7一時貯留処理槽	変更後 第7一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 第7一時貯留処理槽	変更後 第7一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第8一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第8一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 第8一時貯留処理槽	変更後 第8一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 第8一時貯留処理槽	変更後 第8一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第3一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第3一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 第3一時貯留処理槽	変更後 第3一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 第3一時貯留処理槽	変更後 第3一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第4一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第4一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 第4一時貯留処理槽	変更後 第4一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 第4一時貯留処理槽	変更後 第4一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第6一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第6一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 第6一時貯留処理槽	変更後 第6一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 第6一時貯留処理槽	変更後 第6一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル廃液供給槽*3</td> <td>変更後 高レベル廃液供給槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 高レベル廃液供給槽*3	変更後 高レベル廃液供給槽		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 高レベル廃液供給槽*3	変更後 高レベル廃液供給槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル廃液濃縮缶*3</td> <td>変更後 高レベル廃液濃縮缶</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table>	名称	変更前 高レベル廃液濃縮缶*3	変更後 高レベル廃液濃縮缶		■■■■■	■■■■■*1														
名称	変更前 高レベル廃液濃縮缶*3	変更後 高レベル廃液濃縮缶																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
		<p>精製建屋 13基</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第1一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第1一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第2一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第2一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第3一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第3一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■■■■■</td> <td>■■■■■*1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前 第1一時貯留処理槽	変更後 第1一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1	名称	変更前 第2一時貯留処理槽	変更後 第2一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1	名称	変更前 第3一時貯留処理槽	変更後 第3一時貯留処理槽		■■■■■	■■■■■*1		
名称	変更前 第1一時貯留処理槽	変更後 第1一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
名称	変更前 第2一時貯留処理槽	変更後 第2一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				
名称	変更前 第3一時貯留処理槽	変更後 第3一時貯留処理槽																				
	■■■■■	■■■■■*1																				



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 溶液受槽</td> <td>プルトニウム 溶液受槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>油水分離槽</td> <td>油水分離槽 *18</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 濃縮缶供給槽</td> <td>プルトニウム 濃縮缶供給槽 *20</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 溶液一時貯槽</td> <td>プルトニウム 溶液一時貯槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 濃縮液受槽</td> <td>プルトニウム 濃縮液受槽 *19</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>リサイクル槽</td> <td>リサイクル槽 *19</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>希釈槽</td> <td>希釈槽 *18</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 濃縮液一時貯槽</td> <td>プルトニウム 濃縮液一時貯槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 濃縮液計量槽</td> <td>プルトニウム 濃縮液計量槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>プルトニウム 濃縮液中間貯槽</td> <td>プルトニウム 濃縮液中間貯槽 *16</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	変更前	変更後		プルトニウム 溶液受槽	プルトニウム 溶液受槽 *17	(中略)			名称	変更前	変更後		油水分離槽	油水分離槽 *18	(中略)			名称	変更前	変更後		プルトニウム 濃縮缶供給槽	プルトニウム 濃縮缶供給槽 *20	(中略)			名称	変更前	変更後		プルトニウム 溶液一時貯槽	プルトニウム 溶液一時貯槽 *17	(中略)			名称	変更前	変更後		プルトニウム 濃縮液受槽	プルトニウム 濃縮液受槽 *19	(中略)			名称	変更前	変更後		リサイクル槽	リサイクル槽 *19	(中略)			名称	変更前	変更後		希釈槽	希釈槽 *18	(中略)			名称	変更前	変更後		プルトニウム 濃縮液一時貯槽	プルトニウム 濃縮液一時貯槽 *17	(中略)			名称	変更前	変更後		プルトニウム 濃縮液計量槽	プルトニウム 濃縮液計量槽 *17	(中略)			名称	変更前	変更後		プルトニウム 濃縮液中間貯槽	プルトニウム 濃縮液中間貯槽 *16	(中略)				
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 溶液受槽	プルトニウム 溶液受槽 *17																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	油水分離槽	油水分離槽 *18																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 濃縮缶供給槽	プルトニウム 濃縮缶供給槽 *20																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 溶液一時貯槽	プルトニウム 溶液一時貯槽 *17																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 濃縮液受槽	プルトニウム 濃縮液受槽 *19																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	リサイクル槽	リサイクル槽 *19																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	希釈槽	希釈槽 *18																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 濃縮液一時貯槽	プルトニウム 濃縮液一時貯槽 *17																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 濃縮液計量槽	プルトニウム 濃縮液計量槽 *17																																																																																												
(中略)																																																																																														
名称	変更前	変更後																																																																																												
	プルトニウム 濃縮液中間貯槽	プルトニウム 濃縮液中間貯槽 *16																																																																																												
(中略)																																																																																														



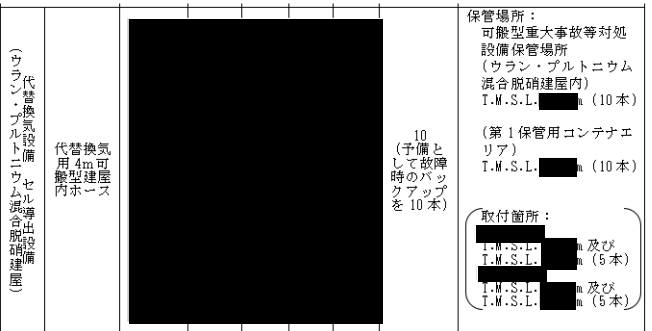
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																											
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 325 2142 409"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 硝酸プルトニウム貯槽</td> <td>変更後 硝酸プルトニウム貯槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 451 2142 535"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 混合槽</td> <td>変更後 混合槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 577 2142 661"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 一時貯槽</td> <td>変更後 一時貯槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 724 2142 850"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 892 2142 1018"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1081 2142 1165"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル廃液共用貯槽</td> <td>変更後 高レベル廃液共用貯槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1228 2142 1354"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル廃液混合槽</td> <td>変更後 高レベル廃液混合槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1417 2142 1501"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 供給液槽</td> <td>変更後 供給液槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1564 2142 1648"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 供給槽</td> <td>変更後 供給槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前 硝酸プルトニウム貯槽	変更後 硝酸プルトニウム貯槽	名称	変更前 混合槽	変更後 混合槽	名称	変更前 一時貯槽	変更後 一時貯槽	名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	名称	変更前 高レベル廃液共用貯槽	変更後 高レベル廃液共用貯槽	名称	変更前 高レベル廃液混合槽	変更後 高レベル廃液混合槽	名称	変更前 供給液槽	変更後 供給液槽	名称	変更前 供給槽	変更後 供給槽		
名称	変更前 硝酸プルトニウム貯槽	変更後 硝酸プルトニウム貯槽																													
名称	変更前 混合槽	変更後 混合槽																													
名称	変更前 一時貯槽	変更後 一時貯槽																													
名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽																													
名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽																													
名称	変更前 高レベル廃液共用貯槽	変更後 高レベル廃液共用貯槽																													
名称	変更前 高レベル廃液混合槽	変更後 高レベル廃液混合槽																													
名称	変更前 供給液槽	変更後 供給液槽																													
名称	変更前 供給槽	変更後 供給槽																													

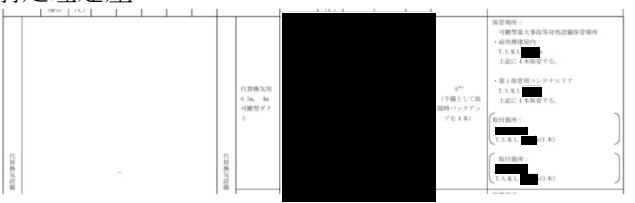
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-114 「放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器」（設計基準対象の施設と兼用（第4表(1)））49基</p>	<p>n. 「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器（設計基準対象の施設と兼用）（第7.2-31表(3)） 基 数 49</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-114 前処理建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">中継槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">中継槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">計量前中間貯槽 [REDACTED] *3</td> <td style="text-align: center;">計量前中間貯槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">計量後中間貯槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">計量後中間貯槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">計量・調整槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">計量・調整槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">計量補助槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">計量補助槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <p>分離建屋 12基</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">溶解液中間貯槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">溶解液中間貯槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">溶解液供給槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">溶解液供給槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液受槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液受槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液中間貯槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液中間貯槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液供給槽 *3 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液供給槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液供給槽 *3 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">抽出廃液供給槽 [REDACTED] *1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">プルトニウム 溶液受槽 [REDACTED]</td> <td style="text-align: center;">プルトニウム 溶液受槽 [REDACTED] *1</td> </tr> </table> </table>		変更前	変更後	名称	中継槽 [REDACTED]	中継槽 [REDACTED] *1	(中略)			名称	計量前中間貯槽 [REDACTED] *3	計量前中間貯槽 [REDACTED] *1	(中略)			名称	計量後中間貯槽 [REDACTED]	計量後中間貯槽 [REDACTED] *1	(中略)			名称	計量・調整槽 [REDACTED]	計量・調整槽 [REDACTED] *1	(中略)			名称	計量補助槽 [REDACTED]	計量補助槽 [REDACTED] *1	(中略)				変更前	変更後	名称	溶解液中間貯槽 [REDACTED]	溶解液中間貯槽 [REDACTED] *1	名称	溶解液供給槽 [REDACTED]	溶解液供給槽 [REDACTED] *1	名称	抽出廃液受槽 [REDACTED]	抽出廃液受槽 [REDACTED] *1	名称	抽出廃液中間貯槽 [REDACTED]	抽出廃液中間貯槽 [REDACTED] *1	名称	抽出廃液供給槽 *3 [REDACTED]	抽出廃液供給槽 [REDACTED] *1	名称	抽出廃液供給槽 *3 [REDACTED]	抽出廃液供給槽 [REDACTED] *1	名称	プルトニウム 溶液受槽 [REDACTED]	プルトニウム 溶液受槽 [REDACTED] *1	<p>設工認のト ト(1)(i)(b)(イ)-114 は、事業変更許可申請書（本文）のト ト(1)(i)(b)(イ)-114 を具体的に記載しており整合している。</p>	
	変更前	変更後																																																											
名称	中継槽 [REDACTED]	中継槽 [REDACTED] *1																																																											
(中略)																																																													
名称	計量前中間貯槽 [REDACTED] *3	計量前中間貯槽 [REDACTED] *1																																																											
(中略)																																																													
名称	計量後中間貯槽 [REDACTED]	計量後中間貯槽 [REDACTED] *1																																																											
(中略)																																																													
名称	計量・調整槽 [REDACTED]	計量・調整槽 [REDACTED] *1																																																											
(中略)																																																													
名称	計量補助槽 [REDACTED]	計量補助槽 [REDACTED] *1																																																											
(中略)																																																													
	変更前	変更後																																																											
名称	溶解液中間貯槽 [REDACTED]	溶解液中間貯槽 [REDACTED] *1																																																											
名称	溶解液供給槽 [REDACTED]	溶解液供給槽 [REDACTED] *1																																																											
名称	抽出廃液受槽 [REDACTED]	抽出廃液受槽 [REDACTED] *1																																																											
名称	抽出廃液中間貯槽 [REDACTED]	抽出廃液中間貯槽 [REDACTED] *1																																																											
名称	抽出廃液供給槽 *3 [REDACTED]	抽出廃液供給槽 [REDACTED] *1																																																											
名称	抽出廃液供給槽 *3 [REDACTED]	抽出廃液供給槽 [REDACTED] *1																																																											
名称	プルトニウム 溶液受槽 [REDACTED]	プルトニウム 溶液受槽 [REDACTED] *1																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																		
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 プルトニウム 溶液中間貯槽</td> <td>変更後 プルトニウム 溶液中間貯槽</td> </tr> </table>	名称	変更前 プルトニウム 溶液中間貯槽	変更後 プルトニウム 溶液中間貯槽																	
名称	変更前 プルトニウム 溶液中間貯槽	変更後 プルトニウム 溶液中間貯槽																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第2一時 貯留処理槽</td> <td>変更後 第2一時 貯留処理槽</td> </tr> </table>	名称	変更前 第2一時 貯留処理槽	変更後 第2一時 貯留処理槽																	
名称	変更前 第2一時 貯留処理槽	変更後 第2一時 貯留処理槽																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第3一時 貯留処理槽</td> <td>変更後 第3一時 貯留処理槽</td> </tr> </table>	名称	変更前 第3一時 貯留処理槽	変更後 第3一時 貯留処理槽																	
名称	変更前 第3一時 貯留処理槽	変更後 第3一時 貯留処理槽																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第4一時 貯留処理槽</td> <td>変更後 第4一時 貯留処理槽</td> </tr> </table>	名称	変更前 第4一時 貯留処理槽	変更後 第4一時 貯留処理槽																	
名称	変更前 第4一時 貯留処理槽	変更後 第4一時 貯留処理槽																				
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル 廃液濃縮槽<sup>*3</sup></td> <td>変更後 高レベル 廃液濃縮槽</td> </tr> </table>	名称	変更前 高レベル 廃液濃縮槽 <sup>*3</sup>	変更後 高レベル 廃液濃縮槽																	
名称	変更前 高レベル 廃液濃縮槽 <sup>*3</sup>	変更後 高レベル 廃液濃縮槽																				
		<p>精製建屋 15 基</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第2一時貯留処理 槽</td> <td>変更後 第2一時貯留処 理槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第3一時貯留処 理槽</td> <td>変更後 第3一時貯留処 理槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第7一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第7一時貯 留処理槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 プルトニウム 溶液供給槽</td> <td>変更後 プルトニウム 溶液供給槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 プルトニウム 溶液受槽</td> <td>変更後 プルトニウム 溶液受槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 油水分離槽</td> <td>変更後 油水分離槽</td> </tr> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前 第2一時貯留処理 槽	変更後 第2一時貯留処 理槽	名称	変更前 第3一時貯留処 理槽	変更後 第3一時貯留処 理槽	名称	変更前 第7一時貯留処理槽	変更後 第7一時貯 留処理槽	名称	変更前 プルトニウム 溶液供給槽	変更後 プルトニウム 溶液供給槽	名称	変更前 プルトニウム 溶液受槽	変更後 プルトニウム 溶液受槽	名称	変更前 油水分離槽	変更後 油水分離槽		
名称	変更前 第2一時貯留処理 槽	変更後 第2一時貯留処 理槽																				
名称	変更前 第3一時貯留処 理槽	変更後 第3一時貯留処 理槽																				
名称	変更前 第7一時貯留処理槽	変更後 第7一時貯 留処理槽																				
名称	変更前 プルトニウム 溶液供給槽	変更後 プルトニウム 溶液供給槽																				
名称	変更前 プルトニウム 溶液受槽	変更後 プルトニウム 溶液受槽																				
名称	変更前 油水分離槽	変更後 油水分離槽																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮缶供給槽</td> <td>プルトニウム濃縮缶供給槽<sup>*20</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム溶液一時貯槽</td> <td>プルトニウム溶液一時貯槽<sup>*17</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮缶</td> <td>プルトニウム濃縮缶</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液受槽</td> <td>プルトニウム濃縮液受槽<sup>*19</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>リサイクル槽</td> <td>リサイクル槽<sup>*19</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>希釈槽</td> <td>希釈槽<sup>*18</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液一時貯槽</td> <td>プルトニウム濃縮液一時貯槽<sup>*17</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液計量槽</td> <td>プルトニウム濃縮液計量槽<sup>*17</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液中間貯槽</td> <td>プルトニウム濃縮液中間貯槽<sup>*16</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> </tr> <tr> <td>名称<sup>①</sup></td> <td>変更前<sup>①</sup> 硝酸プルトニウム貯槽</td> <td>変更後<sup>①</sup> 硝酸プルトニウム貯槽<sup>①</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称<sup>②</sup></td> <td>変更前<sup>②</sup> 混合槽</td> <td>変更後<sup>②</sup> 混合槽<sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table>		変更前	変更後	名称	プルトニウム濃縮缶供給槽	プルトニウム濃縮缶供給槽 <sup>*20</sup>	(中略)			名称	プルトニウム溶液一時貯槽	プルトニウム溶液一時貯槽 <sup>*17</sup>	(中略)			名称	プルトニウム濃縮缶	プルトニウム濃縮缶	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液受槽	プルトニウム濃縮液受槽 <sup>*19</sup>	(中略)			名称	リサイクル槽	リサイクル槽 <sup>*19</sup>	(中略)			名称	希釈槽	希釈槽 <sup>*18</sup>	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液一時貯槽	プルトニウム濃縮液一時貯槽 <sup>*17</sup>	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液計量槽	プルトニウム濃縮液計量槽 <sup>*17</sup>	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液中間貯槽	プルトニウム濃縮液中間貯槽 <sup>*16</sup>	(中略)			ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋			名称 <sup>①</sup>	変更前 <sup>①</sup> 硝酸プルトニウム貯槽	変更後 <sup>①</sup> 硝酸プルトニウム貯槽 <sup>①</sup>	(中略)			名称 <sup>②</sup>	変更前 <sup>②</sup> 混合槽	変更後 <sup>②</sup> 混合槽 <sup>②</sup>	(中略)				
	変更前	変更後																																																																										
名称	プルトニウム濃縮缶供給槽	プルトニウム濃縮缶供給槽 <sup>*20</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	プルトニウム溶液一時貯槽	プルトニウム溶液一時貯槽 <sup>*17</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	プルトニウム濃縮缶	プルトニウム濃縮缶																																																																										
(中略)																																																																												
名称	プルトニウム濃縮液受槽	プルトニウム濃縮液受槽 <sup>*19</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	リサイクル槽	リサイクル槽 <sup>*19</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	希釈槽	希釈槽 <sup>*18</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	プルトニウム濃縮液一時貯槽	プルトニウム濃縮液一時貯槽 <sup>*17</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	プルトニウム濃縮液計量槽	プルトニウム濃縮液計量槽 <sup>*17</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称	プルトニウム濃縮液中間貯槽	プルトニウム濃縮液中間貯槽 <sup>*16</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋																																																																												
名称 <sup>①</sup>	変更前 <sup>①</sup> 硝酸プルトニウム貯槽	変更後 <sup>①</sup> 硝酸プルトニウム貯槽 <sup>①</sup>																																																																										
(中略)																																																																												
名称 <sup>②</sup>	変更前 <sup>②</sup> 混合槽	変更後 <sup>②</sup> 混合槽 <sup>②</sup>																																																																										
(中略)																																																																												

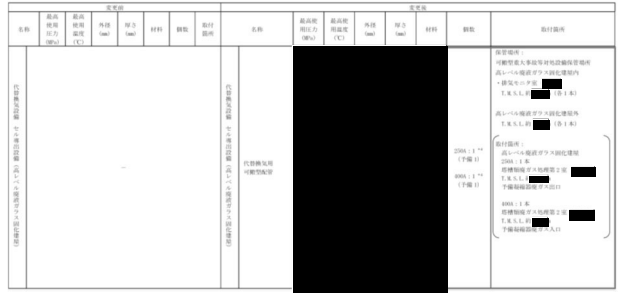
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																										
		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 一時貯槽</td> <td>変更後 一時貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル廃液共用貯槽</td> <td>変更後 高レベル廃液共用貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 高レベル廃液混合槽</td> <td>変更後 高レベル廃液混合槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 供給液槽</td> <td>変更後 供給液槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 供給槽</td> <td>変更後 供給槽</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table>	名称	変更前 一時貯槽	変更後 一時貯槽	(中略)			名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	(中略)			名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	(中略)			名称	変更前 高レベル廃液共用貯槽	変更後 高レベル廃液共用貯槽	(中略)			名称	変更前 高レベル廃液混合槽	変更後 高レベル廃液混合槽	(中略)			名称	変更前 供給液槽	変更後 供給液槽	(中略)			名称	変更前 供給槽	変更後 供給槽	(中略)				
名称	変更前 一時貯槽	変更後 一時貯槽																																												
(中略)																																														
名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽																																												
(中略)																																														
名称	変更前 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	変更後 第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽																																												
(中略)																																														
名称	変更前 高レベル廃液共用貯槽	変更後 高レベル廃液共用貯槽																																												
(中略)																																														
名称	変更前 高レベル廃液混合槽	変更後 高レベル廃液混合槽																																												
(中略)																																														
名称	変更前 供給液槽	変更後 供給液槽																																												
(中略)																																														
名称	変更前 供給槽	変更後 供給槽																																												
(中略)																																														

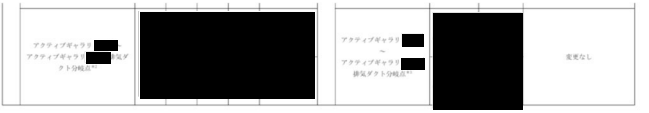

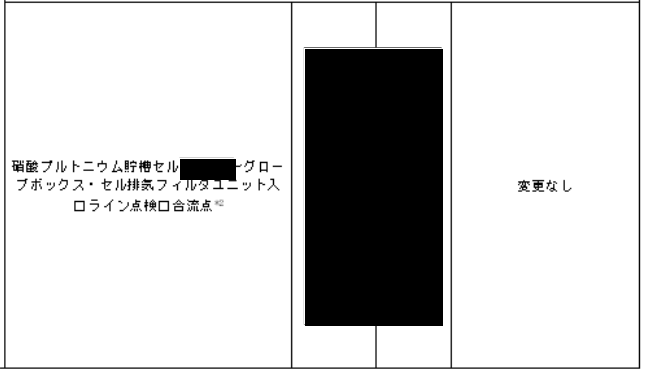

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>[可搬型重大事故等対処設備]                      〔(1) (i) (b) (イ)-115〕                      可搬型建屋内ホース 1 式</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]                      a. 可搬型建屋内ホース                      数 量 1 式</p>	<p>〔(1) (i) (b) (イ)-115〕                      前処理建屋</p>  <p>精製建屋</p>  <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> 	<p>設工認の〔(1) (i) (b) (イ)-115〕は、事業変更許可申請書（本文）の〔(1) (i) (b) (イ)-115〕を具体的に記載しており整合している。</p>	


事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-116 前処理建屋の可搬型ダクト 1 式</p>	<p>b. 前処理建屋の可搬型ダクト 数 量 1 式</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-116 前処理建屋</p> 	<p>設工認のト ト(1)(i)(b)(イ)-116 は、事業変更許可申請書（本文）のト ト(1)(i)(b)(イ)-116 を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-117 分離建屋の可搬型配管 1 式</p>	<p>c. 分離建屋の可搬型配管 数 量 1 式</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-117 分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 346 2151 630"> <thead> <tr> <th colspan="5">実定品</th> <th colspan="5">実定品</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1. 最大使用圧力における使用時の値を示す。          ※ 2. 実定品による検査値と許容値の差を示す。          ※ 3. 1/2インチ以下は規定寸法を示す。          ※ 4. 1/2インチ以下は、公称寸法として一般実定品の規格及び基準に適合するものとして、使用材料の特性を踏まえ、最大使用圧力における使用寸法及び使用温度の両者が満たされた状態において使用可能であることを示す。          ※ 5. 必要事項は示す。</p>	実定品					実定品					名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)											<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-117は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-117を具体的に記載しており整合している。</p>	
実定品					実定品																													
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)																									

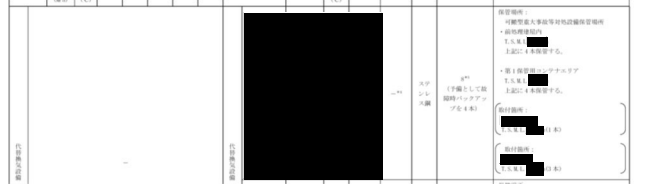
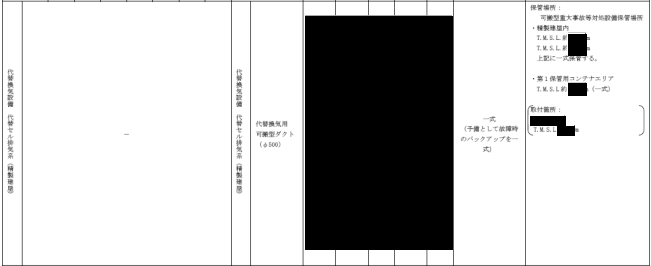
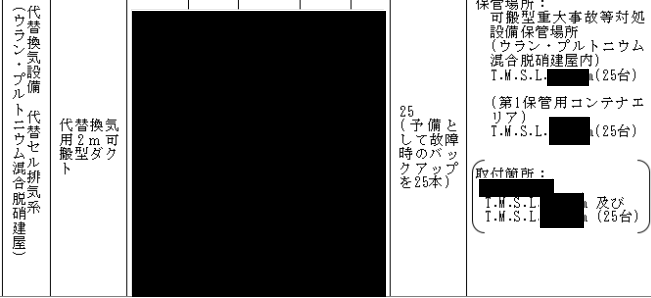
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(1) (i) (b) (イ)-118 高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管 1 式</p>	<p>d. 高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管 数 量 1 式</p>	<p>(1) (i) (b) (イ)-118 高レベル廃液ガラス固化建屋</p> 	<p>設工認のト (1) (i) (b) (イ)-118 は、事業変更許可申請書（本文）のト (1) (i) (b) (イ)-118を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>2) 代替セル排気系                      [常設重大事故等対処設備]                      ト(1)(i)(b)(イ)-119                      ダクト・ダンパ（設計基準対象の施設と兼用（第3表(3)））5 系列</p>	<p>(2) 代替セル排気系                      [常設重大事故等対処設備]                      ト(1)(i)(b)(イ)-119                      a. ダクト・ダンパ（設計基準対象の施設と兼用（第7.2-38図））                      数 量 5 系列</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-119                      前処理建屋</p>  <p>(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 562 2142 940"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローブボックス・セル排気フィルタユニット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グローブボックス・セル排気フィルタユニット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p>  <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>  <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 1 系列</p> 	変更前					変更後					名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (mm)	グローブボックス・セル排気フィルタユニット					グローブボックス・セル排気フィルタユニット					<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-119は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-119を具体的に記載しており整合している。</p>	
変更前					変更後																													
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (mm)																									
グローブボックス・セル排気フィルタユニット					グローブボックス・セル排気フィルタユニット																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-120 前処理建屋の主排気筒へ排出するユニット ト1 系列</p>	<p>b. 前処理建屋の主排気筒へ排出するユニット 数 量 1 系列</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-120 前処理建屋                        (中略)</p>	<p>設工認のト                      (1)(i)(b)(イ)-120                      は、事業変更許可申請書（本文）のト                      (1)(i)(b)(イ)-120を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-121 「冷却機能の喪失による蒸発乾固の発生を仮定する機器」（設計基準対象の施設と兼用（第3表(1)））53基</p>	<p>c. 「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器（設計基準対象の施設と兼用）（第7.2-31表(2)） 基 数 53基</p>	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-113と同じ。</p>	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-113は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-121を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-122  「放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器」（設計基準対象の施設と兼用（第4表(1)））49基</p>	<p>d. 「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器（設計基準対象の施設と兼用）（第7.2-31表(3)）  基数 49基</p>	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-114と同じ</p>	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-114は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-122を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																
<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>ト(1)(i)(b)(イ)-123</p> <p>可搬型ダクト 1 式</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>a. 可搬型ダクト</p> <p style="text-align: center;">数 量 1 式</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-123</p> <p>前処理建屋</p>  <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 600 2145 877"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外形寸法 (mm)</th> <th>材質</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>取付場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替機用可搬型ダクト (400)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>一式 (予備として故障時のバックアップを25本)</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p>  <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>  <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p>	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外形寸法 (mm)	材質	数量	単位	取付場所	代替機用可搬型ダクト (400)							一式 (予備として故障時のバックアップを25本)	<p>設工認のト</p> <p>(1)(i)(b)(イ)-123</p> <p>は、事業変更許可申請書 (本文) のト</p> <p>(1)(i)(b)(イ)-123</p> <p>を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外形寸法 (mm)	材質	数量	単位	取付場所													
代替機用可搬型ダクト (400)							一式 (予備として故障時のバックアップを25本)													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更品</th> <th colspan="6">変更品</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>品名</th> <th>規格</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単位</th> <th>名称</th> <th>品名</th> <th>規格</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）変更品は、同一品名・同一規格・同一数量の場合、1行で記載する。</p> <p>（注）変更品は、同一品名・同一規格・同一数量の場合、1行で記載する。</p> <p>（注）変更品は、同一品名・同一規格・同一数量の場合、1行で記載する。</p>	変更品						変更品						名称	品名	規格	数量	単位	単位	名称	品名	規格	数量	単位	単位														
変更品						変更品																																		
名称	品名	規格	数量	単位	単位	名称	品名	規格	数量	単位	単位																													



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																						
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-124                      可搬型フィルタ 20 基（予備として故障時バックアップを 10 基）                      粒子除去効率 99.9 %以上（0.3μmDOP 粒子）／段</p>	<p>b. 可搬型フィルタ                      種類 高性能粒子フィルタ                      基数 20（予備として故障時のバックアップを10基）                      粒子除去効率 99.9%以上（0.3μmDOP 粒子）／段                      容量 約2,500m<sup>3</sup>／h／基</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-124                      前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 363 2131 814"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>可搬型フィルタ [Redacted]</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>総合*2</td> <td>%</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4(予備として故障時のバックアップを2個)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 926 2131 1419"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>可搬型フィルタ [Redacted]</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ(可搬式)</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率*2</td> <td>単品</td> <td>%</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>%</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td>[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4(予備として故障時のバックアップを2個)</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前	変更後	種類	—		可搬型フィルタ [Redacted]	最高使用圧力	MPa		高性能粒子フィルタ	最高使用温度	℃		[Redacted]	容量	m <sup>3</sup> /h/個		[Redacted]	効率	単品	%	[Redacted]	総合*2	%	[Redacted]	主要寸法	吸込口径	mm	[Redacted]	吐出口径	mm	[Redacted]	たて	mm	[Redacted]	横	mm	[Redacted]	主要材料	ケーシング	—	[Redacted]	ろ材	—	[Redacted]	個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)	名称		変更前	変更後	種類	—		可搬型フィルタ [Redacted]	最高使用圧力	Pa		高性能粒子フィルタ(可搬式)	最高使用温度	℃		[Redacted]	容量	m <sup>3</sup> /h/個		[Redacted]	効率*2	単品	%	[Redacted]	総合	%	[Redacted]	主要寸法	吸込口径	mm	[Redacted]	吐出口径	mm	[Redacted]	胴内径	mm	[Redacted]	たて	mm	[Redacted]	主要材料	ケーシング	—	[Redacted]	ろ材	—	[Redacted]	個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)	<p>設工認のト                      (1)(i)(b)(イ)-124                      は、事業変更許可申請書（本文）のト                      (1)(i)(b)(イ)-124                      を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																																							
種類	—		可搬型フィルタ [Redacted]																																																																																																							
最高使用圧力	MPa		高性能粒子フィルタ																																																																																																							
最高使用温度	℃		[Redacted]																																																																																																							
容量	m <sup>3</sup> /h/個		[Redacted]																																																																																																							
効率	単品	%	[Redacted]																																																																																																							
	総合*2	%	[Redacted]																																																																																																							
主要寸法	吸込口径	mm	[Redacted]																																																																																																							
	吐出口径	mm	[Redacted]																																																																																																							
	たて	mm	[Redacted]																																																																																																							
	横	mm	[Redacted]																																																																																																							
主要材料	ケーシング	—	[Redacted]																																																																																																							
	ろ材	—	[Redacted]																																																																																																							
個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)																																																																																																							
名称		変更前	変更後																																																																																																							
種類	—		可搬型フィルタ [Redacted]																																																																																																							
最高使用圧力	Pa		高性能粒子フィルタ(可搬式)																																																																																																							
最高使用温度	℃		[Redacted]																																																																																																							
容量	m <sup>3</sup> /h/個		[Redacted]																																																																																																							
効率*2	単品	%	[Redacted]																																																																																																							
	総合	%	[Redacted]																																																																																																							
主要寸法	吸込口径	mm	[Redacted]																																																																																																							
	吐出口径	mm	[Redacted]																																																																																																							
	胴内径	mm	[Redacted]																																																																																																							
	たて	mm	[Redacted]																																																																																																							
主要材料	ケーシング	—	[Redacted]																																																																																																							
	ろ材	—	[Redacted]																																																																																																							
個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)																																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																	
		<p>精製建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>可搬型フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ（可搬式）</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td></td> <td rowspan="10" style="background-color: black; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;">                     [Redacted]                 </td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>総合<sup>※2</sup></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ろ材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4(予備として故障時のバックアップを2個)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>可搬型フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td rowspan="10" style="background-color: black; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;">                     [Redacted]                 </td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>総合<sup>※2</sup></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4(予備として故障時のバックアップを2個)</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称			可搬型フィルタ	種類	—		高性能粒子フィルタ（可搬式）	最高使用圧力	Pa		[Redacted]	最高使用温度	℃		容量	m <sup>3</sup> /h/個		効率	単品	%	総合 <sup>※2</sup>	%	主要寸法	吸込口径	mm	吐出口径	mm	胴内径	mm	たて	mm	主要材料	横	mm	高さ	mm	ケーシング	—		ろ材	—	個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)			変更前	変更後	名称			可搬型フィルタ	種類	—		高性能粒子フィルタ	容量	m <sup>3</sup> /h/個		[Redacted]	最高使用圧力	kPa		最高使用温度	℃		効率	単品	%	総合 <sup>※2</sup>	%	主要寸法	吸込口径	mm	吐出口径	mm	たて	mm	横	mm	主要材料	高さ	mm	ケーシング	—	ろ材	—	個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)		
		変更前	変更後																																																																																																		
名称			可搬型フィルタ																																																																																																		
種類	—		高性能粒子フィルタ（可搬式）																																																																																																		
最高使用圧力	Pa		[Redacted]																																																																																																		
最高使用温度	℃																																																																																																				
容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																				
効率	単品	%																																																																																																			
	総合 <sup>※2</sup>	%																																																																																																			
主要寸法	吸込口径	mm																																																																																																			
	吐出口径	mm																																																																																																			
	胴内径	mm																																																																																																			
	たて	mm																																																																																																			
主要材料	横	mm																																																																																																			
	高さ	mm																																																																																																			
	ケーシング	—																																																																																																			
	ろ材	—																																																																																																			
個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																		
名称			可搬型フィルタ																																																																																																		
種類	—		高性能粒子フィルタ																																																																																																		
容量	m <sup>3</sup> /h/個		[Redacted]																																																																																																		
最高使用圧力	kPa																																																																																																				
最高使用温度	℃																																																																																																				
効率	単品	%																																																																																																			
	総合 <sup>※2</sup>	%																																																																																																			
主要寸法	吸込口径	mm																																																																																																			
	吐出口径	mm																																																																																																			
	たて	mm																																																																																																			
	横	mm																																																																																																			
主要材料	高さ	mm																																																																																																			
	ケーシング	—																																																																																																			
	ろ材	—																																																																																																			
個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2個)																																																																																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																										
		<p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>可搬型フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単品</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合*2</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4(予備として故障時のバックアップを2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>                     保管場所：                      ・高レベル廃液ガラス固化建屋内                      T.M.S.L. # [ ] (個)                      ・高レベル廃液ガラス固化建屋外コンテナ                      T.M.S.L. # [ ] (個)                      (取付箇所： [ ]                      T.M.S.L. # [ ] (個))                 </td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>[ ]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. # [ ]以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>[ ]</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. # [ ]以上</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称			可搬型フィルタ	種類	—		高性能粒子フィルタ	容量	m <sup>3</sup> /h/個			最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			効率	単品	%		総合*2	%		主要寸法	吸込口径	mm		吐出口径	mm		たて	mm		横	mm		主要材料	ケーシング	—		ろ材	—		個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2)	取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	設置床	—	保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋内 T.M.S.L. # [ ] (個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋外コンテナ T.M.S.L. # [ ] (個) (取付箇所： [ ] T.M.S.L. # [ ] (個))	溢水防護上の区画番号	—	[ ]	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. # [ ]以上	化学薬品防護上の区画番号	—	[ ]	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. # [ ]以上		
		変更前	変更後																																																																											
名称			可搬型フィルタ																																																																											
種類	—		高性能粒子フィルタ																																																																											
容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																													
最高使用圧力	MPa																																																																													
最高使用温度	℃																																																																													
効率	単品	%																																																																												
	総合*2	%																																																																												
主要寸法	吸込口径	mm																																																																												
	吐出口径	mm																																																																												
	たて	mm																																																																												
	横	mm																																																																												
主要材料	ケーシング	—																																																																												
	ろ材	—																																																																												
個数	—		4(予備として故障時のバックアップを2)																																																																											
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備																																																																											
	設置床	—	保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋内 T.M.S.L. # [ ] (個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋外コンテナ T.M.S.L. # [ ] (個) (取付箇所： [ ] T.M.S.L. # [ ] (個))																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	[ ]																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. # [ ]以上																																																																											
	化学薬品防護上の区画番号	—	[ ]																																																																											
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. # [ ]以上																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																												
<p>(1) (i) (b) (i)-125 可搬型排風機 11 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを6台） 容量 約 2,400 m<sup>3</sup>/h/台</p>	<p>c. 可搬型排風機 種類 遠心式 台数 11（予備として故障時及び待機除外時バックアップを6台） 容量 約2,400m<sup>3</sup>/h/台 主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>(1) (i) (b) (i)-125 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 367 2136 703"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>可搬型排風機</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td rowspan="5">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3(予備として故障時のバックアップを2個)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 808 2136 1165"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>可搬型排風機</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td rowspan="5">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3(予備として故障時のバックアップを2個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1239 2136 1627"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>可搬型排風機</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td rowspan="5">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3(予備として故障時のバックアップを1台)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	名称		変更前	変更後	種類		-	可搬型排風機	容量		m <sup>3</sup> /h/個	遠心式	主要寸法	吸込口径	mm	[Redacted]	吐出口径	mm	たて	mm	横	mm	高さ	mm	主要材料	ケーシング	-		個数	-	-	3(予備として故障時のバックアップを2個)	名称		変更前	変更後	種類		-	可搬型排風機	最高使用圧力		kPa	遠心式	最高使用温度		℃	[Redacted]	容量		m <sup>3</sup> /h/個	主要寸法	吸込口径	mm	吐出口径	mm	たて	mm	横	mm	高さ	mm	主要材料	ケーシング	-		個数	-	-	3(予備として故障時のバックアップを2個)	名称		変更前	変更後	種類		-	可搬型排風機	最高使用圧力		kPa	遠心式	最高使用温度		℃	[Redacted]	容量		m <sup>3</sup> /h/個	主要寸法	吸込口径	mm	吐出口径	mm	たて	mm	横	mm	高さ	mm	主要材料	ケーシング	-		個数	-	-	3(予備として故障時のバックアップを1台)	<p>設工認の [Redacted] (1) (i) (b) (i)-125 は、事業変更許可申請書（本文）の [Redacted] (1) (i) (b) (i)-125 を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																																													
種類		-	可搬型排風機																																																																																																													
容量		m <sup>3</sup> /h/個	遠心式																																																																																																													
主要寸法	吸込口径	mm	[Redacted]																																																																																																													
	吐出口径	mm																																																																																																														
	たて	mm																																																																																																														
	横	mm																																																																																																														
	高さ	mm																																																																																																														
主要材料	ケーシング	-																																																																																																														
個数	-	-	3(予備として故障時のバックアップを2個)																																																																																																													
名称		変更前	変更後																																																																																																													
種類		-	可搬型排風機																																																																																																													
最高使用圧力		kPa	遠心式																																																																																																													
最高使用温度		℃	[Redacted]																																																																																																													
容量		m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																														
主要寸法	吸込口径	mm																																																																																																														
	吐出口径	mm																																																																																																														
	たて	mm																																																																																																														
	横	mm																																																																																																														
	高さ	mm																																																																																																														
主要材料	ケーシング	-																																																																																																														
個数	-	-	3(予備として故障時のバックアップを2個)																																																																																																													
名称		変更前	変更後																																																																																																													
種類		-	可搬型排風機																																																																																																													
最高使用圧力		kPa	遠心式																																																																																																													
最高使用温度		℃	[Redacted]																																																																																																													
容量		m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																														
主要寸法	吸込口径	mm																																																																																																														
	吐出口径	mm																																																																																																														
	たて	mm																																																																																																														
	横	mm																																																																																																														
	高さ	mm																																																																																																														
主要材料	ケーシング	-																																																																																																														
個数	-	-	3(予備として故障時のバックアップを1台)																																																																																																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																								
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">排風機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型排風機</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2(予備として故障時のバックアップを1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">排風機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型排風機</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td></td> <td>代替換気設備</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> <td>保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋内 T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋外保管庫 T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個)  (取付箇所： [ ] T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個))</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>[ ]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>[ ]</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配管が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">原動機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kw/個</td> <td>[ ]</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td>可搬型排風機と同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	排風機	名称		可搬型排風機	種類	-	遠心式	容量	m <sup>3</sup> /h/個		最高使用圧力	kPa		最高使用温度	℃		主要寸法	吸込口径	mm		吐出口径	mm		たて	mm		横	mm		高さ	mm		主要材料	ケーシング	-		個数	-		2(予備として故障時のバックアップを1個)			変更前	変更後	排風機	名称		可搬型排風機	種類	-	遠心式	容量	m <sup>3</sup> /h/個		主要寸法	吸込口径	mm		吐出口径	mm		たて	mm		横	mm		高さ	mm		主要材料	ケーシング	-		個数	-		2(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを1)	系統名(ライン名)	-		代替換気設備	取付箇所	-		保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋内 T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋外保管庫 T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個)  (取付箇所： [ ] T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個))	溢水防護上の区画番号	-	-	[ ]	溢水防護上の配管が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. [ ] 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	-	[ ]	化学薬品防護上の配管が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. [ ] 以上	原動機	種類	-	誘導電動機	出力	kw/個	[ ]	個数	-	1	取付箇所			可搬型排風機と同じ		
		変更前	変更後																																																																																																																									
排風機	名称		可搬型排風機																																																																																																																									
	種類	-	遠心式																																																																																																																									
	容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																																										
	最高使用圧力	kPa																																																																																																																										
	最高使用温度	℃																																																																																																																										
	主要寸法	吸込口径	mm																																																																																																																									
		吐出口径	mm																																																																																																																									
		たて	mm																																																																																																																									
		横	mm																																																																																																																									
		高さ	mm																																																																																																																									
主要材料	ケーシング	-																																																																																																																										
個数	-		2(予備として故障時のバックアップを1個)																																																																																																																									
		変更前	変更後																																																																																																																									
排風機	名称		可搬型排風機																																																																																																																									
	種類	-	遠心式																																																																																																																									
	容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																																										
	主要寸法	吸込口径	mm																																																																																																																									
		吐出口径	mm																																																																																																																									
		たて	mm																																																																																																																									
		横	mm																																																																																																																									
		高さ	mm																																																																																																																									
	主要材料	ケーシング	-																																																																																																																									
	個数	-		2(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを1)																																																																																																																								
系統名(ライン名)	-		代替換気設備																																																																																																																									
取付箇所	-		保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋内 T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋外保管庫 T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個)  (取付箇所： [ ] T.M.S.L. 第 [ ] 号 (1個))																																																																																																																									
溢水防護上の区画番号	-	-	[ ]																																																																																																																									
溢水防護上の配管が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																																																									
化学薬品防護上の区画番号	-	-	[ ]																																																																																																																									
化学薬品防護上の配管が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																																																									
原動機	種類	-	誘導電動機																																																																																																																									
	出力	kw/個	[ ]																																																																																																																									
	個数	-	1																																																																																																																									
	取付箇所			可搬型排風機と同じ																																																																																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																										
<p>ト(1)(i)(b)(イ)-126                      高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型デミスタ 8 基                      （予備として故障時バックアップを 4 基）</p>	<p>d. 高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型デミスタ                      基数 8（予備として故障時のバックアップを 4 基）                      容量 約2,400m<sup>3</sup>/h/基                      主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>ト(1)(i)(b)(イ)-126                      高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1531 359 2139 678"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>可搬型デミスタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>金属フィルタ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/基</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>メッシュパッド</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>8(予備として故障時のバックアップを4)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（中略）</p>			変更前	変更後	名称			可搬型デミスタ	種類		—	金属フィルタ	容量		m <sup>3</sup> /h/基		最高使用圧力		MPa		最高使用温度		℃		主要寸法	たて	mm		横	mm		高さ	mm		主要材料	メッシュパッド	—		個数	—		8(予備として故障時のバックアップを4)	<p>設工認のト(1)(i)(b)(イ)-126                      は、事業変更許可申請書（本文）のト(1)(i)(b)(イ)-126                      を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																											
名称			可搬型デミスタ																																											
種類		—	金属フィルタ																																											
容量		m <sup>3</sup> /h/基																																												
最高使用圧力		MPa																																												
最高使用温度		℃																																												
主要寸法	たて	mm																																												
	横	mm																																												
	高さ	mm																																												
主要材料	メッシュパッド	—																																												
個数	—		8(予備として故障時のバックアップを4)																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																
<p>(ロ) 廃ガス貯留設備</p> <p>1) 廃ガス貯留設備（前処理建屋用）</p> <p>ト. (1) (ii) (b) (ロ)-1 廃ガス貯留設備の隔離弁 4 基（2 基／系列× 2 系列）</p> <p>材料 ステンレス鋼</p> <p>廃ガス貯留設備の空気圧縮機 2 台</p> <p>吐出圧力 約 0.5 MP a [gage]</p> <p>容量 約 50 m<sup>3</sup> / h [normal] / 台</p> <p>廃ガス貯留設備の逆止弁 1 基</p> <p>材料 ステンレス鋼</p> <p>廃ガス貯留設備の廃ガス貯留槽 1 式</p> <p>材料 ステンレス鋼</p> <p>容量 約 10 m<sup>3</sup></p> <p>廃ガス貯留設備の配管・弁 1 系列</p> <p>材料 ステンレス鋼</p>		<p>前処理建屋</p> <p>ト. (1) (ii) (b) (ロ)-1</p> <table border="1" data-bbox="1546 359 2119 449"> <tr><td>名称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td></td><td>-</td><td>主要弁</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 491 2119 688"> <tr><td>名称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>-</td><td>空気圧縮機</td></tr> <tr><td>容量</td><td>m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td><td>軸封遠心式</td></tr> <tr><td>吐出圧力</td><td>MPa</td><td></td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 741 2119 842"> <tr><td>名称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>-</td><td>逆止め弁</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 888 2119 1499"> <tr><td>名称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>-</td><td>廃ガス貯留槽</td></tr> <tr><td>容量</td><td>m<sup>3</sup>/個</td><td>たて置円筒形</td></tr> <tr><td>最高使用圧力</td><td>MPa</td><td></td></tr> <tr><td>最高使用温度</td><td>℃</td><td></td></tr> <tr><td>胴内径</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>胴板厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>鏡板厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>鏡板長径</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>鏡板短径の2分の1</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>廃ガス入口/出口管台外径*2</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>廃ガス入口/出口管台厚さ*2</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>マンホール管台外径*3</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>マンホール管台厚さ*3</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>マンホール平板厚さ*3</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>高さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>胴板</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td>鏡板</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td>マンホール平板</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td>個数</td><td>-</td><td></td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1541 2119 1631"> <tr><td>名称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td></td><td>-</td><td>主要弁</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1673 2119 1801"> <tr><td>名称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td></td><td>主要弁</td><td>主要弁</td></tr> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前	変更後		-	主要弁	名称	変更前	変更後	種類	-	空気圧縮機	容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]	軸封遠心式	吐出圧力	MPa		名称	変更前	変更後	種類	-	逆止め弁	名称	変更前	変更後	種類	-	廃ガス貯留槽	容量	m <sup>3</sup> /個	たて置円筒形	最高使用圧力	MPa		最高使用温度	℃		胴内径	mm		胴板厚さ	mm		鏡板厚さ	mm		鏡板長径	mm		鏡板短径の2分の1	mm		廃ガス入口/出口管台外径*2	mm		廃ガス入口/出口管台厚さ*2	mm		マンホール管台外径*3	mm		マンホール管台厚さ*3	mm		マンホール平板厚さ*3	mm		高さ	mm		胴板	-		鏡板	-		マンホール平板	-		個数	-		名称	変更前	変更後		-	主要弁	名称	変更前	変更後		主要弁	主要弁	<p>設工認の</p> <p>ト. (1) (ii) (b) (ロ)-1</p> <p>は、事業変更許可申請書（本文）の</p> <p>ト. (1) (ii) (b) (ロ)-1</p> <p>と同義であり整合している。</p>	
名称	変更前	変更後																																																																																																		
	-	主要弁																																																																																																		
名称	変更前	変更後																																																																																																		
種類	-	空気圧縮機																																																																																																		
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]	軸封遠心式																																																																																																		
吐出圧力	MPa																																																																																																			
名称	変更前	変更後																																																																																																		
種類	-	逆止め弁																																																																																																		
名称	変更前	変更後																																																																																																		
種類	-	廃ガス貯留槽																																																																																																		
容量	m <sup>3</sup> /個	たて置円筒形																																																																																																		
最高使用圧力	MPa																																																																																																			
最高使用温度	℃																																																																																																			
胴内径	mm																																																																																																			
胴板厚さ	mm																																																																																																			
鏡板厚さ	mm																																																																																																			
鏡板長径	mm																																																																																																			
鏡板短径の2分の1	mm																																																																																																			
廃ガス入口/出口管台外径*2	mm																																																																																																			
廃ガス入口/出口管台厚さ*2	mm																																																																																																			
マンホール管台外径*3	mm																																																																																																			
マンホール管台厚さ*3	mm																																																																																																			
マンホール平板厚さ*3	mm																																																																																																			
高さ	mm																																																																																																			
胴板	-																																																																																																			
鏡板	-																																																																																																			
マンホール平板	-																																																																																																			
個数	-																																																																																																			
名称	変更前	変更後																																																																																																		
	-	主要弁																																																																																																		
名称	変更前	変更後																																																																																																		
	主要弁	主要弁																																																																																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																
<p>2) 廃ガス貯留設備（精製建屋用）            〔ト. (1) (ii) (b) (ロ)-2〕 廃ガス貯留設備の隔離弁 2 基            材料 ステンレス鋼            廃ガス貯留設備の空気圧縮機 3 台            吐出圧力 約 0.5 MPa [gage]            容量約 50 m<sup>3</sup>/h [normal] / 台            廃ガス貯留設備の逆止弁 1 基            材料 ステンレス鋼            廃ガス貯留設備の廃ガス貯留槽 1 式            材料 ステンレス鋼            容量 約 21 m<sup>3</sup>            廃ガス貯留設備の配管・弁 1 系列            材料 ステンレス鋼</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">安全弁</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">主要弁</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <p>精製建屋〔ト. (1) (ii) (b) (ロ)-2〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">主要弁</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">止め弁</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>呼び径</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>弁箱厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>弁箱</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">空気圧縮機</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">軸封遠心式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td style="text-align: center;">m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">主要弁</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">逆止め弁</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>呼び径</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>弁箱厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>弁箱</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">廃ガス貯留槽</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td style="text-align: center;">m<sup>3</sup>/個</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更前</td> <td style="text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table>	変更前		変更後	名称		安全弁	(中略)			変更前		変更後	名称		主要弁	(中略)			変更前		変更後	名称		主要弁	種類	-	止め弁	最高使用圧力	MPa	-	最高使用温度	℃	-	主要寸法	呼び径	-	弁箱厚さ	mm	主要材料	弁箱	-	(中略)			変更前		変更後	名称		空気圧縮機	種類	-	軸封遠心式	容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]	-	吐出圧力	MPa	-	(中略)			変更前		変更後	名称		主要弁	種類	-	逆止め弁	最高使用圧力	MPa	-	最高使用温度	℃	-	主要寸法	呼び径	-	弁箱厚さ	mm	主要材料	弁箱	-	(中略)			変更前		変更後	名称		廃ガス貯留槽	種類	-	たて置円筒形	容量	m <sup>3</sup> /個	-	(中略)			変更前		変更後	名称		-	(中略)			<p>設工認の            〔ト. (1) (ii) (b) (ロ)-2〕            は、事業変更許可申請書（本文）の            〔ト. (1) (ii) (b) (ロ)-2〕            と同義であり整合している。</p>	
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		安全弁																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		主要弁																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		主要弁																																																																																																																		
種類	-	止め弁																																																																																																																		
最高使用圧力	MPa	-																																																																																																																		
最高使用温度	℃	-																																																																																																																		
主要寸法	呼び径	-																																																																																																																		
	弁箱厚さ	mm																																																																																																																		
主要材料	弁箱	-																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		空気圧縮機																																																																																																																		
種類	-	軸封遠心式																																																																																																																		
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]	-																																																																																																																		
吐出圧力	MPa	-																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		主要弁																																																																																																																		
種類	-	逆止め弁																																																																																																																		
最高使用圧力	MPa	-																																																																																																																		
最高使用温度	℃	-																																																																																																																		
主要寸法	呼び径	-																																																																																																																		
	弁箱厚さ	mm																																																																																																																		
主要材料	弁箱	-																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		廃ガス貯留槽																																																																																																																		
種類	-	たて置円筒形																																																																																																																		
容量	m <sup>3</sup> /個	-																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				
変更前		変更後																																																																																																																		
名称		-																																																																																																																		
(中略)																																																																																																																				



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
<p>3) せん断処理・溶解廃ガス処理設備            ト. (1) (ii) (b) (ロ)-3 凝縮器（「ト. (1) (ii) (a) (イ) せん断処理・溶解廃ガス処理設備」と兼用）            高性能粒子フィルタ（「ト. (1) (ii) (a) (イ) せん断処理・溶解廃ガス処理設備」と兼用）            排風機（「ト. (1) (ii) (a) (イ) せん断処理・溶解廃ガス処理設備」と兼用）            隔離弁（「ト. (1) (ii) (a) (イ) せん断処理・溶解廃ガス処理設備」と兼用） 6 基            材料 ステンレス鋼            主配管・弁（「ト. (1) (ii) (a) (イ) せん断処理・溶解廃ガス処理設備」と兼用）            3 系列            材料 ステンレス鋼</p>		<p>前処理建屋 ト. (1) (ii) (b) (ロ)-3</p> <table border="1" data-bbox="1537 325 2122 420"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>排風機</td> <td>排風機</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 472 2122 808"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>第1高性能粒子フィルタ</td> <td>第1高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*4</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒子除去効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 850 2122 1186"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>第2高性能粒子フィルタ</td> <td>第2高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*4</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個 [normal]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒子除去効率</td> <td>%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1207 2122 1260"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>		変更前	変更後	名称	排風機	排風機		変更前	変更後	名称	第1高性能粒子フィルタ	第1高性能粒子フィルタ	種類	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		最高使用圧力*4	kPa		最高使用温度	℃		容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]		粒子除去効率	%			変更前	変更後	名称	第2高性能粒子フィルタ	第2高性能粒子フィルタ	種類	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		最高使用圧力*4	kPa		最高使用温度	℃		容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]		粒子除去効率	%			変更前	変更後	名称			<p>設工認の            ト. (1) (ii) (b) (ロ)-3            は、事業変更許可申請書（本文）の            ト. (1) (ii) (b) (ロ)-3            と同義であり整合している。</p>	
	変更前	変更後																																																								
名称	排風機	排風機																																																								
	変更前	変更後																																																								
名称	第1高性能粒子フィルタ	第1高性能粒子フィルタ																																																								
種類	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)																																																									
最高使用圧力*4	kPa																																																									
最高使用温度	℃																																																									
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]																																																									
粒子除去効率	%																																																									
	変更前	変更後																																																								
名称	第2高性能粒子フィルタ	第2高性能粒子フィルタ																																																								
種類	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)																																																									
最高使用圧力*4	kPa																																																									
最高使用温度	℃																																																									
容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal]																																																									
粒子除去効率	%																																																									
	変更前	変更後																																																								
名称																																																										

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
<p>4) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備 塔槽類廃ガス処理系（プルトリウム系）  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-4</span>                      凝縮器（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用）                      高性能粒子フィルタ（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用）                      排風機（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用）                      隔離弁（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用） 2基                      材料 ステンレス鋼                      廃ガスポット（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用） 1基                      材料 ステンレス鋼                      主配管・弁（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 3) 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用） 1系列                      材料 ステンレス鋼</p>		<p>精製建屋 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-4</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">凝縮器</td> <td style="text-align: center;">凝縮器<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">第1, 第2高性能粒子フィルタ</td> <td style="text-align: center;">第1, 第2高性能粒子フィルタ</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">排風機<sup>#3</sup></td> <td style="text-align: center;">排風機<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">主要弁<sup>#3</sup></td> <td style="text-align: center;">主要弁<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">主要弁<sup>#3</sup></td> <td style="text-align: center;">主要弁<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">廃ガスポット</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更前</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">変更後</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">隔離弁<sup>#3</sup></td> <td style="text-align: center;">隔離弁<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </table>		変更前	変更後	名称	凝縮器	凝縮器 <sup>#1</sup>	(中略)				変更前	変更後	名称	第1, 第2高性能粒子フィルタ	第1, 第2高性能粒子フィルタ	(中略)				変更前	変更後	名称	排風機 <sup>#3</sup>	排風機 <sup>#1</sup>	(中略)				変更前	変更後	名称	主要弁 <sup>#3</sup>	主要弁 <sup>#1</sup>	(中略)				変更前	変更後	名称	主要弁 <sup>#3</sup>	主要弁 <sup>#1</sup>	(中略)				変更前	変更後	名称		廃ガスポット	(中略)				変更前	変更後	名称	隔離弁 <sup>#3</sup>	隔離弁 <sup>#1</sup>	(中略)			<p>設工認の  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-4</span>                      は、事業変更許可申請書（本文）の  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-4</span>                      と同義であり整合している。</p>	
	変更前	変更後																																																																	
名称	凝縮器	凝縮器 <sup>#1</sup>																																																																	
(中略)																																																																			
	変更前	変更後																																																																	
名称	第1, 第2高性能粒子フィルタ	第1, 第2高性能粒子フィルタ																																																																	
(中略)																																																																			
	変更前	変更後																																																																	
名称	排風機 <sup>#3</sup>	排風機 <sup>#1</sup>																																																																	
(中略)																																																																			
	変更前	変更後																																																																	
名称	主要弁 <sup>#3</sup>	主要弁 <sup>#1</sup>																																																																	
(中略)																																																																			
	変更前	変更後																																																																	
名称	主要弁 <sup>#3</sup>	主要弁 <sup>#1</sup>																																																																	
(中略)																																																																			
	変更前	変更後																																																																	
名称		廃ガスポット																																																																	
(中略)																																																																			
	変更前	変更後																																																																	
名称	隔離弁 <sup>#3</sup>	隔離弁 <sup>#1</sup>																																																																	
(中略)																																																																			

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																												
<p>5) 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-5</span>                      主配管（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 1」前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用）                      1 系列                      材料 ステンレス鋼</p> <p>6) ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-6</span>                      主配管（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 5」ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用） 1 系列                      材料 ステンレス鋼</p> <p>7) 高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-7</span>                      主配管（「ト. (1) (ii) (a) (ロ) 6」高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備」と兼用） 1 系列                      材料 ステンレス鋼</p>		<p>前処理建屋<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-5</span></p> <table border="1" data-bbox="1537 323 2119 436"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主材料</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-6</span></p> <table border="1" data-bbox="1537 541 2119 772"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主材料</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-7</span></p> <table border="1" data-bbox="1537 848 2119 1033"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主材料</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>主材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	変更前						変更後						名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管						前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管					変更なし	変更前						変更後						名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管						ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管					変更なし	変更前						変更後						名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管						高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管					変更なし	<p>設工認の  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-5,</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6, 7</span>は、事業変更許可申請書（本文）の  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (1) (ii) (b) (ロ)-5,</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6, 7</span>と同義であり整合している。</p>	
変更前						変更後																																																																																																										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料																																																																																																					
前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管						前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管					変更なし																																																																																																					
変更前						変更後																																																																																																										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料																																																																																																					
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管						ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管					変更なし																																																																																																					
変更前						変更後																																																																																																										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主材料																																																																																																					
高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管						高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備主配管					変更なし																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																					
<p>8) 精製建屋換気設備「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8」セル排気フィルタユニット（「ト. (1) (ii) (a) (ニ) 5」精製建屋換気設備」と兼用）            グローブボックス・セル排風機（「ト. (1) (ii) (a) (ニ) 5」精製建屋換気設備」と兼用）            ダクト（「ト. (1) (ii) (a) (ニ) 5」精製建屋換気設備」と兼用） 1 系列</p> <p>9) ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-9」ダクト（「ト. (1) (ii) (a) (ニ) 7」ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備」と兼用） 1 系列</p>		<p>精製建屋「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8」</p> <table border="1" data-bbox="1573 325 2136 451"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 セル排気フィルタユニット</td> <td>変更後 セル排気フィルタユニット</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1573 514 2136 640"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 グローブボックス・セル排風機</td> <td>変更後 グローブボックス・セル排風機</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1573 661 2136 745"> <tr> <td>活層換気装置の清掃セル</td> <td>セル排気フィルタユニット</td> <td>変更なし</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1573 766 2136 850"> <tr> <td>活層換気装置の清掃セル</td> <td>セル排気フィルタユニット</td> <td>変更なし</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1573 871 2136 955"> <tr> <td>グローブボックス・セル排風機</td> <td>セル排気フィルタユニット</td> <td>変更なし</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1573 997 2136 1081"> <tr> <td>精製建屋換気設備「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8」セル排気フィルタユニット</td> <td>セル排気フィルタユニット</td> <td>変更なし</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-9」</p> <table border="1" data-bbox="1573 1165 2136 1228"> <tr> <td>精製建屋換気装置の清掃セル</td> <td>セル排気フィルタユニット</td> <td>変更なし</td> </tr> </table>	名称	変更前 セル排気フィルタユニット	変更後 セル排気フィルタユニット	名称	変更前 グローブボックス・セル排風機	変更後 グローブボックス・セル排風機	活層換気装置の清掃セル	セル排気フィルタユニット	変更なし	活層換気装置の清掃セル	セル排気フィルタユニット	変更なし	グローブボックス・セル排風機	セル排気フィルタユニット	変更なし	精製建屋換気設備「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8」セル排気フィルタユニット	セル排気フィルタユニット	変更なし	精製建屋換気装置の清掃セル	セル排気フィルタユニット	変更なし	<p>設工認の「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8, 9」は、事業変更許可申請書（本文）の「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8, 9」と同義であり整合している。</p>	
名称	変更前 セル排気フィルタユニット	変更後 セル排気フィルタユニット																							
名称	変更前 グローブボックス・セル排風機	変更後 グローブボックス・セル排風機																							
活層換気装置の清掃セル	セル排気フィルタユニット	変更なし																							
活層換気装置の清掃セル	セル排気フィルタユニット	変更なし																							
グローブボックス・セル排風機	セル排気フィルタユニット	変更なし																							
精製建屋換気設備「ト. (1) (ii) (b) (ロ)-8」セル排気フィルタユニット	セル排気フィルタユニット	変更なし																							
精製建屋換気装置の清掃セル	セル排気フィルタユニット	変更なし																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト. 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備</p> <p>(1) 気体廃棄物の廃棄施設</p> <p>ト. (1) (iii) - ①</p> <p>(iii) 廃棄物の処理能力</p> <p>(a) 主排気筒 せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備及び高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備で処理した放射性気体廃棄物約 22,000m<sup>3</sup>/h [normal] を換気設備からの排気とともに、約 150 万m<sup>3</sup>/h で排出する能力を有する。</p> <p>(b) 北換気筒 塔槽類廃ガス処理設備の一部で処理した放射性気体廃棄物約 250m<sup>3</sup>/h [normal] を換気設備からの排気とともに、約 48 万m<sup>3</sup>/h (使用済燃料輸送容器管理建屋換気筒は約 3 万m<sup>3</sup>/h、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒は約 28 万m<sup>3</sup>/h、ハル・エンドピース及び第 1 ガラス固化体貯蔵建屋換気筒は塔槽類廃ガス処理設備の一部で処理した放射性気体廃棄物約 250m<sup>3</sup>/h [normal] を含み約 14 万m<sup>3</sup>/h) で排出する能力を有する。</p> <p>(c) 低レベル廃棄物処理建屋換気筒 換気設備からの排気約 80 万m<sup>3</sup>/h を排出する能力を有する。</p> <p>ト. (1) (iv) - ①</p> <p>(iv) 廃棄槽の最大保管廃棄能力 気体廃棄物の廃棄槽を設置しないので該当なし。</p> <p>ト. (1) (v) - ①</p> <p>(v) 排気口の位置</p> <p>(a) 主排気筒 敷地のほぼ中心に位置し、主排気筒から敷地境界までの距離は、東方約 800m、西方約 950m、南方約 1,050m、北方約 1,000m であり、排気口地上高さ約 150m (標高約 205m) である。</p> <p>(b) 北換気筒 (使用済燃料輸送容器管理建屋換気筒、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気</p>			<p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けたト. (1) (iii) - ①は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けたト. (1) (iv) - ①は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けたト. (1) (v) - ①は、本設工認の対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>筒並びにハル・エンドピース及び第1ガラス固化体貯蔵建屋換気筒)            使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の西側に位置し、北換気筒から敷地境界までの距離は、東方約900m、西方約700m、南方約1,000m、北方約1,000mであり、排気口地上高さ約75m（標高約130m）である。</p> <p>(c) 低レベル廃棄物処理建屋換気筒            低レベル廃棄物処理建屋上に位置し、低レベル廃棄物処理建屋換気筒から敷地境界までの距離は、東方約1,500m、西方約650m、南方約550m、北方約1,500mであり、排気口地上高さ約75m（標高約130m）である。</p> <p>(2) 液体廃棄物の廃棄施設            (i) 構造</p> <p>液体廃棄物の廃棄施設は、分離施設等から発生する高レベル廃液を濃縮して貯蔵する高レベル廃液処理設備ト. (2) (i) - ①（一部2. 系列）及び再処理施設の各施設から発生する低レベル放射性廃液（以下「低レベル廃液」という。）を処理する低レベル廃液処理設備1系列で構成する。</p> <p>高レベル廃液処理設備ト. (2) (i) - ②を収納する主要な建屋は、分離建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋である。</p> <p>低レベル廃液処理設備ト. (2) (i) - ③を収納する主要な建屋は、使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋及び低レベル廃液処理建屋である。</p>		<p>(基本設計方針)            5. 放射性廃棄物の廃棄施設            5.2 液体廃棄物の廃棄施設</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>液体廃棄物の廃棄施設は、分離施設等から発生する高レベル廃液を濃縮して貯蔵する高レベル廃液処理設備ト. (2) (i) - ①及び再処理施設の各施設から発生する低レベル放射性廃液（以下「低レベル廃液」という。）を処理する低レベル廃液処理設備で構成する。</p> <p>高レベル廃液処理設備ト. (2) (i) - ②は、分離建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に収納する設計とする。</p> <p>低レベル廃液処理設備ト. (2) (i) - ③は、使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋及び低レベル廃液処理建屋に収納する設計とする。</p>	<p>設工認のト. (2) (i) - ①は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (i) - ①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のト. (2) (i) - ②は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (i) - ②と同義であり整合している。</p> <p>設工認のト. (2) (i) - ③は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (i) - ③と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>分離建屋の主要構造は、「ニ. (3)(i) 構造」に示す。</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋の主要構造は、「ト. (1)(i) 構造」に示す。</p> <p>使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階、地下3階、建築面積約1,800m<sup>2</sup>の建物ト. (2)(i)-④である。</p> <p>低レベル廃液処理建屋の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上3階、地下2階、建築面積約2,600m<sup>2</sup>の建物ト. (2)(i)-⑤である。</p> <p>ト. (2)(i)-⑥ 使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋機器配置概要図を第59図から第64図に、低レベル廃液処理建屋機器配置概要図を第134図から第139図に示す。</p>		<p>使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋は、地上2階、地下3階の建物ト. (2)(i)-④とする設計とする。</p> <p>低レベル廃液処理建屋は、地上3階、地下2階の建物ト. (2)(i)-⑤とする設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）「ニ. (3)(i) 構造」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「ト. (1)(i) 構造」に示す。</p> <p>事業変更許可申請所（本文）において許可を受けた低レベル廃液処理建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。設工認のト. (2)(i)-④は、事業変更許可申請書（本文）のト. (2)(i)-④と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請所（本文）において許可を受けた低レベル廃液処理建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。設工認のト. (2)(i)-⑤は、事業変更許可申請書（本文）のト. (2)(i)-⑤と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト. (2)(i)-⑥は、図面の呼び込みであり、本設工認の対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>低レベル廃液は、適切に処理し、放射性物質の量及び濃度を确认后、海洋放出管の海洋放出口から海洋に放出する。</p> <p>ト. (2) (i) - ⑦ MOX燃料加工施設の排水は、再処理施設の低レベル廃液処理設備の第1放出前貯槽に受け入れ、海洋放出管を経て海洋に放出する設計とする。MOX燃料加工施設の排水が通過する経路をMOX燃料加工施設と共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>ト. (2) (i) - ⑧ 高レベル廃液濃縮設備系統概要図を第41図に、高レベル廃液貯蔵設備系統概要図を第42図に、低レベル廃液処理設備系統概要図を第43図に示す。</p>		<p>低レベル廃液は、適切に処理し、放射性物質の量及び濃度を确认后、海洋放出管の海洋放出口から海洋に放出する設計とする。</p> <p>ト. (2) (i) - ⑦ 海洋放出管理系のうち、MOX燃料加工施設から排出した排水が通過する経路は、MOX燃料加工施設と共用する。 MOX燃料加工施設から排出した排水が通過する経路は、排水を第1放出前貯槽に受け入れる経路上に設置する弁を閉止することにより、MOX燃料加工施設からの波及的影響を及ぼさない設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のト. (2) (i) - ⑦は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (i) - ⑦と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けたト. (2) (i) - ⑧は、図面の呼び込みであり、本設工認の対象外である。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																															
<p>(ii) 主要な設備及び機器の種類 (a) 高レベル廃液処理設備 高レベル廃液濃縮設備</p> <p>高レベル廃液濃縮缶 2 基（1 基／系列） 材料 <u>ステンレス鋼</u> <u>ト. (2) (ii) (a) - ①</u></p>	<p>第 7.3-1 表 高レベル廃液濃縮設備の主要設備の仕様 (1) 高レベル廃液濃縮系</p> <p>b. 高レベル廃液濃縮缶 種類 <u>ケトル形減圧蒸発方式</u> 基数 <u>2（うち1基は長期予備）</u> 容量 <u>約 22m<sup>3</sup>／基</u> 処理容量 <u>約 3 m<sup>3</sup>／h（1 基当たり）</u> 主要材料 <u>ステンレス鋼</u></p>	<p>【高レベル廃液濃縮設備】（仕様表）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前 高レベル 廃液濃縮缶*</th> <th>変更後 高レベル 廃液濃縮缶</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>ケトル形 減圧蒸発方式</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量</td> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>処理容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設計蒸発量</td> <td>kg/h/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>MPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 コイル部</td> <td>MPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>MPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 コイル部</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝熱面積</td> <td>加熱・冷却 コイル部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主要寸法</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上部</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>短径の2分の1</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">本体</td> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>中央部内半径</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>胴の丸み内半径</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前 高レベル 廃液濃縮缶*	変更後 高レベル 廃液濃縮缶	種類	—	ケトル形 減圧蒸発方式	変更なし	容量	容量	m <sup>3</sup> /個	変更なし	処理容量	m <sup>3</sup> /h/個	変更なし	設計蒸発量	kg/h/個	変更なし	最高使用圧力	本体	MPa	変更なし	加熱・冷却 コイル部	MPa	変更なし	加熱・冷却 ジャケット部	MPa	変更なし	最高使用温度	本体	℃	変更なし	加熱・冷却 コイル部	℃	変更なし	加熱・冷却 ジャケット部	℃	変更なし	伝熱面積	加熱・冷却 コイル部	m <sup>2</sup> /個	変更なし	加熱・冷却 ジャケット部	m <sup>2</sup> /個	変更なし	主要寸法		変更前	変更後	上部	胴内径	mm	変更なし	胴板厚さ	mm	変更なし	長径	mm	変更なし	短径の2分の1	mm	変更なし	本体	胴板厚さ	mm	変更なし	胴内径	mm	変更なし	胴板厚さ	mm	変更なし	中央部内半径	mm	変更なし	加熱・冷却 ジャケット部	胴の丸み内半径	mm	変更なし	胴板厚さ	mm	変更なし	胴内径	mm	変更なし	胴板厚さ	mm	変更なし	平板厚さ	mm	変更なし	入口管台外径*	mm	変更なし	入口管台厚さ*	mm	変更なし	入口管台外径**	mm	変更なし	入口管台厚さ**	mm	変更なし	出口管台外径**	mm	変更なし	出口管台厚さ**	mm	変更なし	出口管台外径**	mm	変更なし	出口管台厚さ**	mm	変更なし	入口管台外径**	mm	変更なし	入口管台厚さ**	mm	変更なし	入口管台外径**	mm	変更なし	入口管台厚さ**	mm	変更なし	<p>設工認の <u>ト. (2) (ii)</u> <u>(a) - ①</u>は、事業変更 許可申請書(本文)の <u>ト. (2) (ii) (a) - ①</u>と 同義であり整合してい る。</p>	
名称		変更前 高レベル 廃液濃縮缶*	変更後 高レベル 廃液濃縮缶																																																																																																																																
種類	—	ケトル形 減圧蒸発方式	変更なし																																																																																																																																
容量	容量	m <sup>3</sup> /個	変更なし																																																																																																																																
	処理容量	m <sup>3</sup> /h/個	変更なし																																																																																																																																
	設計蒸発量	kg/h/個	変更なし																																																																																																																																
最高使用圧力	本体	MPa	変更なし																																																																																																																																
	加熱・冷却 コイル部	MPa	変更なし																																																																																																																																
	加熱・冷却 ジャケット部	MPa	変更なし																																																																																																																																
最高使用温度	本体	℃	変更なし																																																																																																																																
	加熱・冷却 コイル部	℃	変更なし																																																																																																																																
	加熱・冷却 ジャケット部	℃	変更なし																																																																																																																																
伝熱面積	加熱・冷却 コイル部	m <sup>2</sup> /個	変更なし																																																																																																																																
	加熱・冷却 ジャケット部	m <sup>2</sup> /個	変更なし																																																																																																																																
主要寸法		変更前	変更後																																																																																																																																
上部	胴内径	mm	変更なし																																																																																																																																
	胴板厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																
	長径	mm	変更なし																																																																																																																																
	短径の2分の1	mm	変更なし																																																																																																																																
本体	胴板厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																
	胴内径	mm	変更なし																																																																																																																																
	胴板厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																
	中央部内半径	mm	変更なし																																																																																																																																
加熱・冷却 ジャケット部	胴の丸み内半径	mm	変更なし																																																																																																																																
	胴板厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																
	胴内径	mm	変更なし																																																																																																																																
	胴板厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																
平板厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台外径*	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台厚さ*	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台外径**	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台厚さ**	mm	変更なし																																																																																																																																	
出口管台外径**	mm	変更なし																																																																																																																																	
出口管台厚さ**	mm	変更なし																																																																																																																																	
出口管台外径**	mm	変更なし																																																																																																																																	
出口管台厚さ**	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台外径**	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台厚さ**	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台外径**	mm	変更なし																																																																																																																																	
入口管台厚さ**	mm	変更なし																																																																																																																																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">主要寸法</td><td>入口管台外径<sup>*11</sup></td><td>mm</td><td rowspan="20">変更なし</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*11</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*12</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*12</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*13</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*13</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*14</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*14</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*15</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*15</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*16</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*16</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*17</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*17</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*18</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*18</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*19</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*19</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*20</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*20</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*21</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*21</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*22</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*22</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*23</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*23</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*24</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*24</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*25</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*25</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*26</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*26</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>入口計台厚さ<sup>*26</sup></td><td>mm</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5">主要寸法</td><td>入口管台外径<sup>*27</sup></td><td>mm</td><td rowspan="5">変更なし</td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*27</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>加熱・冷却コイル外径</td><td>mm</td></tr> <tr><td>加熱・冷却コイル厚さ</td><td>mm</td></tr> <tr><td>四寸い胴板厚さ</td><td>mm</td></tr> <tr><td rowspan="10">主要材料</td><td>高さ<sup>*28</sup></td><td>mm</td></tr> <tr><td>上部胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>本体胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>上部胴上部胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>本体胴下部胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>四寸い胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>加熱・冷却コイル</td><td>—</td></tr> <tr><td>ジャケット胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>加熱・冷却</td><td>—</td></tr> <tr><td>ジャケット胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>加熱・冷却</td><td>—</td></tr> <tr><td>ジャケット平板</td><td>—</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="5">取付箇所</td><td>系統名(ライン名)</td><td>—</td><td>高レベル廃液濃縮系</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>██████████<sup>29</sup></td></tr> <tr><td>溜水防護上の 区画番号</td><td>—</td><td>—<sup>*30</sup></td></tr> <tr><td>溜水防護上の配達が 必要な高さ</td><td>—</td><td>—<sup>*30</sup></td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の 区画番号</td><td>—</td><td>—<sup>*31</sup></td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の 配達が必要な高さ</td><td>—</td><td>—<sup>*31</sup></td></tr> </tbody> </table> <p>ト、(2) (ii) (a) - ①</p>			変更前	変更後	主要寸法	入口管台外径 <sup>*11</sup>	mm	変更なし	入口管台厚さ <sup>*11</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*12</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*12</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*13</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*13</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*14</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*14</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*15</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*15</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*16</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*16</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*17</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*17</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*18</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*18</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*19</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*19</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*20</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*20</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*21</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*21</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*22</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*22</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*23</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*23</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*24</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*24</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*25</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*25</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*26</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*26</sup>	mm	入口計台厚さ <sup>*26</sup>	mm			変更前	変更後	主要寸法	入口管台外径 <sup>*27</sup>	mm	変更なし	入口管台厚さ <sup>*27</sup>	mm	加熱・冷却コイル外径	mm	加熱・冷却コイル厚さ	mm	四寸い胴板厚さ	mm	主要材料	高さ <sup>*28</sup>	mm	上部胴板	—	本体胴板	—	上部胴上部胴板	—	本体胴下部胴板	—	四寸い胴板	—	加熱・冷却コイル	—	ジャケット胴板	—	加熱・冷却	—	ジャケット胴板	—	加熱・冷却	—	ジャケット平板	—	個数	—	1	—	取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	設置床	—	██████████ <sup>29</sup>	溜水防護上の 区画番号	—	— <sup>*30</sup>	溜水防護上の配達が 必要な高さ	—	— <sup>*30</sup>	化学薬品防護上の 区画番号	—	— <sup>*31</sup>	化学薬品防護上の 配達が必要な高さ	—	— <sup>*31</sup>		
		変更前	変更後																																																																																																																																									
主要寸法	入口管台外径 <sup>*11</sup>	mm	変更なし																																																																																																																																									
	入口管台厚さ <sup>*11</sup>	mm																																																																																																																																										
	入口管台外径 <sup>*12</sup>	mm																																																																																																																																										
	入口管台厚さ <sup>*12</sup>	mm																																																																																																																																										
	入口管台外径 <sup>*13</sup>	mm																																																																																																																																										
	入口管台厚さ <sup>*13</sup>	mm																																																																																																																																										
	入口管台外径 <sup>*14</sup>	mm																																																																																																																																										
	入口管台厚さ <sup>*14</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台外径 <sup>*15</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台厚さ <sup>*15</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台外径 <sup>*16</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台厚さ <sup>*16</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台外径 <sup>*17</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台厚さ <sup>*17</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台外径 <sup>*18</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台厚さ <sup>*18</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台外径 <sup>*19</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台厚さ <sup>*19</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台外径 <sup>*20</sup>	mm																																																																																																																																										
	出口管台厚さ <sup>*20</sup>	mm																																																																																																																																										
出口管台外径 <sup>*21</sup>	mm																																																																																																																																											
出口管台厚さ <sup>*21</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台外径 <sup>*22</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台厚さ <sup>*22</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台外径 <sup>*23</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台厚さ <sup>*23</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台外径 <sup>*24</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台厚さ <sup>*24</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台外径 <sup>*25</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台厚さ <sup>*25</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台外径 <sup>*26</sup>	mm																																																																																																																																											
入口管台厚さ <sup>*26</sup>	mm																																																																																																																																											
入口計台厚さ <sup>*26</sup>	mm																																																																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																																																																									
主要寸法	入口管台外径 <sup>*27</sup>	mm	変更なし																																																																																																																																									
	入口管台厚さ <sup>*27</sup>	mm																																																																																																																																										
	加熱・冷却コイル外径	mm																																																																																																																																										
	加熱・冷却コイル厚さ	mm																																																																																																																																										
	四寸い胴板厚さ	mm																																																																																																																																										
主要材料	高さ <sup>*28</sup>	mm																																																																																																																																										
	上部胴板	—																																																																																																																																										
	本体胴板	—																																																																																																																																										
	上部胴上部胴板	—																																																																																																																																										
	本体胴下部胴板	—																																																																																																																																										
	四寸い胴板	—																																																																																																																																										
	加熱・冷却コイル	—																																																																																																																																										
	ジャケット胴板	—																																																																																																																																										
	加熱・冷却	—																																																																																																																																										
	ジャケット胴板	—																																																																																																																																										
加熱・冷却	—																																																																																																																																											
ジャケット平板	—																																																																																																																																											
個数	—	1	—																																																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系																																																																																																																																									
	設置床	—	██████████ <sup>29</sup>																																																																																																																																									
	溜水防護上の 区画番号	—	— <sup>*30</sup>																																																																																																																																									
	溜水防護上の配達が 必要な高さ	—	— <sup>*30</sup>																																																																																																																																									
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— <sup>*31</sup>																																																																																																																																									
化学薬品防護上の 配達が必要な高さ	—	— <sup>*31</sup>																																																																																																																																										

注記 \*1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全圧縮空気系、その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系及び放射線廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																											
		<p>「第3.2.2.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 C1」を示す。</p> <p>*27：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22-11-30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 C4」を示す。</p> <p>*28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。</p> <p>*29：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*30：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*31：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*32：単位は「kPa」。</p> <p>*33：重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <p>*34：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。</p> <p>*35：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。</p>																																																																																																																																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>高レベル廃液濃縮缶*</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>ケトル形 減圧蒸発方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量</td> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計蒸発量</td> <td>kg/h/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 コイル部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 コイル部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝熱面積</td> <td>加熱・冷却 コイル部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td rowspan="5">上部</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>短径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">本体</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>隅の丸み内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">加熱・冷却 ジャケット部</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>隅の丸み内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="11">主要寸法</td> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		高レベル廃液濃縮缶*		種類		ケトル形 減圧蒸発方式		容量	容量	m <sup>3</sup> /個		処理容量	m <sup>3</sup> /h/個		設計蒸発量	kg/h/個		最高使用圧力	本体	MPa		加熱・冷却 コイル部	MPa		加熱・冷却 ジャケット部	MPa		最高使用温度	本体	℃	変更なし	加熱・冷却 コイル部	℃		加熱・冷却 ジャケット部	℃		伝熱面積	加熱・冷却 コイル部	m <sup>2</sup> /個		加熱・冷却 ジャケット部	m <sup>2</sup> /個		主要寸法	上部	胴内径	mm	胴板厚さ	mm	長径	mm	短径の2分の1	mm	鏡板厚さ	mm			変更前	変更後	本体	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		中央部内半径	mm		隅の丸み内半径	mm		鏡板厚さ	mm		加熱・冷却 ジャケット部	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		平板厚さ	mm		隅の丸み内半径	mm		主要寸法	入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm		入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm		出口管台外径*	mm		出口管台厚さ*	mm		出口管台外径*	mm		出口管台厚さ*	mm		出口管台外径*	mm		出口管台厚さ*	mm		出口管台外径*	mm		出口管台厚さ*	mm		入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm		入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm		入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm		入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm			
		変更前	変更後																																																																																																																																																												
名称		高レベル廃液濃縮缶*																																																																																																																																																													
種類		ケトル形 減圧蒸発方式																																																																																																																																																													
容量	容量	m <sup>3</sup> /個																																																																																																																																																													
	処理容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																																																																													
	設計蒸発量	kg/h/個																																																																																																																																																													
最高使用圧力	本体	MPa																																																																																																																																																													
	加熱・冷却 コイル部	MPa																																																																																																																																																													
	加熱・冷却 ジャケット部	MPa																																																																																																																																																													
最高使用温度	本体	℃	変更なし																																																																																																																																																												
	加熱・冷却 コイル部	℃																																																																																																																																																													
	加熱・冷却 ジャケット部	℃																																																																																																																																																													
伝熱面積	加熱・冷却 コイル部	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																																													
	加熱・冷却 ジャケット部	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																																													
主要寸法	上部	胴内径	mm																																																																																																																																																												
		胴板厚さ	mm																																																																																																																																																												
		長径	mm																																																																																																																																																												
		短径の2分の1	mm																																																																																																																																																												
		鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																												
		変更前	変更後																																																																																																																																																												
本体	胴内径	mm																																																																																																																																																													
	胴板厚さ	mm																																																																																																																																																													
	中央部内半径	mm																																																																																																																																																													
	隅の丸み内半径	mm																																																																																																																																																													
	鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																													
	加熱・冷却 ジャケット部	胴内径	mm																																																																																																																																																												
		胴板厚さ	mm																																																																																																																																																												
		平板厚さ	mm																																																																																																																																																												
		隅の丸み内半径	mm																																																																																																																																																												
	主要寸法	入口管台外径*	mm																																																																																																																																																												
入口管台厚さ*		mm																																																																																																																																																													
入口管台外径*		mm																																																																																																																																																													
入口管台厚さ*		mm																																																																																																																																																													
出口管台外径*		mm																																																																																																																																																													
出口管台厚さ*		mm																																																																																																																																																													
出口管台外径*		mm																																																																																																																																																													
出口管台厚さ*		mm																																																																																																																																																													
出口管台外径*		mm																																																																																																																																																													
出口管台厚さ*		mm																																																																																																																																																													
出口管台外径*		mm																																																																																																																																																													
出口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																														
入口管台外径*	mm																																																																																																																																																														
入口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																														
入口管台外径*	mm																																																																																																																																																														
入口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																														
入口管台外径*	mm																																																																																																																																																														
入口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																														
入口管台外径*	mm																																																																																																																																																														
入口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="23">主要寸法</td><td>入口管台外径<sup>*12</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*12</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*13</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*13</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*14</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*14</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*15</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*15</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*16</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*16</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*17</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*17</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*18</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*18</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*19</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*19</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台外径<sup>*20</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>出口管台厚さ<sup>*20</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*21</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*21</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*22</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*22</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台外径<sup>*23</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>入口管台厚さ<sup>*23</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>加熱・冷却コイル外径</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>加熱・冷却コイル厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>円すい鋼板厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>高さ<sup>*24</sup></td><td>mm</td><td></td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">主要材料</td><td>上部鋼板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>本体鋼板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>上部胴上部鏡板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>本体胴下部鏡板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>円すい鋼板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>加熱・冷却コイル</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>加熱・冷却ジャケット鋼板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>加熱・冷却ジャケット鏡板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>加熱・冷却ジャケット平板</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>1</td></tr> <tr><td>系統名(ライン名)</td><td>—</td><td>高レベル廃液濃縮系</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>■ T.M.S.1 ■<sup>*25</sup></td></tr> <tr><td>取水箇所</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—<sup>*26</sup></td></tr> <tr><td>溢水防護上の配達が 必要な高さ</td><td>—</td><td>—<sup>*26</sup></td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—<sup>*27</sup></td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の配達が 必要な高さ</td><td>—</td><td>—<sup>*27</sup></td></tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	主要寸法	入口管台外径 <sup>*12</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*12</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*13</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*13</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*14</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*14</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*15</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*15</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*16</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*16</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*17</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*17</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*18</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*18</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*19</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*19</sup>	mm		出口管台外径 <sup>*20</sup>	mm		出口管台厚さ <sup>*20</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*21</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*21</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*22</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*22</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*23</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*23</sup>	mm		加熱・冷却コイル外径	mm		加熱・冷却コイル厚さ	mm		円すい鋼板厚さ	mm		高さ <sup>*24</sup>	mm				変更前	変更後	主要材料	上部鋼板	—		本体鋼板	—		上部胴上部鏡板	—		本体胴下部鏡板	—		円すい鋼板	—		加熱・冷却コイル	—		加熱・冷却ジャケット鋼板	—		加熱・冷却ジャケット鏡板	—		加熱・冷却ジャケット平板	—		個数	—	1	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	設置床	—	■ T.M.S.1 ■ <sup>*25</sup>	取水箇所	—		溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*26</sup>	溢水防護上の配達が 必要な高さ	—	— <sup>*26</sup>	化学薬品防護上の区画番号	—	— <sup>*27</sup>	化学薬品防護上の配達が 必要な高さ	—	— <sup>*27</sup>		
		変更前	変更後																																																																																																																																																		
主要寸法	入口管台外径 <sup>*12</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台厚さ <sup>*12</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台外径 <sup>*13</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台厚さ <sup>*13</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*14</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*14</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*15</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*15</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*16</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*16</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*17</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*17</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*18</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*18</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*19</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*19</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台外径 <sup>*20</sup>	mm																																																																																																																																																			
	出口管台厚さ <sup>*20</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台外径 <sup>*21</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台厚さ <sup>*21</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台外径 <sup>*22</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台厚さ <sup>*22</sup>	mm																																																																																																																																																			
	入口管台外径 <sup>*23</sup>	mm																																																																																																																																																			
入口管台厚さ <sup>*23</sup>	mm																																																																																																																																																				
加熱・冷却コイル外径	mm																																																																																																																																																				
加熱・冷却コイル厚さ	mm																																																																																																																																																				
円すい鋼板厚さ	mm																																																																																																																																																				
高さ <sup>*24</sup>	mm																																																																																																																																																				
		変更前	変更後																																																																																																																																																		
主要材料	上部鋼板	—																																																																																																																																																			
	本体鋼板	—																																																																																																																																																			
	上部胴上部鏡板	—																																																																																																																																																			
	本体胴下部鏡板	—																																																																																																																																																			
	円すい鋼板	—																																																																																																																																																			
	加熱・冷却コイル	—																																																																																																																																																			
	加熱・冷却ジャケット鋼板	—																																																																																																																																																			
	加熱・冷却ジャケット鏡板	—																																																																																																																																																			
	加熱・冷却ジャケット平板	—																																																																																																																																																			
	個数	—	1																																																																																																																																																		
系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系																																																																																																																																																			
設置床	—	■ T.M.S.1 ■ <sup>*25</sup>																																																																																																																																																			
取水箇所	—																																																																																																																																																				
溢水防護上の区画番号	—	— <sup>*26</sup>																																																																																																																																																			
溢水防護上の配達が 必要な高さ	—	— <sup>*26</sup>																																																																																																																																																			
化学薬品防護上の区画番号	—	— <sup>*27</sup>																																																																																																																																																			
化学薬品防護上の配達が 必要な高さ	—	— <sup>*27</sup>																																																																																																																																																			
		<p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液濃縮係B」と記載。</p> <p>*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮係Bの構造図 管台一覧表 P1」を示す。</p> <p>*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮係Bの構造図 管台一覧表 P2」を示す。</p> <p>*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮係Bの構造図 管台一覧表 P3」を示す。</p> <p>*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮係Bの構造図 管台一覧表 P5」を示す。</p> <p>*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮係Bの構造図 管台一覧表 P6」を示す。</p>																																																																																																																																																			

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ②</span>                      アルカリ廃液濃縮缶 1 基                      材料 ステンレス鋼                 </p>		<p>                         *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P7」を示す。                          *9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P8」を示す。                          *10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P9」を示す。                          *11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P10」を示す。                          *12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P11」を示す。                          *13: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P12」を示す。                          *14: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P19」を示す。                          *15: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P20」を示す。                          *16: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P21」を示す。                          *17: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P22」を示す。                          *18: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P23」を示す。                          *19: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P24」を示す。                          *20: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P26」を示す。                          *21: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P27」を示す。                          *22: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P31」を示す。                          *23: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P32」を示す。                          *24: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。                          *25: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。                          *26: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                          *27: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                          *28: 単位は「kPa」。                     </p>	<p>                         事業変更許可申請書                          （本文）において許可                          を受けた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii)                          (a) - ②</span>は、本設工認                          では仕様表対象外であ                          る。                     </p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P7」を示す。</p> <p>*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P8」を示す。</p> <p>*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P9」を示す。</p> <p>*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P10,P11」を示す。</p> <p>*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P12,P13」を示す。</p> <p>*11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P15,P17,P19,P21,P23,P25,P27,P29,P31,P33」を示す。</p> <p>*12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P3,P5,P16,P18,P20,P22,P24,P26,P28,P30,P32,P34」を示す。</p> <p>*13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P14」を示す。</p> <p>*14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。</p> <p>*15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*16：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*17：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*18：重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <p>*19：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。</p>		





事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																													
<p>ト. (2) (ii) (a) - ⑨ アルカリ濃縮廃液貯槽 1 基 材料 ステンレス鋼 容量 約 120 m<sup>3</sup></p> <p>高レベル廃液共用貯槽 1 基 材料 ステンレス鋼 ト. (2) (ii) (a) - ⑩ 容量 約 120 m<sup>3</sup> ト. (2) (ii) (a) - ⑪</p>	<p>(4) 共用貯蔵系 高レベル廃液共用貯槽 種類 たて置円筒形 基数 1 容量 約 120m<sup>3</sup> 主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>*7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽」の構造図管台一覧表 P22」を示す。 *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽」の構造図管台一覧表 P25,P27,P28,P30」を示す。 *9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽」の構造図管台一覧表 P5,P6,P12,P14」を示す。 *10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽」の構造図管台一覧表 P7,P9」を示す。 *11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽」の構造図管台一覧表 P23」を示す。 *12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽」の構造図管台一覧表 P24,P26,P29,P31」を示す。 *13: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。 *14: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *15: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *16: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <table border="1" data-bbox="1549 1140 2033 1864"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>高レベル 廃液共用貯槽</td> <td>高レベル 廃液共用貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>たて置円筒形</td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">伝熱面積</td> <td>冷却コイル部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット部 (不溶解残渣廃液貯蔵時)</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="17">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*5</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*5</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*6</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*6</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*7</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*7</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*8</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*8</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*9</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*9</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*10</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*10</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		高レベル 廃液共用貯槽	高レベル 廃液共用貯槽	種類		たて置円筒形	たて置円筒形	容量		m <sup>3</sup> /個	m <sup>3</sup> /個	最高使用圧力	本体	kPa		上部鏡板	kPa		冷却ジャケット部	MPa		最高使用温度	本体	℃		冷却コイル部	℃		冷却ジャケット部	℃		伝熱面積	冷却コイル部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)	m <sup>2</sup> /個		冷却ジャケット部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)	m <sup>2</sup> /個		冷却ジャケット部 (不溶解残渣廃液貯蔵時)	m <sup>2</sup> /個		主要寸法	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		上部鏡板厚さ	mm		上部鏡板中央部内半径	mm		上部鏡板隅の丸み半径	mm		下部鏡板厚さ	mm		下部鏡板中央部内半径	mm		下部鏡板隅の丸み半径	mm		冷却コイル外径	mm		冷却コイル厚さ	mm		冷却ジャケット厚さ	mm		マンホール管台外径	mm		マンホール管台厚さ	mm		マンホール鏡板厚さ	mm		入口管台外径 <sup>*5</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*5</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*6</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*6</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*7</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*7</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*8</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*8</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*9</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*9</sup>	mm		入口管台外径 <sup>*10</sup>	mm		入口管台厚さ <sup>*10</sup>	mm		<p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けたト. (2) (ii) (a) - ⑨は、本設工認では仕様表対象外である。</p> <p>設工認のト. (2) (ii) (a) - ⑩は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (ii) (a) - ⑩と同義であり整合している。</p> <p>設工認のト. (2) (ii) (a) - ⑪は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (ii) (a) - ⑪と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																														
名称		高レベル 廃液共用貯槽	高レベル 廃液共用貯槽																																																																																																																														
種類		たて置円筒形	たて置円筒形																																																																																																																														
容量		m <sup>3</sup> /個	m <sup>3</sup> /個																																																																																																																														
最高使用圧力	本体	kPa																																																																																																																															
	上部鏡板	kPa																																																																																																																															
	冷却ジャケット部	MPa																																																																																																																															
最高使用温度	本体	℃																																																																																																																															
	冷却コイル部	℃																																																																																																																															
	冷却ジャケット部	℃																																																																																																																															
伝熱面積	冷却コイル部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																															
	冷却ジャケット部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																															
	冷却ジャケット部 (不溶解残渣廃液貯蔵時)	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																															
主要寸法	胴内径	mm																																																																																																																															
	胴板厚さ	mm																																																																																																																															
	上部鏡板厚さ	mm																																																																																																																															
	上部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																															
	上部鏡板隅の丸み半径	mm																																																																																																																															
	下部鏡板厚さ	mm																																																																																																																															
	下部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																															
	下部鏡板隅の丸み半径	mm																																																																																																																															
	冷却コイル外径	mm																																																																																																																															
	冷却コイル厚さ	mm																																																																																																																															
	冷却ジャケット厚さ	mm																																																																																																																															
	マンホール管台外径	mm																																																																																																																															
	マンホール管台厚さ	mm																																																																																																																															
	マンホール鏡板厚さ	mm																																																																																																																															
	入口管台外径 <sup>*5</sup>	mm																																																																																																																															
	入口管台厚さ <sup>*5</sup>	mm																																																																																																																															
	入口管台外径 <sup>*6</sup>	mm																																																																																																																															
入口管台厚さ <sup>*6</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台外径 <sup>*7</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台厚さ <sup>*7</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台外径 <sup>*8</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台厚さ <sup>*8</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台外径 <sup>*9</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台厚さ <sup>*9</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台外径 <sup>*10</sup>	mm																																																																																																																																
入口管台厚さ <sup>*10</sup>	mm																																																																																																																																

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																												
		<table border="1" data-bbox="1546 317 2107 856"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">主要 寸法</td> <td>入口管台外径*11</td> <td>mm</td> <td rowspan="12">変更なし</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*12</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台長さ*13</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*13</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*13</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台長さ*14</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*14</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台長さ*15</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*15</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台長さ*16</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*16</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ*17</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要 材料</td> <td>鋼板</td> <td>—</td> <td rowspan="5">ト、(2) (ii) (a)ー00</td> </tr> <tr> <td>上部鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下部鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付 箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>共用貯蔵系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>T. M. S. L. *18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—*19</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td>—*19</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—*20</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1546 856 2041 909">注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。 *2：公称値を示す。 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。 *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P1, P2」を示す。 *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P21, P22, P33, P36, P38, P40, P42, P44, P46, P48, P50, P52, P54, P56」を示す。 *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P23, P24, P34, P35」を示す。 *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P27」を示す。 *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P83, P84, P26, P28, P29」を示す。 *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P25, P37」を示す。 *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P31, P32」を示す。 *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P58, P60, P62, P64」を示す。 *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P5, P5, P9, P11, P13, P15, P39, P41, P43, P45, P47, P49, P51, P53, P55, P57」を示す。 *14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P7, P17, P19, P20, P67, P69」を示す。 *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P30」を示す。 *16：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の構造図管台一覧表 P59, P61, P63, P65」を示す。 *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。 *18：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *19：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *20：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *21：重大事故等時における使用時の値を示す。 *22：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。</p>		変更前	変更後	主要 寸法	入口管台外径*11	mm	変更なし	入口管台厚さ*12	mm	入口管台長さ*13	mm	出口管台外径*13	mm	出口管台厚さ*13	mm	出口管台長さ*14	mm	出口管台厚さ*14	mm	出口管台長さ*15	mm	出口管台厚さ*15	mm	出口管台長さ*16	mm	出口管台厚さ*16	mm	高さ*17	mm	主要 材料	鋼板	—	ト、(2) (ii) (a)ー00	上部鏡板	—	下部鏡板	—	冷却コイル	—	冷却ジャケット	—	個数	1		取付 箇所	系統名 (ライン名)	共用貯蔵系		設置床	T. M. S. L. *18		溢水防護上の 区画番号	—*19	—	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—*19	—	化学薬品防護上の 区画番号	—*20	—		
	変更前	変更後																																																														
主要 寸法	入口管台外径*11	mm	変更なし																																																													
	入口管台厚さ*12	mm																																																														
	入口管台長さ*13	mm																																																														
	出口管台外径*13	mm																																																														
	出口管台厚さ*13	mm																																																														
	出口管台長さ*14	mm																																																														
	出口管台厚さ*14	mm																																																														
	出口管台長さ*15	mm																																																														
	出口管台厚さ*15	mm																																																														
	出口管台長さ*16	mm																																																														
	出口管台厚さ*16	mm																																																														
	高さ*17	mm																																																														
主要 材料	鋼板	—	ト、(2) (ii) (a)ー00																																																													
	上部鏡板	—																																																														
	下部鏡板	—																																																														
	冷却コイル	—																																																														
	冷却ジャケット	—																																																														
個数	1																																																															
取付 箇所	系統名 (ライン名)	共用貯蔵系																																																														
	設置床	T. M. S. L. *18																																																														
	溢水防護上の 区画番号	—*19	—																																																													
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—*19	—																																																													
	化学薬品防護上の 区画番号	—*20	—																																																													

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																									
<p>高レベル廃液一時貯槽 4 基</p> <p>高レベル濃縮廃液一時貯槽 (a) - ⑫ 2 基                      材料 ステンレス鋼                      ト. (2) (ii) (a) - ⑬                      容量 約 25 m<sup>3</sup> / 基                      ト. (2) (ii) (a) - ⑭</p>	<p>(1) 高レベル濃縮廃液貯蔵系</p> <p>b. 高レベル濃縮廃液一時貯槽                      種類 たて置円筒形                      基数 2                      容量 約 25m<sup>3</sup> / 基                      主要材料 ステンレス鋼</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称</td> <td>変更前</td> <td>高レベル濃縮廃液貯蔵系</td> <td>高レベル濃縮廃液貯蔵系</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>高レベル濃縮廃液貯蔵系</td> <td>高レベル濃縮廃液貯蔵系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">種類</td> <td>変更前</td> <td>たて置円筒形</td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>たて置円筒形</td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝熱面積</td> <td>冷却コイル部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="20">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*5</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*6</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*6</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*6</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*7</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*7</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*8</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*8</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*9</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*9</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*10</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*10</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*11</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*11</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*12</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*12</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td>出口管台厚さ*12</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ*13</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼板</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>高レベル濃縮廃液貯蔵系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>T.M.S.L. *14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>*15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>*15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>*16</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。                      *2: 公称値を示す。                      *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「                      と記載。記載内容は、SI 単位系のみを示す。                      *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「                      と記載。記載内容は、SI 単位系のみを示す。                      *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (核規) 第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 1-4 図 第 1 高レベル濃縮廃液一時貯槽」の構造図 管台一覧表 P1, P2, P43, P44) 及び「第 3. 2. 2. 1. 2. 1-6 図 第 2 高レベル濃縮廃液一時貯槽」の構造図 管台一覧表 P1, P9, P45, P46) を示す。</p>			変更前	変更後	名称	変更前	高レベル濃縮廃液貯蔵系	高レベル濃縮廃液貯蔵系	変更後	高レベル濃縮廃液貯蔵系	高レベル濃縮廃液貯蔵系	種類	変更前	たて置円筒形	たて置円筒形	変更後	たて置円筒形	たて置円筒形	最高使用圧力	本体	kPa		上部鏡板	kPa		冷却コイル部	MPa		ジャケット部	MPa		最高使用温度	本体	℃		冷却コイル部	℃		ジャケット部	℃		ジャケット部	℃		伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個					主要寸法	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		上部鏡板厚さ	mm		上部鏡板中央部内半径	mm		上部鏡板の丸み半径	mm		下部鏡板厚さ	mm		下部鏡板中央部内半径	mm		下部鏡板の丸み半径	mm		冷却コイル外径	mm		冷却コイル厚さ	mm		ジャケット厚さ	mm		マンホール管台外径	mm		マンホール管台厚さ	mm		マンホール鏡板厚さ	mm		入口管台外径*5	mm		入口管台厚さ*6	mm		入口管台外径*6	mm		入口管台厚さ*6	mm		入口管台外径*7	mm		入口管台厚さ*7	mm		入口管台外径*8	mm		入口管台厚さ*8	mm		入口管台外径*9	mm		入口管台厚さ*9	mm		出口管台外径*10	mm		出口管台厚さ*10	mm		出口管台外径*11	mm		出口管台厚さ*11	mm		出口管台外径*12	mm		出口管台厚さ*12	mm				変更前	変更後	主要寸法	出口管台厚さ*12	mm		高さ*13	mm		鋼板	mm		上部鏡板	mm		下部鏡板	mm		ジャケット	mm		個数		2		取付箇所	系統名 (ライン名)	高レベル濃縮廃液貯蔵系		設置床	T.M.S.L. *14		溢水防護上の区画番号	*15		溢水防護上の配慮が必要な高さ	*15		化学薬品防護上の区画番号	*16		<p>設工認の ト. (2) (ii) (a) - ⑫ は、事業変更許可申請書(本文)の ト. (2) (ii) (a) - ⑫ と同義であり整合している。</p> <p>設工認の ト. (2) (ii) (a) - ⑬ は、事業変更許可申請書(本文)の ト. (2) (ii) (a) - ⑬ と同義であり整合している。</p> <p>設工認の ト. (2) (ii) (a) - ⑭ は、事業変更許可申請書(本文)の ト. (2) (ii) (a) - ⑭ と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																										
名称	変更前	高レベル濃縮廃液貯蔵系	高レベル濃縮廃液貯蔵系																																																																																																																																																																																										
	変更後	高レベル濃縮廃液貯蔵系	高レベル濃縮廃液貯蔵系																																																																																																																																																																																										
種類	変更前	たて置円筒形	たて置円筒形																																																																																																																																																																																										
	変更後	たて置円筒形	たて置円筒形																																																																																																																																																																																										
最高使用圧力	本体	kPa																																																																																																																																																																																											
	上部鏡板	kPa																																																																																																																																																																																											
	冷却コイル部	MPa																																																																																																																																																																																											
	ジャケット部	MPa																																																																																																																																																																																											
最高使用温度	本体	℃																																																																																																																																																																																											
	冷却コイル部	℃																																																																																																																																																																																											
	ジャケット部	℃																																																																																																																																																																																											
	ジャケット部	℃																																																																																																																																																																																											
伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																																																																											
主要寸法	胴内径	mm																																																																																																																																																																																											
	胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	上部鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	上部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																																																																																											
	上部鏡板の丸み半径	mm																																																																																																																																																																																											
	下部鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	下部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																																																																																											
	下部鏡板の丸み半径	mm																																																																																																																																																																																											
	冷却コイル外径	mm																																																																																																																																																																																											
	冷却コイル厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	ジャケット厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	マンホール管台外径	mm																																																																																																																																																																																											
	マンホール管台厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	マンホール鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																																											
	入口管台外径*5	mm																																																																																																																																																																																											
	入口管台厚さ*6	mm																																																																																																																																																																																											
	入口管台外径*6	mm																																																																																																																																																																																											
	入口管台厚さ*6	mm																																																																																																																																																																																											
	入口管台外径*7	mm																																																																																																																																																																																											
	入口管台厚さ*7	mm																																																																																																																																																																																											
入口管台外径*8	mm																																																																																																																																																																																												
入口管台厚さ*8	mm																																																																																																																																																																																												
入口管台外径*9	mm																																																																																																																																																																																												
入口管台厚さ*9	mm																																																																																																																																																																																												
出口管台外径*10	mm																																																																																																																																																																																												
出口管台厚さ*10	mm																																																																																																																																																																																												
出口管台外径*11	mm																																																																																																																																																																																												
出口管台厚さ*11	mm																																																																																																																																																																																												
出口管台外径*12	mm																																																																																																																																																																																												
出口管台厚さ*12	mm																																																																																																																																																																																												
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																										
主要寸法	出口管台厚さ*12	mm																																																																																																																																																																																											
	高さ*13	mm																																																																																																																																																																																											
	鋼板	mm																																																																																																																																																																																											
	上部鏡板	mm																																																																																																																																																																																											
	下部鏡板	mm																																																																																																																																																																																											
	ジャケット	mm																																																																																																																																																																																											
個数		2																																																																																																																																																																																											
取付箇所	系統名 (ライン名)	高レベル濃縮廃液貯蔵系																																																																																																																																																																																											
	設置床	T.M.S.L. *14																																																																																																																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	*15																																																																																																																																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	*15																																																																																																																																																																																											
	化学薬品防護上の区画番号	*16																																																																																																																																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P11,P13,P16」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P11,P13,P16」を示す。</p> <p>*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P17,P23,P25,P29,P31」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P17,P23,P25,P29,P31」を示す。</p> <p>*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P19,P20」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P19,P20,P41,P42」を示す。</p> <p>*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P21」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P21」を示す。</p> <p>*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P3,P10,P12,P14,P24,P26,P30,P32」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P3,P10,P12,P14,P24,P26,P30,P32」を示す。</p> <p>*11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P5,P7」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P5,P7」を示す。</p> <p>*12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P22」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 [ ] の構造図 管台一覧表 P22」を示す。</p> <p>*13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。</p> <p>*14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*15：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*16：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*17：重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <p>*18：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																												
<p>不溶解残渣廃液一時貯槽 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii)</span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(a) - ⑮</span> 2 基</p> <p>材料 ステンレス鋼</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑯</span></p> <p>容量 約 5 m<sup>3</sup> / 基</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑰</span></p>	<p>(2) 不溶解残渣廃液貯蔵系</p> <p>b. 不溶解残渣廃液一時貯槽</p> <p>種類 たて置円筒形</p> <p>基数 2</p> <p>容量 約 5 m<sup>3</sup> / 基</p> <p>主要材料 ステンレス鋼</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称</td> <td>名称</td> <td>異し 異し 不溶解残渣 廃液一時貯槽</td> <td><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>たて置円筒形</td> <td><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑰</span></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>kPa</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット部</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット部</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>伝熱面積</td> <td>冷却ジャケット部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td rowspan="20">変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>上部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>上部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>上部鏡板溝の丸み半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下部鏡板溝の丸み半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>マンホール鏡板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*3</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*3</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*4</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*4</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*5</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*5</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*6</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*6</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*7</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*7</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*8</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*8</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*9</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*9</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*10</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*10</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*11</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*11</sup></td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ<sup>*12</sup></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td rowspan="4"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下部鏡板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷却ジャケット</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>不溶解残渣廃液貯蔵系</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>T.M.S.L. *13</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>— *14</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が 必要な高さ</td> <td>— *14</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>— *15</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配管が必要な高さ</td> <td>— *15</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には [ ] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。  *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (検規) 第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 2-2 図 第 1, 第 2 不溶解残渣廃液一時貯槽 [ ] の構造図管台一覧表 P8, P9, P10, P11」を示す。  *4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (検規) 第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 2-2 図 第 1, 第 2 不溶解残渣廃液一時貯槽 [ ] の構造図管台一覧表 P1, P69」を示す。  *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (検規) 第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 2-2 図 第 1, 第 2 不溶解残渣廃液一時貯槽 [ ] の構造図管台一覧表 P2, P3, P4, P5, P6, P7, P22, P24」を示す。  *6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (検規) 第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 2-2 図 第 1, 第 2 不溶解残渣廃液一時貯槽 [ ] の構造図管台一覧表 P19」を示す。  *7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (検規) 第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 2-2 図 第 1, 第 2 不溶解残渣廃液一時貯槽 [ ] の構造図管台一覧表 P40, P42, P43, P45」を示す。</p>			変更前	変更後	名称	名称	異し 異し 不溶解残渣 廃液一時貯槽	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span>	種類	たて置円筒形	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑰</span>	最高使用圧力	本体	kPa	変更なし	冷却ジャケット部	MPa	最高使用温度	本体	℃	変更なし	冷却ジャケット部	℃	伝熱面積	冷却ジャケット部	m <sup>2</sup> /個	変更なし	主要寸法	胴内径	mm	変更なし	胴板厚さ	mm	上部鏡板厚さ	mm	上部鏡板中央部内半径	mm	上部鏡板溝の丸み半径	mm	下部鏡板厚さ	mm	下部鏡板中央部内半径	mm	下部鏡板溝の丸み半径	mm	冷却ジャケット厚さ	mm	マンホール管台外径	mm	マンホール管台厚さ	mm	マンホール鏡板厚さ	mm	入口管台外径 <sup>*3</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*3</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*4</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*4</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*5</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*5</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*6</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*6</sup>	mm	入口管台外径 <sup>*7</sup>	mm	入口管台厚さ <sup>*7</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*8</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*8</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*9</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*9</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*10</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*10</sup>	mm	出口管台外径 <sup>*11</sup>	mm	出口管台厚さ <sup>*11</sup>	mm	高さ <sup>*12</sup>	mm				変更前	変更後	主要材料	胴板	—	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span>	上部鏡板	—	下部鏡板	—	冷却ジャケット	—	個数	—	2	変更なし	取付箇所	系統名 (ライン名)	不溶解残渣廃液貯蔵系	変更なし	設置床	T.M.S.L. *13	溢水防護上の 区画番号	— *14	溢水防護上の配管が 必要な高さ	— *14	化学薬品防護上の 区画番号	— *15	化学薬品防護上の 配管が必要な高さ	— *15	<p>設工認の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span> は、事業変更許可申請書(本文)の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑯</span> は、事業変更許可申請書(本文)の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑯</span> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑰</span> は、事業変更許可申請書(本文)の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑰</span> と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																													
名称	名称	異し 異し 不溶解残渣 廃液一時貯槽	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span>																																																																																																																													
	種類	たて置円筒形	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑰</span>																																																																																																																													
最高使用圧力	本体	kPa	変更なし																																																																																																																													
	冷却ジャケット部	MPa																																																																																																																														
最高使用温度	本体	℃	変更なし																																																																																																																													
	冷却ジャケット部	℃																																																																																																																														
伝熱面積	冷却ジャケット部	m <sup>2</sup> /個	変更なし																																																																																																																													
主要寸法	胴内径	mm	変更なし																																																																																																																													
	胴板厚さ	mm																																																																																																																														
	上部鏡板厚さ	mm																																																																																																																														
	上部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																														
	上部鏡板溝の丸み半径	mm																																																																																																																														
	下部鏡板厚さ	mm																																																																																																																														
	下部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																														
	下部鏡板溝の丸み半径	mm																																																																																																																														
	冷却ジャケット厚さ	mm																																																																																																																														
	マンホール管台外径	mm																																																																																																																														
	マンホール管台厚さ	mm																																																																																																																														
	マンホール鏡板厚さ	mm																																																																																																																														
	入口管台外径 <sup>*3</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台厚さ <sup>*3</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台外径 <sup>*4</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台厚さ <sup>*4</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台外径 <sup>*5</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台厚さ <sup>*5</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台外径 <sup>*6</sup>	mm																																																																																																																														
	入口管台厚さ <sup>*6</sup>	mm																																																																																																																														
入口管台外径 <sup>*7</sup>	mm																																																																																																																															
入口管台厚さ <sup>*7</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台外径 <sup>*8</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台厚さ <sup>*8</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台外径 <sup>*9</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台厚さ <sup>*9</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台外径 <sup>*10</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台厚さ <sup>*10</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台外径 <sup>*11</sup>	mm																																																																																																																															
出口管台厚さ <sup>*11</sup>	mm																																																																																																																															
高さ <sup>*12</sup>	mm																																																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																																																													
主要材料	胴板	—	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト. (2) (ii) (a) - ⑮</span>																																																																																																																													
	上部鏡板	—																																																																																																																														
	下部鏡板	—																																																																																																																														
	冷却ジャケット	—																																																																																																																														
個数	—	2	変更なし																																																																																																																													
取付箇所	系統名 (ライン名)	不溶解残渣廃液貯蔵系	変更なし																																																																																																																													
	設置床	T.M.S.L. *13																																																																																																																														
	溢水防護上の 区画番号	— *14																																																																																																																														
	溢水防護上の配管が 必要な高さ	— *14																																																																																																																														
	化学薬品防護上の 区画番号	— *15																																																																																																																														
化学薬品防護上の 配管が必要な高さ	— *15																																																																																																																															

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) 低レベル廃液処理設備 低レベル廃液蒸発缶 4 基</p> <p>ト. (2) (ii) (b) - ① 第1低レベル廃液蒸発缶 1 基 材料 ステンレス鋼</p> <p>ト. (2) (ii) (b) - ② 第2低レベル廃液蒸発缶 1 基 材料 ステンレス鋼</p> <p>ト. (2) (ii) (b) - ③ 第5低レベル廃液蒸発缶 1 基 材料 ステンレス鋼</p> <p>ト. (2) (ii) (b) - ④ 第6低レベル廃液蒸発缶 1 基 材料 ニッケル基合金</p>		<p>*8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽」の構造図管台一覧表 P12, P13, P15, P16, P31, P33」を示す。</p> <p>*9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽」の構造図管台一覧表 P14, P21, P23, P25, P27, P29, P35」を示す。</p> <p>*10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽」の構造図管台一覧表 P37」を示す。</p> <p>*11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽」の構造図管台一覧表 P39, P41, P44, P46」を示す。</p> <p>*12: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。</p> <p>*13: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*14: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p>*15: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト. (2) (ii) (b) - ①は、本設工認では仕様表対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト. (2) (ii) (b) - ②は、本設工認では仕様表対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト. (2) (ii) (b) - ③は、本設工認では仕様表対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト. (2) (ii) (b) - ④は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																													
<p>放出前貯槽 6 基</p> <p>第1放出前貯槽 4 基 (MOX燃料加工施設と共用) 材料 ステンレス鋼 ト. (2) (ii) (b) - ⑤ 容量 約 600 m<sup>3</sup> / 基 ト. (2) (ii) (b) - ⑥</p> <p>ト. (2) (ii) (b) - ⑦ 第2放出前貯槽 2 基 材料 ステンレス鋼 容量 約 100 m<sup>3</sup> / 基</p>	<p>a. 第1放出前貯槽 (MOX燃料加工施設と共用) 種類 ライニングプール式 基数 4 容量 約 600m<sup>3</sup> / 基 主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>【低レベル廃液処理設備】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1552 321 2080 955"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>第1放出前貯槽*2</td> <td>第1放出前貯槽 (再処理施設*6、 MOX燃料加工施設 と共用)*7</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>ライニングプール式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>単位/観</td> <td></td> <td>ト. (2) (ii) (b) - ⑥</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ライニング板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料 (ライニング)</td> <td></td> <td></td> <td>ト. (2) (ii) (b) - ⑤</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>4</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td></td> <td>低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>T.M.S.L.*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-*4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-*4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-*5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-*5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1放出前貯槽A, B, C, D」と記載。 *3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *5: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *6: 第1放出前貯槽 [ ] は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *7: 第1放出前貯槽 [ ] は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>			変更前	変更後	名称		第1放出前貯槽*2	第1放出前貯槽 (再処理施設*6、 MOX燃料加工施設 と共用)*7	種類		ライニングプール式		容量	単位/観		ト. (2) (ii) (b) - ⑥	主要寸法	たて	m		横	m		深さ	m		ライニング板厚さ	mm		主要材料 (ライニング)			ト. (2) (ii) (b) - ⑤	個数		4	変更なし	系統名 (ライン名)		低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)		設置床		T.M.S.L.*3		取付箇所	溢水防護上の区画番号	-*4	-		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-*4	-		化学薬品防護上の区画番号	-*5	-		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-*5	-	<p>設工認のト. (2) (ii) (b) - ⑤は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (ii) (b) - ⑤と同義であり整合している。</p> <p>設工認のト. (2) (ii) (b) - ⑥は、事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (ii) (b) - ⑥と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けたト. (2) (ii) (b) - ⑦は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	
		変更前	変更後																																																														
名称		第1放出前貯槽*2	第1放出前貯槽 (再処理施設*6、 MOX燃料加工施設 と共用)*7																																																														
種類		ライニングプール式																																																															
容量	単位/観		ト. (2) (ii) (b) - ⑥																																																														
主要寸法	たて	m																																																															
	横	m																																																															
	深さ	m																																																															
	ライニング板厚さ	mm																																																															
主要材料 (ライニング)			ト. (2) (ii) (b) - ⑤																																																														
個数		4	変更なし																																																														
系統名 (ライン名)		低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)																																																															
設置床		T.M.S.L.*3																																																															
取付箇所	溢水防護上の区画番号	-*4	-																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-*4	-																																																														
	化学薬品防護上の区画番号	-*5	-																																																														
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-*5	-																																																														



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																															
<p>第1海洋放出ポンプ 2 台                      (MOX燃料加工施設と共用)                      材料 ステンレス鋼                      ト.(2)(ii)(b)-⑧                      容量 約 100 m<sup>3</sup>/h (1台あたり)</p>	<p>c. 第1海洋放出ポンプ (MOX燃料加工施設と共用)                      種類 うず巻式                      台数 2                      容量 約 100m<sup>3</sup>/h (1台あたり)                      主要材料 ステンレス鋼</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">ポンプ</td> <td>名称</td> <td>第1海洋放出ポンプ*</td> <td>第1海洋放出ポンプ [再処理施設* MOX燃料加工施設と共用]**</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>うず巻形</td> </tr> <tr> <td>容量**</td> <td>m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>揚程**</td> <td>m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>横</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>ト.(2)(ii)(b)-⑧</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">取付箇所</td> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L.***</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*6</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*6</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*7</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原動機</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機**</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1海洋放出ポンプA,B」と記載。                      *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。                      *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。                      *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。                      *6: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。                      *7: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。                      *8: 第1海洋放出ポンプ [ ] は、再処理施設にて設備登録を行っている。                      *9: 第1海洋放出ポンプ [ ] は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>			変更前	変更後	ポンプ	名称	第1海洋放出ポンプ*	第1海洋放出ポンプ [再処理施設* MOX燃料加工施設と共用]**	種類	—	うず巻形	容量**	m <sup>3</sup> /h	—	揚程**	m	—	最高使用圧力	MPa	—	最高使用温度	℃	—	主要寸法	吸込口径	—	—	吐出口径	—	—	たて	mm	—	主要材料	横	mm	—	高さ	mm	—	主要材料	ケーシング	—	ト.(2)(ii)(b)-⑧	取付箇所	個数	—	2	系統名 (ライン名)	—	低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)	設置床	—	T.M.S.L.***	溢水防護上の区画番号	—	*6	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*6	化学薬品防護上の区画番号	—	*7	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*7	原動機	種類	—	誘導電動機**	出力	kW/個	—	個数	—	2	取付箇所	—	—	<p>設工認のト.(2)(ii)(b)-⑧は、事業変更許可申請書(本文)のト.(2)(ii)(b)-⑧と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																
ポンプ	名称	第1海洋放出ポンプ*	第1海洋放出ポンプ [再処理施設* MOX燃料加工施設と共用]**																																																																																
	種類	—	うず巻形																																																																																
	容量**	m <sup>3</sup> /h	—																																																																																
	揚程**	m	—																																																																																
	最高使用圧力	MPa	—																																																																																
	最高使用温度	℃	—																																																																																
	主要寸法	吸込口径	—	—																																																																															
		吐出口径	—	—																																																																															
		たて	mm	—																																																																															
	主要材料	横	mm	—																																																																															
高さ		mm	—																																																																																
主要材料	ケーシング	—	ト.(2)(ii)(b)-⑧																																																																																
取付箇所	個数	—	2																																																																																
	系統名 (ライン名)	—	低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)																																																																																
	設置床	—	T.M.S.L.***																																																																																
	溢水防護上の区画番号	—	*6																																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*6																																																																																
	化学薬品防護上の区画番号	—	*7																																																																																
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*7																																																																																
原動機	種類	—	誘導電動機**																																																																																
	出力	kW/個	—																																																																																
	個数	—	2																																																																																
	取付箇所	—	—																																																																																

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																					
<p>ト. (2) (ii) (b) - ⑨ 第2海洋放出ポンプ 2 台 材料 ステンレス鋼 容量 約 100 m<sup>3</sup> / h (1 台当たり)</p> <p>ト. (2) (ii) (b) - ⑩ 海洋放出管 1 式 (MOX燃料加工施設と共用)</p> <p>海洋放出口 1 個 海底から約 3 m 立上げ ノズル径約 75mm</p>	<p>e. 海洋放出管 (MOX燃料加工施設と共用) 数量 1. 管径 陸上部 約 150mm 海域部 約 200mm 主要材料 陸上部 ステンレス鋼 海域部 炭素鋼 海洋放出口 1 個 海底より約 3 m 立上げ, ノズル径約 75mm</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>整合性 設工認のト. (2) (ii) (b) - ⑩は, 事業変更許可申請書(本文)のト. (2) (ii) (b) - ⑩と同義であり整合している。</p> </div>	<p>設工認申請書 該当事項</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径** (mm)</th> <th>厚さ** (mm)</th> <th>材料</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径** (mm)</th> <th>厚さ** (mm)</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">海洋放出管</td> <td>内圧 2.94</td> <td rowspan="5">40</td> <td rowspan="5">165.2</td> <td rowspan="5">7.1</td> <td rowspan="5">SUS304TP</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">海洋放出口</td> <td rowspan="5">変更なし</td> <td rowspan="5">40</td> <td rowspan="5">165.2</td> <td rowspan="5">11.0</td> <td rowspan="5">STPG370</td> </tr> <tr> <td>外圧 0.97</td> </tr> <tr> <td>内圧 0.69</td> </tr> <tr> <td>外圧 0.97</td> </tr> <tr> <td>内圧 0.69</td> </tr> <tr> <td>外圧 -</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td colspan="6">                 ビット (R-1) 合流部 ～ 海洋放出口** (再処理施設***, MOX燃料加工施設と共用)             </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化を行う。設工認申請書には「名称」に「合流部～#301」、「#301～境界部」、「境界部～海洋放出口」と記載。 *3: 海洋放出口 (1 個) は, 最高使用温度 40°C, ノズル径 75mm の特造品で海底より約 3m 立上げ T.M.S.L. 約 -45m に設置する。 海洋放出管の立上がり部は, 四角錐形状で炭素鋼 (STPG410, SS400) 製の海洋放出管支持架台により支持する。 *4: ビット (R-1) 合流部～海洋放出口は, MOX燃料加工施設と共用する。 *5: ビット (R-1) 合流部～海洋放出口は, 再処理施設にて設備点検を行っている。</p>	変更前						変更後						名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径** (mm)	厚さ** (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径** (mm)	厚さ** (mm)	材料	海洋放出管	内圧 2.94	40	165.2	7.1	SUS304TP	海洋放出口	変更なし	40	165.2	11.0	STPG370	外圧 0.97	内圧 0.69	外圧 0.97	内圧 0.69	外圧 -							ビット (R-1) 合流部 ～ 海洋放出口** (再処理施設***, MOX燃料加工施設と共用)						<p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けたト. (2) (ii) (b) - ⑨は, 本設工認では仕様表対象外である。</p>	<p>備考</p>
変更前						変更後																																																			
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径** (mm)	厚さ** (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径** (mm)	厚さ** (mm)	材料																																														
海洋放出管	内圧 2.94	40	165.2	7.1	SUS304TP	海洋放出口	変更なし	40	165.2	11.0	STPG370																																														
	外圧 0.97																																																								
	内圧 0.69																																																								
	外圧 0.97																																																								
	内圧 0.69																																																								
外圧 -																																																									
						ビット (R-1) 合流部 ～ 海洋放出口** (再処理施設***, MOX燃料加工施設と共用)																																																			

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><b>ト. (2) (iii) - ①</b>                      (iii) 廃棄物の処理能力                      液体廃棄物の廃棄施設は、高レベル廃液を約 3.2m<sup>3</sup>/h、低レベル廃液を約 15.5m<sup>3</sup>/h で蒸発処理できる能力を有する。また、液体廃棄物の廃棄施設は、低レベル廃液の処理済液を約 100m<sup>3</sup>/h で海洋放出できる能力を有する。</p> <p><b>ト. (2) (iv) - ①</b>                      (iv) 廃液槽の最大保管廃棄能力                      液体廃棄物の廃液槽を設置しないので該当なし。</p> <p><b>ト. (2) (v) - ①</b>                      (v) 海洋放出口の位置                      敷地東側の汀線から沖合約 3 km の太平洋海中（東京湾平均海面下約 45m）に設置する。</p>		<p>(基本設計方針)</p> <p>周辺環境に放出する放射性液体廃棄物による公衆の線量は、合理的に達成できる限り低くする設計とする。廃液の放射性物質の濃度、性状及び廃液に含まれる成分に応じて過、脱塩及び蒸発の処理を行う設計とする。</p> <p>周辺環境に放出する放射性液体廃棄物中の放射性物質の量及び濃度を確認し、十分な拡散効果を有する海洋放出口から海洋に放出する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>液体廃棄物の廃棄施設は、放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、液体廃棄物を内包する容器又は管に放射性物質を含まない液体を導く管を接続する場合には、液体廃棄物が放射性物質を含まない液体を導く管へ逆流することを防止する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた <b>ト. (2) (iii) - ①</b> は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた <b>ト. (2) (iv) - ①</b> は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた <b>ト. (2) (v) - ①</b> は、本設工認の対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>5.2.1 高レベル廃液処理設備</p> <p>高レベル廃液処理設備は、高レベル廃液濃縮設備及び高レベル廃液貯蔵設備で構成する。</p> <p>5.2.1.1 高レベル廃液濃縮設備</p> <p>高レベル廃液濃縮設備は、高レベル廃液濃縮系及びアルカリ廃液濃縮系で構成する。</p> <p>5.2.1.1.1 高レベル廃液濃縮系</p> <p>高レベル廃液濃縮系は、分離施設の分離設備の抽出廃液供給槽からの抽出廃液、酸及び溶媒の回収施設の酸回収設備の蒸発缶から発生し分離施設の分離設備の抽出廃液供給槽を経た濃縮液、気体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の廃ガス洗浄液槽から発生し分離施設の分離設備の抽出廃液供給槽を経た廃ガス洗浄液等を高レベル廃液供給槽に受け入れた後、連続的に高レベル廃液濃縮缶に供給する設計とする。</p> <p>高レベル廃液濃縮缶では、減圧下で蒸発・濃縮した後、濃縮液（以下「高レベル濃縮廃液」という。）については、スチームジェットポンプで高レベル廃液貯蔵設備の高レベル濃縮廃液一時貯槽、高レベル濃縮廃液貯槽又は高レベル廃液共用貯槽へ移送する設計とする。</p> <p>また、蒸発蒸気は、高レベル廃液濃縮缶凝縮器で冷却・凝縮後、凝縮液は酸及び溶媒の回収施設の第1酸回収系の第1供給槽又は第2供給槽へ移送し、廃ガスは減衰器で放射能を減衰した後、気体廃棄物の廃棄施設の分離建屋塔槽類廃ガス処理設備へ移送する設計とする。</p> <p>高レベル廃液濃縮系を構成する高レベル廃液濃縮缶内の温度計保護管は、濃縮缶側から保護管内先端部にかかる圧力以上に保護管の内部をその他再処理設備の附属施設の一般圧縮空気系により加圧できる設計とする。</p> <p>高レベル廃液濃縮系のうち、高レベル濃縮高レベル廃液供給槽、高レベル廃液濃縮缶、高レベル廃液濃縮缶凝縮器及び一部の配管については、万一の故障時に備え長期予備を有する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>5.2.1.1.2 アルカリ廃液濃縮系</p> <p>アルカリ廃液濃縮系は、酸及び溶媒の回収施設の溶媒回収設備の溶媒再生系の分離・分配系の第1洗浄器、プルトニウム精製系の第1洗浄器等からアルカリ廃液をアルカリ廃液供給槽に受け入れた後、アルカリ廃液濃縮缶に供給する設計とする。</p> <p>アルカリ廃液濃縮缶で蒸発・濃縮した濃縮液（以下「アルカリ濃縮廃液」という。）についてはスチームジェットポンプで高レベル廃液貯蔵設備のアルカリ濃縮廃液貯槽又は高レベル廃液共用貯槽へ移送する設計とする。</p> <p>また、蒸発蒸気については、アルカリ廃液濃縮缶凝縮器で冷却・凝縮後、低レベル廃液処理設備の第1低レベル廃液処理系の第1低レベル第1廃液受槽等へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.1.2 高レベル廃液貯蔵設備</p> <p>高レベル廃液貯蔵設備は、高レベル濃縮廃液貯蔵系、不溶解残渣廃液貯蔵系、アルカリ濃縮廃液貯蔵系及び共用貯蔵系で構成する。</p> <p>高レベル廃液貯蔵設備は、高レベル廃液を貯蔵する能力を有する設計とする。</p> <p>5.2.1.2.1 高レベル濃縮廃液貯蔵系</p> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵系は、高レベル濃縮廃液一時貯槽及び高レベル濃縮廃液貯槽で構成し、高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮缶から高レベル濃縮廃液等を高レベル濃縮廃液一時貯槽に受け入れた後、スチームジェットポンプで固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備の高レベル廃液混合槽へ移送するか又は高レベル濃縮廃液貯槽に移送し貯蔵する設計とする。また、高レベル濃縮廃液貯槽に貯蔵した高レベル濃縮廃液については、スチームジェットポンプで高レベル濃縮廃液一時貯槽へ移送した後、固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備の高レベル廃液混合槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.1.2.2 不溶解残渣廃液貯蔵系</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>不溶解残渣廃液貯蔵系は、不溶解残渣廃液一時貯槽及び不溶解残渣廃液貯槽で構成し、溶解施設の清澄・計量設備の不溶解残渣回収槽から不溶解残渣廃液を不溶解残渣廃液一時貯槽に受け入れた後、スチームジェットポンプで固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備の高レベル廃液混合槽へ移送するか又は不溶解残渣廃液貯槽に移送し貯蔵する設計とする。また、不溶解残渣廃液貯槽に貯蔵した不溶解残渣廃液は、スチームジェットポンプで不溶解残渣廃液一時貯槽へ移送した後、固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備の高レベル廃液混合槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.1.2.3 アルカリ濃縮廃液貯蔵系</p> <p>アルカリ濃縮廃液貯蔵系は、高レベル廃液濃縮設備のアルカリ廃液濃縮缶からのアルカリ濃縮廃液及び分離施設の分離建屋一時貯留処理設備の第10一時貯留処理槽等からのアルカリ洗浄廃液をアルカリ濃縮廃液貯槽に受け入れ貯蔵し、また、アルカリ濃縮廃液及びアルカリ洗浄廃液をアルカリ濃縮廃液貯槽から、スチームジェットポンプで固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備のアルカリ濃縮廃液中和槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.1.2.4 共用貯蔵系</p> <p>共用貯蔵系は、高レベル濃縮廃液、不溶解残渣廃液、アルカリ濃縮廃液及びアルカリ洗浄廃液を高レベル廃液共用貯槽に受け入れ貯蔵し、また、スチームジェットポンプで固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備へ移送する設計とする</p> <p>5.2.2 低レベル廃液処理設備</p> <p>低レベル廃液処理設備は、第1低レベル廃液処理系、第2低レベル廃液処理系、洗濯廃液処理系、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系、油分除去系、及び海洋放出管理系で構成し、低レベル廃液をその性状に応じて分類後処理し、処理後の排水については、放出管理を行って海洋へ放出する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>各施設の管理区域内で発生する廃液のうち高レベル廃液及び廃溶媒以外の廃液については、低レベル廃液としてそれぞれの建屋に設けた中間貯槽に性状に応じて分類して集め、低レベル廃液処理設備へ移送する設計とする。</p> <p>低レベル廃液処理設備は、海洋に放出する排水中の放射性物質の濃度及び量を合理的に達成できる限り低くするために、廃液の性状に応じて蒸発、ろ過等の適切な処理を行う設計とする。</p> <p>低レベル廃液処理設備で処理した処理水は、放出管理が行える海洋放出管理系を経て十分な拡散効果を有する海洋放出口から放出する設計とする。</p> <p>低レベル廃液処理設備は、処理能力は、各施設から発生する低レベル廃液を処理することが可能な能力を有する設計とする。</p> <p>また、低レベル廃液処理設備で処理した低レベル廃液を海洋放出できる能力を有する設計とする。</p> <p>5.2.2.1 第1低レベル廃液処理系</p> <p>第1低レベル廃液処理系は、高レベル廃液処理設備のアルカリ廃液濃縮缶凝縮器からの凝縮液、酸及び溶媒の回収施設の溶媒回収設備の溶媒再生系のウラン精製系の第2洗浄器等から受け入れた廃液、その他再処理設備の附属施設の分析設備の廃液、各施設からの床ドレン等及び六ヶ所保障措置分析所内の貯留容器にて一時貯留し、六ヶ所保障措置分析所が法令に定める周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを確認した排水を第1低レベル第1廃液受槽等に受け入れ、第1低レベル廃液蒸発缶で蒸発濃縮する設計とする。</p> <p>第1低レベル廃液蒸発缶の濃縮液は、固体廃棄物の廃棄施設の低レベル固体廃棄物処理設備の乾燥装置へ移送し、凝縮液については第2低レベル廃液処理系の第2低レベル廃液受槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.2.2 第2低レベル廃液処理系</p> <p>第2低レベル廃液処理系は、酸及び溶媒の回収施設の第1酸回収系の精留塔及び第2酸回収系の</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>精留塔からの回収した水，第1低レベル廃液処理系の第1低レベル廃液蒸発缶からの凝縮液等を第2低レベル廃液受槽に受け入れ，第2低レベル廃液蒸発缶で蒸発濃縮する設計とする。</p> <p>第2低レベル廃液蒸発缶の濃縮液については，酸及び溶媒の回収施設の第1酸回収系の第1供給槽又は第2供給槽へ移送し，凝縮液については油分除去系の油分除去装置へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.2.3 洗濯廃液処理系</p> <p>洗濯廃液処理系は，再処理施設の管理区域で使用した防護衣を洗濯する際に発生する洗濯廃液の処理を行う設計とする。洗濯廃液については，ろ過後，海洋放出管理系の第1放出前貯槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.2.4 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系は，使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設で発生する低レベル廃液を処理する設計とする。</p> <p>使用済燃料輸送容器の内部水，使用済燃料輸送容器の内部除染水等については，第1ろ過装置で処理した後，機器ドレン等とともに，第2ろ過装置及び脱塩装置にて処理する設計とする。</p> <p>脱塩装置からの処理水については，第6低レベル廃液蒸発缶へ，必要に応じ第5低レベル廃液蒸発缶又は第1低レベル廃液蒸発缶へ移送するか，使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の補給水槽に移送し，貯蔵後再使用する設計とする。</p> <p>第6低レベル廃液蒸発缶又は第5低レベル廃液蒸発缶は，受け入れた低レベル廃液を蒸発濃縮し，濃縮液については，低レベル濃縮廃液貯槽に一時貯蔵し，固体廃棄物の廃棄施設の低レベル濃縮廃液処理系の固化装置へポンプで移送する設計とする。</p> <p>凝縮液については，海洋放出管理系の第1放出前貯槽又は第2放出前貯槽へ移送する設計とする。</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>また、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の管理区域で使用した防護衣を洗濯する際に発生する洗濯廃液等については、洗濯廃液ろ過装置にてろ過処理した後、海洋放出管理系の第1放出前貯槽又は第2放出前貯槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.2.5 油分除去系</p> <p>油分除去系は、第2低レベル廃液処理系の第2低レベル廃液蒸発缶からの凝縮液、せん断処理施設、溶解施設、分離施設及び精製施設の試薬ドレン、並びに再処理施設の管理区域で発生する手洗い水等の油分を含む可能性のある放射性物質の濃度が極めて小さい廃液、また、六ヶ所保障措置分析所内の貯留容器にて一時貯留し、六ヶ所保障措置分析所が法令に定める周辺監視区域外の水中の濃度限度以下であることを確認した排水を受け入れ、油分除去装置で廃液中の油分を除去する設計とする。廃液については、油分除去後、海洋放出管理系の第1放出前貯槽へ移送する設計とする。</p> <p>5.2.2.6 海洋放出管理系</p> <p>海洋放出管理系の第1放出前貯槽(MOX燃料加工施設と共用(以下同じ。))は、油分除去系の油分除去装置、洗濯廃液処理系の洗濯廃液ろ過装置並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系の第6低レベル廃液蒸発缶又は第5低レベル廃液蒸発缶及び洗濯廃液ろ過装置からの処理済廃液を受け入れる設計とする。</p> <p>第2放出前貯槽は、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系の第6低レベル廃液蒸発缶又は第5低レベル廃液蒸発缶及び洗濯廃液ろ過装置からの処理済廃液を受け入れ、第2海洋放出ポンプで第1放出前貯槽へ移送する設計とする。</p> <p>また、再処理施設の管理区域で発生する空調ドレン等の放射性物質の濃度が極めて小さい廃液については、第1放出前貯槽又は第2放出前貯槽に受け入れる設計とする。</p> <p>第1放出前貯槽では、受け入れた廃液の試料採取を行い、放射線管理施設の放出管理分析設備にて放射性物質の量及び濃度を確認した後、第1海洋放出ポンプ(MOX燃料加工施設と共用(以下同じ。))で海洋放出管(MOX燃料加工施設と共用(以</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>下同じ。))を経て海洋に放出する設計とする。</p> <p>ポンプの吐出側には流量計を設置し流量を監視するとともに、1基の貯槽から廃液を放出している間は、他の貯槽からは放出しない設計とする。</p> <p>第2海洋放出ポンプから導く海洋放出管は、再処理設備本体の運転開始時には、第1海洋放出ポンプから導く海洋放出管との合流部で切り離し、以後使用しない設計とする。</p> <p>海洋放出管理系のうち、MOX燃料加工施設から排出した排水が通過する経路は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設から排出した排水が通過する経路は、排水を第1放出前貯槽に受け入れる経路上に設置する弁を閉止することにより、MOX燃料加工施設からの波及的影響を及ぼさない設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(3) 固体廃棄物の廃棄施設 (i) 構造 固体廃棄物の廃棄施設は、高レベル廃液をガラス固化体に処理する高レベル廃液ガラス固化設備2系列（一部1系列）、ガラス固化体を貯蔵するガラス固化体貯蔵設備、低レベル濃縮廃液、廃棄する有機溶媒（以下「廃溶媒」という。）、チャンネルボックス（以下「CB」という。）、バーナブルポイズン（以下「BP」という。）及び雑固体を処理する低レベル固体廃棄物処理設備及び低レベル固体廃棄物を貯蔵する低レベル固体廃棄物貯蔵設備で構成する。</p> <p>高レベル廃液ガラス固化設備は、高レベル廃液ガラス固化建屋に、ガラス固化体貯蔵設備は、高レベル廃液ガラス固化建屋及び第1ガラス固化体貯蔵建屋に、低レベル固体廃棄物処理設備は、低レベル廃棄物処理建屋及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に、低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋、第1低レベル廃棄物貯蔵建屋、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋及び第4低レベル廃棄物貯蔵建屋に収納する。ト(3)(i)-①</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋の主要構造は、「ト.(1)(i)構造」に示す。</p> <p>第1ガラス固化体貯蔵建屋のト(3)(i)-②主要構造は、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）で、地上1階、地下2階、建築面積約5,700m<sup>2</sup>（東棟約2,900m<sup>2</sup>及び西棟約2,800m<sup>2</sup>の一体構造）の建物である。</p>	<p>7.4 固体廃棄物の廃棄施設 7.4.1 概要 ＜中略＞</p>	<p>（基本設計方針） 第2章 個別項目 5. 放射性廃棄物の廃棄施設 5.3 固体廃棄物の廃棄施設</p> <p>固体廃棄物の廃棄施設は、高レベル廃液をガラス固化体に処理する高レベル廃液ガラス固化設備、ガラス固化体を貯蔵するガラス固化体貯蔵設備、低レベル濃縮廃液、廃棄する有機溶媒（以下「廃溶媒」という。）、チャンネルボックス（以下「CB」という。）、バーナブルポイズン（以下「BP」という。）及び雑固体を処理する低レベル固体廃棄物処理設備並びに低レベル固体廃棄物を貯蔵する低レベル固体廃棄物貯蔵設備で構成する。</p> <p>高レベル廃液ガラス固化設備は、高レベル廃液ガラス固化建屋に、ガラス固化体貯蔵設備は、高レベル廃液ガラス固化建屋及び第1ガラス固化体貯蔵建屋に、低レベル固体廃棄物処理設備は、低レベル廃棄物処理建屋及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に、低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋、第1低レベル廃棄物貯蔵建屋、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋及び第4低レベル廃棄物貯蔵建屋に収納する設計とする。ト(3)(i)-①</p> <p>第1ガラス固化体貯蔵建屋は、地上1階、地下2階の建物ト(3)(i)-②とする設計とする。</p>	<p>設工認のト(3)(i)-①は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-①と同義であり整合している。</p> <p>構造図については、添付書類「VI-2-5 構造図」に記載している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた第1ガラス固化体貯蔵建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。</p> <p>設工認のト(3)(i)-②は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-②と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>低レベル廃棄物処理建屋のト(3)(i)-③主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上4階、地下2階、建築面積約9,500m<sup>2</sup>の建物である。</p> <p>チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋のト(3)(i)-④主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階、地下1階、建築面積約3,500m<sup>2</sup>の建物である。</p> <p>ハル・エンドピース貯蔵建屋のト(3)(i)-⑤主要構造は、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）で、地上2階、地下4階、建築面積約2,200m<sup>2</sup>の建物である。</p> <p>第1低レベル廃棄物貯蔵建屋のト(3)(i)-⑥主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上1階、建築面積約2,700m<sup>2</sup>の建物である。</p>		<p>低レベル廃棄物処理建屋は、地上4階、地下2階の建物とト(3)(i)-③する設計とする。</p> <p>チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋は、地上2階、地下1階の建物とト(3)(i)-④する設計とする。</p> <p>ハル・エンドピース貯蔵建屋は、地上2階、地下4階建物とト(3)(i)-⑤する設計とする。</p> <p>第1低レベル廃棄物貯蔵建屋は、地上1階の建物とト(3)(i)-⑥する設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた低レベル廃棄物処理建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。 設工認のト(3)(i)-③は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-③と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。 設工認のト(3)(i)-④は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-④と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたハル・エンドピース貯蔵建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。 設工認のト(3)(i)-⑤は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑤と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた第1低レベル廃棄物貯蔵建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>第2低レベル廃棄物貯蔵建屋のト(3)(i)-⑦主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階、地下3階、建築面積約4,400m<sup>2</sup>の建物である。</p> <p>第4低レベル廃棄物貯蔵建屋のト(3)(i)-⑧主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上1階、建築面積約2,700m<sup>2</sup>の建物である。</p> <p>第1 ガラス固化体貯蔵建屋機器配置概要図を第130図から第133図に、低レベル廃棄物処理建屋機器配置概要図を第140図から第146図に、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋機器配置概要図を第147図から第150図に、ハル・エンドピース貯蔵建屋機器配置概要図を第151図から第157図に、第1低レベル廃棄物貯蔵建屋機器配置概要図を第158図に、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋機器配置概要図を第159図から第164図に、第4低レベル廃棄物貯蔵建屋機器配置概要図を第165図にそれぞれ示す。</p>		<p>第2低レベル廃棄物貯蔵建屋は、地上2階、地下3階の建物とト(3)(i)-⑦する設計とする。</p> <p>第4低レベル廃棄物貯蔵建屋は、地上1階の建物とト(3)(i)-⑧する設計とする。</p>	<p>対象外である。 設工認のト(3)(i)-⑥は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑥と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。 設工認のト(3)(i)-⑦は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑦と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた第4低レベル廃棄物貯蔵建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。 設工認のト(3)(i)-⑧は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑧と同義であり整合している。</p> <p>機器配置概要図については、添付書類「VI-2-4 配置図」に記載している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ト(3)(i)-⑨低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、再処理施設から発生する低レベル廃棄物を貯蔵するとともに、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生し容器に詰められた雑固体を貯蔵する設計とする。そのため、低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系をMOX燃料加工施設と共用し、第2低レベル廃棄物貯蔵系の一部を廃棄物管理施設と共用するとともに、ト(3)(i)-⑩第2低レベル廃棄物貯蔵系の一部を収納する第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の一部は、遮蔽として廃棄物管理施設と共用する。ト(3)(i)-⑪共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。ト(3)(i)-⑫また、ガラス固化体貯蔵設備にはガラス固化体の冷却のため冷却空気の流路及び十分な高さの高レベル廃液ガラス固化建屋及びガラス固化体貯蔵建屋の冷却空気出口シャフト（以下「冷却空気出口シャフト」という。）を設け、ガラス固化体の崩壊熱により生じる通風力によって流れる冷却空気により崩壊熱を除去する構造とする。</p>		<p>5.3.4.6 第2低レベル廃棄物貯蔵系  ト(3)(i)-⑨第2低レベル廃棄物貯蔵系は、再処理施設から発生する低レベル固体廃棄物を貯蔵するとともに、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生し容器に詰められた雑固体を貯蔵する設計とする。  第2低レベル廃棄物貯蔵系は、MOX燃料加工施設と共用し、第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系は、廃棄物管理施設と共用する。  共用する第2低レベル廃棄物貯蔵系は、再処理施設から発生する低レベル固体廃棄物、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生する雑固体の推定年間発生量に対して必要な容量を有する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>8. 遮蔽  &lt;中略&gt;  ト(3)(i)-⑩第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の外部遮蔽は、廃棄物管理施設と共用する。  ト(3)(i)-⑪共用する第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の外部遮蔽は、廃棄物管理施設から受け入れる雑固体が再処理施設から発生する雑固体と表面線量当量率が同等であることを確認して保管廃棄する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>5.3.2 ガラス固化体貯蔵設備  ト(3)(i)-⑫ガラス固化体貯蔵設備は、貯蔵ピット、トレンチ移送台車、ガラス固化体検査室パワーマニプレータ、ガラス固化体検査室収納架台、ガラス固化体受入れクレーン、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン、冷却空気入口シャフト及び冷却空気出口シャフトで構成する。  ガラス固化体貯蔵設備は、高レベル廃液ガラス固化設備からガラス固化体を受け入れる設計とする。ガラス固化体は、高レベル廃液ガラス固化設備のガラス固化体検査</p>	<p>設工認のト(3)(i)-⑨は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑨と同義であり整合している。</p> <p>設工認のト(3)(i)-⑩は、変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑩の記載と同義であり整合している。  設工認のト(3)(i)-⑪、変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑪を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のト(3)(i)-⑫は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(i)-⑫を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>高レベル廃液ガラス固化設備系統概要図を第 44 図に、低レベル固体廃棄物処理設備系統概要図を第 45 図に示す。</p>		<p>室天井クレーンにより高レベル廃液ガラス固化建屋内の貯蔵ピットに搬送し、貯蔵するか、又はトレンチ移送台車により第 1 ガラス固化体貯蔵建屋へ払い出す。高レベル廃液ガラス固化建屋から払い出したガラス固化体は、ガラス固化体受入れクレーンを用いて、トレンチ移送台車から取り出す。取り出したガラス固化体は、第 1 ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンにより第 1 ガラス固化体貯蔵建屋内の貯蔵ピットに搬送し、貯蔵する設計とする。</p> <p>ガラス固化体貯蔵設備は、ガラス固化体から発生する崩壊熱によるガラス固化体及び構造物の過度の温度上昇を防止するため、冷却空気を冷却空気入口シャフトから貯蔵ピットの下部に流入し、ガラス固化体からの崩壊熱により生じる通風力によって、収納管と通風管の間の円環流路を上昇しながらガラス固化体の崩壊熱を除去する。崩壊熱を除去した空気は、十分な通風力を与える高さの冷却空気出口シャフト排気口から大気中へ放出する設計とし、これらによってガラス固化体及び構造物の温度を適切に維持する設計とする。</p> <p>また、ガラス固化体貯蔵設備は、ガラス固化体からの崩壊熱が適切に除去されていることを確認するため、冷却空気の温度を監視する設計とする。</p>	<p>系統概要図については、添付書類「VI-2-3 系統図」に記載している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ii) 主要な設備及び機器の種類</p> <p>(a) 高レベル廃液ガラス固化設備 <u>ト(3)(ii)(a)</u></p> <p><u>ト(3)(ii)(a)-①</u> ガラス溶融炉 2 基 (1 基/系列) 材料 ステンレス鋼 (ケーシング) 耐火レンガ (炉材)</p> <p><u>ト(3)(ii)(a)-②</u> 高レベル廃液調整槽 3 基 材料 ステンレス鋼 容量 約 20 m<sup>3</sup>/基 (2 基) 約 6 m<sup>3</sup> (1 基)</p> <p><u>ト(3)(ii)(a)-③</u> 高レベル廃液供給液槽 4 基 (2 基/系列) 材料 ステンレス鋼 容量 約 5 m<sup>3</sup>/基 (2 基) 約 2 m<sup>3</sup>/基 (2 基)</p> <p><u>ト(3)(ii)(a)-④</u> 固化セル移送台車 2 台 (1 台/系列)</p> <p><u>ト(3)(ii)(a)-⑤</u> ガラス固化体検査室天井クレーン 1 台</p> <p><u>ト(3)(ii)(a)-⑥</u> ガラス固化体検査装置 1 式</p>	<p>7.4.2 高レベル廃液ガラス固化設備 &lt;中略&gt;</p> <p>7.4.2.4 系統構成及び主要設備 高レベル廃液ガラス固化設備は、2 系列(一部 1 系列)で構成し、通常は 2 系列で運転するが、1 系列故障時等には、1 系列で運転できるよう設計する。 高レベル廃液ガラス固化設備は、液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液処理設備の高レベル廃液濃縮系等から発生する高レベル廃液を処理することが可能な能力を有する。</p> <p>(1) 系統構成 高レベル廃液ガラス固化設備は、液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液貯蔵設備から高レベル濃縮廃液及び不溶解残渣廃液を高レベル廃液混合槽に受け入れる。また、アルカリ濃縮廃液及びアルカリ洗浄廃液をアルカリ濃縮廃液中和槽に受け入れる。 必要に応じて中和等の処理をしたアルカリ濃縮廃液及びアルカリ洗浄廃液は、高レベル廃液混合槽に移送する。高レベル廃液混合槽内の廃液は、必要に応じて組成調整を行った後、供給液槽及び供給槽を経てガラス溶融炉に移送し、ガラス原料とともに、1,100～1,200℃程度で溶融する。 また、ガラス溶融炉の洗浄運転を実施する場合は、高レベル廃液に替えてガラス溶融炉</p>	<p><u>ト(3)(iii)-①</u>高レベル廃液ガラス固化設備は、各施設から発生する高レベル廃液を約 140L/h で処理できる能力を有する設計とする。 低レベル固体廃棄物処理設備は、各施設及び公益財団法人核物質管理センターが運営する六ヶ所保障措置分析所 (以下「各種施設」という。) で発生する低レベル濃縮廃液約 0.2 m<sup>3</sup>/h 及び 200L ドラム缶約 2 本/日、廃溶媒を約 8L/h、焼却可能な雑固体を約 75 kg/h 及び圧縮減容可能な雑固体を圧縮力 1,500 t 並びに C B・B P を各々約 1 個/h 及び 0.5 個/h で処理できる能力を有する設計とする。</p> <p>5.3.1 高レベル廃液ガラス固化設備</p> <p><u>ト(3)(ii)(a)</u>高レベル廃液ガラス固化設備は、2 系列(一部 1 系列)で構成する。 高レベル廃液ガラス固化設備は、液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液処理設備の高レベル廃液濃縮系等から発生する高レベル廃液を処理することが可能な能力を有する設計とする。 高レベル廃液ガラス固化設備は、液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液貯蔵設備から高レベル濃縮廃液及び不溶解残渣廃液を高レベル廃液混合槽に受け入れる設計とする。また、アルカリ濃縮廃液及びアルカリ洗浄廃液をアルカリ濃縮廃液中和槽に受け入れる設計とする。 必要に応じて中和等の処理をしたアルカリ濃縮廃液及びアルカリ洗浄廃液は、高レベル廃液混合槽に移送する。高レベル廃液混合槽内の廃液は、必要に応じて組成調整を行った後、供給液槽及び供給槽を経てガラス溶融炉に移送し、ガラス原料とともに溶融する設計とする。 また、ガラス溶融炉の洗浄運転を実施する場合は、高レベル廃液に替えてガラス溶融炉に模擬廃液供給設備より模擬廃液を移</p>	<p>設工認の <u>ト(3)(iii)-①</u>は、事業変更許可申請書 (本文) の <u>ト(3)(iii)-①</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ト(3)(ii)(a)</u>は、主要設備の系統構成について具体的に記載しており、事業変更許可申請書 (本文) の <u>ト(3)(ii)(a)</u>と整合している。 設備の仕様については仕様表に記載している。</p> <p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けた <u>ト(3)(ii)(a)-①</u>の一部 <u>ト(3)(ii)(a)-④～⑥</u>は、本設工認の対象外である。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>に模擬廃液を移送し、ガラス原料とともに溶融する。</p> <p>ガラス溶融炉内で溶融したガラスは、固化セル移送台車上のガラス固化体容器に注入する。</p> <p>注入後、ふたを溶接し、表面汚染検査等の検査を実施したガラス固化体は、ガラス固化体検査室天井クレーンによりガラス固化体貯蔵設備に移送する。</p> <p>なお、ガラス固化体貯蔵設備で貯蔵中のガラス固化体の過度の温度上昇を防止する観点から、高レベル廃液ガラス固化設備では、ガラス固化体1本当たりの発熱量2.3kW以下を目標としてガラス固化体を製造する。</p> <p>(2) 主要設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>高レベル廃液ガラス固化設備のガラス溶融炉は、計測制御系統施設の固化セル移送台車上の重量計の信号が固化ガラス1本分の質量になると発信する信号により、流下ノズルの加熱を停止し、さらに、流下ノズル冷却用の冷却空気供給用弁を開とし、その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気系から空気を供給し、溶融ガラスの流下停止を行う流下停止系を設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>送り、ガラス原料とともに溶融する設計とする。</p> <p>ガラス溶融炉内で溶融したガラスは、固化セル移送台車上のガラス固化体容器に注入する設計とする。</p> <p>注入後、溶接機にてガラス固化体容器にふたを溶接し、除染装置にて、ガラス固化体表面の除染を行う。その後、ガラス固化体検査装置での各種検査（外観検査、表面汚染検査、寸法検査、閉じ込め検査）を実施したガラス固化体は、ガラス固化体検査室天井クレーンによりガラス固化体貯蔵設備に移送する設計とする。</p> <p>なお、ガラス固化体貯蔵設備で貯蔵中のガラス固化体の過度の温度上昇を防止する観点から、高レベル廃液ガラス固化設備では、ガラス固化体1本当たりの発熱量2.3kW以下を目標としてガラス固化体を製造する。</p> <p>ただし、ガラス固化体の発熱量は、高レベル廃液の分析値のばらつき、ガラス溶融炉への高レベル廃液及びガラス原料の供給量の変動並びにガラス固化体容器へのガラス注入量の変動を考慮すると目標からばらつくことが考えられ、2.3kW/本以下を目標としてガラス固化体を製造する場合、製造されるガラス固化体の発熱量は、ばらつきを考慮して1本の最大値としては2.8kW/本となるような設計とする。</p> <p>ガラス溶融炉は、固化セル移送台車の重量計により流下ガラス質量を監視するとともに、流下ガラスがガラス固化体容器以外に流下することを防止するため、計測制御系統施設の固化セル移送台車上の重量計の信号が固化ガラス1本分の質量になると発信する信号により、流下ノズルの加熱を停止し、さらに、流下ノズル冷却用の冷却空気供給用弁を開とし、その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気系から空気を供給し、溶融ガラスの流下停止を行う流下停止系を設ける設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>a. 高レベル廃液調整槽</p> <p>(a) 高レベル廃液混合槽</p> <p>高レベル廃液混合槽は、内包する廃液の崩壊熱を除去するため独立した2系列の冷却コイルを設置し、その他再処理設備の附属施設の安全冷却水系から冷却水を適切に供給する設計とする。さらに、<u>廃液かくはん用にかくはん装置を設ける。</u>また、高レベル廃液混合槽は、廃液の放射線分解により発生する水素を希釈するために、その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気系から空気を適切に供給する設計とする。高レベル廃液混合槽は、液温の監視用に温度計を設ける。</p> <p>(b) アルカリ濃縮廃液中和槽</p> <p><u>アルカリ濃縮廃液中和槽は、廃液かくはん用にかくはん装置を設ける。</u>また、アルカリ濃縮廃液中和槽は、必要に応じて廃液を中和等の処理ができる設計とする。</p> <p>b. 高レベル廃液供給液槽</p> <p>(a) 供給液槽</p> <p>供給液槽は、内包する廃液の崩壊熱を除去するため、独立した2系列の冷却コイルを設置し、その他再処理設備の附属施設の安全冷却水系から冷却水を適切に供給する設計とする。さらに、<u>廃液かくはん用にかくはん装置を設ける。</u>また、供給液槽は、廃液の放射線分解により発生する水素を希釈するために、その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気系から空気を適切に供給する設計とする。供給液槽は、液温の監視用に温度計を設ける。供給液槽は、ガラス溶融炉へ供給する高レベル廃液の供給量監視用に液位計を設ける。</p> <p>(b) 供給槽</p> <p>供給槽は、内包する廃液の崩壊熱を除去するため、独立した2系列の冷却コイルを設置し、その他再処理設備の附属施設の安全冷却水系から冷却水を適切に供給する設計とする。さらに、<u>廃液かくはん用にかくはん装置を設ける。</u>また、供給槽は、廃液の放射線分解により発生する水素を希釈するために、その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気系から空気を適切に供給する設計とする。供給槽は、液温の監視用に温度計を設ける。</p>	<p>高レベル廃液調整槽（高レベル廃液混合槽、アルカリ濃縮廃液中和槽）及び高レベル廃液供給液槽（供給液槽、供給槽）は、<u>廃液かくはん用にかくはん装置を設ける設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>c. ガラス溶融炉</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>ガラス溶融炉は、<u>固化セル移送台車の重量計により流下ガラス質量を監視するとともに、流下ガラスがガラス固化体容器以外に流下することを防止するため、流下停止系を設ける設計とする。</u></p> <p>ガラス溶融炉は、クレーン等により遠隔で保守可能な設計とする。</p> <p>ガラス溶融炉は、<u>運転中に流下性の改善を図るため、棒状の装置を炉の上部から流下ノズル内部に挿入できる構造とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>なお、<u>ガラス固化体の発熱量は、高レベル廃液の分析値のばらつき、ガラス溶融炉への高レベル廃液及びガラス原料の供給量の変動並びにガラス固化体容器へのガラス注入量の変動を考慮すると目標からばらつくことが考えられ、2.3kW/本以下を目標としてガラス固化体を製造する場合、製造されるガラス固化体の発熱量は、ばらつきを考慮して1本の最大値としては2.8kW/本となるような設計とする。</u></p> <p>ガラス固化体概要図を第7.4-3図に示す。</p> <p>d. 固化セル移送台車</p> <p>固化セル移送台車は、<u>ガラス固化体が転倒しない構造とするとともに、遠隔自動運転とし、運転を安全かつ確実に行うため、逸走防止のインターロックを設ける設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>f. 除染装置</p> <p>除染装置は、<u>ガラス固化体を固化セルからつり上げ、ガラス固化体の表面の除染を行う装置である。除染装置のガラス固化体のつり上げ機構は、ガラス固化体の落下防止のため、つりワイヤを二重化し、フックに脱落防止機構を施すとともに、電源喪失時にもつり荷を保持できるフェイルセーフ機能を有する構造とする。さらに、除染装置のガラス固化体のつり上げ機構は、ガラス固化体のつり上げ高さを9m以内に制限できるインターロックを設け、万一のガラス固化体の落下によつ</u></p>	<p>ガラス溶融炉は、<u>運転中に流下性の改善を図るため、棒状の装置を炉の上部から流下ノズル内部に挿入できる設計とする。</u></p> <p>なお、<u>固化セル移送台車、ガラス固化体検査室天井クレーン等については、ガラス固化体を搬送する能力として必要な容量を有する設計とする。また、逸走防止のインターロックを設ける設計とする。</u></p> <p>ガラス固化体検査室天井クレーン等は、<u>ガラス固化体の落下防止のため、つりワイヤを二重化し、フックに脱落防止機構を施すとともに、電源喪失時にもつり荷を保持できるフェイルセーフ機能を有する構造とする。さらに、ガラス固化体のつり上げ高さを9m以内に制限できるインターロックを設ける設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>てもガラス固化体容器に著しい損傷を与えない設計とする。</p> <p>また、除染装置のガラス固化体のつり上げ機構は、遠隔自動運転とし、運転を安全かつ確実に行うため、逸走防止のインターロックを設ける。</p> <p>g. ガラス固化体検査室天井クレーン</p> <p>ガラス固化体検査室天井クレーンは、ガラス固化体の落下防止のため、つりワイヤを二重化し、フックに脱落防止機構を施すとともに、電源喪失時にもつり荷を保持できるフェイルセーフ機構を有する構造とする。</p> <p>さらに、ガラス固化体検査室天井クレーンは、収納管外でのガラス固化体のつり上げ高さを9m以内に制限できるインターロックを設け、万一のガラス固化体の落下によってもガラス固化体容器に著しい損傷を与えない設計とする。</p> <p>また、ガラス固化体検査室天井クレーンは、遠隔自動運転とし、運転を安全かつ確実に行うため、逸走防止のインターロックを設ける。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽を常設重大事故等対処設備として位置付け、重大事故等が発生した場合において、当該貯槽等からの放射性物質の漏えいを防止できる設計とする。</p> <p>「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発による温度、圧力、湿度、放射線及び荷重に対して、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽は、「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器における水素濃度ドライ換算 12vol%での水素爆発に伴う瞬間的に上</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因とする重大事故等が発生した場合においても、常設重大事故等対処設備である「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽は、第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備である「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽は、外部からの衝撃による損傷を防止できる高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備である「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備である「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の同時発生を仮定する高レベル廃液混合槽、供給液槽及び供給槽は、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>なお、閉じ込め及び崩壊熱除去については、第1章 共通項目「4.1 閉じ込め」、火災及び爆発の発生防止に係る設計については、第1章 共通項目「5.2 火災及び爆発の発生防止」に示す。</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																							
		<p>ト(3)(ii)(a)-①</p> <table border="1" data-bbox="1576 367 2095 1045"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>ガラス溶融炉*<!--2</td--> <td>■</td> </td></tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>液体供給式直接通電セラミックメルタ</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>処理容量 L/h/個</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>kPa</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>フランジ内径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>フランジ厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">レンガ回収治具</td> <td>下部ガイド管外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">負圧維持治具</td> <td>上部シャック内径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>耐火物</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>電極</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>結合装置</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>上部胴板</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>下部胴板</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>カバー</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1576 1102 2095 1375"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">個数</td> <td>ガラス溶融炉</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原料供給器</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保守治具入口シャック</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>レンガ回収治具</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>負圧維持治具</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>高レベル廃液ガラス固化設備</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>T.M.S.E. ■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>カバー</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ガラス溶融炉 A,B (■)」と記載。  *3: 当該設備は、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続配管の最高使用圧力を ( ) 内に示す。  *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ガラス溶融炉 A,B 原料供給器 (■)」と記載。  *5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「保守治具入口シャック 1,2 (■)」と記載。  *6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「レンガ回収治具 1~6 (■)」と記載。  *7: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「負圧維持治具 1,2 (■)」と記載。  *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-7図 ガラス溶融炉 A,B (■) の構造図 管台一覧表 P10」を示す。  *9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-7図 ガラス溶融炉 A,B (■) の構造図 管台一覧表 P2」を示す。</p>			変更前	変更後	名称		ガラス溶融炉* 2</td <td>■</td>	■	種類	—	液体供給式直接通電セラミックメルタ	■	容量	処理容量 L/h/個	■	■	最高使用圧力		kPa	■	最高使用温度		℃	■	主要寸法	たて	mm	■	横	mm	■	入口管台外径	mm	■	入口管台厚さ	mm	■	出口管台外径	mm	■	出口管台厚さ	mm	■	出口管台外径	mm	■	出口管台厚さ	mm	■	高さ	mm	■	入口管台外径	mm	■	入口管台厚さ	mm	■	高さ	mm	■	フランジ内径	mm	■	フランジ厚さ	mm	■	レンガ回収治具	下部ガイド管外径	mm	■	高さ	mm	■	高さ	mm	■	負圧維持治具	上部シャック内径	mm	■	高さ	mm	■	主要材料	ケーシング	—	■	耐火物	—	■	電極	—	■	結合装置	—	■	上部胴板	—	■	下部胴板	—	■	フランジ	—	■	カバー	—	■			変更前	変更後	個数	ガラス溶融炉	1	1	原料供給器	2	2	保守治具入口シャック	2	2	レンガ回収治具	6	6	負圧維持治具	2	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	高レベル廃液ガラス固化設備	■	設置床	T.M.S.E. ■	■	溢水防護上の区画番号	—	■	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	■	化学薬品防護上の区画番号	—	■	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	■	カバー	—	■	<p>設工認のト(3)(ii)(a)-①は、事業変更許可申請書(本文)のト(3)(ii)(a)-①と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																																																								
名称		ガラス溶融炉* 2</td <td>■</td>	■																																																																																																																																																								
種類	—	液体供給式直接通電セラミックメルタ	■																																																																																																																																																								
容量	処理容量 L/h/個	■	■																																																																																																																																																								
最高使用圧力		kPa	■																																																																																																																																																								
最高使用温度		℃	■																																																																																																																																																								
主要寸法	たて	mm	■																																																																																																																																																								
	横	mm	■																																																																																																																																																								
	入口管台外径	mm	■																																																																																																																																																								
	入口管台厚さ	mm	■																																																																																																																																																								
	出口管台外径	mm	■																																																																																																																																																								
	出口管台厚さ	mm	■																																																																																																																																																								
	出口管台外径	mm	■																																																																																																																																																								
	出口管台厚さ	mm	■																																																																																																																																																								
	高さ	mm	■																																																																																																																																																								
	入口管台外径	mm	■																																																																																																																																																								
	入口管台厚さ	mm	■																																																																																																																																																								
	高さ	mm	■																																																																																																																																																								
	フランジ内径	mm	■																																																																																																																																																								
	フランジ厚さ	mm	■																																																																																																																																																								
レンガ回収治具	下部ガイド管外径	mm	■																																																																																																																																																								
	高さ	mm	■																																																																																																																																																								
	高さ	mm	■																																																																																																																																																								
負圧維持治具	上部シャック内径	mm	■																																																																																																																																																								
	高さ	mm	■																																																																																																																																																								
主要材料	ケーシング	—	■																																																																																																																																																								
	耐火物	—	■																																																																																																																																																								
	電極	—	■																																																																																																																																																								
	結合装置	—	■																																																																																																																																																								
	上部胴板	—	■																																																																																																																																																								
	下部胴板	—	■																																																																																																																																																								
	フランジ	—	■																																																																																																																																																								
カバー	—	■																																																																																																																																																									
		変更前	変更後																																																																																																																																																								
個数	ガラス溶融炉	1	1																																																																																																																																																								
	原料供給器	2	2																																																																																																																																																								
	保守治具入口シャック	2	2																																																																																																																																																								
	レンガ回収治具	6	6																																																																																																																																																								
	負圧維持治具	2	2																																																																																																																																																								
取付箇所	系統名 (ライン名)	高レベル廃液ガラス固化設備	■																																																																																																																																																								
	設置床	T.M.S.E. ■	■																																																																																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	■																																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	■																																																																																																																																																								
	化学薬品防護上の区画番号	—	■																																																																																																																																																								
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	■																																																																																																																																																								
	カバー	—	■																																																																																																																																																								

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																																				
		<p>ト(3)(ii)(a)-②</p> <table border="1" data-bbox="1617 361 2089 1054"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>高レベル廃液混合槽</td> <td>高レベル廃液混合槽</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>たて置円筒形</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>kPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>MPa</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>℃</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝熱面積</td> <td>冷却コイル部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">主要寸法</td> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>上部縦板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>上部縦板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>上部縦板の丸み半径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>下部縦板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>下部縦板径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>下部縦板径の2分の1</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>ジャケット厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>ジャケット中央部内半径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>ジャケット隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>マンホール厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>マンホール蓋板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*7</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*7</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*8</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*8</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*9</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*9</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*10</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*10</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*11</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*11</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*12</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*12</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>*13</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>*13</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1617 1081 2089 1585"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>出口管台外径<sup>*14</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*14</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*15</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*15</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*16</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*16</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>*17</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>*17</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ<sup>*18</sup></td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>上部縦板</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>下部縦板</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>ジャケット</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>高レベル廃液ガラス固化設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>放射線防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>■ *20</td> </tr> <tr> <td>放射線防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>■ *20</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>■ *21</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>■ *21</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <p>注記 *1:放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。  *2:公称値を示す。  *3:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液混合槽 A, B(■)」と記載。  *4:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(内圧)■Pa(■g/cm<sup>2</sup>)、(外圧)■Pa(■g/cm<sup>2</sup>)」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。  *5:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■Pa(■g/cm<sup>2</sup>)」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。</p>	名称		変更前	変更後			高レベル廃液混合槽	高レベル廃液混合槽	種類	—	たて置円筒形	変更なし	容量	m <sup>3</sup> /個	■	■	最高使用圧力	本体	kPa	変更なし	冷却コイル部	MPa	■	最高使用温度	本体	℃	変更なし	冷却コイル部	℃	■	伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個	■	胴内径	mm	■	主要寸法	胴板厚さ	mm	■	上部縦板厚さ	mm	■	上部縦板中央部内半径	mm	■	上部縦板の丸み半径	mm	■	下部縦板厚さ	mm	■	下部縦板径	mm	■	下部縦板径の2分の1	mm	■	冷却コイル外径	mm	■	冷却コイル厚さ	mm	■	ジャケット厚さ	mm	■	ジャケット中央部内半径	mm	■	ジャケット隅の丸み半径	mm	■	マンホール外径	mm	■	マンホール厚さ	mm	■	マンホール蓋板厚さ	mm	■	入口管台外径 <sup>*7</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*7</sup>	mm	■	入口管台外径 <sup>*8</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*8</sup>	mm	■	入口管台外径 <sup>*9</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*9</sup>	mm	■	入口管台外径 <sup>*10</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*10</sup>	mm	■	入口管台外径 <sup>*11</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*11</sup>	mm	■	入口管台外径 <sup>*12</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*12</sup>	mm	■	入口管台外径 <sup>*13</sup>	mm	■	入口管台厚さ <sup>*13</sup>	mm	■	名称		変更前	変更後	主要寸法	出口管台外径 <sup>*14</sup>	mm	■	出口管台厚さ <sup>*14</sup>	mm	■	出口管台外径 <sup>*15</sup>	mm	■	出口管台厚さ <sup>*15</sup>	mm	■	出口管台外径 <sup>*16</sup>	mm	■	出口管台厚さ <sup>*16</sup>	mm	■	出口管台外径 <sup>*17</sup>	mm	■	出口管台厚さ <sup>*17</sup>	mm	■	高さ <sup>*18</sup>	mm	■	主要材料	胴板	—	■	上部縦板	—	■	下部縦板	—	■	冷却コイル	—	■	ジャケット	—	■	個数	—	2	■	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備	設置床	—	■	放射線防護上の区画番号	—	■ *20	放射線防護上の配慮が必要な高さ	—	■ *20	化学薬品防護上の区画番号	—	■ *21	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	■ *21	<p>設工認のト(3)(ii)(a)-②は、事業変更許可申請書(本文)のト(3)(ii)(a)-②と同義であり整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																					
		高レベル廃液混合槽	高レベル廃液混合槽																																																																																																																																																																																																					
種類	—	たて置円筒形	変更なし																																																																																																																																																																																																					
容量	m <sup>3</sup> /個	■	■																																																																																																																																																																																																					
最高使用圧力	本体	kPa	変更なし																																																																																																																																																																																																					
	冷却コイル部	MPa	■																																																																																																																																																																																																					
最高使用温度	本体	℃	変更なし																																																																																																																																																																																																					
	冷却コイル部	℃	■																																																																																																																																																																																																					
伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個	■																																																																																																																																																																																																					
	胴内径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
主要寸法	胴板厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	上部縦板厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	上部縦板中央部内半径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	上部縦板の丸み半径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	下部縦板厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	下部縦板径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	下部縦板径の2分の1	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	冷却コイル外径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	冷却コイル厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	ジャケット厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	ジャケット中央部内半径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	ジャケット隅の丸み半径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	マンホール外径	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	マンホール厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	マンホール蓋板厚さ	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	入口管台外径 <sup>*7</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	入口管台厚さ <sup>*7</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	入口管台外径 <sup>*8</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	入口管台厚さ <sup>*8</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	入口管台外径 <sup>*9</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
入口管台厚さ <sup>*9</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台外径 <sup>*10</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台厚さ <sup>*10</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台外径 <sup>*11</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台厚さ <sup>*11</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台外径 <sup>*12</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台厚さ <sup>*12</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台外径 <sup>*13</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
入口管台厚さ <sup>*13</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																						
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																					
主要寸法	出口管台外径 <sup>*14</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台厚さ <sup>*14</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台外径 <sup>*15</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台厚さ <sup>*15</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台外径 <sup>*16</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台厚さ <sup>*16</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台外径 <sup>*17</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	出口管台厚さ <sup>*17</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	高さ <sup>*18</sup>	mm	■																																																																																																																																																																																																					
	主要材料	胴板	—	■																																																																																																																																																																																																				
上部縦板		—	■																																																																																																																																																																																																					
下部縦板		—	■																																																																																																																																																																																																					
冷却コイル		—	■																																																																																																																																																																																																					
ジャケット	—	■																																																																																																																																																																																																						
個数	—	2	■																																																																																																																																																																																																					
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備																																																																																																																																																																																																					
	設置床	—	■																																																																																																																																																																																																					
	放射線防護上の区画番号	—	■ *20																																																																																																																																																																																																					
	放射線防護上の配慮が必要な高さ	—	■ *20																																																																																																																																																																																																					
	化学薬品防護上の区画番号	—	■ *21																																																																																																																																																																																																					
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	■ *21																																																																																																																																																																																																						

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																							
		<p>ト(3)(ii)(a)-③</p> <table border="1" data-bbox="1617 363 2071 1050"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>供給液槽</td> <td>供給液槽</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>たて覆円筒形</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>kPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伝熱面積</td> <td>冷却コイル部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="28">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット中央部内半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ**</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1617 1144 2071 1501"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部鏡板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下部鏡板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却コイル</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャケット</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>高レベル廃液ガラス固化設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L.<sup>*17</sup> T.M.S.L.<sup>*17</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>—*18</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*18</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>—*19</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <p>注記 *1:放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。  *2:公称値を示す。  *3:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「供給液槽 A, B [供給液槽]」と記載。  *4:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(内径) Pa (kg/cm<sup>2</sup>)、(外径) Pa (kg/cm<sup>2</sup>)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。  *5:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「MPa (kg/cm<sup>2</sup>)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。  *6:既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(続規)第538号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。  *7:既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(続規)第538号にて認可された設工認の添付図面</p>			変更前	変更後	名称		供給液槽	供給液槽	種類	—	たて覆円筒形	変更なし	容量	m <sup>3</sup> /個		変更なし	最高使用圧力	本体	kPa		冷却コイル部	MPa		ジャケット部	MPa		最高使用温度	本体	℃		冷却コイル部	℃		ジャケット部	℃		伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個		主要寸法	胴内径	mm		胴板厚さ	mm		上部鏡板厚さ	mm		上部鏡板中央部内半径	mm		上部鏡板隅の丸み半径	mm		下部鏡板厚さ	mm		下部鏡板中央部内半径	mm		下部鏡板隅の丸み半径	mm		冷却コイル外径	mm		冷却コイル厚さ	mm		ジャケット厚さ	mm		ジャケット中央部内半径	mm		ジャケット隅の丸み半径	mm		マンホール外径	mm		マンホール厚さ	mm		マンホール鏡板厚さ	mm		入口管台外径*	mm		入口管台厚さ*	mm		入口管台外径**	mm		入口管台厚さ**	mm		入口管台外径**	mm		入口管台厚さ**	mm		入口管台外径**	mm		入口管台厚さ**	mm		入口管台外径**	mm		入口管台厚さ**	mm		出口管台外径**	mm		出口管台厚さ**	mm		出口管台外径**	mm		出口管台厚さ**	mm		出口管台外径**	mm		出口管台厚さ**	mm		高さ**	mm				変更前	変更後	主要材料	胴板	—		上部鏡板	—		下部鏡板	—		冷却コイル	—		ジャケット	—		個数	—	2	変更なし	取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備	設置床	—	T.M.S.L. <sup>*17</sup> T.M.S.L. <sup>*17</sup>	溢水防護上の 区分番号	—	—*18	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*18	化学薬品防護上の 区分番号	—	—*19	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*19	<p>設工認のト(3)(ii)(a)-③は、事業変更許可申請書(本文)のト(3)(ii)(a)-③と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																								
名称		供給液槽	供給液槽																																																																																																																																																																																								
種類	—	たて覆円筒形	変更なし																																																																																																																																																																																								
容量	m <sup>3</sup> /個		変更なし																																																																																																																																																																																								
最高使用圧力	本体	kPa																																																																																																																																																																																									
	冷却コイル部	MPa																																																																																																																																																																																									
	ジャケット部	MPa																																																																																																																																																																																									
最高使用温度	本体	℃																																																																																																																																																																																									
	冷却コイル部	℃																																																																																																																																																																																									
	ジャケット部	℃																																																																																																																																																																																									
伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																																																																									
主要寸法	胴内径	mm																																																																																																																																																																																									
	胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	上部鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	上部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																																																																																									
	上部鏡板隅の丸み半径	mm																																																																																																																																																																																									
	下部鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	下部鏡板中央部内半径	mm																																																																																																																																																																																									
	下部鏡板隅の丸み半径	mm																																																																																																																																																																																									
	冷却コイル外径	mm																																																																																																																																																																																									
	冷却コイル厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	ジャケット厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	ジャケット中央部内半径	mm																																																																																																																																																																																									
	ジャケット隅の丸み半径	mm																																																																																																																																																																																									
	マンホール外径	mm																																																																																																																																																																																									
	マンホール厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	マンホール鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台外径*	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																									
	入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																									
	出口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																									
	出口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																									
出口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																										
出口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																										
出口管台外径**	mm																																																																																																																																																																																										
出口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																																										
高さ**	mm																																																																																																																																																																																										
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																								
主要材料	胴板	—																																																																																																																																																																																									
	上部鏡板	—																																																																																																																																																																																									
	下部鏡板	—																																																																																																																																																																																									
	冷却コイル	—																																																																																																																																																																																									
	ジャケット	—																																																																																																																																																																																									
個数	—	2	変更なし																																																																																																																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備																																																																																																																																																																																								
	設置床	—	T.M.S.L. <sup>*17</sup> T.M.S.L. <sup>*17</sup>																																																																																																																																																																																								
	溢水防護上の 区分番号	—	—*18																																																																																																																																																																																								
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*18																																																																																																																																																																																								
	化学薬品防護上の 区分番号	—	—*19																																																																																																																																																																																								
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*19																																																																																																																																																																																									



事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																															
		<p>ト(3)(ii)(a)-③</p> <table border="1" data-bbox="1584 352 2092 982"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>供給槽</td> <td>供給槽</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>たて置円筒形</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用圧力</td> <td>本体</td> <td>kPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>MPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>MPa</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最高使用温度</td> <td>本体</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル部</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>ジャケット部</td> <td>℃</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>伝熱面積</td> <td>冷却コイル部</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td rowspan="20">変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>上部胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>上部胴板中央部内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>上部胴板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下部胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下部胴板長さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下部胴板半径の2分の1</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ジャケット厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ジャケット中央部内半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ジャケット隅の丸み半径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>マンホール厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>マンホール胴板厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径**</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ**</td> <td>mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1584 1056 2092 1543"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>出口管台外径**1</td> <td></td> <td rowspan="10">変更なし</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径**5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ**5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>上部胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下部胴板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷却コイル</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ジャケット</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>高レベル廃液ガラス固化設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. *17</td> <td>T.M.S.L. *17</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>*18</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*18</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区分番号</td> <td>—</td> <td>*19</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*19</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びに          その他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び          冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。          *2:公称値を示す。          *3:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「供給槽 A, B( )」と          記載。          *4:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(内圧) Pa (g/cm<sup>2</sup>)、(外          圧) Pa (g/cm<sup>2</sup>)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。          *5:記載の適正化を行う。既設工認申請書には「Pa (g/cm<sup>2</sup>)」と記載。          記載内容は、SI 単位のみを示す。          *6:既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1          1 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の「VI 設計</p>			変更前	変更後	名称		供給槽	供給槽	種類	—	たて置円筒形	変更なし	容量	m <sup>3</sup> /個		変更なし	最高使用圧力	本体	kPa	変更なし	冷却コイル部	MPa	変更なし	ジャケット部	MPa	変更なし	最高使用温度	本体	℃	変更なし	冷却コイル部	℃	変更なし	ジャケット部	℃	変更なし	伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個	変更なし	主要寸法	胴内径	mm	変更なし	胴板厚さ	mm	上部胴板厚さ	mm	上部胴板中央部内半径	mm	上部胴板隅の丸み半径	mm	下部胴板厚さ	mm	下部胴板長さ	mm	下部胴板半径の2分の1	mm	冷却コイル外径	mm	冷却コイル厚さ	mm	ジャケット厚さ	mm	ジャケット中央部内半径	mm	ジャケット隅の丸み半径	mm	マンホール外径	mm	マンホール厚さ	mm	マンホール胴板厚さ	mm	入口管台外径*	mm	入口管台厚さ*	mm	入口管台外径**	mm	入口管台厚さ**	mm	入口管台外径**	mm	入口管台厚さ**	mm	入口管台外径**	mm	入口管台厚さ**	mm			変更前	変更後	主要寸法	出口管台外径**1		変更なし	出口管台厚さ**1		出口管台外径**2		出口管台厚さ**2		出口管台外径**3		出口管台厚さ**3		出口管台外径**4		出口管台厚さ**4		出口管台外径**5		出口管台厚さ**5		主要材料	胴板	—	変更なし	上部胴板	—	下部胴板	—	冷却コイル	—	ジャケット	—			個数	—	2		系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備		設置床	—	T.M.S.L. *17	T.M.S.L. *17	取付箇所	溢水防護上の 区分番号	—	*18	—	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	*18	—	化学薬品防護上の 区分番号	—	*19	—	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	*19	—	<p>設工認のト          (3)(ii)(a)-③は、事          業変更許可申請書          (本文)のト          (3)(ii)(a)-③と同義          であり整合してい          る。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																
名称		供給槽	供給槽																																																																																																																																																																
種類	—	たて置円筒形	変更なし																																																																																																																																																																
容量	m <sup>3</sup> /個		変更なし																																																																																																																																																																
最高使用圧力	本体	kPa	変更なし																																																																																																																																																																
	冷却コイル部	MPa	変更なし																																																																																																																																																																
	ジャケット部	MPa	変更なし																																																																																																																																																																
最高使用温度	本体	℃	変更なし																																																																																																																																																																
	冷却コイル部	℃	変更なし																																																																																																																																																																
	ジャケット部	℃	変更なし																																																																																																																																																																
伝熱面積	冷却コイル部	m <sup>2</sup> /個	変更なし																																																																																																																																																																
主要寸法	胴内径	mm	変更なし																																																																																																																																																																
	胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	上部胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	上部胴板中央部内半径	mm																																																																																																																																																																	
	上部胴板隅の丸み半径	mm																																																																																																																																																																	
	下部胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	下部胴板長さ	mm																																																																																																																																																																	
	下部胴板半径の2分の1	mm																																																																																																																																																																	
	冷却コイル外径	mm																																																																																																																																																																	
	冷却コイル厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	ジャケット厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	ジャケット中央部内半径	mm																																																																																																																																																																	
	ジャケット隅の丸み半径	mm																																																																																																																																																																	
	マンホール外径	mm																																																																																																																																																																	
	マンホール厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	マンホール胴板厚さ	mm																																																																																																																																																																	
	入口管台外径*	mm																																																																																																																																																																	
	入口管台厚さ*	mm																																																																																																																																																																	
	入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																	
	入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																	
入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																		
入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																		
入口管台外径**	mm																																																																																																																																																																		
入口管台厚さ**	mm																																																																																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																																																																																
主要寸法	出口管台外径**1		変更なし																																																																																																																																																																
	出口管台厚さ**1																																																																																																																																																																		
	出口管台外径**2																																																																																																																																																																		
	出口管台厚さ**2																																																																																																																																																																		
	出口管台外径**3																																																																																																																																																																		
	出口管台厚さ**3																																																																																																																																																																		
	出口管台外径**4																																																																																																																																																																		
	出口管台厚さ**4																																																																																																																																																																		
	出口管台外径**5																																																																																																																																																																		
	出口管台厚さ**5																																																																																																																																																																		
主要材料	胴板	—	変更なし																																																																																																																																																																
	上部胴板	—																																																																																																																																																																	
	下部胴板	—																																																																																																																																																																	
	冷却コイル	—																																																																																																																																																																	
ジャケット	—																																																																																																																																																																		
個数	—	2																																																																																																																																																																	
系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備																																																																																																																																																																	
設置床	—	T.M.S.L. *17	T.M.S.L. *17																																																																																																																																																																
取付箇所	溢水防護上の 区分番号	—	*18	—																																																																																																																																																															
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	*18	—																																																																																																																																																															
	化学薬品防護上の 区分番号	—	*19	—																																																																																																																																																															
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	*19	—																																																																																																																																																															

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) ガラス固化体貯蔵設備 ト(3)(ii)(b)</p> <p>ト(3)(ii)(b)-① 高レベル廃液ガラス固化建屋の貯蔵ピット 1 基 種類 間接自然空冷貯蔵方式 構成 収納管 45 本</p> <p>ト(3)(ii)(b)-② 第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟の貯蔵ピット 4 基 種類 間接自然空冷貯蔵方式 構成 収納管 80 本/基</p> <p>ト(3)(ii)(b)-③ 第1ガラス固化体貯蔵建屋西棟の貯蔵ピット 4 基 種類 間接自然空冷貯蔵方式 構成 収納管 140 本/基</p> <p>ト(3)(ii)(b)-④ 第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン 1 台 種類 遮蔽容器付床面走行形</p>	<p>7.4.3 ガラス固化体貯蔵設備 &lt;中略&gt;</p> <p>7.4.3.4 系統構成及び主要設備 (1) 系統構成 ガラス固化体貯蔵設備は、貯蔵ピット、トレンチ移送台車、ガラス固化体受入れクレーン、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン、冷却空気入口シャフト及び冷却空気出口シャフトで構成する。</p> <p>ガラス固化体貯蔵設備は、高レベル廃液ガラス固化設備からガラス固化体を受け入れる。ガラス固化体は、高レベル廃液ガラス固化設備のガラス固化体検査室天井クレーンにより高レベル廃液ガラス固化建屋内の貯蔵ピットに搬送し、貯蔵するか、又はトレンチ移送台車により第1ガラス固化体貯蔵建屋へ払い出す。高レベル廃液ガラス固化建屋から払い出したガラス固化体は、ガラス固化体受入れクレーンを用いて、トレンチ移送台車から取り出す。取り出したガラス固化体は、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンにより第1ガラス固化体貯蔵建屋内の貯蔵ピットに搬送し、貯蔵する。</p> <p>ガラス固化体貯蔵設備の貯蔵容量は、約8,200本である。</p> <p>(2) 主要設備 ガラス固化体貯蔵設備は、ガラス固化体からの崩壊熱により生じる通風力によって流れる冷却空気により適切に崩壊熱を除去する設計とする。</p> <p>ガラス固化体貯蔵設備は、ガラス固化体からの崩壊熱が適切に除去されていることを確認するため、冷却空気の温度を監視する設計とする。</p> <p>a. 貯蔵ピット 貯蔵ピットは、収納管、通風管、支持架構及びプレナム形成板で構成し、ガラス固化体のもつ閉じ込め機能を維持するために、ガラス固化体を収納管内に収納し、収納管と通風管の間に冷却空気を流す構造とする。</p> <p>冷却空気は、高さ約29m（高レベル廃液ガラス固化建屋）及び高さ約25m（第1ガラス固化体貯蔵建屋）の冷却空気入口シャフトから貯蔵ピットの下部に流入し、円環</p>	<p>5.3.2 ガラス固化体貯蔵設備</p> <p>ト(3)(ii)(b)ガラス固化体貯蔵設備は、貯蔵ピット、トレンチ移送台車、ガラス固化体検査室パワーオペレータ、ガラス固化体検査室収納架台、ガラス固化体受入れクレーン、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン、冷却空気入口シャフト及び冷却空気出口シャフトで構成する。</p> <p>ガラス固化体貯蔵設備は、高レベル廃液ガラス固化設備からガラス固化体を受け入れる設計とする。ガラス固化体は、高レベル廃液ガラス固化設備のガラス固化体検査室天井クレーンにより高レベル廃液ガラス固化建屋内の貯蔵ピットに搬送し、貯蔵するか、又はトレンチ移送台車により第1ガラス固化体貯蔵建屋へ払い出す。高レベル廃液ガラス固化建屋から払い出したガラス固化体は、ガラス固化体受入れクレーンを用いて、トレンチ移送台車から取り出す。取り出したガラス固化体は、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンにより第1ガラス固化体貯蔵建屋内の貯蔵ピットに搬送し、貯蔵する設計とする。</p> <p>ガラス固化体貯蔵設備は、ガラス固化体から発生する崩壊熱によるガラス固化体及び構造物の過度の温度上昇を防止するため、冷却空気を冷却空気入口シャフトから貯蔵ピットの下部に流入し、ガラス固化体からの崩壊熱により生じる通風力によって、収納管と通風管の間の円環流路を上昇しながらガラス固化体の崩壊熱を除去する。崩壊熱を除去した空気は、十分な通風力を与える高さの冷却空気出口シャフト排気口から大気中へ放出する設計とし、これらによってガラス固化体及び構造物の温度を適切に維持する設計とする。</p> <p>また、ガラス固化体貯蔵設備は、ガラス固化体からの崩壊熱が適切に除去されていることを確認するため、冷却空気の温度を監視する設計とする。</p> <p>なお、ガラス固化体からの崩壊熱除去についての設計は、第1章 共通項目「4.1 閉じ込め」に示す。</p>	<p>設工認のト(3)(ii)(b)は、主要設備の系統構成について具体的に記載しており、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(ii)(b)と整合している。</p> <p>設備の仕様については仕様表に記載している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト(3)(ii)(b)-③及びト(3)(ii)(b)-④は、本設工認の対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>流路を上昇しながらガラス固化体から発生する崩壊熱を除去する。この崩壊熱を除去した空気は、十分な通風力を与える高さ約35mの冷却空気出口シャフト排気口から大気中へ放出する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>なお、ガラス固化体からの崩壊熱が適切に除去されていることを確認するため、冷却空気入口、出口温度監視用に冷却空気入口シャフト、冷却空気出口シャフトに温度計を設ける。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. トレンチ移送台車          トレンチ移送台車に設置する遮蔽容器は、その中にガラス固化体1本を収納できる構造とする。          トレンチ移送台車は、遮蔽容器内にガラス固化体の側面に沿うガイドを設けガラス固化体が転倒しない構造とするとともに、遠隔自動運転とし、運転を安全、かつ、確実に行うため、逸走防止のインターロックを設ける。</p> <p>c. ガラス固化体受入れクレーン          ガラス固化体受入れクレーンは、ガラス固化体の落下防止のため、つりワイヤを二重化し、フックに脱落防止機構を施すとともに、電源喪失時にもつり荷を保持できるフェイルセーフ機能を有する構造とする。          さらに、ガラス固化体受入れクレーンは、ガラス固化体のつり上げ高さを9m以内に制限できるインターロックを設け、万一のガラス固化体の落下によってもガラス固化体容器に著しい損傷を与えない設計とする。          また、ガラス固化体受入れクレーンは、遠隔自動運転とし、運転を安全、かつ、確実に行うため、逸走防止のインターロックを設ける。</p> <p>d. 第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン          第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンに設置する遮蔽容器は、ガラス固化体3本、収納管プラグ等を収納できる構造と</p>	<p>トレンチ移送台車、ガラス固化体受入れクレーン等については、ガラス固化体を搬送する能力として必要な容量を有する設計とする。また、逸走防止のインターロックを設ける設計とする。</p> <p>ガラス固化体受入れクレーン等については、ガラス固化体の落下防止のため、つりワイヤを二重化し、フックに脱落防止機構を施すとともに、電源喪失時にもつり荷を保持できるフェイルセーフ機能を有する構造とする。さらに、ガラス固化体のつり上げ高さを9m以内に制限できるインターロックを設ける設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(c) 低レベル固体廃棄物処理設備 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)</span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-①</span> 乾燥装置 1 基 材料 ニッケル基合金</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-②</span> 熱分解装置 1 基 材料 ニッケル基合金(乾留部) ステンレス鋼(粉体抜き部)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-③</span> 焼却装置 1 基 材料 炭素鋼(ケーシング) 耐火物(炉材)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-④</span> 圧縮減容装置 1 基</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-⑤</span> 固化装置 1 基</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-⑥</span> 切断装置 4 台 (CB用) 3 台 (BP用)</p>	<p>する。</p> <p>第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンは、ガラス固化体の落下防止のため、つりワイヤを二重化し、フックに脱落防止機構を施すとともに、電源喪失時にもつり荷を保持できるフェイルセーフ機構を有する構造とする。さらに、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンは、収納管外でのガラス固化体のつり上げ高さを9m以内に制限できるインターロックを設け、万一のガラス固化体の落下によってもガラス固化体容器に著しい損傷を与えない設計とする。</p> <p>また、第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンは、遠隔自動運転とし、運転を安全、かつ、確実にを行うため、逸走防止のインターロックを設ける。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>7.4.4 低レベル固体廃棄物処理設備</p> <p>7.4.4.1 概要</p> <p>低レベル固体廃棄物処理設備は、低レベル濃縮廃液処理系、廃溶媒処理系、雑固体廃棄物処理系及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系で構成する。</p> <p>低レベル固体廃棄物処理設備系統概要図を第7.4-6図に示す。</p> <p>7.4.4.2 低レベル濃縮廃液処理系</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>7.4.4.2.4 系統構成及び主要設備</p> <p>低レベル濃縮廃液処理系の乾燥装置及び固化装置は、各1系列で構成する。低レベル濃縮廃液処理系は、液体廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備から発生する低レベル濃縮廃液を処理することが可能な能力を有する。</p> <p>(1) 系統構成</p> <p>低レベル濃縮廃液処理系は、液体廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備の第1低レベル廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液を、乾燥装置(蒸発温度：約100℃)へ連続供給して乾燥した後、圧縮成型し、ドラム缶又は角型容器(以下「ドラム缶等」という。)に詰め、</p>	<p>5.3.3 低レベル固体廃棄物処理設備</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)</span>低レベル固体廃棄物処理設備は、低レベル濃縮廃液処理系、廃溶媒処理系、雑固体廃棄物処理系及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系で構成する。</p> <p>5.3.3.1 低レベル濃縮廃液処理系</p> <p>低レベル濃縮廃液処理系の乾燥装置及び固化装置は、各1系列で構成する。低レベル濃縮廃液処理系は、液体廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備から発生する低レベル濃縮廃液を処理することが可能な能力を有する設計とする。</p> <p>低レベル濃縮廃液処理系は、液体廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備の第1低レベル廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液を、乾燥装置へ連続供給して乾燥した後、圧縮成型し、ドラム缶又は角型容器(以下「ドラム缶等」という。)に詰め、</p>	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)</span>は、主要設備の系統構成について具体的に記載しており、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)</span>と整合している。</p> <p>設備の仕様については仕様表に記載している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-①～⑤</span>及び<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-⑥</span>の一部は、本設工認の対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ、必要に応じチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系へ移送する。また、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液を、固化装置へ供給し固化材と混合した後、ドラム缶内に固化し、低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第1低レベル廃棄物貯蔵系、第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系若しくは第2貯蔵系又は第4低レベル廃棄物貯蔵系へ移送する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>7.4.4.3 廃溶媒処理系 ＜中略＞</p> <p>7.4.4.3.4 系統構成及び主要設備                      廃溶媒処理系は、1系列で構成する。                      廃溶媒処理系は、酸及び溶媒の回収施設の溶媒処理系から発生する廃溶媒を処理することが可能な能力を有する。</p> <p>(1) 系統構成                      廃溶媒処理系は、酸及び溶媒の回収施設の溶媒処理系から発生する廃溶媒を、水酸化カルシウムと混合し、熱分解装置へ供給してりん酸と可燃性ガスに熱分解（約450℃）する。りん酸は、熱分解と同時に水酸化カルシウムで中和し熱分解生成物として熱分解装置から抜き出し、圧縮成型した後、ドラム缶等に詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ、必要に応じチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系へ移送する。また、可燃性ガスは、燃焼装置（約900℃）へ導いて燃焼し、燃焼後の廃ガスは、気体廃棄物の廃棄施設の塔槽類廃ガス処理設備へ移送する。</p> <p>(2) 主要設備                      ＜中略＞</p> <p>a. 熱分解装置                      熱分解装置は、窒素ガスを供給することにより、廃溶媒を不活性な雰囲気下で熱分解する設計とする。また、熱分解装置は、外部ヒータを適切に制御するとともにその内部温度を測定し、運転状態を監視する設</p>	<p>主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ、必要に応じチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系へ移送する設計とする。また、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液を、固化装置へ供給し固化材と混合した後、ドラム缶内に固化し、低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第1低レベル廃棄物貯蔵系、第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系若しくは第2貯蔵系又は第4低レベル廃棄物貯蔵系へ移送する設計とする。</p> <p>5.3.3.2 廃溶媒処理系                      廃溶媒処理系は、1系列で構成する。                      廃溶媒処理系は、酸及び溶媒の回収施設の溶媒処理系から発生する廃溶媒を処理することが可能な能力を有する設計とする。</p> <p>廃溶媒処理系は、酸及び溶媒の回収施設の溶媒処理系から発生する廃溶媒を、水酸化カルシウムと混合し、熱分解装置へ供給してりん酸と可燃性ガスに熱分解する設計とする。りん酸は、熱分解と同時に水酸化カルシウムで中和し熱分解生成物として熱分解装置から抜き出し、圧縮成型した後、ドラム缶等に詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ、必要に応じチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系へ移送する設計とする。また、可燃性ガスは、燃焼装置へ導いて燃焼し、燃焼後の廃ガスは、気体廃棄物の廃棄施設の塔槽類廃ガス処理設備へ移送する設計とする。</p> <p>また、熱分解装置は、窒素ガスを供給することにより、廃溶媒を不活性な雰囲気下で熱分解する設計とする。また、熱分解装置は、外部ヒータを適切に制御するとともにその内部温度を測定し、運転状態を監視</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>計とする。</p> <p>b. 燃焼装置            燃焼装置は、その内部温度を測定し、燃焼状態を監視する設計とするとともに、耐火物を内張りし、装置外面における過度の温度上昇を防止する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>7.4.4.4 雑固体廃棄物処理系            ＜中略＞</p> <p>7.4.4.4.4 系統構成及び主要設備            雑固体廃棄物処理系は、1系列で構成する。雑固体廃棄物処理系は、各種施設から発生する雑固体を処理することが可能な能力を有する。</p> <p>(1) 系統構成            雑固体廃棄物処理系は、各種施設から発生する雑固体のうち焼却可能なものを必要に応じ焼却装置（約900℃）で焼却し、廃溶媒処理系の圧縮成型装置で圧縮成型した後、ドラム缶等に詰め、また、雑固体のうち焼却しないものを圧縮減容装置で圧縮減容した後ドラム缶等に詰め、又は、そのままドラム缶等に詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ、必要に応じチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系へ移送する。</p> <p>また、雑固体のうち、低レベル廃液処理設備の油分除去系から発生する廃活性炭は、雑固体廃棄物処理系で水切りした後、ドラム缶に詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ移送する。</p> <p>ただし、雑固体のうち、よう素フィルタは第2低レベル廃棄物貯蔵系の第2貯蔵系に貯蔵する。</p> <p>焼却装置から発生する廃ガスは、セラミックフィルタを経て、気体廃棄物の廃棄施設の塔槽類廃ガス処理設備へ移送する。</p>	<p>する設計とする。</p> <p>燃焼装置は、その内部温度を測定し、燃焼状態を監視する設計とするとともに、耐火物を内張りし、装置外面における過度の温度上昇を防止する設計とする。</p> <p>なお、火災及び爆発の発生防止に係る設備設計については、第1章 共通項目「5.2 火災及び爆発の発生防止」に示す。</p> <p>5.3.3.3 雑固体廃棄物処理系</p> <p>雑固体廃棄物処理系は、1系列で構成する。雑固体廃棄物処理系は、各種施設から発生する雑固体を処理することが可能な能力を有する設計とする。</p> <p>雑固体廃棄物処理系は、各種施設から発生する雑固体のうち焼却可能なものを必要に応じ焼却装置で焼却し、廃溶媒処理系の圧縮成型装置で圧縮成型した後、ドラム缶等に詰め、また、雑固体のうち焼却しないものを圧縮減容装置で圧縮減容した後ドラム缶等に詰め、又は、そのままドラム缶等に詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ、必要に応じチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系へ移送する設計とする。</p> <p>また、雑固体のうち、低レベル廃液処理設備の油分除去系から発生する廃活性炭は、雑固体廃棄物処理系で水切りした後、ドラム缶に詰め、主に低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系又は第2貯蔵系へ移送する設計とする。</p> <p>ただし、雑固体のうち、よう素フィルタは第2低レベル廃棄物貯蔵系の第2貯蔵系に貯蔵する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(2) 主要設備            雑固体廃棄物処理系の焼却装置及びセラミックフィルタのケーシングは、炭素鋼を用い、溶接構造等の漏えいし難い設計とするとともに、気体廃棄物の廃棄施設の塔槽類廃ガス処理設備に接続する設計とする。</p> <p>また、焼却装置及びセラミックフィルタは、耐火物を内張りし、機器外面における過度の温度上昇を防止する設計とするとともに、焼却装置は燃焼状態を監視する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.4.4.5 チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系            &lt;中略&gt;</p> <p>7.4.4.5.4 系統構成及び主要設備            CB・BP処理系は、2系列(一部1系列)で構成する。CB・BP処理系は、使用済燃料の貯蔵施設において、せん断前の処理として、使用済燃料集合体から取り外したCB・BPを処理することが可能な能力を有する。</p> <p>(1) 系統構成            CB・BP処理系は、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に設置する。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備において、せん断前の処理として、使用済燃料集合体から取り外したCB及びBPは、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋で、それぞれ第1CB切断装置及び第1BP切断装置により使用済燃料の貯蔵施設のプール水中で切断後、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋へ移送し、それぞれ第2CB切断装置及び第2BP切断装置により切断ピット水中で更に切断し、収納容器に収納して、ドラム缶等に詰め、低レベル固体廃棄物貯蔵設備のチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系に移送する。第1CB切断装置はCBを二つに切断し、第2CB切断装置は更に切断し、平板状にする。第1BP切断装置はBPを支持</p>	<p>また、焼却装置及びセラミックフィルタは、耐火物を内張りし、機器外面における過度の温度上昇を防止する設計とする。</p> <p>5.3.3.4 チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系</p> <p>チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系(以下「CB・BP処理系」という。)は、2系列(一部1系列)で構成する。CB・BP処理系は、使用済燃料の貯蔵施設において、せん断前の処理として、使用済燃料集合体から取り外したCB・BPを処理することが可能な能力を有する設計とする。</p> <p>使用済燃料の貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備において、せん断前の処理として、使用済燃料集合体から取り外したCB及びBPは、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋で、それぞれ第1CB切断装置及び第1BP切断装置により使用済燃料の貯蔵施設のプール水中で切断後、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋へ移送し、それぞれ第2CB切断装置及び第2BP切断装置により切断ピット水中で更に切断し、収納容器に収納して、ドラム缶等に詰め、低レベル固体廃棄物貯蔵設備のチャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系に移送する設計とする。第1CB切断装置はCBを二つに切断し、第2CB切断装置は更に切断し、平板状にする設計とする。第1BP</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(d) 低レベル固体廃棄物貯蔵設備 1 式  <u>ト(3)(ii)(d)</u>            廃樹脂貯蔵系            ハル・エンドピース貯蔵系            チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系            第1低レベル廃棄物貯蔵系            使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系            第2低レベル廃棄物貯蔵系 (MOX燃料加工施設と共用)            第1貯蔵系 (廃棄物管理施設と共用)            第2貯蔵系            第4低レベル廃棄物貯蔵系</p>	<p>体とB P 棒本体に分割切断し、第2 B P 切断装置はB P 棒本体をせん断する。</p> <p>(2) 主要設備            第2 C B 切断装置及び第2 B P 切断装置を設置する切断ピットの内面は、液体状の放射性物質の漏えいを防止するため、ステンレス鋼を内張りし、接液部は溶接構造等の設計とする。また、切断ピットに漏えい検知装置を設けるとともに漏えいした液体状の放射性物質は、適切に移送する設計とする。            切断ピットは、ピット水の水質の維持・管理を図る設計とする。            また、第1切断装置及び第2切断装置は、その運転状態を監視する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.4.5 低レベル固体廃棄物貯蔵設備            7.4.5.1 概要            低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、廃樹脂貯蔵系、ハル・エンドピース貯蔵系、チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系、第1低レベル廃棄物貯蔵系、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系、第2低レベル廃棄物貯蔵系及び第4低レベル廃棄物貯蔵系で構成する。            第2低レベル廃棄物貯蔵系は、MOX燃料加工施設と共用する。            また、第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系は、廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>7.4.5.4 系統構成及び主要設備            低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、各種施設から発生する低レベル固体廃棄物（廃樹脂及び廃スラッジ、ハル・エンドピース、C B 及びB P の処理物、低レベル濃縮廃液の処理物、廃溶媒の処理物、雑固体の処理物等）、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生する雑固体を貯蔵する能力を有する。            廃樹脂及び廃スラッジは、貯槽に貯蔵する設計とする。            その他の低レベル固体廃棄物は、ドラム缶</p>	<p>切断装置はB P を支持体とB P 棒本体に分割切断し、第2 B P 切断装置はB P 棒本体をせん断する設計とする。</p> <p>また、切断ピットは、ピット水の水質の維持・管理を図る設計とする。</p> <p>5.3.4 低レベル固体廃棄物貯蔵設備  <u>ト(3)(ii)(d)</u>低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、廃樹脂貯蔵系、ハル・エンドピース貯蔵系、チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系、第1低レベル廃棄物貯蔵系、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系、第2低レベル廃棄物貯蔵系及び第4低レベル廃棄物貯蔵系で構成する。</p> <p>低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、各種施設から発生する低レベル固体廃棄物（廃樹脂及び廃スラッジ、ハル・エンドピース、C B 及びB P の処理物、低レベル濃縮廃液の処理物、廃溶媒の処理物、雑固体の処理物等）、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生する雑固体を貯蔵する能力を有する設計とする。            廃樹脂及び廃スラッジは、貯槽に貯蔵する設計とする。            その他の低レベル固体廃棄物は、ドラム</p>	<p>設工認の<u>ト(3)(ii)(d)</u>は、設備の系統構成について具体的に記載しており、事業変更許可申請書（本文）の<u>ト(3)(ii)(d)</u>と整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>等又は容器（ドラム）に詰め、貯蔵室又は貯蔵プールに貯蔵する設計とする。</p> <p>低レベル固体廃棄物貯蔵設備は、将来必要に応じ増設を考慮する。</p> <p>低レベル固体廃棄物貯蔵設備のうち使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る設備は、再処理設備本体の運転開始に先立ち使用できる設計とする。</p> <p>(1) 系統構成</p> <p>a. 廃樹脂貯蔵系</p> <p>廃樹脂貯蔵系は、使用済燃料の貯蔵施設のプール水浄化系、液体廃棄物の廃棄施設の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系、低レベル固体廃棄物貯蔵設備のハル・エンドピースを貯蔵するハル・エンドピース貯蔵系並びに低レベル固体廃棄物処理設備のCB・BP処理系から発生する廃樹脂及び廃スラッジを、それぞれ使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に設置する廃樹脂貯槽に貯蔵する系である。</p> <p>b. ハル・エンドピース貯蔵系</p> <p>ハル・エンドピース貯蔵系は、溶解施設から発生するハル・エンドピース等を詰めたドラムをプール水中に貯蔵する系であり、ハル・エンドピース貯蔵建屋に設置する。</p> <p>c. チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系</p> <p>チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系は、低レベル固体廃棄物処理設備のCB・BP処理系等から発生するCB・BPの処理物等を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に設置する。</p> <p>d. 第1低レベル廃棄物貯蔵系</p> <p>第1低レベル廃棄物貯蔵系は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生す</p>	<p>缶等又は容器（ドラム）に詰め、貯蔵室又は貯蔵プールに貯蔵する設計とする。</p> <p>5.3.4.1 廃樹脂貯蔵系</p> <p>廃樹脂貯蔵系は、使用済燃料の貯蔵施設のプール水浄化系、液体廃棄物の廃棄施設の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設廃液処理系、低レベル固体廃棄物貯蔵設備のハル・エンドピースを貯蔵するハル・エンドピース貯蔵系並びに低レベル固体廃棄物処理設備のCB・BP処理系から発生する廃樹脂及び廃スラッジを、廃樹脂貯槽に貯蔵する系であり、それぞれ使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に設置する設計とする。</p> <p>5.3.4.2 ハル・エンドピース貯蔵系</p> <p>ハル・エンドピース貯蔵系は、溶解施設から発生するハル・エンドピース等を詰めたドラムをプール水中に貯蔵する系であり、ハル・エンドピース貯蔵建屋に設置する設計とする。</p> <p>また、貯蔵プールは、プール水の水質、水位及び温度の維持・管理を図る設計とする。</p> <p>5.3.4.3 チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系</p> <p>チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系は、低レベル固体廃棄物処理設備のCB・BP処理系等から発生するCB・BPの処理物等を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に設置する設計とする。</p> <p>5.3.4.4 第1低レベル廃棄物貯蔵系</p> <p>第1低レベル廃棄物貯蔵系は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生す</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>る低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の固化体を詰めたドラム缶及び各種施設のうち使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設を除く施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体のうち、プルトニウムを含む溶液若しくは粉末又は高レベル廃液による汚染のおそれのない雑固体であるセル及びグローブボックス以外から発生する雑固体を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、第1低レベル廃棄物貯蔵建屋に設置する。</p> <p>e. 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系            使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生する低レベル廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶を貯蔵する系であり、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋地下2階及び地下3階に設置する。</p> <p>f. 第2低レベル廃棄物貯蔵系</p>	<p>る低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の固化体を詰めたドラム缶及び各種施設のうち使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設を除く施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体のうち、プルトニウムを含む溶液若しくは粉末又は高レベル廃液による汚染のおそれのない雑固体であるセル及びグローブボックス以外から発生する雑固体を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、第1低レベル廃棄物貯蔵建屋に設置する設計とする。</p> <p>5.3.4.5 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系            使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生する低レベル廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶を貯蔵する系であり、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋地下2階及び地下3階に設置する設計とする。</p> <p>5.3.4.6 第2低レベル廃棄物貯蔵系            ト(3)(i)-⑨第2低レベル廃棄物貯蔵系は、再処理施設から発生する低レベル固体廃棄物を貯蔵するとともに、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生し容器に詰められた雑固体を貯蔵する設計とする。            第2低レベル廃棄物貯蔵系は、MOX燃料加工施設と共用し、第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系は、廃棄物管理施設と共用する。            共用する第2低レベル廃棄物貯蔵系は、再処理施設から発生する低レベル固体廃棄物、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生する雑固体の推定年間発生量に対して必要な容量を有する設計とすることによって、共用によって再処理施設の安全性を損</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>(a) 第1貯蔵系            第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系は、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の処理物及び固化体、廃溶媒処理系から発生する廃溶媒の処理物、雑固体廃棄物処理系から発生する雑固体の処理物等、各種施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等並びにMOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生する雑固体が詰められたドラム缶等を貯蔵する系であり、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の地上1階に設置する。            ドラム缶等を貯蔵する場合は、遮蔽設計及び建屋の強度設計に影響がないように、表面線量当量率及び質量を貯蔵前に管理するものとする。            再処理設備本体の運転開始に先立ち第1貯蔵系を使用する場合には、再処理設備本体の運転開始後を対象とした第2低レベル廃棄物貯蔵建屋に係る遮蔽設計に影響がないように、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生する低レベル廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等の表面線量当量率を貯蔵前に管理するものとする。</p> <p>(b) 第2貯蔵系            第2低レベル廃棄物貯蔵系の第2貯蔵系は、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の処理物及び固化体、廃溶媒処理系から発生する廃溶媒の処理物、雑固体廃棄物処理系から発生する雑固体の処理物等、各種施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等並びにMOX燃料加工施設から発生する雑固体を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の地下1階、地下2階</p>	<p>なわない設計とする。            なお、共用に係る設計方針については、第1章 共通項目「9.1 安全機能を有する施設」に示す。</p> <p>5.3.4.6.1 第1貯蔵系            第2低レベル廃棄物貯蔵系の第1貯蔵系は、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の処理物及び固化体、廃溶媒処理系から発生する廃溶媒の処理物、雑固体廃棄物処理系から発生する雑固体の処理物又はそのまま容器に詰める雑固体、各種施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等並びにMOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設から発生する雑固体が詰められたドラム缶等を貯蔵する系であり、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の地上1階に設置する設計とする。</p> <p>5.3.4.6.2 第2貯蔵系            第2低レベル廃棄物貯蔵系の第2貯蔵系は、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の処理物及び固化体、廃溶媒処理系から発生する廃溶媒の処理物、雑固体廃棄物処理系から発生する雑固体の処理物又はそのまま容器に詰める雑固体、各種施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等並びにMOX燃料加工施設から発生する雑固体を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、第2低レベル廃棄物</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
	<p>及び地下3階に設置する。ただし、よう素フィルタ等は、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋地下2階のフィルタ貯蔵室に貯蔵する。</p> <p>g. 第4低レベル廃棄物貯蔵系            第4低レベル廃棄物貯蔵系は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の固化体を詰めたドラム缶及び各種施設のうち使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設を除く施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体のうち、セル及びグローブボックス以外から発生する雑固体を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、第4低レベル廃棄物貯蔵建屋に設置する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>貯蔵建屋の地下1階、地下2階及び地下3階に設置する設計とする。ただし、よう素フィルタ等は、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋地下2階のフィルタ貯蔵室に貯蔵する設計とする。</p> <p>5.3.4.7 第4低レベル廃棄物貯蔵系            第4低レベル廃棄物貯蔵系は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体を詰めたドラム缶等、低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系から発生する低レベル濃縮廃液の固化体を詰めたドラム缶及び各種施設のうち使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設を除く施設から発生する低レベル固体廃棄物処理設備の雑固体廃棄物処理系で処理しない雑固体のうち、セル及びグローブボックス以外から発生する雑固体を詰めたドラム缶等を貯蔵する系であり、第4低レベル廃棄物貯蔵建屋に設置する設計とする。</p> <p>固体廃棄物の廃棄施設の対象となる主要な設備について、「第1-5-3表 固体廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト」に示す。            本設備の設備として兼用する場合に主要設備リストに記載されない設備については、「第2-5-3表 固体廃棄物の廃棄施設の兼用設備リスト」に示す。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																		
<p>(iii) 廃棄物の処理能力  <u>ト(3)(iii)-①</u>固体廃棄物の廃棄施設は、高レベル廃液を約 140 L/h、低レベル濃縮廃液を約 0.2m<sup>3</sup>/h 及び 2000 ドラム缶約 2 本/日、廃溶媒を約 8 L/h 及び焼却可能な雑固体を約 75 kg/h、圧縮減容可能な雑固体を圧縮力約 1,500 t 並びに C B・B P を各々約 1 個/h 及び約 0.5 個/h で処理できる能力を有する。</p>	<p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p> <p>第7.4-6表 C B・B P 処理系の主要設備の仕様            (1) 第 1 切断装置*            a. 第 1 C B 切断装置            種類 溶断式            台数 2            容量 C B 約 0.5 個/h/台</p>	<p>5.3 固体廃棄物の廃棄施設            &lt; 中略 &gt;  <u>ト(3)(iii)-①</u>高レベル廃液ガラス固化設備は、各施設から発生する高レベル廃液を約 140 L/h で処理できる能力を有する設計とする。            低レベル固体廃棄物処理設備は、各施設及び公益財団法人核物質管理センターが運営する六ヶ所保障措置分析所（以下「各種施設」という。）で発生する低レベル濃縮廃液約 0.2 m<sup>3</sup>/h 及び 200 L ドラム缶約 2 本/日、廃溶媒を約 8 L/h、焼却可能な雑固体を約 75 kg/h 及び圧縮減容可能な雑固体を圧縮力 1,500 t 並びに C B・B P を各々約 1 個/h 及び 0.5 個/h で処理できる能力を有する設計とする。            &lt; 中略 &gt;</p> <p><u>ト(3)(ii)(c)-⑥</u></p> <table border="1" data-bbox="1567 1129 2113 1407"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>容量</th> <th>種類</th> <th>容量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 切断装置</td> <td>溶断式</td> <td>約 0.5 個/h/台</td> <td>溶断式</td> <td>約 0.5 個/h/台</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>FA-Y0403 T.M.S.L.55300mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第 1 チャンネルボックス切断装置 A,B (7115A,C-M11)」と記載。            *3: 溢水防護機能を要求されない設備のため「-」とする。            *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備のため「-」とする。            *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	名称	変更前		変更後		種類	容量	種類	容量	第 1 切断装置	溶断式	約 0.5 個/h/台	溶断式	約 0.5 個/h/台	台数	2	2	2	2	設置床	FA-Y0403 T.M.S.L.55300mm				溢水防護上の区画番号	-	*3	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	*4	-	-	<p>設工認の <u>ト(3)(iii)-①</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ト(3)(iii)-①</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>ト(3)(ii)(c)-⑥</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>ト(3)(ii)(c)-⑥</u> と同義であり整合している。</p>	
名称	変更前			変更後																																		
	種類	容量	種類	容量																																		
第 1 切断装置	溶断式	約 0.5 個/h/台	溶断式	約 0.5 個/h/台																																		
台数	2	2	2	2																																		
設置床	FA-Y0403 T.M.S.L.55300mm																																					
溢水防護上の区画番号	-	*3	-	-																																		
化学薬品防護上の区画番号	-	*4	-	-																																		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																									
<p>(iv) 保管廃棄施設の最大保管廃棄能力</p> <p>(a) ガラス固化体貯蔵設備 8,235 本 (ガラス固化体) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)-①</span>                      高レベル廃液ガラス固化建屋 315 本 (ガラス固化体)</p>	<p>b. 第1 B.P 切断装置                      種類 機械式                      台数 2                      容量 B.P 約0.5個/h/台</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p> <p>第7.4-2表 ガラス固化体貯蔵設備の主要設備の仕様</p> <p>(1)貯蔵ピット</p> <p>a. 高レベル廃液ガラス固化建屋の貯蔵ピット                      種類 間接自然空冷貯蔵方式                      基数 1                      構成 収納管及び通風管 各45本                      容量 ガラス固化体315本 (ガラス固化体7本/収納管)                      寸法 貯蔵ピット                      約22m×約6m×約15m (高さ)                      収納管内径 約44 c m                      収納管肉厚 約1 c m                      収納管長さ 約14m                      通風管内径 約58 c m                      通風管長さ 約11m                      主要材料 炭素鋼</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(c)-⑥</span></p> <table border="1" data-bbox="1558 367 2122 651"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>第1パナブル -ボイゾ切断装置 -型 (7115B-C- M12) *2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>機械式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td>パナブルボイ -ゾ切断装置 -約0.5個/h</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> <td>12674.5**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>FA-Y0403 T.M.S.L.55300mm *2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td></td> <td>-**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配管が必要な高さ</td> <td></td> <td>-**</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1 パナブルボイゾ切断装置 A,B (7115B,C-M12)」と記載。                      *3: 溢水防護機能を要求されない設備のため「-」とする。                      *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備のため「-」とする。                      *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)-①</span></p> <table border="1" data-bbox="1662 1039 2077 1543"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋の 貯蔵ピット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>収納管 通風管 間接自然空冷貯蔵方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>貯蔵ピット</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">収納管</td> <td>内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通風管</td> <td>内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>収納管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通風管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレナム形成板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基数**</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>ガラス固化体貯蔵設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>T.M.S.L.***</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> <td>T.M.S.L. 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配管が必要な高さ</td> <td></td> <td>-**</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基数」と記載。                      *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。                      *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称		第1パナブル -ボイゾ切断装置 -型 (7115B-C- M12) *2		種類		機械式		容量		パナブルボイ -ゾ切断装置 -約0.5個/h	変更なし	全高	mm	12674.5**		幅	mm	2		系統名(ライン名)				設置床		FA-Y0403 T.M.S.L.55300mm *2		溢水防護上の区画番号		-**		溢水防護上の配管が必要な高さ		-**		化学薬品防護上の区画番号		-**		化学薬品防護上の配管が必要な高さ		-**				変更前	変更後	名称		高レベル廃液ガラス固化建屋の 貯蔵ピット		種類		収納管 通風管 間接自然空冷貯蔵方式		容量				主要寸法	貯蔵ピット	mm		収納管	内径	mm	厚さ	mm	長さ	mm	通風管	内径	mm	長さ	mm	主要材料	収納管			通風管			支持架構			プレナム形成板			基数**		1		系統名(ライン名)		ガラス固化体貯蔵設備		設置床		T.M.S.L.***		溢水防護上の区画番号				溢水防護上の配管が必要な高さ			T.M.S.L. 以上	化学薬品防護上の区画番号		-**		化学薬品防護上の配管が必要な高さ		-**		<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)-①</span>は、事業変更許可申請書(本文)の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)-①</span>及び<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(ii)(b)-①</span>と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																										
名称		第1パナブル -ボイゾ切断装置 -型 (7115B-C- M12) *2																																																																																																																											
種類		機械式																																																																																																																											
容量		パナブルボイ -ゾ切断装置 -約0.5個/h	変更なし																																																																																																																										
全高	mm	12674.5**																																																																																																																											
幅	mm	2																																																																																																																											
系統名(ライン名)																																																																																																																													
設置床		FA-Y0403 T.M.S.L.55300mm *2																																																																																																																											
溢水防護上の区画番号		-**																																																																																																																											
溢水防護上の配管が必要な高さ		-**																																																																																																																											
化学薬品防護上の区画番号		-**																																																																																																																											
化学薬品防護上の配管が必要な高さ		-**																																																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																																																										
名称		高レベル廃液ガラス固化建屋の 貯蔵ピット																																																																																																																											
種類		収納管 通風管 間接自然空冷貯蔵方式																																																																																																																											
容量																																																																																																																													
主要寸法	貯蔵ピット	mm																																																																																																																											
	収納管	内径	mm																																																																																																																										
		厚さ	mm																																																																																																																										
		長さ	mm																																																																																																																										
通風管	内径	mm																																																																																																																											
	長さ	mm																																																																																																																											
主要材料	収納管																																																																																																																												
	通風管																																																																																																																												
	支持架構																																																																																																																												
	プレナム形成板																																																																																																																												
基数**		1																																																																																																																											
系統名(ライン名)		ガラス固化体貯蔵設備																																																																																																																											
設置床		T.M.S.L.***																																																																																																																											
溢水防護上の区画番号																																																																																																																													
溢水防護上の配管が必要な高さ			T.M.S.L. 以上																																																																																																																										
化学薬品防護上の区画番号		-**																																																																																																																											
化学薬品防護上の配管が必要な高さ		-**																																																																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																		
<p>ト(3)(iv)-② 第1 ガラス固化体貯蔵建屋東棟 2,880 本 (ガラス固化体)</p>	<p>b. 第1 ガラス固化体貯蔵建屋東棟の貯蔵ピット 種類 間接自然空冷貯蔵方式 基数 4 構成 収納管及び通風管 各80本/基 容量 ガラス固化体 720本/基 (ガラス固化体9本/収納管) 寸法 貯蔵ピット 約26m×約6m×約17m (高さ) 収納管内径 約44 c m 収納管肉厚 約1 c m 収納管長さ 約16m 通風管内径 約58 c m 通風管長さ 約12m 主要材料 炭素鋼</p>	<p>ト(3)(iv)-②</p> <table border="1" data-bbox="1676 367 2062 808"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称</td> <td>貯蔵ピット</td> <td>2911-C1201~C1280 2911-C2201~C2280 2911-C3201~C3280 2911-C4201~C4280</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通風管</td> <td>2911-C1101~C1180 2911-C2101~C2180 2911-C3101~C3180 2911-C4101~C4180</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>間接自然空冷貯蔵方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>収納管及び通風管 各80本/基*</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>貯蔵ピット</td> <td>mm</td> <td>2500×6400×17100(高さ)*</td> </tr> <tr> <td>内径</td> <td>mm</td> <td>442**</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>11.4**</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>mm</td> <td>15650**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通風管</td> <td>内径</td> <td>mm</td> <td>582**</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>mm</td> <td>12000**</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>収納管</td> <td>—</td> <td>SM400A(アルミニウム降射)**</td> </tr> <tr> <td>通風管</td> <td>—</td> <td>SM400A(アルミニウム降射)**</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>—</td> <td>STKR490</td> </tr> <tr> <td>プレナム形成板</td> <td>—</td> <td>SM400A(アルミニウム降射)**</td> </tr> <tr> <td>個数**</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1676 840 2062 997"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">設工認箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>ガラス固化体貯蔵設備</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>KB-0102~0105 T.M.S.L.38.20m**</td> </tr> <tr> <td>根本防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>根本防護上の 配置が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>KB-1-02~05 T.M.S.L. 38.9m以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>**</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配置が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>**</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「収納管及び通風管 各80本/基」と記載。 *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ガラス固化体貯蔵設備」と記載。 *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「SM400A」と記載。 *5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基数」と記載。 *6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *7: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称	貯蔵ピット	2911-C1201~C1280 2911-C2201~C2280 2911-C3201~C3280 2911-C4201~C4280		通風管	2911-C1101~C1180 2911-C2101~C2180 2911-C3101~C3180 2911-C4101~C4180		種類	—	間接自然空冷貯蔵方式		容量	—	収納管及び通風管 各80本/基*	変更なし	主要寸法	貯蔵ピット	mm	2500×6400×17100(高さ)*	内径	mm	442**	厚さ	mm	11.4**	長さ	mm	15650**	通風管	内径	mm	582**	長さ	mm	12000**	主要材料	収納管	—	SM400A(アルミニウム降射)**	通風管	—	SM400A(アルミニウム降射)**	支持架構	—	STKR490	プレナム形成板	—	SM400A(アルミニウム降射)**	個数**	—	—	—			変更前	変更後	設工認箇所	系統名(ライン名)	—	ガラス固化体貯蔵設備	設置床	—	KB-0102~0105 T.M.S.L.38.20m**	根本防護上の 区画番号	—	—	根本防護上の 配置が必要な高さ	—	KB-1-02~05 T.M.S.L. 38.9m以上	化学薬品防護上の 区画番号	—	**	化学薬品防護上の 配置が必要な高さ	—	**	—	—	—	<p>設工認のト(3)(iv)-②は、事業変更許可申請書（本文）のト(3)(iv)-②及びト(3)(ii)(b)-②と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																			
名称	貯蔵ピット	2911-C1201~C1280 2911-C2201~C2280 2911-C3201~C3280 2911-C4201~C4280																																																																																				
	通風管	2911-C1101~C1180 2911-C2101~C2180 2911-C3101~C3180 2911-C4101~C4180																																																																																				
種類	—	間接自然空冷貯蔵方式																																																																																				
容量	—	収納管及び通風管 各80本/基*	変更なし																																																																																			
主要寸法	貯蔵ピット	mm	2500×6400×17100(高さ)*																																																																																			
	内径	mm	442**																																																																																			
	厚さ	mm	11.4**																																																																																			
	長さ	mm	15650**																																																																																			
通風管	内径	mm	582**																																																																																			
	長さ	mm	12000**																																																																																			
主要材料	収納管	—	SM400A(アルミニウム降射)**																																																																																			
	通風管	—	SM400A(アルミニウム降射)**																																																																																			
	支持架構	—	STKR490																																																																																			
	プレナム形成板	—	SM400A(アルミニウム降射)**																																																																																			
個数**	—	—	—																																																																																			
		変更前	変更後																																																																																			
設工認箇所	系統名(ライン名)	—	ガラス固化体貯蔵設備																																																																																			
	設置床	—	KB-0102~0105 T.M.S.L.38.20m**																																																																																			
	根本防護上の 区画番号	—	—																																																																																			
	根本防護上の 配置が必要な高さ	—	KB-1-02~05 T.M.S.L. 38.9m以上																																																																																			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	**																																																																																			
	化学薬品防護上の 配置が必要な高さ	—	**																																																																																			
	—	—	—																																																																																			
<p>ト(3)(iv)-③ 第1 ガラス固化体貯蔵建屋西棟 5,040 本 (ガラス固化体)</p>	<p>c. 第1 ガラス固化体貯蔵建屋西棟の貯蔵ピット 種類 間接自然空冷貯蔵方式 基数 4 構成 収納管及び通風管 各140本/基 容量 ガラス固化体 1,260本/基 (ガラス固化体9本/収納管) 寸法 貯蔵ピット 約26m×約8m×約17m (高さ) 収納管内径 約44 c m 収納管肉厚 約1 c m 収納管長さ 約16m 通風管内径 約58 c m 通風管長さ 約12m 主要材料 炭素鋼</p> <p>&lt; 中略 &gt;</p>		<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けたト(3)(iv)-③は、本設工認の対象外である。</p>																																																																																			

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) 低レベル固体廃棄物貯蔵設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-①</span>            廃樹脂貯蔵系 約 850 m<sup>3</sup></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-②</span>            ハル・エンドピース貯蔵系 約 2,000 本  <u>(1,000L ドラム換算)</u></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-③</span>            チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系 約 7,000 本 (2000 ドラム缶換算)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-④</span>            第1低レベル廃棄物貯蔵系 約 13,500 本  <u>(2000 ドラム缶換算)</u></p>	<p>第7.4-7表 低レベル固体廃棄物貯蔵設備の主要設備の仕様</p> <p>(1) 廃樹脂貯蔵系</p> <p>a. 廃樹脂貯蔵槽（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋）＊</p> <p>種 類 ライニング槽            基 数 3            容 量 約190m<sup>3</sup>／基            主要材料 ステンレス鋼</p> <p>b. 廃樹脂貯蔵槽（ハル・エンドピース貯蔵建屋）</p> <p>種 類 たて置円筒形            基 数 2            容 量 約80m<sup>3</sup>／基            主要材料 ステンレス鋼</p> <p>c. 廃樹脂貯蔵槽（チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋）</p> <p>種 類 たて置円筒形            基 数 1            容 量 約120m<sup>3</sup>            主要材料 ステンレス鋼</p> <p>(2) ハル・エンドピース貯蔵系</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート（一部鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄骨造）            貯蔵能力 約2,000本            （1,000L ドラム換算）</p> <p>(3) チャンネルボックス・バーナブルポイズン貯蔵系</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造            貯蔵能力 約7,000本（2000ドラム缶換算）</p> <p>(4) 第1低レベル廃棄物貯蔵系＊</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造            貯蔵能力 約13,500本            （2000ドラム缶換算）</p>		<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-①</span>は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-②</span>は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-③</span>は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ト(3)(iv)(b)-④</span>は、本設工認の対象外である。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																												
<p>ト(3)(iv)(b)-⑤ 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系 約430本(2000ドラム缶換算)</p> <p>第2低レベル廃棄物貯蔵系(MOX燃料加工施設と共用)</p> <p>ト(3)(iv)(b)-⑥-1 第1貯蔵系(廃棄物管理施設と共用) 約12,700本(2000ドラム缶換算)</p> <p>ト(3)(iv)(b)-⑥-2 第2貯蔵系 約42,500本(2000ドラム缶換算)</p> <p>ト(3)(iv)(b)-⑦ 第4低レベル廃棄物貯蔵系 約13,500本(2000ドラム缶換算)</p> <p>固体廃棄物の廃棄施設の貯蔵設備は、必要がある場合には増設を考慮する。</p>	<p>(5)使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系* 構造 鉄筋コンクリート造 貯蔵能力 約430本(2000ドラム缶換算)</p> <p>(6)第2低レベル廃棄物貯蔵系(MOX燃料加工施設と共用) 構造 鉄筋コンクリート造</p> <p>a. 第1貯蔵系*(廃棄物管理施設と共用) 貯蔵能力 約12,700本(2000ドラム缶換算)</p> <p>b. 第2貯蔵系 貯蔵能力 約42,500本(2000ドラム缶換算)</p> <p>(7) 第4低レベル廃棄物貯蔵系 構造 鉄筋コンクリート造 貯蔵能力 約13,500本(2000ドラム缶換算)</p> <p>注) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る設備である。</p>	<p>ト(3)(iv)(b)-⑥-1</p> <table border="1" data-bbox="1240 905 2338 1161"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <td colspan="3">低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系)</td> <td colspan="5">低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系) ---(再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用)---</td> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> <td colspan="3">鉄筋コンクリート造</td> <td colspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <th colspan="2">容量</th> <td colspan="3">約7,500本(2000ドラム缶換算)*1</td> <td colspan="5">約12,700本(2000ドラム缶換算)*1</td> </tr> <tr> <th colspan="2">エリア名称</th> <td>第11貯蔵室</td> <td>第12貯蔵室</td> <td>第13貯蔵室</td> <td>第11貯蔵室</td> <td>第12貯蔵室</td> <td>第13貯蔵室</td> <td>第4搬送室</td> <td>第5搬送室</td> <td>地上1階東西第1廊下</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">主要寸法<sup>注2</sup></th> <td>たて</td> <td>18.28</td> <td>8.30</td> <td>18.10</td> <td colspan="3">変更なし</td> <td>8.30</td> <td>65.65</td> <td>8.48</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>55.08</td> <td>28.75</td> <td>28.75</td> <td colspan="3">変更なし</td> <td>18.65</td> <td>8.08</td> <td>9.00</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td colspan="3">変更なし</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <td colspan="3">第2低レベル廃棄物貯蔵建屋</td> <td colspan="5">変更なし</td> </tr> </thead></table> <p>*1:低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系)は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2:保管エリアの寸法を示す。 *3:第1貯蔵系は、再処理設備本体等から発生する廃棄物に加え、使用済み燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設から発生する廃棄物を貯蔵する。</p>			変更前			変更後					名称		低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系)			低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系) ---(再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用)---					種類		鉄筋コンクリート造			変更なし					容量		約7,500本(2000ドラム缶換算)*1			約12,700本(2000ドラム缶換算)*1					エリア名称		第11貯蔵室	第12貯蔵室	第13貯蔵室	第11貯蔵室	第12貯蔵室	第13貯蔵室	第4搬送室	第5搬送室	地上1階東西第1廊下	主要寸法 <sup>注2</sup>	たて	18.28	8.30	18.10	変更なし			8.30	65.65	8.48	横	55.08	28.75	28.75	変更なし			18.65	8.08	9.00	高さ	4.2	4.2	4.2	変更なし			4.2	4.2	4.2	設置場所		第2低レベル廃棄物貯蔵建屋			変更なし					<p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けたト(3)(iv)(b)-⑤は、本設工認の対象外である。</p> <p>設工認のト(3)(iv)(b)-⑥-1は、事業変更許可申請書(本文)のト(3)(iv)(b)-⑥-1と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けたト(3)(iv)(b)-⑥-2は、本設工認の対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けたト(3)(iv)(b)-⑦は、本設工認の対象外である。</p>	
		変更前			変更後																																																																																											
名称		低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系)			低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系) ---(再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用)---																																																																																											
種類		鉄筋コンクリート造			変更なし																																																																																											
容量		約7,500本(2000ドラム缶換算)*1			約12,700本(2000ドラム缶換算)*1																																																																																											
エリア名称		第11貯蔵室	第12貯蔵室	第13貯蔵室	第11貯蔵室	第12貯蔵室	第13貯蔵室	第4搬送室	第5搬送室	地上1階東西第1廊下																																																																																						
主要寸法 <sup>注2</sup>	たて	18.28	8.30	18.10	変更なし			8.30	65.65	8.48																																																																																						
	横	55.08	28.75	28.75	変更なし			18.65	8.08	9.00																																																																																						
	高さ	4.2	4.2	4.2	変更なし			4.2	4.2	4.2																																																																																						
設置場所		第2低レベル廃棄物貯蔵建屋			変更なし																																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. 放射線管理施設の設備</p> <p>再処理施設の運転時、停止時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、<u>チ.-1</u>再処理施設外へ放出する放射性物質の濃度、周辺監視区域境界付近の放射線等を監視するために、<u>チ.-2</u>試料分析関係設備として放出管理分析設備及び環境試料測定設備を、放射線監視設備として排気モニタリング設備、排水モニタリング設備及び環境モニタリング設備を、環境管理設備として放射能観測車を設ける。</p> <p><u>チ.-3</u>環境モニタリング設備であるモニタリングポスト及びダストモニタについては、設計基準事故時における迅速な対応のために<u>チ.-4</u>必要な情報を中央制御室及び緊急時対策所に指示できる設計とする。</p>	<p>8.1.2 設計方針</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 再処理施設内外の主要な箇所における線量当量率、空気中の放射性物質の濃度及び表面の放射性物質の密度を測定、監視できるようにする。</p> <p>(3) 放射線監視設備からの主要な情報は、制御室において集中して監視できるようにする。</p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設</p> <p>放射線管理施設には、再処理施設の運転時、停止時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、当該<u>チ.-1</u>再処理施設及びその境界付近における放射性物質の濃度及び放射線量を監視し、及び測定し、並びに設計基準事故時における迅速な対応のために必要な情報を中央制御室その他当該情報を伝達する必要がある場所に表示できる設備（安全機能を有する施設に属するものに限る。）として、<u>チ.-2</u>放射線監視設備、試料分析関係設備及び環境管理設備を設置する設計とする。</p> <p>6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.3 環境モニタリング設備 <u>チ.-3</u>モニタリングポスト及びダストモニタについては、設計基準事故時における迅速な対応のために<u>チ.-4</u>測定値を中央制御室及び緊急時対策所に指示できる設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ.-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ.-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ.-2</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ.-2</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ.-3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ.-3</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ.-4</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ.-4</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>モニタリングポスト及びダストモニタは、非常 用所内電源系統に接続し、電源復旧までの期間、 チ.-5電源を受電できる設計とする。</p> <p>さらに、モニタリングポスト及びダストモニタ は、専用の無停電電源装置を有し、電源切替時の 短時間の停電時にチ.-6電源を受電できる設計 とする。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタから チ.-7測定したデータの伝送は、モニタリングポ スト及びダストモニタを設置する場所から中央 制御室及び緊急時対策所間において有線系回線 及び無線系回線により多様性を有し、測定値は中 央制御室で監視、記録を行うことができる設計と する。</p> <p>また、緊急時対策所でも監視することができる 設計とする。</p>	<p>8.1.4.3 放射線監視設備 (2) 屋外モニタリング設備 c. 環境モニタリング設備</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、電源 復旧までの期間の電源を確保するため、非常用所 内電源系統に接続する設計とする。</p> <p>さらに、モニタリングポスト及びダストモニタ は、短時間の停電時に電源を確保するため、専用 の無停電電源装置を有する設計とする。</p> <p>8.1.4.3 放射線監視設備 (2) 屋外モニタリング設備 c. 環境モニタリング設備</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、その 測定値を中央制御室及び使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設の制御室において指示及び記録 し、空間放射線量率又は放射能レベルがあらかじ め設定した値を超えたときは、警報を発する。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタの測定 値は、緊急時対策所において指示する。</p>	<p>モニタリングポスト及びダストモニタは、 非常用所内電源系統に接続し、電源復旧まで の期間、チ.-5非常用所内電源系統から受電 できる設計とする。</p> <p>さらに、モニタリングポスト及びダストモ ニタは、専用の無停電電源装置を有し、電源 切替時の短時間の停電時にチ.-6無停電電 源装置から受電できる設計とする。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタか らチ.-7中央制御室及び緊急時対策所まで のデータの伝送系は、有線及び無線(衛星回 線を含む。)により多様性を有する設計とし、 測定値は中央制御室で監視、記録を行うこと ができる設計とする。</p> <p>また、緊急時対策所でも監視することがで きる設計とする。</p>	<p>設工認のチ.-5は、事 業変更許可申請書(本 文)のチ.-5を具体的 に記載しており整合 している。</p> <p>設工認のチ.-6は、事 業変更許可申請書(本 文)のチ.-6を具体的 に記載しており整合 している。</p> <p>設工認のチ.-7は、事 業変更許可申請書(本 文)のチ.-7と同義で あり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>モニタリングポスト及びダストモニタは、<u>チ. -8</u>その測定値が設定値以上に上昇した場合、直ちに中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>重大事故等が発生した場合に再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備を<u>チ. -9</u>設置及び保管する。</p> <p>重大事故等が発生した場合に敷地内において、風向、風速その他の気象条件を測定し、及びその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備を<u>チ. -10</u>設置及び保管する。</p> <p>重大事故等が発生し、モニタリングポスト及びダストモニタの電源が喪失した場合に、代替電源から電源を供給するために必要な重大事故等対処設備を<u>チ. -11</u>設置及び保管する。</p>	<p>8.1.4.3 放射線監視設備 (2) 屋外モニタリング設備 c. 環境モニタリング設備</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、その測定値を中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室において指示及び記録し、空間放射線量率又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えたときは、警報を発する。</p> <p>重大事故等が発生した場合に再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録できるようにするため、放射線監視設備、代替モニタリング設備、試料分析関係設備、代替試料分析関係設備、環境管理設備の放射能観測車及び代替放射能観測設備を使用する。</p> <p>重大事故等が発生した場合に敷地内の風向、風速その他の気象条件を測定し、及びその結果を記録できるようにするため、環境管理設備の気象観測設備及び代替気象観測設備を使用する。</p> <p>常設モニタリング設備（モニタリングポスト等）への給電を可能とするため、環境モニタリング用代替電源設備を使用する。</p>	<p>モニタリングポスト及びダストモニタは、<u>チ. -8</u>放射線レベル又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に、直ちに中央制御室に警報を発信する設計とする。</p> <p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設</p> <p>放射線管理施設には、重大事故等が発生した場合に再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備を<u>チ. -9</u>設ける設計とする。</p> <p>放射線管理施設には、重大事故等が発生した場合に敷地内において、風向、風速その他の気象条件を測定し、及びその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備を<u>チ. -10</u>設ける設計とする。</p> <p>放射線管理施設には、重大事故等が発生し、放射線監視設備のモニタリングポスト及びダストモニタの電源が喪失した場合に、代替電源から電源を供給するために必要な重大事故等対処設備を<u>チ. -11</u>設ける設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ. -8</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. -8</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. -9</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. -9</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. -10</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. -10</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. -11</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. -11</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>放射線管理施設の重大事故等対処設備は、放射線監視設備、代替モニタリング設備、試料分析関係設備、代替試料分析関係設備、環境管理設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備で構成する。</u></p> <p>放射線業務従事者等の放射線管理を確実に行うとともに、周辺環境における線量当量等を監視するため、以下の設備を設ける。</p> <p>中央制御室については、「へ. (4) (i) 制御室等」に、緊急時対策所については、「リ. (4) (ix) 緊急時対策所」に、非常用所内電源系統については、「リ. (1) (i) 電気設備」に記載する。</p>		<p><u>放射線管理施設の重大事故等対処設備は、放射線監視設備、代替モニタリング設備、試料分析関係設備、代替試料分析関係設備、環境管理設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備で構成する。</u></p>	<p>変更許可申請書（本文）「チ. (1) (i) 出入管理設備」, 「チ. (1) (ii) 試料分析関係設備」, 「チ. (1) (iii) 放射線監視設備」, 「チ. (1) (iv) 個人管理用設備」, 「チ. (2) (i) 試料分析関係設備」, 「チ. (2) (ii) 放射線監視設備」及び「チ. (2) (iii) 環境管理設備」, 「チ. (2) (iv) 環境モニタリング用代替電源設備」に示す。</p> <p>変更許可申請書（本文）「へ. (4) (i) 制御室等」, 「リ. (4) (ix) 緊急時対策所」及び「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(1) 屋内管理用の主要な設備の種類</p> <p>(i) 出入管理関係設備</p> <p>放射線業務従事者等の管理区域の出入管理  <u>チ. (1) (i)-1</u>のための出入管理設備並びに汚  <u>染管理及び除染のための汚染管理設備を設け  る。</u></p> <p>北換気筒管理建屋は、再処理施設用と廃棄物  管理施設用の排気モニタリング設備をそれぞ  れ設置する設計とするため、「再処理規則」及  び「核燃料物質又は核燃料物質によって汚染さ  れた物の廃棄物管理の事業に関する規則」に基  づき管理区域を設定する。</p> <p><u>チ. (1) (i)-2</u>管理区域への出入管理に用い  る<u>出入管理設備は廃棄物管理施設と共用し、共  用によって再処理施設の安全性を損なわない  設計とする。</u></p> <p>(ii) 試料分析関係設備</p> <p>作業環境、設備及び物品の放射線管理用試料  の放射能を測定するため、放射能測定設備<u>チ.  (1) (ii)-1</u>を備える。</p>	<p>8.1.4 系統構成及び主要設備</p> <p>8.1.4.1 出入管理関係設備</p> <p>出入管理及び汚染管理のため、次の設備を設け  る。</p> <p>出入管理設備の一部は、廃棄物管理施設と共用  する。</p> <p>共用する<u>出入管理設備の仕様及び出入管理に  係る運用を各施設で同一とする設計とするこ  とで、共用によって再処理施設の安全性を損なわ  ない設計とする。</u></p> <p>8.1.4.2 試料分析関係設備</p> <p>再処理施設の放射線管理に伴う放射性廃棄物の  放出管理用試料、作業環境の放射線管理用試料及び  環境試料の一般化学分析、放射化学分析及び放射能  測定を行うため、次の設備を備える。</p>	<p>6.10 出入管理関係設備</p> <p>放射線業務従事者等の管理区域の出入管理並  びに汚染管理及び除染のための<u>チ. (1) (i)-1</u>出  入管理関係設備として、<u>出入管理関係設備及び汚  染管理設備を設置する設計とする。</u></p> <p>再処理施設の管理区域への出入りは、原則とし  て出入管理設備を設けた出入管理室を通る設計  とする。</p> <p><u>チ. (1) (i)-2</u>出入管理設備の一部は、廃棄物管  理施設と共用する。</p> <p>出入管理設備の一部は廃棄物管理施設と共用  するが、仕様及び出入管理に係る運用を各施設で  同一とする設計とするこ<u>とで、共用によって再処  理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>6.3 試料分析関係設備</p> <p>再処理施設の作業環境、設備及び物品の放射線  管理用試料の放射能を測定するための試料分析  関係設備として、<u>放射能測定設備チ. (1) (ii)-1</u>  の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、核種  分析装置(アルファ線用)及び核種分析装置(ガン  マ線用)を設置する設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ. (1) (i)-1</u>  は、事業変更許可申請  書(本文)の<u>チ. (1) (i)  -1</u>と同義であり整合  している。</p> <p>変更許可申請書（本  文）の「北換気筒管理  建屋の管理区域設定」  は、保安規定に定めて  管理することを記載  しており整合してい  る。</p> <p>設工認の<u>チ. (1) (i)-2</u>  は、事業変更許可申請  書(本文)の<u>チ. (1) (i)  -2</u>と同義であり整合  している。</p> <p>設工認の<u>チ. (1) (ii)-  1</u>は、事業変更許可申  請書(本文)の<u>チ. (1)  (ii)-1</u>を具体的に記  載しており整合して  いる。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(iii) 放射線監視設備</p> <p><u>チ. (1) (iii)-1管理区域の主要箇所</u>の放射線レベル又は放射能レベルを監視するための屋内モニタリング設備として、エリアモニタ、ダストモニタ及び臨界警報装置を設ける。</p>	<p>8.1.4.3 放射線監視設備</p> <p><u>放射線監視設備は、屋内モニタリング設備、屋外モニタリング設備及び放射線サーベイ機器で構成する。</u></p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>6.1 放射線監視設備</p> <p>放射線監視設備は、屋内モニタリング設備、屋外モニタリング設備及び放射線サーベイ機器で構成する。</p> <p>6.1.1 屋内モニタリング設備</p> <p><u>チ. (1) (iii)-1再処理施設内の主要箇所</u>の放射線レベル又は放射能レベルを監視するための屋内モニタリング設備として、エリアモニタ、ダストモニタ及び臨界警報装置を設置する設計とする。</p> <p>エリアモニタ及びダストモニタの測定値は、中央制御室において指示及び記録するとともに、放射線レベル又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に、中央制御室及び必要な箇所において警報を発する設計とする。</p> <p>エリアモニタ及びダストモニタの測定値は、緊急時対策所においても指示する設計とする。</p> <p>また、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室においても当該施設に係るエリアモニタ及びダストモニタの測定値の指示及び記録を行い、放射線レベル又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室において警報を発する設計とする。</p> <p>臨界警報装置は、放射線レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に、中央制御室及び必要な箇所において警報を発する設計とする。</p> <p>分析建屋のダストモニタの一部は、六ヶ所保障措置分析所と共用する。</p> <p>分析建屋のダストモニタの一部は、六ヶ所</p>	<p>設工認のチ. (1) (iii)-1は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (1) (iii)-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (1) (iii)-2 また、放射線サーベイに使用する放射線サーベイ機器チ. (1) (iii)-3 を備える。</p> <p>放射線サーベイ機器のチ. (1) (iii)-4 一部は、廃棄物管理施設と共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>8.1.4.3 放射線監視設備</p> <p>(3) 放射線サーベイ機器</p> <p>平常時及び事故時の外部放射線に係る線量当量率、空気中の放射性物質の濃度及び放射性物質によって汚染された物の表面の放射性物質の密度を測定、監視するために、放射線サーベイ機器を備える。</p> <p>放射線管理施設のうち他施設と共用する設備は、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>保障措置分析所と共用するが、分析建屋及び六ヶ所保障措置分析所の空気中の放射性物質の捕集に必要な容量を確保する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>6.1.3 放射線サーベイ機器</p> <p>チ. (1) (iii)-2 放射線サーベイに使用する放射線サーベイ機器チ. (1) (iii)-3 として、アルファ・ベータ線用サーベイメータ、ガンマ線用サーベイメータ、中性子線用サーベイメータ、エアスニファ、ダストサンブラ、ガスモニタ及びダストモニタを設ける設計とする。</p> <p>放射線サーベイ機器のチ. (1) (iii)-4 ガンマ線サーベイメータは、廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>共用する放射線サーベイ機器は、仕様及び測定に係る運用を各施設で同一とする設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (1) (iii)-2 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (1) (iii)-2 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (1) (iii)-3 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (1) (iii)-3 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (1) (iii)-4 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (1) (iii)-4 を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(iv) 個人管理用設備</p> <p>放射線業務従事者等の線量評価のため、個人線量計及びホールボディカウンタをチ.(1)(iv)-1備える。</p> <p>個人線量計及びホールボディカウンタは、チ.(1)(iv)-2再処理施設、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設の放射線業務従事者等の線量評価のための設備であり、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用チ.(1)(iv)-3し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>(2) 屋外管理用の主要な設備の種類</p> <p>(i) 試料分析関係設備</p> <p>気体廃棄物及び液体廃棄物の放出に係る試料の分析及び放射能測定を行うため、放出管理分析設備チ.(2)(i)-1を備える。</p>	<p>8.1.4.5 個人管理用設備</p> <p>放射線業務従事者等の線量管理のため、外部被ばくに係る線量当量を測定する個人線量計と、内部被ばくによる線量を評価するためのホールボディカウンタを備える。</p> <p>個人線量計及びホールボディカウンタは、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>共用する個人線量計及びホールボディカウンタは、仕様及び運用を各施設で統一し、必要な個数を確保する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>6.9 個人管理用設備</p> <p>放射線業務従事者等の線量評価のための個人管理用設備として、個人線量計を配備し、及びホールボディカウンタをチ.(1)(iv)-1設置する設計とする。</p> <p>個人線量計及びホールボディカウンタは、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>個人線量計及びホールボディカウンタは、チ.(1)(iv)-2MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用チ.(1)(iv)-3するが、仕様及び運用を各施設で統一し、必要な個数を確保する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>6.3 試料分析関係設備</p> <p>再処理施設からの放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の放出に係る試料の分析及び放射能測定を行うための試料分析関係設備として、放出管理分析設備チ.(2)(i)-1の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)を設置する設計とする。</p>	<p>設工認のチ.(1)(iv)-1は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(1)(iv)-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(1)(iv)-2及びチ.(1)(iv)-3は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(1)(iv)-2及びチ.(1)(iv)-3と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(i)-1は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(i)-1を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (i)-2 また、周辺監視区域境界付近で採取した試料の放射能測定を行うため、環境試料測定設備チ. (2) (i)-3 を備える。</p> <p>環境試料測定設備チ. (2) (i)-4 は、再処理施設及びMOX燃料加工施設の周辺監視区域境界付近で採取した試料の放射能測定を行うための設備であり、周辺監視区域が同一の区域であることから、MOX燃料加工施設と環境試料測定設備チ. (2) (i)-5 の一部を共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>環境試料測定設備の一部は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>共用する環境試料測定設備は、仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域が同一の区域であることにより、測定結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>チ. (2) (i)-2 周辺監視区域境界付近で採取した試料の放射能測定を行うための試料分析関係設備として、環境試料測定設備のチ. (2) (i)-3 放射能測定装置（ベータ線用）、核種分析装置（アルファ線用）及び核種分析装置（ガンマ線用）を設置する設計とする。</p> <p>環境試料測定設備のうち、核種分析装置（アルファ線用）及び核種分析装置（ガンマ線用）は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>環境試料測定設備チ. (2) (i)-4 のうち、チ. (2) (i)-5 核種分析装置（アルファ線用）及び核種分析装置（ガンマ線用）は、MOX燃料加工施設と共用するが、仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域が同一の区域であることにより、測定結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-2 は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-2 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-3 は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-3 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-4 は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-4 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-5 は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-5 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時において、再処理施設 <u>チ. (2) (i)-6</u> 外へ放出する放射性物質の濃度及び周辺監視区域境界付近の空気中の放射性物質の濃度を測定するため、試料分析関係設備を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>設計基準対象の施設と兼用する電気設備の一部である受電開閉設備等を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>試料分析関係設備の常設重大事故等対処設備に給電するための、受電開閉設備、所内高圧系統、所内低圧系統については、「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。</p> <p><u>チ. (2) (i)-7</u> 試料分析関係設備は、放出管理分析設備及び環境試料測定設備で構成し、重大事故等時において、捕集した試料の <u>チ. (2) (i)-8</u> 放射性よう素、粒子状放射性物質、炭素-14及びトリチウムの濃度を測定 <u>チ. (2) (i)-9</u> できる設計とする。</p>		<p>重大事故等時において、試料分析関係設備のうち、放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)並びに環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)を常設重大事故等対処設備として位置付け、再処理施設 <u>チ. (2) (i)-6</u> から放出される放射性物質の濃度及び周辺監視区域境界付近の空気中の放射性物質の濃度を測定する設計とする。</p> <p>6.3 試料分析関係設備</p> <p><u>チ. (2) (i)-7</u> 放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)並びに環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、重大事故等時において、捕集した試料の <u>チ. (2) (i)-8</u> 放射性物質の濃度を測定し、及びその結果を記録できるように、測定値を指示 <u>チ. (2) (i)-9</u> する設計とする。</p>	<p>設工認の <u>チ. (2) (i)-6</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>チ. (2) (i)-6</u> と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書(本文)「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。</p> <p>変更許可申請書(本文)「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。</p> <p>設工認の <u>チ. (2) (i)-7</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>チ. (2) (i)-7</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の <u>チ. (2) (i)-8</u> 及び <u>チ. (2) (i)-9</u> は、事業変更許可申請書(本文)の <u>チ. (2) (i)-8</u> 及び <u>チ. (2) (i)-9</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>重大事故等時において、試料分析関係設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する代替試料分析関係設備を可搬型重大事故等対処設備としてチ. (2) (i)-10配備する。</u></p> <p><u>代替試料分析関係設備は、可搬型試料分析設備で構成する。</u></p>		<p>6.4 代替試料分析関係設備</p> <p><u>重大事故等時において、試料分析関係設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する代替試料分析関係設備を可搬型重大事故等対処設備としてチ. (2) (i)-10設ける設計とする。</u></p> <p>可搬型試料分析設備は、放出管理分析設備が機能喪失した場合に、排気サンプリング設備(主排気筒)、排気サンプリング設備(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)及び可搬型排気サンプリング設備で捕集した放射性物質の濃度を測定し、及びその結果を記録できるように、測定値を指示する設計とする。</p> <p>可搬型試料分析設備は、環境試料測定設備が機能喪失した場合に、ダストモニタ及び可搬型ダストモニタで捕集した放射性物質の濃度を測定し、及びその結果を記録できるように、測定値を指示する設計とする。</p> <p>可搬型放射能測定装置及び可搬型核種分析装置は、再処理施設からの放射性物質の放出のおそれがあると判断した場合に、再処理施設及びその周辺で採取した、水中及び土壌中の放射性物質の濃度を測定し、及びその結果を記録できるように、測定値を指示する設計とする。</p> <p><u>代替試料分析関係設備は、可搬型試料分析設備の可搬型放射能測定装置、可搬型トリチウム測定装置及び可搬型核種分析装置で構成する。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-10は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-10と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (i)-11 重大事故等時において、環境試料測定設備及び可搬型試料分析設備の一部は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>チ. (2) (i)-12 重大事故等時において、共用する環境試料測定設備及びチ. (2) (i)-13 可搬型試料分析設備の一部は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>環境試料測定設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>可搬型放射能測定装置及び可搬型核種分析装置は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境試料測定設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型放射能測定装置及び可搬型核種分析装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>チ. (2) (i)-11 可搬型放射能測定装置及び可搬型核種分析装置は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>チ. (2) (i)-11 環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (i)-12 共用するチ. (2) (i)-13 可搬型放射能測定装置及び可搬型核種分析装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-1 1 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-11 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-1 2 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-12 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-1 3 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-13 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>内的事象を要因とチ. (2) (i)-14して発生した場合に対処に用いるチ. (2) (i)-15試料分析関係設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物に対して代替設備による機能の確保、修理の対応チ. (2) (i)-16等により重大事故等チ. (2) (i)-17に対処するための機能を損なわない設計とする。</p>		<p>6.3 試料分析関係設備            内的事象を要因とチ. (2) (i)-14する重大事故等が発生した場合に対処に用いるチ. (2) (i)-15放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)並びに環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保又は修理の対応チ. (2) (i)-16の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等チ. (2) (i)-17への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-14は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-14と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-15は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-15を具体的に記載しており整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-16は、具体的な設計内容として保安規定に定めて管理することを記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-17は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-17と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (i)-18 代替試料分析関係設備は、試料分析関係設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を試料分析関係設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、主排気筒管理建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p> <p>チ. (2) (i)-19 試料分析関係設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同様に重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>チ. (2) (i)-20 試料分析関係設備の放出管理分析設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度を測定するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、チ. (2) (i)-21 1台を有する設計とする。</p>		<p>6.4 代替試料分析関係設備 チ. (2) (i)-18 可搬型試料分析設備は、共通要因によって試料分析関係設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を試料分析関係設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、主排気筒管理建屋にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>6.3 試料分析関係設備 チ. (2) (i)-19 放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)並びに環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>チ. (2) (i)-20 放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度を測定するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、チ. (2) (i)-21 十分な台数を有する設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-18は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-18を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-19は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-19を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-20は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-20を具体的に記載しており整合している。</p> <p>変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-21は変更許可申請書(本文)の「チ. (2) (i) (a) (1) 放出管理分析設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (i)-22</sup>試料分析関係設備の環境試料測定設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設から放出される放射性物質の濃度を測定するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、<sup>チ. (2) (i)-23</sup>1台を有する設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (i)-24</sup>可搬型試料分析設備の可搬型放射能測定装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設から放出される放射性物質の濃度を測定できる計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<sup>チ. (2) (i)-25</sup>必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</p>		<p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (i)-22</sup>環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、再処理施設及びMOX燃料加工施設から放出される放射性物質の濃度を測定するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、<sup>チ. (2) (i)-23</sup>十分な台数を有する設計とする。</p> <p>6.4 代替試料分析関係設備</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (i)-24</sup>可搬型放射能測定装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設から放出される放射性物質の濃度を測定できる計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<sup>チ. (2) (i)-25</sup>必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p>	<p>設工認の<sup>チ. (2) (i)-22</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (i)-22</sup>と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）の<sup>チ. (2) (i)-23</sup>は変更許可申請書（本文）の「<sup>チ. (2) (i) (a) (イ)</sup>環境試料測定設備」に示す。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (i)-24</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (i)-24</sup>と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）の<sup>チ. (2) (i)-25</sup>は変更許可申請書（本文）の「<sup>チ. (2) (i) (a) (ロ)</sup>可搬型放射能測定装置」に示す。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (i)-26可搬型試料分析設備の可搬型トリチウム測定装置は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度を測定できる計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (i)-27必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用するチ. (2) (i)-28可搬型試料分析設備の可搬型核種分析装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設から放出される放射性物質の濃度を測定できる計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (i)-29必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する。</u></u></p> <p><u>チ. (2) (i)-30代替試料分析関係設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p>		<p><u>チ. (2) (i)-26可搬型トリチウム測定装置は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度を測定できる計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (i)-27必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</u></u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用するチ. (2) (i)-28可搬型核種分析装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設から放出される放射性物質の濃度を測定できる計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (i)-29必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</u></u></p> <p><u>チ. (2) (i)-30可搬型試料分析設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-26は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-26と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-27は「チ. (2) (i) (a) (v) 可搬型トリチウム測定装置」に示す。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-28は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-28と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-29は「チ. (2) (i) (a) (v) 可搬型核種分析装置」に示す。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-30は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i)-30を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (i)-31</u> 試料分析関係設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、分析建屋及び環境管理建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p><u>チ. (2) (i)-32</u> 代替試料分析関係設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p>		<p>6.3 試料分析関係設備  <u>チ. (2) (i)-31</u> 放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)並びに環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は内部発生飛散物の影響を考慮し、分析建屋及び環境管理建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.4 代替試料分析関係設備  <u>チ. (2) (i)-32</u> 可搬型試料分析設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (i)-31</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (i)-31</u>具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (i)-32</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (i)-32</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (i)-33 試料分析関係設備及びチ. (2) (i)-34 代替試料分析関係設備は、チ. (2) (i)-35 再処理施設の運転中又は停止中に校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>		<p>6.3 試料分析関係設備  チ. (2) (i)-33 放出管理分析設備の放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)、放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)及び核種分析装置(ガンマ線用)並びに環境試料測定設備の核種分析装置(ガンマ線用)は、チ. (2) (i)-35 通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。  また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</p> <p>6.4 代替試料分析関係設備  チ. (2) (i)-34 可搬型試料分析設備は、チ. (2) (i)-35 通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (i)-33 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-33 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-34 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-34 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (i)-35 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i)-35 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																							
(a) 主要な設備 (イ) <u>試料分析関係設備</u> [常設重大事故等対処設備] <u>放出管理分析設備</u> (設計基準対象の施設と兼用) <u>放射能測定装置</u> (ガスフローカウンタ) <u>1 台</u>	1.3 <u>試料分析関係設備</u> 1.3.1 <u>放出管理分析設備</u> (1) <u>計装/放管設備</u>	【放射線管理施設】 (仕様表)																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前*1</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2"><u>放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)</u></td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2"><u>ガスフローカウンタ</u></td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td colspan="2">B. G. ～99.9k</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2"><u>1台</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. ■■■ m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—*3</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—*3</td> </tr> </tbody> </table>							変更前*1	変更後	名称		<u>放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)</u>		検出器の種類	—	<u>ガスフローカウンタ</u>		計測範囲	min <sup>-1</sup>	B. G. ～99.9k		個数	—	<u>1台</u>		取付箇所	系統名(ライン名)	—		設置床	—	T. M. S. L. ■■■ m	溢水防護上の区画番号	—*2		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*2		化学薬品防護上の区画番号	—*3		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*3	
		変更前*1	変更後																																								
名称		<u>放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)</u>																																									
検出器の種類	—	<u>ガスフローカウンタ</u>																																									
計測範囲	min <sup>-1</sup>	B. G. ～99.9k																																									
個数	—	<u>1台</u>																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	—																																									
	設置床	—	T. M. S. L. ■■■ m																																								
	溢水防護上の区画番号	—*2																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*2																																									
	化学薬品防護上の区画番号	—*3																																									
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*3																																									
注記 *1: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。																																											

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付資料六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																							
放射能測定装置 (チ. (2) (i) (a) (イ)-1)液体シンチレーションカウンタ) 1 台		【放射線管理施設】 (仕様表)	設工認のチ. (2) (i) (a) (イ)-1は, 事業変更許可申請書 (本文) のチ. (2) (i) (a) (イ)-1と同義であり整合している。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前*1</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>-</td> <td>光電子増倍管</td> <td>チ. (2) (i) (a) (イ)-1 変更なし</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>keV</td> <td>0~2000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p>							変更前*1	変更後	名称		放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)		検出器の種類	-	光電子増倍管	チ. (2) (i) (a) (イ)-1 変更なし	計測範囲	keV	0~2000		個数	-	1台		取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	設置床	-	変更なし	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-
		変更前*1	変更後																																								
名称		放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)																																									
検出器の種類	-	光電子増倍管	チ. (2) (i) (a) (イ)-1 変更なし																																								
計測範囲	keV	0~2000																																									
個数	-	1台																																									
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-																																								
	設置床	-	変更なし																																								
	溢水防護上の区画番号	-	-																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																								
	化学薬品防護上の区画番号	-	-																																								
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																							
<p>核種分析装置 1 台</p>		<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1115 401 2644 951"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1115 401 1519 449"></th> <th data-bbox="1519 401 2139 449">変更前*1</th> <th data-bbox="2139 401 2644 449">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1115 449 1519 485">名称</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 449 2644 485">核種分析装置(ガンマ線用)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 485 1442 541">検出器の種類</td> <td data-bbox="1442 485 1519 541">-</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 485 2644 541">Ge半導体検出器</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 541 1442 590">計測範囲</td> <td data-bbox="1442 541 1519 590">keV</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 541 2644 590">10~2500</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 590 1442 638">個数</td> <td data-bbox="1442 590 1519 638">-</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 590 2644 638">1台</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 638 1190 951" rowspan="6">取付箇所</td> <td data-bbox="1190 638 1442 686">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 638 2644 686">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1190 686 1442 722">設置床</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 686 2644 722">[黒] T. M. S. L. [黒]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1190 722 1442 779">溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 722 2644 779">-*2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1190 779 1442 835">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 779 2644 835">-*2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1190 835 1442 892">化学薬品防護上の区画番号</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 835 2644 892">-*3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1190 892 1442 951">化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2" data-bbox="1519 892 2644 951">-*3</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1115 951 2190 982">注記 *1：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p data-bbox="1115 982 1911 1014">*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p> <p data-bbox="1115 1014 1961 1045">*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p>			変更前*1	変更後	名称		核種分析装置(ガンマ線用)		検出器の種類	-	Ge半導体検出器		計測範囲	keV	10~2500		個数	-	1台		取付箇所	系統名(ライン名)	-		設置床	[黒] T. M. S. L. [黒]		溢水防護上の区画番号	-*2		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-*2		化学薬品防護上の区画番号	-*3		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-*3			
		変更前*1	変更後																																								
名称		核種分析装置(ガンマ線用)																																									
検出器の種類	-	Ge半導体検出器																																									
計測範囲	keV	10~2500																																									
個数	-	1台																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	-																																									
	設置床	[黒] T. M. S. L. [黒]																																									
	溢水防護上の区画番号	-*2																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-*2																																									
	化学薬品防護上の区画番号	-*3																																									
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-*3																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																							
<p>環境試料測定設備            (MOX燃料加工施設と共用) (設計基準            対象の施設と兼用)            核種分析装置 1 台</p>		<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <p>1.3 試料分析関係設備            1.3.2 環境試料測定設備            (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1418 464 2656 949"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1418 464 1804 506"></th> <th data-bbox="1804 464 2231 506">変更前*1</th> <th data-bbox="2231 464 2656 506">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1418 506 1804 548">名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1804 506 2656 548">核種分析装置(ガンマ線用)</th> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1418 548 1804 590">検出器の種類</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 548 2656 590">Ge半導体検出器</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1418 590 1804 632">計測範囲</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 590 2656 632">30~10000</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1418 632 1804 674">個数</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 632 2656 674">1</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1418 674 1484 949" rowspan="6">取付箇所</th> <th data-bbox="1484 674 1804 716">系統名 (ライン名)</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 674 2656 716">-</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1484 716 1804 758">設置床</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 716 2656 758">X1-W0205 T.M.S.L. 54.20m</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1484 758 1804 800">溢水防護上の 区画番号</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 758 2656 800">-*2</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1484 800 1804 842">溢水防護上の配慮 が必要な高さ</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 800 2656 842">-*2</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1484 842 1804 884">化学薬品防護上の区画 番号</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 842 2656 884">-*3</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1484 884 1804 949">化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ</th> <td colspan="2" data-bbox="1804 884 2656 949">-*3</td> </tr> </thead></table> <p>注記 *1: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。            *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。            *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。            *4: 核種分析装置(ガンマ線用)は、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>			変更前*1	変更後	名称		核種分析装置(ガンマ線用)		検出器の種類		Ge半導体検出器		計測範囲		30~10000		個数		1		取付箇所	系統名 (ライン名)	-		設置床	X1-W0205 T.M.S.L. 54.20m		溢水防護上の 区画番号	-*2		溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-*2		化学薬品防護上の区画 番号	-*3		化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	-*3			
		変更前*1	変更後																																								
名称		核種分析装置(ガンマ線用)																																									
検出器の種類		Ge半導体検出器																																									
計測範囲		30~10000																																									
個数		1																																									
取付箇所	系統名 (ライン名)	-																																									
	設置床	X1-W0205 T.M.S.L. 54.20m																																									
	溢水防護上の 区画番号	-*2																																									
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-*2																																									
	化学薬品防護上の区画 番号	-*3																																									
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	-*3																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>(ロ) 代替試料分析関係設備            [可搬型重大事故等対処設備]            可搬型試料分析設備            可搬型放射能測定装置(MOX燃料加工施設と共用)            千. (2) (i) (a) (ロ)-1 2 台 (予備として故障時のバックアップを1台)</p>		<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <p>1.4 代替試料分析関係設備            1.4.1 可搬型試料分析設備            (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1279 745 2602 1507"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">可搬型放射能測定装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>ZnS(Ag)シンチレーション式検出器</td> <td>プラスチックシンチレーション式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>—</td> <td colspan="2">B. G. ~99.9k</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">1(予備として故障時のバックアップを1台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>           保管場所：            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台)            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台)            取付箇所：—         </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後		名称		—	可搬型放射能測定装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器	計測範囲	min <sup>-1</sup>	—	B. G. ~99.9k		個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)		取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 取付箇所：—	<p>設工認の千. (2) (i) (a) (ロ)-1は, 事業変更許可申請書(本文)の千. (2) (i) (a) (ロ)-1と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		—	可搬型放射能測定装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1																															
検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器																														
計測範囲	min <sup>-1</sup>	—	B. G. ~99.9k																															
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)																															
取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 取付箇所：—																														
<p>注記 *1: 可搬型放射能測定装置は, 再処理施設にて設備登録を行っている。</p>																																		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>可搬型核種分析装置 (MOX燃料加工施設と共用) チ. (2) (i) (a) (㊦)-2 4 台 (予備として故障時のバックアップを2台)</p>		<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1282 609 2487 1371"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">可搬型核種分析装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">Ge半導体式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>keV</td> <td>—</td> <td colspan="2">27.5~11000</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">2(予備として故障時のバックアップを2台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>                     保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (1台)                      〔 取付箇所：— 〕                 </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後		名称		—	可搬型核種分析装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		検出器の種類	—	—	Ge半導体式検出器		計測範囲	keV	—	27.5~11000		個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを2台)		取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (1台) 〔 取付箇所：— 〕	<p>設工認のチ. (2) (i) (a) (㊦)-2は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (i) (a) (㊦)-2と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		—	可搬型核種分析装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1																															
検出器の種類	—	—	Ge半導体式検出器																															
計測範囲	keV	—	27.5~11000																															
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを2台)																															
取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (1台) 〔 取付箇所：— 〕																														
<p>注記 *1: 可搬型核種分析装置は, 再処理施設にて設備登録を行っている。</p>																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項		整合性	備考																								
<p>可搬型トリチウム測定装置  <u>チ. (2) (i) (a) (㍑)-3 2 台 (予備として故障時のバックアップを1台)</u></p>		<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p>		<p>設工認のチ. (2) (i) (a) (㍑)-3は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (i) (a) (㍑)-3と同義であり整合している。</p>																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>可搬型トリチウム測定装置</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>光電子増倍管</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>keV</td> <td>—</td> <td>2～2000</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1(予備として故障時のバックアップを1台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td> <p>チ. (2) (i) (a) (㍑)-3</p> <p>保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55. 30m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (1台)</p> <p>〔 取付箇所：— 〕</p> </td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称		—	可搬型トリチウム測定装置	検出器の種類	—	—	光電子増倍管	計測範囲	keV	—	2～2000	個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)	取付箇所	設置床	—	<p>チ. (2) (i) (a) (㍑)-3</p> <p>保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55. 30m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (1台)</p> <p>〔 取付箇所：— 〕</p>
		変更前	変更後																										
名称		—	可搬型トリチウム測定装置																										
検出器の種類	—	—	光電子増倍管																										
計測範囲	keV	—	2～2000																										
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)																										
取付箇所	設置床	—	<p>チ. (2) (i) (a) (㍑)-3</p> <p>保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55. 30m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (1台)</p> <p>〔 取付箇所：— 〕</p>																										

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ii) 放射線監視設備</p> <p>再処理施設チ.(2)(ii)-1外へ放出する放射性物質の濃度並びに周辺監視区域境界付近の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を監視するための屋外モニタリング設備チ.(2)(ii)-2として、排気モニタリング設備、排水モニタリング設備及び環境モニタリング設備チ.(2)(ii)-3を設ける。</p>	<p>(2) 屋外モニタリング設備</p> <p>再処理施設外へ放出する放射性物質の放射能レベル及び再処理施設周辺の放射線レベルを監視するため屋外モニタリング設備を設ける。</p> <p>屋外モニタリング設備は、排気モニタリング設備、排水モニタリング設備及び環境モニタリング設備で構成する。</p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>6. 放射線管理施設</p> <p>6.1 放射線監視設備</p> <p>6.1.2 屋外モニタリング設備</p> <p>屋外モニタリング設備チ.(2)(ii)-2は、排気モニタリング設備、排水モニタリング設備及び環境モニタリング設備で構成する。</p> <p>6.1.2.1 排気モニタリング設備</p> <p>再処理施設チ.(2)(ii)-1から放出される放射性物質の濃度を監視するための排気モニタリング設備チ.(2)(ii)-3として、主排気筒ガスモニタ、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ、排気サンプリング設備及び冷却空気出口シャフトモニタを設置する設計とする。</p> <p>6.1.2.2 排水モニタリング設備</p> <p>再処理施設チ.(2)(ii)-1から放出される放射性物質の濃度を監視するための排水モニタリング設備チ.(2)(ii)-3として、排水サンプリング設備を設置し、放出の異常を確認するための排水モニタを設置する設計とする。</p> <p>排水サンプリング設備は、排水をサンプリングする設計とする。</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備</p> <p>周辺監視区域境界付近の空間放射線量、空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を監視するための環境モニタリング設備チ.(2)(ii)-3として、モニタリングポスト、ダストモニタ及び積算線量計を設置する設計とする。</p>	<p>設工認のチ.(2)(ii)-2は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-2と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(ii)-1は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(ii)-3は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-3を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>6.1.2.1 排気モニタリング設備</p> <p>主排気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備(主排気筒)は,主排気筒管理建屋に収納する。</p> <p>主排気筒管理建屋は,地上1階の建物とする設計とする。</p> <p>主排気筒ガスモニタ及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタの測定値は,中央制御室において指示及び記録するとともに,放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に,中央制御室において警報を発する設計とする。</p> <p>主排気筒ガスモニタ及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタの測定値は,緊急時対策所においても指示する設計とする。</p> <p>また,使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室においても使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタの測定値を指示及び記録するとともに,放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に,使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室においても警報を発する設計とする。</p> <p>排気サンプリング設備は,主排気筒,使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒,使用済燃料輸送容器管理建屋換気筒,ハル・エンドピース及び第1ガラス固化体貯蔵建屋換気筒並びに低レベル廃棄物処理建屋換気筒から放出される排気中の放射性物質を連続的に捕集する設計とする。</p> <p>冷却空気出口シャフトには,冷却空気出口シャフトモニタを設け,排気口から放出される放射性希ガスを監視する設計とする。</p> <p>冷却空気出口シャフトモニタの測定値は,中央制御室において指示及び記録するとと</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ.(2)(ii)-4排気モニタリング設備のうち、主排気筒の排気筒モニタ及び排気サンプリング設備は、主排気筒管理建屋に収納する。</p>		<p>もに、放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えた場合に、中央制御室において警報を発する設計とする。</p> <p>6.1.2.1 排気モニタリング設備</p> <p>チ.(2)(ii)-4主排気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備(主排気筒)は、主排気筒管理建屋に収納する。</p>	<p>設工認のチ.(2)(ii)-4は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-4と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																					
<p>主排気筒管理建屋<sup>チ. (2) (ii)-5</sup>の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上1階<sup>チ. (2) (ii)-6</sup>、建築面積約300m<sup>2</sup>の建物である。</p>	<p><sup>チ. (2) (ii)-6</sup></p>	<p>主排気筒管理建屋<sup>チ. (2) (ii)-5</sup>は、地上1階の建物とする設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1537 520 2145 863"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td>主排気筒管理建屋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*2</sup></td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて×横<sup>*3</sup></td> <td>m</td> <td>12.5<sup>*1</sup>×25.5<sup>*1</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>地上 4.4<sup>*1</sup> 地下 2.0<sup>*1</sup></td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>東壁</td> <td>0.2~0.5<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>0.2~0.5<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>0.2~0.4<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>0.2~0.4<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート<sup>*6</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基礎</td> <td>種類<sup>*2</sup></td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート造<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>たて×横</td> <td>m</td> <td>-<sup>*5</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>-<sup>*5</sup></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td>-</td> <td>T. M. S. L. 53.0m<sup>*1</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。  *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向、東西方向」と記載。  *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「主排気筒管理建屋は主排気筒の基礎上部に設置する。」と記載。  *5：主排気筒基礎上部の設置であるため、「-」とする。  *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6N/mm<sup>2</sup>」と記載。</p>			変更前	変更後	名称	-	主排気筒管理建屋		種類 <sup>*2</sup>	-	鉄筋コンクリート造		たて×横 <sup>*3</sup>	m	12.5 <sup>*1</sup> ×25.5 <sup>*1</sup>		主要寸法	高さ	地上 4.4 <sup>*1</sup> 地下 2.0 <sup>*1</sup>	変更なし	東壁	0.2~0.5 <sup>*1</sup>	西壁	0.2~0.5 <sup>*1</sup>	南壁	0.2~0.4 <sup>*1</sup>	北壁	0.2~0.4 <sup>*1</sup>	主要材料	-	鉄筋コンクリート <sup>*6</sup>		個数	-	1		基礎	種類 <sup>*2</sup>	-	鉄筋コンクリート造 <sup>*4</sup>	たて×横	m	- <sup>*5</sup>	高さ	m	- <sup>*5</sup>	主要材料	-	鉄筋コンクリート	底面の標高	-	T. M. S. L. 53.0m <sup>*1</sup>	変更なし	<p>設工認の<sup>チ. (2) (ii)-5</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii)-5</sup>と同義であり整合している。</p> <p>12.5m×25.5m=318.75m<sup>2</sup>は約300m<sup>2</sup>であることから、設工認の<sup>チ. (2) (ii)-6</sup>は事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii)-6</sup>と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																						
名称	-	主排気筒管理建屋																																																							
種類 <sup>*2</sup>	-	鉄筋コンクリート造																																																							
たて×横 <sup>*3</sup>	m	12.5 <sup>*1</sup> ×25.5 <sup>*1</sup>																																																							
主要寸法	高さ	地上 4.4 <sup>*1</sup> 地下 2.0 <sup>*1</sup>	変更なし																																																						
	東壁	0.2~0.5 <sup>*1</sup>																																																							
	西壁	0.2~0.5 <sup>*1</sup>																																																							
	南壁	0.2~0.4 <sup>*1</sup>																																																							
	北壁	0.2~0.4 <sup>*1</sup>																																																							
主要材料	-	鉄筋コンクリート <sup>*6</sup>																																																							
個数	-	1																																																							
基礎	種類 <sup>*2</sup>	-	鉄筋コンクリート造 <sup>*4</sup>																																																						
	たて×横	m	- <sup>*5</sup>																																																						
	高さ	m	- <sup>*5</sup>																																																						
	主要材料	-	鉄筋コンクリート																																																						
底面の標高	-	T. M. S. L. 53.0m <sup>*1</sup>	変更なし																																																						

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>主排気筒管理建屋機器配置概要図を第183図に示す。</p> <p>環境モニタリング設備は、モニタリングポスト、ダストモニタ及び積算線量計チ.(2)(ii)-7で構成し、周辺監視区域境界付近に設ける。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、チ.(2)(ii)-8再処理施設及びMOX燃料加工施設の周辺監視区域境界付近の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定を行うための設備であり、周辺監視区域が同一の区域であることから、MOX燃料加工施設と共用チ.(2)(ii)-9し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>モニタリングポスト及びダストモニタは、MOX燃料加工施設と共用する。また、積算線量計は、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用する。</p>	<p>6.1.2.3 環境モニタリング設備</p> <p>周辺監視区域境界付近の空間放射線量、空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を監視するための環境モニタリング設備として、モニタリングポスト、ダストモニタ及び積算線量計チ.(2)(ii)-7を設置する設計とする。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、チ.(2)(ii)-8MOX燃料加工施設と共用チ.(2)(ii)-9するが、仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域が同一の区域であることにより、監視結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「主排気筒管理建屋機器配置概要図」は、本設工認の対象外である。</p> <p>設工認のチ.(2)(ii)-7は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-7と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(ii)-8は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-8と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(ii)-9は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-9と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>また、積算線量計は、<u>チ. (2) (ii)-10</u>再処理施設、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設の周辺監視区域付近の空間放射線量測定のための設備であり、周辺監視区域が同一の区域であることからMOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用<u>チ. (2) (ii)-11</u>し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>共用するモニタリングポスト、ダストモニタ及び積算線量計は、仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域が同一の区域であることにより、監視結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>また、積算線量計は、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>また、積算線量計は、<u>チ. (2) (ii)-10</u>MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用<u>チ. (2) (ii)-11</u>するが、仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域が同一の区域であることにより監視結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-10</u>は事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-10</u>と同義であり、整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-11</u>は事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-11</u>と同義であり、整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時において、再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度<sup>チ. (2) (ii) -12</sup>並びに周辺監視区域における放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録するため、<sup>チ. (2) (ii) -13</sup>放射線監視設備を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p>		<p>6.1.2.1 排気モニタリング設備  <u>重大事故等時において、<sup>チ. (2) (ii) -13</sup>排気モニタリング設備のうち主排気筒ガスモニタ、排気サンプリング設備(主排気筒)、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)、北換気筒(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)並びに使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトを常設重大事故等対処設備として位置付け、再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度<sup>チ. (2) (ii) -12</sup>を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計とする。</u></p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備  <u>重大事故等時において、<sup>チ. (2) (ii) -13</sup>環境モニタリング設備のうちモニタリングポスト及びダストモニタを常設重大事故等対処設備として位置付け<sup>チ. (2) (ii) -12</sup>、周辺監視区域における線量及び放射性物質の濃度を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計とする。</u></p>	<p>設工認の<sup>チ. (2) (ii) -12</sup>は事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii) -12</sup>と同義であり、整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (ii) -13</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii) -13</sup>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-14放射線監視設備は、主排気筒の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）チ. (2) (ii)-15、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクト及び環境モニタリング設備で構成する。</p> <p>重大事故等時において、放射性気体廃棄物の廃棄施設からの放出が想定される主排気筒及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）をモニタリング対象とする。</p>	<p>排気モニタリング設備は、放射性気体廃棄物の廃棄施設からの放出が想定される主排気筒及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）をモニタリング対象とする設計とする。</p>	<p>6.1.2.1 排気モニタリング設備 重大事故等時において、チ. (2) (ii)-14排気モニタリング設備のうち主排気筒ガスモニタ、排気サンプリング設備（主排気筒）、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）チ. (2) (ii)-15並びに使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトを常設重大事故等対処設備として位置付け、再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計とする。</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備 重大事故等時において、環境モニタリング設備のうちモニタリングポスト及びダストモニタを常設重大事故等対処設備として位置付け、周辺監視区域における線量及び放射性物質の濃度を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計とする。</p> <p>6.1.2.1 排気モニタリング設備 排気モニタリング設備は、重大事故等時において、放射性気体廃棄物の廃棄施設からの放出が想定される主排気筒及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）をモニタリング対象とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-14は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-14を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-15は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-15と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時において、再処理施設及びMOX燃料加工施設の周辺監視区域境界付近の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度をモニタリング対象とする。</p> <p>重大事故等時において、<u>チ. (2) (ii)-16</u>放射線監視設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する<u>チ. (2) (ii)-17</u>代替モニタリング設備を可搬型重大事故等対処設備として<u>チ. (2) (ii)-18</u>配備する。</p>		<p>6.1.2.3 環境モニタリング設備 環境モニタリング設備は、<u>重大事故等時において、再処理施設及びMOX燃料加工施設の周辺監視区域境界付近の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度をモニタリング対象とする。</u></p> <p>環境モニタリング設備は、非常用所内電源系統に加えて、環境モニタリング用代替電源設備である環境モニタリング用可搬型発電機からの給電を可能とする設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 重大事故等時において、<u>チ. (2) (ii)-16</u>排気モニタリング設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する<u>チ. (2) (ii)-17</u>代替排気モニタリング設備を可搬型重大事故等対処設備として<u>チ. (2) (ii)-18</u>設ける設計とする。</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備 重大事故等時において、<u>チ. (2) (ii)-16</u>環境モニタリング設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する<u>チ. (2) (ii)-17</u>代替環境モニタリング設備を可搬型重大事故等対処設備として<u>チ. (2) (ii)-18</u>設ける設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-16</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-16</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-17</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-17</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-18</u>は事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-18</u>と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>設計基準対象の施設と兼用する電気設備の一部である受電開閉設備等を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリを可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>代替電源設備の一部である使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>チ. (2) (ii) -19北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備の代替設備である可搬型排気モニタリング設備は、チ. (2) (ii) -20「リ. (1) (i) 電気設備」の一部である、代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機により電力を受電する設計とする。</p>		<p>チ. (2) (ii) -19使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の代替設備である可搬型排気モニタリング設備は、チ. (2) (ii) -20電気設備の一部である、代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機により電力を受電する設計とする。</p>	<p>変更許可申請書（本文）「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ. (4) (vii) 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ. (4) (vii) 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>変更許可申請書（本文）「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii) -19は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii) -19を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii) -20は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii) -20と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>放射線監視設備の常設重大事故等対処設備に給電するための、受電開閉設備、所内高圧系統、所内低圧系統及び計測制御用交流電源設備については、「リ.（1）（i）電気設備」に、代替モニタリング設備の可搬型重大事故等対処設備に給電するための代替電源設備については「リ.（1）（i）電気設備」に、可搬型排気モニタリング用発電機等へ給油するための補機駆動用燃料補給設備については、「リ.（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p>			<p>変更許可申請書（本文）「リ.（1）（i）電気設備」及び「リ.（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-21 代替モニタリング設備は、可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、可搬型建屋周辺モニタリング設備チ. (2) (ii)-22 及び監視測定用運搬車で構成する。</p> <p>チ. (2) (ii)-23 代替モニタリング設備は、常設モニタリング設備（モニタリングポスト等）が機能喪失しても代替し得る十分な台数を配備する設計とする。</p>		<p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-21 代替排気モニタリング設備は、可搬型排気モニタリング設備の可搬型ガスモニタ及び可搬型排気サンプリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部チ. (2) (ii)-22 並びに監視測定用運搬車で構成する。</p> <p>可搬型排気モニタリング設備は、主排気筒又は北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）から大気中へ放出される放射性物質を連続的に捕集するとともに、放射性希ガスの濃度を連続測定する設計とする。</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-21 代替環境モニタリング設備は、可搬型環境モニタリング設備の可搬型線量率計及び可搬型ダストモニタ、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型建屋周辺モニタリング設備のガンマ線用サーベイメータ (SA)、中性子線用サーベイメータ (SA)、アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) 及び可搬型ダストサンプラ (SA)、可搬型環境モニタリング用発電機チ. (2) (ii)-22 並びに監視測定用運搬車で構成する。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-21 は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-21 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-22 は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-22 と同義であり、整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-23 は変更許可申請書（本文）の「チ. (2) (i) (a) (㊦) 代替モニタリング設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-24 重大事故等時において、環境モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機及び監視測定用運搬車は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>環境モニタリング設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機及び監視測定用運搬車は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>6.1 放射線監視設備</p> <p>6.1.2 屋外モニタリング設備</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-24 環境モニタリング設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-24 可搬型排気モニタリング用発電機及び監視測定用運搬車は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-24 可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-24は事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-24と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-25 重大事故等時において、共用する環境モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機及び監視測定用運搬車は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機及び監視測定用運搬車は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>6.1 放射線監視設備</p> <p>6.1.2 屋外モニタリング設備</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (ii)-25 共用する環境モニタリング設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (ii)-25 共用する可搬型排気モニタリング用発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (ii)-25 共用する監視測定用運搬車は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (ii)-25 共用する可搬型環境モニタリング設備及び可搬型環境モニタリング用発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-25 は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-25 と同義であり、整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>6.2.2 代替排気モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設とチ.(2)(ii)-25共用する可搬型環境モニタリング用データ伝送装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-26放射線監視設備のうち、<u>内的事象を要因として発生した場合に対処に用いるチ. (2) (ii)-27北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクト、代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部及び環境モニタリング設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物に対して代替設備による機能の確保、修理の対応チ. (2) (ii)-28等により重大事故等チ. (2) (ii)-29に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>8.2.2 設計方針</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p><u>放射線監視設備のうち、内的事象を要因として発生した場合に対処に用いる北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクト、代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部、環境モニタリング設備、試料分析関係設備及び環境管理設備の気象観測設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。</u></p> <p>また、<u>放射線監視設備の環境モニタリング設備は、森林火災発生時に消防車による事前散水による延焼防止を図るとともに代替設備により機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>6.1 放射線監視設備</p> <p>6.1.2 屋外モニタリング設備</p> <p>6.1.2.1 排気モニタリング設備</p> <p><u>チ. (2) (ii)-26内的事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いるチ. (2) (ii)-27使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ、排気サンプリング設備（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトは、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保又は修理の対応チ. (2) (ii)-28の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等チ. (2) (ii)-29への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備</p> <p><u>チ. (2) (ii)-26内的事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる環境モニタリング設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保又は修理の対応チ. (2) (ii)-28の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等チ. (2) (ii)-29への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-26は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-26と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-27は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-27を具体的に記載しており整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-28は、具体的な設計内容として保安規定に定めて管理することを記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-29は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-29と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-30 代替モニタリング設備のうち、主排気筒をモニタリング対象とする可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置及び可搬型排気モニタリング用発電機は、チ. (2) (ii)-31 放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量をチ. (2) (ii)-32 放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、主排気筒管理建屋及び制御建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>代替モニタリング設備のうち、主排気筒をモニタリング対象とする可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置及び可搬型排気モニタリング用発電機は、放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、主排気筒管理建屋内及び制御建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>6.2 代替モニタリング設備          6.2.1 代替排気モニタリング設備          チ. (2) (ii)-26 内的事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる代替排気モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保又は修理の対応チ. (2) (ii)-28 の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等チ. (2) (ii)-29 への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>チ. (2) (ii)-30 主排気筒をモニタリング対象とする可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置及び可搬型排気モニタリング用発電機は、共通要因によってチ. (2) (ii)-31 主排気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（主排気筒）と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量をチ. (2) (ii)-32 主排気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（主排気筒）が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、主排気筒管理建屋及び制御建屋にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-30 は事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-30 と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-31 及びチ. (2) (ii)-32 は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-31 及びチ. (2) (ii)-32 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>主排気筒管理建屋及び制御建屋内に保管する場合はチ. (2) (ii)-33放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>チ. (2) (ii)-34代替モニタリング設備のうち、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）をモニタリング対象とする可搬型排気モニタリング設備及び可搬型排気モニタリング用データ伝送装置は、チ. (2) (ii)-35放射線監視設備の北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量をチ. (2) (ii)-36放射線監視設備の北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</u></p>	<p><u>主排気筒管理建屋内及び制御建屋内に保管する場合は放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>代替モニタリング設備のうち、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）をモニタリング対象とする可搬型排気モニタリング設備及び可搬型排気モニタリング用データ伝送装置は、放射線監視設備の北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</u></p>	<p><u>主排気筒管理建屋及び制御建屋に保管する場合はチ. (2) (ii)-33主排気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（主排気筒）が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>チ. (2) (ii)-34北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）をモニタリング対象とする可搬型排気モニタリング設備及び可搬型排気モニタリング用データ伝送装置は、共通要因によってチ. (2) (ii)-35使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量をチ. (2) (ii)-36使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-33は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-33を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-34は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-34と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-35及びチ. (2) (ii)-36は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-35及びチ. (2) (ii)-36を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ.(2)(ii)-37代替モニタリング設備のうち、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用発電機は、放射線監視設備の環境モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>チ.(2)(ii)-38代替モニタリング設備の可搬型建屋周辺モニタリング設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、制御建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>代替モニタリング設備のうち、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備又は環境管理設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備及び環境管理設備が設置される周辺監視区域境界付近、環境管理建屋近傍及び再処理施設の敷地内の露場から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>代替モニタリング設備の可搬型建屋周辺モニタリング設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、制御建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>6.2.2 代替環境モニタリング設備 チ.(2)(ii)-37可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用発電機は、共通要因によって環境モニタリング設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>6.2.2 代替モニタリング設備 チ.(2)(ii)-38可搬型建屋周辺モニタリング設備は、共通要因によって環境モニタリング設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、制御建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</p>	<p>設工認のチ.(2)(ii)-37は事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-37と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(ii)-38は事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)-38と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii) -39放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備の排気サンプリング設備及びチ. (2) (ii) -40代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトは、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>8.2.2 設計方針 (2) 悪影響防止 a. 常設重大事故等対処設備 放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備の排気サンプリング設備及び代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトは、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 チ. (2) (ii) -39排気モニタリング設備の排気サンプリング設備(主排気筒)は、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 チ. (2) (ii) -40使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトは、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii) -39は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii) -39と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii) -40は事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii) -40と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-41放射線監視設備のうち、主排気筒の排気モニタリング設備のチ. (2) (ii)-42排気筒モニタ、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）及び環境モニタリング設備は、安全機能を有する施設として使用する場合とチ. (2) (ii)-43同様に重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>放射線監視設備のうち、主排気筒の排気モニタリング設備の排気筒モニタ、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）、環境モニタリング設備、試料分析関係設備及び環境管理設備の気象観測設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同様に重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>6.1 放射線監視設備  6.1.2 屋外モニタリング設備  6.1.2.1 排気モニタリング設備  チ. (2) (ii)-41排気モニタリング設備のチ. (2) (ii)-42主排気筒ガスモニタ、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ、排気サンプリング設備（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）は、安全機能を有する施設として使用する場合とチ. (2) (ii)-43同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備  環境モニタリング設備は、安全機能を有する施設として使用する場合とチ. (2) (ii)-43同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-41は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-41と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-42は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-42を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-43は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-43と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-44主排気筒の排気モニタリング設備及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、主排気筒管理建屋及び北換気筒管理建屋にチ. (2) (ii)-45 2系列を有する設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング設備は、周辺監視区域境界付近において、放射性物質の濃度及び線量の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、チ. (2) (ii)-46 9台を有する設計とする。</p>	<p>8.2.2 設計方針</p> <p>(3) 個数及び容量</p> <p>a. 常設重大事故等対策設備</p> <p>(a) 放射線監視設備</p> <p>主排気筒の排気モニタリング設備及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、主排気筒管理建屋及び北換気筒管理建屋に2系列を有する設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング設備は、周辺監視区域境界付近において、放射性物質の濃度及び線量の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、9台を有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>6.1 放射線監視設備</p> <p>6.1.2 屋外モニタリング設備</p> <p>6.1.2.1 排気モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-44排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、主排気筒管理建屋及び北換気筒管理建屋にチ. (2) (ii)-45 十分な台数（排気サンプリング設備については2系列）を有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング設備は、周辺監視区域境界付近において、放射性物質の濃度及び線量の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、チ. (2) (ii)-46 十分な台数を有する設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-44は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-44と同義であり、整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-45は変更許可申請書（本文）の「チ. (2) (ii) (a) (i) 主排気筒の排気モニタリング設備（設計基準対象の施設と兼用）」、「チ. (2) (ii) (a) (i) 北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備（設計基準対象の施設と兼用）」に示す。</p> <p>変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-46は「チ. (2) (ii) (a) (i) 環境モニタリング設備（MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）」に示す。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>可搬型排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (ii) -47</u>必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する。</p> <p>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置は、可搬型排気モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型排気モニタリング用発電機は、可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、代替試料分析関係設備のうち、可搬型核種分析装置及び可搬型トリチウム測定装置に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (ii) -48</u>必要数として1台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対策設備 (a) 代替モニタリング設備</p> <p>可搬型排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する。</p> <p>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置は、可搬型排気モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型排気モニタリング用発電機は、可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、代替試料分析関係設備のうち、可搬型核種分析装置及び可搬型トリチウム測定装置に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</p>	<p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p>可搬型排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするともに、可搬型ガスモニタの保有数は、<u>チ. (2) (ii) -47</u>必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とし、可搬型排気サンプリング設備の保有数は、必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する設計とする。</p> <p>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置は、可搬型排気モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上を確保する設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型排気モニタリング用発電機は、可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型核種分析装置及び可搬型トリチウム測定装置に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (ii) -48</u>必要数並びに予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (ii) -47</u>は変更許可申請書（本文）の「チ. (2) (ii) (a) (v) 可搬型ガスモニタ」に示す。</p> <p>変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (ii) -48</u>は変更許可申請書（本文）の「チ. (2) (ii) (a) (v) 可搬型排気モニタリング用発電機」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング設備は、周辺監視区域において、放射性物質の濃度及び線量の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (ii)-49</u>必要数として9台、予備として故障時のバックアップを9台の合計18台以上を確保する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング用データ伝送装置は、可搬型環境モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時のバックアップを9台の合計18台以上を確保する。</u></p> <p><u>可搬型データ表示装置は、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型ガスモニタ及び可搬型環境モニタリング設備の測定値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></p>	<p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング設備は、周辺監視区域において、放射性物質の濃度及び線量の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時のバックアップを9台の合計18台以上を確保する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング用データ伝送装置は、可搬型環境モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時のバックアップを9台の合計18台以上を確保する。</u></p> <p><u>可搬型データ表示装置は、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型ガスモニタ及び可搬型環境モニタリング設備の測定値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></p>	<p>6.2.2 代替環境モニタリング設備 <u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング設備は、周辺監視区域において、放射性物質の濃度及び線量の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、<u>チ. (2) (ii)-49</u>必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</u></p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備 <u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング用データ伝送装置は、可搬型環境モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時のバックアップを9台の合計18台以上を確保する設計とする。</u></p> <p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 <u>可搬型データ表示装置は、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型気象観測用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型ガスモニタ、可搬型環境モニタリング設備及び可搬型気象観測設備の測定値又は観測値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</u></p>	<p>変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (ii)-49</u>は変更許可申請書（本文）の「チ. (2) (ii) (a) (v) 可搬型環境モニタリング設備（MOX燃料加工施設と共用）」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>また、電源喪失により保存した記録が失われ ないよう、電磁的に記録、保存するとともに、 必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境 モニタリング用発電機は、チ.(2)(ii)-50代替 モニタリング設備のうち、可搬型環境モニタリ ング設備及び可搬型環境モニタリング用デー タ伝送装置に給電できる容量を有する設計と するとともに、保有数は、チ.(2)(ii)-51必要 数として9台、予備として故障時及び点検保守 による待機除外時のバックアップを10台の合 計19台以上を確保する。</p>	<p>また、電源喪失により保存した記録が失われな いよう、電磁的に記録、保存するとともに、必要 な容量を保存できる設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モ ニタリング用発電機は、代替モニタリング設備の うち、可搬型環境モニタリング設備及び可搬型環 境モニタリング用データ伝送装置に給電できる 容量を有する設計とするとともに、保有数は、必 要数として9台、予備として故障時及び点検保守 による待機除外時のバックアップを10台の合計 19台以上を確保する。</p>	<p>また、電源喪失により保存した記録が失わ れないよう、電磁的に記録、保存するととも に、必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モ ニタリング用発電機は、チ.(2)(ii)-50可搬 型環境モニタリング設備及び可搬型環境モ ニタリング用データ伝送装置に給電できる 容量を有する設計とするとともに、保有数 は、チ.(2)(ii)-51必要数並びに予備として 故障時及び点検保守による待機除外時のバ ックアップを含め十分な台数を確保する設 計とする。</p>	<p>設工認のチ.(2)(ii)- 50は事業変更許可申 請書(本文)のチ.(2) (ii)-50と同義であ り、整合している。</p> <p>変更許可申請書（本 文）のチ.(2)(ii)-51 は変更許可申請書（本 文）の「チ.(2)(ii) (a)(v)可搬型環境モ ニタリング用発電機 （MOX燃料加工施 設と共用）」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>可搬型データ表示装置は、代替モニタリング設備及び代替気象観測設備で同時に要求される測定値又は観測値の表示機能を有する設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p><u>チ. (2) (ii)-52可搬型建屋周辺モニタリング設備のガンマ線用サーベイメータ(SA)は、建屋周辺において、線量当量率を測定するための計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、チ. (2) (ii)-53必要数として8台、予備として故障時のバックアップを8台の合計16台以上を確保する。</u></p>	<p><u>可搬型データ表示装置は、代替モニタリング設備及び代替気象観測設備で同時に要求される測定値又は観測値の表示機能を有する設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型建屋周辺モニタリング設備のガンマ線用サーベイメータ(SA)は、建屋周辺において、線量当量率を測定するための計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として8台、予備として故障時のバックアップを8台の合計16台以上を確保する。</u></p>	<p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p><u>可搬型データ表示装置は、代替モニタリング設備及び代替気象観測設備で同時に要求される測定値又は観測値の表示機能を有する設計とし、兼用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p>可搬型データ表示装置は代替排気モニタリング設備と兼用する設計とする。</p> <p>6.7 代替気象観測設備</p> <p>可搬型データ表示装置は代替排気モニタリング設備と兼用する設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p><u>チ. (2) (ii)-52ガンマ線用サーベイメータ(SA)は、建屋周辺において、線量当量率を測定するための計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、チ. (2) (ii)-53必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-52は事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-52と同義であり、整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-53は変更許可申請書（本文）の「チ. (2) (ii) (a) (v) 可搬型建屋周辺モニタリング設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii) -54 可搬型建屋周辺モニタリング設備の中性子線用サーベイメータ (SA) は、建屋周辺において、線量当量率を測定するための計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、チ. (2) (ii) -55 必要数として 2 台、予備として故障時のバックアップを 2 台の合計 4 台以上を確保する。</p>	<p>可搬型建屋周辺モニタリング設備の中性子線用サーベイメータ (SA) は、建屋周辺において、線量当量率を測定するための計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として 2 台、予備として故障時のバックアップを 2 台の合計 4 台以上を確保する。</p>	<p>チ. (2) (ii) -54 中性子線用サーベイメータ (SA) は、建屋周辺において、線量当量率を測定するための計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、チ. (2) (ii) -55 必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii) -54 は事業変更許可申請書 (本文) のチ. (2) (ii) -55 と同義であり、整合している。</p> <p>変更許可申請書 (本文) のチ. (2) (ii) -55 は変更許可申請書 (本文) の「チ. (2) (ii) (a) (v) 可搬型建屋周辺モニタリング設備」に示す。</p>	
<p>チ. (2) (ii) -56 可搬型建屋周辺モニタリング設備のアルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) 及び可搬型ダストサンプラ (SA) は、建屋周辺において、空気中の放射性物質の濃度を測定するためのサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として 3 台、予備として故障時のバックアップを 3 台の合計 6 台以上を確保する。</p>	<p>可搬型建屋周辺モニタリング設備のアルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) 及び可搬型ダストサンプラ (SA) は、建屋周辺において、空気中の放射性物質の濃度を測定するためのサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として 3 台、予備として故障時のバックアップを 3 台の合計 6 台以上を確保する。</p>	<p>チ. (2) (ii) -56 アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) 及び可搬型ダストサンプラ (SA) は、建屋周辺において、空気中の放射性物質の濃度を測定するためのサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) の保有数は、必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とし、可搬型ダストサンプラ (SA) の保有数は、必要数として 3 台、予備として故障時のバックアップを 3 台の合計 6 台以上を確保する設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii) -56 は事業変更許可申請書 (本文) のチ. (2) (ii) -56 と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>地震を要因<sup>チ. (2) (ii)-57</sup>として発生した場合に対処に用いる<sup>チ. (2) (ii)-58</sup>主排気筒の排気モニタリング設備の配管の一部は、<sup>チ. (2) (ii)-59</sup>「ロ. (7) (ii) (b) (ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで<sup>チ. (2) (ii)-60</sup>その機能を損なわない設計とする。</p>	<p>8.2.2 設計方針 (4) 環境条件等 a. 常設重大事故等対処設備 地震を要因として発生した場合に対処に用いる主排気筒の排気モニタリング設備の配管の一部は、「1.7.18. (5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p>	<p>6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 地震を要因<sup>チ. (2) (ii)-57</sup>とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる<sup>チ. (2) (ii)-58</sup>排気サンプリング設備(主排気筒)の配管の一部は、<sup>チ. (2) (ii)-59</sup>「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで<sup>チ. (2) (ii)-60</sup>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機及び監視測定用運搬車は、「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型建屋周辺モニタリング設備及び可搬型環境モニタリング用発電機は、「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等</p>	<p>設工認の<sup>チ. (2) (ii)-57</sup>は事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii)-57</sup>と同義であり、整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (ii)-58</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii)-58</sup>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (ii)-59</sup>は事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii)-59</sup>と同義であり、整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (ii)-60</sup>は事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (ii)-60</sup>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.4 代替試料分析関係設備 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる可搬型試料分析関係設備は、「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.6 代替放射能観測設備 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる可搬型放射能観測設備は、「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.7 代替気象観測設備 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる代替気象観測設備は、「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.8 代替環境モニタリング用電源設備 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる環境モニタリング用可搬型発電機は、「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (ii)-61放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備は, 外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋及び制御建屋に設置し, 風 (台風) 等により機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p><u>放射線監視設備の主排気筒の排気モニタリング設備は, 外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋及び制御建屋に設置し, 風 (台風) 等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>6.1 放射線監視設備          6.1.2 屋外モニタリング設備          6.1.2.1 排気モニタリング設備</p> <p><u>チ. (2) (ii)-61主排気筒ガスモニタ及び排気サンプリング設備 (主排気筒) は, 外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋及び制御建屋に設置し, 風 (台風) 等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-61は, 事業変更許可申請書 (本文) のチ. (2) (ii)-61を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-62代替モニタリング設備のうち、可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型建屋周辺モニタリング設備及び可搬型環境モニタリング用発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋、制御建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>代替モニタリング設備のうち、可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型建屋周辺モニタリング設備及び可搬型環境モニタリング用発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋、制御建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-62可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋、制御建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p>チ. (2) (ii)-62可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型建屋周辺モニタリング設備及び可搬型環境モニタリング用発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる制御建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-62は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-62と同義であり、整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (ii)-63</u>代替モニタリング設備のうち、<u>可搬型データ表示装置及び可搬型建屋周辺モニタリング設備は、</u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</p> <p><u>チ. (2) (ii)-64</u>放射線監視設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、北換気筒管理建屋、制御建屋及び周辺監視区域境界付近の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>代替モニタリング設備のうち、<u>可搬型データ表示装置及び可搬型建屋周辺モニタリング設備は、</u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</p> <p>8.2.2 設計方針 (4) 環境条件等 a. 常設重大事故等対処設備 <u>放射線監視設備、試料分析関係設備及び環境管理設備の気象観測設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、北換気筒管理建屋、制御建屋、周辺監視区域境界付近、分析建屋、環境管理建屋及び再処理施設の敷地内の露場の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 <u>チ. (2) (ii)-63</u>可搬型データ表示装置は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備 <u>チ. (2) (ii)-63</u>可搬型建屋周辺モニタリング設備は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 <u>チ. (2) (ii)-64</u>排気モニタリング設備は<u>内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、北換気筒管理建屋及び制御建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.1.2.3 環境モニタリング設備 <u>チ. (2) (ii)-64</u>環境モニタリング設備は<u>内部発生飛散物の影響を考慮し、制御建屋及び周辺監視区域境界付近の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-63</u>は事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-63</u>と同義であり、整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-64</u>は事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (ii)-64</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-65 代替モニタリング設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、制御建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備            代替モニタリング設備、代替試料分析関係設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、制御建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備            チ. (2) (ii)-65 可搬型排気モニタリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置及び可搬型排気モニタリング用発電機は、内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、制御建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備            チ. (2) (ii)-65 可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型建屋周辺モニタリング設備及び可搬型環境モニタリング用発電機は、内部発生飛散物の影響を考慮し、制御建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-65 は事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-65 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-66主排気筒の排気モニタリング設備, チ. (2) (ii)-67代替モニタリング設備の可搬型排気モニタリング設備及び代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は, コネクタに統一することにより, 速やかに, 容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p>	<p>(5) 操作性の確保 主排気筒の排気モニタリング設備, 代替モニタリング設備の可搬型排気モニタリング設備及び代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は, コネクタに統一することにより, 速やかに, 容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p>	<p>6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 チ. (2) (ii)-66排気サンプリング設備(主排気筒)は, コネクタに統一することにより, 速やかに, 容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 チ. (2) (ii)-67可搬型排気モニタリング設備及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は, コネクタに統一することにより, 速やかに, 容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-66は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-66を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-67は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-67と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-68主排気筒の排気モニタリング設備の排気サンプリング設備及びチ. (2) (ii)-69代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p>	<p>主排気筒の排気モニタリング設備の排気サンプリング設備及び代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p>	<p>6.1 放射線監視設備          6.1.2 屋外モニタリング設備          6.1.2.1 排気モニタリング設備          チ. (2) (ii)-68排気サンプリング設備（主排気筒）は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備          6.2.1 代替排気モニタリング設備          チ. (2) (ii)-69使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-68は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-68と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (ii)-69は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii)-69と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii)-70放射線監視設備, チ. (2) (ii)-71代替モニタリング設備のうち, 可搬型排気モニタリング設備, 可搬型環境モニタリング設備及び可搬型建屋周辺モニタリング設備は, チ. (2) (ii)-72再処理施設の運転中又は停止中に校正, 機能の確認, 性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>8.2.5 試験・検査 放射線監視設備, 試料分析関係設備, 代替モニタリング設備のうち, 可搬型排気モニタリング設備, 可搬型環境モニタリング設備, 可搬型建屋周辺モニタリング設備, 代替試料分析関係設備, 環境管理設備, 代替放射能観測設備, 代替気象観測設備のうち, 可搬型気象観測設備及び可搬型風向風速計は, 再処理施設の運転中又は停止中に校正, 機能の確認, 性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 チ. (2) (ii)-70排気モニタリング設備は, チ. (2) (ii)-72通常時において, 重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため, 校正, 機能の確認, 性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。  また, 当該機能を健全に維持するため, 保修等が可能な設計とする。  &lt;中略&gt;  6.1.2.3 環境モニタリング設備 チ. (2) (ii)-70環境モニタリング設備は, チ. (2) (ii)-72通常時において, 重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため, 校正, 機能の確認, 性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。  また, 当該機能を健全に維持するため, 保修等が可能な設計とする。  6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 チ. (2) (ii)-71可搬型排気モニタリング設備は, チ. (2) (ii)-72通常時において, 重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため, 校正, 機能の確認, 性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。  また, 当該機能を健全に維持するため, 保修等が可能な設計とする。  &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii)-70は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-70を具体的に記載しており整合している。  設工認のチ. (2) (ii)-71は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-71と同義であり整合している。  設工認のチ. (2) (ii)-72は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii)-72と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ.(2)(ii)-73また、放射線監視設備のうち、主排気筒の排気モニタリング設備及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備は、各々が独立して試験又は検査が可能な設計とする。</p>	<p>また、放射線監視設備のうち、主排気筒の排気モニタリング設備及び北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備は、各々が独立して試験又は検査が可能な設計とする。</p>	<p>6.2.2 代替環境モニタリング設備  <u>チ.(2)(ii)-71可搬型環境モニタリング設備及び可搬型建屋周辺モニタリング設備は、チ.(2)(ii)-72通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u>          また、当該機能を健全に維持するため、保修等が可能な設計とする。</p> <p>6.1 放射線監視設備          6.1.2 屋外モニタリング設備          6.1.2.1 排気モニタリング設備  <u>チ.(2)(ii)-73排気モニタリング設備は、各々が独立して試験又は検査が可能な設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ.(2)(ii)-73は、事業変更許可申請書（本文）のチ.(2)(ii)-73と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (ii)-74</u>代替モニタリング設備のうち、<u>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用発電機は、</u><u>チ. (2) (ii)-75</u>再処理施設の運転中又は停止中に機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p><u>代替モニタリング設備のうち、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、可搬型気象観測用データ伝送装置、可搬型気象観測用発電機及び環境モニタリング用代替電源設備は、再処理施設の運転中又は停止中に機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p>	<p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p><u>チ. (2) (ii)-74</u>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機は、<u>チ. (2) (ii)-75</u>通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、<u>機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、取替え等が可能な設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p><u>チ. (2) (ii)-74</u>可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型環境モニタリング用発電機は、<u>チ. (2) (ii)-75</u>通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、<u>機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、取替え等が可能な設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-74</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (ii)-74</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (ii)-75</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (ii)-75</u>と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																								
(a) 主要な設備 (イ) 放射線監視設備 [常設重大事故等対処設備] 主排気筒の排気モニタリング設備（設計基準対象の施設と兼用） 子. (2) (ii) (a) (イ)-1 排気筒モニタ 2 系列	第8-3表(1) 放射線監視施設の主要設備の仕様 (1) 放射線監視設備 [常設重大事故等対処設備] a. 主排気筒の排気モニタリング設備（設計基準対象の施設と兼用） (a) 排気筒モニタ 数量 2 系列 計測範囲 低レンジ $10 \sim 10^6 \text{ min}^{-1}$ 中レンジ $10 \sim 10^6 \text{ min}^{-1}$ 高レンジ $10^{-12} \sim 10^{-7} \text{ A}$	【放射線管理施設】（仕様表）	設工認の子. (2) (ii) (a) (イ)-1 は、事業変更許可申請書（本文）の子. (2) (ii) (a) (イ)-1 と同義であり整合している。																																																																									
ト. 放射線管理施設 1. 設計条件及び仕様 1.1 放射線監視設備 1.1.1 屋外モニタリング設備 1.1.1.1 排気モニタリング設備 (1) 計装/放管設備																																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">子. (2) (ii) (a) (イ)-1</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="3">主排気筒ガスモニタ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">検出器の種類</td> <td rowspan="2">-</td> <td colspan="2">プラスチックシンチレーション検出器</td> <td>電離箱</td> <td colspan="2" rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>低レンジ</td> <td>中レンジ</td> <td>高レンジ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測範囲</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>10~10<sup>6</sup></td> <td>10~10<sup>6</sup></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10<sup>-12</sup>~10<sup>-7</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">警報動作範囲</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>10~10<sup>6</sup></td> <td>10~10<sup>6</sup></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10<sup>-12</sup>~10<sup>-7</sup></td> </tr> <tr> <td>個数*1</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td colspan="3">主排気筒ガスモニタ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td colspan="3">AP-G0101 T.M.S.L. 55.30m AP-G0102 T.M.S.L. 55.30m (指示は中央制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="3">-</td> <td>AP-1-01</td> <td>AP-1-02</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮 が必要な高さ</td> <td colspan="3">-</td> <td colspan="2">T.M.S.L. 55.34m以上</td> </tr> </tbody> </table>							子. (2) (ii) (a) (イ)-1			変更前	変更後	名称		主排気筒ガスモニタ					検出器の種類	-	プラスチックシンチレーション検出器		電離箱	変更なし		低レンジ	中レンジ	高レンジ	計測範囲	min <sup>-1</sup>	10~10 <sup>6</sup>	10~10 <sup>6</sup>	-	A	-	-	10 <sup>-12</sup> ~10 <sup>-7</sup>	警報動作範囲	min <sup>-1</sup>	10~10 <sup>6</sup>	10~10 <sup>6</sup>	-	A	-	-	10 <sup>-12</sup> ~10 <sup>-7</sup>	個数*1	-	2	2	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	主排気筒ガスモニタ					設置床	AP-G0101 T.M.S.L. 55.30m AP-G0102 T.M.S.L. 55.30m (指示は中央制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室)					溢水防護上の 区画番号	-			AP-1-01	AP-1-02	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-			T.M.S.L. 55.34m以上	
		子. (2) (ii) (a) (イ)-1			変更前	変更後																																																																						
名称		主排気筒ガスモニタ																																																																										
検出器の種類	-	プラスチックシンチレーション検出器		電離箱	変更なし																																																																							
		低レンジ	中レンジ	高レンジ																																																																								
計測範囲	min <sup>-1</sup>	10~10 <sup>6</sup>	10~10 <sup>6</sup>	-																																																																								
	A	-	-	10 <sup>-12</sup> ~10 <sup>-7</sup>																																																																								
警報動作範囲	min <sup>-1</sup>	10~10 <sup>6</sup>	10~10 <sup>6</sup>	-																																																																								
	A	-	-	10 <sup>-12</sup> ~10 <sup>-7</sup>																																																																								
個数*1	-	2	2	2																																																																								
取付箇所	系統名 (ライン名)	主排気筒ガスモニタ																																																																										
	設置床	AP-G0101 T.M.S.L. 55.30m AP-G0102 T.M.S.L. 55.30m (指示は中央制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室)																																																																										
	溢水防護上の 区画番号	-			AP-1-01	AP-1-02																																																																						
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	-			T.M.S.L. 55.34m以上																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>-*2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-*2</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>							変更前	変更後	取付箇所	化学薬品防護上の 区画番号	-*2	-	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-*2	-																																																													
		変更前	変更後																																																																									
取付箇所	化学薬品防護上の 区画番号	-*2	-																																																																									
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-*2	-																																																																									
注記 *1：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「設置棟屋及び検出器個数」と記載。 *2：化学薬品防護機能を要求される設備であるが、化学薬品を保有していない棟屋に設置しているため「-」とする。																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p style="text-align: center;"><u>排気サンプリング設備 2 系列</u></p>	<p>(b) <u>排気サンプリング設備</u> 数 量 <u>2 系列</u></p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とともに、主排気筒管理建屋及び北換気筒管理建屋に十分な台数(<u>排気サンプリング設備</u>については<u>2系列</u>)を有する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																									
<p>北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備（設計基準対象の施設と兼用）</p> <p>チ. (2) (ii) (a) (i)-2 排気筒モニタ 2 系列</p>	<p>b. 北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備（設計基準対象の施設と兼用）</p> <p>(a) 排気筒モニタ 数量 2 系列 計測範囲 <math>10 \sim 10^6 \text{ min}^{-1}</math></p> <p>ト. 放射線管理施設 1. 設計及び仕様 1.1 放射線監視設備 1.1.1 屋外モニタリング設備 1.1.1.1 排気モニタリング設備 (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1101 932 2513 1549"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ</td> <td rowspan="5">チ. (2) (ii) (a) (i)-2  変更なし</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>プラスチックシンチレーション検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td><math>\text{min}^{-1}</math></td> <td><math>10 \sim 10^6</math></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td><math>\text{min}^{-1}</math></td> <td><math>10 \sim 10^6</math></td> </tr> <tr> <td>個数*1</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ</td> <td rowspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>AQ-G0101 T. M. S. L. 55. 30m (指示は中央制御室, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1101 1591 2513 1745"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—*3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—*3</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ	チ. (2) (ii) (a) (i)-2  変更なし	検出器の種類	—	プラスチックシンチレーション検出器	計測範囲	$\text{min}^{-1}$	$10 \sim 10^6$	警報動作範囲	$\text{min}^{-1}$	$10 \sim 10^6$	個数*1	—	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ	—	設置床	AQ-G0101 T. M. S. L. 55. 30m (指示は中央制御室, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)	溢水防護上の区画番号	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*2			変更前	変更後	取付箇所	化学薬品防護上の区画番号	—*3	—	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*3	—	<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii) (a) (i)-2は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii) (a) (i)-2と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																										
名称		使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ	チ. (2) (ii) (a) (i)-2  変更なし																																										
検出器の種類	—	プラスチックシンチレーション検出器																																											
計測範囲	$\text{min}^{-1}$	$10 \sim 10^6$																																											
警報動作範囲	$\text{min}^{-1}$	$10 \sim 10^6$																																											
個数*1	—	2																																											
取付箇所	系統名 (ライン名)	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒ガスモニタ	—																																										
	設置床	AQ-G0101 T. M. S. L. 55. 30m (指示は中央制御室, 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)																																											
	溢水防護上の区画番号	—*2																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—*2																																											
		変更前	変更後																																										
取付箇所	化学薬品防護上の区画番号	—*3	—																																										
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*3	—																																										
<p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「設置施設及び検出器個数」と記載。 *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p>																																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p style="text-align: center;"><u>排気サンプリング設備 2 系列</u></p>	<p>(b) <u>排気サンプリング設備</u> <u>数量 2 系列</u></p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.1 放射線監視設備 6.1.2 屋外モニタリング設備 6.1.2.1 排気モニタリング設備 排気モニタリング設備は, 再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視, 測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに, 主排気筒管理建屋及び北換気筒管理建屋に十分な台数 (<u>排気サンプリング設備</u>については<u>2系列</u>) を有する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
<p>北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）（設計基準対象の施設と兼用） 1 基</p>	<p>c. 北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）（設計基準対象の施設と兼用） 数量 1 基</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1537 447 2312 1434"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td>北換気筒*1*2 (使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>六角鉄塔支持形</td> <td>六角鉄塔支持形 (制振装置付き[減衰係数:1.0C*3])</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>筒身</td> <td></td> <td rowspan="10">変更なし</td> </tr> <tr> <td>出口内径*4</td> <td>m</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>地上高さ*4</td> <td>m</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>厚さ*4</td> <td>mm</td> <td>上部9及び下部11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>筒身</td> <td>-</td> <td>SMA400BP</td> </tr> <tr> <td>支持鉄塔</td> <td>-</td> <td>STK400</td> </tr> <tr> <td>個数*4</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">基礎</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート*5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td>-</td> <td>35.00×30.31</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>-</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>主要材料*6</td> <td>-</td> <td>鉄筋： JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート： JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td>-</td> <td>T. M. S. L. 47.50m</td> </tr> <tr> <td>個数*4</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：北換気筒(使用済燃料輸送容器管理建屋換気筒)を支持する支持鉄塔は、廃棄物管理施設と共用する。 *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「北換気筒」と記載。 *3：オイルダンパの減衰係数を示す。 *4：公称値を示す。 *5：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *6：SI 単位に換算したもの。</p>			変更前	変更後	名称	-	北換気筒*1*2 (使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)	変更なし	種類	-	六角鉄塔支持形	六角鉄塔支持形 (制振装置付き[減衰係数:1.0C*3])	主要寸法	筒身		変更なし	出口内径*4	m	2.2	地上高さ*4	m	75	厚さ*4	mm	上部9及び下部11	主要材料	筒身	-	SMA400BP	支持鉄塔	-	STK400	個数*4	-	1	基礎	種類	-	鉄筋コンクリート*5	主要寸法	たて×横	-	35.00×30.31	高さ	-	8	主要材料*6	-	鉄筋： JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート： JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm <sup>2</sup>	底面の標高	-	T. M. S. L. 47.50m	個数*4	-	1		
		変更前	変更後																																																								
名称	-	北換気筒*1*2 (使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)	変更なし																																																								
種類	-	六角鉄塔支持形	六角鉄塔支持形 (制振装置付き[減衰係数:1.0C*3])																																																								
主要寸法	筒身		変更なし																																																								
	出口内径*4	m		2.2																																																							
	地上高さ*4	m		75																																																							
厚さ*4	mm	上部9及び下部11																																																									
主要材料	筒身	-		SMA400BP																																																							
	支持鉄塔	-		STK400																																																							
個数*4	-	1																																																									
基礎	種類	-		鉄筋コンクリート*5																																																							
	主要寸法	たて×横		-	35.00×30.31																																																						
		高さ		-	8																																																						
	主要材料*6	-	鉄筋： JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート： JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm <sup>2</sup>																																																								
	底面の標高	-	T. M. S. L. 47.50m																																																								
個数*4	-	1																																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (ii) (a) (i)-3使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備(設計基準対象の施設と兼用) 1 系列</p>	<p>d. 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備(設計基準対象の施設と兼用) 数量 1 系列</p>	<p>6.2.1 代替排気モニタリング設備                      &lt;中略&gt;                      代替排気モニタリング設備は、可搬型排気モニタリング設備の可搬型ガスモニタ及び可搬型排気サンプリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、チ. (2) (ii) (a) (i)-3使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部並びに監視測定用運搬車で構成する。</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii) (a) (i)-3は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii) (a) (i)-3と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																
<p>環境モニタリング設備            （MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）            モニタリングポスト 9 台</p>	<p>e. 環境モニタリング設備            （MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）            (a) モニタリングポスト            種類 <u>NaI (Tl) シンチレーション式検出器</u>  <u>電離箱式検出器</u>            計測範囲 <math>10^{-2} \sim 10^1 \mu\text{Gy/h}</math>（低レンジ）  <math>10^0 \sim 10^5 \mu\text{Gy/h}</math>（高レンジ）            台数 <u>9</u>台</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.1.1.2 環境モニタリング設備            (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1587 556 2546 1060"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">モニタリングポスト</th> <th>モニタリングポスト (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>NaI (Tl) シンチレーション検出器</td> <td>電離箱式検出器</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td><math>\mu\text{Gy/h}</math></td> <td><math>10^{-2} \sim 10^1</math></td> <td><math>10^0 \sim 10^5</math></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td><math>\mu\text{Gy/h}</math></td> <td><math>10^{-2} \sim 10^1</math></td> <td><math>10^0 \sim 10^5</math></td> </tr> <tr> <td>個数*1</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>モニタリングポスト</td> <td rowspan="10">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">設置床</td> <td rowspan="10">—</td> <td colspan="2">屋外 再処理施設周辺監視区域境界近傍 モニタリングポスト1近傍 T.M.S.L. 53.46m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト2近傍 T.M.S.L. 56.30m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト3近傍 T.M.S.L. 51.53m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト4近傍 T.M.S.L. 48.57m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト5近傍 T.M.S.L. 54.35m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト6近傍 T.M.S.L. 50.07m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト7近傍 T.M.S.L. 46.24m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モニタリングポスト8近傍 T.M.S.L. 40.03m</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1587 1081 2546 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>モニタリングポスト9近傍 T.M.S.L. 62.46m (指示は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「検出器個数」と記載。            *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。            *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。            *4: モニタリングポストは、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>	名称		変更前		変更後			モニタリングポスト		モニタリングポスト (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*4	検出器の種類	—	NaI (Tl) シンチレーション検出器	電離箱式検出器	変更なし	計測範囲	$\mu\text{Gy/h}$	$10^{-2} \sim 10^1$	$10^0 \sim 10^5$	警報動作範囲	$\mu\text{Gy/h}$	$10^{-2} \sim 10^1$	$10^0 \sim 10^5$	個数*1	—	9	9	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	モニタリングポスト	変更なし	設置床	—	屋外 再処理施設周辺監視区域境界近傍 モニタリングポスト1近傍 T.M.S.L. 53.46m		モニタリングポスト2近傍 T.M.S.L. 56.30m		モニタリングポスト3近傍 T.M.S.L. 51.53m		モニタリングポスト4近傍 T.M.S.L. 48.57m		モニタリングポスト5近傍 T.M.S.L. 54.35m		モニタリングポスト6近傍 T.M.S.L. 50.07m		モニタリングポスト7近傍 T.M.S.L. 46.24m		モニタリングポスト8近傍 T.M.S.L. 40.03m						名称		変更前		変更後	取付箇所	設置床	—	モニタリングポスト9近傍 T.M.S.L. 62.46m (指示は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)	変更なし	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—		
名称		変更前		変更後																																																																																
		モニタリングポスト		モニタリングポスト (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*4																																																																																
検出器の種類	—	NaI (Tl) シンチレーション検出器	電離箱式検出器	変更なし																																																																																
計測範囲	$\mu\text{Gy/h}$	$10^{-2} \sim 10^1$	$10^0 \sim 10^5$																																																																																	
警報動作範囲	$\mu\text{Gy/h}$	$10^{-2} \sim 10^1$	$10^0 \sim 10^5$																																																																																	
個数*1	—	9	9																																																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	モニタリングポスト	変更なし																																																																																
	設置床	—	屋外 再処理施設周辺監視区域境界近傍 モニタリングポスト1近傍 T.M.S.L. 53.46m																																																																																	
			モニタリングポスト2近傍 T.M.S.L. 56.30m																																																																																	
			モニタリングポスト3近傍 T.M.S.L. 51.53m																																																																																	
			モニタリングポスト4近傍 T.M.S.L. 48.57m																																																																																	
			モニタリングポスト5近傍 T.M.S.L. 54.35m																																																																																	
			モニタリングポスト6近傍 T.M.S.L. 50.07m																																																																																	
			モニタリングポスト7近傍 T.M.S.L. 46.24m																																																																																	
			モニタリングポスト8近傍 T.M.S.L. 40.03m																																																																																	
名称		変更前		変更後																																																																																
取付箇所	設置床	—	モニタリングポスト9近傍 T.M.S.L. 62.46m (指示は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)	変更なし																																																																																
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—																																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—																																																																																
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—																																																																																
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—																																																																																

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付資料六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																								
<p>ダストモニタ 9 台</p>	<p>(b) <u>ダストモニタ</u> 種類 <u>ZnS (Ag) シンチレーション式検出器</u> <u>プラスチックシンチレーション式検出器</u> 計測範囲 <u>10<sup>-2</sup>~10<sup>4</sup> s<sup>-1</sup></u> 台数 <u>9</u>台</p>	<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1528 478 2665 1423"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">ダストモニタ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>ZnS (Ag) シンチレーション式検出器*1</td> <td>プラスチックシンチレーション検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>s<sup>-1</sup></td> <td colspan="2">10<sup>-2</sup>~10<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>s<sup>-1</sup></td> <td colspan="2">10<sup>-2</sup>~10<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>個数*2</td> <td>—</td> <td colspan="2">9</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>ダストモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>屋外 再処理施設周辺監視区域境界近傍 モニタリングポスト1近傍 T.M.S.L. 約53.46m モニタリングポスト2近傍 T.M.S.L. 約56.30m モニタリングポスト3近傍 T.M.S.L. 約51.53m モニタリングポスト4近傍 T.M.S.L. 約48.57m モニタリングポスト5近傍 T.M.S.L. 約54.35m モニタリングポスト6近傍 T.M.S.L. 約50.07m モニタリングポスト7近傍 T.M.S.L. 約46.24m モニタリングポスト8近傍 T.M.S.L. 約40.03m モニタリングポスト9近傍 T.M.S.L. 約62.46m</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1528 1138 2665 1423"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>(指示は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 既設工認に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「検出器個数」と記載。 *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *5: ダストモニタは、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>			変更前	変更後	名称		ダストモニタ		検出器の種類	—	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器*1	プラスチックシンチレーション検出器	計測範囲	s <sup>-1</sup>	10 <sup>-2</sup> ~10 <sup>4</sup>		警報動作範囲	s <sup>-1</sup>	10 <sup>-2</sup> ~10 <sup>4</sup>		個数*2	—	9		取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ダストモニタ		設置床	—	屋外 再処理施設周辺監視区域境界近傍 モニタリングポスト1近傍 T.M.S.L. 約53.46m モニタリングポスト2近傍 T.M.S.L. 約56.30m モニタリングポスト3近傍 T.M.S.L. 約51.53m モニタリングポスト4近傍 T.M.S.L. 約48.57m モニタリングポスト5近傍 T.M.S.L. 約54.35m モニタリングポスト6近傍 T.M.S.L. 約50.07m モニタリングポスト7近傍 T.M.S.L. 約46.24m モニタリングポスト8近傍 T.M.S.L. 約40.03m モニタリングポスト9近傍 T.M.S.L. 約62.46m			変更前	変更後	取付箇所	設置床	—	(指示は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)		溢水防護上の区画番号	—	—*3		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3		化学薬品防護上の区画番号	—	—*4		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	<p>変更なし</p>	<p>(再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*5</p>
		変更前	変更後																																																									
名称		ダストモニタ																																																										
検出器の種類	—	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器*1	プラスチックシンチレーション検出器																																																									
計測範囲	s <sup>-1</sup>	10 <sup>-2</sup> ~10 <sup>4</sup>																																																										
警報動作範囲	s <sup>-1</sup>	10 <sup>-2</sup> ~10 <sup>4</sup>																																																										
個数*2	—	9																																																										
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ダストモニタ																																																									
	設置床	—	屋外 再処理施設周辺監視区域境界近傍 モニタリングポスト1近傍 T.M.S.L. 約53.46m モニタリングポスト2近傍 T.M.S.L. 約56.30m モニタリングポスト3近傍 T.M.S.L. 約51.53m モニタリングポスト4近傍 T.M.S.L. 約48.57m モニタリングポスト5近傍 T.M.S.L. 約54.35m モニタリングポスト6近傍 T.M.S.L. 約50.07m モニタリングポスト7近傍 T.M.S.L. 約46.24m モニタリングポスト8近傍 T.M.S.L. 約40.03m モニタリングポスト9近傍 T.M.S.L. 約62.46m																																																									
		変更前	変更後																																																									
取付箇所	設置床	—	(指示は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室)																																																									
	溢水防護上の区画番号	—	—*3																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3																																																									
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*4																																																									
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4																																																									



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ロ) 代替モニタリング設備            [常設重大事故等対処設備]            ち.(2)(ii)(a)(ロ)-1使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備(設計基準対象の施設と兼用) (放射線監視設備と兼用) 1 系列</p>	<p>(2) 代替モニタリング設備            [常設重大事故等対処設備]            a. 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備 (設計基準対象の施設と兼用) (放射線監視設備と兼用) 数量 1 系列</p>	<p>6.2.1 代替排気モニタリング設備            &lt;中略&gt;            代替排気モニタリング設備は、可搬型排気モニタリング設備の可搬型ガスモニタ及び可搬型排気サンプリング設備、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、ち.(2)(ii)(a)(ロ)-1使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部並びに監視測定用運搬車で構成する。</p>	<p>設工認のち.(2)(ii)(a)(ロ)-1は、事業変更許可申請書(本文)のち.(2)(ii)(a)(ロ)-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>[可搬型重大事故等対処設備] 可搬型排気モニタリング設備 可搬型ガスモニタ チ. (2) (ii) (a) (㍑)-2 4 台 (予備として故障時のバックアップを2台)</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備] a. 可搬型排気モニタリング設備 (a) 可搬型ガスモニタ 種類 電離箱式検出器 計測範囲 <math>10^{-15} \sim 10^{-8} \text{ A}</math> 台数 4台 (予備として故障時のバックアップを2台)</p> <p>1. 2. 1. 1 可搬型排気モニタリング設備 (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1234 764 2288 1518"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>可搬型ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>電離箱</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>A</td> <td>—</td> <td><math>10^{-15} \sim 10^{-8}</math></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2 (予備として故障時のバックアップを2台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>                     保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55. 30m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (2台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48. 65m (1台)                      取付箇所：                      AP-G0101 T. M. S. L. 約55. 30m (1台)                      FB-Y0114 T. M. S. L. 約40. 50m (1台)                      (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)                 </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		—	可搬型ガスモニタ	検出器の種類	—	—	電離箱	計測範囲	A	—	$10^{-15} \sim 10^{-8}$	個数	—	—	2 (予備として故障時のバックアップを2台)	取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55. 30m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48. 65m (1台) 取付箇所： AP-G0101 T. M. S. L. 約55. 30m (1台) FB-Y0114 T. M. S. L. 約40. 50m (1台) (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)	<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p>	<p>設工認のチ. (2) (ii) (a) (㍑)-2は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii) (a) (㍑)-2と同義であり整合している。</p>	<p>チ. (2) (ii) (a) (㍑)-2</p>
		変更前	変更後																									
名称		—	可搬型ガスモニタ																									
検出器の種類	—	—	電離箱																									
計測範囲	A	—	$10^{-15} \sim 10^{-8}$																									
個数	—	—	2 (予備として故障時のバックアップを2台)																									
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55. 30m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48. 65m (1台) 取付箇所： AP-G0101 T. M. S. L. 約55. 30m (1台) FB-Y0114 T. M. S. L. 約40. 50m (1台) (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>可搬型排気サンプリング設備</u> 4 台（予備として故障時のバックアップを2台）</p> <p><u>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置</u> 4 台（予備として故障時のバックアップを2台）</p> <p><u>可搬型データ表示装置</u> 2 台（予備として故障時のバックアップを1台）</p>	<p>(b) <u>可搬型排気サンプリング設備</u> 台数 4台（予備として故障時のバックアップを2台）</p> <p>b. <u>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置</u> 台数 4台（予備として故障時のバックアップを2台）</p> <p>c. <u>可搬型データ表示装置</u> 台数 2台（予備として故障時のバックアップを1台）</p>	<p>（基本設計方針） 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 可搬型排気モニタリング設備は、再処理施設から放出される放射性物質の濃度の監視、測定に必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、可搬型ガスモニタの保有数は、必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とし、<u>可搬型排気サンプリング設備</u>の保有数は、必要数として2台、<u>予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上</u>を確保する設計とする。</p> <p><u>可搬型排気モニタリング用データ伝送装置</u>は、可搬型排気モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、<u>予備として故障時のバックアップを2台の合計4台以上</u>を確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>可搬型データ表示装置</u>は、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型気象観測用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型ガスモニタ、可搬型環境モニタリング設備及び可搬型気象観測設備の測定値又は観測値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、<u>予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上</u>を確保する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
<p>可搬型排気モニタリング用発電機 (MOX燃料加工施設と共用) チ.(2)(ii)(a)(㍑)-3 3台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p>	<p>d. 可搬型排気モニタリング用発電機 (MOX燃料加工施設と共用) 台数 3台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台) 容量 約3kVA/台</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.2 代替モニタリング設備 1.2.1 代替排気モニタリング設備 (1) 発電機</p> <table border="1" data-bbox="1567 638 2226 1480"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">発電機</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>可搬型排気モニタリング用発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1 回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>870*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>585*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>857*2</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>単相</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>自由通風</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>7.0以上(15*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1567 1507 2226 1789"> <thead> <tr> <th colspan="2">個数</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台) 保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T.M.S.L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T.M.S.L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T.M.S.L. 約48.65m(1台) 取付箇所：—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：可搬型排気モニタリング用発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2：公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	発電機	種類	—	可搬型排気モニタリング用発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1 回転界磁形同期発電機	容量	kVA/個	3.1	主要寸法	幅	mm	870*2	奥行	mm	585*2	高さ	mm	857*2	力率	%	100	電圧	V	100	相	—	単相	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	結線法	—	星形	冷却方法	—	自由通風	機関	種類	—	4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン	出力	kW/個	5.5	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	燃料	種類	—	軽油	使用量	l/h/個	1.4	個数	—	1	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	7.0以上(15*2)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	—	SECC	個数		変更前	変更後	取付箇所	設置床	—	1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台) 保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T.M.S.L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T.M.S.L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T.M.S.L. 約48.65m(1台) 取付箇所：—	<p>設工認のチ.(2)(ii)  (a)(㍑)-3は、事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)(a)(㍑)-3と同義であり整合している。</p> <p>チ.(2)(ii)(a)(㍑)-3</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																							
発電機	種類	—	可搬型排気モニタリング用発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1 回転界磁形同期発電機																																																																																							
	容量	kVA/個	3.1																																																																																							
	主要寸法	幅	mm	870*2																																																																																						
		奥行	mm	585*2																																																																																						
		高さ	mm	857*2																																																																																						
	力率	%	100																																																																																							
	電圧	V	100																																																																																							
	相	—	単相																																																																																							
	周波数	Hz	50																																																																																							
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																							
	結線法	—	星形																																																																																							
	冷却方法	—	自由通風																																																																																							
	機関	種類	—	4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン																																																																																						
出力		kW/個	5.5																																																																																							
回転速度		min <sup>-1</sup>	3000																																																																																							
燃料		種類	—	軽油																																																																																						
		使用量	l/h/個	1.4																																																																																						
個数	—	1																																																																																								
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																							
	容量	L/個	7.0以上(15*2)																																																																																							
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																							
	最高使用温度	℃	40																																																																																							
主要材料	—	SECC																																																																																								
個数		変更前	変更後																																																																																							
取付箇所	設置床	—	1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台) 保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T.M.S.L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T.M.S.L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T.M.S.L. 約48.65m(1台) 取付箇所：—																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>可搬型環境モニタリング設備 (MOX燃料加工施設と共用)</p> <p>可搬型線量率計 チ. (2) (ii) (a) (㍑)-4 18 台 (予備として故障時のバックアップを9台)</p>	<p>e. 可搬型環境モニタリング設備 (MOX燃料加工施設と共用)</p> <p>(a) 可搬型線量率計 種類 NaI (Tl) シンチレーション式検出器 半導体式検出器 計測範囲 B. G. ~100mSv/h又は mGy/h 台数 18台(予備として故障時のバックアップを9台)</p>	<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <p>1.2.2.1 可搬型環境モニタリング設備 (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1546 758 2436 1293"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">可搬型線量率計 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>NaI (Tl) シンチレーション式検出器</td> <td>半導体式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>mGy/h</td> <td>—</td> <td colspan="2">B. G. ~100</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">9(予備として故障時のバックアップを9台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td colspan="2">                     保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(9台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(9台)                      取付箇所：—                      (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：可搬型線量率計は、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>			変更前	変更後		名称		—	可搬型線量率計 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		検出器の種類	—	—	NaI (Tl) シンチレーション式検出器	半導体式検出器	計測範囲	mGy/h	—	B. G. ~100		個数	—	—	9(予備として故障時のバックアップを9台)		取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(9台) 取付箇所：— (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)		<p>設工認のチ. (2) (ii) (a) (㍑)-4は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (ii) (a) (㍑)-4と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		—	可搬型線量率計 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1																															
検出器の種類	—	—	NaI (Tl) シンチレーション式検出器	半導体式検出器																														
計測範囲	mGy/h	—	B. G. ~100																															
個数	—	—	9(予備として故障時のバックアップを9台)																															
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(9台) 取付箇所：— (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)																															

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>可搬型ダストモニタ  <u>チ. (2) (ii) (a) (p)-5</u> 18 台 (予備として故障時のバックアップを9台)</p>	<p>(b) 可搬型ダストモニタ            種類 <u>ZnS (Ag) シンチレーション式検出器</u>  <u>プラスチックシンチレーション式検出器</u>            計測範囲 <u>B. G. ~99.9 k m i n<sup>-1</sup></u>            台数 <u>18台(予備として故障時のバックアップを9台)</u></p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1374 583 2496 1276"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">可搬型ダストモニタ (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>ZnS(Ag)シンチレーション式検出器</td> <td>プラスチックシンチレーション式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>—</td> <td colspan="2">B. G. ~99.9k <span style="float: right;">チ. (2) (ii) (a) (p)-5</span></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">9(予備として故障時のバックアップを9台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td colspan="2">           保管場所：            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (9台)            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (9台)             取付箇所：—            (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)         </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後		名称		—	可搬型ダストモニタ (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器	計測範囲	min <sup>-1</sup>	—	B. G. ~99.9k <span style="float: right;">チ. (2) (ii) (a) (p)-5</span>		個数	—	—	9(予備として故障時のバックアップを9台)		取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (9台)  取付箇所：— (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)		<p>設工認の <u>チ. (2) (ii) (a) (p)-5</u> は, 事業変更許可申請書(本文)の <u>チ. (2) (ii) (a) (p)-5</u> と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		—	可搬型ダストモニタ (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1																															
検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器																														
計測範囲	min <sup>-1</sup>	—	B. G. ~99.9k <span style="float: right;">チ. (2) (ii) (a) (p)-5</span>																															
個数	—	—	9(予備として故障時のバックアップを9台)																															
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (9台)  取付箇所：— (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)																															
<p>注記 *1: 可搬型ダストモニタは, 再処理施設にて設備登録を行っている。</p>																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>可搬型環境モニタリング用データ伝送装置（MOX燃料加工施設と共用）18台（予備として故障時のバックアップを9台）</p>	<p>f. 可搬型環境モニタリング用データ伝送装置（MOX燃料加工施設と共用） 台数 18台（予備として故障時のバックアップを9台）</p>	<p>（基本設計方針） 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.2 代替モニタリング設備 6.2.2 代替環境モニタリング設備 MOX燃料加工施設と共用する可搬型環境モニタリング用データ伝送装置は、可搬型環境モニタリング設備の測定値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時のバックアップを9台の合計18台以上を確保する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																														
<p>可搬型環境モニタリング用発電機 (MOX燃料加工施設と共用) チ.(2)(ii)(a)(㍑)-6 19台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)</p>	<p>g. 可搬型環境モニタリング用発電機 (MOX燃料加工施設と共用) 台数 19台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台) 容量 約3kVA/台</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.2.2 代替環境モニタリング設備 (1) 発電機</p> <table border="1" data-bbox="1537 426 2151 1203"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型環境モニタリング用発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1 回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>870*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>585*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>857*2</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>-</td> <td>単相</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>-</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>-</td> <td>自由通風</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">機関</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>9.4以上(15*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>SECC</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1234 2151 1444"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>-</td> <td>9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T.M.S.L.約48.65m(10台) 取付箇所：-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:可搬型環境モニタリング用発電機は,再処理施設にて設備登録を行っている。 *2:公称値を示す。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型環境モニタリング用発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1 回転界磁形同期発電機	種類	-		容量	kVA/台	3.1	主要寸法	幅	mm	870*2	奥行	mm	585*2	高さ	mm	857*2	力率	%	100	電圧	V	100	相	-	単相	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	結線法	-	星形	冷却方法	-	自由通風	機関	種類	-	4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン	出力	kW/個	5.5	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	燃料	種類	-	軽油	使用量	l/h/個	1.4	個数	-	1	燃料タンク	種類	-	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	9.4以上(15*2)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	-	SECC				変更前	変更後	個数		-	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)	取付箇所	設置床	-	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T.M.S.L.約48.65m(10台) 取付箇所：-	<p>設工認のチ.(2)(ii) (a)(㍑)-6は,事業変更許可申請書(本文)のチ.(2)(ii)(a)(㍑)-6と同義であり整合している。</p> <p>チ.(2)(ii)(a)(㍑)-6</p>	
		変更前	変更後																																																																																															
発電機	名称		可搬型環境モニタリング用発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1 回転界磁形同期発電機																																																																																															
	種類	-																																																																																																
	容量	kVA/台	3.1																																																																																															
	主要寸法	幅	mm	870*2																																																																																														
		奥行	mm	585*2																																																																																														
		高さ	mm	857*2																																																																																														
	力率	%	100																																																																																															
	電圧	V	100																																																																																															
	相	-	単相																																																																																															
	周波数	Hz	50																																																																																															
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																															
	結線法	-	星形																																																																																															
	冷却方法	-	自由通風																																																																																															
機関	種類	-	4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン																																																																																															
	出力	kW/個	5.5																																																																																															
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																															
	燃料	種類	-	軽油																																																																																														
		使用量	l/h/個	1.4																																																																																														
個数	-	1																																																																																																
燃料タンク	種類	-	鋼板溶接製箱形																																																																																															
	容量	L/個	9.4以上(15*2)																																																																																															
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																															
	最高使用温度	℃	40																																																																																															
主要材料	-	SECC																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																															
個数		-	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)																																																																																															
取付箇所	設置床	-	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T.M.S.L.約48.65m(10台) 取付箇所：-																																																																																															



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>可搬型建屋周辺モニタリング設備 ガンマ線用サーベイメータ（SA） チ. (2) (ii) (a) (v)-7 16 台（予備として故障時のバックアップを8台）</p>	<p>h. 可搬型建屋周辺モニタリング設備 (a) ガンマ線用サーベイメータ（SA） 台数 16台（予備として故障時のバックアップを8台） 種類 半導体式検出器 計測範囲 0.0001～1,000mSv/h</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.2.2.2 可搬型建屋周辺モニタリング設備 (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1546 726 2427 1272"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>ガンマ線用サーベイメータ (SA)</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>半導体式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>mSv/h</td> <td>—</td> <td>0.0001～1000</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8(予備として故障時のバックアップを8台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>                     保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (7台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63.80m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (8台)                      〔 取付箇所：— 〕                 </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		—	ガンマ線用サーベイメータ (SA)	検出器の種類	—	—	半導体式検出器	計測範囲	mSv/h	—	0.0001～1000	個数	—	—	8(予備として故障時のバックアップを8台)	取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (7台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63.80m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (8台) 〔 取付箇所：— 〕	<p>設工認のチ. (2) (ii) (a) (v)-7は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (ii) (a) (v)-7と同義であり整合している。</p>	<p>チ. (2) (ii) (a) (v)-7</p>
		変更前	変更後																									
名称		—	ガンマ線用サーベイメータ (SA)																									
検出器の種類	—	—	半導体式検出器																									
計測範囲	mSv/h	—	0.0001～1000																									
個数	—	—	8(予備として故障時のバックアップを8台)																									
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (7台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63.80m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (8台) 〔 取付箇所：— 〕																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>中性子線用サーベイメータ（SA）  <u>チ. (2) (ii) (a) (v)-8</u> 4 台（予備として故障時のバックアップを2台）</p>	<p>(b) 中性子線用サーベイメータ（SA）            台数 4 台（予備として故障時のバックアップを2台）            種類 <math>^3\text{He}</math> 計数管            計測範囲 <math>0.01 \sim 10,000 \mu\text{Sv/h}</math></p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1552 577 2694 1224"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>中性子線用サーベイメータ(SA)</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td><math>^3\text{He}</math>比例計数管</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td><math>\mu\text{Sv/h}</math></td> <td>—</td> <td>0.01～10000</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2(予備として故障時のバックアップを2台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td> <u>チ. (2) (ii) (a) (v)-8</u>            保管場所：            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (2台)            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台)            〔 取付箇所：— 〕         </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		—	中性子線用サーベイメータ(SA)	検出器の種類	—	—	$^3\text{He}$ 比例計数管	計測範囲	$\mu\text{Sv/h}$	—	0.01～10000	個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを2台)	取付箇所	設置床	—	<u>チ. (2) (ii) (a) (v)-8</u> 保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台) 〔 取付箇所：— 〕	<p>設工認の <u>チ. (2) (ii) (a) (v)-8</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>チ. (2) (ii) (a) (v)-8</u> と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																									
名称		—	中性子線用サーベイメータ(SA)																									
検出器の種類	—	—	$^3\text{He}$ 比例計数管																									
計測範囲	$\mu\text{Sv/h}$	—	0.01～10000																									
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを2台)																									
取付箇所	設置床	—	<u>チ. (2) (ii) (a) (v)-8</u> 保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台) 〔 取付箇所：— 〕																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
アルファ・ベータ線用サーベイメータ（S A） 〔チ. (2) (ii) (a) (v)-9〕6 台（予備として故障時のバックアップを3台）	(c) アルファ・ベータ線用サーベイメータ（S A） 台 数 6 台（予備として故障時のバックアップを3台） 種 類 <u>Z n S ( A g ) シンチレーション式検出器</u> <u>プラスチックシンチレーション式検出器</u> 計測範囲 <u>B. G. ～100 k m i n<sup>-1</sup> (アルファ線)</u> <u>B. G. ～300 k m i n<sup>-1</sup> (ベータ線)</u>	【放射線管理施設】（仕様表） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA)</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>ZnS(Ag)シンチレーション式検出器</td> <td>プラスチックシンチレーション式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>—</td> <td>B. G. ～100k</td> <td>B. G. ～300k</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">3(予備として故障時のバックアップを3台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>           保管場所：            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55. 30m (2台)            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63. 80m (1台)            可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (3台)            〔 取付箇所：— 〕         </td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後		名称		—	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA)		検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器	計測範囲	min <sup>-1</sup>	—	B. G. ～100k	B. G. ～300k	個数	—	—	3(予備として故障時のバックアップを3台)		取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55. 30m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63. 80m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (3台) 〔 取付箇所：— 〕	設工認の〔チ. (2) (ii) (a) (v)-9〕は、事業変更許可申請書（本文）の〔チ. (2) (ii) (a) (v)-9〕と同義であり整合している。	
		変更前	変更後																															
名称		—	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA)																															
検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器																														
計測範囲	min <sup>-1</sup>	—	B. G. ～100k	B. G. ～300k																														
個数	—	—	3(予備として故障時のバックアップを3台)																															
取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55. 30m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63. 80m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (3台) 〔 取付箇所：— 〕																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p data-bbox="350 527 863 604">可搬型ダストサンプラ（SA）6台（予備として故障時のバックアップを3台）</p> <p data-bbox="350 1108 863 1234">監視測定用運搬車（MOX燃料加工施設と共用）7台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを4台）</p> <p data-bbox="290 1381 528 1409">(iii) 環境管理設備</p> <p data-bbox="350 1472 863 1549">敷地内に気象を観測する気象観測設備<sup>チ.</sup> <sup>(2)(iii)-1</sup>を設ける。</p>	<p data-bbox="914 527 1507 646">(d) 可搬型ダストサンプラ（SA） 台数 6台（予備として故障時のバックアップを3台）</p> <p data-bbox="914 1108 1507 1276">i. 監視測定用運搬車（MOX燃料加工施設と共用） 台数 7台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを4台）</p> <p data-bbox="914 1381 1507 1591">8.1.4.4 環境管理設備 ＜中略＞ また、敷地周辺の公衆の線量評価に資するため、<u>風向、風速、日射量、放射収支量、雨量及び温度を</u> <u>観測し、記録する気象観測設備を設ける。</u></p>	<p data-bbox="1537 304 2151 380">(基本設計方針) 第2章 個別項目</p> <p data-bbox="1537 394 2151 422">6. 放射線管理施設</p> <p data-bbox="1537 443 2151 470">6.2 代替モニタリング設備</p> <p data-bbox="1537 485 2151 512">6.2.2 代替環境モニタリング設備</p> <p data-bbox="1656 527 2151 1003">アルファ・ベータ線用サーベイメータ(SA)及び可搬型ダストサンプラ(SA)は、建屋周辺において、空気中の放射性物質の濃度を測定するためのサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、アルファ・ベータ線用サーベイメータ(SA)の保有数は、必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とし、<u>可搬型ダストサンプラ(SA)の保有数は、必要数として3台、予備として故障時のバックアップを3台の合計6台以上を確保する設計とする。</u></p> <p data-bbox="1537 1066 2151 1094">6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p data-bbox="1656 1108 2151 1318">MOX燃料加工施設と共用する監視測定用運搬車の保有数は、必要数として3台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを4台の合計7台以上を確保する設計とする。</p> <p data-bbox="1537 1381 2151 1409">6.5 環境管理設備</p> <p data-bbox="1656 1423 2151 1633">＜中略＞ また、敷地内に気象を観測するための環境管理設備として、<u>気象観測設備(風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計、温度計)</u><sup>チ.(2)(iii)-1</sup>を設置する設計とする。</p>	<p data-bbox="2181 1472 2436 1675">設工認の<sup>チ.(2)(iii)-1</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ.(2)(iii)-1</sup>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ.(2)(iii)-2また、敷地周辺の放射線モニタリングを行う放射能観測車を備える。</p> <p>放射能観測車は、チ.(2)(iii)-3再処理施設及びMOX燃料加工施設チ.(2)(iii)-4の平常時及び事故時に敷地周辺のチ.(2)(iii)-5空間放射線量率及び空気中の放射性物質濃度を迅速に測定するための設備であり、敷地が同一であることチ.(2)(iii)-6から、MOX燃料加工施設と共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>8.1.4.4 環境管理設備</p> <p>平常時及び事故時に敷地周辺の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を迅速に測定するため、空間放射線量率測定器、中性子線用サーベイメータ、ダストサンプラ、よう素サンプラ及び放射能測定器を搭載した無線通話装置付きの放射能観測車を備える。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>放射能観測車は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>共用する放射能観測車及び気象観測設備の一部は、仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域等が同一の区域であることにより、測定結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>6.5 環境管理設備</p> <p>チ.(2)(iii)-2敷地周辺の放射線モニタリングを行うための環境管理設備として、空間放射線量率測定器、中性子線用サーベイメータ、ダストサンプラ、よう素サンプラ及び放射能測定器を搭載した無線通話装置付きの放射能観測車を設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>放射能観測車は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>放射能観測車は、チ.(2)(iii)-3MOX燃料加工施設と共用するが、チ.(2)(iii)-4チ.(2)(iii)-5仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域及び敷地が同一の区域であることにより、測定結果の共有を図る設計とすることで、チ.(2)(iii)-6共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のチ.(2)(iii)-2及びチ.(2)(iii)-5は、事業変更許可申請書（本文）のチ.(2)(iii)-2及びチ.(2)(iii)-5と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(iii)-3、チ.(2)(iii)-4及びチ.(2)(iii)-6は、事業変更許可申請書（本文）のチ.(2)(iii)-3、チ.(2)(iii)-4及びチ.(2)(iii)-6と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>また、気象観測設備は、<u>チ. (2) (iii)-7</u>再処理施設、<u>MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設</u> <u>チ. (2) (iii)-8</u>の敷地内において気象を観測するための設備であり、敷地が同一であること <u>チ. (2) (iii)-9</u>から、<u>MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と気象観測設備の一部を共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>重大事故等時において、敷地周辺の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を迅速に測定 <u>チ. (2) (iii)-10</u>するため、<u>放射能観測車を可搬型重大事故等対処設備として位置付ける。</u></p>	<p>8.1.4.4 環境管理設備</p> <p>＜中略＞</p> <p>また、気象観測設備の一部は、<u>MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用する。</u></p> <p>＜中略＞</p> <p>共用する放射能観測車及び気象観測設備の一部は、<u>仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域等が同一の区域であることにより、測定結果の共有を図る設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備</p> <p>(1) 系統構成</p> <p>また、<u>環境管理設備の放射能観測車を可搬型重大事故等対処設備として位置付ける。</u></p>	<p>6.5 環境管理設備</p> <p>＜中略＞</p> <p>また、<u>チ. (2) (iii)-8</u>敷地内に気象を観測するための環境管理設備として、気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計、温度計）を設置する設計とする。</p> <p>＜中略＞</p> <p>また、<u>気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計、温度計）の一部は、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用する。</u></p> <p>＜中略＞</p> <p>また、<u>気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計、温度計）の一部は、チ. (2) (iii)-7</u>MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設と共用するが、<u>仕様及び運用を各施設で同一とし、周辺監視区域及び敷地が同一の区域であることチ. (2) (iii)-9により、測定結果の共有を図る設計とすることで共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>6.5 環境管理設備</p> <p>重大事故等時において、<u>環境管理設備の放射能観測車を可搬型重大事故等対処設備として位置付け、敷地周辺の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を迅速に測定チ. (2) (iii)-10し、及びその結果を記録できるように、測定値を指示する設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-8</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (iii)-8</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-7</u>及び<u>チ. (2) (iii)-9</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (iii)-7</u>及び<u>チ. (2) (iii)-9</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-10</u>は、事業変更許可申請書(本文)の<u>チ. (2) (iii)-10</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時において、敷地内の風向、風速、日射量、放射収支量及び雨量を観測し、及びその結果を記録する<sup>チ. (2) (iii)-11</sup>ため、<u>気象観測設備を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</u></p> <p>環境管理設備<sup>チ. (2) (iii)-12</sup>は、<u>放射能観測車及び気象観測設備で構成する。</u></p> <p>重大事故等時において、敷地内の気象条件、敷地周辺の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度をモニタリング対象とする。</p>	<p>8.2.4 系統構成及び主要設備 (1) 系統構成 放射線監視設備、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクト、試料分析関係設備、環境管理設備の気象観測設備を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備 (1) 系統構成 環境管理設備は、放射能観測車及び気象観測設備で構成する。</p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備 (1) 系統構成 環境管理設備は、放射能観測車及び気象観測設備で構成する。</p> <p>8.2 重大事故等対処設備 8.2.1 概要 重大事故等が発生した場合に再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。 重大事故等が発生した場合に敷地内において、風向、風速その他の気象条件を測定し、及びその結果を記録するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p>	<p>重大事故等時において、環境管理設備の気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計）を常設重大事故等対処設備として位置付け、敷地内の風向、風速、日射量、放射収支量及び雨量を観測し、及びその結果を記録する<sup>チ. (2) (iii)-11</sup>設計とする。</p> <p>6.5 環境管理設備 敷地周辺の放射線モニタリングを行うための環境管理設備<sup>チ. (2) (iii)-12</sup>として、空間放射線量率測定器、中性子線用サーバイメータ、ダストサンプラ、よう素サンプラ及び放射能測定器を搭載した無線通話装置付きの放射能観測車を設ける設計とする。また、敷地内に気象を観測するための環境管理設備として、<u>気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計、温度計）を設置する設計とする。</u></p> <p>6.5 環境管理設備 環境管理設備は、重大事故等時において、敷地内の気象条件、敷地周辺の空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度をモニタリング対象とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<sup>チ. (2) (iii)-11</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>チ. (2) (iii)-11</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (iii)-12</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>チ. (2) (iii)-12</sup>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時において、放射能観測車が機能喪失した場合に、その機能を代替する代替放射能観測設備を可搬型重大事故等対処設備としてチ. (2) (iii)-13配備する。</p> <p>代替放射能観測設備は、可搬型放射能観測設備で構成する。</p>	<p>8.2.2 設計方針</p> <p>(1) 多様性, 位置的分散</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる環境管理設備の放射能観測車は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。</p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備</p> <p>(1) 系統構成</p> <p>代替放射能観測設備は、可搬型放射能観測設備で構成する。</p>	<p>6.6 代替放射能観測設備</p> <p>重大事故等時において、放射能観測車が機能喪失した場合に、その機能を代替する代替放射能観測設備を可搬型重大事故等対処設備としてチ. (2) (iii)-13設ける設計とする。</p> <p>代替放射能観測設備は、可搬型放射能観測設備のガンマ線用サーベイメータ (NaI (Tl) シンチレーション) (SA), ガンマ線用サーベイメータ (電離箱) (SA), 中性子線用サーベイメータ (SA), アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) 及び可搬型ダスト・よう素サンプラ (SA) で構成する。</p> <p>可搬型放射能観測設備は、空間放射線量率及び空気中の放射性物質の濃度を測定し、及びその結果を記録できるように、測定値を指示する設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-13は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-13と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等時において、気象観測設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する代替気象観測設備を可搬型重大事故等対処設備としてチ. (2) (iii)-14配備する。</p> <p>代替気象観測設備は、可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型風向風速計、可搬型気象観測用発電機及び監視測定用運搬車で構成する。</p>	<p>8.2.2 設計方針</p> <p>(1) 多様性、位置的分散</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p>放射線監視設備のうち、内的事象を要因として発生した場合に対処に用いる北換気筒(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)の排気モニタリング設備、北換気筒(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒)、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクト、代替モニタリング設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備のダクトの一部、環境モニタリング設備、試料分析関係設備及び環境管理設備の気象観測設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。</p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備</p> <p>(1) 系統構成</p> <p>代替気象観測設備は、可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型風向風速計、可搬型気象観測用発電機及び監視測定用運搬車で構成する。</p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p>	<p>6.7 代替気象観測設備</p> <p>重大事故等時において、気象観測設備が機能喪失した場合に、その機能を代替する代替気象観測設備を可搬型重大事故等対処設備としてチ. (2) (iii)-14設ける設計とする。</p> <p>代替気象観測設備は、可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型気象観測用発電機、可搬型風向風速計及び監視測定用運搬車で構成する。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-14は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-14と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>設計基準対象の施設と兼用する電気設備の一部である受電開閉設備等を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリを可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>環境管理設備の常設重大事故等対処設備に給電するための、受電開閉設備、所内高圧系統については、「リ.（1）（i）電気設備」に、可搬型気象観測用発電機等へ給油するための補機駆動用燃料補給設備については、「リ.（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p>			<p>変更許可申請書（本文）「リ.（1）（i）電気設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ.（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ.（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ.（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (iii)-15 重大事故等時において、環境管理設備、可搬型放射能観測設備、可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>8.2.4 系統構成及び主要設備 (2) 主要設備 e. 環境管理設 環境管理設備は、MOX燃料加工施設と共用する。 f. 代替放射能観測設備 可搬型放射能観測設備は、MOX燃料加工施設と共用する。 g. 代替気象観測設備 可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>6.5 環境管理設備 チ. (2) (iii)-15 環境管理設備は、MOX燃料加工施設と共用する。  &lt;中略&gt;  6.6 代替放射能観測設備 チ. (2) (iii)-15 可搬型放射能観測設備は、MOX燃料加工施設と共用する。  &lt;中略&gt;  6.7 代替気象観測設備 チ. (2) (iii)-15 可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-15は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-15と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (iii)-16 重大事故等時において、共用するチ. (2) (iii)-17 環境管理設備、チ. (2) (iii)-18 可搬型放射能観測設備、可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>8.2.4 系統構成及び主要設備 (2) 主要設備 e. 環境管理設 MOX燃料加工施設と共用する環境管理設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>f. 代替放射能観測設備 MOX燃料加工施設と共用する可搬型放射能観測設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>g. 代替気象観測設備 MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>6.5 環境管理設備 MOX燃料加工施設とチ. (2) (iii)-16 共用するチ. (2) (iii)-17 放射能観測車は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (iii)-16 共用するチ. (2) (iii)-17 気象観測設備(風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計)は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>6.6 代替放射能観測設備 MOX燃料加工施設とチ. (2) (iii)-16 共用するチ. (2) (iii)-18 ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)、ガンマ線用サーベイメータ(電離箱)(SA)、中性子線用サーベイメータ(SA)及びアルファ・ベータ線用サーベイメータ(SA)は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設とチ. (2) (iii)-16 共用するチ. (2) (iii)-18 可搬型ダスト・よう素サンプル(SA)は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-16は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-16と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-17は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-17を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-18は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-18を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>6.7 代替気象観測設備</p> <p>MOX燃料加工施設とチ.(2)(iii)-16共用する可搬型気象観測設備及び可搬型気象観測用データ伝送装置は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設とチ.(2)(iii)-16共用する可搬型気象観測用発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>内的事象を要因と<sup>チ. (2) (iii)-19</sup>して発生した場合に対処に用いる環境管理設備は、自然現象、人為事象、溢水及び火災に対して代替設備による機能の確保、修理の対応<sup>チ. (2) (iii)-20</sup>等により重大事故等<sup>チ. (2) (iii)-21</sup>に対処するための機能を損なわない設計とする。</p>	<p>8.2.2 設計方針</p> <p>(1) 多様性・位置的分散</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>内的事象を要因として発生した場合に対処に用いる環境管理設備の放射能観測車は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。</p>	<p>6.5 環境管理設備</p> <p>内的事象を要因と<sup>チ. (2) (iii)-19</sup>する重大事故等が発生した場合に対処に用いる環境管理設備は、自然現象、人為事象、溢水及び火災により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保又は修理の対応<sup>チ. (2) (iii)-20</sup>の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等<sup>チ. (2) (iii)-21</sup>への対処に必要な機能を損なわない設計とする</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>設工認の<sup>チ. (2) (iii)-19</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (iii)-19</sup>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (iii)-20</sup>は、具体的な設計内容として保安規定に定めて管理することを記載しており整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (iii)-21</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (iii)-21</sup>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (iii)-22代替放射能観測設備及びチ. (2) (iii)-23代替気象観測設備は、チ. (2) (iii)-24環境管理設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量をチ. (2) (iii)-25環境管理設備が設置される環境管理建屋近傍及び再処理施設の敷地内の露場から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>代替モニタリング設備のうち、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備又は環境管理設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備及び環境管理設備が設置される周辺監視区域境界付近、環境管理建屋近傍及び再処理施設の敷地内の露場から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>6.6 代替放射能観測設備</p> <p>チ. (2) (iii)-22可搬型放射能観測設備は、共通要因によってチ. (2) (iii)-24放射能観測車と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を、チ. (2) (iii)-25放射能観測車が設置される環境管理建屋近傍から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>チ. (2) (iii)-23可搬型風向風速計は、共通要因によってチ. (2) (iii)-24気象観測設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を、チ. (2) (iii)-25気象観測設備が設置される再処理施設の敷地内の露場から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管するとともに、主排気筒管理建屋にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>6.7 代替気象観測設備</p> <p>チ. (2) (iii)-23可搬型気象観測設備、可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、共通要因によってチ. (2) (iii)-24気象観測設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を、チ. (2) (iii)-25気象観測設備が設置される再処理施設の敷地内の露場から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-22は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-22を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-23は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-23を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-24は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-24を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-25は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-25を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (iii)-26環境管理設備の気象観測設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同様に重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管するチ. (2) (iii)-27環境管理設備の放射線観測車は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用するチ. (2) (iii)-28環境管理設備の気象観測設備は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を観測するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</u></p>	<p>(2) 悪影響防止</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p><u>放射線監視設備のうち、主排気筒の排気モニタリング設備の排気筒モニタ、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）の排気モニタリング設備、北換気筒（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒）、環境モニタリング設備、試料分析関係設備及び環境管理設備の気象観測設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同様に重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p><u>屋外に保管する環境管理設備の放射線観測車は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>(3) 個数及び容量</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p>(c) 環境管理設備</p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する環境管理設備の気象観測設備は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を測定するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt;中略&gt;</p>	<p>6.5 環境管理設備</p> <p><u>チ. (2) (iii)-26気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計）は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管するチ. (2) (iii)-27放射能観測車は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>6.5 環境管理設備</p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用するチ. (2) (iii)-28気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計）は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を観測するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-26は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-26と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-27は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-27と同義であり整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-28は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii)-28と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (iii)-29</sup>環境管理設備の放射能観測車は、敷地内において、空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (iii)-30</sup>代替放射能観測設備は、敷地内において、空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>(c) 環境管理設備</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境管理設備の放射能観測車は、敷地内において、空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</p> <p>(d) 代替放射能観測設備</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する代替放射能観測設備は、敷地内において、空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</p>	<p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (iii)-29</sup>放射能観測車は、敷地内において、空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.6 代替放射能観測設備</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する<sup>チ. (2) (iii)-30</sup>可搬型放射能観測設備は、敷地内において、空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに、ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)、ガンマ線用サーベイメータ(電離箱)(SA)、中性子線用サーベイメータ(SA)及びアルファ・ベータ線用サーベイメータ(SA)の保有数は、必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とし、可搬型ダスト・よう素サンプラ(SA)の保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<sup>チ. (2) (iii)-29</sup>は、事業変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (iii)-29</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>チ. (2) (iii)-30</sup>は、変更許可申請書(本文)の<sup>チ. (2) (iii)-30</sup>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測設備は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を観測できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用データ伝送装置は、可搬型気象観測設備の観測値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用発電機は、可搬型気象観測設備及び可搬型気象観測用データ伝送装置に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-32</span>必要数として1台<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-31</span>、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-32</span>2台の合計3台以上を確保する。</u></p>	<p>(e) 代替気象観測設備</p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測設備は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を観測できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用データ伝送装置は、可搬型気象観測設備の観測値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用発電機は、可搬型気象観測設備及び可搬型気象観測用データ伝送装置に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</u></p>	<p>6.7 代替気象観測設備</p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測設備は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を観測できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用データ伝送装置は、可搬型気象観測設備の観測値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用発電機は、可搬型気象観測設備及び可搬型気象観測用データ伝送装置に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-31</span>並びに予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを含め<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-32</span>十分な台数を確保する設計とする。</u></p>	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-31</span>は、事業変更許可申請書（本文）の<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-31</span>と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）の<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii)-32</span>は変更許可申請書（本文）の「<span style="border: 1px solid black;">チ. (2) (iii) (a) (ハ) 可搬型気象観測設備</span>」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>可搬型データ表示装置は、可搬型気象観測用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型気象観測設備の観測値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></p> <p><u>また、電源喪失により保存した記録が失われないよう、電磁的に記録、保存するとともに、必要な容量を保存できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型風向風速計は、敷地内において風向チ. (2) (iii)-33、風速を観測できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</u></p>	<p><u>可搬型データ表示装置は、可搬型気象観測用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型気象観測設備の観測値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する。</u></p> <p><u>また、電源喪失により保存した記録が失われないよう、電磁的に記録、保存するとともに、必要な容量を保存できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型風向風速計は、敷地内において風向、風速を測定できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>6.2 代替モニタリング設備</p> <p>6.2.1 代替排気モニタリング設備</p> <p><u>可搬型データ表示装置は、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型気象観測用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型ガスモニタ、可搬型環境モニタリング設備及び可搬型気象観測設備の測定値又は観測値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</u></p> <p><u>また、電源喪失により保存した記録が失われないよう、電磁的に記録、保存するとともに、必要な容量を保存できる設計とする。</u></p> <p>6.7 代替気象観測設備</p> <p><u>可搬型風向風速計は、敷地内において風向チ. (2) (iii)-33及び風速を観測できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-33は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-33と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>環境管理設備のチ. (2) (iii)-34 気象観測設備は、チ. (2) (iii)-35 風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</p> <p>屋外に保管するチ. (2) (iii)-37 環境管理設備の放射能観測車は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p>	<p>(4) 環境条件等</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p>環境管理設備の気象観測設備は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</p> <p>&lt; 中略 &gt;</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>環境管理設備の放射能観測車は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p>	<p>6.5 環境管理設備</p> <p>内的事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いるチ. (2) (iii)-34 環境管理設備は、チ. (2) (iii)-36 自然現象、人為事象、溢水及び火災により機能が損なわれる場合、チ. (2) (iii)-35 代替設備による機能の確保又は修理等の対応の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>&lt; 中略 &gt;</p> <p>屋外に保管するチ. (2) (iii)-37 放射能観測車は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>&lt; 中略 &gt;</p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-34 は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-34 と同義であり、整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-35 は、具体的な設計内容として保安規定に定めて管理することを記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-36 は事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-36 と同義であり、整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iii)-37 は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-37 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (iii)-38</u>代替放射能観測設備及び代替気象観測設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p><u>チ. (2) (iii)-39</u>環境管理設備の気象観測設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、再処理施設の敷地内の露場の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>(4) 環境条件等</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p>放射線監視設備、試料分析関係設備及び環境管理設備の気象観測設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、北換気筒管理建屋、制御建屋、周辺監視区域境界付近、分析建屋、環境管理建屋及び再処理施設の敷地内の露場の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>6.6 代替放射能観測設備</p> <p><u>チ. (2) (iii)-38</u>可搬型放射能観測設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p> <p>6.7 代替気象観測設備</p> <p>代替気象観測設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>6.5 環境管理設備</p> <p><u>チ. (2) (iii)-39</u>気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計）は内部発生飛散物の影響を考慮し、再処理施設の敷地内の露場の内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-38</u>は、変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (iii)-38</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-39</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (iii)-39</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ.(2)(iii)-40</u>代替放射能観測設備及び代替気象観測設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>代替モニタリング設備、代替試料分析関係設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、制御建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>6.6 代替放射能観測設備</p> <p><u>チ.(2)(iii)-40</u>可搬型放射能観測設備は、内部発生飛散物の影響を考慮し、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>6.7 代替気象観測設備</p> <p>代替気象観測設備は、内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の<u>チ.(2)(iii)-40</u>は、変更許可申請書（本文）の<u>チ.(2)(iii)-40</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>環境管理設備、<u>チ. (2) (iii)-41</u>代替放射能観測設備、<u>チ. (2) (iii)-42</u>代替気象観測設備のうち、<u>可搬型気象観測設備及び可搬型風向風速計は、<u>チ. (2) (iii)-43</u>再処理施設の運転中又は停止中に校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p>	<p>8.2.5 試験・検査</p> <p>放射線監視設備、試料分析関係設備、代替モニタリング設備のうち、可搬型排気モニタリング設備、可搬型環境モニタリング設備、可搬型建屋周辺モニタリング設備、代替試料分析関係設備、<u>環境管理設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備のうち、可搬型気象観測設備及び可搬型風向風速計は、再処理施設の運転中又は停止中に校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>6.5 環境管理設備</p> <p>環境管理設備は、<u>チ. (2) (iii)-43</u>通常時において、<u>重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、<u>保守等が可能な設計とする。</u></p> <p>6.6 代替放射能観測設備</p> <p><u>チ. (2) (iii)-41</u>可搬型放射能観測設備は、<u>チ. (2) (iii)-43</u>通常時において、<u>重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、<u>保守等が可能な設計とする。</u></p> <p>6.7 代替気象観測設備</p> <p><u>チ. (2) (iii)-42</u>可搬型気象観測設備及び可搬型風向風速計は、<u>チ. (2) (iii)-43</u>通常時において、<u>重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、校正、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、<u>保守等が可能な設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-43</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (iii)-43</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-41</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (iii)-41</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>チ. (2) (iii)-42</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (iii)-42</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、チ. (2) (iii)-44再処理施設の運転中又は停止中に機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>(a) 主要な設備</p> <p>(イ) <u>環境管理設備（MOX燃料加工施設と共用）（設計基準対象の施設と兼用）</u>            [常設重大事故等対処設備]  <u>気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計） 1 台</u></p>	<p>代替モニタリング設備のうち、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、<u>可搬型気象観測用データ伝送装置、可搬型気象観測用発電機及び環境モニタリング用代替電源設備は、再処理施設の運転中又は停止中に機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>(5) <u>環境管理設備（MOX燃料加工施設と共用）</u>（設計基準対象の施設と兼用）            [常設重大事故等対処設備]</p> <p>a. <u>気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計）</u>            台数 <u>1台</u></p>	<p><u>可搬型気象観測用データ伝送装置及び可搬型気象観測用発電機は、チ. (2) (iii)-44通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、取替え等が可能な設計とする。</p> <p>6.5 環境管理設備</p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する気象観測設備（風向風速計、日射計、放射収支計、雨量計）は、敷地内において風向、風速その他の気象条件を観測するために必要な計測範囲に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1台を有する設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (iii)-44は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii)-44と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																	
<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>チ. (2) (iii) (a) (i) -1 放射能観測車 1 台</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>a. チ. (2) (iii) (a) (i) -1 放射能観測車 台数 1 台</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.5 環境管理設備 (1) 計装/放管設備</p> <table border="1" data-bbox="1561 680 2697 1150"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">名称</th> <th colspan="6">放射能観測車搭載機器</th> <th rowspan="2">中性子線用 サーベイ メータ</th> <th rowspan="2">変更後 放射能観測車搭載機器 (再処理施設、MOX燃料 加工施設と共用)*2</th> </tr> <tr> <th colspan="2">空間放射線量率測定器</th> <th colspan="3">放射能測定器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検出器の 種類</td> <td>—</td> <td>NaI(Tl)シン チレーショ ン式検出器</td> <td>電離箱式検 出器</td> <td>ZnS(Ag)シン チレーショ ン式検出器</td> <td>プラスチッ クシンチレ ーション式 検出器</td> <td>NaI(Tl)シン チレーショ ン式検出器</td> <td><sup>3</sup>He比例計数 管</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>—</td> <td>B. G. ~10 μ Gy/h</td> <td>B. G. ~300000 μ Gy/h</td> <td>0.01~10000 s<sup>-1</sup></td> <td>0.01~10000 s<sup>-1</sup></td> <td>0.1~50000 s<sup>-1</sup></td> <td>0.01~10000 μ Sv/h</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td colspan="6">保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所(屋外 環境管理建屋近傍) T. M. S. L約53.50m(1台)</td> <td>取付箇所：—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：放射能観測車搭載機器は、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>	名称		放射能観測車搭載機器						中性子線用 サーベイ メータ	変更後 放射能観測車搭載機器 (再処理施設、MOX燃料 加工施設と共用)*2	空間放射線量率測定器		放射能測定器			検出器の 種類	—	NaI(Tl)シン チレーショ ン式検出器	電離箱式検 出器	ZnS(Ag)シン チレーショ ン式検出器	プラスチッ クシンチレ ーション式 検出器	NaI(Tl)シン チレーショ ン式検出器	<sup>3</sup> He比例計数 管	変更なし	計測範囲	—	B. G. ~10 μ Gy/h	B. G. ~300000 μ Gy/h	0.01~10000 s <sup>-1</sup>	0.01~10000 s <sup>-1</sup>	0.1~50000 s <sup>-1</sup>	0.01~10000 μ Sv/h	個数	—	1	1	1	1	1	1	取付箇所	設置床	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所(屋外 環境管理建屋近傍) T. M. S. L約53.50m(1台)						取付箇所：—	<p>設工認のチ. (2) (iii) (a) (i) -1は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii) (a) (i) -1と同義であり整合している。</p>	<p>チ. (2) (iii) (a) (i) -1</p>
名称		放射能観測車搭載機器						中性子線用 サーベイ メータ	変更後 放射能観測車搭載機器 (再処理施設、MOX燃料 加工施設と共用)*2																																												
		空間放射線量率測定器		放射能測定器																																																	
検出器の 種類	—	NaI(Tl)シン チレーショ ン式検出器	電離箱式検 出器	ZnS(Ag)シン チレーショ ン式検出器	プラスチッ クシンチレ ーション式 検出器	NaI(Tl)シン チレーショ ン式検出器	<sup>3</sup> He比例計数 管	変更なし																																													
計測範囲	—	B. G. ~10 μ Gy/h	B. G. ~300000 μ Gy/h	0.01~10000 s <sup>-1</sup>	0.01~10000 s <sup>-1</sup>	0.1~50000 s <sup>-1</sup>	0.01~10000 μ Sv/h																																														
個数	—	1	1	1	1	1	1																																														
取付箇所	設置床	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所(屋外 環境管理建屋近傍) T. M. S. L約53.50m(1台)							取付箇所：—																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>(ロ) <u>代替放射能観測設備</u> <u>可搬型放射能観測設備</u> <u>(MOX燃料加工施設と共用)</u> [可搬型重大事故等対処設備] <u>ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)</u> <u>チ. (2) (iii) (a) (ロ)-1 2台(予備として故障時のバックアップを1台)</u></p>	<p>(6) <u>代替放射能観測設備</u> a. <u>可搬型放射能観測設備</u> <u>(MOX燃料加工施設と共用)</u> [可搬型重大事故等対処設備] (a) <u>ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)</u> 種類 <u>NaI(Tl)シンチレーション式検出器</u> 計測範囲 <u>B. G. ~30<math>\mu</math>Sv/h, 0~30ks<sup>-1</sup></u> 台数 <u>2台(予備として故障時のバックアップを1台)</u></p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.6 <u>代替放射能観測設備</u> 1.6.1 <u>可搬型放射能観測設備</u> (1) <u>計装/放管設備</u></p> <table border="1" data-bbox="1584 894 2644 1520"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>-</td> <td><u>ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)</u> (再処理施設, <u>MOX燃料加工施設と共用</u>)*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>B. G. ~30<math>\mu</math>Sv/h, 0~30ks<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td><u>1(予備として故障時のバックアップを1台)</u></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) [ 取付箇所: - ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。</p>			変更前	変更後	名称		-	<u>ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)</u> (再処理施設, <u>MOX燃料加工施設と共用</u> )*1	検出器の種類	-	-	NaI(Tl)シンチレーション式検出器	計測範囲	-	-	B. G. ~30 $\mu$ Sv/h, 0~30ks <sup>-1</sup>	個数	-	-	<u>1(予備として故障時のバックアップを1台)</u>	取付箇所	設置床	-	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) [ 取付箇所: - ]	<p>設工認のチ. (2) (iii) (a) (ロ)-1は, 事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii) (a) (ロ)-1と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																									
名称		-	<u>ガンマ線用サーベイメータ(NaI(Tl)シンチレーション)(SA)</u> (再処理施設, <u>MOX燃料加工施設と共用</u> )*1																									
検出器の種類	-	-	NaI(Tl)シンチレーション式検出器																									
計測範囲	-	-	B. G. ~30 $\mu$ Sv/h, 0~30ks <sup>-1</sup>																									
個数	-	-	<u>1(予備として故障時のバックアップを1台)</u>																									
取付箇所	設置床	-	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) [ 取付箇所: - ]																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>ガンマ線用サーベイメータ（電離箱）（S A）</p> <p>チ. (2) (iii) (a) (v)-2 2 台（予備として故障時のバックアップを1台）</p>	<p>(b) ガンマ線用サーベイメータ（電離箱）（S A）</p> <p>種類 電離箱式検出器</p> <p>計測範囲 0.001~300mSv/h</p> <p>台数 2台（予備として故障時のバックアップを1台）</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1567 688 2674 1318"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">ガンマ線用サーベイメータ（電離箱）（SA） （再処理施設、MOX燃料加工施設と共用）*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">電離箱式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>mSv/h</td> <td>—</td> <td colspan="2">0.001~300</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">1（予備として故障時のバックアップを1台）</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>チ. (2) (iii) (a) (v)-2</td> <td>                     保管場所：                      可搬型重大事故等対処設備保管場所                      （G13-W0118）T. M. S. L. 約55.15m（1台）                      可搬型重大事故等対処設備保管場所                      （G14-W0114）T. M. S. L. 約48.65m（1台）                      取付箇所：—                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：ガンマ線用サーベイメータ（電離箱）は、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>			変更前	変更後		名称		—	ガンマ線用サーベイメータ（電離箱）（SA） （再処理施設、MOX燃料加工施設と共用）*1		検出器の種類	—	—	電離箱式検出器		計測範囲	mSv/h	—	0.001~300		個数	—	—	1（予備として故障時のバックアップを1台）		取付箇所	設置床	—	チ. (2) (iii) (a) (v)-2	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 （G13-W0118）T. M. S. L. 約55.15m（1台） 可搬型重大事故等対処設備保管場所 （G14-W0114）T. M. S. L. 約48.65m（1台） 取付箇所：—	<p>設工認のチ. (2) (iii) (a) (v)-2は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iii) (a) (v)-2と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		—	ガンマ線用サーベイメータ（電離箱）（SA） （再処理施設、MOX燃料加工施設と共用）*1																															
検出器の種類	—	—	電離箱式検出器																															
計測範囲	mSv/h	—	0.001~300																															
個数	—	—	1（予備として故障時のバックアップを1台）																															
取付箇所	設置床	—	チ. (2) (iii) (a) (v)-2	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 （G13-W0118）T. M. S. L. 約55.15m（1台） 可搬型重大事故等対処設備保管場所 （G14-W0114）T. M. S. L. 約48.65m（1台） 取付箇所：—																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>中性子線用サーベイメータ（SA）  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チ. (2) (iii) (a) (v)-3</span> 2 台（予備として故障時のバックアップを1台）。</p>	<p>(c) 中性子線用サーベイメータ（SA）            種類 <math>^3\text{He}</math> 計数管            計測範囲 0.01~10,000 <math>\mu\text{Sv/h}</math>            台数 2台（予備として故障時のバックアップを1台）。</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">中性子線用サーベイメータ(SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検出器の種類</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2" style="text-align: center;"><math>^3\text{He}</math>比例計数管</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計測範囲</td> <td style="text-align: center;"><math>\mu\text{Sv/h}</math></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.01~10,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1(予備として故障時のバックアップを1台)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取付箇所</td> <td style="text-align: center;">設置床</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">           保管場所：            可搬型重大事故等対処設備保管場所            (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台)            可搬型重大事故等対処設備保管場所            (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台)            〔 取付箇所： - 〕         </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：中性子線用サーベイメータ(SA)は、再処理施設にて設備登録を行っている。</p>			変更前	変更後		名称		-	中性子線用サーベイメータ(SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		検出器の種類	-	-	$^3\text{He}$ 比例計数管		計測範囲	$\mu\text{Sv/h}$	-	0.01~10,000		個数	-	-	1(予備として故障時のバックアップを1台)		取付箇所	設置床	-	-	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) 〔 取付箇所： - 〕	<p>設工認の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チ. (2) (iii) (a) (v)-3</span>は、事業変更許可申請書（本文）の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チ. (2) (iii) (a) (v)-3</span>と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		-	中性子線用サーベイメータ(SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1																															
検出器の種類	-	-	$^3\text{He}$ 比例計数管																															
計測範囲	$\mu\text{Sv/h}$	-	0.01~10,000																															
個数	-	-	1(予備として故障時のバックアップを1台)																															
取付箇所	設置床	-	-	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) 〔 取付箇所： - 〕																														

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付資料六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																														
<p>アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA)</p> <p>チ. (2) (iii) (a) (v)-4 2 台 (予備として故障時のバックアップを1台)</p>	<p>(d) アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA)</p> <p>種類 ZnS (Ag) シンチレーション式検出器</p> <p>プラスチックシンチレーション式検出器</p> <p>計測範囲 B. G. <math>\sim 100 \text{ km i n}^{-1}</math> (アルファ線)</p> <p>B. G. <math>\sim 300 \text{ km i n}^{-1}</math> (ベータ線)</p> <p>台数 2 台 (予備として故障時のバックアップを1台)</p>	<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1602 592 2653 1184"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>-</td> <td colspan="2">アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>ZnS (Ag) シンチレーション式検出器</td> <td>プラスチックシンチレーション式検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td><math>\text{min}^{-1}</math></td> <td>-</td> <td>B. G. <math>\sim 100\text{k}</math></td> <td>B. G. <math>\sim 300\text{k}</math></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td colspan="2">1 (予備として故障時のバックアップを1台)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>                     保管場所:                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (1台)                      可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (1台)                      取付箇所: -                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>チ. (2) (iii) (a) (v)-4</p>			変更前	変更後		名称		-	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		検出器の種類	-	-	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器	計測範囲	$\text{min}^{-1}$	-	B. G. $\sim 100\text{k}$	B. G. $\sim 300\text{k}$	個数		-	1 (予備として故障時のバックアップを1台)		取付箇所	設置床	-	-	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (1台) 取付箇所: -	<p>設工認のチ. (2) (iii) (a) (v)-4は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii) (a) (v)-4と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																															
名称		-	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1																															
検出器の種類	-	-	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器																														
計測範囲	$\text{min}^{-1}$	-	B. G. $\sim 100\text{k}$	B. G. $\sim 300\text{k}$																														
個数		-	1 (予備として故障時のバックアップを1台)																															
取付箇所	設置床	-	-	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (1台) 取付箇所: -																														

注記 \*1: アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) は、再処理施設にて設備登録を行っている。

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>可搬型ダスト・よう素サンプラ (SA) 2 台 (予備として故障時のバックアップを1台)</p> <p>(ハ) 代替気象観測設備 [可搬型重大事故等対処設備] 可搬型気象観測設備 条. (2) (iii) (a) (ハ)-1 (風向風速計, 日射計, 放射収支計, 雨量計) (MOX燃料加工施設と共用) 3 台 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p>	<p>(e) 可搬型ダスト・よう素サンプラ (SA) 台数 2台 (予備として故障時のバックアップを1台)</p> <p>(7) 代替気象観測設備 [可搬型重大事故等対処設備] a. 可搬型気象観測設備 (風向風速計, 日射計, 放射収支計, 雨量計) (MOX燃料加工施設と共用) 台数 3台 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.6 代替放射能観測設備 MOX燃料加工施設と共用する可搬型放射能観測設備は, 敷地内において, 空気中の放射性物質の濃度及び線量を測定するために必要なサンプリング量及び計測範囲を有する設計とするとともに, ガンマ線用サーベイメータ (NaI (Tl) シンチレーション) (SA), ガンマ線用サーベイメータ (電離箱) (SA), 中性子線用サーベイメータ (SA) 及びアルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) の保有数は, 必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とし, 可搬型ダスト・よう素サンプラ (SA) の保有数は, 必要数として1台, 予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>6.7 代替気象観測設備 MOX燃料加工施設と共用する 条. (2) (iii) (a) (ハ)-1 可搬型気象観測設備は, 敷地内において風向, 風速その他の気象条件を観測できる設計とするとともに, 保有数は, 必要数として1台, 予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する設計とする。</p>	<p>設工認の 条. (2) (iii) (a) (ハ)-1 は, 事業変更許可申請書 (本文) の 条. (2) (iii) (a) (ハ)-1 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>可搬型気象観測用データ伝送装置(MOX燃料加工施設と共用) 2台(予備として故障時のバックアップを1台)</p> <p>可搬型データ表示装置 ち.(2)(iii)(a)(ハ)-2(代替モニタリング設備と兼用) 2台(予備として故障時のバックアップを1台)</p>	<p>b. 可搬型気象観測用データ伝送装置(MOX燃料加工施設と共用) 台数 2台(予備として故障時のバックアップを1台)</p> <p>c. 可搬型データ表示装置(代替モニタリング設備と兼用) 台数 2台(予備として故障時のバックアップを1台)</p>	<p>MOX燃料加工施設と共用する可搬型気象観測用データ伝送装置は、可搬型気象観測設備の観測値を衛星通信により中央制御室及び緊急時対策所に伝送できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</p> <p>6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 可搬型データ表示装置は、ち.(2)(iii)(a)(ハ)-2可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置及び可搬型気象観測用データ伝送装置から衛星通信により伝送される可搬型ガスモニタ、可搬型環境モニタリング設備及び可搬型気象観測設備の測定値又は観測値を指示できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時のバックアップを1台の合計2台以上を確保する設計とする。</p>	<p>設工認のち.(2)(iii)(a)(ハ)-2は、変更許可申請書(本文)のち.(2)(iii)(a)(ハ)-2を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																	
<p>可搬型気象観測用発電機(MOX燃料加工施設と共用)</p> <p>チ. (2) (iii) (a) (ハ)-3 3 台 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p>	<p>d. 可搬型気象観測用発電機 (MOX燃料加工施設と共用)</p> <p>台数 3台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p> <p>容量 約3kVA/台</p>	<p>【放射線管理施設】 (仕様表)</p> <p>1.7 代替気象観測設備 (1) 発電機</p> <table border="1" data-bbox="1531 443 2151 1224"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型気象観測用発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>870*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>585*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>857*2</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>単相</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>自由通風</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>9.4以上(15*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1531 1247 2151 1478"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>チ. (2) (iii) (a) (ハ)-3</td> <td></td> <td>保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (2台)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>取付箇所：—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：可搬型気象観測用発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型気象観測用発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1	種類	—	回転界磁形同期発電機	容量	kVA/台	3.1	主要寸法	幅	mm	870*2	奥行	mm	585*2	高さ	mm	857*2	力率	%	100	電圧	V	100	相	—	単相	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	結線法	—	星形	冷却方法	—	自由通風	機関	種類	—	4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン	出力	kW/個	5.5	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	燃料	種類	—	軽油	使用量	l/h/個	1.4	個数	—	1	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	9.4以上(15*2)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	—	SECC				変更前	変更後	個数	—		1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)	取付箇所	チ. (2) (iii) (a) (ハ)-3		保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (2台)	設置床	—	取付箇所：—	<p>設工認のチ. (2) (iii) (a) (ハ)-3は、事業変更許可申請書(本文)のチ. (2) (iii) (a) (ハ)-3と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																		
発電機	名称		可搬型気象観測用発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1																																																																																																		
	種類	—	回転界磁形同期発電機																																																																																																		
	容量	kVA/台	3.1																																																																																																		
	主要寸法	幅	mm	870*2																																																																																																	
		奥行	mm	585*2																																																																																																	
		高さ	mm	857*2																																																																																																	
	力率	%	100																																																																																																		
	電圧	V	100																																																																																																		
	相	—	単相																																																																																																		
	周波数	Hz	50																																																																																																		
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																																		
	結線法	—	星形																																																																																																		
	冷却方法	—	自由通風																																																																																																		
機関	種類	—	4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン																																																																																																		
	出力	kW/個	5.5																																																																																																		
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																																		
	燃料	種類	—	軽油																																																																																																	
		使用量	l/h/個	1.4																																																																																																	
個数	—	1																																																																																																			
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																																		
	容量	L/個	9.4以上(15*2)																																																																																																		
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																																		
	最高使用温度	℃	40																																																																																																		
主要材料	—	SECC																																																																																																			
		変更前	変更後																																																																																																		
個数	—		1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)																																																																																																		
取付箇所	チ. (2) (iii) (a) (ハ)-3		保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m (2台)																																																																																																		
	設置床	—	取付箇所：—																																																																																																		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p data-bbox="350 478 866 556">可搬型風向風速計 3 台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p> <p data-bbox="350 835 866 1003">監視測定用運搬車 〔チ. (2) (iii) (a) (ハ)-4 (代替モニタリング設備と兼用) 3 台 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)〕</p>	<p data-bbox="923 478 1507 598">e. 可搬型風向風速計 台数 3台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)</p> <p data-bbox="923 835 1507 1003">i. 監視測定用運搬車 (MOX燃料加工施設と共用) 台数 7台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを4台)</p>	<p data-bbox="1537 302 2151 688">(基本設計方針) 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.7 代替気象観測設備 可搬型風向風速計は、敷地内において風向及び風速を観測できる設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する設計とする。</p> <p data-bbox="1792 751 1896 779">&lt;中略&gt;</p> <p data-bbox="1537 842 2151 1094">6.2 代替モニタリング設備 MOX燃料加工施設と共用する監視測定用運搬車の保有数は、〔チ. (2) (iii) (a) (ハ)-4〕必要数として3台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを4台の合計7台以上を確保する設計とする。</p> <p data-bbox="1537 1157 2151 1318">6.2.2 代替環境モニタリング設備 監視測定用運搬車は〔チ. (2) (iii) (a) (ハ)-4〕代替排気モニタリング設備と兼用する設計とする。</p>	<p data-bbox="2181 842 2436 1094">設工認の〔チ. (2) (iii) (a) (ハ)-4〕は、事業変更許可申請書（本文）の〔チ. (2) (iii) (a) (ハ)-4〕と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(iv) 環境モニタリング用代替電源設備  <u>重大事故等時において、非常用所内電源系統から環境モニタリング設備のチ. (2) (iv)-1電源が喪失した場合に、代替電源から給電するため、環境モニタリング用代替電源設備を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</u></p> <p>環境モニタリング用代替電源設備は、環境モニタリング用可搬型発電機及び監視測定用運搬車で構成する。</p>	<p>8.2.2 設計方針            (3) 個数及び容量            b. 可搬型重大事故等対処設備            (f) <u>環境モニタリング用代替電源設備</u>  <u>MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング用代替電源設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを10台の合計19台以上を確保する。</u></p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備            (1) 系統構成  <u>代替モニタリング設備、代替試料分析関係設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備、環境モニタリング用代替電源設備を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</u></p> <p>8.2.4 系統構成及び主要設備            (1) 系統構成  <u>環境モニタリング用代替電源設備は、環境モニタリング用可搬型発電機及び監視測定用運搬車で構成する。</u></p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>6.8 環境モニタリング用代替電源設備  <u>重大事故等時において、非常用所内電源系統から環境モニタリング設備へのチ. (2) (iv)-1給電が喪失した場合に、代替電源から給電するため、環境モニタリング用代替電源設備を可搬型重大事故等対処設備として設ける設計とする。</u></p> <p>環境モニタリング用代替電源設備は、環境モニタリング用可搬型発電機及び監視測定用運搬車で構成する。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>設工認のチ. (2) (iv)-1は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (iv)-2環境モニタリング用代替電源設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>共用するチ. (2) (iv)-3環境モニタリング用代替電源設備は、チ. (2) (iv)-4給電先が共用する環境モニタリング設備であり、必要となる電力及び燃料が増加するものではないことから、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>(2) 主要設備</p> <p>h. 環境モニタリング用代替電源設備 環境モニタリング用可搬型発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング用可搬型発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>チ. (2) (iv)-2環境モニタリング用可搬型発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用するチ. (2) (iv)-3環境モニタリング用可搬型発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、十分な容量及び台数を確保することで、チ. (2) (iv)-4共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iv)-2は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-2を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iv)-3は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-3を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iv)-4は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-4と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>設計基準対象の施設と兼用する電気設備の一部である受電開閉設備等を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリを可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>放射線監視設備, 試料分析関係設備及び環境管理設備の常設重大事故等対処設備に給電するための, 受電開閉設備, 所内高圧系統, 所内低圧系統及び計測制御用交流電源設備については, 「リ. (1)(i) 電気設備」に, 環境モニタリング用可搬型発電機へ給油するための補機駆動用燃料補給設備については, 「リ. (4)(vii) 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p>			<p>変更許可申請書（本文）「リ. (1)(i) 電気設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ. (4)(vii) 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「リ. (4)(vii) 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>変更許可申請書（本文）「リ. (1)(i) 電気設備」及び「リ. (4)(vii) 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ. (2) (iv)-5環境モニタリング用代替電源設備は、チ. (2) (iv)-6放射線監視設備の環境モニタリング設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>8.2.2 設計方針</p> <p>(1) 多様性，位置的分散</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>代替モニタリング設備のうち、可搬型環境モニタリング設備、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、代替放射能観測設備、代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備又は環境管理設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を放射線監視設備の環境モニタリング設備及び環境管理設備が設置される周辺監視区域境界付近、環境管理建屋近傍及び再処理施設の敷地内の露場から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>6.8 環境モニタリング用代替電源設備</p> <p>チ. (2) (iv)-5環境モニタリング用可搬型発電機は、共通要因によって環境モニタリング設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量をチ. (2) (iv)-6環境モニタリング設備が設置される周辺監視区域境界付近から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p>	<p>設工認のチ. (2) (iv)-5は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-5を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iv)-6は、事業変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-6と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>MOX燃料加工施設と共用する[チ.(2)(iv)-7]環境モニタリング用代替電源設備は、[チ.(2)(iv)-8]放射線監視設備の環境モニタリング設備に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、[チ.(2)(iv)-9]必要数として9台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを10台の合計19台以上を確保する。</p>	<p>(3) 数量及び容量            b. 可搬型重大事故等対処設備            (f) 環境モニタリング用代替電源設備            MOX燃料加工施設と共用する環境モニタリング用代替電源設備は、放射線監視設備の環境モニタリング設備に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として9台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを10台の合計19台以上を確保する。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>6.8 環境モニタリング用代替電源設備            MOX燃料加工施設と共用する[チ.(2)(iv)-7]環境モニタリング用可搬型発電機は、[チ.(2)(iv)-8]環境モニタリング設備に給電できる容量を有する設計とするとともに、保有数は、[チ.(2)(iv)-9]必要数並びに予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 中略 &gt;</p>	<p>設工認の[チ.(2)(iv)-7]は、変更許可申請書（本文）の[チ.(2)(iv)-7]を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の[チ.(2)(iv)-8]は、事業変更許可申請書（本文）の[チ.(2)(iv)-8]と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）の[チ.(2)(iv)-9]は変更許可申請書（本文）の「[チ.(2)(iv)(a)(イ) 環境モニタリング用代替電源設備]」に示す。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>チ. (2) (iv)-10環境モニタリング用代替電源設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>チ. (2) (iv)-11環境モニタリング用代替電源設備は内部発生飛散物の影響を考慮し、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>チ. (2) (iv)-12環境モニタリング用代替電源設備は、環境モニタリング設備と容易かつ確実に接続できるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</u></p>	<p>(4) 環境条件等</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p><u>代替放射能観測設備, 代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt; 中略 &gt;</p> <p><u>代替モニタリング設備, 代替試料分析関係設備, 代替放射能観測設備, 代替気象観測設備及び環境モニタリング用代替電源設備は、内部発生飛散物の影響を考慮し、主排気筒管理建屋, 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋, 制御建屋, 第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>&lt; 中略 &gt;</p> <p>(5) 操作性の確認</p> <p><u>環境モニタリング用代替電源設備は、環境モニタリング設備と容易かつ確実に接続できるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</u></p>	<p><u>チ. (2) (iv)-10環境モニタリング用可搬型発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風(台風)等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>チ. (2) (iv)-11環境モニタリング用可搬型発電機は、内部発生飛散物の影響を考慮し、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>チ. (2) (iv)-12環境モニタリング用可搬型発電機は、環境モニタリング設備と容易かつ確実に接続できるよう、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</u></p>	<p>設工認のチ. (2) (iv)-10は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-10を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iv)-11は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-11を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ. (2) (iv)-12は、変更許可申請書（本文）のチ. (2) (iv)-12を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>チ.(2)(iv)-13環境モニタリング用代替電源設備は、チ.(2)(iv)-14再処理施設の運転中又は停止中に機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>8.2.5 試験・検査</p> <p>代替モニタリング設備のうち、可搬型排気モニタリング用データ伝送装置、可搬型データ表示装置、可搬型排気モニタリング用発電機、可搬型環境モニタリング用データ伝送装置、可搬型環境モニタリング用発電機、可搬型気象観測用データ伝送装置、可搬型気象観測用発電機及び環境モニタリング用代替電源設備は、再処理施設の運転中又は停止中に機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>チ.(2)(iv)-13環境モニタリング用可搬型発電機は、チ.(2)(iv)-14通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、機能の確認、性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>また、当該機能を健全に維持するため、取替え等が可能な設計とする。</p>	<p>設工認のチ.(2)(iv)-13は、変更許可申請書（本文）のチ.(2)(iv)-13を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のチ.(2)(iv)-14は、事業変更許可申請書（本文）のチ.(2)(iv)-14と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																													
<p>(a) 主要な設備</p> <p>(イ) 環境モニタリング用代替電源設備 [可搬型重大事故等対処設備] 環境モニタリング用可搬型発電機(MOX燃料加工施設と共用) チ.(2)(iv)(a)(イ)-1 19台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台) 容量チ.(2)(iv)(a)(イ)-2 約5 kVA/台</p>	<p>(8) 環境モニタリング用代替電源設備 [可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>a. 環境モニタリング用可搬型発電機(MOX燃料加工施設と共用) 台数 19台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台) 容量 約5 kVA/台</p>	<p>【放射線管理施設】（仕様表）</p> <p>1.8 環境モニタリング用代替電源設備 (1) 発電機</p> <table border="1" data-bbox="1543 478 2145 1241"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>環境モニタリング用可搬型発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1220*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>610*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>720*2</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>-</td> <td>三相</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>-</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>-</td> <td>自由通風</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">機関</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>4サイクル水冷立形ディーゼルエンジン</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>14.1以上(26*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>SECC</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1543 1276 2145 1486"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>個数</td> <td>-</td> <td>9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T.M.S.L.約48.65m(10台) [ 取付箇所: - ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 環境モニタリング用可搬型発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2: 公称値を示す。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		環境モニタリング用可搬型発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1	種類	-	回転界磁形同期発電機	容量	kVA/台	6.5	主要寸法	幅	mm	1220*2	奥行	mm	610*2	高さ	mm	720*2	力率	%	80	電圧	V	200	相	-	三相	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	結線法	-	星形	冷却方法	-	自由通風	機関	種類	-	4サイクル水冷立形ディーゼルエンジン	出力	kW/個	6.8	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000	燃料	種類	-	軽油	使用量	l/h/個	2.1	個数	-	1	燃料タンク	種類	-	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	14.1以上(26*2)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40		主要材料	-	SECC			変更前	変更後	取付箇所	個数	-	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)	設置床	-	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T.M.S.L.約48.65m(10台) [ 取付箇所: - ]	<p>チ.(2)(iv)(a)(イ)-2</p> <p>設工認のチ.(2)(iv)(a)(イ)-2は、事業変更許可申請書（本文）のチ.(2)(iv)(a)(イ)-2と同義であり整合している。</p> <p>チ.(2)(iv)(a)(イ)-1</p> <p>設工認のチ.(2)(iv)(a)(イ)-1は、事業変更許可申請書（本文）のチ.(2)(iv)(a)(イ)-1と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																														
発電機	名称		環境モニタリング用可搬型発電機 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用)*1																																																																																														
	種類	-	回転界磁形同期発電機																																																																																														
	容量	kVA/台	6.5																																																																																														
	主要寸法	幅	mm	1220*2																																																																																													
		奥行	mm	610*2																																																																																													
		高さ	mm	720*2																																																																																													
	力率	%	80																																																																																														
	電圧	V	200																																																																																														
	相	-	三相																																																																																														
	周波数	Hz	50																																																																																														
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																														
	結線法	-	星形																																																																																														
	冷却方法	-	自由通風																																																																																														
機関	種類	-	4サイクル水冷立形ディーゼルエンジン																																																																																														
	出力	kW/個	6.8																																																																																														
	回転速度	min <sup>-1</sup>	3000																																																																																														
	燃料	種類	-	軽油																																																																																													
		使用量	l/h/個	2.1																																																																																													
個数	-	1																																																																																															
燃料タンク	種類	-	鋼板溶接製箱形																																																																																														
	容量	L/個	14.1以上(26*2)																																																																																														
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																														
	最高使用温度	℃	40																																																																																														
	主要材料	-	SECC																																																																																														
		変更前	変更後																																																																																														
取付箇所	個数	-	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)																																																																																														
	設置床	-	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T.M.S.L.約48.65m(10台) [ 取付箇所: - ]																																																																																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>監視測定用運搬車（<u>チ. (2) (iv) (a) (i)-3</u> 代替モニタリング設備と兼用） 7 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを4台）</p>	<p>b. 監視測定用運搬車（代替モニタリング設備と兼用） 台数 7台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを4台）</p>	<p>（基本設計方針） 第2章 個別項目 6. 放射線管理施設 6.2 代替モニタリング設備 6.2.1 代替排気モニタリング設備 MOX燃料加工施設と共用する監視測定用運搬車の保有数は、必要数として3台、予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを4台の合計7台以上を確保する設計とする。  6.2.2 代替環境モニタリング設備 監視測定用運搬車は<u>チ. (2) (iv) (a) (i)-3</u> 代替排気モニタリング設備と兼用する設計とする。 可搬型環境モニタリング設備は、周辺監視区域において、線量を測定するとともに、空気中の放射性物質を連続的に捕集及び測定する設計とする。 可搬型建屋周辺モニタリング設備は、重大事故等が発生した場合に、重大事故等の対処を行う前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の周辺における線量当量率並びに出入管理室を設置する出入管理建屋、低レベル廃棄物処理建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋の周辺における空気中の放射性物質の濃度及び線量当量率を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録できるように、測定値を指示する設計とする。  &lt;中略&gt;</p>	<p>設工認の<u>チ. (2) (iv) (a) (i)-3</u>は、変更許可申請書（本文）の<u>チ. (2) (iv) (a) (i)-3</u>を具体的に記載してお</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付資料六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>放射線管理施設の対象となる主要な設備について、「第1-6表 放射線管理施設の主要設備リスト」に示す。</p> <p>本設備の設備として兼用する場合に主要設備リストに記載されない設備については、「第2-6表 放射線管理施設の兼用設備リスト」に示す。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. その他再処理設備の附属施設の構造及び設備            (1) 動力装置及び非常用動力装置の構造及び設備            (i) 電気設備            (a) 構造            (イ) 設計基準対象の施設  <u>再処理施設の電力は、外部から154k V送電線2回線で受電し、所要の電圧に降圧し再処理施設へ給電する設計とする。</u></p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ①送電線2回線の停止時に備えて、非常用ディーゼル発電機、非常用蓄電池、燃料貯蔵設備等で構成する非常用電源設備及びその附属設備を設置する。非常用ディーゼル発電機として、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋に第1非常用ディーゼル発電機を、非常用電源建屋に第2非常用ディーゼル発電機を設置する。</u></p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ②また、非常用蓄電池として、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋に第1非常用蓄電池を、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設以外の建屋で非常用電源を必要とする建屋に第2非常用蓄電池を設置する。</u></p> <p><u>さらに、燃料貯蔵設備として、第1非常用ディーゼル発電機用に重油タンクを、第2非常用ディーゼル発電機用に燃料油貯蔵タンクを設置する。</u></p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ③重油タンク及び燃料油貯蔵タンクは、7日間の外部電源喪失を仮定しても、設計基準事故に対処するために必要な第1非常用ディーゼル発電機2台及び第2非常用ディーゼル発電機2台をそれぞれ7日間運転することにより必要とする電力を供給できる容量以上の燃料を事業所内に貯蔵する設計とする。</u></p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ④非常用電源設備及びその附属設備は、多重性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する機械又は器具の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において安全上重要な施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために7日間の外部電源喪失を仮定しても、非常用デ</u></p>	<p>再処理施設の電力は、東北電力ネットワーク株式会社電力系統の154k V送電線2回線（約30km先の上北変電所から六ヶ所変電所を経由）から受電開閉設備で受電し、受電変圧器を通して6.9k Vに降圧した後、再処理施設へ給電する設計とする。</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設並びに非常用電源建屋に非常用ディーゼル発電機を設けるとともに、安全上重要な施設を有する建屋に非常用蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設並びに非常用電源建屋に非常用ディーゼル発電機を設けるとともに、安全上重要な施設を有する建屋に非常用蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電機は、7日間の外部電源喪失を仮定しても電力を供給できるよう、7日間以上連続運転できる燃料貯蔵設備を敷地内に設け、非常用ディーゼル発電機の燃料油系により、運転時に連続して燃料を供給できる設計とする。</p> <p>非常用所内電源系統は、安全上重要な負荷等への電源として、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通原因により機能を失うことなく、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保できる設計とする。非常用所内電源系統のみの運転下又は外部電源系統のみの運転下で、単一故障を仮定しても、安全上重要な施設の安全機能を失うことのない設計とする。</p>	<p>7.1.1.1 受電開閉設備  <u>再処理施設の電力は、外部から154k V送電線2回線で受電し、所要の電圧に降圧し再処理施設へ給電する設計とする。</u></p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ①送電線2回線の停止時に備えて、非常用ディーゼル発電機、非常用蓄電池、燃料貯蔵設備等で構成する非常用電源設備及びその附属設備を設置する設計とする。</u></p> <p>7.1.1.5 ディーゼル発電機  <u>リ. (1) (i) (イ) ①非常用ディーゼル発電機として、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋に第1非常用ディーゼル発電機を、非常用電源建屋に第2非常用ディーゼル発電機を設置する設計とする。</u></p> <p>7.1.1.6 直流電源設備  <u>リ. (1) (i) (イ) ②非常用蓄電池として、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋に第1非常用蓄電池を、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設以外の建屋で非常用電源を必要とする建屋に第2非常用蓄電池を設置する設計とする。</u></p> <p>7.1.1.5 ディーゼル発電機  <u>燃料貯蔵設備として、第1非常用ディーゼル発電機用に重油タンクを、第2非常用ディーゼル発電機用に燃料油貯蔵タンクを設置する設計とする。</u></p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ③重油タンク及び燃料油貯蔵タンクは、7日間の外部電源喪失を仮定しても、設計基準事故に対処するために必要な第1非常用ディーゼル発電機及び第2非常用ディーゼル発電機をそれぞれ7日間運転することにより必要とする電力を供給できる容量以上の燃料を事業所内に貯蔵する設計とする。</u></p> <p>7.1.1 電気設備  <u>リ. (1) (i) (イ) ④再処理施設の非常用電源設備及びその附属設備（非常用所内電源設備（非常用ディーゼル発電機、非常用蓄電池、燃料貯蔵設備等）及び安全上重要な施設への電力供給設備（非常用メタルクラッド開閉装置、非常用パワーセンタ、非常用コントロールセンタ、ケーブル）は、多重性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する機械又は器具の単一故</u></p>	<p>設計及び工事の計画の<u>リ. (1) (i) (イ) ①</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (i) (イ) ①</u>と同義であり整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>リ. (1) (i) (イ) ②</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (i) (イ) ②</u>と同義であり整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>リ. (1) (i) (イ) ③</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (i) (イ) ③</u>と同義であり整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>リ. (1) (i) (イ) ④</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (i) (イ) ④</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>ディーゼル発電機の連続運転により電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>非常用所内電源系統を構成する第1非常用ディーゼル発電機は、電源復旧までの期間、モニタリングポスト及びダストモニタに、給電できる設計とする。</p> <p>モニタリングポスト及びダストモニタは、「チ.放射線管理施設の設備」に記載する。</p> <p><u>リ. (1) (i) (イ) ⑤電気設備の一部は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用し、再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の機器配置概要図を第52図～第58図に示す。</p> <p>非常用電源建屋の機器配置概要図を第179図～第182図に示す。</p>	<p>これらにより、その系統を構成する機器の単一故障が発生した場合にも、機能が確保できる設計とする。なお、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋には第1非常用ディーゼル発電機及び第1非常用蓄電池を、再処理施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設を除く。）には第2非常用ディーゼル発電機及び第2非常用蓄電池を各々異なる区画に設置する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電機は、7日間の外部電源喪失を仮定しても電力を供給できるよう、7日間以上連続運転できる燃料貯蔵設備を敷地内に設け、非常用ディーゼル発電機の燃料油系により、運転時に連続して燃料を供給できる設計とする。</p> <p>再処理施設は廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設との共用によって安全機能を有する施設への電力の供給が停止することがないように、機器の損壊、故障その他の異常を検知した場合、常用主母線又は運転予備用主母線の遮断器により故障箇所を隔離し、故障による影響を局所化し、他の安全機能への影響を限定するとともに、受電変圧器については、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設への給電を考慮しても十分な容量を有することから、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p><u>障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において安全上重要な施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するため、7日間の外部電源喪失を仮定しても非常用ディーゼル発電機の連続運転により電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>7.1.1.1 受電開閉設備  <u>リ. (1) (i) (イ) ⑤受電開閉設備は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する設計とする。</u></p> <p>7.1.1.2 変圧器  <u>リ. (1) (i) (イ) ⑤受電変圧器は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する設計とする。</u></p> <p>7.1.1.3 所内高圧系統  <u>リ. (1) (i) (イ) ⑤所内高圧系統の一部は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する設計とする。</u></p> <p>7.1.1.4 所内低圧系統  <u>リ. (1) (i) (イ) ⑤所内低圧系統の一部は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する設計とする。</u></p>	<p>「チ.放射線管理施設の設備」に示す。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>リ. (1) (i) (イ) ⑤</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (i) (イ) ⑤</u>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）は、「再処理施設に関する図面」にて記載する。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																													
<p>(b) 主要な設備 (イ) 設計基準対象の施設 1) 受電開閉設備（廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用） 回線 2 回線 電圧 154 kV</p> <p>2) 受電変圧器（廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用） 容量 約90,000 kVA（1号, 2号）（廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用） 約36,000 kVA（3号, 4号）（MOX燃料加工施設と共用） 電圧 154kV/6.9kV 台数 4 台</p>	<p>第9.2-1表 受電開閉設備の主要設備の仕様</p> <p>(1) 154kV母線*（廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用）</p> <table border="1" data-bbox="926 464 1377 569"> <tr><td>定格電圧</td><td>168kV</td></tr> <tr><td>定格電流</td><td>800A</td></tr> </table> <p>(2) 遮断器（廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用）</p> <table border="1" data-bbox="926 642 1377 814"> <tr><th>項目</th><th>受電変圧器用遮断器*</th><th>154kV受電用遮断器*</th><th>154kV母線連絡用遮断器*</th></tr> <tr><td>定格電圧</td><td>168kV</td><td>168kV</td><td>168kV</td></tr> <tr><td>定格電流</td><td>800A</td><td>800A</td><td>800A</td></tr> <tr><td>台数</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="926 842 1264 1014"> <tr><th>項目</th><th>受電変圧器用遮断器**</th><th>154kV母線連絡用遮断器**</th></tr> <tr><td>定格電圧</td><td>168kV</td><td>168kV</td></tr> <tr><td>定格電流</td><td>800A</td><td>800A</td></tr> <tr><td>台数</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> <p>注1) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。 注2) *印の設備は、廃棄物管理施設と共用する。 注3) *印及び**印の設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>第9.2-2表 受電変圧器の主要設備の仕様</p> <p>(1) 受電変圧器（廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用）</p> <table border="1" data-bbox="896 1241 1394 1545"> <tr><th>容量</th><td>約 90,000 kVA/台</td><td>約 36,000 kVA/台</td></tr> <tr><th>電圧</th><td>154kV/6.9kV</td><td>154kV/6.9kV</td></tr> <tr><th>相数</th><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><th>周波数</th><td>50 Hz</td><td>50 Hz</td></tr> <tr><th>台数</th><td>2*</td><td>2**</td></tr> </table> <p>注1) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。 注2) *印の設備は、廃棄物管理施設と共用する。 注3) *印及び**印の設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	定格電圧	168kV	定格電流	800A	項目	受電変圧器用遮断器*	154kV受電用遮断器*	154kV母線連絡用遮断器*	定格電圧	168kV	168kV	168kV	定格電流	800A	800A	800A	台数	2	2	1	項目	受電変圧器用遮断器**	154kV母線連絡用遮断器**	定格電圧	168kV	168kV	定格電流	800A	800A	台数	2	3	容量	約 90,000 kVA/台	約 36,000 kVA/台	電圧	154kV/6.9kV	154kV/6.9kV	相数	3	3	周波数	50 Hz	50 Hz	台数	2*	2**	<p>1. 設計及び仕様 1.1 動力装置及び非常用動力装置 1.1.1 電気設備 1.1.1.1 受電開閉設備 1.1.1.1.1 受電開閉設備用遮断器</p> <table border="1" data-bbox="1537 394 2056 846"> <tr><th colspan="2"></th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> <tr><td rowspan="5">取付箇所</td><td>名称</td><td>ガス絶縁開閉装置</td><td>ガス絶縁開閉装置**2**3 (再処理施設, 廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>ガス遮断器**4</td></tr> <tr><td>電圧</td><td>kV</td><td>154**4</td></tr> <tr><td>電流</td><td>A</td><td>800**4</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="5">取付箇所</td><td>系統名(ライン名)</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>開閉所 T.M.S.L.55.30m**4</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—**5</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—**6</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>注記 *1: ガス絶縁開閉装置は、廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用する。 *2: ガス絶縁開閉装置は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *3: 受電開閉設備のうち重大事故等対処設備の受電開閉設備と兼用する。 *4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *5: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *6: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p> <p>1.1.1.1.2 変圧器 (1) 変圧器</p> <table border="1" data-bbox="1537 1052 2056 1665"> <tr><th colspan="2"></th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> <tr><td rowspan="5">取付箇所</td><td>名称</td><td>1号, 2号受電変圧器 (GC-MTB-T1, T2)</td><td>1号, 2号受電変圧器 (GC-MTB-T1, T2)**1**2**3 (再処理施設, 廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>油入式**4</td></tr> <tr><td>容量</td><td>kVA</td><td>90000**4</td></tr> <tr><td>電圧</td><td>kV</td><td>154.0**4</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>Hz</td><td>50**4</td></tr> <tr><td rowspan="3">結線法</td><td>一次</td><td>—</td><td>星形**4</td></tr> <tr><td>二次</td><td>—</td><td>星形**4</td></tr> <tr><td>三次</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>冷却法</td><td>—</td><td>送油風冷式**4</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="5">取付箇所</td><td>系統名(ライン名)</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>GC建屋近傍 T.M.S.L.55.30m**4</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—**5</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—**6</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>注記 *1: 1号, 2号受電変圧器は、廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用する。 *2: 1号, 2号受電変圧器は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *3: 変圧器のうち重大事故等対処設備の変圧器と兼用する。 *4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *5: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p>			変更前	変更後	取付箇所	名称	ガス絶縁開閉装置	ガス絶縁開閉装置**2**3 (再処理施設, 廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用)	種類	—	ガス遮断器**4	電圧	kV	154**4	電流	A	800**4	個数	—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	開閉所 T.M.S.L.55.30m**4	溢水防護上の区画番号	—	—**5	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—**6	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—			変更前	変更後	取付箇所	名称	1号, 2号受電変圧器 (GC-MTB-T1, T2)	1号, 2号受電変圧器 (GC-MTB-T1, T2)**1**2**3 (再処理施設, 廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用)	種類	—	油入式**4	容量	kVA	90000**4	電圧	kV	154.0**4	周波数	Hz	50**4	結線法	一次	—	星形**4	二次	—	星形**4	三次	—	—	冷却法	—	送油風冷式**4	個数	—	2	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	GC建屋近傍 T.M.S.L.55.30m**4	溢水防護上の区画番号	—	—**5	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—**6	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「受電変圧器3号, 4号」は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	
定格電圧	168kV																																																																																																																																																
定格電流	800A																																																																																																																																																
項目	受電変圧器用遮断器*	154kV受電用遮断器*	154kV母線連絡用遮断器*																																																																																																																																														
定格電圧	168kV	168kV	168kV																																																																																																																																														
定格電流	800A	800A	800A																																																																																																																																														
台数	2	2	1																																																																																																																																														
項目	受電変圧器用遮断器**	154kV母線連絡用遮断器**																																																																																																																																															
定格電圧	168kV	168kV																																																																																																																																															
定格電流	800A	800A																																																																																																																																															
台数	2	3																																																																																																																																															
容量	約 90,000 kVA/台	約 36,000 kVA/台																																																																																																																																															
電圧	154kV/6.9kV	154kV/6.9kV																																																																																																																																															
相数	3	3																																																																																																																																															
周波数	50 Hz	50 Hz																																																																																																																																															
台数	2*	2**																																																																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																																																																														
取付箇所	名称	ガス絶縁開閉装置	ガス絶縁開閉装置**2**3 (再処理施設, 廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																																																																														
	種類	—	ガス遮断器**4																																																																																																																																														
	電圧	kV	154**4																																																																																																																																														
	電流	A	800**4																																																																																																																																														
	個数	—	2																																																																																																																																														
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																																																																														
	設置床	—	開閉所 T.M.S.L.55.30m**4																																																																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	—	—**5																																																																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																														
	化学薬品防護上の区画番号	—	—**6																																																																																																																																														
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																																																																														
取付箇所	名称	1号, 2号受電変圧器 (GC-MTB-T1, T2)	1号, 2号受電変圧器 (GC-MTB-T1, T2)**1**2**3 (再処理施設, 廃棄物管理施設, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																																																																														
	種類	—	油入式**4																																																																																																																																														
	容量	kVA	90000**4																																																																																																																																														
	電圧	kV	154.0**4																																																																																																																																														
	周波数	Hz	50**4																																																																																																																																														
結線法	一次	—	星形**4																																																																																																																																														
	二次	—	星形**4																																																																																																																																														
	三次	—	—																																																																																																																																														
冷却法	—	送油風冷式**4																																																																																																																																															
個数	—	2																																																																																																																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																																																																														
	設置床	—	GC建屋近傍 T.M.S.L.55.30m**4																																																																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	—	—**5																																																																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																														
	化学薬品防護上の区画番号	—	—**6																																																																																																																																														
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																															

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																																
<p>3) 第1非常用ディーゼル発電機（MOX燃料加工施設と共用）            台数 2台            出力 約4,400 kW/台            起動時間 約15秒            電源容量は、外部電源が完全に喪失した場合でも、第1非常用ディーゼル発電機1台で使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の安全を確保するための負荷に対して給電可能なものとする。</p>	<p style="text-align: center;">第9.2-4表 ディーゼル発電機の主要設備の仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>第1非常用ディーゼル発電機*</th> <th>第2非常用ディーゼル発電機</th> <th>運転予備用ディーゼル発電機</th> <th>第2運転予備用ディーゼル発電機**</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジン</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>V型18気筒</td> <td>V型18気筒</td> <td>V型16気筒</td> <td>V型18気筒</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>約4,400kW/台(連続)</td> <td>約7,300kW/台(連続)</td> <td>約11,000kW(連続)</td> <td>約6,600kW(連続)</td> </tr> <tr> <td>起動方式</td> <td>圧縮空気起動</td> <td>圧縮空気起動</td> <td>圧縮空気起動</td> <td>圧縮空気起動</td> </tr> <tr> <td>起動時間</td> <td>約15秒</td> <td>約15秒</td> <td>約30秒</td> <td>約30秒</td> </tr> <tr> <td>使用燃料</td> <td>A重油</td> <td>A重油</td> <td>A重油</td> <td>A重油</td> </tr> <tr> <td>発電機</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>横軸回転界磁3相同期発電機</td> <td>横軸回転界磁3相同期発電機</td> <td>横軸回転界磁3相同期発電機</td> <td>横軸回転界磁3相同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約5,200kVA/台</td> <td>約8,900kVA/台</td> <td>約13,000kVA</td> <td>約8,000kVA</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>6.9kV</td> <td>6.9kV</td> <td>6.9kV</td> <td>6.9kV</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。            注2) **印及び*印の設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機	運転予備用ディーゼル発電機	第2運転予備用ディーゼル発電機**	エンジン	2	2	1	1	型式	V型18気筒	V型18気筒	V型16気筒	V型18気筒	出力	約4,400kW/台(連続)	約7,300kW/台(連続)	約11,000kW(連続)	約6,600kW(連続)	起動方式	圧縮空気起動	圧縮空気起動	圧縮空気起動	圧縮空気起動	起動時間	約15秒	約15秒	約30秒	約30秒	使用燃料	A重油	A重油	A重油	A重油	発電機	2	2	1	1	種類	横軸回転界磁3相同期発電機	横軸回転界磁3相同期発電機	横軸回転界磁3相同期発電機	横軸回転界磁3相同期発電機	容量	約5,200kVA/台	約8,900kVA/台	約13,000kVA	約8,000kVA	効率	0.8	0.8	0.8	0.8	電圧	6.9kV	6.9kV	6.9kV	6.9kV	周波数	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">発電機</td> <td>名称</td> <td>同期発電機 (7991A, B-M02)</td> <td>同期発電機 (7991A, B-M02) (再処理施設*1**2, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>横軸回転界磁3相同期発電機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台</td> <td>5200</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4455**3*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3920**3*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2460**3*</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>-</td> <td>0.8(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>6900</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>-</td> <td>星型接続</td> </tr> <tr> <td>冷却法</td> <td>-</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2(機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>ディーゼル発電機**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td>-</td> <td>A系 B系</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>FA-W0422 FA-W0415 T.M.S.L.56300mm**</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-**</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-**</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">内燃機関</td> <td>名称</td> <td>ディーゼル機関 (7991A, B-M01)</td> <td>ディーゼル機関 (7991A, B-M01) (再処理施設*1**2, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">エンジン</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>4サイクルたて形 気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/台</td> <td>4400</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2(機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">燃料</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>A重油**6</td> </tr> <tr> <td>使用量**2</td> <td>L/h/個</td> <td>■■■■*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">過給機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>排気タービン式</td> </tr> <tr> <td>出口の圧力</td> <td>MPa*</td> <td>■■■■最大連続回転数**6</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td>■■■■(最大連続回転数)</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>4(機関1台につき2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">調速装置</td> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2(機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>油圧式(UG形)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">非常調速装置</td> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2(機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>電気-空気式</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>発電機と同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記: *1: 同期発電機およびディーゼル機関は、MOX燃料加工施設と共用する。            *2: 同期発電機およびディーゼル機関は、再処理施設にて設備登録を行っている。            *3: 公称値を示す。            *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備のため「-」とする。            *5: SI単位に換算したもの。            *6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	発電機	名称	同期発電機 (7991A, B-M02)	同期発電機 (7991A, B-M02) (再処理施設*1**2, MOX燃料加工施設と共用)	種類	横軸回転界磁3相同期発電機		容量	kVA/台	5200	主要寸法	たて	mm	4455**3*	横	mm	3920**3*	高さ	mm	2460**3*	力率	-	0.8(遅れ)	電圧	V	6900	相	-	3	周波数	Hz	50	回転数	rpm	1000	結線法	-	星型接続	冷却法	-	空気冷却	個数	-	2(機関1台につき1)	取付箇所	系統名(ライン名)	-	ディーゼル発電機**	設置床	-	A系 B系	-	FA-W0422 FA-W0415 T.M.S.L.56300mm**	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-**	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-**			変更前	変更後	内燃機関	名称	ディーゼル機関 (7991A, B-M01)	ディーゼル機関 (7991A, B-M01) (再処理施設*1**2, MOX燃料加工施設と共用)	エンジン	種類	-	4サイクルたて形 気筒ディーゼル機関	出力	kW/台	4400	回転数	rpm	1000	個数	-	2(機関1台につき1)	燃料	種類	-	A重油**6	使用量**2	L/h/個	■■■■*	過給機	種類	-	排気タービン式	出口の圧力	MPa*	■■■■最大連続回転数**6	回転数	rpm	■■■■(最大連続回転数)	個数	-	4(機関1台につき2)	調速装置	個数	-	2(機関1台につき1)	種類	-	油圧式(UG形)	非常調速装置	個数	-	2(機関1台につき1)	種類	-	電気-空気式	取付箇所	-	発電機と同じ		
項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機	運転予備用ディーゼル発電機	第2運転予備用ディーゼル発電機**																																																																																																																																																																																																
エンジン	2	2	1	1																																																																																																																																																																																																
型式	V型18気筒	V型18気筒	V型16気筒	V型18気筒																																																																																																																																																																																																
出力	約4,400kW/台(連続)	約7,300kW/台(連続)	約11,000kW(連続)	約6,600kW(連続)																																																																																																																																																																																																
起動方式	圧縮空気起動	圧縮空気起動	圧縮空気起動	圧縮空気起動																																																																																																																																																																																																
起動時間	約15秒	約15秒	約30秒	約30秒																																																																																																																																																																																																
使用燃料	A重油	A重油	A重油	A重油																																																																																																																																																																																																
発電機	2	2	1	1																																																																																																																																																																																																
種類	横軸回転界磁3相同期発電機	横軸回転界磁3相同期発電機	横軸回転界磁3相同期発電機	横軸回転界磁3相同期発電機																																																																																																																																																																																																
容量	約5,200kVA/台	約8,900kVA/台	約13,000kVA	約8,000kVA																																																																																																																																																																																																
効率	0.8	0.8	0.8	0.8																																																																																																																																																																																																
電圧	6.9kV	6.9kV	6.9kV	6.9kV																																																																																																																																																																																																
周波数	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz																																																																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																	
発電機	名称	同期発電機 (7991A, B-M02)	同期発電機 (7991A, B-M02) (再処理施設*1**2, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																																																																																																																																	
	種類	横軸回転界磁3相同期発電機																																																																																																																																																																																																		
	容量	kVA/台	5200																																																																																																																																																																																																	
	主要寸法	たて	mm	4455**3*																																																																																																																																																																																																
		横	mm	3920**3*																																																																																																																																																																																																
		高さ	mm	2460**3*																																																																																																																																																																																																
	力率	-	0.8(遅れ)																																																																																																																																																																																																	
	電圧	V	6900																																																																																																																																																																																																	
	相	-	3																																																																																																																																																																																																	
	周波数	Hz	50																																																																																																																																																																																																	
回転数	rpm	1000																																																																																																																																																																																																		
結線法	-	星型接続																																																																																																																																																																																																		
冷却法	-	空気冷却																																																																																																																																																																																																		
個数	-	2(機関1台につき1)																																																																																																																																																																																																		
取付箇所	系統名(ライン名)	-	ディーゼル発電機**																																																																																																																																																																																																	
	設置床	-	A系 B系																																																																																																																																																																																																	
		-	FA-W0422 FA-W0415 T.M.S.L.56300mm**																																																																																																																																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																																																																																																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																																																																																																	
	化学薬品防護上の区画番号	-	-**																																																																																																																																																																																																	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-**																																																																																																																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																	
内燃機関	名称	ディーゼル機関 (7991A, B-M01)	ディーゼル機関 (7991A, B-M01) (再処理施設*1**2, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																																																																																																																																	
	エンジン	種類	-	4サイクルたて形 気筒ディーゼル機関																																																																																																																																																																																																
		出力	kW/台	4400																																																																																																																																																																																																
		回転数	rpm	1000																																																																																																																																																																																																
		個数	-	2(機関1台につき1)																																																																																																																																																																																																
	燃料	種類	-	A重油**6																																																																																																																																																																																																
		使用量**2	L/h/個	■■■■*																																																																																																																																																																																																
	過給機	種類	-	排気タービン式																																																																																																																																																																																																
		出口の圧力	MPa*	■■■■最大連続回転数**6																																																																																																																																																																																																
		回転数	rpm	■■■■(最大連続回転数)																																																																																																																																																																																																
個数		-	4(機関1台につき2)																																																																																																																																																																																																	
調速装置	個数	-	2(機関1台につき1)																																																																																																																																																																																																	
	種類	-	油圧式(UG形)																																																																																																																																																																																																	
非常調速装置	個数	-	2(機関1台につき1)																																																																																																																																																																																																	
	種類	-	電気-空気式																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	-	発電機と同じ																																																																																																																																																																																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																									
<p>4) 第2非常用ディーゼル発電機            台数 2 台            出力 約7,300 kW/台            起動時間 約15 秒            電源容量は、外部電源が完全に喪失した場合でも、第2非常用ディーゼル発電機1台で再処理施設（使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設を除く。）の安全を確保するための負荷に対して給電可能なものとする。</p>	<p>第9.2-4表 ディーゼル発電機的主要設備の仕様</p> <table border="1" data-bbox="893 380 1478 642"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>第1非常用ディーゼル発電機*</th> <th>第2非常用ディーゼル発電機</th> <th>運転予備用ディーゼル発電機</th> <th>第2運転予備用ディーゼル発電機**</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジン</td> <td>2 V型18気筒 約4,400kW/台(連続) 圧縮空気起動 約15秒 A重油</td> <td>2 V型18気筒 約7,300kW/台(連続) 圧縮空気起動 約15秒 A重油</td> <td>1 V型16気筒 約11,000kW(連続) 圧縮空気起動 約30秒 A重油</td> <td>1 V型18気筒 約6,600kW(連続) 圧縮空気起動 約30秒 A重油</td> </tr> <tr> <td>発電機</td> <td>2 横軸回転界磁3相同期発電機 約5,200kVA/台 0.8 6.9kV 50Hz</td> <td>2 横軸回転界磁3相同期発電機 約8,900kVA/台 0.8 6.9kV 50Hz</td> <td>1 横軸回転界磁3相同期発電機 約13,000kVA 0.8 6.9kV 50Hz</td> <td>1 横軸回転界磁3相同期発電機 約8,000kVA 0.8 6.9kV 50Hz</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。            注2) *印及び**印の設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機	運転予備用ディーゼル発電機	第2運転予備用ディーゼル発電機**	エンジン	2 V型18気筒 約4,400kW/台(連続) 圧縮空気起動 約15秒 A重油	2 V型18気筒 約7,300kW/台(連続) 圧縮空気起動 約15秒 A重油	1 V型16気筒 約11,000kW(連続) 圧縮空気起動 約30秒 A重油	1 V型18気筒 約6,600kW(連続) 圧縮空気起動 約30秒 A重油	発電機	2 横軸回転界磁3相同期発電機 約5,200kVA/台 0.8 6.9kV 50Hz	2 横軸回転界磁3相同期発電機 約8,900kVA/台 0.8 6.9kV 50Hz	1 横軸回転界磁3相同期発電機 約13,000kVA 0.8 6.9kV 50Hz	1 横軸回転界磁3相同期発電機 約8,000kVA 0.8 6.9kV 50Hz	<table border="1" data-bbox="1558 289 2151 1577"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">発電機</td> <td>名称</td> <td>同期発電機 (S111A/B-X11)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>横軸回転界磁3相同期発電機</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台 8900</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm 4500*1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 3520*1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 3700*1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>—</td> <td colspan="2">0.8(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">6900</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td colspan="2">428</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td colspan="2">星形</td> </tr> <tr> <td>冷却法</td> <td>—</td> <td colspan="2">空気冷却</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>第2非常用ディーゼル発電機</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>GA-W0201, W0205 T.S.M.L. 50.00m</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>GA-2-01</td> <td>GA-2-05</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.S.M.L. 53.69m以上</td> <td>T.S.M.L. 53.72m以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内燃機関</td> <td>名称</td> <td>ディーゼル機関 (S111A/B-X10)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エンジン</td> <td>種類</td> <td>4サイクルたて形18気筒ディーゼル機関</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/台 7340</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td colspan="2">428</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">過給機</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">A重油*2</td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>—</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>L/h/個 1761.2*2 (定格出力時)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">過給機</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">排気タービン式</td> </tr> <tr> <td>出口の圧力</td> <td>MPa 0.26 (最大連続回転時)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm 21600 (最大連続回転数)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">調速装置</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">油圧式 (UG形)</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2 (機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常調速装置</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">電気-空気式</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2 (機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td colspan="2">発電機と同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後		発電機	名称	同期発電機 (S111A/B-X11)			種類	横軸回転界磁3相同期発電機			容量	kVA/台 8900			主要寸法	たて	mm 4500*1			横	mm 3520*1			高さ	mm 3700*1			力率	—	0.8(遅れ)		電圧	V	6900		相	—	3		周波数	Hz	50		回転数	rpm	428		結線法	—	星形		冷却法	—	空気冷却		個数	—	2		取付箇所	系統名 (ライン名)	第2非常用ディーゼル発電機			設置床	GA-W0201, W0205 T.S.M.L. 50.00m			溢水防護上の区画番号	—	GA-2-01	GA-2-05	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.S.M.L. 53.69m以上	T.S.M.L. 53.72m以上	化学薬品防護上の区画番号	—			内燃機関	名称	ディーゼル機関 (S111A/B-X10)			エンジン	種類	4サイクルたて形18気筒ディーゼル機関			出力	kW/台 7340			回転数	rpm	428		過給機	種類	—	A重油*2		燃料	—			使用量	L/h/個 1761.2*2 (定格出力時)			過給機	種類	—	排気タービン式		出口の圧力	MPa 0.26 (最大連続回転時)			回転数	rpm 21600 (最大連続回転数)			個数	—	2		調速装置	種類	—	油圧式 (UG形)		個数	—	2 (機関1台につき1)		非常調速装置	種類	—	電気-空気式		個数	—	2 (機関1台につき1)		取付箇所	—	発電機と同じ			
項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機	運転予備用ディーゼル発電機	第2運転予備用ディーゼル発電機**																																																																																																																																																																									
エンジン	2 V型18気筒 約4,400kW/台(連続) 圧縮空気起動 約15秒 A重油	2 V型18気筒 約7,300kW/台(連続) 圧縮空気起動 約15秒 A重油	1 V型16気筒 約11,000kW(連続) 圧縮空気起動 約30秒 A重油	1 V型18気筒 約6,600kW(連続) 圧縮空気起動 約30秒 A重油																																																																																																																																																																									
発電機	2 横軸回転界磁3相同期発電機 約5,200kVA/台 0.8 6.9kV 50Hz	2 横軸回転界磁3相同期発電機 約8,900kVA/台 0.8 6.9kV 50Hz	1 横軸回転界磁3相同期発電機 約13,000kVA 0.8 6.9kV 50Hz	1 横軸回転界磁3相同期発電機 約8,000kVA 0.8 6.9kV 50Hz																																																																																																																																																																									
		変更前	変更後																																																																																																																																																																										
発電機	名称	同期発電機 (S111A/B-X11)																																																																																																																																																																											
	種類	横軸回転界磁3相同期発電機																																																																																																																																																																											
	容量	kVA/台 8900																																																																																																																																																																											
	主要寸法	たて	mm 4500*1																																																																																																																																																																										
		横	mm 3520*1																																																																																																																																																																										
		高さ	mm 3700*1																																																																																																																																																																										
	力率	—	0.8(遅れ)																																																																																																																																																																										
	電圧	V	6900																																																																																																																																																																										
	相	—	3																																																																																																																																																																										
	周波数	Hz	50																																																																																																																																																																										
	回転数	rpm	428																																																																																																																																																																										
	結線法	—	星形																																																																																																																																																																										
	冷却法	—	空気冷却																																																																																																																																																																										
	個数	—	2																																																																																																																																																																										
取付箇所	系統名 (ライン名)	第2非常用ディーゼル発電機																																																																																																																																																																											
	設置床	GA-W0201, W0205 T.S.M.L. 50.00m																																																																																																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	GA-2-01	GA-2-05																																																																																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T.S.M.L. 53.69m以上	T.S.M.L. 53.72m以上																																																																																																																																																																									
	化学薬品防護上の区画番号	—																																																																																																																																																																											
内燃機関	名称	ディーゼル機関 (S111A/B-X10)																																																																																																																																																																											
	エンジン	種類	4サイクルたて形18気筒ディーゼル機関																																																																																																																																																																										
		出力	kW/台 7340																																																																																																																																																																										
回転数	rpm	428																																																																																																																																																																											
過給機	種類	—	A重油*2																																																																																																																																																																										
	燃料	—																																																																																																																																																																											
	使用量	L/h/個 1761.2*2 (定格出力時)																																																																																																																																																																											
	過給機	種類	—	排気タービン式																																																																																																																																																																									
		出口の圧力	MPa 0.26 (最大連続回転時)																																																																																																																																																																										
		回転数	rpm 21600 (最大連続回転数)																																																																																																																																																																										
	個数	—	2																																																																																																																																																																										
	調速装置	種類	—	油圧式 (UG形)																																																																																																																																																																									
		個数	—	2 (機関1台につき1)																																																																																																																																																																									
	非常調速装置	種類	—	電気-空気式																																																																																																																																																																									
個数		—	2 (機関1台につき1)																																																																																																																																																																										
取付箇所	—	発電機と同じ																																																																																																																																																																											



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																				
<p>5) 重油タンク（MOX燃料加工施設と共用）            基数 4 基            容量 約130 m<sup>3</sup>/基            第1非常用ディーゼル発電機が7日間以上連続運転できる燃料を貯蔵する。</p>	<p>第9.2-8表 非常用ディーゼル発電機の燃料貯蔵設備の主要設備の仕様</p> <table border="1" data-bbox="905 436 1439 852"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>第1非常用ディーゼル発電機*</th> <th>第2非常用ディーゼル発電機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象機器</td> <td>重油タンク</td> <td>燃料油貯蔵タンク</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>130m<sup>3</sup>/基</td> <td>165m<sup>3</sup>/基</td> </tr> <tr> <td>流体の種類</td> <td>A重油</td> <td>A重油</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>4基</td> <td>4基</td> </tr> <tr> <td>耐震クラス</td> <td>Sクラス</td> <td>Sクラス</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。            注2) *印の設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機	対象機器	重油タンク	燃料油貯蔵タンク	容量	130m <sup>3</sup> /基	165m <sup>3</sup> /基	流体の種類	A重油	A重油	個数	4基	4基	耐震クラス	Sクラス	Sクラス	<table border="1" data-bbox="1567 327 2139 1161"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前**</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称</td> <td>名称</td> <td>重油タンク (7991A, B-V07, V08)</td> <td>重油タンク (7991A, B-V07, V08) (再処理施設**2, MOX 燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>横置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>130以上(130**3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>3600**3</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>14**3</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>14**3</td> </tr> <tr> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>30**3</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径</td> <td>mm</td> <td>89.1**3</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>5.5**3</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>76.3**3</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>5.2**3</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径</td> <td>mm</td> <td>457.2**3</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>23.8**3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>マンホール平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>24**3</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4114**3</td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>マンホール平板**2</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>ディーゼル発電機</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>F2 T. M. S. L. 47700mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>**4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>**4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>**5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1567 1203 2139 1325"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付箇所</td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>**5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重油タンクは、MOX燃料加工施設と共用する。            *2: 重油タンクは、再処理施設にて設備登録を行っている。            *3: 公称値を示す。            *4: 溢水防護機能を要求されない設備のため「—」とする。            *5: 化学薬品防護機能を要求されない設備のため「—」とする。            *6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前**	変更後	名称	名称	重油タンク (7991A, B-V07, V08)	重油タンク (7991A, B-V07, V08) (再処理施設**2, MOX 燃料加工施設と共用)	種類	—	横置円筒形	容量	m <sup>3</sup> /個	130以上(130**3)		最高使用圧力	MPa	静水頭		最高使用温度	℃	40		主要寸法	胴内径	mm	3600**3	胴板厚さ	mm	14**3	鏡板厚さ	mm	14**3	平板厚さ	mm	30**3	入口管台外径	mm	89.1**3	入口管台厚さ	mm	5.5**3	出口管台外径	mm	76.3**3	出口管台厚さ	mm	5.2**3	マンホール管台外径	mm	457.2**3	マンホール管台厚さ	mm	23.8**3	主要材料	マンホール平板厚さ	mm	24**3	高さ	mm	4114**3	胴板	—	SS400	鏡板	—	SS400	取付箇所	マンホール平板**2	—	SS400	個数	—	4	系統名（ライン名）	—	ディーゼル発電機	設置床	—	F2 T. M. S. L. 47700mm	取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	**4	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	**4	化学薬品防護上の区画番号	—	**5			変更前	変更後	取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	**5		
項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機																																																																																																																						
対象機器	重油タンク	燃料油貯蔵タンク																																																																																																																						
容量	130m <sup>3</sup> /基	165m <sup>3</sup> /基																																																																																																																						
流体の種類	A重油	A重油																																																																																																																						
個数	4基	4基																																																																																																																						
耐震クラス	Sクラス	Sクラス																																																																																																																						
		変更前**	変更後																																																																																																																					
名称	名称	重油タンク (7991A, B-V07, V08)	重油タンク (7991A, B-V07, V08) (再処理施設**2, MOX 燃料加工施設と共用)																																																																																																																					
	種類	—	横置円筒形																																																																																																																					
容量	m <sup>3</sup> /個	130以上(130**3)																																																																																																																						
最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																																																						
最高使用温度	℃	40																																																																																																																						
主要寸法	胴内径	mm	3600**3																																																																																																																					
	胴板厚さ	mm	14**3																																																																																																																					
	鏡板厚さ	mm	14**3																																																																																																																					
	平板厚さ	mm	30**3																																																																																																																					
	入口管台外径	mm	89.1**3																																																																																																																					
	入口管台厚さ	mm	5.5**3																																																																																																																					
	出口管台外径	mm	76.3**3																																																																																																																					
	出口管台厚さ	mm	5.2**3																																																																																																																					
	マンホール管台外径	mm	457.2**3																																																																																																																					
	マンホール管台厚さ	mm	23.8**3																																																																																																																					
主要材料	マンホール平板厚さ	mm	24**3																																																																																																																					
	高さ	mm	4114**3																																																																																																																					
	胴板	—	SS400																																																																																																																					
	鏡板	—	SS400																																																																																																																					
取付箇所	マンホール平板**2	—	SS400																																																																																																																					
	個数	—	4																																																																																																																					
	系統名（ライン名）	—	ディーゼル発電機																																																																																																																					
	設置床	—	F2 T. M. S. L. 47700mm																																																																																																																					
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	**4																																																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	**4																																																																																																																					
	化学薬品防護上の区画番号	—	**5																																																																																																																					
		変更前	変更後																																																																																																																					
取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	**5																																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																			
<p>6) 燃料油貯蔵タンク                      基数 4 基                      容量 約165 m<sup>3</sup>/基                      第2非常用ディーゼル発電機が7日間以上連続運転できる燃料を貯蔵する。</p>	<p>第9.2-8表 非常用ディーゼル発電機の燃料貯蔵設備の主要設備の仕様</p> <table border="1" data-bbox="905 436 1439 856"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>第1非常用ディーゼル発電機*</th> <th>第2非常用ディーゼル発電機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象機器</td> <td>重油タンク</td> <td>燃料油貯蔵タンク</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>130m<sup>3</sup>/基</td> <td>165m<sup>3</sup>/基</td> </tr> <tr> <td>流体の種類</td> <td>A重油</td> <td>A重油</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>4基</td> <td>4基</td> </tr> <tr> <td>耐震クラス</td> <td>Sクラス</td> <td>Sクラス</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。                      注2) *印の設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機	対象機器	重油タンク	燃料油貯蔵タンク	容量	130m <sup>3</sup> /基	165m <sup>3</sup> /基	流体の種類	A重油	A重油	個数	4基	4基	耐震クラス	Sクラス	Sクラス	<table border="1" data-bbox="1558 359 2160 1045"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">燃料油貯蔵タンク (S111A/B-V40, V41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>横置き円筒形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>165以上(165<sup>#2</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>胴内径<sup>#2</sup></td> <td>mm</td> <td>4600<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ<sup>#3</sup></td> <td>mm</td> <td>10.7(12<sup>#1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>10.3(14<sup>#1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>平板厚さ<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>140<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>3.7(3.7<sup>#1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>185<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>16(16<sup>#1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>460<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>18(18<sup>#1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>マンホール平板厚さ<sup>#4</sup></td> <td>mm</td> <td>65(65<sup>#1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>高さ<sup>#5</sup></td> <td>mm</td> <td>7538<sup>#1</sup></td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>鏡板</td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>マンホール平板<sup>#4</sup></td> <td>-</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>第2非常用ディーゼル発電機用燃料油貯蔵系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>非常用電源建屋 T. S. M. L. 47. 68m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 #1: 公称値を示す。                      #2: 記載の適正化を行う。既設工認においては「D」と記載                      #3: 記載の適正化を行う。既設工認においては「t」と記載                      #4: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。                      #5: 記載の適正化を行う。既設工認においては「L」と記載。                      #6: 記載の適正化を行う。既設工認においては「H」と記載。</p>	名称		変更前	変更後	燃料油貯蔵タンク (S111A/B-V40, V41)				種類	-	横置き円筒形		容量	m <sup>3</sup> /個	165以上(165 <sup>#2</sup> )		最高使用圧力	MPa	静水頭		最高使用温度	℃	40		主要寸法	胴内径 <sup>#2</sup>	mm	4600 <sup>#1</sup>	胴板厚さ <sup>#3</sup>	mm	10.7(12 <sup>#1</sup> )	鏡板厚さ <sup>#4</sup>	mm	10.3(14 <sup>#1</sup> )	平板厚さ <sup>#4</sup>	mm	-	入口管台外径 <sup>#4</sup>	mm	140 <sup>#1</sup>	入口管台厚さ <sup>#4</sup>	mm	3.7(3.7 <sup>#1</sup> )	出口管台外径 <sup>#4</sup>	mm	185 <sup>#1</sup>	出口管台厚さ <sup>#4</sup>	mm	16(16 <sup>#1</sup> )	マンホール管台外径 <sup>#4</sup>	mm	460 <sup>#1</sup>	マンホール管台厚さ <sup>#4</sup>	mm	18(18 <sup>#1</sup> )	主要材料	マンホール平板厚さ <sup>#4</sup>	mm	65(65 <sup>#1</sup> )	高さ <sup>#5</sup>	mm	7538 <sup>#1</sup>	胴板	-	SS400	取付箇所	鏡板	-	SS400	マンホール平板 <sup>#4</sup>	-	SS400	個数	-	4	系統名(ライン名)	-	第2非常用ディーゼル発電機用燃料油貯蔵系	設置床	-	非常用電源建屋 T. S. M. L. 47. 68m		溢水防護上の区画番号	-	-		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-		化学薬品防護上の区画番号	-	-		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-		
項目	第1非常用ディーゼル発電機*	第2非常用ディーゼル発電機																																																																																																																					
対象機器	重油タンク	燃料油貯蔵タンク																																																																																																																					
容量	130m <sup>3</sup> /基	165m <sup>3</sup> /基																																																																																																																					
流体の種類	A重油	A重油																																																																																																																					
個数	4基	4基																																																																																																																					
耐震クラス	Sクラス	Sクラス																																																																																																																					
名称		変更前	変更後																																																																																																																				
燃料油貯蔵タンク (S111A/B-V40, V41)																																																																																																																							
種類	-	横置き円筒形																																																																																																																					
容量	m <sup>3</sup> /個	165以上(165 <sup>#2</sup> )																																																																																																																					
最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																																																					
最高使用温度	℃	40																																																																																																																					
主要寸法	胴内径 <sup>#2</sup>	mm	4600 <sup>#1</sup>																																																																																																																				
	胴板厚さ <sup>#3</sup>	mm	10.7(12 <sup>#1</sup> )																																																																																																																				
	鏡板厚さ <sup>#4</sup>	mm	10.3(14 <sup>#1</sup> )																																																																																																																				
	平板厚さ <sup>#4</sup>	mm	-																																																																																																																				
	入口管台外径 <sup>#4</sup>	mm	140 <sup>#1</sup>																																																																																																																				
	入口管台厚さ <sup>#4</sup>	mm	3.7(3.7 <sup>#1</sup> )																																																																																																																				
	出口管台外径 <sup>#4</sup>	mm	185 <sup>#1</sup>																																																																																																																				
	出口管台厚さ <sup>#4</sup>	mm	16(16 <sup>#1</sup> )																																																																																																																				
	マンホール管台外径 <sup>#4</sup>	mm	460 <sup>#1</sup>																																																																																																																				
	マンホール管台厚さ <sup>#4</sup>	mm	18(18 <sup>#1</sup> )																																																																																																																				
主要材料	マンホール平板厚さ <sup>#4</sup>	mm	65(65 <sup>#1</sup> )																																																																																																																				
	高さ <sup>#5</sup>	mm	7538 <sup>#1</sup>																																																																																																																				
	胴板	-	SS400																																																																																																																				
取付箇所	鏡板	-	SS400																																																																																																																				
	マンホール平板 <sup>#4</sup>	-	SS400																																																																																																																				
	個数	-	4																																																																																																																				
	系統名(ライン名)	-	第2非常用ディーゼル発電機用燃料油貯蔵系																																																																																																																				
	設置床	-	非常用電源建屋 T. S. M. L. 47. 68m																																																																																																																				
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																																																																																				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																				
	化学薬品防護上の区画番号	-	-																																																																																																																				
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																	
<p>7) 第1非常用蓄電池 種類 鉛蓄電池（浮動充電方式） 組数 2組 容量 第1非常用直流電源設備（110V）用約2,000 Ah/組 蓄電池容量は、短時間の全交流動力電源の喪失時においても、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の安全を確保するための直流負荷に対して給電可能なものとする。</p> <p>8) 第2非常用蓄電池 種類 鉛蓄電池（浮動充電方式） 組数 18組 （第2非常用直流電源設備（110V）用16組、第2非常用直流電源設備（220V）用2組） 容量 第2非常用直流電源設備（110V）用約170 Ah/組 1組 約210 Ah/組 1組 約500 Ah/組 2組 約1,200 Ah/組 2組 約1,400 Ah/組 2組 約1,800 Ah/組 2組 約2,000 Ah/組 2組 約2,200 Ah/組 2組 約4,000 Ah/組 2組 容量 第2非常用直流電源設備（220V）用約1,400 Ah/組 2組 蓄電池容量は、短時間の全交流動力電源の喪失時においても、再処理施設（使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設を除く。）の安全を確保するための直流負荷に対して給電可能なものとする。</p>	<p>第9.2-5表(1) 直流電源設備の主要設備の仕様</p> <p>(1) 非常用内電源</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">使用済燃料受入れ・貯蔵棟</th> </tr> <tr> <td>第1非常用蓄電池組数</td> <td>2</td> <td>***</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>110V</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約2,000Ah/組</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充電器台数</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充電方式</td> <td>浮動（常時）</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">使用済燃料受入れ・貯蔵棟以外の建物</th> </tr> <tr> <td>第2非常用蓄電池組数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>110V</td> <td>110V</td> <td>110V</td> <td>110V</td> <td>110V</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約500Ah/組</td> <td>A系 約210Ah/組 B系 約110Ah/組</td> <td>約1,200Ah/組</td> <td>約1,400Ah/組</td> <td>約1,800Ah/組</td> </tr> <tr> <td>充電器台数</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>3（うち1台は予備）</td> </tr> <tr> <td>充電方式</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">使用済燃料受入れ・貯蔵棟以外の建物</th> </tr> <tr> <td>第2非常用蓄電池組数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>110V</td> <td>110V</td> <td>110V</td> <td>220V</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約2,000Ah/組</td> <td>約2,200Ah/組</td> <td>約4,000Ah/組</td> <td>約1,400Ah/組</td> </tr> <tr> <td>充電器台数</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>3（うち1台は予備）</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>充電方式</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> </tr> </table> <p>注）*印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な設備である。 **印の設備は、非常用内電源の無停電交流母線に給電する。 ***印の設備は、非常用内電源の110V 直流母線に給電するとともに無停電交流母線にも給電する。</p>	項目	使用済燃料受入れ・貯蔵棟		第1非常用蓄電池組数	2	***	電圧	110V		容量	約2,000Ah/組		充電器台数	3（うち1台は予備）		充電方式	浮動（常時）		使用済燃料受入れ・貯蔵棟以外の建物						第2非常用蓄電池組数	2	2	2	2	2	電圧	110V	110V	110V	110V	110V	容量	約500Ah/組	A系 約210Ah/組 B系 約110Ah/組	約1,200Ah/組	約1,400Ah/組	約1,800Ah/組	充電器台数	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	充電方式	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	使用済燃料受入れ・貯蔵棟以外の建物					第2非常用蓄電池組数	2	2	2	2	電圧	110V	110V	110V	220V	容量	約2,000Ah/組	約2,200Ah/組	約4,000Ah/組	約1,400Ah/組	充電器台数	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	2	充電方式	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">110V第1非常用蓄電池 (FA-BAT-A, B)</td> <td colspan="2">変更後</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td colspan="2">2000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">110</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>■■■■<sup>*2</sup></td> <td>■■■■<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年4月28日付け7安(核規)第241号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.1.1.1.2-3図 110V第1非常用蓄電池A, B(FA-BAT-A, B)の構造図(その1)」、「第3.1.1.1.2-4図 110V第1非常用蓄電池A, B(FA-BAT-A, B)の構造図(その2)」による。</p>	名称		110V第1非常用蓄電池 (FA-BAT-A, B)		変更後		種類	-	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池		変更なし		容量	Ah	2000				電圧	V	110				主要寸法	幅	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>				mm	■■■■ <sup>*1*</sup>				mm	■■■■ <sup>*1*</sup>				mm	■■■■ <sup>*1*</sup>			取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	A系	B系	設置床	-	-	■■■■ <sup>*2</sup>	■■■■ <sup>*2</sup>	取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上		
項目	使用済燃料受入れ・貯蔵棟																																																																																																																																																																				
第1非常用蓄電池組数	2	***																																																																																																																																																																			
電圧	110V																																																																																																																																																																				
容量	約2,000Ah/組																																																																																																																																																																				
充電器台数	3（うち1台は予備）																																																																																																																																																																				
充電方式	浮動（常時）																																																																																																																																																																				
使用済燃料受入れ・貯蔵棟以外の建物																																																																																																																																																																					
第2非常用蓄電池組数	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																
電圧	110V	110V	110V	110V	110V																																																																																																																																																																
容量	約500Ah/組	A系 約210Ah/組 B系 約110Ah/組	約1,200Ah/組	約1,400Ah/組	約1,800Ah/組																																																																																																																																																																
充電器台数	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）																																																																																																																																																																
充電方式	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）																																																																																																																																																																
使用済燃料受入れ・貯蔵棟以外の建物																																																																																																																																																																					
第2非常用蓄電池組数	2	2	2	2																																																																																																																																																																	
電圧	110V	110V	110V	220V																																																																																																																																																																	
容量	約2,000Ah/組	約2,200Ah/組	約4,000Ah/組	約1,400Ah/組																																																																																																																																																																	
充電器台数	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	3（うち1台は予備）	2																																																																																																																																																																	
充電方式	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）																																																																																																																																																																	
名称		110V第1非常用蓄電池 (FA-BAT-A, B)		変更後																																																																																																																																																																	
種類	-	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池		変更なし																																																																																																																																																																	
容量	Ah	2000																																																																																																																																																																			
電圧	V	110																																																																																																																																																																			
主要寸法	幅	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
		mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
		mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
		mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	A系	B系																																																																																																																																																																
	設置床	-	-	■■■■ <sup>*2</sup>	■■■■ <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																
取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■																																																																																																																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上																																																																																																																																																																
	化学薬品防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■																																																																																																																																																																
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上																																																																																																																																																																
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">110V第2非常用蓄電池 (FA-BAT-A, B)</td> <td colspan="2">変更後</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td colspan="2">2200</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">110</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>mm</td> <td>■■■■<sup>*1*</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>■■■■<sup>*2</sup></td> <td>■■■■<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> <td>T.M.S.L. 以上</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-9図 110V第2非常用蓄電池A, B(FA-BAT-A, B)の構造図」による。 *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	名称		110V第2非常用蓄電池 (FA-BAT-A, B)		変更後		種類	-	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池		変更なし		容量	Ah	2200				電圧	V	110				主要寸法	幅	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>			奥行	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>			高さ	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>				mm	■■■■ <sup>*1*</sup>			取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	A系	B系	設置床	-	-	■■■■ <sup>*2</sup>	■■■■ <sup>*2</sup>	取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上																																																																																						
名称		110V第2非常用蓄電池 (FA-BAT-A, B)		変更後																																																																																																																																																																	
種類	-	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池		変更なし																																																																																																																																																																	
容量	Ah	2200																																																																																																																																																																			
電圧	V	110																																																																																																																																																																			
主要寸法	幅	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
	奥行	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
	高さ	mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
		mm	■■■■ <sup>*1*</sup>																																																																																																																																																																		
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-	A系	B系																																																																																																																																																																
	設置床	-	-	■■■■ <sup>*2</sup>	■■■■ <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																
取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■																																																																																																																																																																
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上																																																																																																																																																																
	化学薬品防護上の区画番号	-	-	■■■■	■■■■																																																																																																																																																																
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T.M.S.L. 以上	T.M.S.L. 以上																																																																																																																																																																

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>110V第2非常用蓄電池 [ ]</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td>2000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>110</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>[ ]<sup>1*2</sup></td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>[ ]<sup>1*2</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>[ ]<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td rowspan="2">—</td> <td></td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>T. M. S. L. [ ]<sup>*3</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>A系 [ ] B系 [ ]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. [ ] 以上 T. M. S. L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>[ ] [ ]</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. [ ] 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-13図 110V第2非常用蓄電池A, B( [ ])の構造図」による。  *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後		名称		110V第2非常用蓄電池 [ ]			種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池			容量	Ah	2000			電圧	V	110			主要 寸法	幅	mm	[ ] <sup>1*2</sup>	変更なし	奥行	mm	[ ] <sup>1*2</sup>	高さ	mm	[ ] <sup>1</sup>	個数	—	2	系統名(ライン名)	—	—			設置床	—		A系	B系		[ ]	[ ]			T. M. S. L. [ ] <sup>*3</sup>			取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 [ ] B系 [ ]	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [ ] 以上 T. M. S. L. [ ] 以上	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[ ] [ ]	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [ ] 以上		
		変更前	変更後																																																																											
名称		110V第2非常用蓄電池 [ ]																																																																												
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																												
容量	Ah	2000																																																																												
電圧	V	110																																																																												
主要 寸法	幅	mm	[ ] <sup>1*2</sup>	変更なし																																																																										
	奥行	mm	[ ] <sup>1*2</sup>																																																																											
	高さ	mm	[ ] <sup>1</sup>																																																																											
	個数	—	2																																																																											
系統名(ライン名)	—	—																																																																												
設置床	—		A系	B系																																																																										
			[ ]	[ ]																																																																										
		T. M. S. L. [ ] <sup>*3</sup>																																																																												
取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 [ ] B系 [ ]																																																																										
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [ ] 以上 T. M. S. L. [ ] 以上																																																																										
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[ ] [ ]																																																																										
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [ ] 以上																																																																										

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																											
		<table border="1" data-bbox="1567 296 2098 913"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="3">110V第2非常用蓄電池 (AG-BAT-A1, B1)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td colspan="3">1200</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td colspan="3">110</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">奥行</td> <td rowspan="2">mm</td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td>■*2</td> <td>■*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■*1</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="3">2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td rowspan="2">—</td> <td>A系</td> <td colspan="2">B系</td> </tr> <tr> <td>AG-W0102</td> <td colspan="2">AG-W0106</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. ■*2以上</td> <td>T. M. S. L. ■*2以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td colspan="2">*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">*4</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1567 915 2098 1113">                     注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-13図 110V第2非常用蓄電池A1(AG-BAT-A1)の構造図」及び「第3.2.1.1.11-14図 110V第2非常用蓄電池B1(AG-BAT-B1)の構造図」による。                      *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。                      *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。                 </p>			変更前	変更後		名称		110V第2非常用蓄電池 (AG-BAT-A1, B1)			種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池			容量	Ah	1200			電圧	V	110			主要寸法	幅	mm	■*2		奥行	mm	A系	B系	■*2	■*2	高さ	mm	■*1		個数	—	2			系統名(ライン名)	—	—			設置床	—	A系	B系		AG-W0102	AG-W0106		取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	A系	B系	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■*2以上	T. M. S. L. ■*2以上	化学薬品防護上の区画番号	—	*4		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*4			
		変更前	変更後																																																																												
名称		110V第2非常用蓄電池 (AG-BAT-A1, B1)																																																																													
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																													
容量	Ah	1200																																																																													
電圧	V	110																																																																													
主要寸法	幅	mm	■*2																																																																												
	奥行	mm	A系	B系																																																																											
			■*2	■*2																																																																											
	高さ	mm	■*1																																																																												
	個数	—	2																																																																												
系統名(ライン名)	—	—																																																																													
設置床	—	A系	B系																																																																												
		AG-W0102	AG-W0106																																																																												
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	A系	B系																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■*2以上	T. M. S. L. ■*2以上																																																																											
	化学薬品防護上の区画番号	—	*4																																																																												
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*4																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>220V第2非常用蓄電池</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td>1400</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>220</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td>—</td> <td>A系 AG-W0102</td> <td>B系 AG-W0106</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">T. M. S. L. 40. 10m*3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>A系 ■</td> <td>B系 ■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">T. M. S. L. ■以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—*4</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—*4</td> <td colspan="2">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3. 2. 1. 1. 11-15図 220V第2非常用蓄電池A2, B2(AG-BAT-A2, B2)の構造図」による。 *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>110V第2非常用蓄電池</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td>1800</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>110</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td>—</td> <td>A系 ■</td> <td>B系 ■</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">T. M. S. L. 47. 30m*3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>A系 ■</td> <td>B系 ■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. ■<sub>a</sub> 以上</td> <td>T. M. S. L. ■<sub>b</sub> 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td colspan="2">■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td colspan="2">T. M. S. L. ■以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3. 2. 1. 1. 5-12図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の110V第2非常用蓄電池A, B(■)の構造図」による。 *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後		名称		220V第2非常用蓄電池			種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池			容量	Ah	1400			電圧	V	220			主要 寸法	幅	mm	■*2		奥行	mm	■*2		高さ	mm	■ <sup>1</sup>		個数	—	2		系統名(ライン名)		—			設置床	—	A系 AG-W0102	B系 AG-W0106		T. M. S. L. 40. 10m*3					取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	A系 ■	B系 ■	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■以上		化学薬品防護上の 区画番号	—*4	—		化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—*4	—				変更前	変更後		名称		110V第2非常用蓄電池			種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池			容量	Ah	1800			電圧	V	110			主要 寸法	幅	mm	■*2		奥行	mm	■*2		高さ	mm	■ <sup>1</sup>		個数	—	2		系統名(ライン名)		—			設置床	—	A系 ■	B系 ■		T. M. S. L. 47. 30m*3					取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	A系 ■	B系 ■	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■ <sub>a</sub> 以上	T. M. S. L. ■ <sub>b</sub> 以上	化学薬品防護上の 区画番号	—	■		化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■以上			
		変更前	変更後																																																																																																																																																					
名称		220V第2非常用蓄電池																																																																																																																																																						
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																																																																																						
容量	Ah	1400																																																																																																																																																						
電圧	V	220																																																																																																																																																						
主要 寸法	幅	mm	■*2																																																																																																																																																					
	奥行	mm	■*2																																																																																																																																																					
	高さ	mm	■ <sup>1</sup>																																																																																																																																																					
	個数	—	2																																																																																																																																																					
系統名(ライン名)		—																																																																																																																																																						
設置床	—	A系 AG-W0102	B系 AG-W0106																																																																																																																																																					
	T. M. S. L. 40. 10m*3																																																																																																																																																							
取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	A系 ■	B系 ■																																																																																																																																																				
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■以上																																																																																																																																																					
	化学薬品防護上の 区画番号	—*4	—																																																																																																																																																					
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—*4	—																																																																																																																																																					
		変更前	変更後																																																																																																																																																					
名称		110V第2非常用蓄電池																																																																																																																																																						
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																																																																																						
容量	Ah	1800																																																																																																																																																						
電圧	V	110																																																																																																																																																						
主要 寸法	幅	mm	■*2																																																																																																																																																					
	奥行	mm	■*2																																																																																																																																																					
	高さ	mm	■ <sup>1</sup>																																																																																																																																																					
	個数	—	2																																																																																																																																																					
系統名(ライン名)		—																																																																																																																																																						
設置床	—	A系 ■	B系 ■																																																																																																																																																					
	T. M. S. L. 47. 30m*3																																																																																																																																																							
取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	A系 ■	B系 ■																																																																																																																																																				
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■ <sub>a</sub> 以上	T. M. S. L. ■ <sub>b</sub> 以上																																																																																																																																																				
	化学薬品防護上の 区画番号	—	■																																																																																																																																																					
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■以上																																																																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																								
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">110V第2非常用蓄電池</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td>A系 210</td> <td>B系 170</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">110</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td></td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">T. M. S. L. 55.30m*3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—*4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-8図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の110V第2非常用蓄電池A( )の構造図」及び「第3.2.1.1.6-9図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の110V第2非常用蓄電池B( )の構造図」による。 *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">110V第2非常用蓄電池 (GA-BAT-A,B)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td colspan="2">500</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">110</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設置床</td> <td></td> <td>A系</td> <td>B系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>GA-W0103</td> <td>GA-W0105</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">T. M. S. L. 50.00m*3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—*4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.12-9図 110V第2非常用蓄電池A, B(GA-BAT-A, B)の構造図」による。 *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称		110V第2非常用蓄電池		種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池		容量	Ah	A系 210	B系 170	電圧	V	110		主要寸法	幅	mm	mm	奥行	mm	mm	高さ	mm	mm		個数	2		系統名(ライン名)		—		設置床		A系	B系		T. M. S. L. 55.30m*3		取付箇所	溢水防護上の区画番号	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		化学薬品防護上の区画番号	—*4		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*4				変更前	変更後	名称		110V第2非常用蓄電池 (GA-BAT-A,B)		種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池		容量	Ah	500		電圧	V	110		主要寸法	幅	mm	mm	奥行	mm	mm	高さ	mm	mm		個数	2		系統名(ライン名)		—		設置床		A系	B系		GA-W0103	GA-W0105			T. M. S. L. 50.00m*3		取付箇所	溢水防護上の区画番号	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		化学薬品防護上の区画番号	—*4		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*4			
		変更前	変更後																																																																																																																									
名称		110V第2非常用蓄電池																																																																																																																										
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																																																										
容量	Ah	A系 210	B系 170																																																																																																																									
電圧	V	110																																																																																																																										
主要寸法	幅	mm	mm																																																																																																																									
	奥行	mm	mm																																																																																																																									
	高さ	mm	mm																																																																																																																									
	個数	2																																																																																																																										
系統名(ライン名)		—																																																																																																																										
設置床		A系	B系																																																																																																																									
		T. M. S. L. 55.30m*3																																																																																																																										
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																										
	化学薬品防護上の区画番号	—*4																																																																																																																										
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*4																																																																																																																										
		変更前	変更後																																																																																																																									
名称		110V第2非常用蓄電池 (GA-BAT-A,B)																																																																																																																										
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																																																										
容量	Ah	500																																																																																																																										
電圧	V	110																																																																																																																										
主要寸法	幅	mm	mm																																																																																																																									
	奥行	mm	mm																																																																																																																									
	高さ	mm	mm																																																																																																																									
	個数	2																																																																																																																										
系統名(ライン名)		—																																																																																																																										
設置床		A系	B系																																																																																																																									
		GA-W0103	GA-W0105																																																																																																																									
		T. M. S. L. 50.00m*3																																																																																																																										
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																										
	化学薬品防護上の区画番号	—*4																																																																																																																										
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—*4																																																																																																																										

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																
		<table border="1" data-bbox="1567 300 2154 961"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>110V第2非常用蓄電池 ■</td> <td colspan="2" rowspan="10">変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>シール形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td>1400</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■*2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>■*2</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■*2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>■*2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取 付 箇 所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>A系 ■</td> <td>B系 ■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">T. M. S. L. ■*3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>A系 ■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>B系 ■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. ■<sub>1</sub></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>■<sub>1</sub> 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td colspan="2">T. M. S. L. ■以上</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1567 961 2154 1186">                     注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-11図 高レベル廃液ガラス固化建屋の110V第2非常用蓄電池A ■の構造図」及び「第3.2.1.1.7-12図 高レベル廃液ガラス固化建屋の110V第2非常用蓄電池B ■の構造図」による。                      *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。                 </p>			変更前	変更後		名称		110V第2非常用蓄電池 ■	変更なし		種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池	容量	Ah	1400	電圧	V	110	主要 寸法	幅	mm	■*2			■*2	奥行	mm	■*2			■*2		高さ	mm	■ <sup>1</sup>		個数	—	2	系統名(ライン名)		—	—		取 付 箇 所	設置床	—	A系 ■	B系 ■			T. M. S. L. ■*3		溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■			—	B系 ■	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■ <sub>1</sub>			—	■ <sub>1</sub> 以上	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■	■			—	T. M. S. L. ■以上			
		変更前	変更後																																																																																	
名称		110V第2非常用蓄電池 ■	変更なし																																																																																	
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																		
容量	Ah	1400																																																																																		
電圧	V	110																																																																																		
主要 寸法	幅	mm			■*2																																																																															
					■*2																																																																															
	奥行	mm			■*2																																																																															
					■*2																																																																															
	高さ	mm			■ <sup>1</sup>																																																																															
	個数	—			2																																																																															
系統名(ライン名)		—	—																																																																																	
取 付 箇 所	設置床	—	A系 ■	B系 ■																																																																																
			T. M. S. L. ■*3																																																																																	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■																																																																																
			—	B系 ■																																																																																
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■ <sub>1</sub>																																																																																
			—	■ <sub>1</sub> 以上																																																																																
化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■	■																																																																																
		—	T. M. S. L. ■以上																																																																																	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ロ) 重大事故等対処設備</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)①全交流動力電源喪失が発生した場合において、冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備、放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備、使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備、制御室の居住性を確保するための設備、計装設備及び通信連絡を行うために必要な設備に電力を確保するために必要な設備を重大事故等対処設備として設置及び保管する設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)②また、全交流動力電源喪失を要因とせず発生する動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する臨界事故の拡大を防止するための設備、有機溶媒等による火災又は爆発に対処するための設備、冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備、放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備、使用済燃料貯蔵槽の冷却等の対処に用いる放射線監視設備、計装設備及び通信連絡を行うために必要な設備に電力を供給する設備については、設計基準対象の施設の保安電源設備の一部を兼用し、常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)③重大事故等時において、共用する受電開閉設備等は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>全交流動力電源喪失を要因とせず外部電源が健全な環境条件において、動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する重大事故等の対処に必要な電力を供給する電気設備は、設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備等を兼用し、常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>重大事故等時において、共用する受電開閉設備等は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処を考慮し、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>リ(1)(i)(b)(ロ)①全交流動力電源喪失が発生した場合において、冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備、放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備、使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備、制御室の居住性を確保するための設備、計装設備及び通信連絡に必要な電力を確保できる設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)②全交流動力電源喪失を要因とせず発生する動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する臨界事故の拡大を防止するための設備、有機溶媒等による火災又は爆発に対処するための設備、冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備、放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備、使用済燃料貯蔵槽の冷却等の対処に用いる放射線監視設備、計装設備及び通信連絡を行うために必要な設備に電力を供給する設備については、設計基準対象の施設の保安電源設備の一部を兼用し、常設重大事故等対処設備として位置付け、必要な電力を供給する設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)③重大事故等時において、MOX燃料加工施設と共用する制御建屋可搬型発電機は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な容量を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)③重大事故等時において、MOX燃料加工施設と共用する受電開閉設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な容量を有する設計とするとともに、十分な系統数以上を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(ロ)③重大事故等時において、MOX燃料加工施設と共用する受電変圧器は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な容量を有する設計とするとともに、十分な系統数以上を確保することで、共</p>	<p>設工認のリ(1)(i)(b)(ロ)①は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(ロ)①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(1)(i)(b)(ロ)②は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(ロ)②と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(1)(i)(b)(ロ)③は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(ロ)③を具体的に示しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>1) 全交流動力電源喪失を要因として発生する重大事故等に対処するための電力を確保するための設備</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)④全交流動力電源喪失が発生した場合において必要とする重大事故等対処設備は、代替電源設備及び代替所内電気設備を使用する設計とする。</p> <p>代替電源設備は、前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機、高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機で構成し、設置場所で他の設備から独立して使用可能とすることにより、電力を供給できる設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑤代替電源設備は、「ロ.(7)(i)(1) 制御室等」、「ロ.(7)(i)(p) 監視設備」、「ロ.(7)(i)(s) 通信連絡設備」、「ロ.(7)(ii)(d) 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備」、「ロ.(7)(ii)(e) 放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備」及び「ロ.(7)(ii)</p>	<p>全交流動力電源喪失が発生した場合の重大事故等対処設備として、代替電源設備を使用する設計とする。</p> <p>全交流動力電源喪失により、重大事故等が発生した場合において、当該重大事故等に対処するために必要な電力を確保するため、非常用ディーゼル発電機の代替電源設備として、前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機、高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機を配備する。</p>	<p>用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)③重大事故等時において、MOX燃料加工施設と共用する所内高圧系統は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な容量を有する設計とするとともに、十分な系統数以上を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)③重大事故等時において、MOX燃料加工施設と共用する所内低圧系統は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な容量を有する設計とするとともに、十分な系統数以上を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)④重大事故等の対処に必要な電力を確保するための設備は、代替電源設備及び代替所内電気設備で構成し、電力を供給できる設計とする。</p> <p>代替電源設備は、前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機、高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機で構成し、設置場所で他の設備から独立して使用可能とすることにより、電力を供給できる設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑤代替電源設備は、監視設備、計測制御設備、計測制御装置、制御室換気設備、代替換気設備、代替モニタリング設備及び代替通信連絡設備に必要な電力を確保できる設計とする。</p>	<p>設工認の リ(1)(i)(b)(p)④は、事業変更許可申請書（本文）の リ(1)(i)(b)(p)④を具体的に示しており整合している。</p> <p>設工認の リ(1)(i)(b)(p)⑤は、事業変更許可申請書（本文）の リ(1)(i)(b)(p)⑤を具体的に示しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>（1）計装設備」に必要な電力を供給するために使用する設計とする。</u></p> <p>代替所内電気設備は、常設の重大事故対処用母線、可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルで構成し、設置場所で他の設備から独立して使用可能とすることにより、電力を供給できる設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑥全交流動力電源喪失が発生した場合において必要とする重大事故等対処設備は、非常用ディーゼル発電機及び非常用所内電源系統に対して、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑦代替所内電気設備は、「ロ.（7）（i）（1）制御室等」、「ロ.（7）（i）（p）監視設備」、「ロ.（7）（i）（s）通信連絡設備」、「ロ.（7）（ii）（d）冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備」、「ロ.（7）（ii）（e）放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備」及び「ロ.（7）（ii）（1）計装設備」に必要な電力を供給するために使用する設計とする。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、第1非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は外部保管エリアに保管し、対処時は建屋近傍の屋外に運搬し使用することで、第1非常用ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑧代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、「ロ.（7）（ii）（1）計装設備」の一部である計装設備のけん引車を兼用し、外部保管エリアから建屋近傍まで運搬する設計とする。</p>	<p>代替所内電気設備は、重大事故対処用母線（常設分電盤、常設ケーブル）、可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルで構成し、代替電源設備の電路として使用し、必要となる電力を供給する設計とする。</p> <p>代替電源設備は、非常用電源建屋から離れた場所に保管することで、非常用電源建屋内の非常用ディーゼル発電機に対して、独立性を有し、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とし、重大事故等への対処に必要な十分な容量を確保する設計とする。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、第1非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は外部保管エリアに保管し、対処時は建屋近傍の屋外に運搬し使用することで、第1非常用ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p>	<p>代替所内電気設備は、常設の重大事故対処用母線、可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルで構成し、設置場所で他の設備から独立して使用可能とすることにより、電力を供給できる設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑥代替電源設備は、非常用ディーゼル発電機に対して、独立性を有し、位置的分散を図る設計とし、必要な期間にわたり重大事故等への対処に必要な十分な容量を確保する設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑦代替所内電気設備は、監視設備、計測制御設備、計測制御装置、制御室換気設備、代替換気設備、代替モニタリング設備及び代替通信連絡設備に必要な電力を確保できる設計とする。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、共通要因によって第1非常用ディーゼル発電機と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は外部保管エリアに保管し、対処時は建屋近傍の屋外に運搬し使用することで、第1非常用ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(p)⑧代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、計測制御設備のけん引車を兼用し、外部保管エリアから建屋近傍まで運搬する設計とする。</p>	<p>設工認のリ(1)(i)(b)(p)⑥は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(p)⑥を具体的に示しており整合している。</p> <p>設工認のリ(1)(i)(b)(p)⑦は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(p)⑦を具体的に示しており整合している。</p> <p>設工認のリ(1)(i)(b)(p)⑧は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(p)⑧を具体的に示しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、第2非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は前処理建屋、分離建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の近傍の屋外に保管し、対処時はその場で運転し使用することで、第2非常用ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>⑨代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内の第1非常用ディーゼル発電機と共通要因によって、同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を第1非常用ディーゼル発電機が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>⑩代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、第2非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように故障時バックアップを含めて必要な数量を第2非常用ディーゼル発電機が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋近傍にも保管することで位置的分散を図る。</p> <p>代替電源設備は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニ</p>	<p>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、第2非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は前処理建屋、分離建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の近傍の屋外に保管し、対処時はその場で運転し使用することで、第2非常用ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内の第1非常用ディーゼル発電機と共通要因によって、同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を第1非常用ディーゼル発電機が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、非常用電源建屋の第2非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を第2非常用ディーゼル発電機が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋近傍にも保管することで位置的分散を図る。</p> <p>代替電源設備は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発</p>	<p>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、共通要因によって第2非常用ディーゼル発電機と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は前処理建屋、分離建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の近傍の屋外に保管し、対処時はその場で運転し使用することで、第2非常用ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、共通要因によって使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内の第1非常用ディーゼル発電機と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を第1非常用ディーゼル発電機を設置する建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、共通要因によって第2非常用ディーゼル発電機と同時にその機能が損なわれるおそれがないように故障時のバックアップを含めて必要な数量を第2非常用ディーゼル発電機を設置する建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋近傍にも保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>代替電源設備は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機</p>	<p>設工認の⑨は、事業変更許可申請書（本文）の⑨を具体的に示しており整合している。</p> <p>設工認の⑩は、事業変更許可申請書（本文）の⑩と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>⑪(1)(i)(b)(p)⑪代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量約200kVAを有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</p> <p>⑫(1)(i)(b)(p)⑫代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量約80kVAを有する設計とするとともに、保有数は、必要数として各建屋で1台使用するための5台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを11台の合計16台以上を確保する。</p> <p>⑬(1)(i)(b)(p)⑬また、前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保する。</p> <p>⑭(1)(i)(b)(p)⑭代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量約200kVAを有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを2台の合計3台以上を確保する。</p> <p>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量約80kVAを有する設計とするとともに、保有数は、必要数として各建屋で1台使用するための5台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを11台の合計16台以上を確保する。</p> <p>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>⑪(1)(i)(b)(p)⑪代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数並びに予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを含め必要な台数を確保する設計とする。</p> <p>⑫(1)(i)(b)(p)⑫代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数並びに予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを含め必要な台数を確保する設計とする。</p> <p>⑬(1)(i)(b)(p)⑬前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保する設計とする。</p> <p>⑭(1)(i)(b)(p)⑭代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の⑪(1)(i)(b)(p)⑪及び仕様表(1)(i)(b)(p)⑪は、事業変更許可申請書（本文）の⑪(1)(i)(b)(p)⑪と同義であり整合している。</p> <p>設工認の⑫(1)(i)(b)(p)⑫及び仕様表(1)(i)(b)(p)⑫は、事業変更許可申請書（本文）の⑫(1)(i)(b)(p)⑫と同義であり整合している。</p> <p>設工認の⑬(1)(i)(b)(p)⑬は、事業変更許可申請書（本文）の⑬(1)(i)(b)(p)⑬と同義であり整合している。</p> <p>設工認の⑭(1)(i)(b)(p)⑭は、事業変更許可申請書（本文）の⑭(1)(i)(b)(p)⑭を具体的に示しており整合している。（以下同様の記載については電気1とし整合性の記</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>(1) (i) (b) (v) 代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、内部発生飛散物の影響を考慮し、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備の屋外に保管する前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</u></p> <p><u>リ(1) (i) (b) (v) 地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替電源設備は、「ロ. (7) (ii) (b) (ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>リ(1) (i) (b) (v) 代替電源設備は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></u></p> <p><u>代替電源設備は、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の</u></p>	<p><u>代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、内部発生飛散物の影響を考慮し、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</u></p> <p><u>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替電源設備は、「1.7.18 (5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護をする設計とする。</u></u></p> <p><u>代替電源設備は、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することによ</u></p>	<p><u>(1) (i) (b) (v) 代替電源設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機は、内部発生飛散物の影響を考慮し、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する代替電源設備の前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、制御建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</u></p> <p><u>リ(1) (i) (b) (v) 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる代替電源設備は、第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」電気3に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>リ(1) (i) (b) (v) 代替電源設備は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない</u>電気4設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒</u></p>	<p>載を省略する)</p> <p>設工認の <u>リ(1) (i) (b) (v)</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ(1) (i) (b) (v)</u> を具体的に示しており整合している。（以下同様の記載については電気2とし整合性の記載を省略する）</p> <p>設工認の <u>リ(1) (i) (b) (v)</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ(1) (i) (b) (v)</u> を具体的に示しており整合している。（以下同様の記載については電気3とし整合性の記載を省略する）</p> <p>設工認の <u>リ(1) (i) (b) (v)</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ(1) (i) (b) (v)</u> を具体的に示しており整合している。（以下同様の記載については電気4とし整合性の記載を省略する）</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定し、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>①(1)(i)(b)(iv)⑱代替電源設備は、再処理施設の運転中又は停止中に独立して外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、安全上重要な施設へ電力を供給するための設備と異なる系統構成とすることで、非常用所内電源系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、非常用所内電源系統と異なる系統として設置することにより、非常用所内電源系統と位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故対処用母線は、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</u></p> <p><u>建屋の外から電力を供給する可搬型電源ケーブルと重大事故対処用母線との接続口</u></p>	<p><u>り、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定し、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、非常用所内電源系統と異なる系統構成とすることで、非常用所内電源系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、非常用所内電源系統と異なる系統として設置することにより、非常用所内電源系統と位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>また、重大事故対処用母線は、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</u></p> <p><u>建屋の外から電力を供給する可搬型電源ケーブルと重大事故対処用母線との接続口は、共通要因によ</u></p>	<p><u>等）の影響を受けない位置に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定し、当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替電源設備は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>①(1)(i)(b)(iv)⑱代替電源設備は、通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するため、外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、共通要因によって非常用所内電源系統と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、安全上重要な施設へ電力を供給するための設備と異なる系統構成とすることで、非常用所内電源系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、共通要因によって非常用所内電源系統と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、非常用所内電源系統と異なる系統として設置することにより、非常用所内電源系統と位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>重大事故対処用母線は、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</u></p> <p><u>建屋の外から電力を供給する可搬型電源ケーブルと重大事故対処用母線との接続口は、共通要因によって</u></p>	<p>設工認の①(1)(i)(b)(iv)⑱は、事業変更許可申請書（本文）の①(1)(i)(b)(iv)⑱を具体的に示しており整合している。（以下同様の記載については電気5とし整合性の記載を省略する）</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、複数のアクセスルートを踏まえて自然現象、人為事象及び故障による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する。また、溢水、化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(v)⑱代替所内電気設備の前処理建屋の重大事故対処用母線、分離建屋の重大事故対処用母線、精製建屋の重大事故対処用母線、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の重大事故対処用母線及び高レベル廃液ガラス固化建屋の重大事故対処用母線は、重大事故等に対処するために必要な容量約80kVAを有する設計とするとともに、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた各建屋で2系統の10系統以上を有する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、「ロ.(7)(ii)(b)(ホ)地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線</p>	<p>って接続することができなくなることを防止するため、複数のアクセスルートを踏まえて自然現象、人為事象及び故障による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する。また、溢水、化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の前処理建屋の重大事故対処用母線、分離建屋の重大事故対処用母線、精製建屋の重大事故対処用母線、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の重大事故対処用母線及び高レベル廃液ガラス固化建屋の重大事故対処用母線は、重大事故等に対処するために必要な容量約80kVAを有する設計とするとともに、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた各建屋で2系統の10系統以上を有する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、「1.7.18(5)地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、溢水</p>	<p>接続することができなくなることを防止するため、複数のアクセスルートを踏まえて自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する設計とする。また、溢水、化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(1)(i)(b)(v)⑱代替所内電気設備の前処理建屋の重大事故対処用母線、分離建屋の重大事故対処用母線、精製建屋の重大事故対処用母線、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の重大事故対処用母線及び高レベル廃液ガラス固化建屋の重大事故対処用母線は、重大事故等に対処するために必要な容量を有する設計とするとともに、動的機器の単一故障を考慮した予備を含めた各建屋で必要な数量を有する設計とする。</p> <p>地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」[電気3]に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な[電気1]機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のリ  (1)(i)(b)(v)⑱及び仕様表(1)(i)(b)(v)⑳は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(v)⑱と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、内部発生飛散物の影響を考慮し、内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は、非常用所内電源系統と異なる場所に保管し、対処時は、非常用所内電源系統と異なる系統構成とすることで、非常用所内電源系統に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を非常用所内電源系統が設置される建屋から 100m 以上の隔離距離を確保した外部保管エリアの保管庫に保管するとともに、前処理建屋、分離</u></p>	<p><u>量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護をする設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、内部発生飛散物の影響を考慮し、内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線（常設分電盤及び常設ケーブル）は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は、非常用所内電源系統と異なる場所に保管し、対処時は、非常用所内電源系統と異なる系統構成とすることで、非常用所内電源系統に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、非常用所内電源系統と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を非常用所内電源系統が設置される建屋から 100m 以上の隔離距離を確保した外部保管エリアの保管庫に保管するとともに、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レ</u></p>	<p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない電</u> <u>気 4 設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、内部発生飛散物の影響を考慮し、内部発生飛散物の影響を受けない場所に設置することにより、重大事故等への対処に必要な電</u> <u>気 2 機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の重大事故対処用母線は、通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するため、電</u> <u>気 5 外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、共通要因によって非常用所内電源系統と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、通常は、非常用所内電源系統と異なる場所に保管し、対処時は、非常用所内電源系統と異なる系統構成とすることで、非常用所内電源系統に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、共通要因によって非常用所内電源系統と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップも含めて必要な数量を非常用所内電源系統を設置する建屋から 100m 以上の隔離距離を確保した外部保管エリアの保管庫に保管するとともに、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>建屋，精製建屋，制御建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋，高レベル廃液ガラス固化建屋にも保管することで位置的分散を図る。前処理建屋，分離建屋，精製建屋，制御建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋，高レベル廃液ガラス固化建屋内に保管する場合は非常用所内電源系統が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>建屋の外から電力を供給する可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルと重大事故対処用母線との接続口は，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，複数のアクセスルートを踏まえて自然現象，人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する設計とする。また，溢水，化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，他の設備から独立して単独で使用可能なことにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>⑪(1)(i)(b)(v)⑳代替所内電気設備の前処理建屋の可搬型分電盤，分離建屋の可搬型分電盤，精製建屋の可搬型分電盤，制御建屋の可搬型分電盤，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型分電盤，高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤は，重大事故等に対処するために必要な容量約80kVAを有する設計とともに，保有数は，必要数として各建屋で1台使用するための7台，予備として故障時のバックアップを7台の合計14台以上を確保する。</u></p> <p><u>⑪(1)(i)(b)(v)㉑代替所内電気設備の前処理建屋の可搬型電源ケーブル，分離建屋</u></p>	<p><u>ベル廃液ガラス固化建屋にも保管することで位置的分散を図る。前処理建屋，分離建屋，精製建屋，制御建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋，高レベル廃液ガラス固化建屋内に保管する場合は非常用所内電源系統が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>建屋の外から電力を供給する可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルと重大事故対処用母線との接続口は，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，複数のアクセスルートを踏まえて自然現象，人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する設計とする。また，溢水，化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，他の設備から独立して単独で使用可能なことにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋の可搬型分電盤，分離建屋の可搬型分電盤，精製建屋の可搬型分電盤，制御建屋の可搬型分電盤，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型分電盤，高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤は，重大事故等に対処するために必要な容量約80kVAを有する設計とともに，保有数は，必要数として各建屋で1台使用するための7台，予備として故障時のバックアップを7台の合計14台以上を確保する。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋の可搬型電源ケーブル，分離建屋の可搬型電源ケーブル，精製建屋の</u></p>	<p><u>固化建屋にも保管することで位置的分散を図る。前処理建屋，分離建屋，精製建屋，制御建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋，高レベル廃液ガラス固化建屋内に保管する場合は非常用所内電源系統が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>建屋の外から電力を供給する可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルと重大事故対処用母線との接続口は，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，複数のアクセスルートを踏まえて自然現象，人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する設計とする。また，溢水，化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，他の設備から独立して単独で使用可能なことにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>⑪(1)(i)(b)(v)⑳代替所内電気設備の前処理建屋の可搬型分電盤，分離建屋の可搬型分電盤，精製建屋の可搬型分電盤，制御建屋の可搬型分電盤，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型分電盤，高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤は，重大事故等に対処するために必要な容量を有する設計とともに，保有数は，必要数及び予備として故障時のバックアップを含め必要な台数を確保する設計とする。</u></p> <p><u>⑪(1)(i)(b)(v)㉑代替所内電気設備の前処理建屋の可搬型電源ケーブル，分離建屋の可搬型電源ケーブル</u></p>	<p>設工認の⑪(1)(i)(b)(v)⑳及び仕様表⑪(1)(i)(b)(v)㉑は，事業変更許可申請書（本文）の⑪(1)(i)(b)(v)⑳と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>の可搬型電源ケーブル、精製建屋の可搬型電源ケーブル、制御建屋の可搬型電源ケーブル、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型電源ケーブル、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型電源ケーブル並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型電源ケーブルは、重大事故等に対処するための系統の目的に応じて必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1式、予備として故障時バックアップ1式を確保する。また、可搬型電源ケーブルは、複数の敷設ルートで対処できるように必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管する可搬型電源ケーブルについては1本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、外部からの衝撃による損傷を防止できる外部保管エリアの保管庫に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは「ロ. (7)(ii)(b)(ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さ</u></p>	<p><u>可搬型電源ケーブル、制御建屋の可搬型電源ケーブル、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型電源ケーブル、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型電源ケーブル並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型電源ケーブルは、重大事故等に対処するための系統の目的に応じて必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として1式、予備として故障時バックアップ1式を確保する。また、可搬型電源ケーブルは、複数の敷設ルートで対処できるように必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管する可搬型電源ケーブルについては1本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、外部からの衝撃による損傷を防止できる外部保管エリアの保管庫に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは「1.7.18 (5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被</u></p>	<p><u>ル、精製建屋の可搬型電源ケーブル、制御建屋の可搬型電源ケーブル、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型電源ケーブル、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型電源ケーブル並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型電源ケーブルは、重大事故等に対処するための系統の目的に応じて配備する設計とする。また、可搬型電源ケーブルは、複数の敷設ルートで対処できるように必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管する可搬型電源ケーブルについては予備を含めた個数を必要数として確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な電気1機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な電気1機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」電気3に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、</u></p>	<p>設工認の①  (1)(i)(b)(ロ)②は、  事業変更許可申請書  （本文）の①  (1)(i)(b)(ロ)②と同  義であり整合してい  る。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>への保管，被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，内部発生飛散物の影響を考慮し，外部保管エリアの屋内の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，内部発生飛散物の影響を考慮し，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，配管の全周破断に対して，漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液，有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように，当該設備の設置場所を，線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定し，当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，コネクタ接続に統一することにより，速やかに，容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>液防護をする設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，内部発生飛散物の影響を考慮し，外部保管エリアの屋内の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，内部発生飛散物の影響を考慮し，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，配管の全周破断に対して，漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液，有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより，機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように，当該設備の設置場所を，線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定し，当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，コネクタ接続に統一することにより，速やかに，容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>影響を受けない高さへの保管，被水防護及び被液防護を行うことにより，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない電気4設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，内部発生飛散物の影響を考慮し，第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の屋内の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより，重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の前処理建屋，分離建屋，精製建屋，制御建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，内部発生飛散物の影響を考慮し，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，制御建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより，重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，配管の全周破断に対して，漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液，有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより，重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように，当該設備の設置場所を，線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定し，当該設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，コネクタ接続に統一することにより，速やかに，容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の可搬型分電盤及び可搬型電源ケーブルは，通常時において，重大事故等への対処に必要な機能を確認するため，電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>2) 全交流動力電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処するための設備  <u>全交流動力電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処するための電気設備は、設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備等を兼用し、同じ系統構成で常設重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p>リ(1)(i)(b)(p)㉔外部電源が健全な環境の条件において、動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する重大事故等の対処に必要な電力を供給する電気設備は、<u>設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備等を兼用し、常設重大事故等対処設備として位置付け、必要な電力を供給する設計とする。設計基準事故に対処するための電気設備は、重大事故等発生前（通常時）の動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する臨界事故及び有機溶媒等による火災又は爆発の対処については、「ロ. (7) (i) (1) 制御室等」、「ロ. (7) (i) (p) 監視設備」、「ロ. (7) (i) (s) 通信連絡設備」、「ロ. (7) (ii) (c) 臨界事故の拡大を防止するための設備」、「ロ. (7) (ii) (f) 有機溶媒等による火災又は爆発に対処するための設備」、「ロ. (7) (ii) (g) 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備」及び「ロ. (7) (ii) (1) 計装設備」を使用するため、受電開閉設備、受電変圧器、6.9kV非常用主母線、6.9kV運転予備用主母線、6.9kV常用主母線、6.9kV非常用母線、6.9kV運転予備用母線、6.9kV常用母線、460V非常用母線、460V運転予備用母線、第1非常用直流電源設備、第2非常用直流電源設備、直流電源設備、非常用計測制御用交流電源設備及び計測制御用交流電源設備を常設重大事故等対処設備（設計基準対象の施設と兼用）として位置付け、必要な電力を確保できる設計とする。</u></p> <p>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合</p>	<p>全交流動力電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処するための電気設備は、<u>設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備等を兼用し、同じ系統構成で常設重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p>全交流動力電源喪失を要因とせず外部電源が健全な環境条件において、動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する重大事故等の対処に必要な電力を供給する電気設備は、<u>設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備等を兼用し、常設重大事故等対処設備として位置付ける。常設重大事故等対処設備は、重大事故等の対処に必要な設備へ必要な電力を給電できる設計とする。</u></p> <p>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で</p>	<p>全交流動力電源喪失を要因とせずに発生する重大事故等に対処するための電気設備は、<u>設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備等を兼用し、同じ系統構成で常設重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p>リ(1)(i)(b)(p)㉔重大事故等発生前（通常時）の動的機器の機能喪失又は人為的な過失の重畳を要因として発生する臨界事故及び有機溶媒等による火災又は爆発の対処については、<u>代替可溶性中性子吸収材緊急供給系、重大事故時可溶性中性子吸収材供給系、重大事故時プルトニウム濃縮缶加熱停止設備、代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路、重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路、重大事故時供給停止回路、計測制御装置、制御室換気設備、廃ガス貯留設備、放射線監視設備、試料分析関係設備、環境管理設備、臨界事故時水素掃気系及び通信連絡設備を使用するため、設計基準対象の施設の保安電源設備の一部である受電開閉設備、受電変圧器、6.9kV非常用主母線、6.9kV運転予備用主母線、6.9kV常用主母線、6.9kV非常用母線、6.9kV運転予備用母線、6.9kV常用母線、460V非常用母線、460V運転予備用母線、非常用直流電源設備、直流電源設備、非常用計測制御用交流電源設備及び計測制御用交流電源設備を常設重大事故等対処設備（設計基準対象の施設と兼用）として位置付け、必要な電力を確保できる設計とする。</u></p> <p>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大</p>	<p>設工認のリ(1)(i)(b)(p)㉔は、事業変更許可申請書（本文）のリ(1)(i)(b)(p)㉔と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する受電開閉設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる受電開閉設備の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる受電開閉設備の一部を兼用する設備は、森林火災発生時に消防車等による</u></p>	<p><u>重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する受電開閉設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、森林火災発生時に消防車等による事前散水による延焼防止を</u></p>	<p><u>事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部である受電変圧器は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する受電開閉設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する受電開閉設備の一部を兼用する受電変圧器は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する受電変圧器は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる受電開閉設備の一部を兼用する設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応、関連する工程の停止等の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる受電開閉設備の一部を兼用する受電変圧器は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応、関連する工程の停止等の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる受電開閉設備の一部を兼用する設備は、森林火災発生時に消防車等による事前散水による延焼</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>事前散水による延焼防止を図るとともに、代替電源設備及び代替所内電気設備により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を与えない設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設内の独立した2箇所を設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p><u>により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する。</u></p> <p><u>受電開閉設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の独立した2箇所を設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p><u>防止を図るとともに、代替電源設備及び代替所内電気設備により機能を損なわない設計とする。消防車により事前に散水することについては保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる受電開閉設備の一部を兼用する受電変圧器は、森林火災発生時に消防車等による事前散水による延焼防止を図るとともに、代替電源設備及び代替所内電気設備により機能を損なわない設計とする。消防車により事前に散水することについては保安規定に定めて、管理する。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する受電変圧器は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する設備は、通常時において、電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>受電開閉設備の一部を兼用する受電変圧器は、通常時において、電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内の独立した2箇所を設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する所内高圧系統の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内的事象を要因として発生した場合に対処に用いる所内高圧系統の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を与えない設計とする。所内高圧系統の一部を兼用する設備は、中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、</u></p>	<p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する受電開閉設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する。所内低圧系統の一部を兼用する設備は、中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち電気設備の一部を兼用する設</u></p>	<p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する所内高圧系統の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内的事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる所内高圧系統の一部を兼用する設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応、関連する工程の停止等の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。所内高圧系統の一部を兼用する設備は、中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内高圧系統の一部を兼用する設備は、通常時にお</u></p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する所内低圧系統の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる所内低圧系統の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼</u></p>	<p><u>備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する所内低圧系統の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢</u></p>	<p><u>いて、電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する所内低圧系統の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる所内低圧系統の一部を兼用する設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応、関連する工程の停止等の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>用する設備は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、<u>設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を与えない設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、<u>中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、<u>再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>直流電源設備の一部を兼用する設備は、</p>	<p>水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、<u>影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、<u>設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する。所内低圧系統の一部を兼用する設備は、中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統のうち電気設備の一部を兼用する設備は、<u>再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>直流電源設備の一部を兼用する設備は、安全機能を</p>	<p>及び化学薬品の漏えい量を考慮し、<u>影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、<u>設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。所内低圧系統の一部を兼用する設備は、中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</u></p> <p>所内低圧系統の一部を兼用する設備は、<u>通常時において、電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、<u>2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>直流電源設備の一部を兼用する設備は、安全機能を</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる直流電源設備の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を与えない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重</u></p>	<p><u>を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち電気設備の一部を兼用する設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設</u></p>	<p><u>有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる直流電源設備の一部を兼用する設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応、関連する工程の停止等の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p><u>直流電源設備の一部を兼用する設備は、通常時において、電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因として発生した場合に対処に用いる計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設の安全上重要な負荷へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p>	<p><u>へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護をする設計とする。</u></p>	<p><u>電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、電氣的及び物理的に相互に分離独立した電源を確保し、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を確保することで、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、2系統を設け、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、制御建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設内の独立した2箇所に設置することにより、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、安全機能を有する施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、重大事故等が収束するために必要な設備の電源容量に対して十分な容量を有する設計とするとともに、1系統以上有する設計とする。</u></p> <p><u>内の事象を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理の対応、関連する工程の停止等の手順を保安規定に定め管理することにより重大事故等への対処に必要な電気2機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設の安全上重要な負荷へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を与えない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備のうち電気設備の一部を兼用する設備は、再処理施設の運転中又は停止中に外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>計測制御用交流電源設備のうち安全上重要な施設へ電力を供給するための電気設備の一部を兼用する設備は、配管の全周破断に対して、影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、設計基準事故に対処するための設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。</u></p> <p><u>計測制御用交流電源設備の一部を兼用する設備は、通常時において、電気5外観検査及び絶縁抵抗測定による性能確認が可能な設計とする。</u></p> <p>電気設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-1-1表 電気設備の主要設備リスト」に示す。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																														
<p>(b) 主要な設備 (ロ) 重大事故等対処設備 1) 代替電源設備     [可搬型重大事故等対処設備]     前処理建屋可搬型発電機     台数 4 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3台）     容量 約 80 kVA/台</p>		<p><b>(1) (i) (b) (ロ) ⑭</b> 1.1.1.8 代替電源設備 (1) 発電機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型発電機 ( )</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>突極回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1050*1</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>2730*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1290*1</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>80(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>73.6</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>L/h/個</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>67以上(200*1)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3)*2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td>保管場所： ・前処理建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・前処理建屋近傍(西側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(2個)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(取付箇所：前処理建屋近傍(西側) T.M.S.L.約55.00m(1個))</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型発電機 ( )	種類	—	突極回転界磁形同期発電機	容量	kVA/個	80	主要寸法	幅	mm	1050*1	奥行	mm	2730*1	高さ	mm	1290*1	力率	%	80(遅れ)	電圧	V	200	相	—	3	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	結線法	—	星形	冷却方法	—	空気冷却	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関	出力	kW/個	73.6	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	燃料	種類	—	軽油	使用量	L/h/個	18	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	67以上(200*1)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40		主要材料	—	SECC	個数	—		4(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3)*2			変更前	変更後	取付箇所			保管場所： ・前処理建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・前処理建屋近傍(西側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(2個)			(取付箇所：前処理建屋近傍(西側) T.M.S.L.約55.00m(1個))		
		変更前	変更後																																																																																															
発電機	名称		可搬型発電機 ( )																																																																																															
	種類	—	突極回転界磁形同期発電機																																																																																															
	容量	kVA/個	80																																																																																															
	主要寸法	幅	mm	1050*1																																																																																														
		奥行	mm	2730*1																																																																																														
		高さ	mm	1290*1																																																																																														
	力率	%	80(遅れ)																																																																																															
	電圧	V	200																																																																																															
	相	—	3																																																																																															
	周波数	Hz	50																																																																																															
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																															
	結線法	—	星形																																																																																															
	冷却方法	—	空気冷却																																																																																															
	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関																																																																																														
出力		kW/個	73.6																																																																																															
回転速度		min <sup>-1</sup>	1500																																																																																															
燃料		種類	—	軽油																																																																																														
		使用量	L/h/個	18																																																																																														
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																															
	容量	L/個	67以上(200*1)																																																																																															
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																															
	最高使用温度	℃	40																																																																																															
	主要材料	—	SECC																																																																																															
個数	—		4(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3)*2																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																															
取付箇所			保管場所： ・前処理建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・前処理建屋近傍(西側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(2個)																																																																																															
			(取付箇所：前処理建屋近傍(西側) T.M.S.L.約55.00m(1個))																																																																																															

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																			
<p>分離建屋可搬型発電機  <u>台数 3 台（予備として故障時のバックアップを2台）</u>  <u>容量 約 80 kVA/台</u></p>		<p>(1) (i) (b) (v) ⑭</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型発電機 ( )</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>突極回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1050*1</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>2730*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1290*1</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>80(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>73.6</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>63以上(200*1)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>3(予備として故障時のバックアップを2)*2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>                     保管場所：                      ・分離建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(2個)                      ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個)                      (取付箇所：分離建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個))                 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">                     注記 *1：公称値を示す。                      *2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。                 </p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型発電機 ( )	種類	—	突極回転界磁形同期発電機	容量	kVA/個	80	主要寸法	幅	mm	1050*1	奥行	mm	2730*1	高さ	mm	1290*1	力率	%	80(遅れ)	電圧	V	200	相	—	3	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	結線法	—	星形	冷却方法	—	空気冷却	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関	出力	kW/個	73.6	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	燃料	種類	—	軽油	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	63以上(200*1)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	—	SECC	個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2)*2	取付箇所	—		保管場所： ・分離建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(2個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個) (取付箇所：分離建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個))		
		変更前	変更後																																																																																				
発電機	名称		可搬型発電機 ( )																																																																																				
	種類	—	突極回転界磁形同期発電機																																																																																				
	容量	kVA/個	80																																																																																				
	主要寸法	幅	mm	1050*1																																																																																			
		奥行	mm	2730*1																																																																																			
		高さ	mm	1290*1																																																																																			
	力率	%	80(遅れ)																																																																																				
	電圧	V	200																																																																																				
	相	—	3																																																																																				
	周波数	Hz	50																																																																																				
回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																					
結線法	—	星形																																																																																					
冷却方法	—	空気冷却																																																																																					
機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関																																																																																				
	出力	kW/個	73.6																																																																																				
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																				
	燃料	種類	—	軽油																																																																																			
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																				
	容量	L/個	63以上(200*1)																																																																																				
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																				
	最高使用温度	℃	40																																																																																				
主要材料	—	SECC																																																																																					
個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2)*2																																																																																				
取付箇所	—		保管場所： ・分離建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(2個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個) (取付箇所：分離建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個))																																																																																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
<p>制御建屋可搬型発電機  <u>台数 3 台（予備として故障時のバックアップを2台）</u>  <u>容量 約 80 kVA/台</u></p>		<p>(1) (i) (b) (v) ⑭</p> <table border="1" data-bbox="1558 394 2154 1268"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型発電機 ( ) *1*2 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用) 突極回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1050*3</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>2730*3</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1290*3</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>三相 80(遅れ)/单相 100</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>三相 200/单相 100</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3/1</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>73.6</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>63以上(200*3)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>3(予備として故障時のバックアップを2)*4</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所:                      ・制御建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個)                      ・制御建屋近傍(北側) T.M.S.L.約55.00m(1個)                      ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個)                      取付箇所: 制御建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 可搬型発電機は, MOX燃料加工施設と共用する。                      *2: 可搬型発電機は, 再処理施設にて設備登録を行っている。                      *3: 公称値を示す。                      *4: 機関および燃料タンクについては, 可搬型発電機1個当たり1個である。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型発電機 ( ) *1*2 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用) 突極回転界磁形同期発電機	種類	—		容量	kVA/個	80	主要寸法	幅	mm	1050*3	奥行	mm	2730*3	高さ	mm	1290*3	力率	%	三相 80(遅れ)/单相 100	電圧	V	三相 200/单相 100	相	—	3/1	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	結線法	—	星形	冷却方法	—	空気冷却	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関	出力	kW/個	73.6	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	燃料	種類	—	軽油	使用量	l/h/個	18	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	63以上(200*3)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	—	SECC	個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2)*4	取付箇所	—		保管場所: ・制御建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・制御建屋近傍(北側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個) 取付箇所: 制御建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個)		
		変更前	変更後																																																																																							
発電機	名称		可搬型発電機 ( ) *1*2 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用) 突極回転界磁形同期発電機																																																																																							
	種類	—																																																																																								
	容量	kVA/個	80																																																																																							
	主要寸法	幅	mm	1050*3																																																																																						
		奥行	mm	2730*3																																																																																						
		高さ	mm	1290*3																																																																																						
	力率	%	三相 80(遅れ)/单相 100																																																																																							
	電圧	V	三相 200/单相 100																																																																																							
	相	—	3/1																																																																																							
	周波数	Hz	50																																																																																							
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																							
	結線法	—	星形																																																																																							
	冷却方法	—	空気冷却																																																																																							
	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関																																																																																						
出力		kW/個	73.6																																																																																							
回転速度		min <sup>-1</sup>	1500																																																																																							
燃料		種類	—	軽油																																																																																						
	使用量	l/h/個	18																																																																																							
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																							
	容量	L/個	63以上(200*3)																																																																																							
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																							
	最高使用温度	℃	40																																																																																							
	主要材料	—	SECC																																																																																							
個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2)*4																																																																																							
取付箇所	—		保管場所: ・制御建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・制御建屋近傍(北側) T.M.S.L.約55.00m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個) 取付箇所: 制御建屋近傍(東側) T.M.S.L.約55.00m(1個)																																																																																							



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																							
<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機            台数 3 台（予備として故障時のバックアップを2台）            容量 約 80 kVA/台</p>		<p>(1) (i) (b) (v) ⑭</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型発電機</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>突極同期並列並列同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1050*</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>2730*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1280*</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>%</td> <td>80(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>-</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>-</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">機関</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>4サイクル直接噴射式気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/台</td> <td>73.8</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/台</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/台</td> <td>78以上(200*)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ク</td> <td>最高使用温度</td> <td>°C</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>SBC</td> </tr> <tr> <td>備註</td> <td>-</td> <td></td> <td>3(予備として故障時のバックアップを2)*</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> <td>保管場所：            ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍            (東側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇)            ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍            (北側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇)            ・G14-W0112□T.M.S.L.約48.85m(1箇)            (取付箇所：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍(北側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇))</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記□*1：公称値を示す。            *2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1箇当たり1箇である。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型発電機	種類	-	突極同期並列並列同期発電機	容量	kVA/台	80	主要寸法	幅	mm	1050*	奥行	mm	2730*	高さ	mm	1280*	効率	%	80(遅れ)	電圧	V	200	相	-	3	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	結線法	-	星形	冷却方法	-	空気冷却	機関	種類	-	4サイクル直接噴射式気筒ディーゼル機関	出力	kW/台	73.8	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	燃料	種類	-	軽油	使用量	l/h/台	18	燃料タンク	種類	-	鋼板溶接製箱形	容量	L/台	78以上(200*)	最高使用圧力	MPa	静水頭	ク	最高使用温度	°C	40	主要材料	-	SBC	備註	-		3(予備として故障時のバックアップを2)*	取付箇所	-		保管場所： ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍 (東側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇) ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍 (北側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇) ・G14-W0112□T.M.S.L.約48.85m(1箇) (取付箇所：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍(北側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇))		
		変更前	変更後																																																																																								
発電機	名称		可搬型発電機																																																																																								
	種類	-	突極同期並列並列同期発電機																																																																																								
	容量	kVA/台	80																																																																																								
	主要寸法	幅	mm	1050*																																																																																							
		奥行	mm	2730*																																																																																							
		高さ	mm	1280*																																																																																							
	効率	%	80(遅れ)																																																																																								
	電圧	V	200																																																																																								
	相	-	3																																																																																								
	周波数	Hz	50																																																																																								
回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																									
結線法	-	星形																																																																																									
冷却方法	-	空気冷却																																																																																									
機関	種類	-	4サイクル直接噴射式気筒ディーゼル機関																																																																																								
	出力	kW/台	73.8																																																																																								
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																								
燃料	種類	-	軽油																																																																																								
	使用量	l/h/台	18																																																																																								
燃料タンク	種類	-	鋼板溶接製箱形																																																																																								
	容量	L/台	78以上(200*)																																																																																								
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																								
ク	最高使用温度	°C	40																																																																																								
	主要材料	-	SBC																																																																																								
備註	-		3(予備として故障時のバックアップを2)*																																																																																								
取付箇所	-		保管場所： ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍 (東側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇) ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍 (北側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇) ・G14-W0112□T.M.S.L.約48.85m(1箇) (取付箇所：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍(北側)□T.M.S.L.約55.00m(1箇))																																																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																							
<p>高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機</p> <p>台数 3 台（予備として故障時のバックアップを2台）</p> <p>容量 約 80 kVA/台</p>		<p>(1) (i) (b) (v) ⑭</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型発電機( )</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>突極回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1050*1</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>2730*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1290*1</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>80(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>73.6</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>78以上(200*1)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>3(予備として故障時のバックアップを2)*2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>                     保管場所：                      ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側)                      T. M. S. L. 約55.00m(1個)                      ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(南側)                      T. M. S. L. 約55.00m(1個)                      ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個)                      取付箇所：高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個)                 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">注記 *1：公称値を示す。 *2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型発電機( )	種類	—	突極回転界磁形同期発電機	容量	kVA/個	80	主要寸法	幅	mm	1050*1	奥行	mm	2730*1	高さ	mm	1290*1	力率	%	80(遅れ)	電圧	V	200	相	—	3	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	結線法	—	星形	冷却方法	—	空気冷却	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関	出力	kW/個	73.6	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	燃料	種類	—	軽油	使用量	l/h/個	18	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	78以上(200*1)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	—	SECC		個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2)*2	取付箇所	—		保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(南側) T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) 取付箇所：高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個)		
		変更前	変更後																																																																																								
発電機	名称		可搬型発電機( )																																																																																								
	種類	—	突極回転界磁形同期発電機																																																																																								
	容量	kVA/個	80																																																																																								
	主要寸法	幅	mm	1050*1																																																																																							
		奥行	mm	2730*1																																																																																							
		高さ	mm	1290*1																																																																																							
	力率	%	80(遅れ)																																																																																								
	電圧	V	200																																																																																								
	相	—	3																																																																																								
	周波数	Hz	50																																																																																								
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																								
	結線法	—	星形																																																																																								
	冷却方法	—	空気冷却																																																																																								
	機関	種類	—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関																																																																																							
出力		kW/個	73.6																																																																																								
回転速度		min <sup>-1</sup>	1500																																																																																								
燃料		種類	—	軽油																																																																																							
	使用量	l/h/個	18																																																																																								
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																								
	容量	L/個	78以上(200*1)																																																																																								
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																								
	最高使用温度	℃	40																																																																																								
主要材料	—	SECC																																																																																									
個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2)*2																																																																																								
取付箇所	—		保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(南側) T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) 取付箇所：高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個)																																																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
<p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機            台数 3 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台）            容量 約 200 kVA/台</p>		<p>(1) (i) (b) (v) ㉓</p> <p>1.1.1.1.8 代替電源設備            (1) 発電機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">発電機</td> <td>名称</td> <td></td> <td>可搬型発電機( )</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>回転界磁形同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>1350*1</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>3600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1650*1</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%</td> <td>80(遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>冷却方法</td> <td>—</td> <td>空気冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">機関</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>4サイクル直噴射式6気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>l/h/個</td> <td>44.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>鋼板溶接製箱形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>194以上(380*1)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>SECC</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>3(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2)*2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所：            ・G13-W0115 T.M.S.L.約55.15m(1個)            ・G14-W0111 T.M.S.L.約48.65m(1個)            ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個)            取付箇所：使用済燃料の受入れ貯蔵棟屋近傍(南側) T.M.S.L.約55.00m</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。            *2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。</p>			変更前	変更後	発電機	名称		可搬型発電機( )	種類	—	回転界磁形同期発電機	容量	kVA/個	200	主要寸法	幅	mm	1350*1	奥行	mm	3600*1	高さ	mm	1650*1	力率	%	80(遅れ)	電圧	V	200	相	—	3	周波数	Hz	50	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	結線法	—	星形	冷却方法	—	空気冷却	機関	種類	—	4サイクル直噴射式6気筒ディーゼル機関	出力	kW/個	203	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500	燃料	種類	—	軽油	使用量	l/h/個	44.0	燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形	容量	L/個	194以上(380*1)	最高使用圧力	MPa	静水頭	最高使用温度	℃	40	主要材料	—	SECC	個数	—		3(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2)*2	取付箇所	—		保管場所： ・G13-W0115 T.M.S.L.約55.15m(1個) ・G14-W0111 T.M.S.L.約48.65m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個) 取付箇所：使用済燃料の受入れ貯蔵棟屋近傍(南側) T.M.S.L.約55.00m		
		変更前	変更後																																																																																							
発電機	名称		可搬型発電機( )																																																																																							
	種類	—	回転界磁形同期発電機																																																																																							
	容量	kVA/個	200																																																																																							
	主要寸法	幅	mm	1350*1																																																																																						
		奥行	mm	3600*1																																																																																						
		高さ	mm	1650*1																																																																																						
	力率	%	80(遅れ)																																																																																							
	電圧	V	200																																																																																							
	相	—	3																																																																																							
	周波数	Hz	50																																																																																							
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																							
	結線法	—	星形																																																																																							
	冷却方法	—	空気冷却																																																																																							
機関	種類	—	4サイクル直噴射式6気筒ディーゼル機関																																																																																							
	出力	kW/個	203																																																																																							
	回転速度	min <sup>-1</sup>	1500																																																																																							
	燃料	種類	—	軽油																																																																																						
使用量		l/h/個	44.0																																																																																							
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形																																																																																							
	容量	L/個	194以上(380*1)																																																																																							
	最高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																							
	最高使用温度	℃	40																																																																																							
主要材料	—	SECC																																																																																								
個数	—		3(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2)*2																																																																																							
取付箇所	—		保管場所： ・G13-W0115 T.M.S.L.約55.15m(1個) ・G14-W0111 T.M.S.L.約48.65m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L.約48.65m(1個) 取付箇所：使用済燃料の受入れ貯蔵棟屋近傍(南側) T.M.S.L.約55.00m																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																													
<p>2) 代替所内電気設備                      [常設重大事故等対処設備]                      前処理建屋の重大事故対処用母線                      (常設分電盤, 常設電源ケーブル)                      数量 2 系統</p> <p>分離建屋の重大事故対処用母線 (常設分電盤, 常設電源ケーブル)                      数量 2 系統</p>		<p>(1) (i) (b) (ii) ㉔</p> <p>1.1.1.9 代替所内電気設備                      (1) 電源盤</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>S1 S2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上 T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>mm<sup>*1</sup> mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上 T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上 T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (ii) ㉔</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>mm<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. mm<sup>*1</sup>以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		250	主要寸法	幅	mm	mm <sup>*1</sup>	奥行	mm	mm <sup>*1</sup>	高さ	mm	mm <sup>*1</sup>	個数		-	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	設置床	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup>	溢水防護上の区画番号	-	S1 S2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上 T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	mm <sup>*1</sup> mm <sup>*1</sup>	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上 T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上 T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		300	主要寸法	幅	mm	mm <sup>*1</sup>	奥行	mm	mm <sup>*1</sup>	高さ	mm	mm <sup>*1</sup>	個数		-	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	設置床	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup>	溢水防護上の区画番号	-	mm <sup>*1</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	mm <sup>*1</sup>	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上		
名称		変更前	変更後																																																																																														
電圧	V		200																																																																																														
電流	A		250																																																																																														
主要寸法	幅	mm	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	奥行	mm	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	高さ	mm	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
個数		-	2																																																																																														
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-																																																																																														
	設置床	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	-	S1 S2																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上 T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上																																																																																														
	化学薬品防護上の区画番号	-	mm <sup>*1</sup> mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上 T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上																																																																																														
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上 T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上																																																																																														
名称		変更前	変更後																																																																																														
電圧	V		200																																																																																														
電流	A		300																																																																																														
主要寸法	幅	mm	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	奥行	mm	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	高さ	mm	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
個数		-	2																																																																																														
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-																																																																																														
	設置床	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	-	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上																																																																																														
	化学薬品防護上の区画番号	-	mm <sup>*1</sup>																																																																																														
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. mm <sup>*1</sup> 以上																																																																																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																		
<p>精製建屋の重大事故対処用母線（常設分電盤、常設電源ケーブル） 数量 2 系統</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の重大事故対処用母線 （常設分電盤、常設電源ケーブル） 数量 2 系統</p>		<p>(1) (i) (b) (p) ㉔</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>重大事故対処用母線常設分電盤</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>■ T.M.S.L. ■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. ■以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. ■以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (p) ㉔</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>重大事故対処用母線常設分電盤</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>■ T.M.S.L. ■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. ■以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. ■以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			重大事故対処用母線常設分電盤	電圧	V		200	電流	A		250	主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>	奥行		■ <sup>*1</sup>	高さ		■ <sup>*1</sup>	個数	—		2	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	設置床	—	■ T.M.S.L. ■	溢水防護上の 区画番号	—	■	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上	化学薬品防護上の 区画番号	—	■	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上			変更前	変更後	名称			重大事故対処用母線常設分電盤	電圧	V		200	電流	A		250	主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>	奥行		■ <sup>*1</sup>	高さ		■ <sup>*1</sup>	個数	—		2	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	設置床	—	■ T.M.S.L. ■	溢水防護上の 区画番号	—	■	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上	化学薬品防護上の 区画番号	—	■	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上		
		変更前	変更後																																																																																																			
名称			重大事故対処用母線常設分電盤																																																																																																			
電圧	V		200																																																																																																			
電流	A		250																																																																																																			
主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>																																																																																																			
	奥行		■ <sup>*1</sup>																																																																																																			
	高さ		■ <sup>*1</sup>																																																																																																			
個数	—		2																																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—																																																																																																			
	設置床	—	■ T.M.S.L. ■																																																																																																			
	溢水防護上の 区画番号	—	■																																																																																																			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上																																																																																																			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	■																																																																																																			
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上																																																																																																			
			変更前	変更後																																																																																																		
名称			重大事故対処用母線常設分電盤																																																																																																			
電圧	V		200																																																																																																			
電流	A		250																																																																																																			
主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>																																																																																																			
	奥行		■ <sup>*1</sup>																																																																																																			
	高さ		■ <sup>*1</sup>																																																																																																			
個数	—		2																																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—																																																																																																			
	設置床	—	■ T.M.S.L. ■																																																																																																			
	溢水防護上の 区画番号	—	■																																																																																																			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上																																																																																																			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	■																																																																																																			
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T.M.S.L. ■以上																																																																																																			

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																									
<p>高レベル廃液ガラス固化建屋の重大事故 対処用母線 (常設分電盤, 常設電源ケーブル) 数量 2 系統</p> <p>[可搬型重大事故等対処設備] 前処理建屋の可搬型分電盤 数量 2 面 (予備として故障時のバックアップを1面)</p> <p>分離建屋の可搬型分電盤 数量 2 面 (予備として故障時のバックアップを1面)</p>		<p>(1) (i) (b) (v) ㉔</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>■ T.M.S.L. ■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>-</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. ■以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 区画番号</td> <td>-</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. ■以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (v) ㉕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> <td>保管場所: ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所: ( ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) )</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (v) ㉖</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>32</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> <td>保管場所: ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所: ( ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) )</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		250	主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>	奥行		■ <sup>*1</sup>	高さ		■ <sup>*1</sup>	個数	-		2	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	設置床	-	■ T.M.S.L. ■	溢水防護上の 区画番号	-	■	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. ■以上	化学薬品防護上の 区画番号	-	■	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. ■以上	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		16	主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>	奥行		■ <sup>*1</sup>	高さ		■ <sup>*1</sup>	個数	-		2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	-		保管場所: ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所: ( ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) )	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		32	主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>	奥行		■ <sup>*1</sup>	高さ		■ <sup>*1</sup>	個数	-		2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	-		保管場所: ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所: ( ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) )		
名称		変更前	変更後																																																																																																										
電圧	V		200																																																																																																										
電流	A		250																																																																																																										
主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
	奥行		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
	高さ		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
個数	-		2																																																																																																										
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-																																																																																																										
	設置床	-	■ T.M.S.L. ■																																																																																																										
	溢水防護上の 区画番号	-	■																																																																																																										
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. ■以上																																																																																																										
	化学薬品防護上の 区画番号	-	■																																																																																																										
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. ■以上																																																																																																										
名称		変更前	変更後																																																																																																										
電圧	V		200																																																																																																										
電流	A		16																																																																																																										
主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
	奥行		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
	高さ		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
個数	-		2(予備として故障時バックアップを1)																																																																																																										
取付箇所	-		保管場所: ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所: ( ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) )																																																																																																										
名称		変更前	変更後																																																																																																										
電圧	V		200																																																																																																										
電流	A		32																																																																																																										
主要寸法	幅		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
	奥行		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
	高さ		■ <sup>*1</sup>																																																																																																										
個数	-		2(予備として故障時バックアップを1)																																																																																																										
取付箇所	-		保管場所: ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所: ( ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) )																																																																																																										

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																						
<p>精製建屋の可搬型分電盤 数量 2 面（予備として故障時のバックアップを1面）</p> <p>制御建屋の可搬型分電盤 数量 2 面（予備として故障時のバックアップを1面）</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型分電盤 数量 2 面（予備として故障時のバックアップを1面）</p>		<p>(1) (i) (b) (v) ㉔</p> <table border="1" data-bbox="1561 394 2157 737"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">可搬型分電盤</td> <td></td> <td>可搬型分電盤</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所： ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (v) ㉔</p> <table border="1" data-bbox="1561 873 2157 1215"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">可搬型分電盤</td> <td></td> <td>可搬型分電盤</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>189</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所： ・ AG-W0503 T.M.S.L. 約67.30m(1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： AG-W0503 T.M.S.L. 約67.30m(1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (v) ㉔</p> <table border="1" data-bbox="1561 1352 2157 1694"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">可搬型分電盤</td> <td></td> <td>可搬型分電盤</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所： ■ T.M.S.L. 約39.80m(1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： ■ T.M.S.L. 約39.80m(1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	可搬型分電盤			可搬型分電盤	電圧	V		200	電流	A		40	主要寸法	幅	mm	■ <sup>*1</sup>	奥行	mm	■ <sup>*1</sup>	高さ	mm	■ <sup>*1</sup>	個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	—		保管場所： ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個)	名称		変更前	変更後	可搬型分電盤			可搬型分電盤	電圧	V		200	電流	A		189	主要寸法	幅	mm	■ <sup>*1</sup>	奥行	mm	■ <sup>*1</sup>	高さ	mm	■ <sup>*1</sup>	個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	—		保管場所： ・ AG-W0503 T.M.S.L. 約67.30m(1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： AG-W0503 T.M.S.L. 約67.30m(1個)	名称		変更前	変更後	可搬型分電盤			可搬型分電盤	電圧	V		200	電流	A		40	主要寸法	幅	mm	■ <sup>*1</sup>	奥行	mm	■ <sup>*1</sup>	高さ	mm	■ <sup>*1</sup>	個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	—		保管場所： ■ T.M.S.L. 約39.80m(1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： ■ T.M.S.L. 約39.80m(1個)		
名称		変更前	変更後																																																																																																							
可搬型分電盤			可搬型分電盤																																																																																																							
電圧	V		200																																																																																																							
電流	A		40																																																																																																							
主要寸法	幅	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
	奥行	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
	高さ	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)																																																																																																							
取付箇所	—		保管場所： ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個)																																																																																																							
名称		変更前	変更後																																																																																																							
可搬型分電盤			可搬型分電盤																																																																																																							
電圧	V		200																																																																																																							
電流	A		189																																																																																																							
主要寸法	幅	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
	奥行	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
	高さ	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)																																																																																																							
取付箇所	—		保管場所： ・ AG-W0503 T.M.S.L. 約67.30m(1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： AG-W0503 T.M.S.L. 約67.30m(1個)																																																																																																							
名称		変更前	変更後																																																																																																							
可搬型分電盤			可搬型分電盤																																																																																																							
電圧	V		200																																																																																																							
電流	A		40																																																																																																							
主要寸法	幅	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
	奥行	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
	高さ	mm	■ <sup>*1</sup>																																																																																																							
個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)																																																																																																							
取付箇所	—		保管場所： ■ T.M.S.L. 約39.80m(1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) 取付箇所： ■ T.M.S.L. 約39.80m(1個)																																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																												
<p>高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型分電盤 数量 2 面（予備として故障時のバックアップを1面）</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の可搬型分電盤 数量 2 面（予備として故障時のバックアップを1面）</p> <p>(1) (i) (b) (ii) ㉑ 前処理建屋の可搬型電源ケーブル 数量 1 式 分離建屋の可搬型電源ケーブル 数量 1 式 精製建屋の可搬型電源ケーブル 数量 1 式 制御建屋の可搬型電源ケーブル 数量 1 式 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型電源ケーブル 数量 1 式 高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型電源ケーブル 数量 1 式 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の</p>		<p>(1) (i) (b) (ii) ㉒</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所： ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所： ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>(1) (i) (b) (ii) ㉒</p> <p>1.1.1.1.9 代替所内電気設備 (1) 電源盤</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td></td> <td>32</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2(予備として故障時バックアップを1)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td></td> <td>保管場所： ・ G13-W0115 T.M.S.L. 約55.15m (1個) ・ G14-W0111 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所： ・ FA-W0433 T.M.S.L. 約55.45m (1個)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		40	主要寸法	幅	mm	■ <sup>1</sup>	奥行	mm	■ <sup>1</sup>	高さ	mm	■ <sup>1</sup>	個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	—		保管場所： ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所： ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個)	名称		変更前	変更後	電圧	V		200	電流	A		32	主要寸法	幅	mm	■ <sup>1</sup>	奥行	mm	■ <sup>1</sup>	高さ	mm	■ <sup>1</sup>	個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)	取付箇所	—		保管場所： ・ G13-W0115 T.M.S.L. 約55.15m (1個) ・ G14-W0111 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所： ・ FA-W0433 T.M.S.L. 約55.45m (1個)		
名称		変更前	変更後																																																													
電圧	V		200																																																													
電流	A		40																																																													
主要寸法	幅	mm	■ <sup>1</sup>																																																													
	奥行	mm	■ <sup>1</sup>																																																													
	高さ	mm	■ <sup>1</sup>																																																													
個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)																																																													
取付箇所	—		保管場所： ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個) ・ G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所： ・ ■ T.M.S.L. 約 ■ (1個)																																																													
名称		変更前	変更後																																																													
電圧	V		200																																																													
電流	A		32																																																													
主要寸法	幅	mm	■ <sup>1</sup>																																																													
	奥行	mm	■ <sup>1</sup>																																																													
	高さ	mm	■ <sup>1</sup>																																																													
個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)																																																													
取付箇所	—		保管場所： ・ G13-W0115 T.M.S.L. 約55.15m (1個) ・ G14-W0111 T.M.S.L. 約48.65m (1個) 取付箇所： ・ FA-W0433 T.M.S.L. 約55.45m (1個)																																																													



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>可搬型電源ケーブル 数量 1 式</p> <p>3) 受電開閉設備 [常設重大事故等対処設備（設計基準対象の施設と兼用）] 受電開閉設備（MOX燃料加工施設と共用） 数量 2 系統 受電変圧器（MOX燃料加工施設と共用） 数量 4 台</p> <p>4) 所内高圧系統 [常設重大事故等対処設備（設計基準対象の施設と一部兼用）] 非常用電源建屋の 6.9kV 非常用主母線 数量 2 系統 ユーティリティ建屋の 6.9kV 運転予備用主母線 数量 1 系統 ユーティリティ建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 1 系統 ユーティリティ建屋の 6.9kV 常用主母線（MOX燃料加工施設と共用） 数量 2 系統 第 2 ユーティリティ建屋の 6.9kV 運転予備用主母線 数量 3 系統 第 2 ユーティリティ建屋の 6.9kV 常用主母線 数量 1 系統 前処理建屋の 6.9kV 非常用母線 数量 2 系統 前処理建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 1 系統 分離建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 1 系統 精製建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 1 系統 制御建屋の 6.9kV 非常用母線 数量 2 系統 制御建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 2 系統 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の 6.9kV 非常用母線</p>			<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「受電開閉設備」は、重大事故等対処設備として仕様表対象外である。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「所内高圧系統」は、重大事故等対処設備として仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>数量 2 系統 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 1 系統 高レベル廃液ガラス固化建屋の 6.9kV 運転予備用母線 数量 1 系統 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の 6.9kV 非常用母線 (MOX 燃料加工施設と共用) 数量 2 系統 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の 6.9kV 常用母線 (MOX 燃料加工施設と共用) 数量 2 系統 低レベル廃棄物処理建屋の 6.9kV 運転 予備用母線 数量 1 系統</p> <p>5) 所内低圧系統 [常設重大事故等対処設備（設計基準対 象の施設と一部兼用）] 非常用電源建屋の 460V 非常用母線 数量 2 系統 ユーティリティ建屋の 460V 運転予備用 母線 数量 3 系統 第 2 ユーティリティ建屋の 460V 運転予 備用母線 数量 1 系統 前処理建屋の 460V 非常用母線 数量 2 系統 前処理建屋の 460V 運転予備用母線 数量 1 系統 分離建屋の 460V 非常用母線 数量 2 系統 分離建屋の 460V 運転予備用母線 数量 1 系統 精製建屋の 460V 非常用母線 数量 2 系統 精製建屋の 460V 運転予備用母線 数量 1 系統 制御建屋の 460V 非常用母線 数量 2 系統 制御建屋の 460V 運転予備用母線 数量 2 系統 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の</p>			<p>事業変更許可申請書 （本文）において許 可を受けた「所内低 圧系統」は、重大事 故等対処設備として 仕様表対象外であ る。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>460V非常用母線 数量2 系統 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の 460V運転予備用母線 数量1 系統 高レベル廃液ガラス固化建屋の460V非常用母線 数量2 系統 高レベル廃液ガラス固化建屋の460V運転予備用母線 数量1 系統 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の 460V非常用母線 (MOX燃料加工施設と共用) 数量2 系統 低レベル廃棄物処理建屋の460V運転予備用母線 数量1 系統 低レベル廃液処理建屋の460V運転予備用母線 数量1 系統 ハル・エンドピース貯蔵建屋の460V運転予備用母線 数量1 系統 ウラン脱硝建屋の460V運転予備用母線 数量1 系統</p> <p>6) 直流電源設備 [常設重大事故等対処設備（設計基準対象の施設と一部兼用）] 非常用電源建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統 ユーティリティ建屋の直流電源設備 数量2 系統 第2ユーティリティ建屋の直流電源設備 数量1 系統 前処理建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統 前処理建屋の直流電源設備 数量1 系統 分離建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統 精製建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統 制御建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統</p>			<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「直流電源設備」は、重大事故等対処設備として仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>制御建屋の直流電源設備 数量1 系統</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋の第2非常用直流電源設備 数量2 系統</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の第1非常用直流電源設備 数量2 系統</p> <p>低レベル廃棄物処理建屋の直流電源設備 数量1 系統</p> <p>低レベル廃液処理建屋の直流電源設備 数量1 系統</p> <p>ハル・エンドピース貯蔵建屋の直流電源設備 数量1 系統</p> <p>ウラン脱硝建屋の直流電源設備 数量1 系統</p> <p>7) 計測制御用交流電源設備 [常設重大事故等対処設備（設計基準対象の施設と一部兼用）] ユーティリティ建屋の計測制御用交流電源設備 数量1 系統</p> <p>第2ユーティリティ建屋の計測制御用交流電源設備 数量1 系統</p> <p>前処理建屋の非常用計測制御用交流電源設備 数量2 系統</p> <p>前処理建屋の計測制御用交流電源設備 数量1 系統</p> <p>分離建屋の非常用計測制御用交流電源設備 数量2 系統</p> <p>分離建屋の計測制御用交流電源設備 数量1 系統</p> <p>精製建屋の非常用計測制御用交流電源設備 数量2 系統</p> <p>精製建屋の計測制御用交流電源設備 数量1 系統</p> <p>制御建屋の非常用計測制御用交流電源設備</p>			<p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「計測制御用交流電源設備」は、重大事故等対処設備として仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
数量 2 系統 制御建屋の計測制御用交流電源設備 数量 4 系統 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の非常用計測制御用交流電源設備 数量 2 系統 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の計測制御用交流電源設備 数量 1 系統 高レベル廃液ガラス固化建屋の非常用計測制御用交流電源設備 数量 2 系統 高レベル廃液ガラス固化建屋の計測制御用交流電源設備 数量 1 系統 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の非常用計測制御用交流電源設備 数量 2 系統 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の計測制御用交流電源設備 数量 1 系統				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ii) 圧縮空気設備 (a) 構造 (イ) 設計基準対象の施設</p> <p><u>圧縮空気設備は、一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系で構成し、再処理施設内の各施設に圧縮空気を供給する。</u></p> <p><u>圧縮空気設備の一般圧縮空気系は、廃棄物管理施設と共用リ(1)(ii)(a)(イ)-①し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p>9.3 圧縮空気設備 9.3.1 設計基準対象の施設 9.3.1.1 概要</p> <p><u>圧縮空気設備は、一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系で構成し、再処理施設内の各施設に圧縮空気を供給する設備である。</u></p> <p><u>一般圧縮空気系は、廃棄物管理施設と共用する。</u></p> <p>9.3.1.2 設計方針 (6) <u>一般圧縮空気系の一部は、廃棄物管理施設と共用し、廃棄物管理施設における使用を想定しても、再処理施設に十分な圧縮空気を供給できる容量を確保し、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を防止する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p>(基本設計方針) 7. その他再処理設備の附属施設 7.2 圧縮空気設備 圧縮空気設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「3. 自然現象等」、「2. 地盤」、「4. 閉じ込めの機能」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。 <u>圧縮空気設備は、一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系で構成し、再処理施設内の各施設に圧縮空気を供給する設計とする。</u></p> <p>7.2.1 一般圧縮空気系 一般圧縮空気系は、2台の空気圧縮機、3台の常用空気圧縮機、運転予備空気圧縮機、空気第1貯槽及び空気第2貯槽で構成し、各施設に圧縮空気を供給する設計とする。圧空② <u>一般圧縮空気系は、廃棄物管理施設と共用する。共用リ(1)(ii)-①共用する一般圧縮空気系は、廃棄物管理施設における使用を想定しても、再処理施設に十分な圧縮空気を供給できる容量を確保できる設計とする。また、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を及ぼさない設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p>設工認の<sup>リ</sup> <sup>リ</sup>(1)(ii)(a)(イ)-①は、変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup> <sup>リ</sup>(1)(ii)(a)(イ)-①を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ロ) 重大事故等対処設備 1) 代替安全圧縮空気系</p> <p>代替安全圧縮空気系は、  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-1</u> 水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備及び水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備で構成する。</p> <p>安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失した場合において、<u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-2</u> 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器（第4表）に圧縮空気を供給し、水素爆発の発生を未然に防止するために必要な、水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を<u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-3</u> 設置及び保管する。</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-4</u> 水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備は、圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット、建屋内空気中継配管、可搬型空気圧縮機、可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース、水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁で構成する。</p>	<p>9.3.2.1 代替安全圧縮空気系 9.3.2.1.1 概要</p> <p>安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失した場合において、「放射線分解により発生する水素による爆発」（以下9.3.2.1では「水素爆発」という。）の発生を仮定する機器に圧縮空気を供給し、水素爆発の発生を未然に防止するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(1) 系統構成</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備は、圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット、建屋内空気中継配管、可搬型空気圧縮機、可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース、水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁で構成する。</p>	<p>7.1.2.3 代替安全圧縮空気系</p> <p>代替安全圧縮空気系は、  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-1</u> 放射線分解により発生する水素による爆発（以下7.1.2.3では「水素爆発」という。）を未然に防止するための空気の供給に使用する設備及び水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備で構成する。</p> <p>安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失した場合において、<u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-2</u> 「水素爆発」の発生を仮定する機器に圧縮空気を供給し、水素爆発の発生を未然に防止するために必要な、水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を<u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-3</u> 設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-4</u> 代替安全圧縮空気系は、圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット、可搬型空気圧縮機、可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース、水素爆発を未然に防止するために「水素爆発」を仮定する機器に圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の水素掃気系の恒設の主配管（以下7.2.2.1では「水素掃気配管・弁」という。）、水素爆発を未然に防止するため又は水素爆発の再発を防止するために「水素爆発」を仮定する機器に圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の水素掃気系以外の恒設の主配管等（以下7.2.2.1では「機器圧縮空気供給配管・弁」という。）、可搬型建</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）第四号リ項において、設工認の内容は、以下の通り整合している</p> <p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-1</u> は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-1</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-2</u> は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-2</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-3</u> は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-3</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-4</u> において記載した設備は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-4</u> に記載した設備を含んでおり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-5 補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ並びに計装設備の一部である可搬型圧縮空気自動供給貯槽圧力計、可搬型圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型機器圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計、可搬型かくはん系統圧縮空気圧力計、可搬型セル導出ユニット流量計、可搬型水素濃度計及び可搬型貯槽温度計を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>水素爆発を未然に防止するための対策が機能しなかった場合に備え、 リ. (1) (ii) (a) (v) 1-6 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器に水素爆発を未然に防止するための対策に使用する系統とは異なる系統から圧縮空気を供給し、水素爆発が続けて生じるおそれがない状態を維持するために必要な、水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備をリ. (1) (ii) (a) (v) 1-7 設置及び保管する。</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-8 水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備は、圧縮空気手動供給ユニット、建屋内空気中継配管、可搬型空気圧縮機、可搬型建</p>	<p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ並びに計装設備の一部である可搬型圧縮空気自動供給貯槽圧力計、可搬型圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型機器圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計、可搬型かくはん系統圧縮空気圧力計、可搬型セル導出ユニット流量計、可搬型水素濃度計及び可搬型貯槽温度計を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>上記対策が機能しなかった場合に備え、水素爆発の発生を仮定する機器に上記対策に使用する系統とは異なる系統から圧縮空気を供給し、水素爆発が続けて生じるおそれがない状態を維持するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>上記対策が機能せず水素爆発が発生した場合には、水素爆発が続けて生じるおそれがない状態を維持するため、水素爆発の発生を仮定する機器に上記対策に使用する系統とは異なる系統から圧縮空気を供給する。</p> <p>水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備は、圧縮空気手動供給ユニット、建屋内空気中継配管、可搬型空気圧縮機、可搬型建屋外ホース、可搬型建屋外ホース及び機器圧縮空気供給配管・弁</p>	<p>屋外ホースから水素掃気配管・弁又は機器圧縮空気供給配管・弁まで圧縮空気の中継するために使用する恒設の主配管（以下7.2.2.1.では「建屋内空気中継配管」という。）及び圧縮空気手動供給ユニット並びに設計基準対象の施設と兼用する「水素爆発」の発生を仮定する機器で構成する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-5 安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失した場合の重大事故等対処設備として、代替安全圧縮空気系その他、補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリ並びに計測制御設備の可搬型圧縮空気自動供給貯槽圧力計、可搬型圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型機器圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計、可搬型かくはん系統圧縮空気圧力計、可搬型セル導出ユニット流量計、可搬型水素濃度計及び可搬型貯槽温度計及び可搬型圧縮空気手動供給ユニット接続系統圧力計を使用する設計とする。</p> <p>水素爆発を未然に防止するための対策が機能しなかった場合に備え、 リ. (1) (ii) (a) (v) 1-6 「水素爆発」の発生を仮定する機器に水素爆発を未然に防止するための対策に使用する系統とは異なる系統から圧縮空気を供給し、水素爆発が続けて生じるおそれがない状態を維持するために必要な、水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備をリ. (1) (ii) (a) (v) 1-7 設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-8 代替安全圧縮空気系は、圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット、可搬型空気圧縮機、可搬型建屋外</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-5 は事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-5 を含んでおり、整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-6 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-6 と同義であり整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-7 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-7 と同義であり整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-8 において記載した設備は、事業変更許可申請</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>屋外ホース、可搬型建屋内ホース及び機器圧縮空気供給配管・弁で構成する。</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-9 補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ並びに計装設備の一部である可搬型圧縮空気自動供給ユニット接続系統圧力計、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計、可搬型かくはん系統圧縮空気圧力計、可搬型セル導出ユニット流量計、可搬型水素濃度計及び可搬型貯槽温度計を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-10 設計基準対象の施設と兼用する圧縮空気設備の安全圧縮空気系の一部、清澄・計量設備の一部、分離設備の一部、分配設備の一部、分離建屋一時貯留処理設備の一部、高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮系の一部、プルトニウム精製設備の一部、精製建屋一時貯留処理設備の一部、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の溶液系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の高レベル濃縮廃液貯蔵系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の共用貯蔵系の一部</p>	<p>で構成する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ並びに計装設備の一部である可搬型圧縮空気自動供給貯槽圧力計、可搬型圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型機器圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計、可搬型かくはん系統圧縮空気圧力計、可搬型セル導出ユニット流量計、可搬型水素濃度計及び可搬型貯槽温度計を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>設計基準対象の施設と兼用する圧縮空気設備の安全圧縮空気系の一部、清澄・計量設備の一部、分離設備の一部、分配設備の一部、分離建屋一時貯留処理設備の一部、高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮系の一部、プルトニウム精製設備の一部、精製建屋一時貯留処理設備の一部、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の溶液系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の高レベル濃縮廃液貯蔵系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の共用貯蔵系の一部及び高レベル廃液ガ</p>	<p>ホース、可搬型建屋内ホース、水素爆発を未然に防止するために「水素爆発」を仮定する機器に圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の水素掃気系の恒設の主配管（以下7.2.2.1では「水素掃気配管・弁」という。）、水素爆発を未然に防止するため又は水素爆発の再発を防止するために「水素爆発」を仮定する機器に圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の水素掃気系以外の恒設の主配管等（以下7.2.2.1では「機器圧縮空気供給配管・弁」という。）、可搬型建屋外ホースから水素掃気配管・弁又は機器圧縮空気供給配管・弁まで圧縮空気を中継するために使用する恒設の主配管（以下7.2.2.1では「建屋内空気中継配管」という。）及び圧縮空気自動供給ユニット並びに設計基準対象の施設と兼用する「水素爆発」の発生を仮定する機器で構成する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-9 安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失した場合の重大事故等対処設備として、代替安全圧縮空気系その他、補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリ並びに計測制御設備の可搬型圧縮空気自動供給貯槽圧力計、可搬型圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型機器圧縮空気自動供給ユニット圧力計、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計、可搬型かくはん系統圧縮空気圧力計、可搬型セル導出ユニット流量計、可搬型水素濃度計及び可搬型貯槽温度計及び可搬型圧縮空気自動供給ユニット接続系統圧力計を使用する設計とする。</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-10 代替安全圧縮空気系は、圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット、可搬型空気圧縮機、可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース、水素爆発を未然に防止するために「水素爆発」を仮定する機器に圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の水素掃気系の恒設の主配管（以下7.2.2.1では「水素掃気配管・弁」という。）、水素爆発を未然に防止するため又は水素爆発の再発を防止するために「水素</p>	<p>書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-8 に記載した設備を含んでおり整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-9 は事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-9 を含んでおり、整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-10 において記載した設備は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-10 に記載した設備を含んでおり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>及び高レベル廃液ガラス固化設備の一部を重大事故等対処設備の代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁として位置付け、<u>清澄・計量設備の一部、分離設備の一部、分配設備の一部、分離建屋一時貯留処理設備の一部、高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮系の一部、プルトニウム精製設備の一部、精製建屋一時貯留処理設備の一部、圧縮空気設備の安全圧縮空気系の一部、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の溶液系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の高レベル濃縮廃液貯蔵系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の共用貯蔵系の一部、高レベル廃液ガラス固化設備の一部、分析設備の一部及び計測制御設備の一部を重大事故等対処設備の代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁として、また、設計基準対象の施設と兼用する計装設備の一部及び放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器（第4表(1)）を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</u></p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-11 補機駆動用燃料補給設備については「リ. (4) (vii) 補機駆動用燃料補給設備」に、計装設備については「へ. (3) (ii) (a) 計装設備」に示す。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系は、可搬型空気圧縮機と水素掃気配管・弁又は機器圧縮空気供給配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型空気圧縮機を運転することで、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-12 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給し、水素濃度を可燃限界濃度未満に維持できる設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系は、圧縮空気設備の安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失し、系統内の圧力が低下した場合、溶液の性状ごとに<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-13 水素掃気機能喪失から重大事故対策の準備に使用するこ</u></p>	<p>ラス固化設備の一部を重大事故等対処設備の代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁として位置付け、<u>清澄・計量設備の一部、分離設備の一部、分配設備の一部、分離建屋一時貯留処理設備の一部、高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮系の一部、プルトニウム精製設備の一部、精製建屋一時貯留処理設備の一部、圧縮空気設備の安全圧縮空気系の一部、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の溶液系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の高レベル濃縮廃液貯蔵系の一部、高レベル廃液貯蔵設備の共用貯蔵系の一部、高レベル廃液ガラス固化設備の一部、分析設備の一部及び計測制御設備の一部を重大事故等対処設備の代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁として位置付ける。また、設計基準対象の施設と兼用する計測制御設備の一部及び水素爆発の発生を仮定する機器（第9.3-3表）を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</u></p> <p>補機駆動用燃料補給設備については「<u>9.14.4 系統構成</u>」に、計装設備については「<u>6.2.1.4 系統構成及び主要設備</u>」に示す。</p> <p>(2) 主要設備</p> <p>代替安全圧縮空気系は、可搬型空気圧縮機と水素掃気配管・弁又は機器圧縮空気供給配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型空気圧縮機を運転することで、<u>水素爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給し、水素濃度を可燃限界濃度未満に維持できる設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系は、圧縮空気設備の安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失し、系統内の圧力が低下した場合、溶液の性状ごとに水素掃気機能喪失から重大事故対策の準備に使用することができる時間（許容空白時間）が短い分離建屋、精製建屋及び</p>	<p>爆発」を仮定する機器に圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の水素掃気系以外の恒設の主配管等（以下7.2.2.1では「<u>機器圧縮空気供給配管・弁</u>」という。）、可搬型建屋外ホースから水素掃気配管・弁又は機器圧縮空気供給配管・弁まで圧縮空気を中継するために使用する恒設の主配管（以下7.2.2.1では「<u>建屋内空気中継配管</u>」という。）及び圧縮空気手動供給ユニット並びに設計基準対象の施設と兼用する「<u>水素爆発</u>」の発生を仮定する機器で構成する。</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-11</u> なお、補器駆動用燃料補給設備については、第2章 個別項目の「<u>7.1.1 電気設備</u>」の「<u>7.1.1.11 補器駆動用燃料補給設備</u>」に、計測制御設備については第2章 個別項目の「<u>4.1 計測制御設備</u>」に示す。</p> <p>代替安全圧縮空気系は、可搬型空気圧縮機と水素掃気配管・弁又は機器圧縮空気供給配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型空気圧縮機を運転することで、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-12 「水素爆発」の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給し、水素濃度を可燃限界濃度未満に維持できる設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系は、圧縮空気設備の安全圧縮空気系の水素掃気機能が喪失し、系統内の圧力が低下した場合、溶液の性状ごとに<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-13 水素掃気機能喪失から重大事故等対策の準備</u></p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-11</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-11</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-12</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-12</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-13</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-13</u></p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>とができる時間（以下「許容空白時間」という。）が短い分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の水素掃気配管・弁に圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットから機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、自動で水素燃焼時においても貯槽等に影響を与えない。リ. (1) (ii) (a) (v) 1-14 ドライ換算 8 v o 1 % (以下「未然防止濃度」という。) 未満を維持するために必要な圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系は、安全圧縮空気系の配管の内圧が所定の圧力（約 0.7MP a [gage]）を下回った場合に、自動で圧縮空気を供給する設計とする。代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、未然防止濃度未満を維持するために必要な流量を確保する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機からの空気の供給開始前に未然防止濃度に至る可能性のあるリ. (1) (ii) (a) (v) 1-15 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器に対して、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットを設置する。機器圧縮空気自動供給ユニットは、圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットよりも貯槽等に近い代替安全圧縮空気系のリ. (1) (ii) (a) (v) 1-16 水素掃気配管に設置し、圧縮空気を供給できる設計とする。</p>	<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の水素掃気配管・弁に圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットから機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、自動で未然防止濃度未満を維持するために必要な圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系は、水素発生量の増加が想定される時間の前に、圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットから機器圧縮空気自動供給ユニットへの切り替えを行い、可搬型空気圧縮機により圧縮空気を供給するまでの間、未然防止濃度に維持するために十分な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系は、安全圧縮空気系の配管の内圧が所定の圧力（約 0.7MP a [gage]）を下回った場合に、自動で圧縮空気を供給する設計とする。代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、未然防止濃度未満を維持するために必要な流量を確保する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機からの空気の供給開始前に未然防止濃度に至る可能性のある水素爆発の発生を仮定する機器に対して、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットを設置する。機器圧縮空気自動供給ユニットは、圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットよりも貯槽等に近い代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁に設置し、圧縮空気を供給できる設計とする。</p>	<p>に使用することができる時間が短い分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の水素掃気配管・弁に圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットから機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、自動で水素燃焼時においても貯槽等に影響を与えない。リ. (1) (ii) (a) (v) 1-14 ドライ換算 8 v o 1 % (以下 7.1.2.3 では「未然防止濃度」という。) 未満を維持するために必要な圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系は、水素発生量の増加が想定される時間の前に、圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットから機器圧縮空気自動供給ユニットへの切り替えを行い、可搬型空気圧縮機により圧縮空気を供給するまでの間、未然防止濃度に維持するために十分な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系は、安全圧縮空気系の配管の内圧が所定の圧力（約 0.7MP a [gage]）を下回った場合に、自動で圧縮空気を供給する設計とする。代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、未然防止濃度未満を維持するために必要な流量を確保する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機からの空気の供給開始前に未然防止濃度に至る可能性のあるリ. (1) (ii) (a) (v) 1-15 「水素爆発」の発生を仮定する機器に対して、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットを設置する設計とする。機器圧縮空気自動供給ユニットは、圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットよりも貯槽等に近い代替安全圧縮空気系のリ. (1) (ii) (a) (v) 1-16 水素掃気配管・弁に設置し、圧縮空気を供給できる設計とする。</p>	<p>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-14 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-14 と同義であり整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-15 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-15 と同義であり整合している。</p> <p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-16 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-16 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットは、安全圧縮空気系の配管の内圧が所定の圧力（約 0.4MP a [gage]）を下回った場合に自動で圧縮空気を供給する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系は、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットの作動が遅延することにより、貯槽等の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するための機能に悪影響を及ぼすことがないよう、代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットを隔離することにより機器圧縮空気自動供給ユニットから圧縮空気の供給を開始できる設計とする。可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、未然防止濃度未満を維持するために必要な量を確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機からの空気の供給開始前に未然防止濃度に至る可能性のある</u>①. (1) (ii) (a) (v) 1-17<u>放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器に対して、圧縮空気手動供給ユニットを設置する。代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、発生防止対策とは異なる機器圧縮空気供給配管・弁に設置し、圧縮空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁へ手動により速やかに接続できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系は、発生防止対策が機能しない場合に備え、圧縮空気手動供給ユニットにより圧縮空気を供給し、機器内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持して</u></p>	<p><u>代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットは、安全圧縮空気系の配管の内圧が所定の圧力（約0.4MP a [gage]）を下回った場合に自動で圧縮空気を供給する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系は、機器圧縮空気自動供給ユニットの作動が遅延することにより、機器内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するための機能に悪影響を及ぼすことがないよう、圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットを隔離することにより機器圧縮空気自動供給ユニットから圧縮空気の供給を開始できる設計とする。可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、未然防止濃度未満を維持するために必要な量を確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機からの空気の供給開始前に未然防止濃度に至る可能性のある水素爆発の発生を仮定する機器に対して、圧縮空気手動供給ユニットを設置する。代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、発生防止対策とは異なる機器圧縮空気供給配管・弁に設置し、圧縮空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁へ手動により速やかに接続できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系は、発生防止対策が機能しない場合に備え、代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットにより圧縮空気を供給し、機器内の水素濃度を未然防</u></p>	<p><u>代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットは、安全圧縮空気系の配管の内圧が所定の圧力（約 0.4MP a [gage]）を下回った場合に自動で圧縮空気を供給する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系は、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットの作動が遅延することにより、貯槽等の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するための機能に悪影響を及ぼすことがないよう、代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給貯槽及び圧縮空気自動供給ユニットを隔離することにより機器圧縮空気自動供給ユニットから圧縮空気の供給を開始できる設計とする。可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、未然防止濃度未満を維持するために必要な量を確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機からの空気の供給開始前に未然防止濃度に至る可能性のある</u>①. (1) (ii) (a) (v) 1-17<u>「水素爆発」の発生を仮定する機器に対して、圧縮空気手動供給ユニットを設置する設計とする。代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、発生防止対策とは異なる機器圧縮空気供給配管・弁に設置し、圧縮空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁へ手動により速やかに接続できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系は、発生防止対策が機能しない場合に備え、圧縮空気手動供給ユニットにより圧縮空気を供給し、機器内の水素濃度を未然防止濃度未満に</u></p>	<p>設工認の ①. (1) (ii) (a) (v) 1-17 は、事業変更許可申請書（本文）の ①. (1) (ii) (a) (v) 1-17 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>いる期間中に、発生防止対策で敷設する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース、可搬型建屋外ホースの下流側に、機器に圧縮空気を供給するための建屋内空気中継配管及び可搬型建屋内ホースを設置し、可搬型建屋内ホースと機器圧縮空気供給配管・弁を接続した上で、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁に圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は軽油を燃料とし、対処のために必要な燃料は、補機駆動用燃料補給設備から補給が可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管は、常設の建屋内の圧縮空気供給用の配管であり、可搬型建屋外ホースの接続口から、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1) - 18</u>放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器に圧縮空気を供給するための接続口を設置する部屋まで圧縮空気を分配する設計とする。</p>	<p>止濃度未満に維持している期間中に、発生防止対策で敷設する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース、可搬型建屋外ホースの下流側に、機器に圧縮空気を供給するための建屋内空気中継配管及び可搬型建屋内ホースを設置し、可搬型建屋内ホースと機器圧縮空気供給配管・弁を接続した上で、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁に圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は軽油を燃料とし、対処のために必要な燃料は、補機駆動用燃料補給設備から補給が可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管は、常設の建屋内の圧縮空気供給用の配管であり、可搬型建屋外ホースの接続口から、<u>水素爆発の発生を仮定する機器に圧縮空気を供給するための接続口を設置する部屋まで圧縮空気を分配する設計とする。</u></p> <p>9.3.2.1.3 設計方針            (1) 多様性、位置的分散            基本方針については、「1.7.18(1) a. 多様性、位置的分散」に示す。◇</p>	<p>維持している期間中に、発生防止対策で敷設する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース、可搬型建屋外ホースの下流側に、機器に圧縮空気を供給するための建屋内空気中継配管及び可搬型建屋内ホースを設置し、可搬型建屋内ホースと機器圧縮空気供給配管・弁を接続した上で、代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気供給配管・弁に圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は軽油を燃料とし、対処のために必要な燃料は、補機駆動用燃料補給設備から補給が可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管は、常設の建屋内の圧縮空気供給用の配管であり、可搬型建屋外ホースの接続口から、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1) - 18</u>「水素爆発」の発生を仮定する機器に圧縮空気を供給するための接続口を設置する部屋まで圧縮空気を分配する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管及び圧縮空気手動供給ユニットは、共通要因によって安全圧縮空気系と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、分離することで、安全圧縮空気系に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>上記以外の代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備の機器圧縮空気供給配管・弁等は、可能な限り独立性又は位置的分散を図った上で、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p>	<p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1) - 18</u>            は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1) - 18</u>            と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-19</u> 安全機能を有する施設である。電気駆動の安全圧縮空気系の空気圧縮機に対して、同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、動力を用いず機能する設計とすることで、空気圧縮機に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-20</u> 安全機能を有する施設である電気駆動の空気圧縮機に対して、同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、ディーゼル駆動とすることにより、空気圧縮機に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>建屋外に敷設する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-21</u> 安全圧縮空気系と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全圧縮空気系が設置される建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋近傍に保管することで <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-22</u> 位置的分散を図る。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-23</u> 安全圧縮空気系と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全圧縮空気系が設置される建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋に保管することで <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-24</u> 位置的分散を図る。対処を行う建屋内に保管する場合は安全圧縮</p>	<p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、設計基準の安全機能を有する施設である電気駆動の空気圧縮機に対して、同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、動力を用いず機能する設計とすることで、安全圧縮空気系の空気圧縮機に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、安全機能を有する施設である電気駆動の空気圧縮機に対して、同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、ディーゼル駆動とすることにより、空気圧縮機に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>建屋外に敷設する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、安全圧縮空気系と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全圧縮空気系が設置される建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋近傍に保管することで位置的分散を図る。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、安全圧縮空気系と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全圧縮空気系が設置される建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで位置的分散を図る。対処を行う建屋内に保管する場合は安全圧縮空気系が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-19</u> 共通要因によって電気駆動の安全圧縮空気系の空気圧縮機と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、動力を用いず機能する設計とすることで、空気圧縮機に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-20</u> 共通要因によって電気駆動の安全圧縮空気系の空気圧縮機と、同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、ディーゼル駆動とすることにより、空気圧縮機に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>建屋外に敷設する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-21</u> 共通要因によって安全圧縮空気系と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全圧縮空気系が設置される建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋近傍に保管することで <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-22</u> 位置的分散を図る設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-23</u> 共通要因によって安全圧縮空気系と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全圧縮空気系が設置される建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋に保管することで <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-24</u> 位置的分散を図る設計とする。対処を行う建</p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-19</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-19</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-20</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-20</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-21</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-21</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-22</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-22</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-23</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-23</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-24</u> は、事業変更許可申請</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>縮空気系が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</p> <p>建屋の外から空気を供給する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースと代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管、水素掃気配管・弁等の常設重大事故等対処設備との接続口は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、複数のアクセスルートを踏まえて自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-25</sup>設置する。また、溢水、化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>一つの接続口で<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-26</sup>「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する貯槽等への注水及び放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器への圧縮空気の供給のために兼用して使用する代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-27</sup>弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処</p>	<p>建屋の外から空気を供給する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースと代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管、水素掃気配管・弁等の常設重大事故等対処設備との接続口は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、複数のアクセスルートを踏まえて自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する。また、溢水、化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>一つの接続口で「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の貯槽等への注水及び「放射線分解により発生する水素による爆発」の圧縮空気の供給のために兼用して使用する代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。</p> <p>(2) 悪影響防止 基本方針については、「1.7.18 (1) b. 悪影響防止」に示す。</p> <p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成</p>	<p>屋内に保管する場合は安全圧縮空気系が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>建屋の外から空気を供給する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースと代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管、水素掃気配管・弁等の常設重大事故等対処設備との接続口は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、複数のアクセスルートを踏まえて自然現象、人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-25</sup>設置する設計とする。また、溢水、化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>一つの接続口で<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-26</sup>「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水及び「水素爆発」の発生を仮定する機器への圧縮空気の供給のために兼用して使用する代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給貯槽、圧縮空気自動供給ユニット、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-27</sup>弁等の操作や接続によって安全機能を有する施設として使</p>	<p>書（本文）の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-24</sup>と同義であり整合している。</p> <p>工認の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-25</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-25</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-26</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-26</sup>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-27</sup>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-27</sup>を含んでおり整合して</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管、水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、重大事故等発生前（通常時）の離隔若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、操作の時間を考慮し、必要な圧縮空気流量を確保するために必要な量の圧縮空気を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系は、機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満を維持するために必要な流量を確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットは、可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満を維持するために必要な量を確保する設計とする。</u></p>	<p><u>とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管、水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、重大事故等発生前（通常時）の離隔若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、回転体が飛散することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p><u>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>(3) 個数及び容量等 基本方針については 1.7.18 (2) 「個数及び容量」に示す。</p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、操作の時間を考慮し、必要な圧縮空気流量を確保するために必要な容量を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系は、機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な流量を確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットは、可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量を確保する設計とする。</u></p>	<p><u>用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管、水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、重大事故等発生前（通常時）の離隔若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、回転体が飛散することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p><u>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、操作の時間を考慮し、必要な圧縮空気流量を確保するために必要な量の圧縮空気を有する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系は、機器圧縮空気自動供給ユニットに切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満を維持するために必要な流量を確保する設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の機器圧縮空気自動供給ユニットは、可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満を維持するために必要な量を確保する設計とする。</u></p>	<p>いる。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、想定される重大事故等時において、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-28</u> 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器を可燃限界濃度未満に維持するために必要な圧縮空気供給量を有する設計とするとともに、保有数は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-29</u> 必要数として3台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを6台の合計9台を確保する。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、同時に発生する可能性のある事故への対処を含めて、事象進展に応じた使用の状態を踏まえた、必要な容量を確保した設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、水素掃気機能の喪失及び冷却機能の喪失による蒸発乾固が同時に発生した場合においても、可燃限界濃度未満を維持するために必要な量を確保した設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-30</u> 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給するとともに、計装設備への圧縮空気を供給する場合に必要な圧縮空気供給量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、機器内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、水素爆発の発生を仮定する機器を可燃限界濃度未満に維持するために必要な圧縮空気供給量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として3台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを6台の合計9台を確保する。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、同時に発生する可能性のある冷却機能の喪失への対処を含めて、事象進展に応じた使用の状態を踏まえた、圧縮空気供給量を有する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、水素掃気機能の喪失及び冷却機能の喪失による蒸発乾固が同時に発生した場合においても、可燃限界濃度未満を維持するために必要な圧縮空気供給量を有する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、水素爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給するとともに、計装設備への圧縮空気を供給する場合に必要な容量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の圧縮空気手動供給ユニットは、可搬型空気圧縮機に切り替えるまでの間、貯槽等内の水素濃度を未然防止濃度未満に維持するために必要な量の圧縮空気を供給できる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、想定される重大事故等時において、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-28</u> 「水素爆発」の発生を仮定する機器を可燃限界濃度未満に維持するために必要な圧縮空気供給量を有する設計とするとともに、保有数は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-29</u> 必要数並びに予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、同時に発生する可能性のある事故への対処を含めて、事象進展に応じた使用の状態を踏まえた、必要な容量を確保した設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、水素掃気機能の喪失及び冷却機能の喪失による蒸発乾固が同時に発生した場合においても、可燃限界濃度未満を維持するために必要な量を確保した設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-30</u> 「水素爆発」の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給するとともに、計装設備への圧縮空気を供給する場合に必要な圧縮空気供給量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-28</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-28</u> と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-29</u> に示されている台数は設工認の仕様表に記載する内容であるため後段に示す。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-30</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-30</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-31</u> 1本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</p> <p>代替安全圧縮空気系は、安全圧縮空気系の水素掃気機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する水素爆発に対処することから、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-32</u> 確保する。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-33</u> 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器の気相部における水素濃度ドライ換算 12v o 1%で爆燃が発生した場合による瞬間的に上昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-34</u> 機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素爆発による <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-35</u> 温度、圧力及び湿度に対して、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては1本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</p> <p>代替安全圧縮空気系は、安全圧縮空気系の水素掃気機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する水素爆発に対処することから、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</p> <p>(4) 環境条件等 基本設計については、「1.7.18 (3) 環境条件等」に示す。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、水素爆発の発生を仮定する機器の気相部における水素濃度ドライ換算 12v o 1%で爆燃が発生した場合による瞬間的に上昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素爆発による <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-35</u> 温度、圧力及び湿度に対して、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-31</u> 予備を含めた個数を必要数として確保する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系は、安全圧縮空気系の水素掃気機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する水素爆発に対処することから、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を1セット <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-32</u> 確保する設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-33</u> 「水素爆発」の発生を仮定する機器の気相部における水素濃度ドライ換算 12v o 1%で爆燃が発生した場合による瞬間的に上昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-34</u> 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素爆発による <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-35</u> 温度、圧力、湿度、放射線及び荷重に対して、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-31</u> に示されている台数は設工認の仕様表に記載する内容であるため後段に示す。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-32</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-32</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-33</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-33</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-34</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-34</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-35</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-35</u> を含んでおり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-36</u>「ロ. (7) (ii) (b) (ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-37</u>その機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-38</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備及び常設重大事故等対処設備と可搬型重大事故等対処設備の接続口は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-39</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-40</u>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース等は、外部からの損傷の防止を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・</p>	<p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、<u>「1.7.18(5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」</u>に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備及び常設重大事故等対処設備と可搬型重大事故等対処設備の接続口は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース等は、外部からの損傷の防止を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋に保管</p>	<p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-36</u>「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることで<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-37</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、風（台風）等により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-38</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の常設重大事故等対処設備及び常設重大事故等対処設備と可搬型重大事故等対処設備の接続口は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-39</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-40</u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、屋内に保管する場合は、外部からの衝撃による損傷を防止できる</p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-36</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-36</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-37</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-37</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-38</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-38</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-39</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-39</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-40</u> は、事業変更許可申請書（本文）の</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋に保管する又は風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、収納するコンテナ等に対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-41</u> 「<u>ロ. (7) (ii) (b) (ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とすることで<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-42</u> その機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-</u></p>	<p>する又は風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、収納するコンテナ等に対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管することにより風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、「<u>1. 7. 18. (5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p>	<p>前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し、風（台風）等により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、屋外に保管する場合は、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、収納するコンテナ等に対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、必要により当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-41</u> <u>第 1 章 共通項目の「9. 2 重大事故等対処設備」の「9. 2. 6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」</u>に基づく設計とすることで<u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-42</u> 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、</p>	<p><u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-40</u> を屋外に保管する場合と屋内に保管の場合に分けて記載したもので、同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-41</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-41</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-42</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-42</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-43</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 1-43</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>43 <u>機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより、リ. (1) (ii) (a) (v) 1-44 機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び可搬型重大事故等対処設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p>	<p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>屋外に保管する代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、積雪及び火山の影響に対して、積雪に対しては除雪する手順を、火山の影響（降下火砕物による積載荷重、フィルタの目詰まり等）に対しては、可搬型空気圧縮機を屋内に配置する手順を整備する。</p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び可搬型重大事故等対処設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p>(5) 操作性の確保 基本方針については、「1.7.18 (4) a. 操作性の確保」に示す。</p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機を接続する接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-43 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない位置に保管することにより、リ. (1) (ii) (a) (v) 1-44 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び可搬型重大事故等対処設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給系、機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機を接続する接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-44 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-44 と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機，圧縮空気手動供給ユニット，可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースと代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管，水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁との接続は，コネクタ接続に統一することにより，速やかに，容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は，通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう，系統に必要な弁等を設ける設計とし，それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは，容易かつ確実に接続でき，かつ，複数の系統が相互に使用することができるよう，ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じたコネクタ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機，圧縮空気自動供給系の圧縮空気自動供給ユニット，機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは，<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-45</u>再処理施設の運転中又は停止中に独立して機能・性能，外観の確認，漏えいの有無の確認及び分解又は取替えが可能な設計とする。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機，圧縮空気手動供給ユニット，可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースと代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管，水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁との接続は，コネクタ接続に統一することにより，速やかに，容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は，通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう，系統に必要な弁等を設ける設計とし，それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは，容易かつ確実に接続でき，かつ，複数の系統が相互に使用することができるよう，ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じたコネクタ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</p> <p>9.3.2.1.5 試験・検査 「1.7.18 (4) b. 試験・検査性」に示す基本方針を踏まえ以下のとおり設計する。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機，圧縮空気自動供給系の圧縮空気自動供給ユニット，機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは，再処理施設の運転中又は停止中に独立して機能・性能，外観の確認，漏えいの有無の確認及び分解又は取替えが可能な設計とする。</p>	<p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機，圧縮空気手動供給ユニット，可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホースと代替安全圧縮空気系の建屋内空気中継配管，水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁との接続は，コネクタ接続に統一することにより，速やかに，容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の水素掃気配管・弁及び機器圧縮空気供給配管・弁は，通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう，系統に必要な弁等を設ける設計とし，それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースは，容易かつ確実に接続でき，かつ，複数の系統が相互に使用することができるよう，ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じたコネクタ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機，圧縮空気自動供給系の圧縮空気自動供給ユニット，機器圧縮空気自動供給ユニット及び圧縮空気手動供給ユニットは，<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-45</u>通常時において，重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため，独立して外観点検，員数確認，性能確認，分解点検等が可能な設計とするとともに，分解又は取替えが可能な設計とする。</p> <p>代替安全圧縮空気系の可搬型空気圧縮機は，運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-45</u> は，事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-45</u> を含んでおり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースと常設設備との接続口は、外観の確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースと常設設備との接続口は、外観の確認が可能な設計とする。</u></p>	<p><u>代替安全圧縮空気系の可搬型建屋内ホース及び可搬型建屋外ホースと常設設備との接続口は、外観の確認が可能な設計とする。</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>2) 臨界事故時水素掃気系</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-1</u> 臨界事故の発生を仮定する機器において、臨界事故が発生した場合、安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系による水素掃気に加え、可搬型建屋内ホースを敷設し一般圧縮空気系から空気を機器に供給し、水素掃気を実施することにより、機器の気相部における水素濃度をドライ換算 8 v o 1 %未満に維持し、ドライ換算 4 v o 1 %未満に移行するために必要な重大事故等対処設備を<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-2</u> 設置及び保管する。</p> <p>臨界事故時水素掃気系は、一般圧縮空気系、安全圧縮空気系、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-3</u> 機器圧縮空気供給配管・弁及び可搬型建屋内ホースで構成する。</p> <p>安全保護回路の一部である代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>工程計装設備の一部を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p>	<p>9.3.2.2 臨界事故時水素掃気系 9.3.2.2.1 概要</p> <p>臨界事故の発生を仮定する機器において、臨界事故が発生した場合、安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系による水素掃気に加え、可搬型建屋内ホースを敷設し一般圧縮空気系から空気を機器に供給し、水素掃気を実施することにより、機器の気相部における水素濃度をドライ換算 8 v o 1 %未満に維持し、ドライ換算 4 v o 1 %未満に移行するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p style="text-align: center;">(1) 系統構成</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>臨界事故時水素掃気系は、一般圧縮空気系、安全圧縮空気系、機器圧縮空気供給配管・弁及び可搬型建屋内ホースで構成する。</p> <p>代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>計装設備の一部である可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p>	<p>7.1.2.4 臨界事故時水素掃気系</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-1</u> 「臨界事故」の発生を仮定する機器において、臨界事故が発生した場合、安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系による水素掃気に加え、可搬型建屋内ホースを敷設し一般圧縮空気系から空気を機器に供給し、水素掃気を実施することにより、機器の気相部における水素濃度をドライ換算 8 v o 1 %未満に維持し、ドライ換算 4 v o 1 %未満に移行するために必要な重大事故等対処設備<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-2</u> として臨界事故時水素掃気系を設ける設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系は、一般圧縮空気系、安全圧縮空気系、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-3</u> 「臨界事故」の発生を仮定する機器への水素掃気で使用する主配管等及び可搬型建屋内ホースで構成する。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）第四号リ項において、設工認の内容は、以下の通り整合している。</p> <p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-1</u> は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-1</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-2</u> は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-2</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-3</u> は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-3</u> と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「へ. (2) 主要な安全保護回路の種類」に示す。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）「へ. (3) 主要な工程計装設備の種類」及びに示す。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>また、設計基準対象の施設と兼用する圧縮空気設備の一部である一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-4</u> 臨界事故の発生を仮定する機器に接続する溶解設備の一部である配管、精製建屋一時貯留処理設備の一部である配管及び工程計装設備の一部である配管、臨界事故の発生を仮定する機器（第2表）、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-5</u> 並びに電気設備の一部である受電開閉設備等を<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-6</u> 常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-8</u> 安全保護回路は「<u>へ. (2) 主要な安全保護回路の種類</u>」に、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-9</u> 工程計装設備については「<u>へ. (3) 主要な工程計装設備の種類</u>」に、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-10</u> 電気設備については「<u>リ. (1) (i) 電気設備</u>」に示す。</p>	<p>また、設計基準対象の施設と兼用する圧縮空気設備の一部である一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系、臨界事故の発生を仮定する機器に接続する溶解設備の一部である配管、精製建屋一時貯留処理設備の一部である配管及び計測制御設備の一部である配管、臨界事故の発生を仮定する機器（第4.3-7表及び第4.5-8表）並びに電気設備の一部である受電開閉設備等を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路については「<u>6.2.2.2 系統構成及び主要設備</u>」及び「<u>6.2.3.2 系統構成及び主要設備</u>」に、計装設備については「<u>6.2.1.4 系統構成及び主要設備</u>」に、電気設備については「<u>9.2.2.4 系統構成</u>」に示す。</p>	<p>また、設計基準対象の施設と兼用する圧縮空気設備の一部である一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-4</u> 主配管等並びに「臨界事故」の発生を仮定する機器を<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-6</u> 常設重大事故等対処設備として位置付け、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-7</u> 臨界事故が発生した場合において放射性物質の放出による影響を緩和できる設計とする。</p> <p>臨界事故が発生した場合の重大事故等対処設備として、臨界事故時水素掃気系の他、安全保護回路の代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路並びに計測制御設備の可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計を使用する設計とする。なお、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-8</u> 安全保護回路は「<u>4.2 安全保護回路</u>」の「<u>4.2.2 代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路</u>」及び「<u>4.2.3 重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路</u>」に、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-9</u> 計測制御設備については「<u>4.1 計測制御設備</u>」に示す。</p>	<p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-4</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-4</u>と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-5</u>は事業変更許可申請書（本文）「<u>リ. (1) (i) 電気設備</u>」に示す。</p> <p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-6</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-6</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-7</u>は、事業変更許可申請書（本文）「<u>ロ (7) (ii) (c) 臨界事故の拡大を防止するための設備</u>」に示す。</p> <p>設工認の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-8</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2-8</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路又は重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路により臨界事故の発生を判定した場合、安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系による水素掃気に加え、可搬型建屋内ホースを敷設し、一般圧縮空気系から空気を機器に供給し水素掃気を実施することにより、機器の気相部における水素濃度をドライ換算8v o 1%未満に維持し、ドライ換算4v o 1%未満に移行リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-11する。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物に対して</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-12</u> 修理等の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。	<p>(2) 主要設備</p> <p>臨界事故により発生した放射線分解水素を掃気するため、一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系による水素掃気に加え、可搬型建屋内ホースを敷設し、一般圧縮空気系から空気を機器に供給し水素掃気を実施することにより、機器の気相部における水素濃度をドライ換算8v o 1%未満に維持し、ドライ換算4v o 1%未満に移行する。</p> <p>9.3.2.2.3 設計方針</p> <p>(1) 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.7.18 (1) a. 多様性、位置的分散」に示す。</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は、地震等により機能が損なわれる場合、代替設備による機能の確保、修理等の対応により機能を維持する設計とする。</p> <p>また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</p>	<p>代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路又は重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路により臨界事故の発生を判定した場合、安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系による水素掃気に加え、可搬型建屋内ホースを敷設し、一般圧縮空気系から空気を機器に供給し水素掃気を実施することにより、機器の気相部における水素濃度をドライ換算8v o 1%未満に維持し、ドライ換算4v o 1%未満に移行</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-11</u> できる設計とする。 <p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は、自然現象、人為事象、溢水、化学薬品漏えい、火災及び内部発生飛散物に対して</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-12</u> 修理の対応、関連する工程の停止等により重大事故等に対処するための機能を損なわない設計とする。 <p>関連する工程を停止すること等については、保安規定に定めて、管理する。</p>	<p>設工認の</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-9</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-9</u> と同義であり整合している。 <p>事業変更許可申請書（本文）の</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-10</u> は事業変更許可申請書（本文）「リ. (1) (i) 電気設備」に示す。 <p>設工認の</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-11</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-11</u> と同義であり整合している。 <p>設工認の</p> <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-12</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-12</u> を具体的に記載しており整合している。	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-13</u> 臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁が設置される前処理建屋及び精製建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-14</u> 位置的分散を図る。対処を行う建屋内に保管する場合は臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁が設置される場所と異なる場所に保管することで<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-15</u> 位置的分散を図る。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースと臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管の接続口は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-16</u> 臨界事故環境下における放射線の影響も含めて共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、臨界事故発生機器からの接続口までの建屋躯体による遮蔽を考慮の上、前処理建屋及び精製建屋内の適切に離隔した隣接しないそれぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対処設備</p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-13</u> 臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁が設置される前処理建屋及び精製建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで位置的分散を図る。</p> <p>対処を行う建屋内に保管する場合は臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースと臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管の接続口は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-16</u> 臨界事故環境下における放射線の影響も含めて共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、臨界事故発生機器からの接続口までの建屋躯体による遮蔽を考慮の上、前処理建屋及び精製建屋内の適切に離隔した隣接しないそれぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p>	<p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-13</u> 共通要因によって臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁が設置される前処理建屋及び精製建屋から 100m 以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-14</u> 位置的分散を図る設計とする。</p> <p>対処を行う建屋内に保管する場合は臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁が設置される場所と異なる場所に保管することで<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-15</u> 位置的分散を図る設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースと臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管の接続口は、<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-16</u> 共通要因によって臨界事故環境下における放射線の影響も含めて接続することができなくなることを防止するため、臨界事故発生機器からの接続口までの建屋躯体による遮蔽を考慮の上、前処理建屋及び精製建屋内の適切に離隔した隣接しないそれぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-13</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-13</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-14</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-14</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-15</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-15</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-16</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-16</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>臨界事故時水素掃気系は、重大事故等発生前（通常時）の離隔若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系として用いる安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系は、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算8v.o.1%未満に維持するために必要な空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v)2)-17 また、臨界事故時に追加的に空気を供給する一般圧縮空気系は、安全機能を有する施設の仕様が、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算4v.o.1%未満に維持するために必要な流量に対し、十分な容量を確保できる設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、前処理建屋に12系列を設置し、精製建屋に4系列を設置する設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについてはリ. (1) (ii) (a) (v)2)-18 1本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</u></p>	<p>(2) 悪影響防止 基本方針については、「1.7.18(1)b. 悪影響防止」に示す</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備 <u>臨界事故時水素掃気系は、重大事故等発生前（通常時）の離隔若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p>(3) 個数及び容量 基本方針については、「1.7.18(2)個数及び容量」に示す。</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備 <u>臨界事故時水素掃気系として用いる安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系は、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算8v.o.1%未満に維持するために必要な空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>また、臨界事故時に追加的に空気を供給する一般圧縮空気系は、安全機能を有する施設の仕様が、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算4v.o.1%未満に維持するために必要な流量に対し、十分な容量を確保できる設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、前処理建屋に12系列を設置し、精製建屋に4系列を設置する設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系は、臨界事故の発生を仮定する機器ごとに、重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</u></p>	<p><u>臨界事故時水素掃気系は、重大事故等発生前（通常時）の離隔若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系として用いる安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系は、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算8v.o.1%未満に維持するために必要な空気を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>リ. (1) (ii) (a) (v)2)-17 臨界事故時に追加的に空気を供給する一般圧縮空気系は、安全機能を有する施設の仕様が、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算4v.o.1%未満に維持するために必要な流量に対し、十分な容量を確保できる設計とする。臨掃④-2</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、前処理建屋に12系列を設置し、精製建屋に4系列を設置する設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについてはリ. (1) (ii) (a) (v)2)-18 予備を含めた個数を必要数として確保する設計とする。</u></p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v)2)-17</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v)2)-17</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v)2)-18</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v)2)-18</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>臨界事故時水素掃気系は、  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-19</u> 臨界事故の発生を仮定する機器ごとに、重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の安全圧縮空気系は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋及び精製建屋に設置し、風（台風）等により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-20</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の安全圧縮空気系は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系は、配管の全周破断に対して、適切な材質とすることにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-21</u>機能を損なわない設計とする。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対処設備  <u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては1本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</u></p> <p>(4) 環境条件等            基本方針については、「1.7.18(3)環境条件等」に示す。</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備  <u>臨界事故時水素掃気系の安全圧縮空気系は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋及び精製建屋に設置し、風（台風）等によりリ. (1) (ii) (a) (v) 2)-20機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は、地震等により機能が損なわれる場合、修理等の対応により機能を維持する設計とする。また、必要に応じて関連する工程を停止する等の手順を整備する。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の安全圧縮空気系は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系は、配管の全周破断に対して、適切な材質とすることにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>臨界事故時水素掃気系は、  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-19</u> 「臨界事故」の発生を仮定する機器ごとに、重大事故等への対処に必要な設備を1セット確保する設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の安全圧縮空気系は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋及び精製建屋に設置し、風（台風）等により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-20</u> 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の安全圧縮空気系は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系は、配管の全周破断に対して、適切な材質とすることにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-21</u> 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-19</u> は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-19</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-20</u> は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-20</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-21</u> は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-21</u> と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-22</u></a>想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定する。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋及び精製建屋に保管し、風（台風）等により<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-23</u></a>機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋及び精製建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-24</u></a>機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない前処理建屋又は精製建屋内に保管することにより、<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-25</u></a>機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所を選定し、当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p>	<p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定する。</u></p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備 <u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋及び精製建屋に保管し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋及び精製建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない前処理建屋又は精製建屋内に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所を選定し、当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p>	<p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-22</u></a>想定される重大事故等が発生した場合において線量率の高くなるおそれの少ない場所を選定することにより、当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋及び精製建屋に保管し、風（台風）等により<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-23</u></a>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋及び精製建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-24</u></a>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない前処理建屋又は精製建屋内に保管することにより、<a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-25</u></a>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、想定される重大事故等が発生した場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない設置場所を選定し、当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p>	<p>設工認の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-22</u></a>は、事業変更許可申請書（本文）の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-22</u></a>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-23</u></a>は、事業変更許可申請書（本文）の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-23</u></a>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-24</u></a>は、事業変更許可申請書（本文）の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-24</u></a>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-25</u></a>は、事業変更許可申請書（本文）の <a href="#"><u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-25</u></a>と同義であり整合している。</p>	



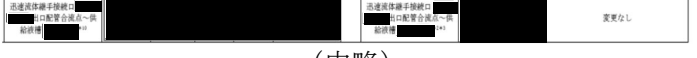




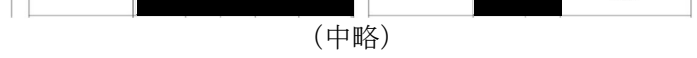




事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、現場においてそれぞれ簡易な接続及び弁等の手動操作により、安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じた</u>  <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 2)-26</u><u>コネクタ接続とする設計とする。</u></p>	<p>(5) 操作性の確保            基本方針については、「1.7.18(4) a. 操作性の確保」に示す。</p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、現場においてそれぞれ簡易な接続及び弁等の手動操作により、安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じた</u>  <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 2)-26</u><u>コネクタ接続とする設計とする。</u></p> <p>9.3.2.2.4 主要設備の仕様            臨界事故時水素掃気系の主要設備の仕様を第9.3-5表(1)に、臨界事故時水素掃気系に関連するその他設備の概略仕様を第9.3-5表(2)～第9.3-5表(4)に、臨界事故時水素掃気系の系統概要図を第9.3-15図に、臨界事故時水素掃気系の機器配置概要図を第9.3-16図に、臨界事故時水素掃気系の接続口配置図及び接続口一覧を第9.3-17図に示す。</p>	<p><u>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、現場においてそれぞれ簡易な接続及び弁等の手動操作により、安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</u></p> <p><u>臨界事故時水素掃気系の機器圧縮空気供給配管・弁は、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の系統が相互に使用することができるよう、ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じた</u>  <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 2)-26</u><u>コネクタ接続を用いる設計とする。</u></p>	<p>設工認の  <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 2)-26</u>            は、事業変更許可申請書（本文）の  <u>リ. (1) (ii) (a) (p) 2)-26</u>            と同義であり整合している。</p>	


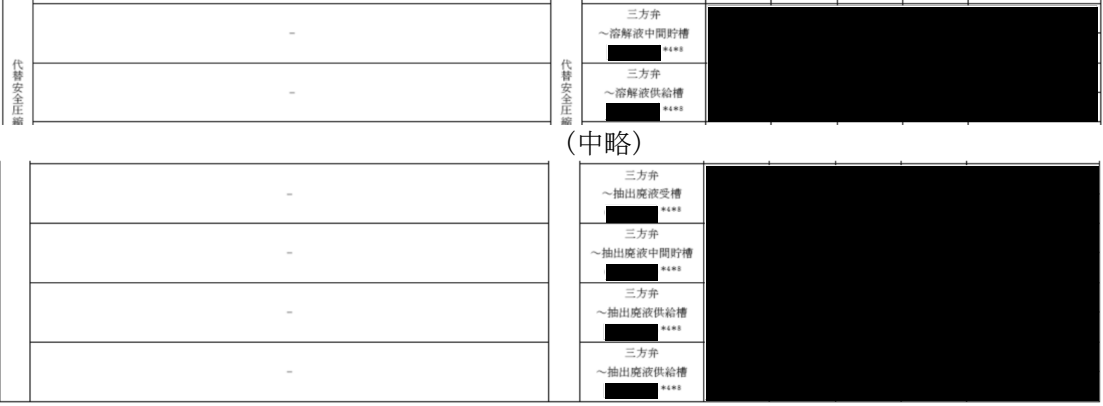
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系，安全圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は，<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-27</u>再処理施設の運転中又は停止中に外観点検，分解確認等が可能な設計とする。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは，<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-28</u>再処理施設の運転中又は停止中に外観点検，員数確認が可能な設計とする。</p>	<p>9.3.2.2.5 試験・検査 基本方針については，「1.7.18(4) b. 試験・検査性」に示す。</p> <p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系，安全圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は，<u>再処理施設の運転中又は停止中に外観点検，分解確認等が可能な設計とする。</u></p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは，<u>再処理施設の運転中又は停止中に外観点検，員数確認が可能な設計とする。</u></p>	<p>臨界事故時水素掃気系の一般圧縮空気系，安全圧縮空気系及び機器圧縮空気供給配管・弁は，<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-27</u>通常時において，<u>重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため，外観点検，分解確認等が可能な設計とする。</u></p> <p>臨界事故時水素掃気系の可搬型建屋内ホースは，<u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-28</u>通常時において，<u>重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため，外観点検，員数確認が可能な設計とする。</u></p>	<p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-27</u> は，事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-27</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-28</u> は，事業変更許可申請書（本文）の <u>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-28</u> と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																						
<p>(b) 主要な設備 (イ) 設計基準対象の施設 リ(1)(ii)(b)(イ)-①安全圧縮空気系空気圧縮機1式</p>	<p>第9.3-1表 圧縮空気設備の主要設備の仕様 (2) 安全圧縮空気系</p> <table border="1" data-bbox="896 352 1469 592"> <thead> <tr> <th colspan="2">空気圧縮機</th> <th colspan="3">空気貯槽</th> </tr> <tr> <th>容量 m<sup>3</sup>/min[normal] (1台当たり)</th> <th>台数</th> <th>容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>基数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">約 24</td> <td rowspan="3">3 (うち1台は予備)</td> <td>約 35</td> <td>1</td> <td>水素掃気用</td> </tr> <tr> <td>約 50</td> <td>1</td> <td>計測制御用</td> </tr> <tr> <td>約 15</td> <td>1</td> <td>かくはん用</td> </tr> </tbody> </table>	空気圧縮機		空気貯槽			容量 m <sup>3</sup> /min[normal] (1台当たり)	台数	容量 (m <sup>3</sup> )	基数	備考	約 24	3 (うち1台は予備)	約 35	1	水素掃気用	約 50	1	計測制御用	約 15	1	かくはん用	<p>【その他再処理設備の附属施設】 (仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1537 346 2142 1123"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>安全空気圧縮装置</th> <th>仕込み</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>安全空気圧縮装置</td> <td>仕込み</td> <td>リ(1)(ii)(b)(イ)-①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定格容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて<sup>③</sup></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横<sup>④</sup></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ<sup>④</sup></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>フレーム</td> <td>-</td> <td></td> <td>変更なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">圧縮機</td> <td>個数</td> <td>-</td> <td>3 (内1個予備)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>安全圧縮空気系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td></td> <td>T.M.S.1 以上</td> <td>T.M.S.1 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td></td> <td>T.M.S.1 以上</td> <td>T.M.S.1 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原動機</td> <td>種類<sup>⑤</sup></td> <td>-</td> <td>三相誘導電動機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>3 (内1個予備)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>圧縮機と同じ</td> <td></td> <td>リ(1)(ii)(b)(イ)-①</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前		変更後		安全空気圧縮装置	仕込み	変更前	変更後	種類	-	安全空気圧縮装置	仕込み	リ(1)(ii)(b)(イ)-①		定格容量	m <sup>3</sup> /h/個					吐出圧力	MPa					主要寸法	たて <sup>③</sup>	mm				横 <sup>④</sup>	mm				高さ <sup>④</sup>	mm				主要材料	フレーム	-		変更なし		圧縮機	個数	-	3 (内1個予備)			系統名(ライン名)	-	安全圧縮空気系			設置床	-	T.M.S.1			取付箇所	-				取付箇所	溢水防護上の区画番号	-				溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		T.M.S.1 以上	T.M.S.1 以上	化学薬品防護上の区画番号	-				化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-		T.M.S.1 以上	T.M.S.1 以上	原動機	種類 <sup>⑤</sup>	-	三相誘導電動機			出力	kW/個				個数	-	3 (内1個予備)			取付箇所	-	圧縮機と同じ		リ(1)(ii)(b)(イ)-①	<p>設工認のリ(1)(ii)(b)(イ)-①は、変更許可申請書(本文)のリ(1)(ii)(b)(イ)-①を具体的に記載しており整合している。</p>	
空気圧縮機		空気貯槽																																																																																																																																								
容量 m <sup>3</sup> /min[normal] (1台当たり)	台数	容量 (m <sup>3</sup> )	基数	備考																																																																																																																																						
約 24	3 (うち1台は予備)	約 35	1	水素掃気用																																																																																																																																						
		約 50	1	計測制御用																																																																																																																																						
		約 15	1	かくはん用																																																																																																																																						
名称		変更前		変更後																																																																																																																																						
		安全空気圧縮装置	仕込み	変更前	変更後																																																																																																																																					
種類	-	安全空気圧縮装置	仕込み	リ(1)(ii)(b)(イ)-①																																																																																																																																						
定格容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																																																									
吐出圧力	MPa																																																																																																																																									
主要寸法	たて <sup>③</sup>	mm																																																																																																																																								
	横 <sup>④</sup>	mm																																																																																																																																								
	高さ <sup>④</sup>	mm																																																																																																																																								
主要材料	フレーム	-		変更なし																																																																																																																																						
圧縮機	個数	-	3 (内1個予備)																																																																																																																																							
	系統名(ライン名)	-	安全圧縮空気系																																																																																																																																							
	設置床	-	T.M.S.1																																																																																																																																							
	取付箇所	-																																																																																																																																								
取付箇所	溢水防護上の区画番号	-																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		T.M.S.1 以上	T.M.S.1 以上																																																																																																																																					
	化学薬品防護上の区画番号	-																																																																																																																																								
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-		T.M.S.1 以上	T.M.S.1 以上																																																																																																																																					
原動機	種類 <sup>⑤</sup>	-	三相誘導電動機																																																																																																																																							
	出力	kW/個																																																																																																																																								
	個数	-	3 (内1個予備)																																																																																																																																							
	取付箇所	-	圧縮機と同じ		リ(1)(ii)(b)(イ)-①																																																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																						
<p>(ロ) 重大事故等対処設備</p> <p>1) 代替安全圧縮空気系</p> <p>i) 水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備 [常設重大事故等対処設備] リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-100 水素掃気配管・弁（設計基準対象の施設と一部兼用（第4表(2)）） 49 系列</p>	<p>第9.3-4表(1) 代替安全圧縮空気系の主要設備の仕様</p> <p>(1) 水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備 [常設重大事故等対処設備] a. 水素掃気配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第9.3-3図～7図）） 数量 49 系列 接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-100 前処理建屋 8 系列</p> <table border="1" data-bbox="1507 598 2101 898"> <thead> <tr> <th colspan="5">実測値</th> <th colspan="5">計算値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高圧 [MPa]</th> <th>最高温 [℃]</th> <th>材質**</th> <th>厚さ**</th> <th>名称</th> <th>最高圧 [MPa]</th> <th>最高温 [℃]</th> <th>材質**</th> <th>厚さ**</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>配管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>弁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>溶接</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>分離建屋 1 系列</p> <p>精製建屋 1 系列</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>	実測値					計算値					名称	最高圧 [MPa]	最高温 [℃]	材質**	厚さ**	名称	最高圧 [MPa]	最高温 [℃]	材質**	厚さ**	配管					配管					弁					弁					継手					継手					溶接					溶接					その他					その他					<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-100は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (ロ) 1)-100を具体的に記載しており整合している。</p>	
実測値					計算値																																																																					
名称	最高圧 [MPa]	最高温 [℃]	材質**	厚さ**	名称	最高圧 [MPa]	最高温 [℃]	材質**	厚さ**																																																																	
配管					配管																																																																					
弁					弁																																																																					
継手					継手																																																																					
溶接					溶接																																																																					
その他					その他																																																																					

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>高レベル廃液ガラス固化建屋 11 系列</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p> <p>  </p> <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (p) 1)-101                      機器圧縮空気供給配管・弁                      （設計基準対象の施設と一部兼用（第4表（2）））                      49 系列</p>	<p>b. 機器圧縮空気供給配管・弁                      （設計基準対象の施設と兼用（第9.3-3図～7図））                      数量 49 系列                      接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (p) 1)-101                      前処理建屋                      14 系列</p>  <p>(中略)</p> <p>分離建屋                      12 系列</p> 	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (p) 1)-101 は、事業変更許可申請書（本文）の                      リ. (1) (ii) (a) (p) 1)-101 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																											
		<table border="1"><thead><tr><th data-bbox="1240 289 1261 625">代替安全圧縮管系</th><th data-bbox="1261 289 1754 625"></th><th data-bbox="1754 289 1780 625">代替安全圧縮管系</th><td rowspan="6" style="background-color: black;"></td></tr></thead><tbody><tr><td></td><td style="text-align: center;">-</td><td>三方弁 ～プルトニウム溶液 受槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****</td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">-</td><td>三方弁 ～プルトニウム溶液 中間貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****</td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">-</td><td>三方弁 ～第2一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****</td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">-</td><td>三方弁 ～第3一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****</td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">-</td><td>三方弁 ～第4一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****</td></tr></tbody></table> <p><b>精製建屋</b> 15 系列</p> <table border="1"><thead><tr><th data-bbox="1240 737 1261 1094">製硝酸プラント</th><th data-bbox="1261 737 1558 1094"></th><th data-bbox="1558 737 1878 1094"></th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td style="text-align: center;">-</td><td>プルトニウム濃縮装置 入り配管付貯槽～中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: right;">(中略)</p> <p><b>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</b></p> <table border="1"><tbody><tr><td data-bbox="1240 1409 1484 1459">迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1409 1878 1459"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1459 1484 1509">～硝酸プルトニウム貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1459 1878 1509"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1509 1484 1560">迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1509 1878 1560"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1560 1484 1610">～混合槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1560 1878 1610"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1610 1484 1661">迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1610 1878 1661"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1661 1484 1711">～混合槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1661 1878 1711"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1711 1484 1761">迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1711 1878 1761"></td></tr><tr><td data-bbox="1240 1761 1484 1812">～一時貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)</td><td data-bbox="1484 1761 1878 1812"></td></tr></tbody></table> <p>4 系列分</p> <p><b>高レベル廃液ガラス固化建屋</b> 11 系列</p> <table border="1"><tbody><tr><td data-bbox="1240 1732 1558 1782"></td><td data-bbox="1558 1732 1878 1782"></td></tr></tbody></table> <p>2 系列分</p> <p style="text-align: right;">(中略)</p>	代替安全圧縮管系		代替安全圧縮管系			-	三方弁 ～プルトニウム溶液 受槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****		-	三方弁 ～プルトニウム溶液 中間貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****		-	三方弁 ～第2一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****		-	三方弁 ～第3一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****		-	三方弁 ～第4一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****	製硝酸プラント				-	プルトニウム濃縮装置 入り配管付貯槽～中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽	迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		～硝酸プルトニウム貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		～混合槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		～混合槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)		～一時貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)					
代替安全圧縮管系		代替安全圧縮管系																																													
	-	三方弁 ～プルトニウム溶液 受槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****																																													
	-	三方弁 ～プルトニウム溶液 中間貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****																																													
	-	三方弁 ～第2一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****																																													
	-	三方弁 ～第3一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****																																													
	-	三方弁 ～第4一時貯留処理槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> ****																																													
製硝酸プラント																																															
	-	プルトニウム濃縮装置 入り配管付貯槽～中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽 中間貯槽																																													
迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
～硝酸プルトニウム貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
～混合槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
～混合槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
迅速流体継手 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															
～一時貯槽 <span style="background-color: black;">■■■■</span> 用)																																															

事業変更許可申請書 (本文)

事業変更許可申請書 (添付書類六)

設工認申請書 該当事項

整合性

備考



2系列分

(中略)



(中略)



2系列分

(中略)



2系列分

(中略)



2系列分

(中略)

重事 A

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																												
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-102                      圧縮空気自動供給系 圧縮空気自動供給貯槽</p> <p>3 基（分離建屋）                      5 基（精製建屋）                      容量 約 5.5 m<sup>3</sup>/基（分離建屋）                      約 2.5 m<sup>3</sup>/基（精製建屋のうち                      2 基）                      約 5 m<sup>3</sup>/基（精製建屋のうち                      3 基）                      主要材料 ステンレス鋼                      作動圧力 約 0.7 MPa [gage]</p>	<p>c. 圧縮空気自動供給系 圧縮空気自動供給貯槽</p> <p>種類 よこ置円筒形（分離建屋）                      たて置円筒形（精製建屋）</p> <p>基数 3 基（分離建屋）                      5 基（精製建屋）</p> <p>容量 約 5.5m<sup>3</sup>/基（分離建屋）                      約 2.5m<sup>3</sup>/基（精製建屋のうち 2                      基）                      約 5 m<sup>3</sup>/基（精製建屋のうち 3                      基）</p> <p>主要材料 ステンレス鋼                      作動圧力 約 0.7MPa a [gage]</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-102</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1576 405 2139 1087"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>-</td> <td>圧縮空気自動供給貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>横置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">胴内径</td> <td>mm</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>入口管台外径</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>連絡管台外径</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>連絡管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>鏡板</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1576 1157 2139 1772"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>-</td> <td>圧縮空気自動供給貯槽A, B</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鏡板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径*2*3</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ*2*3</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径*4*5</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ*4*5</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>点検口管台外径**7</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>点検口管台厚さ**7</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>点検口平板厚さ**7</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>鏡板</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>点検口平板</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>			変更前	変更後	名称		-	圧縮空気自動供給貯槽	種類		-	横置円筒形	容量	m <sup>3</sup> /個	-		最高使用圧力	MPa	-		最高使用温度	℃	-		胴内径	mm	-		胴板厚さ	mm		鏡板厚さ	mm		鏡板の形状に係る寸法	mm	-		mm	-		主要寸法	入口管台外径	mm	-	入口管台厚さ	mm	-	出口管台外径	mm	-	出口管台厚さ	mm	-	連絡管台外径	mm	-	連絡管台厚さ	mm	-	全長	mm	-	高さ	mm	-	主要材料	鏡板	-	-	胴板	-	-	個数	-	-	3			変更前	変更後	名称		-	圧縮空気自動供給貯槽A, B	種類		-		容量	m <sup>3</sup> /個	-		最高使用圧力	MPa	-		最高使用温度	℃	-		主要寸法	胴内径	mm	-	胴板厚さ	mm	-	鏡板厚さ	mm	-	鏡板中央部内半径	mm	-	鏡板隅の丸み半径	mm	-	入口管台外径*2*3	mm	-	入口管台厚さ*2*3	mm	-	出口管台外径*4*5	mm	-	出口管台厚さ*4*5	mm	-	点検口管台外径**7	mm	-	点検口管台厚さ**7	mm	-	点検口平板厚さ**7	mm	-	高さ	mm	-		主要材料	鏡板	-	-	胴板	-	-	点検口平板	-	-	個数	-	-	2	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1-102は、事業変更許可申請書（本文）の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1-102を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																																																													
名称		-	圧縮空気自動供給貯槽																																																																																																																																																													
種類		-	横置円筒形																																																																																																																																																													
容量	m <sup>3</sup> /個	-																																																																																																																																																														
最高使用圧力	MPa	-																																																																																																																																																														
最高使用温度	℃	-																																																																																																																																																														
胴内径	mm	-																																																																																																																																																														
	胴板厚さ	mm																																																																																																																																																														
	鏡板厚さ	mm																																																																																																																																																														
鏡板の形状に係る寸法	mm	-																																																																																																																																																														
	mm	-																																																																																																																																																														
主要寸法	入口管台外径	mm	-																																																																																																																																																													
	入口管台厚さ	mm	-																																																																																																																																																													
	出口管台外径	mm	-																																																																																																																																																													
	出口管台厚さ	mm	-																																																																																																																																																													
	連絡管台外径	mm	-																																																																																																																																																													
	連絡管台厚さ	mm	-																																																																																																																																																													
	全長	mm	-																																																																																																																																																													
	高さ	mm	-																																																																																																																																																													
	主要材料	鏡板	-	-																																																																																																																																																												
		胴板	-	-																																																																																																																																																												
個数	-	-	3																																																																																																																																																													
		変更前	変更後																																																																																																																																																													
名称		-	圧縮空気自動供給貯槽A, B																																																																																																																																																													
種類		-																																																																																																																																																														
容量	m <sup>3</sup> /個	-																																																																																																																																																														
最高使用圧力	MPa	-																																																																																																																																																														
最高使用温度	℃	-																																																																																																																																																														
主要寸法	胴内径	mm	-																																																																																																																																																													
	胴板厚さ	mm	-																																																																																																																																																													
	鏡板厚さ	mm	-																																																																																																																																																													
	鏡板中央部内半径	mm	-																																																																																																																																																													
	鏡板隅の丸み半径	mm	-																																																																																																																																																													
	入口管台外径*2*3	mm	-																																																																																																																																																													
	入口管台厚さ*2*3	mm	-																																																																																																																																																													
	出口管台外径*4*5	mm	-																																																																																																																																																													
	出口管台厚さ*4*5	mm	-																																																																																																																																																													
	点検口管台外径**7	mm	-																																																																																																																																																													
点検口管台厚さ**7	mm	-																																																																																																																																																														
点検口平板厚さ**7	mm	-																																																																																																																																																														
高さ	mm	-																																																																																																																																																														
主要材料	鏡板	-	-																																																																																																																																																													
	胴板	-	-																																																																																																																																																													
	点検口平板	-	-																																																																																																																																																													
個数	-	-	2																																																																																																																																																													






事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																												
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>—</td> <td>圧縮空気自動供給貯槽C, D, E</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>—</td> <td rowspan="15" style="background-color: black; color: white; vertical-align: middle;">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板中央部内半径</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鏡板隅の丸み半径</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径 *23*4</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ *23*4</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径 *56*7</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ *56*7</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>点検口管台外径 *99*10</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>点検口管台厚さ *99*10</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>点検口平板厚さ *99*10</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>胴板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>点検口平板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	名称		変更前	変更後			—	圧縮空気自動供給貯槽C, D, E	種類	—	—	たて置円筒形	容量	m <sup>3</sup> /個	—	[Redacted]	最高使用圧力	MPa	—	最高使用温度	℃	—	主要寸法	胴内径	mm	—	胴板厚さ	mm	—	鏡板厚さ	mm	—	鏡板中央部内半径	mm	—	鏡板隅の丸み半径	mm	—	入口管台外径 *23*4	mm	—	入口管台厚さ *23*4	mm	—	出口管台外径 *56*7	mm	—	出口管台厚さ *56*7	mm	—	点検口管台外径 *99*10	mm	—	点検口管台厚さ *99*10	mm	—	点検口平板厚さ *99*10	mm	—	高さ	mm	—	主要材料	鏡板	—	—	胴板	—	—	点検口平板	—	—	個数	—	—	3		
名称		変更前	変更後																																																																													
		—	圧縮空気自動供給貯槽C, D, E																																																																													
種類	—	—	たて置円筒形																																																																													
容量	m <sup>3</sup> /個	—	[Redacted]																																																																													
最高使用圧力	MPa	—																																																																														
最高使用温度	℃	—																																																																														
主要寸法	胴内径	mm		—																																																																												
	胴板厚さ	mm		—																																																																												
	鏡板厚さ	mm		—																																																																												
	鏡板中央部内半径	mm		—																																																																												
	鏡板隅の丸み半径	mm		—																																																																												
	入口管台外径 *23*4	mm		—																																																																												
	入口管台厚さ *23*4	mm		—																																																																												
	出口管台外径 *56*7	mm		—																																																																												
	出口管台厚さ *56*7	mm		—																																																																												
	点検口管台外径 *99*10	mm		—																																																																												
点検口管台厚さ *99*10	mm	—																																																																														
点検口平板厚さ *99*10	mm	—																																																																														
高さ	mm	—																																																																														
主要材料	鏡板	—	—																																																																													
	胴板	—	—																																																																													
	点検口平板	—	—																																																																													
個数	—	—	3																																																																													



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																		
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-103                      圧縮空気自動供給系 圧縮空気自動供給ユニット                      1 式                      容量 約 15 m<sup>3</sup> [normal]                      作動圧力 約 0.7 MPa [gage]</p>	<p>d. 圧縮空気自動供給系 圧縮空気自動供給ユニット                      数量 1 式                      容量 約 15m<sup>3</sup> [normal]                      作動圧力 約 0.7MP a [gage]</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-103                      ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 363 2142 919"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>圧縮空気自動供給ユニットポンベ<sup>*3</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>一般雑目なし鋼製容器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>1/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>胴外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>[redacted]</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配管が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *3: 圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。                      *4: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			圧縮空気自動供給ユニットポンベ <sup>*3</sup>	種類		-	一般雑目なし鋼製容器	容量		1/個		最高使用圧力		MPa		最高使用温度		℃		主要寸法	胴外径	mm		胴部厚さ	mm		底部厚さ	mm		高さ	mm		主要材料		-		個数		-	3	系統名(ライン名)		-	代替安全圧縮空気系	設置床		-	T.M.S.L. [redacted]	取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配管が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	[redacted]	化学薬品防護上の配管が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted]	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-102 は、事業変更許可申請書（本文）の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-102 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>また、46.7L のポンベ 3 個の容量を標準体積に換算すると容量 15m<sup>3</sup> [normal] 以上となり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																			
名称			圧縮空気自動供給ユニットポンベ <sup>*3</sup>																																																																			
種類		-	一般雑目なし鋼製容器																																																																			
容量		1/個																																																																				
最高使用圧力		MPa																																																																				
最高使用温度		℃																																																																				
主要寸法	胴外径	mm																																																																				
	胴部厚さ	mm																																																																				
	底部厚さ	mm																																																																				
	高さ	mm																																																																				
主要材料		-																																																																				
個数		-	3																																																																			
系統名(ライン名)		-	代替安全圧縮空気系																																																																			
設置床		-	T.M.S.L. [redacted]																																																																			
取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																			
	溢水防護上の配管が必要な高さ	-	-																																																																			
	化学薬品防護上の区画番号	-	[redacted]																																																																			
	化学薬品防護上の配管が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted]																																																																			

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																								
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-104                      機器圧縮空気自動供給ユニット 1 式                      容量 約 10 m<sup>3</sup> [normal] (分離建屋)                      約 52 m<sup>3</sup> [normal] (精製建屋)                      約 20 m<sup>3</sup> [normal] (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)                      作動圧力 約 0.4 MPa [gage]</p>	<p>e. 機器圧縮空気自動供給ユニット                      数量 1 式                      容量 約 10m<sup>3</sup> [normal] (分離建屋)                      約 52m<sup>3</sup> [normal] (精製建屋)                      約 20m<sup>3</sup> [normal] (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)                      作動圧力 約 0.4MP a [gage]</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-104                      分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 346 2142 961"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>圧縮空気自動供給ユニット 圧縮空気ポンペ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td></td> <td>一般継目なし鋼製容器</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *4: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1134 2142 1722"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>機器圧縮空気自動供給ユニットポンペ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td></td> <td>たて圓筒形</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>胴外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *3: 機器圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。                      *4: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	種類	-		圧縮空気自動供給ユニット 圧縮空気ポンペ	容量	L/個		一般継目なし鋼製容器	最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			主要寸法	外径	mm		高さ	mm		胴部厚さ	mm		底部厚さ	mm		材料	-			個数	-		2	取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系	設置床	-	T.M.S.L. [redacted]	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	名称		変更前	変更後	種類	-		機器圧縮空気自動供給ユニットポンペ	容量	L/個		たて圓筒形	最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			主要寸法	胴外径	mm		胴板厚さ	mm		底部厚さ	mm		高さ	mm		主要材料	-			個数	-		10	取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系	設置床	-	T.M.S.L. [redacted]	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted]	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-104 は、事業変更許可申請書 (本文) の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-104 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>46. 7L のポンペ 2 個の容量を標準体積に換算すると容量 10m<sup>3</sup> [normal] 以上となり整合している。</p> <p>46. 7L のポンペ 10 個の容量を標準体積に換算すると容量 52m<sup>3</sup> [normal] 以上となり整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																																																									
種類	-		圧縮空気自動供給ユニット 圧縮空気ポンペ																																																																																																																									
容量	L/個		一般継目なし鋼製容器																																																																																																																									
最高使用圧力	MPa																																																																																																																											
最高使用温度	℃																																																																																																																											
主要寸法	外径	mm																																																																																																																										
	高さ	mm																																																																																																																										
	胴部厚さ	mm																																																																																																																										
	底部厚さ	mm																																																																																																																										
材料	-																																																																																																																											
個数	-		2																																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系																																																																																																																									
	設置床	-	T.M.S.L. [redacted]																																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																									
	化学薬品防護上の区画番号	-	-																																																																																																																									
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																									
名称		変更前	変更後																																																																																																																									
種類	-		機器圧縮空気自動供給ユニットポンペ																																																																																																																									
容量	L/個		たて圓筒形																																																																																																																									
最高使用圧力	MPa																																																																																																																											
最高使用温度	℃																																																																																																																											
主要寸法	胴外径	mm																																																																																																																										
	胴板厚さ	mm																																																																																																																										
	底部厚さ	mm																																																																																																																										
	高さ	mm																																																																																																																										
主要材料	-																																																																																																																											
個数	-		10																																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系																																																																																																																									
	設置床	-	T.M.S.L. [redacted]																																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																									
	化学薬品防護上の区画番号	-	-																																																																																																																									
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted]																																																																																																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 325 2145 892"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>機器圧縮空気自動供給ユニットポンベ<sup>※3</sup></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>一般雑目なし鋼製容器</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>1/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>胴外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted] m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted] m</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。  *3: 機器圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。  *4: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			機器圧縮空気自動供給ユニットポンベ <sup>※3</sup>	種類	-		一般雑目なし鋼製容器	容量	1/個			最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			主要寸法	胴外径	mm		胴部厚さ	mm		底部厚さ	mm		高さ	mm		主要材料	-			個数	-		6	取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系	設置床	-	T.M.S.L. [redacted] m	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>※2</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted] m	<p>46.7Lのポンベ6個の容量を標準体積に換算すると容量20m<sup>3</sup>[normal]以上となり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																	
名称			機器圧縮空気自動供給ユニットポンベ <sup>※3</sup>																																																																	
種類	-		一般雑目なし鋼製容器																																																																	
容量	1/個																																																																			
最高使用圧力	MPa																																																																			
最高使用温度	℃																																																																			
主要寸法	胴外径	mm																																																																		
	胴部厚さ	mm																																																																		
	底部厚さ	mm																																																																		
	高さ	mm																																																																		
主要材料	-																																																																			
個数	-		6																																																																	
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系																																																																	
	設置床	-	T.M.S.L. [redacted] m																																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>※2</sup>																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																	
	化学薬品防護上の区画番号	-	-																																																																	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted] m																																																																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-105 建屋内空気中継配管 8 系列</p>	<p>f. 建屋内空気中継配管 数量 8 系列 接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-105</p> <p>分離建屋 2 系列</p>  <p>精製建屋 2 系列</p>  <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>  <p>2 系列分</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 2 系列</p>  <p style="text-align: center;">(中略)</p>  <p style="text-align: center;">(中略)</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)- 105 は、事業変更許可 申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)- 105 を具体的に記載し ており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																	
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106</p> <p>放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器 （設計基準対象の施設と兼用（第4表(1)）） 49 基</p>	<p>g. 水素爆発の発生を仮定する機器（設計基準対象の施設と兼用）（第9.3-2表）</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106</p> <p>前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 394 2110 489"> <tr><td>名称</td><td>変更前 中継槽 *3</td><td>変更後 中継槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 531 2110 625"> <tr><td>名称</td><td>変更前 計量前中間貯槽 *3</td><td>変更後 計量前中間貯槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 646 2110 741"> <tr><td>名称</td><td>変更前 計量後中間貯槽 *3</td><td>変更後 計量後中間貯槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 762 2110 856"> <tr><td>名称</td><td>変更前 計量・調整槽 *3</td><td>変更後 計量・調整槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 877 2110 972"> <tr><td>名称</td><td>変更前 計量補助槽 *3</td><td>変更後 計量補助槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 1056 2110 1150"> <tr><td>名称</td><td>変更前 第2一時貯留処理槽 *3</td><td>変更後 第2一時貯留処理槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1192 2110 1287"> <tr><td>名称</td><td>変更前 第3一時貯留処理槽 *3</td><td>変更後 第3一時貯留処理槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1329 2110 1423"> <tr><td>名称</td><td>変更前 第7一時貯留処理槽 *3</td><td>変更後 第7一時貯留処理槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1497 2110 1591"> <tr><td>名称</td><td>変更前 プルトニウム 溶液供給槽 *3</td><td>変更後 プルトニウム 溶液供給槽 *1</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1644 2110 1738"> <tr><td>名称</td><td>変更前 プルトニウム 溶液受槽 *3</td><td>変更後 プルトニウム 溶液受槽 *17</td></tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1770 2110 1864"> <tr><td>名称</td><td>変更前 油水分離槽 *3</td><td>変更後 油水分離槽 *18</td></tr> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前 中継槽 *3	変更後 中継槽 *1	名称	変更前 計量前中間貯槽 *3	変更後 計量前中間貯槽 *1	名称	変更前 計量後中間貯槽 *3	変更後 計量後中間貯槽 *1	名称	変更前 計量・調整槽 *3	変更後 計量・調整槽 *1	名称	変更前 計量補助槽 *3	変更後 計量補助槽 *1	名称	変更前 第2一時貯留処理槽 *3	変更後 第2一時貯留処理槽 *1	名称	変更前 第3一時貯留処理槽 *3	変更後 第3一時貯留処理槽 *1	名称	変更前 第7一時貯留処理槽 *3	変更後 第7一時貯留処理槽 *1	名称	変更前 プルトニウム 溶液供給槽 *3	変更後 プルトニウム 溶液供給槽 *1	名称	変更前 プルトニウム 溶液受槽 *3	変更後 プルトニウム 溶液受槽 *17	名称	変更前 油水分離槽 *3	変更後 油水分離槽 *18	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	変更前 中継槽 *3	変更後 中継槽 *1																																			
名称	変更前 計量前中間貯槽 *3	変更後 計量前中間貯槽 *1																																			
名称	変更前 計量後中間貯槽 *3	変更後 計量後中間貯槽 *1																																			
名称	変更前 計量・調整槽 *3	変更後 計量・調整槽 *1																																			
名称	変更前 計量補助槽 *3	変更後 計量補助槽 *1																																			
名称	変更前 第2一時貯留処理槽 *3	変更後 第2一時貯留処理槽 *1																																			
名称	変更前 第3一時貯留処理槽 *3	変更後 第3一時貯留処理槽 *1																																			
名称	変更前 第7一時貯留処理槽 *3	変更後 第7一時貯留処理槽 *1																																			
名称	変更前 プルトニウム 溶液供給槽 *3	変更後 プルトニウム 溶液供給槽 *1																																			
名称	変更前 プルトニウム 溶液受槽 *3	変更後 プルトニウム 溶液受槽 *17																																			
名称	変更前 油水分離槽 *3	変更後 油水分離槽 *18																																			



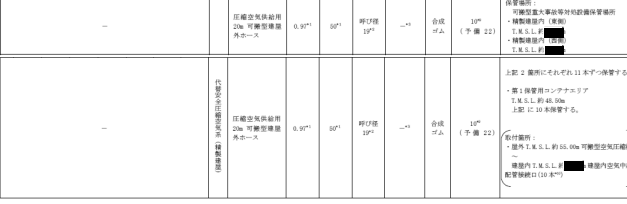
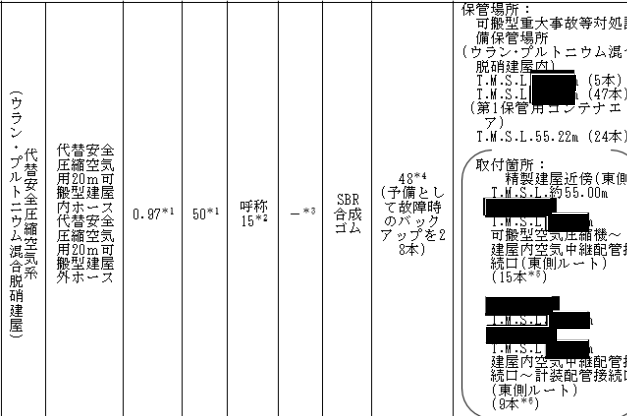
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮缶供給槽</td> <td>プルトニウム濃縮缶供給槽 *20</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム溶液一時貯槽</td> <td>プルトニウム溶液一時貯槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮缶</td> <td>プルトニウム濃縮缶</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液受槽</td> <td>プルトニウム濃縮液受槽 *19</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>リサイクル槽</td> <td>リサイクル槽 *19</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>希釈槽</td> <td>希釈槽 *18</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液一時貯槽</td> <td>プルトニウム濃縮液一時貯槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液計量槽</td> <td>プルトニウム濃縮液計量槽 *17</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>プルトニウム濃縮液中間貯槽</td> <td>プルトニウム濃縮液中間貯槽 *16</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table>		変更前	変更後	名称	プルトニウム濃縮缶供給槽	プルトニウム濃縮缶供給槽 *20	(中略)			名称	プルトニウム溶液一時貯槽	プルトニウム溶液一時貯槽 *17	(中略)			名称	プルトニウム濃縮缶	プルトニウム濃縮缶	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液受槽	プルトニウム濃縮液受槽 *19	(中略)			名称	リサイクル槽	リサイクル槽 *19	(中略)			名称	希釈槽	希釈槽 *18	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液一時貯槽	プルトニウム濃縮液一時貯槽 *17	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液計量槽	プルトニウム濃縮液計量槽 *17	(中略)			名称	プルトニウム濃縮液中間貯槽	プルトニウム濃縮液中間貯槽 *16	(中略)				
	変更前	変更後																																																											
名称	プルトニウム濃縮缶供給槽	プルトニウム濃縮缶供給槽 *20																																																											
(中略)																																																													
名称	プルトニウム溶液一時貯槽	プルトニウム溶液一時貯槽 *17																																																											
(中略)																																																													
名称	プルトニウム濃縮缶	プルトニウム濃縮缶																																																											
(中略)																																																													
名称	プルトニウム濃縮液受槽	プルトニウム濃縮液受槽 *19																																																											
(中略)																																																													
名称	リサイクル槽	リサイクル槽 *19																																																											
(中略)																																																													
名称	希釈槽	希釈槽 *18																																																											
(中略)																																																													
名称	プルトニウム濃縮液一時貯槽	プルトニウム濃縮液一時貯槽 *17																																																											
(中略)																																																													
名称	プルトニウム濃縮液計量槽	プルトニウム濃縮液計量槽 *17																																																											
(中略)																																																													
名称	プルトニウム濃縮液中間貯槽	プルトニウム濃縮液中間貯槽 *16																																																											
(中略)																																																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 325 2142 409"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>硝酸プルトニウム貯槽</td> <td>硝酸プルトニウム貯槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 451 2142 535"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>混合槽</td> <td>混合槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 577 2142 661"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>一時貯槽</td> <td>一時貯槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 819 2142 934"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 997 2142 1123"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1186 2142 1281"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>高レベル廃液共用貯槽</td> <td>高レベル廃液共用貯槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1344 2142 1449"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>高レベル廃液混合槽</td> <td>高レベル廃液混合槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1512 2142 1606"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>供給液槽</td> <td>供給液槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1669 2142 1764"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>供給槽</td> <td>供給槽</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前	変更後		硝酸プルトニウム貯槽	硝酸プルトニウム貯槽	名称	変更前	変更後		混合槽	混合槽	名称	変更前	変更後		一時貯槽	一時貯槽	名称	変更前	変更後		第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	名称	変更前	変更後		第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	名称	変更前	変更後		高レベル廃液共用貯槽	高レベル廃液共用貯槽	名称	変更前	変更後		高レベル廃液混合槽	高レベル廃液混合槽	名称	変更前	変更後		供給液槽	供給液槽	名称	変更前	変更後		供給槽	供給槽		
名称	変更前	変更後																																																								
	硝酸プルトニウム貯槽	硝酸プルトニウム貯槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	混合槽	混合槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	一時貯槽	一時貯槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽	第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	第1,第2高レベル濃縮廃液一時貯槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	高レベル廃液共用貯槽	高レベル廃液共用貯槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	高レベル廃液混合槽	高レベル廃液混合槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	供給液槽	供給液槽																																																								
名称	変更前	変更後																																																								
	供給槽	供給槽																																																								

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																			
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-107                      [可搬型重大事故等対処設備]                      可搬型空気圧縮機 9 台 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 6 台)                      容量 約 7.5 m<sup>3</sup>/min [normal] / 台 (前処理建屋, 分離建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋で使用) 約 3.9 m<sup>3</sup>/min [normal] / 台 (精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋で使用)</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]                      a. 可搬型空気圧縮機                      台数 9 台 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 6 台)                      容量 約 7.5m<sup>3</sup>/min [normal] / 台 (前処理建屋, 分離建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋で使用) 約 3.9m<sup>3</sup>/min [normal] / 台 (精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋で使用)</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-107                      前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1389 363 1967 651"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">種類</td> <td>-</td> <td>可搬型空気圧縮機</td> </tr> <tr> <td colspan="3">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>450 以上 (450*1)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td>0.69*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> <td>1,200*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2,050*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>1,250*1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">個数</td> <td>-</td> <td>4 (予備として故障時のバックアップを 3 個)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1389 751 1967 1554"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">種類</td> <td>-</td> <td>可搬型空気圧縮機</td> </tr> <tr> <td colspan="3">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>450 以上 (450*1)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td>0.69*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> <td>1,200*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2,050*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>1,250*1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>保管場所: ・分離建屋近傍 (南側 1 個) T. M. S. L. 約 55.00m  取付箇所: 分離建屋近傍 T. M. S. L. 約 55.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原動機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>水冷 4 サイクル直接噴射式</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>-</td> <td>61.2</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬型空気圧縮機と同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。</p>	名称			変更前	変更後	種類			-	可搬型空気圧縮機	容量			m <sup>3</sup> /h/個	450 以上 (450*1)	吐出圧力			MPa	0.69*1	主要寸法	たて	mm		1,200*1	横	mm		2,050*1	高さ	mm		1,250*1	個数			-	4 (予備として故障時のバックアップを 3 個)	名称			変更前	変更後	種類			-	可搬型空気圧縮機	容量			m <sup>3</sup> /h/個	450 以上 (450*1)	吐出圧力			MPa	0.69*1	主要寸法	たて	mm		1,200*1	横	mm		2,050*1	高さ	mm		1,250*1	個数			-	1	系統名 (ライン名)			-	代替安全圧縮空気系	取付箇所	設置床	-	-	保管場所: ・分離建屋近傍 (南側 1 個) T. M. S. L. 約 55.00m  取付箇所: 分離建屋近傍 T. M. S. L. 約 55.00m	溢水防護上の区画番号	-	-*2	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-*3	-	原動機	種類	-	-	水冷 4 サイクル直接噴射式	出力	kW/個	-	61.2	個数	-	-	1	取付箇所	-	-	可搬型空気圧縮機と同じ	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-107 は, 事業変更許可申請書 (本文) の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-107 を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称			変更前	変更後																																																																																																																			
種類			-	可搬型空気圧縮機																																																																																																																			
容量			m <sup>3</sup> /h/個	450 以上 (450*1)																																																																																																																			
吐出圧力			MPa	0.69*1																																																																																																																			
主要寸法	たて	mm		1,200*1																																																																																																																			
	横	mm		2,050*1																																																																																																																			
	高さ	mm		1,250*1																																																																																																																			
個数			-	4 (予備として故障時のバックアップを 3 個)																																																																																																																			
名称			変更前	変更後																																																																																																																			
種類			-	可搬型空気圧縮機																																																																																																																			
容量			m <sup>3</sup> /h/個	450 以上 (450*1)																																																																																																																			
吐出圧力			MPa	0.69*1																																																																																																																			
主要寸法	たて	mm		1,200*1																																																																																																																			
	横	mm		2,050*1																																																																																																																			
	高さ	mm		1,250*1																																																																																																																			
個数			-	1																																																																																																																			
系統名 (ライン名)			-	代替安全圧縮空気系																																																																																																																			
取付箇所	設置床	-	-	保管場所: ・分離建屋近傍 (南側 1 個) T. M. S. L. 約 55.00m  取付箇所: 分離建屋近傍 T. M. S. L. 約 55.00m																																																																																																																			
	溢水防護上の区画番号	-	-*2	-																																																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*2	-																																																																																																																			
	化学薬品防護上の区画番号	-	-*3	-																																																																																																																			
原動機	種類	-	-	水冷 4 サイクル直接噴射式																																																																																																																			
	出力	kW/個	-	61.2																																																																																																																			
	個数	-	-	1																																																																																																																			
	取付箇所	-	-	可搬型空気圧縮機と同じ																																																																																																																			




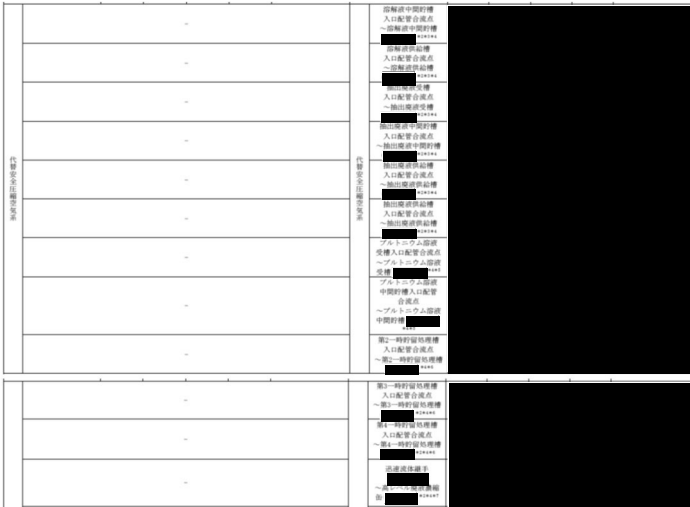

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																		
		<p>精製建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名称</td> <td></td> <td>可搬型空気圧縮機 ■■■■■</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種類</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> <td>スクリュ回転型1段圧縮油冷式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">容量</td> <td style="text-align: center;">m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td>234</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">吐出圧力</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td></td> <td>0.69*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主要寸法</td> <td style="text-align: center;">たて</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td>1570*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td>875*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td>1050*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>4(予備として故障時のバックアップを3)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>			変更前	変更後	名称			可搬型空気圧縮機 ■■■■■	種類	-		スクリュ回転型1段圧縮油冷式	容量	m <sup>3</sup> /h/個		234	吐出圧力	MPa		0.69* <sup>1</sup>	主要寸法	たて	mm	1570* <sup>1</sup>	横	mm	875* <sup>1</sup>	高さ	mm	1050* <sup>1</sup>	個数	-	-	4(予備として故障時のバックアップを3)		
		変更前	変更後																																			
名称			可搬型空気圧縮機 ■■■■■																																			
種類	-		スクリュ回転型1段圧縮油冷式																																			
容量	m <sup>3</sup> /h/個		234																																			
吐出圧力	MPa		0.69* <sup>1</sup>																																			
主要寸法	たて	mm	1570* <sup>1</sup>																																			
	横	mm	875* <sup>1</sup>																																			
	高さ	mm	1050* <sup>1</sup>																																			
個数	-	-	4(予備として故障時のバックアップを3)																																			

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-108 可搬型建屋外ホース 1 式</p>	<p>b. 可搬型建屋外ホース 数量 1 式 接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-108 前処理建屋</p>  <p>分離建屋</p>  <p>精製建屋</p>  <p>(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>  <p>(中略)</p> <p>*4: 可搬型建屋内ホースとして必要本数8本を2セットに故障時のバックアップ11本の数量, 可搬型建屋外ホースとして必要本数15本を2セットに故障時のバックアップ17本の数量を示す。 *5: 最長ルートである可搬型空気圧縮機~建屋内空気中継配管接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。 *6: 最長ルートである建屋内空気中継配管接続口~計装配管接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-108は, 事業変更許可申請書 (本文) の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-108を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																														
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-109 可搬型建屋内ホース 1 式</p>	<p>c. 可搬型建屋内ホース 数量 1 式 接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1-109 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 352 2133 651"> <thead> <tr> <th colspan="2">建築種別</th> <th colspan="2">用途</th> <th colspan="2">構造</th> <th colspan="2">基礎</th> <th colspan="2">防火</th> <th colspan="2">防音</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 856 2133 1039"> <thead> <tr> <th colspan="2">建築種別</th> <th colspan="2">用途</th> <th colspan="2">構造</th> <th colspan="2">基礎</th> <th colspan="2">防火</th> <th colspan="2">防音</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 1094 2133 1627"> <thead> <tr> <th colspan="2">建築種別</th> <th colspan="2">用途</th> <th colspan="2">構造</th> <th colspan="2">基礎</th> <th colspan="2">防火</th> <th colspan="2">防音</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>可搬型建屋内ホース</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>	建築種別		用途		構造		基礎		防火		防音		その他		名称	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	建築種別		用途		構造		基礎		防火		防音		その他		名称	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	建築種別		用途		構造		基礎		防火		防音		その他		名称	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-109 は、事業変更許可申請書 (本文) の リ. (1) (ii) (a) (v) 1-109 を具体的に記載しており整合している。</p>	
建築種別		用途		構造		基礎		防火		防音		その他																																																																																																																						
名称	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途																																																																																																																					
可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース																																																																																																																					
建築種別		用途		構造		基礎		防火		防音		その他																																																																																																																						
名称	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途																																																																																																																					
可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース																																																																																																																					
建築種別		用途		構造		基礎		防火		防音		その他																																																																																																																						
名称	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途																																																																																																																					
可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース	可搬型建屋内ホース																																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
		<p style="text-align: center;"><b>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">代替安全圧縮空気系</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">安全可換用20m建屋外ホース</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0.07*1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">50*1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">呼称15*4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-#3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">SBR合成ゴム</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">48*4 (予備として故障時のバックアップを2本)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内) I.M.S.L. (5本) I.M.S.L. (47本) (第1保管用コンテナエリア) I.M.S.L. 55.22m (24本)</p> <p style="text-align: right;">取付箇所： 精製建屋近傍(東側) I.M.S.L. 約55.00m I.M.S.L. 可搬型安全圧縮機~建屋内空気中継配管接続口(東側ルート) (15本*) I.M.S.L. I.M.S.L. 建屋内空気中継配管接続口(東側ルート) (8本*)</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>*4: 可搬型建屋内ホースとして必要本数8本をセットに故障時のバックアップ11本の数量, 可搬型建屋外ホースとして必要本数15本をセットに故障時のバックアップ17本の数量を示す。 *5: 最もルートである可搬型安全圧縮機~建屋内空気中継配管接続口(東側ルート)に設置した場合の本数を示す。 *6: 最もルートである建屋内空気中継配管接続口~計配管接続口(東側ルート)に設置した場合の本数を示す。</p> <p style="text-align: center;"><b>高レベル廃液ガラス固化建屋</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">保安室</th> <th colspan="4">保安室</th> <th colspan="2">保安室</th> <th colspan="2">保安室</th> <th colspan="2">保安室</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>高さ</th> <th>面積</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>高さ</th> <th>面積</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>高さ</th> <th>面積</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>高さ</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	代替安全圧縮空気系	安全可換用20m建屋外ホース	0.07*1	50*1	呼称15*4	-#3	SBR合成ゴム	48*4 (予備として故障時のバックアップを2本)	保安室				保安室				保安室		保安室		保安室		名称	構造	高さ	面積	名称	構造	高さ	面積	名称	構造	高さ	面積	名称	構造	高さ	面積																		
(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	代替安全圧縮空気系	安全可換用20m建屋外ホース	0.07*1	50*1	呼称15*4	-#3	SBR合成ゴム	48*4 (予備として故障時のバックアップを2本)																																																			
保安室				保安室				保安室		保安室		保安室																																															
名称	構造	高さ	面積	名称	構造	高さ	面積	名称	構造	高さ	面積	名称	構造	高さ	面積																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-110</p> <p>ii) 水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備                      [常設重大事故等対処設備]                      機器圧縮空気供給配管・弁（設計基準対象の施設と一部兼用（第4表(2)）） 98 系列</p>	<p>(2) 水素爆発の再発を防止するための空気の供給に使用する設備                      [常設重大事故等対処設備]                      a. 機器圧縮空気供給配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第9.3-8図~12図））                      数量 98 系列                      接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-110</p> <p>前処理建屋 20 系列</p>  <p>(中略)</p> <p>分離建屋 24 系列 第1 接続口</p>  <p>第2 接続口</p>  <p>(中略)</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-110は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-110を具体的に記載しており整合している。</p>	



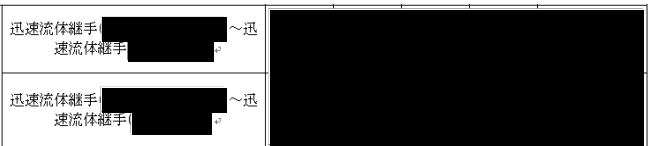
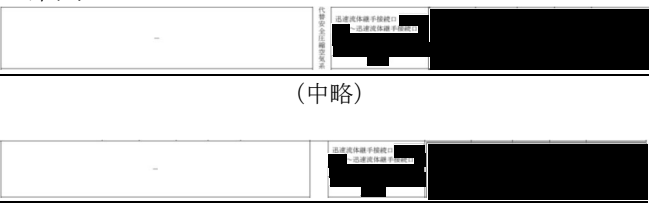
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>精製建屋</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p>		
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <p>迅速流体継手 ～圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点</p> <p>迅速流体継手 入口配管合流点～弁</p> <p>迅速流体継手 ～迅速流体継手 入口配管合流点</p> <p>迅速流体継手 ～圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点</p> <p>4 系列分</p> <p>（中略）</p> <p>迅速流体継手 ～硝酸プルトニウム貯槽</p> <p>迅速流体継手 ～混合槽</p> <p>迅速流体継手 ～混合槽</p> <p>迅速流体継手 ～混合槽</p> <p>迅速流体継手 ～混合槽</p> <p>4 系列分</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <p>22 系列</p> <p>（中略）</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																				
		<p>(中略)</p> <table border="1"><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr></table> <p>(中略)</p> <table border="1"><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr></table> <p>10 系列</p> <p>(中略)</p> <table border="1"><tr><td>-</td><td>高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種</td><td>[Redacted]</td></tr></table> <p>2 系列</p>	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]	-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]		
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						
-	高1-14-1 建設業 特許種 高1-14-1 建設業 特許種	[Redacted]																																						



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																											
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-111                      圧縮空気手動供給ユニット 1 式                      容量 約 10 m<sup>3</sup> [normal]（分離建屋）                      約 62 m<sup>3</sup> [normal]（精製建屋）                      約 31 m<sup>3</sup> [normal]（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</p>	<p>b. 圧縮空気手動供給ユニット                      数量 1 式                      容量 約 10m<sup>3</sup> [normal]（分離建屋）                      約 62m<sup>3</sup> [normal]（精製建屋）                      約 31m<sup>3</sup> [normal]（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-111                      分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1534 348 2145 982"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>圧縮空気手動供給ユニット 圧縮空気ポンペ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td></td> <td>一般継目なし鋼製容器</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td></td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td></td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>*2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>*3</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *4: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1534 1157 2131 1507"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>圧縮空気手動供給ユニットポンペ</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td></td> <td>[redacted] *3</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*4</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*4</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>胴外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>	名称		変更前	変更後	種類	-		圧縮空気手動供給ユニット 圧縮空気ポンペ	容量	L/個		一般継目なし鋼製容器	最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			主要寸法	外径	mm		高さ	mm		胴部厚さ	mm		底部厚さ	mm		主要材料	-			個数	-		2	系統名(ライン名)	-		代替安全圧縮空気系	設置床	-		T.M.S.L. [redacted]	取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	*2	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	*2	-	化学薬品防護上の区画番号	-	*3	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	*3	-	名称		変更前	変更後	種類	-		圧縮空気手動供給ユニットポンペ	容量	L/個		[redacted] *3	最高使用圧力*4	MPa		たて置円筒形	最高使用温度*4	℃			主要寸法	胴外径	mm		胴板厚さ	mm		底部厚さ	mm		高さ	mm		主要材料	-			個数	-		14	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-111 は、事業変更許可申請書（本文）の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-111 を具体的に記載しており整合している。</p> <p>46. 7L のポンペ 2 個の容量を標準体積に換算すると容量 10m<sup>3</sup> [normal] 以上となり整合している。</p> <p>46. 7L のポンペ 14 個の容量を標準体積に換算すると容量 62m<sup>3</sup> [normal] 以上となり整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																																																																												
種類	-		圧縮空気手動供給ユニット 圧縮空気ポンペ																																																																																																												
容量	L/個		一般継目なし鋼製容器																																																																																																												
最高使用圧力	MPa																																																																																																														
最高使用温度	℃																																																																																																														
主要寸法	外径	mm																																																																																																													
	高さ	mm																																																																																																													
	胴部厚さ	mm																																																																																																													
	底部厚さ	mm																																																																																																													
主要材料	-																																																																																																														
個数	-		2																																																																																																												
系統名(ライン名)	-		代替安全圧縮空気系																																																																																																												
設置床	-		T.M.S.L. [redacted]																																																																																																												
取付箇所	溢水防護上の区画番号	-	*2	-																																																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	*2	-																																																																																																											
	化学薬品防護上の区画番号	-	*3	-																																																																																																											
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	*3	-																																																																																																											
名称		変更前	変更後																																																																																																												
種類	-		圧縮空気手動供給ユニットポンペ																																																																																																												
容量	L/個		[redacted] *3																																																																																																												
最高使用圧力*4	MPa		たて置円筒形																																																																																																												
最高使用温度*4	℃																																																																																																														
主要寸法	胴外径	mm																																																																																																													
	胴板厚さ	mm																																																																																																													
	底部厚さ	mm																																																																																																													
	高さ	mm																																																																																																													
主要材料	-																																																																																																														
個数	-		14																																																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 325 2131 877"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>圧縮空気手動供給ユニットポンペ<sup>*3</sup></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>一般雑目なし鋼製容器</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>1/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>胴外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>代替安全圧縮空気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配管が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>[redacted]</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配管が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [redacted]</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。            *2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。            *3: 圧縮空気手動供給ユニットの構成品の一部である。            *4: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			圧縮空気手動供給ユニットポンペ <sup>*3</sup>	種類	-		一般雑目なし鋼製容器	容量	1/個			最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			主要寸法	胴外径	mm		胴部厚さ	mm		底部厚さ	mm		高さ	mm		主要材料	-			個数	-		7	取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系	設置床	-	T.M.S.L. [redacted]	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>	溢水防護上の配管が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	[redacted]	化学薬品防護上の配管が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted]	<p>46.7Lのポンベ7個の容量を標準体積に換算すると容量31m<sup>3</sup>[normal]以上となり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																	
名称			圧縮空気手動供給ユニットポンペ <sup>*3</sup>																																																																	
種類	-		一般雑目なし鋼製容器																																																																	
容量	1/個																																																																			
最高使用圧力	MPa																																																																			
最高使用温度	℃																																																																			
主要寸法	胴外径	mm																																																																		
	胴部厚さ	mm																																																																		
	底部厚さ	mm																																																																		
	高さ	mm																																																																		
主要材料	-																																																																			
個数	-		7																																																																	
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系																																																																	
	設置床	-	T.M.S.L. [redacted]																																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*2</sup>																																																																	
	溢水防護上の配管が必要な高さ	-	-																																																																	
	化学薬品防護上の区画番号	-	[redacted]																																																																	
	化学薬品防護上の配管が必要な高さ	-	T.M.S.L. [redacted]																																																																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-112 建屋内空気中継配管 8 系列</p>	<p>c. 建屋内空気中継配管 数量 8 系列 接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-112 分離建屋 2 系列</p>  <p>精製建屋 2 系列</p>  <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>  <p>2 系列分</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 2 系列</p>  <p style="text-align: center;">(中略)</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)- 112 は、事業変更許可 申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)- 112 を具体的に記載し ており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-113 放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器 (設計基準対象の施設と兼用 (第4表 (1))) 49 基</p>	<p>d. 水素爆発の発生を仮定する機器 (設計基準対象の施設と兼用) (第9.3-2表)</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106と同じ。</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-113を具体的に記載しており整合している。</p>	

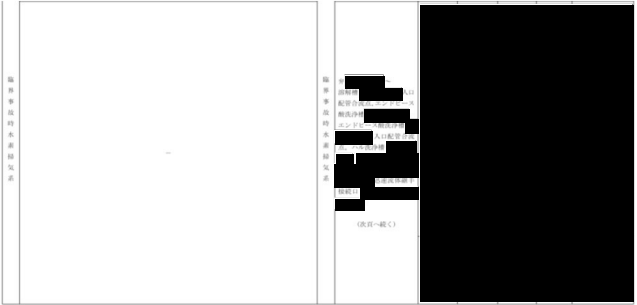
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-114</p> <p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>可搬型空気圧縮機 9 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 6 台，水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を兼用）</p> <p>容量 約 7.5 m<sup>3</sup>/min [normal] /台（前処理建屋，分離建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋で使用）</p> <p>約 3.9 m<sup>3</sup>/min [normal] /台（精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋で使用）</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>a. 可搬型空気圧縮機</p> <p>台数 9 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 6 台，水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を兼用）</p> <p>容量 約 7.5m<sup>3</sup>/min [normal] /台（前処理建屋，分離建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋で使用）</p> <p>約 3.9m<sup>3</sup>/min [normal] /台（精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋で使用）</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-107 と同じ。</p>	<p>設工認の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-106 は，事業変更許可申請書（本文）の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-114 を具体的に記載しており整合している。</p>	


事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-115</p> <p>可搬型建屋外ホース（水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を一部兼用） 1 式</p>	<p>b. 可搬型建屋外ホース</p> <p>数量 1 式（水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を一部兼用）</p> <p>接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-115</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 346 2148 499"> <tr> <td>設備名</td> <td>数量</td> <td>仕様</td> <td>設置場所</td> </tr> <tr> <td>可搬型建屋外ホース</td> <td>1</td> <td>0.97*1</td> <td>50*1</td> </tr> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 556 2148 745"> <tr> <td>設備名</td> <td>数量</td> <td>仕様</td> <td>設置場所</td> </tr> <tr> <td>可搬型建屋外ホース</td> <td>1</td> <td>0.97*1</td> <td>50*1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 871 2148 1270"> <tr> <td>設備名</td> <td>数量</td> <td>仕様</td> <td>設置場所</td> </tr> <tr> <td>可搬型建屋外ホース</td> <td>1</td> <td>0.97*1</td> <td>50*1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1459 2148 1690"> <tr> <td>設備名</td> <td>数量</td> <td>仕様</td> <td>設置場所</td> </tr> <tr> <td>可搬型建屋外ホース</td> <td>1</td> <td>0.97*1</td> <td>50*1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p>	設備名	数量	仕様	設置場所	可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1	設備名	数量	仕様	設置場所	可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1	設備名	数量	仕様	設置場所	可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1	設備名	数量	仕様	設置場所	可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1	<p>設工認の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-115 は、事業変更許可申請書（本文）の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-115 を具体的に記載しており整合している。</p>	
設備名	数量	仕様	設置場所																																	
可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1																																	
設備名	数量	仕様	設置場所																																	
可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1																																	
設備名	数量	仕様	設置場所																																	
可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1																																	
設備名	数量	仕様	設置場所																																	
可搬型建屋外ホース	1	0.97*1	50*1																																	


事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																										
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-116                      可搬型建屋内ホース (水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を一部兼用) 1 式</p>	<p>c. 可搬型建屋内ホース                      数量 1 式 (水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備を一部兼用)                      接続方式 コネクタ方式</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-116                      分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 346 2145 535"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>0.97<sup>※4</sup></td> <td>50<sup>※4</sup></td> <td>呼び径 19<sup>※4</sup></td> <td>—<sup>※4</sup></td> <td>合成ゴム</td> <td>33<sup>※4</sup> (予備 8本)</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 598 2145 1123"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型建屋内ホース</td> <td>0.97<sup>※4</sup></td> <td>50<sup>※4</sup></td> <td>呼び径 19<sup>※4</sup></td> <td>—<sup>※4</sup></td> <td>合成ゴム</td> <td>33<sup>※4</sup> (予備 8本)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1228 2145 1627"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>0.07<sup>※1</sup></td> <td>50<sup>※1</sup></td> <td>呼び径 15<sup>※1</sup></td> <td>—<sup>※3</sup></td> <td>SBR 合成ゴム</td> <td>43<sup>※4</sup> (予備としてのバックアップを2本)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>*4: 可搬型建屋内ホースとして必要本数を2セットに故障時のバックアップ11本の数量, 可搬型建屋外ホースとして必要本数を2セットに故障時のバックアップ17本の数量を示す。                      *5: 最上ルートである可搬型建屋脱硝建屋~建屋内空気中継配管接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。                      *6: 最上ルートである建屋内空気中継配管接続口~計装配管接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。</p>	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	質量 (kg)	取付箇所	可搬型建屋内ホース	0.97 <sup>※4</sup>	50 <sup>※4</sup>	呼び径 19 <sup>※4</sup>	— <sup>※4</sup>	合成ゴム	33 <sup>※4</sup> (予備 8本)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	質量 (kg)	取付箇所	可搬型建屋内ホース	0.97 <sup>※4</sup>	50 <sup>※4</sup>	呼び径 19 <sup>※4</sup>	— <sup>※4</sup>	合成ゴム	33 <sup>※4</sup> (予備 8本)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	質量 (kg)	取付箇所	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	0.07 <sup>※1</sup>	50 <sup>※1</sup>	呼び径 15 <sup>※1</sup>	— <sup>※3</sup>	SBR 合成ゴム	43 <sup>※4</sup> (予備としてのバックアップを2本)	<p>設工認の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-116 は、事業変更許可申請書 (本文) の                      リ. (1) (ii) (a) (v) 1)-116 を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	質量 (kg)	取付箇所																																								
可搬型建屋内ホース	0.97 <sup>※4</sup>	50 <sup>※4</sup>	呼び径 19 <sup>※4</sup>	— <sup>※4</sup>	合成ゴム	33 <sup>※4</sup> (予備 8本)																																								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	質量 (kg)	取付箇所																																								
可搬型建屋内ホース	0.97 <sup>※4</sup>	50 <sup>※4</sup>	呼び径 19 <sup>※4</sup>	— <sup>※4</sup>	合成ゴム	33 <sup>※4</sup> (予備 8本)																																								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	質量 (kg)	取付箇所																																								
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	0.07 <sup>※1</sup>	50 <sup>※1</sup>	呼び径 15 <sup>※1</sup>	— <sup>※3</sup>	SBR 合成ゴム	43 <sup>※4</sup> (予備としてのバックアップを2本)																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																								
		<p style="text-align: center;">高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">実測値</th> <th colspan="4">算定値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高 温度 (°C)</th> <th>内径 (mm)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>名称</th> <th>最高 温度 (°C)</th> <th>内径 (mm)</th> <th>外径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（表）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>（表）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（中略）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>（中略）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（裏）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>（裏）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（中略）</p>	実測値				算定値				名称	最高 温度 (°C)	内径 (mm)	外径 (mm)	名称	最高 温度 (°C)	内径 (mm)	外径 (mm)	（表）				（表）				（中略）				（中略）				（裏）				（裏）					
実測値				算定値																																								
名称	最高 温度 (°C)	内径 (mm)	外径 (mm)	名称	最高 温度 (°C)	内径 (mm)	外径 (mm)																																					
（表）				（表）																																								
（中略）				（中略）																																								
（裏）				（裏）																																								



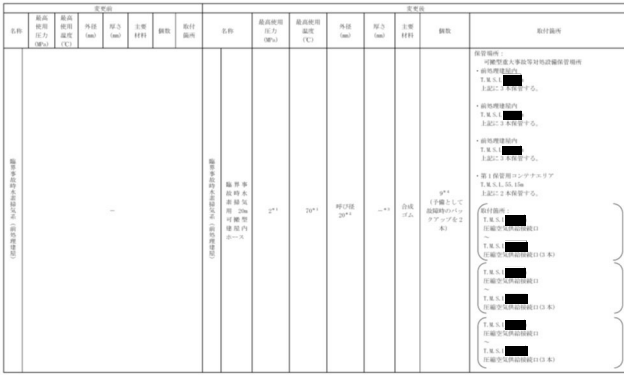
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考														
<p>2) 臨界事故時水素掃気系 [常設重大事故等対処設備]</p> <p>i) 臨界事故時水素掃気系 リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-100 一般圧縮空気系（「リ. (1) (ii) 圧縮空気設備」と兼用）</p>	<p>第9.3-5表(4) 臨界事故時水素掃気系に関連する圧縮空気設備の概略仕様</p> <p>(1) 臨界事故時水素掃気系に関連する圧縮空気設備詳細は「第9.3-1表 圧縮空気設備の主要設備の仕様」に記載する。 [常設重大事故等対処設備] リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-100 a. 一般圧縮空気系（「9.3 圧縮空気設備」と兼用）</p> <table border="1" data-bbox="926 630 1481 810"> <thead> <tr> <th colspan="2">空気圧縮機</th> <th colspan="2">空気貯槽</th> </tr> <tr> <th>容量 m<sup>3</sup>/min[normal] (1台当たり)</th> <th>台数</th> <th>容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約 100</td> <td>1</td> <td rowspan="2">約 100</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>約 130</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	空気圧縮機		空気貯槽		容量 m <sup>3</sup> /min[normal] (1台当たり)	台数	容量 (m <sup>3</sup> )	基数	約 100	1	約 100	1	約 130	3	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-100 前処理建屋</p>  <p>(中略)</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-100 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-100 を具体的に記載しており整合している。</p>	
空気圧縮機		空気貯槽																
容量 m <sup>3</sup> /min[normal] (1台当たり)	台数	容量 (m <sup>3</sup> )	基数															
約 100	1	約 100	1															
約 130	3																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																		
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-101 安全圧縮空気系（「リ. (1) (ii) 圧縮空気設備」と兼用）</p>	<p>b. 安全圧縮空気系（「9.3 圧縮空気設備」と兼用）</p> <table border="1" data-bbox="905 399 1498 598"> <thead> <tr> <th colspan="2">空気圧縮機</th> <th colspan="3">空気貯槽</th> </tr> <tr> <th>容量 m<sup>3</sup>/min[normal] (1台当たり)</th> <th>台数</th> <th>容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>基数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">約 24</td> <td rowspan="2">3 (うち1台は予備)</td> <td>約 35</td> <td>1</td> <td>水素掃気用</td> </tr> <tr> <td>約 50</td> <td>1</td> <td>計測制御用</td> </tr> </tbody> </table>	空気圧縮機		空気貯槽			容量 m <sup>3</sup> /min[normal] (1台当たり)	台数	容量 (m <sup>3</sup> )	基数	備考	約 24	3 (うち1台は予備)	約 35	1	水素掃気用	約 50	1	計測制御用	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-101 前処理建屋</p>  <p>(中略)</p>	<p>設工認の リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-101 は、事業変更許可申請書（本文）の リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-101 を具体的に記載しており整合している。</p>	
空気圧縮機		空気貯槽																				
容量 m <sup>3</sup> /min[normal] (1台当たり)	台数	容量 (m <sup>3</sup> )	基数	備考																		
約 24	3 (うち1台は予備)	約 35	1	水素掃気用																		
		約 50	1	計測制御用																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p style="text-align: center;">①. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-102</p> <p>機器圧縮空気供給配管・弁（「二.                      (2) (ii) (a) (イ) 溶解設備, 二.                      (4) (ii) (a) (ハ) 精製建屋一時貯留処理設備, へ. (3) (i) 設計基準対象の施設」と兼用) 16系列</p>	<p>第9.3-5表(1) 臨界事故時水素掃気系の主要設備の仕様</p> <p>(1) 臨界事故時水素掃気系                      [常設重大事故等対処設備]</p> <p>a. 圧縮空気設備                      (a) 機器圧縮空気供給配管・弁（「4.3.1.4.1 溶解設備, 4.5.1.4 精製建屋一時貯留処理設備及び6.1.2 計測制御設備」と兼用)                      数 量 16系列                      主要材料 ステンレス鋼</p>	<p>①. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-102                      12系列</p>  <p>精製建屋</p> 	<p>設工認の                      ①. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-102                      は、事業変更許可申請書（本文）の                      ①. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-102                      を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考									
<p>ii) 臨界事故の発生を仮定する機器                      ㊦. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-103                      溶解槽（「ニ. (2) (ii) (a) (イ) 溶解設備」と兼用）                      エンドピース酸洗浄槽（「ニ. (2) (ii) (a) (イ) 溶解設備」と兼用）                      ハル洗浄槽（ニ. (2) (ii) (a) (イ) 溶解設備」と兼用）</p>	<p>b. 臨界事故の発生を仮定する機器                      (a) 溶解槽（「4.3.1.4.1 溶解設備」と兼用）                      「第4.3-1表 溶解設備の主要設備の仕様」に記載する。                      (b) エンドピース酸洗浄槽（「4.3.1.4.1 溶解設備」と兼用）                      「第4.3-1表 溶解設備の主要設備の仕様」に記載する。                      (c) ハル洗浄槽（「4.3.1.4.1 溶解設備」と兼用）                      「第4.3-1表 溶解設備の主要設備の仕様」に記載する。</p>	<p>㊦. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-103                      前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1546 359 2125 449"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 溶解槽 #3</td> <td>変更後 溶解槽 #1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 491 2125 581"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 エンドピース酸洗浄槽 #3</td> <td>変更後 エンドピース酸洗浄槽 #1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1" data-bbox="1546 623 2125 714"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 ハル洗浄槽 #3</td> <td>変更後 ハル洗浄槽 #1</td> </tr> </table> <p>(中略)</p>	名称	変更前 溶解槽 #3	変更後 溶解槽 #1	名称	変更前 エンドピース酸洗浄槽 #3	変更後 エンドピース酸洗浄槽 #1	名称	変更前 ハル洗浄槽 #3	変更後 ハル洗浄槽 #1	<p>設工認の                      ㊦. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-103                      は、事業変更許可申請書（本文）の                      ㊦. (1) (ii) (a) (㊦) 2)-103                      を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	変更前 溶解槽 #3	変更後 溶解槽 #1											
名称	変更前 エンドピース酸洗浄槽 #3	変更後 エンドピース酸洗浄槽 #1											
名称	変更前 ハル洗浄槽 #3	変更後 ハル洗浄槽 #1											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考												
<p>①. (1) (ii) (a) (v) 2)-104</p> <p>第5一時貯留処理槽（「二. (4) (ii) (a) (ハ) 精製建屋一時貯留処理設備」と兼用）</p> <p>第7一時貯留処理槽（「二. (4) (ii) (a) (ハ) 精製建屋一時貯留処理設備」と兼用）</p>	<p>(d) 第5一時貯留処理槽（「4.5.1.4 精製建屋一時貯留処理設備」と兼用）</p> <p>「第4.5-3表 精製建屋一時貯留処理設備の主要設備の仕様」に記載する。</p> <p>(e) 第7一時貯留処理槽（「4.5.1.4 精製建屋一時貯留処理設備」と兼用）</p> <p>「第4.5-3表 精製建屋一時貯留処理設備の主要設備の仕様」に記載する。</p>	<p>①. (1) (ii) (a) (v) 2)-104</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1576 352 2148 474"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第5一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第5一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■</td> <td>■*</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1576 506 2148 627"> <tr> <td>名称</td> <td>変更前 第7一時貯留処理槽</td> <td>変更後 第7一時貯留処理槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■</td> <td>■*</td> </tr> </table>	名称	変更前 第5一時貯留処理槽	変更後 第5一時貯留処理槽		■	■*	名称	変更前 第7一時貯留処理槽	変更後 第7一時貯留処理槽		■	■*	<p>設工認の</p> <p>①. (1) (ii) (a) (v) 2)-104</p> <p>は、事業変更許可申請書（本文）の</p> <p>①. (1) (ii) (a) (v) 2)-104</p> <p>を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称	変更前 第5一時貯留処理槽	変更後 第5一時貯留処理槽														
	■	■*														
名称	変更前 第7一時貯留処理槽	変更後 第7一時貯留処理槽														
	■	■*														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>i) 臨界事故時水素掃気系</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 2)-105</p> <p>可搬型建屋内ホース（溶解槽，エンドピース酸洗浄槽，ハル洗浄槽用） 1式</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>a. 可搬型建屋内ホース（溶解槽，エンドピース酸洗浄槽，ハル洗浄槽用）</p> <p>数量 1式</p> <p>接続方式 コネクタ接続</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 2)-105</p> <p>前処理建屋</p>  <p>(中略)</p>	<p>設工認の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 2)-105</p> <p>は，事業変更許可申請書（本文）の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (ロ) 2)-105</p> <p>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-106</p> <p>可搬型建屋内ホース（第5一時貯留処理槽，第7一時貯留処理槽用） 1式</p>	<p>b. 可搬型建屋内ホース（第5一時貯留処理槽，第7一時貯留処理槽用）</p> <p>数量 1式</p> <p>接続方式 コネクタ接続</p>	<p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-106</p> <table border="1" data-bbox="1576 317 2139 638"> <thead> <tr> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> <th>品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 基本仕様書に記述する仕様を示す。</p> <p>※2 同一品にて指定する仕様を示す。</p> <p>※3 同一品に属するものとし、従属品として設置品に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、基本仕様書に記述する使用方法及び使用環境が適用された状態での設置品に適合するものとする。</p> <p>※4 可搬型建屋内ホースとして必要数量4本（第5一時貯留処理槽：2本、第7一時貯留処理槽：2本）に設置品バックアップは本表の数量を示す。</p>	型式		型式		型式		型式		型式		型式		型式		型式		型式		品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名																			<p>設工認の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-106</p> <p>は、事業変更許可申請書（本文）の</p> <p>リ. (1) (ii) (a) (v) 2)-106</p> <p>を具体的に記載しており整合している。</p>	
型式		型式		型式		型式		型式		型式		型式		型式		型式																																										
品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(2) 給水施設及び蒸気供給施設の構造及び設備 (i) 給水施設 (a) 構造 (イ) 設計基準対象の施設</p> <p>給水施設は、再処理施設の運転に必要なろ過水、純水等を確保、供給する給水処理設備及びリ(2)(i)(a)-①</p> <p>再処理施設内の各施設で発生する熱を除去し、冷却塔から大気に放熱するリ(2)(i)(a)-②冷却水設備で構成する。 冷却水設備は、一般冷却水系及び安全冷却水系で構成リ(2)(i)(a)-③する。</p> <p>給水処理設備のうち、ろ過水を供給する設備は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設へろ過水を供給するため、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用リ(2)(i)(a)-④し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>9.4 給水処理設備 9.4.1 設計基準対象の施設 9.4.1.1 概要</p> <p>給水処理設備は、再処理施設の運転に必要なろ過水及び純水を確保及び供給する設備である。</p> <p>9.5 冷却水設備 冷却水設備は、一般冷却水系及び安全冷却水系で構成し、再処理施設内の各施設で発生する熱を除去する設備である。</p> <p>9.4 給水処理設備 給水処理設備の一部は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する。 9.4.1.2 設計方針 (3) 給水処理設備は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設にろ過水を供給できる系統構成とし、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設における使用を想定しても、再処理施設に十分なる過水を供給できる容量を確保し、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を防止する設計とすること、共用によって再処理施設の安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>(基本設計方針) 7.2 給水施設及び蒸気供給施設 7.2.1 給水処理設備</p> <p>給水処理設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。 給水処理設備は、ろ過水貯槽、純水装置、純水貯槽等で構成し、再処理施設の運転に必要なろ過水及び純水を確保及び供給する設計とする。</p> <p>7.2.2 冷却水設備 冷却水設備は、一般冷却水系及び安全冷却水系で構成リ(2)(i)(a)-③し、再処理施設内の各施設で発生する熱を除去し、冷却塔から大気に放熱リ(2)(i)(a)-②する設計とする。</p> <p>7.2.1 給水処理設備 給水処理設備のうち、ろ過水を供給する設備は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する。 リ(2)(i)(a)-④ろ過水を供給する設備は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設における使用を想定しても、再処理施設に十分なる過水を供給できる容量を確保できる設計とする。また、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を及ぼさない設計とすること、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認のリ (2)(i)(a)-①は、事業変更許可申請書（本文）リ(2)(i)(a)-①具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ (2)(i)(a)-②は、事業変更許可申請書（本文）リ(2)(i)(a)-②と同義であり整合している。 設工認のリ (2)(i)(a)-③は、事業変更許可申請書（本文）リ(2)(i)(a)-③と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ (2)(i)(a)-④は、事業変更許可申請書（本文）リ(2)(i)(a)-④を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																					
<p>また、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用の安全冷却水系は、MOX燃料加工施設と共用するモニタリングポストの非常用電源設備である第1非常用ディーゼル発電機の熱を除去するため、MOX燃料加工施設と共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用安全冷却水系冷却塔A、Bは、高さ約10m、面積約1,100m<sup>2</sup>リ(2)(i)(a)-⑤の構築物である。</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用安全冷却水系冷却塔B基礎 機器配置概要図を第46図に示す。</p>	<p>9.5 冷却水設備 (2) 安全冷却水系</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用の安全冷却水系は、MOX燃料加工施設と共用するモニタリングポストの非常用電源設備である第1非常用ディーゼル発電機の熱を除去するため、MOX燃料加工施設と共用する。</p>	<p>7.2.2.2 安全冷却水系</p> <p>使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用の安全冷却水系は、MOX燃料加工施設と共用するモニタリングポストの非常用電源設備である第1非常用ディーゼル発電機の熱を除去するため、MOX燃料加工施設と共用し、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1576 661 2110 1388"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">安全冷却水用冷却塔</th> <th colspan="2">安全冷却水用冷却塔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">冷却器</td> <td>種類</td> <td colspan="2">空冷式熱交換器</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">仕様</td> <td>設計熱交換量</td> <td colspan="2">kW/個</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>設計冷却空気流量</td> <td colspan="2">kg/s</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td colspan="2">MPa</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td colspan="2">℃</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>伝熱面積（伝熱管及びフィン外表面）*</td> <td colspan="2">㎡/個</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>全長</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">リ(2)(i)(a)-⑤</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>伝熱管（内管）</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>フィン</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>耐火材料</td> <td>種類</td> <td>mm</td> <td>耐火塗装***</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">送熱板</td> <td>種類</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">3以上**</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機</td> <td>種類</td> <td colspan="2">誘導電動機</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td colspan="2">kW/個</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎</td> <td>ファン台数</td> <td colspan="2">台</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td colspan="2">2</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">底面の標高</td> <td>基準</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前		変更後		安全冷却水用冷却塔		安全冷却水用冷却塔		冷却器	種類	空冷式熱交換器				仕様	設計熱交換量	kW/個				設計冷却空気流量	kg/s				最高使用圧力	MPa				最高使用温度	℃				伝熱面積（伝熱管及びフィン外表面）*	㎡/個				主要寸法	全長	mm		リ(2)(i)(a)-⑤		全幅	mm				全高	mm				伝熱管（内管）	mm				主要材料	フィン	mm				ヘッダー	mm				耐火材料	種類	mm	耐火塗装***		送熱板	種類	mm		3以上**		高さ	mm				厚さ	mm				原動機	種類	誘導電動機				出力	kW/個				基礎	ファン台数	台				個数	2				種類	mm		変更なし		主要寸法	たて×横	mm				高さ	mm				主要材料	鉄筋コンクリート				底面の標高	基準	mm				底面の標高	mm				<p>設工認のリ (2)(i)(a)-⑤は、事業変更許可申請書（本文）リ(2)(i)(a)-⑤と同義であり整合している。</p>	
名称		変更前			変更後																																																																																																																																																				
		安全冷却水用冷却塔		安全冷却水用冷却塔																																																																																																																																																					
冷却器	種類	空冷式熱交換器																																																																																																																																																							
	仕様	設計熱交換量	kW/個																																																																																																																																																						
		設計冷却空気流量	kg/s																																																																																																																																																						
		最高使用圧力	MPa																																																																																																																																																						
		最高使用温度	℃																																																																																																																																																						
		伝熱面積（伝熱管及びフィン外表面）*	㎡/個																																																																																																																																																						
	主要寸法	全長	mm		リ(2)(i)(a)-⑤																																																																																																																																																				
		全幅	mm																																																																																																																																																						
		全高	mm																																																																																																																																																						
		伝熱管（内管）	mm																																																																																																																																																						
	主要材料	フィン	mm																																																																																																																																																						
		ヘッダー	mm																																																																																																																																																						
		耐火材料	種類	mm	耐火塗装***																																																																																																																																																				
	送熱板	種類	mm		3以上**																																																																																																																																																				
		高さ	mm																																																																																																																																																						
厚さ		mm																																																																																																																																																							
原動機	種類	誘導電動機																																																																																																																																																							
	出力	kW/個																																																																																																																																																							
基礎	ファン台数	台																																																																																																																																																							
	個数	2																																																																																																																																																							
	種類	mm		変更なし																																																																																																																																																					
主要寸法	たて×横	mm																																																																																																																																																							
	高さ	mm																																																																																																																																																							
	主要材料	鉄筋コンクリート																																																																																																																																																							
底面の標高	基準	mm																																																																																																																																																							
	底面の標高	mm																																																																																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																					
<p>再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔 A は、前処理建屋北側の地上に設置する高さ約 11m、面積約830m<sup>2</sup>リ(2)(i)(a)-⑥の構築物である。</p> <p>再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔 B は、高さ約11m、面積約830m<sup>2</sup>リ(2)(i)(a)-⑥の構築物である。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>安全冷却水冷却塔 [REDACTED]</td> <td>左記に同じ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>空冷式熱交換器</td> <td>基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>MW/個</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>設計冷却空気流量</td> <td>kg/s/個</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> <td>リ(2)(i)(a)-⑥</td> </tr> <tr> <td>伝熱管 (内管) 外径 厚さ</td> <td>mm</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>伝熱管(内管)</td> <td>-</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>フィン</td> <td>-</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>-</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗料***</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>3以上*7</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>安全冷却水冷却塔 [REDACTED]</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>空冷式熱交換器</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>MW/個</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>設計冷却空気流量</td> <td>kg/s</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td>[REDACTED]</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> <td>リ(2)(i)(a)-⑥</td> </tr> <tr> <td>伝熱管 (内管) 外径 厚さ</td> <td>mm</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>伝熱管(内管)</td> <td>-</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>フィン</td> <td>-</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>-</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗料***</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>3以上*7</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		安全冷却水冷却塔 [REDACTED]	左記に同じ	種類		空冷式熱交換器	基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器	容量	設計熱交換量	MW/個	[REDACTED]	設計冷却空気流量	kg/s/個	[REDACTED]	最高使用圧力	MPa	[REDACTED]	最高使用温度	℃	[REDACTED]	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2	m <sup>2</sup> /個	[REDACTED]	主要寸法	全長	mm	[REDACTED]	全幅	mm	[REDACTED]	全高	mm	リ(2)(i)(a)-⑥	伝熱管 (内管) 外径 厚さ	mm	[REDACTED]	主要材料	伝熱管(内管)	-	[REDACTED]	フィン	-	[REDACTED]	ヘッダー	-	[REDACTED]	耐火被覆	種類	-	耐火塗料***	厚さ	mm	3以上*7			変更前	変更後	名称		安全冷却水冷却塔 [REDACTED]		種類		-	空冷式熱交換器	容量	設計熱交換量	MW/個	[REDACTED]	設計冷却空気流量	kg/s	[REDACTED]	最高使用圧力	MPa	[REDACTED]	最高使用温度	℃	[REDACTED]	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2	m <sup>2</sup> /個	[REDACTED]	変更なし	主要寸法	全長	mm	[REDACTED]	全幅	mm	[REDACTED]	全高	mm	リ(2)(i)(a)-⑥	伝熱管 (内管) 外径 厚さ	mm	[REDACTED]	主要材料	伝熱管(内管)	-	[REDACTED]	フィン	-	[REDACTED]	ヘッダー	-	[REDACTED]	耐火被覆	種類	-	耐火塗料***	厚さ	mm	3以上*7	<p>設工認の[REDACTED] (2)(i)(a)-⑥は、事業変更許可申請書（本文）[REDACTED] (2)(i)(a)-⑥と同義であり整合している。 [REDACTED]</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																						
名称		安全冷却水冷却塔 [REDACTED]	左記に同じ																																																																																																																						
種類		空冷式熱交換器	基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器																																																																																																																						
容量	設計熱交換量	MW/個	[REDACTED]																																																																																																																						
	設計冷却空気流量	kg/s/個	[REDACTED]																																																																																																																						
	最高使用圧力	MPa	[REDACTED]																																																																																																																						
	最高使用温度	℃	[REDACTED]																																																																																																																						
	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2	m <sup>2</sup> /個	[REDACTED]																																																																																																																						
主要寸法	全長	mm	[REDACTED]																																																																																																																						
	全幅	mm	[REDACTED]																																																																																																																						
	全高	mm	リ(2)(i)(a)-⑥																																																																																																																						
	伝熱管 (内管) 外径 厚さ	mm	[REDACTED]																																																																																																																						
主要材料	伝熱管(内管)	-	[REDACTED]																																																																																																																						
	フィン	-	[REDACTED]																																																																																																																						
	ヘッダー	-	[REDACTED]																																																																																																																						
耐火被覆	種類	-	耐火塗料***																																																																																																																						
	厚さ	mm	3以上*7																																																																																																																						
		変更前	変更後																																																																																																																						
名称		安全冷却水冷却塔 [REDACTED]																																																																																																																							
種類		-	空冷式熱交換器																																																																																																																						
容量	設計熱交換量	MW/個	[REDACTED]																																																																																																																						
	設計冷却空気流量	kg/s	[REDACTED]																																																																																																																						
	最高使用圧力	MPa	[REDACTED]																																																																																																																						
	最高使用温度	℃	[REDACTED]																																																																																																																						
	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2	m <sup>2</sup> /個	[REDACTED]	変更なし																																																																																																																					
主要寸法	全長	mm	[REDACTED]																																																																																																																						
	全幅	mm	[REDACTED]																																																																																																																						
	全高	mm	リ(2)(i)(a)-⑥																																																																																																																						
	伝熱管 (内管) 外径 厚さ	mm	[REDACTED]																																																																																																																						
主要材料	伝熱管(内管)	-	[REDACTED]																																																																																																																						
	フィン	-	[REDACTED]																																																																																																																						
	ヘッダー	-	[REDACTED]																																																																																																																						
耐火被覆	種類	-	耐火塗料***																																																																																																																						
	厚さ	mm	3以上*7																																																																																																																						

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																	
<p>第2非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系冷却塔A, Bは、高さ約8m, 面積約140m<sup>2</sup>リ(2)(i)(a)-⑦の構築物である。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>冷却塔</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>MW/個</td> <td rowspan="4">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>設計冷却空気流量</td> <td>kg/h</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)**</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td rowspan="6">リ(2)(i)(a)-⑦</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管(内管)</td> <td>外径 mm 厚さ mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>伝熱管(内管)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>フィン</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火仕様</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗装***</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>3以上**</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前	変更後	名称		冷却塔	変更なし	種類		-	基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器	容量	設計熱交換量	MW/個	[Redacted]	設計冷却空気流量	kg/h	最高使用圧力	MPa	最高使用温度	℃	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)**		m <sup>2</sup> /個	リ(2)(i)(a)-⑦	主要寸法	全長	mm	全幅	mm	全高	mm	伝熱管(内管)	外径 mm 厚さ mm	主要材料	伝熱管(内管)	-	フィン	-	ヘッダー	-	耐火仕様	種類	-	耐火塗装***	厚さ	mm	3以上**	<p>設工認の[Redacted] リ(2)(i)(a)-⑦は、事業変更許可申請書（本文）リ(2)(i)(a)-⑦と同義であり整合している。 [Redacted]</p>	
名称		変更前	変更後																																																		
名称		冷却塔	変更なし																																																		
種類		-	基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器																																																		
容量	設計熱交換量	MW/個	[Redacted]																																																		
	設計冷却空気流量	kg/h																																																			
	最高使用圧力	MPa																																																			
	最高使用温度	℃																																																			
伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)**		m <sup>2</sup> /個	リ(2)(i)(a)-⑦																																																		
主要寸法	全長	mm																																																			
	全幅	mm																																																			
	全高	mm																																																			
	伝熱管(内管)	外径 mm 厚さ mm																																																			
主要材料	伝熱管(内管)	-																																																			
	フィン	-																																																			
	ヘッダー	-																																																			
耐火仕様	種類	-	耐火塗装***																																																		
	厚さ	mm	3以上**																																																		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(ロ) 重大事故等対処設備</p> <p>1) 水供給設備</p> <p><u>重大事故等が発生し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に係る蒸発乾固への対処、燃料貯蔵プール等の冷却機能又は注水機能の喪失若しくは燃料貯蔵プール等からの小規模な水の漏えいその他の要因により燃料貯蔵プール等の水位が低下した場合の対処、燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えいその他の要因により燃料貯蔵プール等の水位が異常に低下した場合の燃料貯蔵プール等への水のスプレイ、大気中への放射性物質の放出を抑制するための対処、工場等外への放射線の放出を抑制するための対処及び再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災へ対応するための対処並びに重大事故等への対処を継続するために水を補給する対処が発生した場合において、対処に必要な水源を確保するために水供給設備を</u>リ。(2)(i)(a)(ロ)1-①使用する。</p> <p><u>水供給設備は、第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型建屋外ホース、ホース展張車及び運搬車で構成</u>リ。(2)(i)(a)(ロ)1-②する。</p> <p><u>重大事故等への対処に必要な水を供給するための対処では、水供給設備の第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型建屋外ホース、ホース展張車及び運搬車、補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリ並びに計装設備の</u>リ。(2)(i)(a)(ロ)1-③一部を使用する。</p>	<p>9.4.2.1.4 系統構成及び主要設備</p> <p>(1) 系統構成</p> <p><u>重大事故等が発生し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に係る蒸発乾固への対処、燃料貯蔵プール等の冷却機能又は注水機能の喪失若しくは燃料貯蔵プール等からの小規模な水の漏えいその他の要因により燃料貯蔵プール等の水位が低下した場合の対処、燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えいその他の要因により燃料貯蔵プール等の水位が異常に低下した場合の燃料貯蔵プール等への水のスプレイ、大気中への放射性物質の放出を抑制するための対処、工場等外への放射線の放出を抑制するための対処及び再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災へ対応するための対処並びに重大事故等への対処を継続するために水を補給する対処が発生した場合において、対処に必要な水源を確保するために水供給設備を使用す</u>る。</p> <p><u>重大事故等への対処に必要な水を供給するための対処では、水供給設備の第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型建屋外ホース、ホース展張車及び運搬車、補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリ並びに計装設備の一部である可搬型貯水槽水位計（ロープ式）、可搬型貯水槽水位計（電波式）及び可搬型第1貯水槽給水流量計を使用する。</u></p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>7.3.8 水供給設備</p> <p>＜中略＞</p> <p><u>重大事故等が発生し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に係る蒸発乾固への対処、燃料貯蔵プール等の冷却機能又は注水機能の喪失若しくは燃料貯蔵プール等からの小規模な水の漏えいその他の要因により燃料貯蔵プール等の水位が低下した場合の対処、燃料貯蔵プール等からの大量の水の漏えいその他の要因により燃料貯蔵プール等の水位が異常に低下した場合の燃料貯蔵プール等への水のスプレイ、大気中への放射性物質の放出を抑制するための対処、工場等外への放射線の放出を抑制するための対処及び再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災へ対応するための対処並びに重大事故等への対処を継続するために水を補給する対処が発生した場合において、対処に必要な水源を確保するために水供給設備を</u>リ。(2)(i)(a)(ロ)1-①設ける設計とする。</p> <p><u>水供給設備は、第1貯水槽、第2貯水槽、大型移送ポンプ車、可搬型建屋外ホース、ホース展張車及び運搬車で構成</u>リ。(2)(i)(a)(ロ)1-②し、<u>重大事故等への対処に必要な十分な量の水を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等への対処に必要な水を供給するための対処として、水供給設備の他、計測制御設備の</u>リ。(2)(i)(a)(ロ)1-③可搬型貯水槽水位計等並びに補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリを使用する設計とする。</p> <p>＜中略＞</p>	<p>設工認のリ。(2)(i)(a)(ロ)1-①は、事業変更許可申請書(本文)のリ。(2)(i)(a)(ロ)1-①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ。(2)(i)(a)(ロ)1-②は、事業変更許可申請書(本文)のリ。(2)(i)(a)(ロ)1-②を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ。(2)(i)(a)(ロ)1-③は事業変更許可申請書(本文)のリ。(2)(i)(a)(ロ)1-③を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-1]また、水源からの水の移送ルート及び移送のために用いる設備については、リ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-2]「リ. (2) (i) (b) (ロ) 2] 代替安全冷却水系」、リ. (2) (ii) (a) 代替注水設備」、リ. (2) (ii) (b) スプレイ設備」、リ. (4) (viii) (a) 放水設備」及び「リ. (4) (viii) (b) 注水設備」に示す。</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-1]補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽及び計装設備の一部を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ及び計装設備のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-2]一部を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑥-1]第1保管庫・貯水所は、地下に水供給設備の一部である第1貯水槽を設置する。リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑥-2]また、1階に第1保管庫・貯水所は、保管エリアを有する。</p>	<p>&lt;中略&gt;</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ、計装設備の一部である可搬型貯水槽水位計（ロープ式）、可搬型貯水槽水位計（電波式）及び可搬型第1貯水槽給水流量計を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>2.3 建物及び構築物</p> <p>2.3.29 第1保管庫・貯水所</p> <p>第1保管庫・貯水所は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の第1貯水槽を設置する。また、保管エリアを有する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>第1保管庫・貯水所の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階（地上高さ約16m、地下に</p>	<p>&lt;中略&gt;</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-1]水源からの水の移送ルート及び移送のために用いる設備については、リ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-2]第2章 個別項目の「7.2.2 冷却水設備」の「7.2.2.3 代替安全冷却水系」、1.2.1 使用済燃料貯蔵設備」の「1.2.1.6 代替注水設備」及び「1.2.1.7 スプレイ設備」並びに「7.3.7 放出抑制設備」の「7.3.7.1 放水設備」及び「7.3.7.2 注水設備」に示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>重大事故等への対処に必要な水を供給するための対処として、リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-1]水供給設備の他、計測制御設備のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-2]可搬型貯水槽水位計等並びに補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリを使用する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>水供給設備の一部であるリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑥-1]第1貯水槽は、第1保管庫・貯水所の地下に設置する設計とする。</p> <p>第1保管庫・貯水所の主要構造は、地上2階の建物とする設計とする。リ.</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-1]は、前段文章の続きとされていることから設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-1]と同義であり整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-2]は、事業変更許可申請書（本文）の記載場所の読み込み、設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-④-2]は、設工認の記載場所の読み込みのため同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-1]は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-1]と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-2]は事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑤-2]を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑥-1]及びリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑥-2]は、事業変更許可申請書（本文）のリ.</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																							
<p>第1保管庫・貯水所の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階、<u>リ.</u></p> <p><u>(2)(i)(a)(p)1)-⑥-3</u> 建築面積約5,900m<sup>2</sup>の建物である。</p>	<p>第1貯水槽を収納する) 平面が約52m (南北方向) × 約113m (東西方向) の建物であり、堅固な基礎版上に設置する。</p>	<p><u>(2)(i)(a)(p)1)-⑥-2</u> また、第1保管庫・貯水所は、1階に保管エリアを有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>リ. (2)(i)(a)(p)1)-⑥-3</u> 【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1528 604 2154 1096"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>第1保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td>m</td> <td>52.00*2×113.00*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>地上15.85*2 地下10.35*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">壁厚さ</td> <td>東壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート*3</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">基礎</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>直接基礎（鉄筋コンクリート造）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td>m</td> <td>52.00*2×113.00*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>3.00*2</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. 約44.65m</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：第1保管庫・貯水所は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2：公称値を示す。 *3：設計図書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345、コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度30N/mm<sup>2</sup>と記載。</p> <p>(基本設計方針) 7.3.8 水供給設備 &lt;中略&gt; 第1保管庫・貯水所は、MOX燃料加工施設と共用する。 MOX燃料加工施設と共用する第1保管庫・貯水所は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、第1貯水槽を設置できる十分な容量を有する設計とすることで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。 また、第1保管庫・貯水所の保管エリアは、再処理施設及びMOX燃料加工施設の必要な重大事故等対処設備が十分保管できる容量を有する設計とすることで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>			変更前	変更後	名称			第1保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	種類		-	鉄筋コンクリート造	主要寸法	たて×横	m	52.00*2×113.00*2	高さ	m	地上15.85*2 地下10.35*2	壁厚さ	東壁	m	2.00*2	西壁	m	2.00*2	南壁	m	2.00*2	北壁	m	2.00*2	主要材料	-	鉄筋コンクリート*3	個数	-	1	基礎	種類	-	直接基礎（鉄筋コンクリート造）	主要寸法	たて×横	m	52.00*2×113.00*2	高さ	m	3.00*2	主要材料	-	鉄筋コンクリート	底面の標高	-	T.M.S.L. 約44.65m	<p><u>(2)(i)(a)(p)1)-⑥-1</u>、及び<u>リ.</u></p> <p><u>(2)(i)(a)(p)1)-⑥-2</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ.</u></p> <p><u>(2)(i)(a)(p)1)-⑥-3</u> は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ.</u></p> <p><u>(2)(i)(a)(p)1)-⑥-3</u> を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																								
名称			第1保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																								
種類		-	鉄筋コンクリート造																																																								
主要寸法	たて×横	m	52.00*2×113.00*2																																																								
	高さ	m	地上15.85*2 地下10.35*2																																																								
	壁厚さ	東壁	m	2.00*2																																																							
		西壁	m	2.00*2																																																							
		南壁	m	2.00*2																																																							
北壁		m	2.00*2																																																								
主要材料	-	鉄筋コンクリート*3																																																									
個数	-	1																																																									
基礎	種類	-	直接基礎（鉄筋コンクリート造）																																																								
	主要寸法	たて×横	m	52.00*2×113.00*2																																																							
		高さ	m	3.00*2																																																							
	主要材料	-	鉄筋コンクリート																																																								
	底面の標高	-	T.M.S.L. 約44.65m																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																								
<p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑦-1 第2保管庫・貯水所は、地下に水供給設備の一部である第2貯水槽を設置する。リ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-2 また、1階に第2保管庫・貯水所は、保管エリアを有する。リ.</p> <p>第2保管庫・貯水所の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階、リ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-3 建築面積約5,900m<sup>2</sup>の建物である。</p>	<p>2.3 建物及び構築物</p> <p>2.3.30 第2保管庫・貯水所</p> <p>第2保管庫・貯水所は、その他再処理設備の附属施設の給水施設の第2貯水槽を設置する。また、保管エリアを有する。</p> <p>＜中略＞</p> <p>第2保管庫・貯水所の主要構造は、鉄筋コンクリート造で、地上2階（地上高さ約16m、地下に第2貯水槽を収納する）、平面が約52m（南北方向）×約113m（東西方向）の建物であり、堅固な基礎版上に設置する。</p>	<p>水供給設備の一部であるリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-1 第2貯水槽は、第2保管庫・貯水所の地下に設置する設計とする。</p> <p>第2保管庫・貯水所の主要構造は、地上2階の建物とする設計とする。リ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-2 また、第2保管庫・貯水所は、1階に保管エリアを有する設計とする。</p> <p>＜中略＞</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑦-3 【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1528 913 2151 1407"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>第2保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">たて×横</td> <td>m</td> <td>鉄筋コンクリート造 52.00*2×113.00*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>地上15.85*2 地下10.35*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">壁厚さ</td> <td>東壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>m</td> <td>2.00*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート*3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基礎</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>直接基礎（鉄筋コンクリート造）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td>m</td> <td>52.00*2×113.00*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>3.00*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">底面の標高</td> <td>—</td> <td>T. M. S. L. 約38.15m</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：第2保管庫・貯水所は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2：公称値を示す。 *3：設計図書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345、コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度30N/mm<sup>2</sup>」と記載。</p>	名称		変更前	変更後	種類		—	第2保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	たて×横		m	鉄筋コンクリート造 52.00*2×113.00*2	主要寸法	高さ	m	地上15.85*2 地下10.35*2	壁厚さ	東壁	m	2.00*2	西壁	m	2.00*2	南壁	m	2.00*2	北壁	m	2.00*2	主要材料		—	鉄筋コンクリート*3	個数		—	1	基礎	種類	—	直接基礎（鉄筋コンクリート造）	主要寸法	たて×横	m	52.00*2×113.00*2	高さ	m	3.00*2	主要材料		—	鉄筋コンクリート	底面の標高		—	T. M. S. L. 約38.15m	<p>設工認のリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-1 及びリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-2 は、事業変更許可申請書(本文)のリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-1, 及びリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-2 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-3 は、事業変更許可申請書(本文)のリ.</p> <p>(2) (i) (a) (v) 1)-⑦-3 を具体的に記載しており整合している。</p>	
名称		変更前	変更後																																																									
種類		—	第2保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																									
たて×横		m	鉄筋コンクリート造 52.00*2×113.00*2																																																									
主要寸法	高さ	m	地上15.85*2 地下10.35*2																																																									
	壁厚さ	東壁	m	2.00*2																																																								
		西壁	m	2.00*2																																																								
		南壁	m	2.00*2																																																								
		北壁	m	2.00*2																																																								
主要材料		—	鉄筋コンクリート*3																																																									
個数		—	1																																																									
基礎	種類	—	直接基礎（鉄筋コンクリート造）																																																									
	主要寸法	たて×横	m	52.00*2×113.00*2																																																								
		高さ	m	3.00*2																																																								
	主要材料		—	鉄筋コンクリート																																																								
底面の標高		—	T. M. S. L. 約38.15m																																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の機器配置概要図を第186図～第193図に示す。</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑧補機駆動用燃料補給設備については「リ. (4) (vii) 補機駆動用燃料補給設備」に、計装設備については「へ. (3) (ii) (a) 計装設備」に示す。</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑨水供給設備は、重大事故等への対処に必要な水源を確保できる設計とする。</p>	<p>9.4.2.1.1 概要</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>重大事故等への対処に必要な水源を確保するため、水供給設備には第1貯水槽を設置する。</p>	<p>(基本設計方針)</p> <p>7.3.8 水供給設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>第2保管庫・貯水所は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用する第2保管庫・貯水所は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、第2貯水槽を設置できる十分な容量を有する設計とすることで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>また、第2保管庫・貯水所の保管エリアは、再処理施設及びMOX燃料加工施設の必要な重大事故等対処設備が十分保管できる容量を有する設計とすることで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑧なお、計測制御設備については第2章 個別項目の「4.1 計測制御設備」に、補機駆動用燃料補給設備については第2章 個別項目の「7.1.1 電気設備」の「7.1.1.11 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑨重大事故等への対処に必要な水源を確保するため、水供給設備には第1貯水槽及び第2貯水槽を設置する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所の機器配置概要図については、添付書類「VI-1-8-3 重大事故等への対処に必要な水の供給設備に関する説明書」に記載している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑧は、事業変更許可申請書(本文)のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑧と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑨は、事業変更許可申請書(本文)のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑨に</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>重大事故等への対処<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑩が継続する場合、水供給設備の第2貯水槽から第1貯水槽へ大型移送ポンプ車で水を補給できる設計とする。</u></p> <p><u>リ。 (2) (i) (a) (v) 1) -⑪水供給設備は、敷地外の水源から第1貯水槽へ大型移送ポンプ車で水を補給できる設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</u></p> <p><u>水供給設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処すること考慮し、十分な数量及び容量を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、<sup>リ</sup> (2) (i) (a) (v) 1) -⑫給水処理設備の純水貯槽と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に設置することにより、給水処理設備の純水</u></p>	<p>9.4.2.1.4 系統構成及び主要設備 (2) 主要設備</p> <p>＜中略＞</p> <p><u>重大事故等への対処を継続して行うために、重大事故等へ対処する水源である第1貯水槽へ水を補給するため、第2貯水槽の水を大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースを経由して、第1貯水槽へ補給できる設計とする。</u></p> <p><u>重大事故等への対処を継続して行うために、重大事故等へ対処する水源である第1貯水槽へ水を補給するため、敷地外の水源から水を大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースを経由して、第1貯水槽へ補給できる設計とする。</u></p> <p>9.4.2.1.1 概要</p> <p>＜中略＞</p> <p><u>水供給設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</u></p> <p>9.4.2.1.2 設計方針 (1) 多様性、位置的分散</p> <p>＜中略＞</p> <p>a. 常設重大事故等対処設備</p> <p><u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、給水処理設備の純水貯槽と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に設置することにより、給水処理設備の純水貯槽と位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>また、水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水</u></p>	<p>＜中略＞</p> <p>重大事故等への対処<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑩を継続して行うために、重大事故等へ対処する水源である第1貯水槽へ水を補給するため、第2貯水槽の水を大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースを経由して、第1貯水槽へ補給できる設計とする。</u></p> <p><u>リ。 (2) (i) (a) (v) 1) -⑪重大事故等への対処を継続して行うために、重大事故等へ対処する水源である第1貯水槽へ水を補給するため、敷地外水源から水を大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースを経由して、第1貯水槽へ補給できる設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</u></p> <p><u>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な数量及び容量を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、<sup>リ</sup> (2) (i) (a) (v) 1) -⑫共通要因によって給水処理設備の純水貯槽と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に設置することにより、給水処理設備の純</u></p>	<p>申請対象設備を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑩</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑩</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑪</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑪</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑫</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>。</p> <p><u>(2) (i) (a) (v) 1) -⑫</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>貯槽と位置的分散を図る設計とする。</u> また、<u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、互いに位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、故障時バックアップを含めて必要な数量を使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p><u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、他の設備から独立して単独で使用可能</u><u>リ。(2)(i)(a)(ii)1-⑬</u><u>な</u><u>ことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p><u>槽は、互いに位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備 <u>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、故障時バックアップを含めて必要な数量を使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</u></p> <p>(2) 悪影響防止          &lt;中略&gt;          a. 常設重大事故等対処設備  <u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u>          &lt;中略&gt;          &lt;中略&gt;  <u>屋外に保管する水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p><u>水貯槽と位置的分散を図る設計とする。</u> また、<u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、互いに位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、他の設備から独立して単独で使用可能</u><u>リ。(2)(i)(a)(ii)1-⑬</u><u>と</u><u>することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>水供給設備の大型移送ポンプ車は、回転体が飛散することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>屋外に保管する水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>リ。</u>  <u>(2)(i)(a)(ii)1-⑬</u>          は、事業変更許可申請書(本文)の<u>リ。</u>  <u>(2)(i)(a)(ii)1-⑬</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																							
<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の第1貯水槽は、重大事故等への対処に必要な水を供給できる容量リ。                  (2)(i)(a)(p)1-⑭として約20,000m<sup>3</sup>（第1貯水槽A約10,000m<sup>3</sup>、第1貯水槽B約10,000m<sup>3</sup>）を有する設計とし、1基を有する設計とする。</p>	<p>(3) 個数及び容量                  &lt;中略&gt;                  a. 常設重大事故等対処設備                  MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の第1貯水槽は、重大事故等への対処に必要な水を供給できる容量として約20,000m<sup>3</sup>（第1貯水槽A約10,000m<sup>3</sup>、第1貯水槽B約10,000m<sup>3</sup>）を有する設計とし、1基を有する設計とする。</p>	<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の第1貯水槽は、重大事故等への対処に必要な水を供給できる容量リ。                  (2)(i)(a)(p)1-⑭を有する設計とする。                  &lt;中略&gt;</p> <p>リ。(2)(i)(a)(p)1-⑭【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <p>1.3.7 水供給設備                  (1) 容器</p> <table border="1" data-bbox="1528 724 2151 1512"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td colspan="2">第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td colspan="2">20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力*5</td> <td>MPa</td> <td colspan="2">静水頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度*5</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">48000*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">109000*2</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6750*2, 7050*2</td> </tr> <tr> <td>壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2000*2</td> </tr> <tr> <td>床厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3000*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">規格</td> <td>-</td> <td colspan="2">JIS</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>第1貯水槽A (水供給設備)</td> <td>第1貯水槽B (水供給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. 約47.65m</td> <td>T.M.S.L. 約47.65m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-*4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第1貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。                  *2: 公称値を示す。                  *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                  *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                  *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後		名称			第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)		種類		-	鉄筋コンクリート貯槽		容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)		最高使用圧力*5		MPa	静水頭		最高使用温度*5		℃	60		主要寸法	たて	mm	48000*2		横	mm	109000*2		深さ	mm	6750*2, 7050*2		壁厚さ	mm	2000*2		床厚さ	mm	3000*2		主要材料		-	鉄筋コンクリート		規格		-	JIS		取付箇所	系統名(ライン名)	-	第1貯水槽A (水供給設備)	第1貯水槽B (水供給設備)	設置床	-	T.M.S.L. 約47.65m	T.M.S.L. 約47.65m	溢水防護上の区画番号	-	-*3	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*3	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-*4	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-*4	-	-	<p>設工認のリ。                  (2)(i)(a)(p)1-⑭は、事業変更許可申請書（本文）のリ。                  (2)(i)(a)(p)1-⑭と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																								
名称			第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																								
種類		-	鉄筋コンクリート貯槽																																																																																								
容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)																																																																																								
最高使用圧力*5		MPa	静水頭																																																																																								
最高使用温度*5		℃	60																																																																																								
主要寸法	たて	mm	48000*2																																																																																								
	横	mm	109000*2																																																																																								
	深さ	mm	6750*2, 7050*2																																																																																								
	壁厚さ	mm	2000*2																																																																																								
	床厚さ	mm	3000*2																																																																																								
主要材料		-	鉄筋コンクリート																																																																																								
規格		-	JIS																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	-	第1貯水槽A (水供給設備)	第1貯水槽B (水供給設備)																																																																																							
	設置床	-	T.M.S.L. 約47.65m	T.M.S.L. 約47.65m																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	-	-*3	-																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-*3	-																																																																																							
	化学薬品防護上の区画番号	-	-*4	-																																																																																							
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-*4	-	-																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の第2貯水槽は、大量の水が必要となる重大事故等への対処を継続させるために水供給設備の第1貯水槽へ水を補給できる容量リ. (2) (i) (a) (p) 1-⑮として約20,000 m<sup>3</sup> (第2貯水槽A約10,000m<sup>3</sup>, 第2貯水槽B約10,000m<sup>3</sup>) を有する設計とし、1基を有する設計とする。</p>	<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の第2貯水槽は、大量の水が必要となる重大事故等への対処を継続させるために水供給設備の第1貯水槽へ水を補給できる容量として約20,000 m<sup>3</sup> (第2貯水槽A約10,000m<sup>3</sup>, 第2貯水槽B約10,000m<sup>3</sup>) を有する設計とし、1基を有する設計とする。</p>	<p>(基本設計方針) 7.3.8 水供給設備                      &lt;中略&gt;                      MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の第2貯水槽は、大量の水が必要となる重大事故等への対処を継続させるために水供給設備の第1貯水槽へ水を補給できる容量リ. (2) (i) (a) (p) 1-⑮を有する設計とする。                      &lt;中略&gt;</p> <p>リ. (2) (i) (a) (p) 1-⑮【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1528 745 2151 1533"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td colspan="2">第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td colspan="2">                     20000以上(20000*<sup>2</sup>)                      第2貯水槽A                      10000以上(10000*<sup>2</sup>)                      第2貯水槽B                      10000以上(10000*<sup>2</sup>)                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力*<sup>5</sup></td> <td>MPa</td> <td colspan="2">静水頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度*<sup>5</sup></td> <td>℃</td> <td colspan="2">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">48000*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">109000*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6750*<sup>2</sup>, 7050*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2000*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>床厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3000*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鋼筋</td> <td>-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>第2貯水槽A(水供給設備)</td> <td>第2貯水槽B(水供給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L 約41.15m</td> <td>T.M.S.L 約41.15m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*<sup>3</sup></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>*<sup>3</sup></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>*<sup>4</sup></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>*<sup>4</sup></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第2貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。                      *2: 公称値を示す。                      *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後		名称			第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)		種類		-	鉄筋コンクリート貯槽		容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000* <sup>2</sup> ) 第2貯水槽A 10000以上(10000* <sup>2</sup> ) 第2貯水槽B 10000以上(10000* <sup>2</sup> )		最高使用圧力* <sup>5</sup>		MPa	静水頭		最高使用温度* <sup>5</sup>		℃	40		主要寸法	たて	mm	48000* <sup>2</sup>		横	mm	109000* <sup>2</sup>		深さ	mm	6750* <sup>2</sup> , 7050* <sup>2</sup>		壁厚さ	mm	2000* <sup>2</sup>		床厚さ	mm	3000* <sup>2</sup>		主要材料		-	鉄筋コンクリート		鋼筋		-	1		取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2貯水槽A(水供給設備)	第2貯水槽B(水供給設備)	設置床	-	T.M.S.L 約41.15m	T.M.S.L 約41.15m	溢水防護上の区画番号	-	* <sup>3</sup>	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	* <sup>3</sup>	-	化学薬品防護上の区画番号	-	* <sup>4</sup>	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	* <sup>4</sup>	-	<p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-⑮は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (p) 1-⑮と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																							
名称			第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																							
種類		-	鉄筋コンクリート貯槽																																																																																							
容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000* <sup>2</sup> ) 第2貯水槽A 10000以上(10000* <sup>2</sup> ) 第2貯水槽B 10000以上(10000* <sup>2</sup> )																																																																																							
最高使用圧力* <sup>5</sup>		MPa	静水頭																																																																																							
最高使用温度* <sup>5</sup>		℃	40																																																																																							
主要寸法	たて	mm	48000* <sup>2</sup>																																																																																							
	横	mm	109000* <sup>2</sup>																																																																																							
	深さ	mm	6750* <sup>2</sup> , 7050* <sup>2</sup>																																																																																							
	壁厚さ	mm	2000* <sup>2</sup>																																																																																							
	床厚さ	mm	3000* <sup>2</sup>																																																																																							
主要材料		-	鉄筋コンクリート																																																																																							
鋼筋		-	1																																																																																							
取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2貯水槽A(水供給設備)	第2貯水槽B(水供給設備)																																																																																						
	設置床	-	T.M.S.L 約41.15m	T.M.S.L 約41.15m																																																																																						
	溢水防護上の区画番号	-	* <sup>3</sup>	-																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	* <sup>3</sup>	-																																																																																						
	化学薬品防護上の区画番号	-	* <sup>4</sup>	-																																																																																						
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	* <sup>4</sup>	-																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に必要な水を補給するためにリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑯約1,800m<sup>3</sup>/hの送水流量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として4台、予備として故障時のバックアップを4台の合計8台以上を確保する。リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑰保守点検による待機除外時バックアップについては、同型設備である「リ. (4) (viii) (a) 放水設備」の大型移送ポンプ車の保守点検による待機除外時バックアップと兼用する。</p>	<p>b. 可搬型重大事故等対処設備 MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に必要な水を補給するために約1,800m<sup>3</sup>/hの送水流量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として4台、予備として故障時のバックアップを4台の合計8台以上を確保する。保守点検による待機除外時バックアップについては、同型設備である「9.15.1 放水設備」の大型移送ポンプ車の保守点検による待機除外時バックアップと兼用する。</p>	<p>(基本設計方針) 7.3.8 水供給設備 〈中略〉 MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に必要な水を補給するためにリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑯必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。リ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑰点検保守による待機除外時バックアップについては、同型設備である第2章 個別項目の「7.3.7 放出抑制設備」の「7.3.7.1 放水設備」の大型移送ポンプ車の点検保守による待機除外時バックアップと兼用する設計とする。〈中略〉</p>	<p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑰は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑰と同義であり整合している。 設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑯は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑯と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																											
		<p>リ. (2) (i) (a) (v) 1) - ⑩ 【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <p>(2) ポンプ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">大型移送ポンプ車(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">うず巻形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td colspan="2">1800以上(1800*2)</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td colspan="2">1.19以上(1.2*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*2</td> <td>MPa</td> <td colspan="2">1.4</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*2</td> <td>℃</td> <td colspan="2">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主 要 寸 法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>350*2</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1125*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1290*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>585*2</td> </tr> <tr> <td>車両全長</td> <td>mm</td> <td>11580*2</td> </tr> <tr> <td>車両全幅</td> <td>mm</td> <td>2495*2</td> </tr> <tr> <td>車両全高</td> <td>mm</td> <td>3520*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 材 料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>ダクタイル鋳鉄</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原 動 機</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>1193</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">燃 料 タ ン ク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>角形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>155以上(495*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*3</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*3</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">8 (予備として故障時のバックアップを4)*4*5</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td colspan="2">保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約 57.50m (4台)</td> </tr> </tbody> </table>	変更前		変更後		名称		大型移送ポンプ車(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)		種類	—	うず巻形		容量	m <sup>3</sup> /h/個	1800以上(1800*2)		吐出圧力	MPa	1.19以上(1.2*2)		最高使用圧力*2	MPa	1.4		最高使用温度*2	℃	40		主 要 寸 法	吸込口径	mm	350*2	吐出口径	mm	300*2	たて	mm	1125*2	横	mm	1290*2	高さ	mm	585*2	車両全長	mm	11580*2	車両全幅	mm	2495*2	車両全高	mm	3520*2	主 要 材 料	ケーシング	—	ダクタイル鋳鉄		—		原 動 機	種類	—	ディーゼル機関	出力	kW/個	1193	燃 料 タ ン ク	種類	—	角形	容量	L/個	155以上(495*2)	最高使用圧力*3	MPa	静水頭	最高使用温度*3	℃	40	主要材料	—	ステンレス鋼	個数	—	8 (予備として故障時のバックアップを4)*4*5		取付箇所	—	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約 57.50m (4台)			
変更前		変更後																																																																																													
名称		大型移送ポンプ車(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																													
種類	—	うず巻形																																																																																													
容量	m <sup>3</sup> /h/個	1800以上(1800*2)																																																																																													
吐出圧力	MPa	1.19以上(1.2*2)																																																																																													
最高使用圧力*2	MPa	1.4																																																																																													
最高使用温度*2	℃	40																																																																																													
主 要 寸 法	吸込口径	mm	350*2																																																																																												
	吐出口径	mm	300*2																																																																																												
	たて	mm	1125*2																																																																																												
	横	mm	1290*2																																																																																												
	高さ	mm	585*2																																																																																												
	車両全長	mm	11580*2																																																																																												
	車両全幅	mm	2495*2																																																																																												
車両全高	mm	3520*2																																																																																													
主 要 材 料	ケーシング	—	ダクタイル鋳鉄																																																																																												
		—																																																																																													
原 動 機	種類	—	ディーゼル機関																																																																																												
	出力	kW/個	1193																																																																																												
燃 料 タ ン ク	種類	—	角形																																																																																												
	容量	L/個	155以上(495*2)																																																																																												
	最高使用圧力*3	MPa	静水頭																																																																																												
	最高使用温度*3	℃	40																																																																																												
	主要材料	—	ステンレス鋼																																																																																												
個数	—	8 (予備として故障時のバックアップを4)*4*5																																																																																													
取付箇所	—	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約 57.50m (4台)																																																																																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考				
<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の可搬型建屋外ホースは、重大事故等への対処に必要な流路を確保するためリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑱の必要数を確保することに加えて、予備として故障時バックアップを確保する。</p>	<p>MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の可搬型建屋外ホースは、重大事故等への対処に必要な流路を確保するための必要数を確保することに加えて、予備として故障時バックアップを確保する。</p>	<p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1528 346 2154 651"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>                     ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(4 台)                       取付箇所：                      ・屋外 第2貯水槽付近 T.M.S.L. 約 48.50m(1 台*)                      ・屋外 尾駮沼取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所 B 付近 T.M.S.L. 約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 1.50m(3 台)                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 大型移送ポンプ車は、再処理施設にて設備登録を行っている。                  *2: 公称値を示す。                  *3: 重大事故等時における使用時の値を示す。                  *4: その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備の大型移送ポンプ車のうち 1 台を待機除外時のバックアップとして兼用し、保有数は 4 台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 5 台)とする。                  *5: 第2貯水槽から第1貯水槽へ水の補給が完了次第、敷地外水源からの水の補給分 3 台の内数として使用する。                  *6: 燃料タンクの個数は大型移送ポンプ車 1 台あたり 2 個。</p> <p>(基本設計方針)                  7.3.8 水供給設備                  &lt;中略&gt;                  MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の可搬型建屋外ホースは、重大事故等への対処に必要な流路を確保するためリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑱、保有数は、必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な数量を確保する設計とする。                  &lt;中略&gt;</p>	変更前	変更後		・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(4 台)  取付箇所： ・屋外 第2貯水槽付近 T.M.S.L. 約 48.50m(1 台*) ・屋外 尾駮沼取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所 B 付近 T.M.S.L. 約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 1.50m(3 台)	<p>設工認のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑱は、事業変更許可申請書(本文)のリ. (2) (i) (a) (v) 1)-⑱と同義であり整合している。</p>	
変更前	変更後							
	・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(4 台)  取付箇所： ・屋外 第2貯水槽付近 T.M.S.L. 約 48.50m(1 台*) ・屋外 尾駮沼取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所 B 付近 T.M.S.L. 約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 1.50m(3 台)							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																								
<p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-⑱コンクリート構造とすることで汽水による腐食を考慮した設計とする。</p>	<p>(4) 環境条件等                      &lt;中略&gt;                      a. 常設重大事故等対処設備                      水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、コンクリート構造とすることで汽水による腐食を考慮した設計とする。</p>	<p>&lt;中略&gt;                      水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-⑱汽水による腐食を考慮した設計とする。                      &lt;中略&gt;                      リ. (2) (i) (a) (p) 1-⑱【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <p>1.3.7 水供給設備                      (1) 容器</p> <table border="1" data-bbox="1528 688 2154 1486"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td colspan="2">第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート貯槽</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> <td colspan="2">20000以上(20000*5)                      第1貯水槽A                      10000以上(10000*2)                      第1貯水槽B                      10000以上(10000*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*5</td> <td>MPa</td> <td></td> <td colspan="2">静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*5</td> <td>℃</td> <td></td> <td colspan="2">60</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">48000*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">109000*2</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6750*2, 7050*2</td> </tr> <tr> <td>壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2000*2</td> </tr> <tr> <td>床厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3000*2</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td></td> <td>第1貯水槽A (水供給設備)</td> <td>第1貯水槽B (水供給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>T. M. S. L. 約 47.65m</td> <td>T. M. S. L. 約 47.65m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-*3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-</td> <td>-*4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-</td> <td>-*4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第1貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。                      *2: 公称値を示す。                      *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。                      *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後		名称			第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)		種類		-	鉄筋コンクリート貯槽		容量	m <sup>3</sup> /個		20000以上(20000*5) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)		最高使用圧力*5	MPa		静水頭		最高使用温度*5	℃		60		主要寸法	たて	mm	48000*2		横	mm	109000*2		深さ	mm	6750*2, 7050*2		壁厚さ	mm	2000*2		床厚さ	mm	3000*2		主要材料			鉄筋コンクリート		個数			1		取付箇所	系統名(ライン名)		第1貯水槽A (水供給設備)	第1貯水槽B (水供給設備)	設置床		T. M. S. L. 約 47.65m	T. M. S. L. 約 47.65m	溢水防護上の区画番号		-*3	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-	化学薬品防護上の区画番号		-	-*4	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	-*4	-	<p>設工認のリ.                      (2) (i) (a) (p) 1-⑱は、事業変更許可申請書（本文）のリ.                      (2) (i) (a) (p) 1-⑱と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																									
名称			第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																									
種類		-	鉄筋コンクリート貯槽																																																																																									
容量	m <sup>3</sup> /個		20000以上(20000*5) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)																																																																																									
最高使用圧力*5	MPa		静水頭																																																																																									
最高使用温度*5	℃		60																																																																																									
主要寸法	たて	mm	48000*2																																																																																									
	横	mm	109000*2																																																																																									
	深さ	mm	6750*2, 7050*2																																																																																									
	壁厚さ	mm	2000*2																																																																																									
	床厚さ	mm	3000*2																																																																																									
主要材料			鉄筋コンクリート																																																																																									
個数			1																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)		第1貯水槽A (水供給設備)	第1貯水槽B (水供給設備)																																																																																								
	設置床		T. M. S. L. 約 47.65m	T. M. S. L. 約 47.65m																																																																																								
	溢水防護上の区画番号		-*3	-																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-																																																																																								
	化学薬品防護上の区画番号		-	-*4	-																																																																																							
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	-*4	-																																																																																								



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																			
<p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、リ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉔「ロ. (7) (ii) (b) (ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでリ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉕その機能を損なわない設計とする。</p>	<p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、「1.7.18 (5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p>	<table border="1" data-bbox="1531 338 2151 1129"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td>20000以上(20000*2) 第2貯水槽A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽B 10000以上(10000*2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力*5</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度*5</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>48000*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>109000*2</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td>6750*2, 7050*2</td> </tr> <tr> <td>壁厚さ</td> <td>mm</td> <td>2000*2</td> </tr> <tr> <td>床厚さ</td> <td>mm</td> <td>3000*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>第2貯水槽A(水供給設備) 第2貯水槽B(水供給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L 約41.15m T.M.S.L 約41.15m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第2貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2: 公称値を示す。 *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p> <p>(基本設計方針) 7.3.8 水供給設備 〈中略〉 地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、リ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉔第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでリ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉕重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>			変更前	変更後	名称			第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	種類		-	鉄筋コンクリート貯槽	容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000*2) 第2貯水槽A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽B 10000以上(10000*2)	最高使用圧力*5		MPa	静水頭	最高使用温度*5		℃	40	主要寸法	たて	mm	48000*2	横	mm	109000*2	深さ	mm	6750*2, 7050*2	壁厚さ	mm	2000*2	床厚さ	mm	3000*2	主要材料		-	鉄筋コンクリート	個数		-	1	取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2貯水槽A(水供給設備) 第2貯水槽B(水供給設備)	設置床	-	T.M.S.L 約41.15m T.M.S.L 約41.15m	溢水防護上の区画番号	-	-*3	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-*4	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	<p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉔は、事業変更許可申請書(本文)のリ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉔と同義であり整合している。設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉔は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1)-㉕を具体的に記載して</p>	
		変更前	変更後																																																																				
名称			第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																				
種類		-	鉄筋コンクリート貯槽																																																																				
容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000*2) 第2貯水槽A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽B 10000以上(10000*2)																																																																				
最高使用圧力*5		MPa	静水頭																																																																				
最高使用温度*5		℃	40																																																																				
主要寸法	たて	mm	48000*2																																																																				
	横	mm	109000*2																																																																				
	深さ	mm	6750*2, 7050*2																																																																				
	壁厚さ	mm	2000*2																																																																				
	床厚さ	mm	3000*2																																																																				
主要材料		-	鉄筋コンクリート																																																																				
個数		-	1																																																																				
取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2貯水槽A(水供給設備) 第2貯水槽B(水供給設備)																																																																				
	設置床	-	T.M.S.L 約41.15m T.M.S.L 約41.15m																																																																				
	溢水防護上の区画番号	-	-*3																																																																				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																				
	化学薬品防護上の区画番号	-	-*4																																																																				
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に設置し、風（台風）等によりリ. (2) (i) (a) (p) 1-22機能を損なわない設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、汽水の影響に対して耐腐食性材料を使用する設計とする。また、水供給設備の大型移送ポンプ車は、ストレーナを設置することにより直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</p> <p>屋外に保管する水供給設備の大型移送ポンプ車は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する水供給設備の可搬型建屋外ホースは、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、収納するコンテナ等に対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる水供給設備の大型移送ポンプ車は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-23「ロ. (7) (ii) (b) (ホ) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでリ. (2) (i) (a) (p) 1-24その機能を損なわない設計とする。</p>	<p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に設置し、風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>b. 可搬型重大事故等対処設備 水供給設備の大型移送ポンプ車は、汽水の影響に対して耐腐食性材料を使用する設計とする。また、大型移送ポンプ車は、ストレーナを設置することにより直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</p> <p>屋外に保管する水供給設備の大型移送ポンプ車は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する水供給設備の可搬型建屋外ホースは、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、収納するコンテナ等に対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる水供給設備の大型移送ポンプ車は、「1.7.18 (5) 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p>	<p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、外部からの衝撃による損傷を防止できる第1保管庫・貯水所及び第2保管庫・貯水所に設置し、風（台風）等によりリ. (2) (i) (a) (p) 1-22重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、汽水の影響に対して耐腐食性材料を使用する設計とする。また、水供給設備の大型移送ポンプ車は、ストレーナを設置することにより直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</p> <p>屋外に保管する水供給設備の大型移送ポンプ車は、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する水供給設備の可搬型建屋外ホースは、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、収納するコンテナ等に対して転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる水供給設備の大型移送ポンプ車は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-23第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでリ. (2) (i) (a) (p) 1-24重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p>	<p>おり整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-22は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1-22を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-23は、事業変更許可申請書(本文)のリ. (2) (i) (a) (p) 1-23と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-24は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1-24を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、リ. (2) (i) (a) (p) 1-25機能を損なわない設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない屋外で操作可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、リ. (2) (i) (a) (p) 1-26コネクタ接続に統一することにより、現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-27再処理施設の運転中又は停止中に、水位を定期的に確認することができる設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-28再処理施設の運転中又は停止中に外観点検、員数確認、性能確認、分解点検等が可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。 〈中略〉</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない屋外で操作可能な設計とする。</p> <p>(5) 操作性の確保 〈中略〉</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、コネクタ接続に統一することにより、現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>9.4.2.1.5 試験・検査 〈中略〉</p> <p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、再処理施設の運転中又は停止中に、水位を定期的に確認することができる設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、再処理施設の運転中又は停止中に外観点検、員数確認、性能確認、分解点検等が可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、リ. (2) (i) (a) (p) 1-25重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない屋外で操作可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車及び可搬型建屋外ホースは、リ. (2) (i) (a) (p) 1-26簡便なコネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-27通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するため、水位を定期的に確認することができる設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、リ. (2) (i) (a) (p) 1-28通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するため、外観点検、員数確認、性能確認、分解点検等が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</p> <p>水供給設備の大型移送ポンプ車は、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。また、当該機能を健全に維持するため、保守等が可能な設計とする。</p>	<p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-25は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1-25を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-26は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1-26を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-27は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1-27を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (a) (p) 1-28は、変更許可本文のリ. (2) (i) (a) (p) 1-28を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>2) <u>代替安全冷却水系</u></p> <p>冷却機能の喪失による蒸発乾固が発生した場合において、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループに通水することで、蒸発乾固の発生を未然に防止するために必要な蒸発乾固の発生防止対策に使用する重大事故等対処設備<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-1</u>を設置及び保管する。</p> <p>上記対策が機能しなかった場合に備え、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器へ注水することで、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備及び沸騰に伴い発生する蒸気を凝縮水として回収するための代替換気設備の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-2</u>セル導出設備の凝縮器に水を供給するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備<sup>リ</sup>（2）<u>（i）（a）（ロ）2）-3</u>を設置及び保管する。</p> <p>また、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の冷却コイル又は冷却ジャケットへ通水することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮</p>	<p>9.5.2 <u>重大事故等対処設備</u>            9.5.2.1 <u>代替安全冷却水系</u>            9.5.2.1.1 <u>概 要</u></p> <p>冷却機能の喪失による蒸発乾固が発生した場合において、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループに通水することで、蒸発乾固の発生を未然に防止するために必要な蒸発乾固の発生防止対策に使用する重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>上記対策が機能しなかった場合に備え、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器へ注水することで、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備及び沸騰に伴い発生する蒸気を凝縮水として回収するための代替換気設備のセル導出設備の凝縮器に水を供給するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>また、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の冷却コイル又は冷却ジャケットへ通水することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を未沸騰状態に維持するために必要な蒸発乾固の拡</p>	<p>7. <u>その他再処理設備の附属施設</u>            7.2 <u>給水施設及び蒸気供給設備</u>            7.2.2 <u>冷却水設備</u>            7.2.2.3 <u>代替安全冷却水系</u></p> <p>冷却機能の喪失による蒸発乾固が発生した場合において、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループに通水することで、蒸発乾固の発生を未然に防止するために必要な蒸発乾固の発生防止対策に使用する重大事故等対処設備<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-1</u>として代替安全冷却水系を設ける設計とする。</p> <p>上記対策が機能しなかった場合に備え、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器へ注水することで、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備及び沸騰に伴い発生する蒸気を凝縮水として回収するための代替換気設備の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-2</u>セルへの導出経路を構築するために必要な設備(以下7.2.2.3では「セル導出設備」という)の凝縮器に水を供給するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備<sup>リ</sup>  <u>（2）（i）（a）（ロ）2）-3</u>として代替安全冷却水系を設ける設計とする。</p> <p>また、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の冷却コイル又は冷却ジャケットへ通水することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を未沸騰状態に</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）第四号リ項において、設工認の内容は、以下の通り整合している</p> <p>設工認の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-1</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-1</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-2</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-2</u>と同義であり整合している。            設工認の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-3</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>（2）  <u>（i）（a）（ロ）2）-3</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>定する機器に内包する溶液を未沸騰状態に維持するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備<sup>リ</sup>  <sup>リ</sup>(2) (i) (a) (ロ) 2)-4を設置及び保管する。</p> <p>代替安全冷却水系は、高レベル廃液ガラス固化建屋の<sup>リ</sup>(2) (i) (a) (ロ) 2)-5冷却水給排水配管・弁、高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水注水配管・弁、冷却水配管・弁（凝縮器）、高レベル廃液ガラス固化建屋の凝縮器冷却水給排水配管・弁、可搬型建屋外ホース、可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース、可搬型排水受槽、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管、可搬型中型移送ポンプ運搬車、ホース展張車、運搬車等で構成する。</p>	<p>大防止対策に使用する重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>9.5.2.1.2 系統構成及び主要設備          その他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系（再処理設備本体用）（以下9.5.2では「安全冷却水系」という。）の内部ループに通水することで「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却し、溶液が沸騰に至った場合に「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に注水すること及び冷却コイル又は冷却ジャケットへ通水することで蒸発乾固の進行を防止し、及び沸騰に伴い発生する蒸気を代替換気設備のセル導出設備の凝縮器により回収するための水供給に必要な設備として、代替安全冷却水系を設ける。</p> <p>(1) 系統構成          冷却機能の喪失による蒸発乾固が発生した場合の重大事故等対処設備として、代替安全冷却水系、計装設備の一部、代替試料分析関係設備の一部、水供給設備の一部及び補機駆動用燃料補給設備の一部を使用する。</p> <p>代替安全冷却水系は、高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水給排水配管・弁、高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水注水配管・弁、冷却水配管・弁（凝縮器）、高レベル廃液ガラス固化建屋の凝縮器冷却水給排水配管・弁、可搬型建屋外ホース、可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース、可搬型排水受槽、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管、可搬型中型移送ポンプ運搬車、ホース展張車、運搬車等で構成する。</p>	<p>維持するために必要な蒸発乾固の拡大防止対策に使用する重大事故等対処設備<sup>リ</sup>  <sup>リ</sup>(2) (i) (a) (ロ) 2)-4として代替安全冷却水系を設ける設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、高レベル廃液ガラス固化建屋の<sup>リ</sup>(2) (i) (a) (ロ) 2)-5内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「冷却水給排水配管・弁」という）、高レベル廃液ガラス固化建屋の貯槽等への注水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「冷却水注水配管・弁」という）、凝縮器への通水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「冷却水配管・弁（凝縮器）」という）、高レベル廃液ガラス固化建屋の凝縮器への通水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「凝縮器冷却水給排水配</p>	<p>設工認の<sup>リ</sup>(2)  <sup>リ</sup>(i) (a) (ロ) 2)-4は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>(2)  <sup>リ</sup>(i) (a) (ロ) 2)-4と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<sup>リ</sup>(2)  <sup>リ</sup>(i) (a) (ロ) 2)-5は、事業変更許可申請書（本文）の<sup>リ</sup>(2)  <sup>リ</sup>(i) (a) (ロ) 2)-5と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-８ 水供給設備の一部である第1貯水槽並びに補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-８ 計装設備の一部、代替試料分析関係設備の一部及び補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリを可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>また、設計基準対象の施設と兼用するリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-6 その他再処理設備の附属施設の給水施設の冷却水設備の安全冷却水系（再処理設備本体用）（以下リ（２）（ｉ）では「安全冷却水系」という。）の内部ループ配管・弁、冷却コイル配管・弁及び冷却ジャケット配管・弁、機器注水配管・弁並びに「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器（第3表）を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-9 計装設備については「へ（３）（ii）（a）計装設備」に、代替試料分析関係設備については「チ（２）（i）試料分析関係設備」に、水供給設備については「リ（２）（i）（b）（ロ）1 水供給設備」に、補機駆動用燃料補給設備については「リ</p>	<p>水供給設備の一部である第1貯水槽並びに補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p> <p>計装設備の一部である可搬型膨張槽液位計、可搬型貯槽温度計、可搬型冷却水流量計、可搬型漏えい液受皿液位計、可搬型建屋供給冷却水流量計、可搬型冷却水排水線量計、可搬型貯槽液位計、可搬型機器注水流量計、可搬型冷却コイル圧力計、可搬型冷却コイル通水流量計及び可搬型凝縮器通水流量計、代替試料分析関係設備の一部並びに補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリを可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>また、設計基準対象の施設と兼用する安全冷却水系の内部ループ配管・弁、冷却コイル配管・弁及び冷却ジャケット配管・弁、機器注水配管・弁並びに「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器（9.5-4表）を常設重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>計装設備については「6.2.1.4 系統構成及び主要設備」に、代替試料分析関係設備については「8.2.4 系統構成及び主要設備」に、水供給設備については「9.4.2.1.4 系統構成及び主要設備」に、補機駆動用燃料補給設備については「9.14.3 主要設備の仕様」及び「9.14.4 系統構成」に示す。</p>	<p>管・弁」という）、可搬型建屋外ホース、可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース、可搬型排水受槽、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管、可搬型中型移送ポンプ運搬車、ホース展張車及び運搬車で構成する。</p> <p>また、設計基準対象の施設と兼用するリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-6 内部ループへの通水、貯槽等への注水及び冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水で使用する主配管等及び膨張槽並びに「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器を常設重大事故等対処設備として位置付け、リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-7 蒸発乾固の発生未然防止並びに蒸発乾固が発生した場合において、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を緩和できる設計とする。</p> <p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-8 冷却機能の喪失による蒸発乾固が発生した場合の重大事故等対処設備として、代替安全冷却水系の他、計装設備の可搬型貯槽温度計等、水供給設備の第1貯水槽並びに補機駆動用燃料補給設備の第1軽油貯槽、第2軽油貯槽及び軽油用タンクローリを使用する設計</p>	<p>設工認のリ（２）（i）（a）（ロ）２-6 は、事業変更許可申請書（本文）のリ（２）（i）（a）（ロ）２-6 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（２）（i）（a）（ロ）２-7 は、事業変更許可申請書（本文）「ロ（7）（ii）（d）冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備」に示す。</p> <p>設工認のリ（２）（i）（a）（ロ）２-8 は、事業変更許可申請書（本文）のリ（２）（i）（a）（ロ）２-8 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>（4）（vii）補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと安全冷却水系の内部ループリ（2）（i）（a）（ロ）2）-10配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、水供給設備の第1貯水槽の水を内部ループへ通水し、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液が沸騰に至る前に冷却でき、未沸騰状態を維持できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプとリ（2）（i）（a）（ロ）2）-11機器注水配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器へ注水でき、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプとリ（2）（i）（a）（ロ）2）-12冷却コイル配管・弁又は冷却ジャケット配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の冷却コイル又は冷却ジャケットへ通水し、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液</p>	<p>（2） 主要設備</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと安全冷却水系の内部ループ配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、水供給設備の第1貯水槽の水を内部ループへ通水し、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液が沸騰に至る前に冷却でき、未沸騰状態を維持できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと機器注水配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器へ注水でき、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと冷却コイル配管・弁又は冷却ジャケット配管・弁を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の冷却コイル又は冷却ジャケットへ通水し、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液の温度を低下させ、未沸騰状態を維持できる設計とする。</p>	<p>とする。リ（2）（i）（a）（ロ）2）-9なお、計測制御設備については第2章 個別項目の「4.1 計測制御設備」に、水供給設備については第2章 個別項目の「7.3 その他の主要な事項」の「7.3.8 水供給設備」に、補機駆動用燃料補給設備については第2章 個別項目の「7.1.1 電気設備」の「7.1.1.11 補機駆動用燃料補給設備」に示す。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと安全冷却水系の内部ループリ（2）（i）（a）（ロ）2）-10への通水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「内部ループ配管・弁」という）を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、水供給設備の第1貯水槽の水を内部ループへ通水し、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液が沸騰に至る前に冷却でき、未沸騰状態を維持できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプとリ（2）（i）（a）（ロ）2）-11貯槽等への注水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「機器注水配管・弁」という）を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器へ注水でき、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプとリ（2）（i）（a）（ロ）2）-12冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水で使用する主配管等（以下7.2.2.3では「冷却コイル配管・弁又は冷却ジャケット配管・弁」という）を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器の冷却コイル又は冷却ジャ</p>	<p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-9は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-9と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-10は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-10と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-11は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-11と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-12は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-12と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>の温度を低下させ、未沸騰状態を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと冷却水配管・弁（凝縮器）を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、代替換気設備のセル導出設備の凝縮器へ通水し、溶液の沸騰に伴い発生する蒸気を凝縮できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと可搬型排水受槽を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器への通水に使用した排水を可搬型排水受槽に一旦貯留した後、可搬型中型移送ポンプを運転することで、可搬型排水受槽の排水を水供給設備の第1貯水槽へ移送し、排水を再び水源として用いることができる設計とする。</u></p> <p><u>リ（2）（i）（a）（ロ）2）-4 1 代替換気設備のセル導出設備の凝縮器の詳細については、「ト.（1）（ii）（b）（イ）代替換気設備」に示す。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の冷却水給排水配管・弁等は、安全冷却水系リ（2）（i）（a）（ロ）2）-1 3 と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、弁等により隔離することで、安全冷却水系に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>上記以外の代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備の内部ループ配管・弁等は、可能な限り独立性又は位置的分散を図った上で、想定される重大事故等が発生し</u></p>	<p><u>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと冷却水配管・弁（凝縮器）を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、代替換気設備のセル導出設備の凝縮器へ通水し、溶液の沸騰に伴い発生する蒸気を凝縮できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと可搬型排水受槽を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器への通水に使用した排水を可搬型排水受槽に一旦貯留した後、可搬型中型移送ポンプを運転することで、可搬型排水受槽の排水を水供給設備の第1貯水槽へ移送し、排水を再び水源として用いることができる設計とする。</u></p> <p><u>代替換気設備のセル導出設備の凝縮器の詳細については、「7.2.2.1.2 系統構成及び主要設備」に示す。</u></p> <p><u>9.5.2.1.3 設計方針</u>  <u>（1）多様性、位置的分散</u>  <u>基本方針については、「1.7.18(1)a. 多様性、位置的分散」に示す。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の冷却水給排水配管・弁等は、安全冷却水系と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、弁等により隔離することで、安全冷却水系に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>上記以外の代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備の内部ループ配管・弁等は、可能な限り独立性又は位置的分散を図った上で、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件におい</u></p>	<p><u>ケットへ通水し、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液の温度を低下させ、未沸騰状態を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと冷却水配管・弁（凝縮器）を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、可搬型中型移送ポンプを運転することで、代替換気設備のセル導出設備の凝縮器へ通水し、溶液の沸騰に伴い発生する蒸気を凝縮できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系は、可搬型中型移送ポンプと可搬型排水受槽を可搬型建屋外ホース、可搬型建屋内ホース等を用いて接続した上で、内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器への通水に使用した排水を可搬型排水受槽に一旦貯留した後、可搬型中型移送ポンプを運転することで、可搬型排水受槽の排水を水供給設備の第1貯水槽へ移送し、排水を再び水源として用いることができる設計とする。</u></p> <p><u>リ（2）（i）（a）（ロ）2）-4 1 代替換気設備のセル導出設備の凝縮器の詳細については、第2章 個別項目の「5.1 気体廃棄物の廃棄施設」の「5.1.6 代替換気設備」に示す。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の冷却水給排水配管・弁等は、リ（2）（i）（a）（ロ）2）-1 3 共通要因によって安全冷却水系と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、弁等により隔離することで、安全冷却水系に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>上記以外の代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備の内部ループ配管・弁等は、可能な限り独立性又は位置的分散を図った上で、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びそ</u></p>	<p>設工認の <u>リ（2）（i）（a）（ロ）2）-4 1</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ（2）（i）（a）（ロ）2）-4 1</u> と同義であり整合している。</p> <p>設工認の <u>リ（2）（i）（a）（ロ）2）-1 3</u> は、事業変更許可申請書（本文）の <u>リ（2）（i）（a）（ロ）2）-1 3</u> と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>た場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、安全冷却水系リ（2）（i）(a)(ロ)2)-1 4と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、電気駆動である安全冷却水系の冷却水循環ポンプ及び内部ループの冷却水を循環するためのポンプと異なる駆動方式である空冷式のディーゼルエンジンにより駆動し、必要な燃料は、補機駆動用燃料補給設備から補給が可能な設計とすることで、安全冷却水系に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプを使用した水の供給は、水供給設備の第1貯水槽を水源とすることで、大気を最終ヒートシンクとする安全冷却水系に対して異なるヒートシンクを有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備リ（2）（i）(a)(ロ)2)-1 5と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、建屋外に設置することで、独立性を有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽、可搬型建屋外ホース等は、安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備リ（2）（i）(a)(ロ)2)-1 6と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管すること</p>	<p>て、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p> <p>重大事故等時の環境条件に対する健全性については、「9.5.2.1.3(4) 環境条件等」に記載する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、安全冷却水系と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、電気駆動である安全冷却水系の冷却水循環ポンプ及び内部ループの冷却水を循環するためのポンプと異なる駆動方式である空冷式のディーゼルエンジンにより駆動し、必要な燃料は、補機駆動用燃料補給設備から補給が可能な設計とすることで、安全冷却水系に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプを使用した水の供給は、水供給設備の第1貯水槽を水源とすることで、大気を最終ヒートシンクとする安全冷却水系に対して異なるヒートシンクを有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、建屋外に設置することで、独立性を有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽、可搬型建屋外ホース等は、安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管すること</p>	<p>の他の使用条件において、その機能を確実に発揮できる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、リ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 4共通要因によって安全冷却水系と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、電気駆動である安全冷却水系の冷却水循環ポンプ及び内部ループの冷却水を循環するためのポンプと異なる駆動方式である空冷式のディーゼルエンジンにより駆動し、必要な燃料は、補機駆動用燃料補給設備から補給が可能な設計とすることで、安全冷却水系に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプを使用した水の供給は、水供給設備の第1貯水槽を水源とすることで、大気を最終ヒートシンクとする安全冷却水系に対して異なるヒートシンクを有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、リ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 5共通要因によって安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、建屋外に設置することで、独立性を有する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽、可搬型建屋外ホース等は、リ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 6共通要因によって安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管すること</p>	<p>設工認のリ（2）(i)(a)(ロ)2)-1 4は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 4と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）(i)(a)(ロ)2)-1 5は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 5と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）(i)(a)(ロ)2)-1 6は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 6と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）(i)(a)(ロ)2)-1 6は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2)-1 6と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>でリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-１７）<u>位置的分散を図る。また、屋外に設置する安全冷却水系の冷却塔からも100m以上のリ</u>  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-１８）</u>離隔距離を確保する。-</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は、安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備リ（２）（ｉ）<u>（ａ）（ロ）２）-１９）</u>と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで位置的分散を図る。また、屋外に設置する安全冷却水系の冷却塔からも100m以上の離隔距離をリ<u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２０）</u>確保する。-            対処を行う建屋内に保管する場合は安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される場所と異なる場所に保管することでリ（２）（ｉ）<u>（ａ）（ロ）２）-２１）</u>位置的分散を図る。-</p> <p>建屋の外から水を供給する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋</p>	<p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は、安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで位置的分散を図る。また、屋外に設置する安全冷却水系の冷却塔からも100m以上の離隔距離を確保する。対処を行う建屋内に保管する場合は安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される場所と異なる場所に保管することで位置的分散を図る。-</p> <p>建屋の外から水を供給する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース</p>	<p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-１７）<u>位置的分散を図る設計とする。また、屋外に設置する安全冷却水系の冷却塔からも100m以上の離隔距離をリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-１</u>  <u>８）</u>確保する設計とする。-</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は、リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-１９）<u>共通要因によって安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップも含めて必要な数量を安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される建屋から100m以上の離隔距離を確保した外部保管エリアに保管するとともに、対処を行う建屋にも保管することで位置的分散を図る設計とする。また、屋外に設置する安全冷却水系の冷却塔からも100m以上の離隔距離をリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２</u>  <u>０）</u>確保する設計とする。対処を行う建屋内に保管する場合は安全冷却水系又は代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備が設置される場所と異なる場所に保管することでリ  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２</u>  <u>１）</u>位置的分散を図る設計とする。-</p> <p>建屋の外から水を供給する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋</p>	<p>7は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ</u>  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）</u>  <u>２）-17）</u>と同義であり整合している。            設工認の<u>リ（２）</u>  <u>（ｉ）（ａ）（ロ）２）-1</u>  <u>8）</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ</u>  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）</u>  <u>２）-18）</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）</u>  <u>（ｉ）（ａ）（ロ）２）-1</u>  <u>9）</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ</u>  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）</u>  <u>２）-19）</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）</u>  <u>（ｉ）（ａ）（ロ）２）-2</u>  <u>0）</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ</u>  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）</u>  <u>２）-20）</u>と同義であり整合している。            設工認の<u>リ（２）</u>  <u>（ｉ）（ａ）（ロ）２）-2</u>  <u>1）</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ</u>  <u>（２）（ｉ）（ａ）（ロ）</u>  <u>２）-21）</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>内ホース等と代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁，機器注水配管・弁，冷却コイル配管・弁，冷却ジャケット配管・弁等の常設重大事故等対処設備との接続口は，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，複数のアクセスルートを踏まえて自然現象，人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する。また，溢水，化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>一つの接続口で「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水及び放射線分解により発生する水素による爆発の圧縮空気の供給のために兼用して使用する代替安全冷却水系の機器注水配管・弁は，それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁，冷却コイル配管・弁及び冷却ジャケット配管・弁は，弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の機器注水配管・弁等は，重大事故等発生前（通常時）の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p>	<p><u>等と代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁，機器注水配管・弁，冷却コイル配管・弁，冷却ジャケット配管・弁等の常設重大事故等対処設備との接続口は，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，複数のアクセスルートを踏まえて自然現象，人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する。また，溢水，化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>一つの接続口で「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水及び放射線分解により発生する水素による爆発の圧縮空気の供給のために兼用して使用する代替安全冷却水系の機器注水配管・弁は，それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。</u></p> <p><u>(2) 悪影響防止</u> 基本方針については，「1.7.18(1).b. 悪影響防止」に示す。</p> <p><u>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁，冷却コイル配管・弁及び冷却ジャケット配管・弁は，弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の機器注水配管・弁等は，重大事故等発生前（通常時）の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは，回転体が飛散することを防ぐことで他の設</u></p>	<p><u>内ホース等と代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁，機器注水配管・弁，冷却コイル配管・弁，冷却ジャケット配管・弁等の常設重大事故等対処設備との接続口は，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，複数のアクセスルートを踏まえて自然現象，人為事象及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋内の適切に隔離した隣接しない位置の異なる複数の場所に設置する設計とする。また，溢水，化学薬品漏えい及び火災によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>一つの接続口で「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水及び放射線分解により発生する水素による爆発の圧縮空気の供給のために兼用して使用する代替安全冷却水系の機器注水配管・弁は，それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁，冷却コイル配管・弁及び冷却ジャケット配管・弁は，弁等の操作によって安全機能を有する施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の機器注水配管・弁等は，重大事故等発生前（通常時）の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成とすることにより，他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは，回転体が飛散することを防ぐこ</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液の冷却、同機器への注水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器が所定の除熱能力を発揮するために必要な給水流量を有する設計とするとともに、保有数は、リ（2） （i）（a）（ロ）2-2 2必要数として6台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを7台の合計13台以上を確保する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、想定される重大事故等時において、冷却に使用した排水を受け取るために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、リ（2）（i）（a）（ロ）2-2 3必要数として8基、予備として故障時のバックアップを8基の合計16基以上を確保する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループへの通水、同機器への注水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水を同時に実施する場合に必要な給水流量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p>	<p>備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>（3） 個数及び容量 基本方針については、「1.7.18(2) 個数及び容量」に示す。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液の冷却、同機器への注水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器が所定の除熱能力を発揮するために必要な給水流量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として6台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを7台の合計13台以上を確保する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、想定される重大事故等時において、冷却に使用した排水を受け取るために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として8基、予備として故障時のバックアップを8基の合計16基以上を確保する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループへの通水、同機器への注水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水を同時に実施する場合に必要な給水流量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p>	<p>とで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液の冷却、同機器への注水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器が所定の除熱能力を発揮するために必要な給水流量を有する設計とするとともに、保有数は、リ（2）（i）（a）（ロ）2-2 2必要数並びに予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、想定される重大事故等時において、冷却に使用した排水を受け取るために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、リ（2）（i）（a）（ロ）2-2 3必要数及び予備として故障時のバックアップを含め十分な基数を確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループへの通水、同機器への注水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水を同時に実施する場合に必要な給水流量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p>	<p>設工認のリ（2） （i）（a）（ロ）2-2 2は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2-2 2と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2） （i）（a）（ロ）2-2 3は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2-2 3と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-２４また、代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、同時に発生する可能性のある事故への対処も含めて必要な容量を確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水を同時に実施した場合に発生する排水を一時貯留するために必要な容量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p> <p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-２５また、代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホースのうち、内部ループへの通水、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水、代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水に使用する可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては１本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、安全冷却水系の冷却機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処することから、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を１セットリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-２６確保する。</p>	<p>また、代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、同時に発生する可能性のある事故への対処も含めて必要な容量を確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水を同時に実施した場合に発生する排水を一時貯留するために必要な容量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p> <p>また、代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホースのうち、内部ループへの通水、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水、代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水に使用する可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては１本以上の予備を含めた個数を必要数として確保する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、安全冷却水系の冷却機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処することから、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を１セット確保する。</p>	<p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-２４代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、同時に発生する可能性のある事故への対処も含めて必要な容量を確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型排水受槽は、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器に内包する溶液を冷却している内部ループへの通水、冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水を同時に実施した場合に発生する排水を一時貯留するために必要な容量を有する設計とし、兼用できる設計とする。</p> <p>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-２５代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホースのうち、内部ループへの通水、「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器への注水、代替換気設備のセル導出設備の凝縮器等への通水に使用する可搬型建屋内ホースは、複数の敷設ルートで対処できるよう必要数を複数の敷設ルートに確保するとともに、建屋内に保管するホースについては予備を含めた個数を必要数として確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、安全冷却水系の冷却機能の喪失を想定し、その範囲が系統で機能喪失する冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処することから、当該系統の範囲ごとに重大事故等への対処に必要な設備を１セットリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２-２６確保する設計とする。</p> <p>MOX 燃料加工施設と共用する代替安全冷却系の可搬型中型移送ポンプ運搬車は、可搬型中型移送ポンプを運搬できる設計とす</p>	<p>設工認のリ（２） （ｉ）（ａ）（ロ）２- ４は、事業変更許可申 請書（本文）のリ （２）（ｉ）（ａ）（ロ） ２-２４と同義であり 整合している。</p> <p>設工認のリ（２） （ｉ）（ａ）（ロ）２- ５は、事業変更許可申 請書（本文）のリ （２）（ｉ）（ａ）（ロ） ２-２５と同義であり 整合している。</p> <p>設工認のリ（２） （ｉ）（ａ）（ロ）２- ６は、事業変更許可申 請書（本文）のリ （２）（ｉ）（ａ）（ロ） ２-２６と同義であり 整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発による温度、圧力<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-27</math>及び湿度に対して、<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-28</math>機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発の同時発生を仮定する機器において、放射線分解により発生する水素による爆発の発生を仮定する機器における水素濃度ドライ換算 12v o 1%での水素爆発に伴う瞬間</p>	<p>(4) 環境条件等 基本方針については、「1.7.18(3) 環境条件等」に示す。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発による温度、圧力及び湿度に対して、機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発の同時発生を仮定する機器において、「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器における水素濃度ドライ換算12v o 1%での水素爆発に伴う瞬間的に上昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、機能を損なわない設計と</p>	<p>るとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時バックアップを3台の合計5台を確保する設計とする。</p> <p>MOX 燃料加工施設と共用する代替安全冷却系のホース展張車は、可搬型建屋外ホースを運搬できる設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時バックアップを3台の合計5台を確保する設計とする。</p> <p>MOX 燃料加工施設と共用する代替安全冷却系の運搬車は、可搬型建屋外ホース及び可搬型排水受槽を運搬できる設計とするとともに、保有数は、必要数として2台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時バックアップを3台の合計5台を確保する設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、同時に発生するおそれがある冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発による温度、圧力<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-27</math>、湿度、放射線及び荷重に対して、<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-28</math>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発の同時発生を仮定する機器において、「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器における水素濃度ドライ換算 12vo1%での水素爆発に伴う瞬</p>	<p>設工認の<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-27</math>は、事業変更許可申請書（本文）の<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-27</math>を含んでおり整合している。 設工認の<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-28</math>は、事業変更許可申請書（本文）の<math>\text{リ}(2)(i)(a)(\text{ロ})2-28</math>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>的に上昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２９</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３０</u>「<u>ロ（７）（ii）（b）（ホ）地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とすることで<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３１</u>その機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、<u>風（台風）等によりリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３２</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備及び常設重大事故等対処設備と可搬型重大事故等対処設備の接続口は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用すること又は影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損</p>	<p>する。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、「<u>1.7.18（５）地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、<u>風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備及び常設重大事故等対処設備と可搬型重大事故等対処設備の接続口は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用すること又は影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損</p>	<p>間的に上昇する温度及び圧力の影響を考慮しても、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２９</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３０</u>第１章 共通項目の「<u>9.2 重大事故等対処設備</u>」の「<u>9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計</u>」に基づく設計とすることで<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３１</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に設置し、<u>風（台風）等によりリ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３２</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備及び常設重大事故等対処設備と可搬型重大事故等対処設備の接続口は、<u>溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とする。</u></p> <p>代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備は、配管の全周破断に対して、適切な材料を使用すること又は影響を受けない場所に設置することにより、漏えいした放射</p>	<p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２９</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-２９</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３０</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３０</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３１</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３１</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３２</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３２</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>性物質を含む腐食性の液体（溶液，有機溶媒等）によりリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 3 機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は，外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し，風（台風）等によりリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 4 機能を損なわない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は，風（台風）及び竜巻に対して，風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し，収納するコンテナ等に対して転倒防止，固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ，可搬型排水受槽等は，風（台風）及び竜巻に対して，風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し，当該設備の転倒防止，固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは，リ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 5 「ロ．（7）（ii）（b）（ホ）地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 6 その機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は，溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し，影響を受けない高さへの保管，被水防護及び被液防護する設計とする。</p>	<p>なわれない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は，外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し，風（台風）等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は，風（台風）及び竜巻に対して，風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し，収納するコンテナ等に対して転倒防止，固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ，可搬型排水受槽等は，風（台風）及び竜巻に対して，風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し，当該設備の転倒防止，固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは，「1.7.18（5）地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は，溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し，影響を受けない高さへの保管，被水防護及び被液防護する設計とする。</p>	<p>性物質を含む腐食性の液体（溶液，有機溶媒等）によりリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 3 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は，外部からの衝撃による損傷を防止できる前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋に保管し，風（台風）等によりリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 4 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は，風（台風）及び竜巻に対して，風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し，収納するコンテナ等に対して転倒防止，固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>屋外に保管する代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ，可搬型排水受槽等は，風（台風）及び竜巻に対して，風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し，当該設備の転倒防止，固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>地震を要因として発生した場合に対処に用いる代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは，リ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 5 第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.6 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 6 重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は，溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し，影響を受けない高さへの保管，被水防護及び被液防護する設計とする。</p>	<p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 3 は，事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 3 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 4 は，事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 4 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 5 は，事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 5 と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 6 は，事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（a）（ロ）2）-3 6 と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ及び可搬型排水受槽等は、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 7</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 8</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない材質とすること又は漏えい量を考慮した位置又は構造、被液防護等の措置を講じて保管することにより、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 9</u>機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁の弁等の操作は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生し</p>	<p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ及び可搬型排水受槽等は、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系のうち、屋外に設置する可搬型中型移送ポンプ等は、積雪及び火山の影響に対して、積雪に対しては除雪する手順を、火山の影響（降下火砕物による積載荷重）に対しては除灰及び屋内へ配備する手順を整備する。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない材質とすること又は漏えい量を考慮した位置又は構造、被液防護等の措置を講じて保管することにより、機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁の弁等の操作は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合に</p>	<p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型排水受槽等は、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 7</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型建屋内ホース等は、内部発生飛散物の影響を考慮し、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 8</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない材質とすること又は漏えい量を考慮した位置に保管することにより、<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 9</u>重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁の弁等の操作は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生し</p>	<p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 7</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 7</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 8</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 8</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 9</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ（２）（ｉ）（ａ）（ロ）２）-３ 9</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>た場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>安全冷却水系から代替安全冷却水系への切替えは、弁等の手動操作と可搬型建屋内ホース等による給排水経路の構築とし、重大事故等が発生した場合において、操作及び作業できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等と代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備との接続は、コネクタ接続又はフランジ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等と代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁、機器注水配管・弁、冷却コイル配管・弁、冷却ジャケット配管・弁及び冷却水配管・弁（凝縮器）との接続口は、コネクタ接続又はフランジ接続に統一することにより、速やかに容易かつ確実に接続できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁、冷却コイル配管・弁、冷却ジャケット配管・弁、機器注水配管・弁及び冷却水配管・弁（凝縮器）は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等は、容易かつ確実に接続でき、複数の系統が相互に使用す</u></p>	<p><u>おいても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>安全冷却水系から代替安全冷却水系への切替えは、弁等の手動操作と可搬型建屋内ホース等による給排水経路の構築とし、重大事故等が発生した場合において、操作及び作業できる設計とする。</u></p> <p>(5) 操作性の確保 基本方針については、「1.7.18(4)a. 操作性の確保」に示す。</p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等と代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備との接続は、コネクタ接続又はフランジ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等と代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁、機器注水配管・弁、冷却コイル配管・弁、冷却ジャケット配管・弁及び冷却水配管・弁（凝縮器）との接続口は、コネクタ接続又はフランジ接続に統一することにより、速やかに容易かつ確実に接続できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁、冷却コイル配管・弁、冷却ジャケット配管・弁、機器注水配管・弁及び冷却水配管・弁（凝縮器）は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等は、容易かつ確実に接続でき、複数の系統が相互に使用することができ</u></p>	<p><u>た場合においても設置及び常設設備との接続に支障がないように、線量率の高くなるおそれの少ない場所の選定又は当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計とする。</u></p> <p><u>安全冷却水系から代替安全冷却水系への切替えは、弁等の手動操作と可搬型建屋内ホース等による給排水経路の構築とし、重大事故等が発生した場合において、操作及び作業できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等と代替安全冷却水系の常設重大事故等対処設備との接続は、コネクタ接続又はフランジ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等と代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁、機器注水配管・弁、冷却コイル配管・弁、冷却ジャケット配管・弁及び冷却水配管・弁（凝縮器）との接続口は、コネクタ接続又はフランジ接続に統一することにより、速やかに容易かつ確実に接続できる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の内部ループ配管・弁、冷却コイル配管・弁、冷却ジャケット配管・弁、機器注水配管・弁及び冷却水配管・弁（凝縮器）は、通常時に使用する系統から速やかに切り替えることができるよう、系統に必要な弁等を設ける設計とし、それぞれ簡易な接続及び弁等の操作により安全機能を有する施設の系統から重大事故等対処設備の系統に速やかに切り替えられる設計とする。</u></p> <p><u>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ、可搬型建屋内ホース等は、容易かつ確実に接続でき、複数の系統が相互に使用す</u></p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>ることができるよう、配管・ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、リ（2）（i）（a）（ロ）2）-4 0再処理施設の運転中又は停止中に独立して外観点検、員数確認、性能確認、分解点検等が可能な設計とするとともに、分解又は取替えが可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプを使用した内部ループへの通水等の接続口は、外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>るよう、配管・ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</p> <p>9.5.2.1.4 主要設備の仕様 代替安全冷却水系の主要設備を第9.5-3(1)表に、代替安全冷却水に関連するその他設備の概略仕様を第9.5-3表(2)～第9.5-3表(5)に、代替安全冷却水系の系統概要図を第9.5-7図、第9.5-10図、第9.5-13図及び第9.5-16図に示す。◇2 代替安全冷却水系の機器及び接続口配置概要図を第9.5-8図、第9.5-11図、第9.5-14図及び第9.5-17図、接続口配置図及び接続口一覧を第9.5-9図、第9.5-12図、第9.5-15図及び第9.5-18図に示す。</p> <p>9.5.2.1.5 試験・検査 基本方針については、「1.7.18(4) b. 試験・検査性」に示す。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、再処理施設の運転中又は停止中に独立して外観点検、員数確認、性能確認、分解点検等が可能な設計とするとともに、分解又は取替えが可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプを使用した内部ループへの通水等の接続口は、外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>ることができるよう、配管・ダクト・ホースは口径並びに内部流体の圧力及び温度に応じたフランジ接続又はより簡便な接続方式を用いる設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、リ（2）（i）（a）（ロ）2）-4 0通常時において、重大事故等に対処するために必要な機能を確認するため、独立して外観点検、員数確認、性能確認、分解点検等が可能な設計とするとともに、分解又は取替えが可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプは、運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプを使用した内部ループへの通水等の接続口は、外観の確認が可能な設計とする。</p>	<p>設工認のリ（2） （i）（a）（ロ）2）-4 0は、事業変更許可申請書（本文）のリ （2）（i）（a）（ロ） 2）-4 0と同義であり 整合している。</p>	

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																															
<p>(b) 主要な設備 (イ) 設計基準対象の施設</p> <p>1) 給水処理設備 i) 純水装置 1式 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-①</span></p> <p>2) 冷却水設備 i) 安全冷却水系</p> <p style="text-align: center;">使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔 (MOX燃料加工施設と共用) 2 基 (1 基/系列) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span></p>	<p style="text-align: center;">第9.5-1表(イ) 冷却水設備の主要設備の仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>冷却器*</th> <th>基 数</th> <th>冷却水循環ポンプ</th> <th>台 数</th> <th>主要な冷却対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伝熱容量 (1基当たり) 約 27MW (23×10<sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)</td> <td>2*</td> <td>容量 (1台当たり) 約 2,400 m<sup>3</sup>/h</td> <td>3*</td> <td rowspan="2">使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用</td> </tr> <tr> <td>約 12MW (10×10<sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)</td> <td>2</td> <td>約 1,800 m<sup>3</sup>/h</td> <td>4 (うち2台は予備)</td> </tr> <tr> <td>約 4MW (4×10<sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)</td> <td>2</td> <td>約 450 m<sup>3</sup>/h</td> <td>2</td> <td>第2非常用ディーゼル発電機用</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>(注) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る設備である。</small></p>	冷却器*	基 数	冷却水循環ポンプ	台 数	主要な冷却対象設備	伝熱容量 (1基当たり) 約 27MW (23×10 <sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)	2*	容量 (1台当たり) 約 2,400 m <sup>3</sup> /h	3*	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用	約 12MW (10×10 <sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)	2	約 1,800 m <sup>3</sup> /h	4 (うち2台は予備)	約 4MW (4×10 <sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)	2	約 450 m <sup>3</sup> /h	2	第2非常用ディーゼル発電機用	<p>【その他再処理設備の附属施設】 (仕様表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">安全冷却水系冷却塔*</th> <th colspan="2">安全冷却水系高圧塔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">冷却塔</td> <td>種類</td> <td colspan="2">空冷式熱交換器</td> <td colspan="2">空冷式熱交換器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>MW/個</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span></td> </tr> <tr> <td>設計冷却空気流量</td> <td>kg/s</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面) *3</td> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">全長</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝熱管 (内管)</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>伝熱管 (内管)</td> <td>—</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>フィン</td> <td>—</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被膜</td> <td>ヘッダー</td> <td>—</td> <td colspan="3">耐火塗装*10*11</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">耐火塗装*10*11</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原動機</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">3以上*12</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">誘導電動機</td> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎</td> <td>ファン台数</td> <td>台</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて×横</td> <td>m</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="3">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">底面の標高</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>A系 T.M.S.L.</td> <td>B系 T.M.S.L.</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前		変更後		安全冷却水系冷却塔*		安全冷却水系高圧塔		冷却塔	種類	空冷式熱交換器		空冷式熱交換器		容量	設計熱交換量	MW/個	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>			設計冷却空気流量	kg/s	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>			最高使用圧力	MPa	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>			伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面) *3	最高使用温度	℃	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>			全長	mm	変更なし			全幅	mm	変更なし			全高	mm	変更なし			伝熱管 (内管)	外径	mm	変更なし			厚さ	mm	変更なし			主要材料	伝熱管 (内管)	—	変更なし			フィン	—	変更なし			耐火被膜	ヘッダー	—	耐火塗装*10*11			種類	—	耐火塗装*10*11			原動機	厚さ	mm	3以上*12			高さ	mm	変更なし			厚さ	mm	変更なし			誘導電動機	主要材料	—	変更なし			種類	—	誘導電動機			出力	kW/個	変更なし			基礎	ファン台数	台	変更なし			個数	—	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>			種類	—	変更なし			主要寸法	たて×横	m	変更なし			高さ	m	変更なし			主要材料	—	鉄筋コンクリート			底面の標高	—	—	A系 T.M.S.L.	B系 T.M.S.L.	変更なし	<p>事業変更許可申請書 (本文) において許可を受けた <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-①</span> は、本設工認では仕様表対象外である。</p> <p>設工認の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span> は、事業変更許可申請書 (本文) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span> と同義であり整合している。</p>	
冷却器*	基 数	冷却水循環ポンプ	台 数	主要な冷却対象設備																																																																																																																																																																															
伝熱容量 (1基当たり) 約 27MW (23×10 <sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)	2*	容量 (1台当たり) 約 2,400 m <sup>3</sup> /h	3*	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用																																																																																																																																																																															
約 12MW (10×10 <sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)	2	約 1,800 m <sup>3</sup> /h	4 (うち2台は予備)																																																																																																																																																																																
約 4MW (4×10 <sup>6</sup> kcal/h) (外気温29℃における)	2	約 450 m <sup>3</sup> /h	2	第2非常用ディーゼル発電機用																																																																																																																																																																															
名称		変更前		変更後																																																																																																																																																																															
		安全冷却水系冷却塔*		安全冷却水系高圧塔																																																																																																																																																																															
冷却塔	種類	空冷式熱交換器		空冷式熱交換器																																																																																																																																																																															
	容量	設計熱交換量	MW/個	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>																																																																																																																																																																															
		設計冷却空気流量	kg/s	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>																																																																																																																																																																															
		最高使用圧力	MPa	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>																																																																																																																																																																															
	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面) *3	最高使用温度	℃	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>																																																																																																																																																																															
		全長	mm	変更なし																																																																																																																																																																															
			全幅	mm	変更なし																																																																																																																																																																														
			全高	mm	変更なし																																																																																																																																																																														
		伝熱管 (内管)	外径	mm	変更なし																																																																																																																																																																														
			厚さ	mm	変更なし																																																																																																																																																																														
	主要材料	伝熱管 (内管)	—	変更なし																																																																																																																																																																															
		フィン	—	変更なし																																																																																																																																																																															
	耐火被膜	ヘッダー	—	耐火塗装*10*11																																																																																																																																																																															
		種類	—	耐火塗装*10*11																																																																																																																																																																															
	原動機	厚さ	mm	3以上*12																																																																																																																																																																															
高さ		mm	変更なし																																																																																																																																																																																
厚さ		mm	変更なし																																																																																																																																																																																
誘導電動機	主要材料	—	変更なし																																																																																																																																																																																
	種類	—	誘導電動機																																																																																																																																																																																
	出力	kW/個	変更なし																																																																																																																																																																																
基礎	ファン台数	台	変更なし																																																																																																																																																																																
	個数	—	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リ(2)(i)(b)-②</span>																																																																																																																																																																																
	種類	—	変更なし																																																																																																																																																																																
主要寸法	たて×横	m	変更なし																																																																																																																																																																																
	高さ	m	変更なし																																																																																																																																																																																
	主要材料	—	鉄筋コンクリート																																																																																																																																																																																
底面の標高	—	—	A系 T.M.S.L.	B系 T.M.S.L.	変更なし																																																																																																																																																																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																					
		<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>安全冷却水系**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L. 55.30m**</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>取水箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>漏水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：*1 安全冷却水系冷却塔は、MOX 燃料加工施設と共用する。  *2 安全冷却水系冷却塔は、再処理施設にて設備登録を行っている。  *3：公称値を示す。  *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水系冷却塔 A,B [ ]」と記載。  *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「伝熱面積(フィン外表面)」と記載。  *6：漏水防護機能を要求されない設備のため「-」とする。  *7：化学薬品防護機能を要求されない設備のため「-」とする。  *8：遮熱板は耐火被覆を施工する。  *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  *10：建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号 FP060CN-0000 を取得した主材および下塗り材を使用する。  *11：航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火災直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。  *12：主材厚さを示す。  *13：蒸気配管付近の高さを示す。</p> <p>安全上重要な施設に対する離隔距離表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">炭素鋼</td><td>36</td><td>1</td></tr> <tr><td>28</td><td>2</td></tr> <tr><td>22</td><td>4</td></tr> <tr><td>19</td><td>5</td></tr> <tr><td>14</td><td>7</td></tr> <tr><td>13</td><td>8</td></tr> <tr><td>11</td><td>9</td></tr> <tr><td>9</td><td>11</td></tr> <tr><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>15</td></tr> <tr><td>6</td><td>15</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>18</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>21</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>23</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>25</td></tr> <tr><td rowspan="4">ステンレス鋼</td><td>20</td><td>4</td></tr> <tr><td>16</td><td>6</td></tr> <tr><td>12</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>		変更前	変更後	系統名 (ライン名)	安全冷却水系**		設置床	屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L. 55.30m**	変更なし	取水箇所			漏水防護上の区画番号	-	屋外	漏水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	屋外	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	36	1	28	2	22	4	19	5	14	7	13	8	11	9	9	11	8	13	6.4	15	6	15	4.5	18	3.9	19	3.2	21	2.11	23	1.2	25	ステンレス鋼	20	4	16	6	12	8	9	11		
	変更前	変更後																																																																							
系統名 (ライン名)	安全冷却水系**																																																																								
設置床	屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L. 55.30m**	変更なし																																																																							
取水箇所																																																																									
漏水防護上の区画番号	-	屋外																																																																							
漏水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上																																																																							
化学薬品防護上の区画番号	-	屋外																																																																							
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上																																																																							
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																							
炭素鋼	36	1																																																																							
	28	2																																																																							
	22	4																																																																							
	19	5																																																																							
	14	7																																																																							
	13	8																																																																							
	11	9																																																																							
	9	11																																																																							
	8	13																																																																							
	6.4	15																																																																							
	6	15																																																																							
	4.5	18																																																																							
	3.9	19																																																																							
	3.2	21																																																																							
	2.11	23																																																																							
1.2	25																																																																								
ステンレス鋼	20	4																																																																							
	16	6																																																																							
	12	8																																																																							
	9	11																																																																							

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																	
<p>再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔</p> <p>2 基 (1基/系列) リ</p> <p>(2)(i)(b)-③</p>		<p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 給水施設及び蒸気供給施設</p> <p>1.1.1 冷却水設備</p> <p>1.1.1.1 安全冷却水系</p> <p>(1) 熱交換器</p> <table border="1" data-bbox="1516 415 2169 1108"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>安全冷却水冷却塔</td> <td>リ(2)(i)(b)-③</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>空冷式熱交換器</td> <td>冷却塔：空冷式熱交換器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>MW/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計冷却空気流量</td> <td>kg/s/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> <td rowspan="4">左記に同じ</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管 外径 (内管) 厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>伝熱管(内管)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィン</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗装*5*6</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>3以上*7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1516 1129 2169 1829"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">冷却塔</td> <td>高さ (原動機側)</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ (減速機側)</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原動機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ファン台数</td> <td>台</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>前処理建屋 屋上</td> </tr> <tr> <td>たて×横</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">底面の標高</td> <td>T.M.S.L. [ ]</td> <td>T.M.S.L. [ ]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>安全冷却水系*4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床</td> <td>-</td> <td>屋外 前処理建屋屋上 T.M.S.L. [ ]*4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>屋外 前処理建屋付近*4 T.M.S.L. 55.00m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>屋外 T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>屋外 T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>屋外 T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		安全冷却水冷却塔	リ(2)(i)(b)-③	種類		空冷式熱交換器	冷却塔：空冷式熱交換器	容量	設計熱交換量	MW/個		設計冷却空気流量	kg/s/個		最高使用圧力	MPa		最高使用温度	℃		伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2		m <sup>2</sup> /個		主要寸法	全長	mm	左記に同じ	全幅	mm	全高	mm	伝熱管 外径 (内管) 厚さ	mm	主要材料	伝熱管(内管)	-		フィン	-		ヘッダー	-		耐火被覆	種類	-	耐火塗装*5*6	厚さ	mm	3以上*7			変更前	変更後	冷却塔	高さ (原動機側)	mm		高さ (減速機側)	mm		厚さ	mm		主要材料	-		原動機	種類	-	誘導電動機	出力	kW/個		ファン台数	台		個数		-	1	基礎	種類	-	前処理建屋 屋上	たて×横	m		高さ	m		主要材料		-	鉄筋コンクリート	底面の標高		T.M.S.L. [ ]	T.M.S.L. [ ]	系統名 (ライン名)		-	安全冷却水系*4	設置床		-	屋外 前処理建屋屋上 T.M.S.L. [ ]*4	溢水防護上の区画番号		-	屋外 前処理建屋付近*4 T.M.S.L. 55.00m	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	屋外 T.M.S.L. [ ] 以上	化学薬品防護上の区画番号		-	屋外 T.M.S.L. [ ] 以上	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	屋外 T.M.S.L. [ ] 以上	<p>設工認のリ (2)(i)(b)-③は、事業変更許可申請書 (本文) リ(2)(i)(b)-③と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																																																		
名称		安全冷却水冷却塔	リ(2)(i)(b)-③																																																																																																																																		
種類		空冷式熱交換器	冷却塔：空冷式熱交換器																																																																																																																																		
容量	設計熱交換量	MW/個																																																																																																																																			
	設計冷却空気流量	kg/s/個																																																																																																																																			
	最高使用圧力	MPa																																																																																																																																			
	最高使用温度	℃																																																																																																																																			
伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2		m <sup>2</sup> /個																																																																																																																																			
主要寸法	全長	mm	左記に同じ																																																																																																																																		
	全幅	mm																																																																																																																																			
	全高	mm																																																																																																																																			
	伝熱管 外径 (内管) 厚さ	mm																																																																																																																																			
主要材料	伝熱管(内管)	-																																																																																																																																			
	フィン	-																																																																																																																																			
	ヘッダー	-																																																																																																																																			
耐火被覆	種類	-	耐火塗装*5*6																																																																																																																																		
	厚さ	mm	3以上*7																																																																																																																																		
		変更前	変更後																																																																																																																																		
冷却塔	高さ (原動機側)	mm																																																																																																																																			
	高さ (減速機側)	mm																																																																																																																																			
	厚さ	mm																																																																																																																																			
	主要材料	-																																																																																																																																			
原動機	種類	-	誘導電動機																																																																																																																																		
	出力	kW/個																																																																																																																																			
	ファン台数	台																																																																																																																																			
個数		-	1																																																																																																																																		
基礎	種類	-	前処理建屋 屋上																																																																																																																																		
	たて×横	m																																																																																																																																			
	高さ	m																																																																																																																																			
主要材料		-	鉄筋コンクリート																																																																																																																																		
底面の標高		T.M.S.L. [ ]	T.M.S.L. [ ]																																																																																																																																		
系統名 (ライン名)		-	安全冷却水系*4																																																																																																																																		
設置床		-	屋外 前処理建屋屋上 T.M.S.L. [ ]*4																																																																																																																																		
溢水防護上の区画番号		-	屋外 前処理建屋付近*4 T.M.S.L. 55.00m																																																																																																																																		
溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	屋外 T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																																																																		
化学薬品防護上の区画番号		-	屋外 T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																																																																		
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	屋外 T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																																																																		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
		<p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1 : 公称値を示す。</li> <li>* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「伝熱面積 (フィン外表面)」と記載。</li> <li>* 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「安全冷却水 A, B 冷却塔」と記載。</li> <li>* 4 : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</li> <li>* 5 : 建築基準法第二条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。</li> <li>* 6 : 周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、支持架構等の構造を維持する必要がある部材については、火災直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。</li> <li>* 7 : 主材厚さを示す。</li> <li>* 8 : 原動機及び減速機を対象とする。</li> <li>* 9 : 遮熱板の受熱面側には支持架構と同じ仕様の耐火被覆を施工する。</li> </ul> <p>安全上重要な施設に対する離隔距離表</p> <table border="1" data-bbox="1525 678 2056 1335"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">炭素鋼</td><td>36</td><td>1</td></tr> <tr><td>28</td><td>2</td></tr> <tr><td>22</td><td>4</td></tr> <tr><td>19</td><td>5</td></tr> <tr><td>15</td><td>7</td></tr> <tr><td>14</td><td>7</td></tr> <tr><td>13</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>11</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td></tr> <tr><td>9</td><td>11</td></tr> <tr><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><td>6.5</td><td>15</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>15</td></tr> <tr><td>6</td><td>15</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>18</td></tr> <tr><td>3.91</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>21</td></tr> <tr><td>2.3</td><td>23</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>23</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>25</td></tr> <tr><td rowspan="4">ステンレス鋼</td><td>20</td><td rowspan="4" style="text-align: center;">/</td></tr> <tr><td>16</td></tr> <tr><td>12</td></tr> <tr><td>9</td></tr> </tbody> </table>	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	36	1	28	2	22	4	19	5	15	7	14	7	13	8	12	9	11	9	10	-	9	11	8	13	6.5	15	6.4	15	6	15	4.5	18	3.91	19	3.9	19	3.2	21	2.3	23	2.11	23	1.2	25	ステンレス鋼	20	/	16	12	9		
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																								
炭素鋼	36	1																																																								
	28	2																																																								
	22	4																																																								
	19	5																																																								
	15	7																																																								
	14	7																																																								
	13	8																																																								
	12	9																																																								
	11	9																																																								
	10	-																																																								
	9	11																																																								
	8	13																																																								
	6.5	15																																																								
	6.4	15																																																								
	6	15																																																								
	4.5	18																																																								
	3.91	19																																																								
	3.9	19																																																								
	3.2	21																																																								
	2.3	23																																																								
2.11	23																																																									
1.2	25																																																									
ステンレス鋼	20	/																																																								
	16																																																									
	12																																																									
	9																																																									

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																								
		<p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 給水施設及び蒸気供給施設</p> <p>1.1.1 冷却水設備</p> <p>1.1.1.1 安全冷却水系</p> <p>(1) 熱交換器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>安全冷却水冷却機*</td> <td>リ(2)(i)(b)-③</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>空冷式 熱交換器</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">容量</td> <td>設計熱交換量</td> <td>MP/個</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設計冷却 空気流量</td> <td>kg/s</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>伝熱面積 (伝熱管及び フィン外表面)*2</td> <td>m<sup>2</sup>/個</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要 寸法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管 外径 (内管) 厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>伝熱管 (内管)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 材料</td> <td>フィン</td> <td>-</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>耐火 被覆</td> <td>種類 - 厚さ mm</td> <td>耐火塗料*5*6 3以上*7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">冷却 塔 *8*9</td> <td>高さ (原動機側)</td> <td>mm</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>高さ (減速機側)</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原 動 機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>ファン台数</td> <td>台</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>リ(2)(i)(b)-③</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		安全冷却水冷却機*	リ(2)(i)(b)-③	種類		空冷式 熱交換器		容量	設計熱交換量	MP/個	変更なし	設計冷却 空気流量	kg/s	最高使用圧力	MPa	最高使用温度	℃	伝熱面積 (伝熱管及び フィン外表面)*2	m <sup>2</sup> /個	主要 寸法	全長	mm	変更なし	全幅	mm	全高	mm	伝熱管 外径 (内管) 厚さ	mm	伝熱管 (内管)	-	主要 材料	フィン	-	変更なし	ヘッダー	-	耐火 被覆	種類 - 厚さ mm	耐火塗料*5*6 3以上*7			変更前	変更後	冷却 塔 *8*9	高さ (原動機側)	mm	変更なし	高さ (減速機側)	mm	厚さ	mm	主要材料	-	原 動 機	種類	-	誘導電動機	出力	kW/個	変更なし	ファン台数	台	変更なし	個数	-	リ(2)(i)(b)-③		
		変更前	変更後																																																																									
名称		安全冷却水冷却機*	リ(2)(i)(b)-③																																																																									
種類		空冷式 熱交換器																																																																										
容量	設計熱交換量	MP/個	変更なし																																																																									
	設計冷却 空気流量	kg/s																																																																										
	最高使用圧力	MPa																																																																										
	最高使用温度	℃																																																																										
	伝熱面積 (伝熱管及び フィン外表面)*2	m <sup>2</sup> /個																																																																										
主要 寸法	全長	mm	変更なし																																																																									
	全幅	mm																																																																										
	全高	mm																																																																										
	伝熱管 外径 (内管) 厚さ	mm																																																																										
	伝熱管 (内管)	-																																																																										
主要 材料	フィン	-	変更なし																																																																									
	ヘッダー	-																																																																										
	耐火 被覆	種類 - 厚さ mm		耐火塗料*5*6 3以上*7																																																																								
		変更前	変更後																																																																									
冷却 塔 *8*9	高さ (原動機側)	mm	変更なし																																																																									
	高さ (減速機側)	mm																																																																										
	厚さ	mm																																																																										
	主要材料	-																																																																										
原 動 機	種類	-	誘導電動機																																																																									
	出力	kW/個	変更なし																																																																									
	ファン台数	台	変更なし																																																																									
	個数	-	リ(2)(i)(b)-③																																																																									



事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">基礎</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">変更なし</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>たて×横 高さ</td> <td>m m</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取付箇所</td> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>底面の標高</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ]</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>安全冷却水系*4</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>屋外 分析棟屋付近 T.M.S.L. 55.00m*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L. [ ] 以上</td> </tr> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1 : 公称値を示す。</li> <li>* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「伝熱面積 (フィン外表面)」と記載。</li> <li>* 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「安全冷却水A, B冷却塔 [ ]」と記載。</li> <li>* 4 : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</li> <li>* 5 : 建築基準法第二条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。</li> <li>* 6 : 周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、支持架構等の構造を維持する必要がある部材については、火災直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。</li> <li>* 7 : 主材厚さを示す。</li> <li>* 8 : 原動機及び減速機を対象とする。</li> <li>* 9 : 遮熱板の受熱面側には支持架構と同じ仕様の耐火被覆を施工する。</li> </ul> <p>安全上重要な施設に対する離隔距離表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">炭素鋼</td><td>36</td><td>1</td></tr> <tr><td>28</td><td>2</td></tr> <tr><td>22</td><td>4</td></tr> <tr><td>19</td><td>5</td></tr> <tr><td>15</td><td>7</td></tr> <tr><td>14</td><td>7</td></tr> <tr><td>13</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>11</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td></tr> <tr><td>9</td><td>11</td></tr> <tr><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><td>6.5</td><td>15</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>15</td></tr> <tr><td>6</td><td>15</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>18</td></tr> <tr><td>3.91</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>21</td></tr> <tr><td>2.3</td><td>23</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>23</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>25</td></tr> <tr><td rowspan="4">ステンレス鋼</td><td>20</td><td rowspan="4" style="text-align: center;">/</td></tr> <tr><td>16</td></tr> <tr><td>12</td></tr> <tr><td>9</td></tr> </tbody> </table>	基礎	種類	-	変更なし	主要寸法	たて×横 高さ	m m	取付箇所	主要材料	-	鉄筋 コンクリート	底面の標高	-	T.M.S.L. [ ]	系統名 (ライン名)	-	安全冷却水系*4	設置床	-	屋外 分析棟屋付近 T.M.S.L. 55.00m*4	溢水防護上の区画番号	-	屋外	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上	化学薬品防護上の区画番号	-	屋外	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	36	1	28	2	22	4	19	5	15	7	14	7	13	8	12	9	11	9	10	-	9	11	8	13	6.5	15	6.4	15	6	15	4.5	18	3.91	19	3.9	19	3.2	21	2.3	23	2.11	23	1.2	25	ステンレス鋼	20	/	16	12	9		
基礎	種類	-		変更なし																																																																																						
	主要寸法	たて×横 高さ	m m																																																																																							
取付箇所	主要材料	-	鉄筋 コンクリート																																																																																							
	底面の標高	-	T.M.S.L. [ ]																																																																																							
	系統名 (ライン名)	-	安全冷却水系*4																																																																																							
	設置床	-	屋外 分析棟屋付近 T.M.S.L. 55.00m*4																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	-	屋外																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																							
	化学薬品防護上の区画番号	-	屋外																																																																																							
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. [ ] 以上																																																																																							
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																																								
炭素鋼	36	1																																																																																								
	28	2																																																																																								
	22	4																																																																																								
	19	5																																																																																								
	15	7																																																																																								
	14	7																																																																																								
	13	8																																																																																								
	12	9																																																																																								
	11	9																																																																																								
	10	-																																																																																								
	9	11																																																																																								
	8	13																																																																																								
	6.5	15																																																																																								
	6.4	15																																																																																								
	6	15																																																																																								
	4.5	18																																																																																								
	3.91	19																																																																																								
	3.9	19																																																																																								
3.2	21																																																																																									
2.3	23																																																																																									
2.11	23																																																																																									
1.2	25																																																																																									
ステンレス鋼	20	/																																																																																								
	16																																																																																									
	12																																																																																									
	9																																																																																									

第2非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系冷却塔  
 2. 基 (1基/系列) リ  
 (2)(i)(b)-④

		変更前	変更後
名称		冷却機 *3	リ(2)(i)(b)-④
種類		空冷式 熱交換器	基礎:直接基礎 冷却塔:空冷式 熱交換器
容量	設計熱交換量	MW/個	変更なし
	設計冷却空気流量	kg/h	
	最高使用圧力	MPa	
	最高使用温度	℃	
	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)**	m <sup>2</sup> /個	
	伝熱管(内管) 外径	mm	
主要寸法	全長	mm	
	全幅	mm	
	全高	mm	
	伝熱管(内管) 厚さ	mm	
主要材料	伝熱管(内管)	-	
	フィン	-	
	ヘッダー	-	
耐火被覆	種類	-	耐火塗装***
	厚さ	mm	3以上**

(つづき)

		変更前	変更後
冷却塔	高さ(原動機側)	mm	変更なし
	高さ(減速機側)	mm	
	厚さ	mm	
	主要材料	-	
原動機	種類	-	誘導電動機
	出力	kW/個	変更なし
	ファン台数	台	変更なし
基礎	個数	-	リ(2)(i)(b)-④
	種類	-	変更なし
	主要寸法	たて×横	m
	高さ	m	
取付箇所	主要材料	-	鉄筋 コンクリート
	底面の標高	-	T.M.S.L. 変更なし
	系統名(ライン名)	-	安全冷却水系*4
	設置床	-	屋外 非常用電源 建屋付近 T.M.S.L. 55.0m*4
	漏水防護上の 区画番号	-	屋外
	漏水防護上の 配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. 以上
化学薬品防護上の 区画番号	-	屋外	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L. 以上	

注記 \*1:公称値を示す。  
 \*2:記載の適正化を行う。既設工認には「伝熱面積(フィン外表面)」と記載。  
 \*3:記載の適正化を行う。既設工認には「冷却塔A、B」  
 \*4:既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。  
 \*5:建築基準法第二条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号P0603N-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。  
 \*6:周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、支持架構等の構造を維持する必要がある部材については、火災直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。  
 \*7:主材厚さを示す。  
 \*8:原動機及び減速機を対象とする。  
 \*9:遮熱板の受熱面側には支持架構と同じ仕様の耐火被覆を施工する。

設工認の  
 (2)(i)(b)-④は、事業変更許可申請書(本文) リ(2)(i)(b)-④と同義であり整合している。

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																						
		<p style="font-size: small;">安全上重要な施設に対する離隔距離表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">材料</th> <th style="width: 30%;">板厚 (mm)</th> <th style="width: 40%;">必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">炭素鋼</td><td>36</td><td>1</td></tr> <tr><td>28</td><td>2</td></tr> <tr><td>22</td><td>4</td></tr> <tr><td>19</td><td>5</td></tr> <tr><td>15</td><td>7</td></tr> <tr><td>14</td><td>7</td></tr> <tr><td>13</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>11</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td></tr> <tr><td>9</td><td>11</td></tr> <tr><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><td>6.5</td><td>15</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>15</td></tr> <tr><td>6</td><td>15</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>18</td></tr> <tr><td>3.91</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>19</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>21</td></tr> <tr><td>2.3</td><td>23</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>23</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>25</td></tr> <tr><td rowspan="4">ステンレス鋼</td><td>20</td><td rowspan="4" style="text-align: center;">/</td></tr> <tr><td>16</td></tr> <tr><td>12</td></tr> <tr><td>9</td></tr> </tbody> </table>	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	36	1	28	2	22	4	19	5	15	7	14	7	13	8	12	9	11	9	10	-	9	11	8	13	6.5	15	6.4	15	6	15	4.5	18	3.91	19	3.9	19	3.2	21	2.3	23	2.11	23	1.2	25	ステンレス鋼	20	/	16	12	9		
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																								
炭素鋼	36	1																																																								
	28	2																																																								
	22	4																																																								
	19	5																																																								
	15	7																																																								
	14	7																																																								
	13	8																																																								
	12	9																																																								
	11	9																																																								
	10	-																																																								
	9	11																																																								
	8	13																																																								
	6.5	15																																																								
	6.4	15																																																								
	6	15																																																								
	4.5	18																																																								
	3.91	19																																																								
	3.9	19																																																								
3.2	21																																																									
2.3	23																																																									
2.11	23																																																									
1.2	25																																																									
ステンレス鋼	20	/																																																								
	16																																																									
	12																																																									
	9																																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																							
<p>(ロ) 重大事故等対処設備 1) 水供給設備 [常設重大事故等対処設備] リ. (2)(i)(b)(ロ)1)-① 第1貯水槽（MOX燃料加工施設と共用） 1 基 容量 約 20,000m<sup>3</sup>（第1貯水槽A 約 10,000m<sup>3</sup>、第1貯水槽B 約 10,000m<sup>3</sup>）</p>		<p>リ. (2)(i)(b)(ロ)1)-① 【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <p>1.3.7 水供給設備 (1) 容器</p> <table border="1" data-bbox="1531 514 2151 1302"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td colspan="2">第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート貯槽</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td colspan="2">20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用圧力*2</td> <td>MPa</td> <td colspan="2">静水頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度*2</td> <td>℃</td> <td colspan="2">60</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">48000*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">109000*2</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6750*2, 7050*2</td> </tr> <tr> <td>壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2000*2</td> </tr> <tr> <td>床厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3000*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鋼数</td> <td>—</td> <td colspan="2">上</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>第1貯水槽A (水供給設備)</td> <td>第1貯水槽B (水供給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>T.M.S.L. 約47.65m</td> <td>T.M.S.L. 約47.65m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第1貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2: 公称値を示す。 *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後		名称			第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)		種類		—	鉄筋コンクリート貯槽		容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)		最高使用圧力*2		MPa	静水頭		最高使用温度*2		℃	60		主要寸法	たて	mm	48000*2		横	mm	109000*2		深さ	mm	6750*2, 7050*2		壁厚さ	mm	2000*2		床厚さ	mm	3000*2		主要材料		—	鉄筋コンクリート		鋼数		—	上		取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1貯水槽A (水供給設備)	第1貯水槽B (水供給設備)	設置床	—	T.M.S.L. 約47.65m	T.M.S.L. 約47.65m	溢水防護上の区画番号	—	—*3	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—*4	—	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	—	—	<p>設工認のリ. (2)(i)(b)(ロ)1)-① は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2)(i)(b)(ロ)1)-①と 同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																								
名称			第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																								
種類		—	鉄筋コンクリート貯槽																																																																																								
容量		m <sup>3</sup> /個	20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)																																																																																								
最高使用圧力*2		MPa	静水頭																																																																																								
最高使用温度*2		℃	60																																																																																								
主要寸法	たて	mm	48000*2																																																																																								
	横	mm	109000*2																																																																																								
	深さ	mm	6750*2, 7050*2																																																																																								
	壁厚さ	mm	2000*2																																																																																								
	床厚さ	mm	3000*2																																																																																								
主要材料		—	鉄筋コンクリート																																																																																								
鋼数		—	上																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1貯水槽A (水供給設備)	第1貯水槽B (水供給設備)																																																																																							
	設置床	—	T.M.S.L. 約47.65m	T.M.S.L. 約47.65m																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—*3	—																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—																																																																																							
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*4	—																																																																																							
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	—	—																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																						
<p>リ. (2) (i) (b) (v) 1)-② 第2貯水槽（MOX燃料加工施設と共用） 1 基 容量 約 20,000m<sup>3</sup>（第2貯水槽A 約 10,000m<sup>3</sup>、第2貯水槽B 約 10,000m<sup>3</sup>）</p>		<p>リ. (2) (i) (b) (v) 1)-② 【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <table border="1" data-bbox="1528 367 2151 1144"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td colspan="2">第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート貯槽</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> <td colspan="2">20000以上(20000*2) 第2貯水槽A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽B 10000以上(10000*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*5</td> <td>MPa</td> <td></td> <td colspan="2">静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*5</td> <td>℃</td> <td></td> <td colspan="2">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">48000*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">109000*2</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">6750*2, 7050*2</td> </tr> <tr> <td>壁厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2000*2</td> </tr> <tr> <td>床厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3000*2</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td></td> <td>第2貯水槽A (水供給設備)</td> <td>第2貯水槽B (水供給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>T. M. S. L 約 41.15m</td> <td>T. M. S. L 約 41.15m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-*3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td></td> <td>-*4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：第2貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2：公称値を示す。 *3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。 *5：重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後		名称			第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)		種類		-	鉄筋コンクリート貯槽		容量	m <sup>3</sup> /個		20000以上(20000*2) 第2貯水槽A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽B 10000以上(10000*2)		最高使用圧力*5	MPa		静水頭		最高使用温度*5	℃		40		主要寸法	たて	mm	48000*2		横	mm	109000*2		深さ	mm	6750*2, 7050*2		壁厚さ	mm	2000*2		床厚さ	mm	3000*2		主要材料			鉄筋コンクリート		個数			1		取付箇所	系統名（ライン名）		第2貯水槽A (水供給設備)	第2貯水槽B (水供給設備)	設置床		T. M. S. L 約 41.15m	T. M. S. L 約 41.15m	溢水防護上の区画番号		-*3	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-	化学薬品防護上の区画番号		-*4	-	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	-	<p>設工認のリ. (2) (i) (b) (v) 1)-②は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (b) (v) 1)-②と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																							
名称			第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																							
種類		-	鉄筋コンクリート貯槽																																																																																							
容量	m <sup>3</sup> /個		20000以上(20000*2) 第2貯水槽A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽B 10000以上(10000*2)																																																																																							
最高使用圧力*5	MPa		静水頭																																																																																							
最高使用温度*5	℃		40																																																																																							
主要寸法	たて	mm	48000*2																																																																																							
	横	mm	109000*2																																																																																							
	深さ	mm	6750*2, 7050*2																																																																																							
	壁厚さ	mm	2000*2																																																																																							
	床厚さ	mm	3000*2																																																																																							
主要材料			鉄筋コンクリート																																																																																							
個数			1																																																																																							
取付箇所	系統名（ライン名）		第2貯水槽A (水供給設備)	第2貯水槽B (水供給設備)																																																																																						
	設置床		T. M. S. L 約 41.15m	T. M. S. L 約 41.15m																																																																																						
	溢水防護上の区画番号		-*3	-																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-																																																																																						
	化学薬品防護上の区画番号		-*4	-																																																																																						
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	-																																																																																							


事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																											
<p>[可搬型重大事故等対処設備]  <u>リ. (2) (i) (b) (p) 1)-③</u>            大型移送ポンプ車 (MOX燃料加工施設と共用)            8 台 (予備として故障時のバックアップを4台)            (待機除外時バックアップを放水設備の大型移送ポンプ車の待機除外時バックアップと兼用)            容量 約 1,800m<sup>3</sup>/h/台</p>		<p>リ. (2) (i) (b) (p) 1)-③ 【その他再処理施設の附属施設】 (仕様表)</p> <p>(2) ポンプ</p> <table border="1" data-bbox="1546 384 2151 1291"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">ポンプ</td> <td>名称</td> <td></td> <td>大型移送ポンプ車(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>うず巻形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td>1800以上(1800*2)</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.19以上(1.2*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*</td> <td>MPa</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>350*2</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>300*2</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1125*2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1290*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>585*2</td> </tr> <tr> <td>車両全長</td> <td>mm</td> <td>11580*2</td> </tr> <tr> <td>車両全幅</td> <td>mm</td> <td>2495*2</td> </tr> <tr> <td>車両全高</td> <td>mm</td> <td>3520*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td>ダクタイル鋳鉄</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機</td> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>1193</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>角形</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料タンク</td> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>155以上(495*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力**</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度**</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td></td> <td>8 (予備として故障時のバックアップを4)***</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> <td>保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約55.00m及びT.M.S.L.約57.50m(4台)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1546 1329 2151 1617"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・外部保管エリア2 屋外エリアT.M.S.L.約48.50m(4台)  取付箇所: ・屋外 第2貯水槽付近T.M.S.L.約48.50m(1台**) ・屋外 尾駮沼取水場所A付近 T.M.S.L.約3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所B付近 T.M.S.L.約3.50m又は屋外 二又川取水場所A付近 T.M.S.L.約1.50m(3台)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 大型移送ポンプ車は、再処理施設にて設備登録を行っている。            *2: 公称値を示す。            *3: 重大事故等時における使用時の値を示す。            *4: その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備の大型移送ポンプ車のうち1台を待機除外時のバックアップとして兼用し、保有数は4台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを5台)とする。            *5: 第2貯水槽から第1貯水槽へ水の補給が完了次第、敷地外水源からの水の補給分3台の内数として使用する。            *6: 燃料タンクの個数は大型移送ポンプ車1台あたり2個。</p>			変更前	変更後	ポンプ	名称		大型移送ポンプ車(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)	種類	-	うず巻形	容量	m <sup>3</sup> /h/個	1800以上(1800*2)	吐出圧力	MPa	1.19以上(1.2*2)	最高使用圧力*	MPa	1.4	最高使用温度*	℃	40	主要寸法	吸込口径	mm	350*2	吐出口径	mm	300*2	たて	mm	1125*2	横	mm	1290*2	高さ	mm	585*2	車両全長	mm	11580*2	車両全幅	mm	2495*2	車両全高	mm	3520*2	主要材料	ケーシング	-	ダクタイル鋳鉄	種類	-	ディーゼル機関	原動機	出力	kW/個	1193	種類	-	角形	燃料タンク	容量	L/個	155以上(495*2)	最高使用圧力**	MPa	静水頭	最高使用温度**	℃	40	主要材料	-	ステンレス鋼	個数	-		8 (予備として故障時のバックアップを4)***	取付箇所	-		保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約55.00m及びT.M.S.L.約57.50m(4台)			変更前	変更後				・外部保管エリア2 屋外エリアT.M.S.L.約48.50m(4台)  取付箇所: ・屋外 第2貯水槽付近T.M.S.L.約48.50m(1台**) ・屋外 尾駮沼取水場所A付近 T.M.S.L.約3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所B付近 T.M.S.L.約3.50m又は屋外 二又川取水場所A付近 T.M.S.L.約1.50m(3台)	<p>設工認のリ. <u>(2) (i) (b) (p) 1)-③</u> は、事業変更許可申請書 (本文) のリ. <u>(2) (i) (b) (p) 1)-③</u> と同義であり整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																												
ポンプ	名称		大型移送ポンプ車(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)																																																																																												
	種類	-	うず巻形																																																																																												
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	1800以上(1800*2)																																																																																												
	吐出圧力	MPa	1.19以上(1.2*2)																																																																																												
	最高使用圧力*	MPa	1.4																																																																																												
	最高使用温度*	℃	40																																																																																												
	主要寸法	吸込口径	mm	350*2																																																																																											
		吐出口径	mm	300*2																																																																																											
		たて	mm	1125*2																																																																																											
		横	mm	1290*2																																																																																											
		高さ	mm	585*2																																																																																											
		車両全長	mm	11580*2																																																																																											
		車両全幅	mm	2495*2																																																																																											
	車両全高	mm	3520*2																																																																																												
主要材料	ケーシング	-	ダクタイル鋳鉄																																																																																												
	種類	-	ディーゼル機関																																																																																												
原動機	出力	kW/個	1193																																																																																												
	種類	-	角形																																																																																												
燃料タンク	容量	L/個	155以上(495*2)																																																																																												
	最高使用圧力**	MPa	静水頭																																																																																												
	最高使用温度**	℃	40																																																																																												
	主要材料	-	ステンレス鋼																																																																																												
個数	-		8 (予備として故障時のバックアップを4)***																																																																																												
取付箇所	-		保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約55.00m及びT.M.S.L.約57.50m(4台)																																																																																												
		変更前	変更後																																																																																												
			・外部保管エリア2 屋外エリアT.M.S.L.約48.50m(4台)  取付箇所: ・屋外 第2貯水槽付近T.M.S.L.約48.50m(1台**) ・屋外 尾駮沼取水場所A付近 T.M.S.L.約3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所B付近 T.M.S.L.約3.50m又は屋外 二又川取水場所A付近 T.M.S.L.約1.50m(3台)																																																																																												

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																
<p>リ. (2) (i) (b) (ロ) 1)-④ 可搬型建屋外ホース (MOX燃料加工施設と共用) 1_式</p>	<p>リ. (2) (i) (b) (ロ) 1)-④ 【その他再処理施設の附属施設】 (仕様表)</p>	<p>(3) 主配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">変更前</th> <th colspan="8">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材料</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材料</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水供給設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>水供給用3m, 5m, 50m可搬型建屋外ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> <td>1.4**2</td> <td>40**2</td> <td>300A**3</td> <td>—**4</td> <td>ポリエステル, ポリウレタン</td> <td>3548 (予備として故障時のバックアップを1774)**5</td> <td>保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリアT.M.S.L約55.00m及びT.M.S.L約57.50m(1774本) ・外部保管エリア2 屋外エリアT.M.S.L約48.50m(1774本) 取付箇所: ・屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) T.M.S.L約48.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(186本**6) ・屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場A付近) T.M.S.L約3.00m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(969本**7). 屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場B付近) T.M.S.L約3.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(762本**8) 又は屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場A付近) T.M.S.L約1.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(897本**9)</td> </tr> </tbody> </table>	変更前								変更後								名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	水供給設備								水供給用3m, 5m, 50m可搬型建屋外ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	1.4**2	40**2	300A**3	—**4	ポリエステル, ポリウレタン	3548 (予備として故障時のバックアップを1774)**5	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリアT.M.S.L約55.00m及びT.M.S.L約57.50m(1774本) ・外部保管エリア2 屋外エリアT.M.S.L約48.50m(1774本) 取付箇所: ・屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) T.M.S.L約48.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(186本**6) ・屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場A付近) T.M.S.L約3.00m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(969本**7). 屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場B付近) T.M.S.L約3.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(762本**8) 又は屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場A付近) T.M.S.L約1.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(897本**9)	<p>整合性 設工認のリ. (2) (i) (b) (ロ) 1)-④は, 事業変更許可申請書 (本文) のリ. (2) (i) (b) (ロ) 1)-④を具体的に記載して</p>	<p>注記 *1: 水供給用3m, 5m, 50m可搬型建屋外ホースは, 再処理施設にて設備登録を行っている。 *2: 重大事故等時における使用時の値を示す。 *3: メーカーにて規定する呼び径を示す。 *4: メーカー仕様によるものとし, 完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって, 使用材料の特性を踏まえた上で, 重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。 *5: 必要本数1774本(3m:363本, 5m:829本, 50m:582本)及びこれらと同数の予備の数量を示す。 *6: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m:36本, 5m:97本, 50m:53本)の数量を示す。 *7: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場A付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m:225本, 5m:366本, 50m:378本)の数量を示す。 *8: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場B付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m:90本, 5m:351本, 50m:321本)の数量を示す。 *9: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(二又川取水場A付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m:66本, 5m:417本, 50m:414本)の数量を示す。</p>
変更前								変更後																																												
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所																																					
水供給設備								水供給用3m, 5m, 50m可搬型建屋外ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	1.4**2	40**2	300A**3	—**4	ポリエステル, ポリウレタン	3548 (予備として故障時のバックアップを1774)**5	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリアT.M.S.L約55.00m及びT.M.S.L約57.50m(1774本) ・外部保管エリア2 屋外エリアT.M.S.L約48.50m(1774本) 取付箇所: ・屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) T.M.S.L約48.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(186本**6) ・屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場A付近) T.M.S.L約3.00m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(969本**7). 屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場B付近) T.M.S.L約3.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(762本**8) 又は屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場A付近) T.M.S.L約1.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L約55.00m(897本**9)																																					

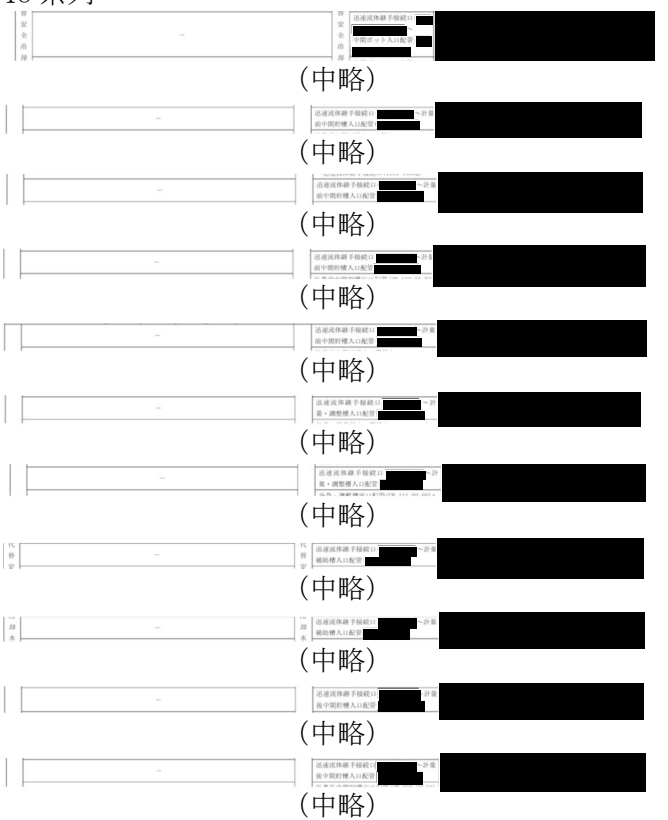
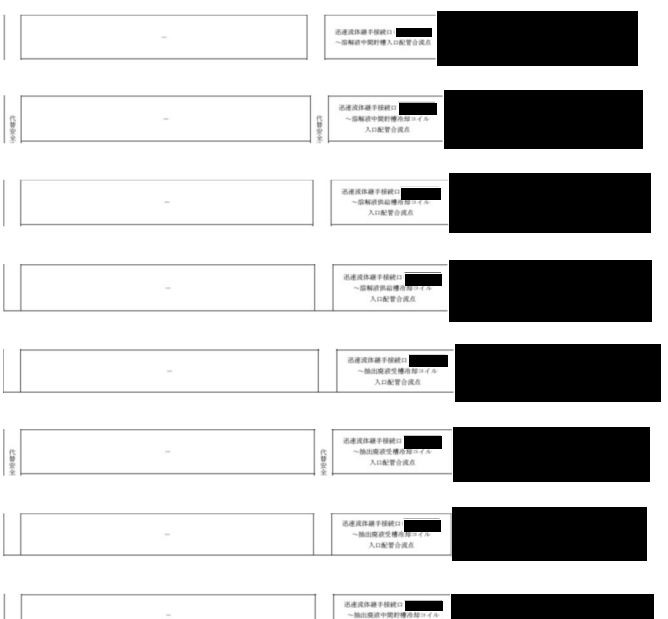
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="8">変更前</th> <th colspan="8">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材料</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材料</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>水供給設備</td> <td>水供給用5m、10m可搬型建屋外ホース (再処理施設*1、MOX燃料加工施設と共用)</td> <td>1.4*2</td> <td>40*2</td> <td>250A*3</td> <td>-*4</td> <td>ポリエステル、ポリウレタン</td> <td>128(予備として設置時のバックアップを64)*5</td> <td>                     保管場所：                      ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約 57.50m(64本)                      ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L.約 48.50m(64本)                      取付箇所：                      ・第2貯水槽付近 T.M.S.L.約 48.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近)T.M.S.L.約 48.50m(16本*6)                      ・屋外 尾駮沼取水場所A付近 T.M.S.L.約 3.00m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所A付近)T.M.S.L.約 3.00m                      屋外 尾駮沼取水場所B付近 T.M.S.L.約 3.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所B付近)T.M.S.L.約 3.50m                      又は屋外 二又川取水場所A付近 T.M.S.L.約 1.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場所A付近)T.M.S.L.約 1.50m(48本)                 </td> </tr> </tbody> </table>	変更前								変更後								名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所				-				水供給設備	水供給用5m、10m可搬型建屋外ホース (再処理施設*1、MOX燃料加工施設と共用)	1.4*2	40*2	250A*3	-*4	ポリエステル、ポリウレタン	128(予備として設置時のバックアップを64)*5	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約 57.50m(64本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L.約 48.50m(64本) 取付箇所： ・第2貯水槽付近 T.M.S.L.約 48.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近)T.M.S.L.約 48.50m(16本*6) ・屋外 尾駮沼取水場所A付近 T.M.S.L.約 3.00m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所A付近)T.M.S.L.約 3.00m 屋外 尾駮沼取水場所B付近 T.M.S.L.約 3.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所B付近)T.M.S.L.約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所A付近 T.M.S.L.約 1.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場所A付近)T.M.S.L.約 1.50m(48本)		
変更前								変更後																																												
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所																																					
			-				水供給設備	水供給用5m、10m可搬型建屋外ホース (再処理施設*1、MOX燃料加工施設と共用)	1.4*2	40*2	250A*3	-*4	ポリエステル、ポリウレタン	128(予備として設置時のバックアップを64)*5	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約 57.50m(64本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L.約 48.50m(64本) 取付箇所： ・第2貯水槽付近 T.M.S.L.約 48.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近)T.M.S.L.約 48.50m(16本*6) ・屋外 尾駮沼取水場所A付近 T.M.S.L.約 3.00m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所A付近)T.M.S.L.約 3.00m 屋外 尾駮沼取水場所B付近 T.M.S.L.約 3.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所B付近)T.M.S.L.約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所A付近 T.M.S.L.約 1.50m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場所A付近)T.M.S.L.約 1.50m(48本)																																					
		<p>注記 *1 水供給用 5m, 10m 可搬型建屋外ホースは、再処理施設にて設備登録を行っている。                      *2：重大事故等時における使用時の値を示す。                      *3：メーカーにて規定する呼び径を示す。                      *4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。                      *5：大型移送ポンプ車 1 台あたり 16 本(5m：8 本, 10m：8 本)を保管する。                      *6：第2貯水槽から第1貯水槽へ水の補給が完了次第、敷地外水源からの水の補給分 48 本の内数として使用する。</p>																																																		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑤ ホース展張車 (MOX燃料加工施設と共用) 8 台 (予備として故障時のバックアップを4台) (待機除外時バックアップを代替安全冷却水系のホース展張車の待機除外時バックアップと兼用)</p> <p>リ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑥ 運搬車 (MOX燃料加工施設と共用) 8 台 (予備として故障時のバックアップを4台) (待機除外時バックアップを代替安全冷却水系の運搬車の待機除外時バックアップと兼用)</p>		<p>(基本設計方針)</p> <p>リ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑤MOX燃料加工施設と共用する水供給設備のホース展張車は、可搬型建屋外ホースを運搬できる設計とするとともに、保有数は、必要数として4台及び予備として故障時のバックアップを4台の合計8台を確保する設計とする。 点検保守による待機除外時バックアップについては、同型設備である第2章 個別項目の「7.2.2 冷却水設備」の「7.2.2.3 代替安全冷却水系」のホース展張車の点検保守による待機除外時バックアップと兼用する設計とする。</p> <p>リ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑥MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の運搬車は、可搬型建屋外ホースを運搬できる設計とするとともに、保有数は、必要数として4台及び予備として故障時のバックアップを4台の合計8台を確保する設計とする。 点検保守による待機除外時バックアップについては、同型設備である第2章 個別項目の「7.2.2 冷却水設備」の「7.2.2.3 代替安全冷却水系」の運搬車の点検保守による待機除外時バックアップと兼用する設計とする。</p>	<p>設工認のリ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑤は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑤を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑥は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (2) (i) (b) (v) 1)-⑥を具体的に記載しており整合している。</p>	


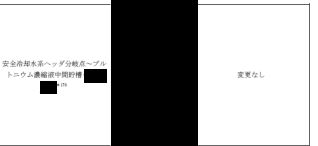




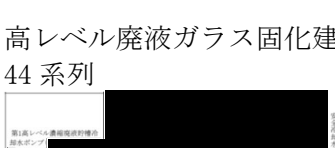









事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																
<p>2) 代替安全冷却水系                      [常設重大事故等対処設備]                      リ(2)(i)(b)(ロ)2-1                      内部ループ配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第3表(4)））                      23 系列</p>	<p>(1) 代替安全冷却水系                      [常設重大事故等対処設備]                      a. 内部ループ配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第9.5-7図））                      数 量 23系列</p>	<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2-1                      前処理建屋                      6 系列</p>  <p>分離建屋                      5 系列</p> <table border="1" data-bbox="1528 934 2151 1291"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力(MPa)</th> <th>最高使用圧力(MPa)</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>精製建屋                      3 系列</p> <table border="1" data-bbox="1528 1375 2151 1732"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力(MPa)</th> <th>最高使用圧力(MPa)</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>安全弁排水ポンプ</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>安全弁排水ポンプ</td> </tr> </tbody> </table>	変更前		変更後		名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用圧力(MPa)	名称	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	変更前		変更後		名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用圧力(MPa)	名称	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ	<p>設工認のリ(2)(i)(b)(ロ)2-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(2)(i)(b)(ロ)2-1を具体的に記載しており整合している。</p>	
変更前		変更後																																																		
名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用圧力(MPa)	名称																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
変更前		変更後																																																		
名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用圧力(MPa)	名称																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	
安全弁排水ポンプ	0.1	0.1	安全弁排水ポンプ																																																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <p>安全冷却水系配管 [redacted] 分岐部～隔壁プルトニウム貯槽 [redacted]</p> <p>(中略)</p> <p>安全冷却水系配管 [redacted] 分岐部～混合槽 [redacted]</p> <p>(中略)</p> <p>安全冷却水系配管 [redacted] 分岐部～混合槽 [redacted]</p> <p>(中略)</p> <p>安全冷却水系配管 [redacted] 分岐部～貯槽 [redacted]</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 5系列</p> <p>[redacted] [redacted] [redacted] 変更なし</p> <p>(中略)</p> <p>[redacted] [redacted] [redacted] 変更なし</p> <p>(中略)</p> <p>[redacted] [redacted] [redacted] 変更なし</p> <p>(中略)</p> <p>[redacted] [redacted] [redacted] 変更なし</p> <p>(中略)</p> <p>[redacted] [redacted] [redacted] 変更なし</p> <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ (2) (i) (b) (ロ) 2-2 冷却コイル配管・弁 (設計基準対象の施設と兼用 (第3表(4)及び第3表(6))) 126 系列</p>	<p>b. 冷却コイル配管・弁 (設計基準対象の施設と兼用 (第9.5-7図及び第9.5-13図)) 数 量 126系列</p>	<p>リ (2) (i) (b) (ロ) 2-2 前処理建屋 18 系列</p>  <p>(中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略) (中略)</p> <p>分離建屋 26 系列</p> 	<p>設工認のリ (2) リ (2) (i) (b) (ロ) 2-2 は、事業変更許可申請書 (本文) のリ (2) (i) (b) (ロ) 2-2 を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>添付書類不採録口</small>  <small>～第1種貯留地種別等指定～</small>  <small>人口調整計画表</small> </div>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>精製建屋 38 系列</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>安全規格体系へ追加項目 追加項目</small>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p>		


事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点-ブ トワーク量超過時動作機</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点-ブ トワーク量超過時動作機</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点- 第1一時貯留設備機</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点- 第1一時貯留設備機</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点- 第2一時貯留設備機</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点- 第2一時貯留設備機</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点- 第3一時貯留設備機</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ヘッド分岐点- 第3一時貯留設備機</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋 44 系列</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵機 本ポンプ</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵機 本ポンプ</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">4 系列</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵機 本ポンプ</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵機 本ポンプ</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">4 系列</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵機 本ポンプ</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>高レベル濃縮廃液貯蔵機 本ポンプ</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">4 系列</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ポンプ 一時貯留機</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>安全設備系ポンプ 一時貯留機</p>  <p>変更なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">4 系列</p>		




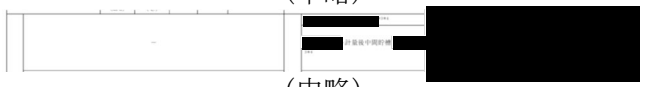
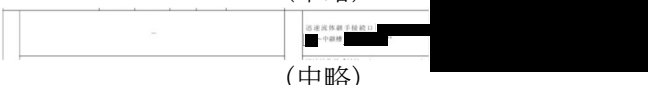
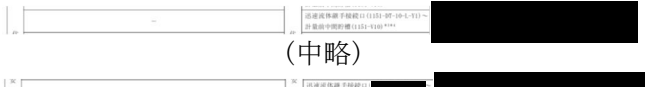




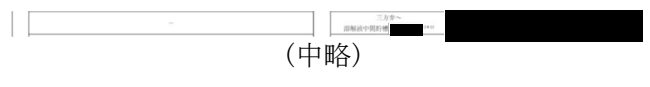
事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>(中略)</p>  <p>4 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>4 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>4 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>2 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>2 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>2 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>2 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>2 系列</p> <p>(中略)</p>  <p>2 系列</p> <p>(中略)</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2-3                      冷却ジャケット配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第3表(4)及び第3表(6)））                      30 系列</p>	<p>c. 冷却ジャケット配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第9.5-7 図及び第9.5-13 図））                      数 量 30系列</p>	<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2-3                      前処理建屋</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>分離建屋</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>（中略）</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <p>安全冷却水系配管 分岐部～硝酸プルトニウム貯槽</p> <p>（中略）</p> <p>安全冷却水系配管 分岐部～混合槽</p> <p>（中略）</p> <p>安全冷却水系配管 分岐部～混合槽</p> <p>（中略）</p> <p>安全冷却水系配管 分岐部～一時貯槽</p>	<p>設工認の リ(2)                      (i)(b)(ロ)2-3                      は、事業変更許可申請書（本文）の リ(2)                      (i)(b)(ロ)2-3                      を具体的に記載しており整合している。</p>	



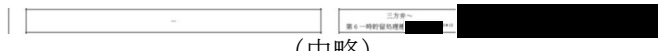

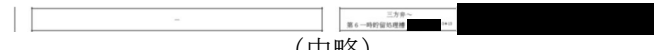
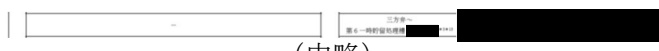



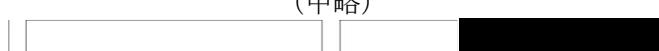



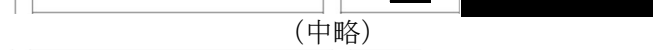
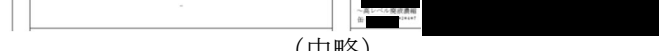


事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２-４ 高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水給排水配管・弁 ２系列</p>	<p>d. 高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水給排水配管・弁 数 量 ２系列</p>	<p>リ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２-４高レベル廃液ガラス固化建屋 ２系列</p> <p><small>設工認申請書添付書類六（六） 上流側接続コネクタ 設工認申請書添付書類六（六） 下流側接続コネクタ</small></p> <p>（中略）</p> <p><small>設工認申請書添付書類六（六） 上流側接続コネクタ 設工認申請書添付書類六（六） 下流側接続コネクタ</small></p> <p>（中略）</p>	<p>設工認のリ（２） （ｉ）（ｂ）（ロ）２-４ は、事業変更許可申請書（本文）のリ（２） （ｉ）（ｂ）（ロ）２-４ を具体的に記載しており整合している。</p>	













事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2-5            機器注水配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第3表(5)））            226 系列</p>	<p>e. 機器注水配管・弁（設計基準対象の施設と兼用（第9.5-10図））            数 量 226系列</p>	<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2-5            前処理建屋            42 系列</p>  <p>(中略)</p> <p>(中略)</p> <p>(中略)</p> <p>(中略)</p> <p>(中略)</p> <p>(中略)</p> <p>(中略)</p>	<p>設工認のリ(2)            (i)(b)(ロ)2-5は、事業変更許可申請書（本文）のリ(2)(i)(b)(ロ)2-5を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		 <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p> <p>分離建屋</p>  <p>(中略)</p>  <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1537 283 2125 352"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 359 2125 428"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 434 2125 504"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 510 2125 579"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 585 2125 655"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 661 2125 730"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 737 2125 806"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 812 2125 882"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 888 2125 957"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 963 2125 1033"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1039 2125 1108"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1115 2125 1184"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1190 2125 1260"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1266 2125 1335"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1341 2125 1411"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1417 2125 1486"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1493 2125 1562"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1568 2125 1638"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1644 2125 1713"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1537 1719 2125 1789"> <p>（中略）</p> </div>		









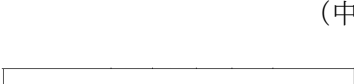



事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1528 283 2122 325">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 367 2122 409">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 430 2122 493">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 535 2122 577">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 598 2122 640">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 703 2122 745">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 766 2122 829">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 850 2122 892">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 913 2122 976">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 997 2122 1060">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1081 2122 1144">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1165 2122 1207">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1228 2122 1291">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1312 2122 1375">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1396 2122 1459">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1480 2122 1543">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1564 2122 1627">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1648 2122 1711">[Redacted]</div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1528 1732 2122 1795">[Redacted]</div> <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1516 285 2131 331">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 359 2131 405">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 443 2131 489">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 506 2131 552">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 611 2131 657">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 674 2131 720">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 737 2131 783">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 821 2131 867">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 884 2131 930">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 947 2131 993">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1010 2131 1056">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1073 2131 1119">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1136 2131 1255">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1283 2131 1329">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1346 2131 1392">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1409 2131 1455">  </div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1516 1472 2131 1518">  </div> <p>(中略)</p>		
		<p>精製建屋 52 系列</p> <div data-bbox="1495 1734 2157 1780">  </div> <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1495 279 2163 367">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 394 2163 483">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 510 2163 598">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 625 2163 714">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 699 2163 787">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 814 2163 903">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 930 2163 1018">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 1066 2163 1155">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 1182 2163 1270">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 1297 2163 1386">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 1413 2163 1501">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1495 1528 2163 1617">  <small>設工認申請書 該当事項 第一工程 掘削工事</small> </div> <p>(中略)</p>		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																							
		<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td rowspan="3">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td rowspan="5">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td rowspan="4">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td>[Redacted]</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td>[Redacted]</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td>[Redacted]</td> </tr> </table> <p>(中略)</p> <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td> <small>迅速採締手続紙</small>  <small>〇〇〇〇株式会社</small>  <small>〇〇〇〇</small> </td> <td>[Redacted]</td> </tr> </table> <p>(中略)</p>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]	-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]		
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>																																										
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									
-	<small>迅速採締手続紙</small> <small>〇〇〇〇株式会社</small> <small>〇〇〇〇</small>	[Redacted]																																									

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1492 317 2169 394">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 449 2169 527">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 602 2169 680">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 735 2169 812">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 867 2169 945">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 999 2169 1077">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 1131 2169 1209">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 1264 2169 1341">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 1396 2169 1474">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 1528 2169 1606">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 1661 2169 1738">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		
		<div data-bbox="1492 1793 2169 1871">  <small>事業変更許可申請書 第1-時行規則 第1-時行規則</small> </div> <p>(中略)</p>		

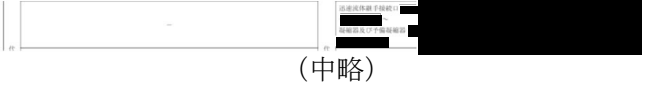







事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>ウラン・プルトリウム混合脱硝建屋</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>迅速流体推進手段</small>  <small>プルトリウム混合脱硝建屋</small>  <small>脱硝建屋</small> </div> <p style="text-align: center;">(中略)</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																								
		<div data-bbox="1528 281 2139 338"> <p>迅速流体継手 [redacted] 混合槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1780 338 1863 373">(中略)</div> <div data-bbox="1528 373 2139 430"> <p>迅速流体継手 [redacted] 混合槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1780 430 1863 466">(中略)</div> <div data-bbox="1528 466 2139 522"> <p>迅速流体継手 [redacted] 一時貯槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1780 522 1863 558">(中略)</div> <div data-bbox="1528 558 2139 615"> <p>迅速流体継手 [redacted] 硝酸 フルトニウム貯槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1528 615 2139 672"> <p>迅速流体継手 [redacted] 混合槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1528 672 2139 728"> <p>迅速流体継手 [redacted] 混合槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1528 728 2139 785"> <p>迅速流体継手 [redacted] 一時貯槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="2062 806 2187 842">4 系列分</div> <div data-bbox="1780 842 1863 877">(中略)</div> <div data-bbox="1528 877 2139 934"> <p>弁 [redacted] 一時貯槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1528 934 2139 991"> <p>弁 [redacted] 混合槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1528 991 2139 1047"> <p>弁 [redacted] 混合槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="1528 1047 2139 1104"> <p>弁 [redacted] 硝酸フルトニウム貯槽 [redacted]</p> </div> <div data-bbox="2062 1075 2187 1110">4 系列分</div> <div data-bbox="1457 1346 1816 1381">高レベル廃液ガラス固化建屋</div> <div data-bbox="1457 1381 1564 1417">58 系列</div> <div data-bbox="1528 1417 2113 1539"> <table border="1"> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1780 1539 1863 1575">(中略)</div> <div data-bbox="1528 1575 2113 1696"> <table border="1"> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1780 1696 1863 1732">(中略)</div> <div data-bbox="1528 1732 2113 1768"> <table border="1"> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1780 1768 1863 1803">(中略)</div> <div data-bbox="1528 1803 2113 1839"> <table border="1"> <tr> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>[redacted]</td> <td>実測値なし</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1780 1839 1863 1875">(中略)</div>	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし	[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし		
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									
[redacted]	[redacted]	[redacted]	実測値なし																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1531 285 2125 348"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 348 2125 411"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 411 2125 474"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 474 2125 537"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 537 2125 600"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 600 2125 663"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 663 2125 726"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 726 2125 789"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 789 2125 852"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 852 2125 915"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 915 2125 978"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 978 2125 1041"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1041 2125 1104"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1104 2125 1167"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1167 2125 1230"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1230 2125 1293"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1293 2125 1356"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1356 2125 1419"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1419 2125 1482"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1482 2125 1545"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1545 2125 1608"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1608 2125 1671"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1671 2125 1734"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1734 2125 1797"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1797 2125 1860"> <p>（中略）</p> </div>		
		<div data-bbox="1531 1377 2125 1440"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1440 2125 1503"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1503 2125 1566"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1566 2125 1629"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1629 2125 1692"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1692 2125 1755"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1755 2125 1818"> <p>（中略）</p> </div>		
		<div data-bbox="1531 1755 2125 1818"> <p>（中略）</p> </div> <div data-bbox="1531 1818 2125 1881"> <p>（中略）</p> </div>		

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<div data-bbox="1525 281 2119 352"></div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 386 2119 457"></div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 470 2119 541"></div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 554 2119 625"></div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 638 2119 709"></div> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 743 2119 911"></div> <p>4 系列分</p> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 953 2119 1058"></div> <p>4 系列分</p> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 1100 2119 1163"></div> <p>4 系列分</p> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 1205 2119 1310"></div> <p>6 系列分</p> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 1373 2119 1478"></div> <p>4 系列分</p> <p>(中略)</p> <div data-bbox="1525 1520 2119 1625"></div> <p>4 系列分</p> <p>(中略)</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２-６ 高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水注 水配管・弁 ２系列</p>	<p>f. 高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却水注水配 管・弁 数 量 ２系列</p>	<p>リ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２-６ 高レベル廃液ガラス固化建屋 ２系列</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <small>設工認申請書添付書類六 上流側接続コネクタ 設工認申請書添付書類六 下流側接続コネクタ</small> </div> <p style="text-align: center;">（中略）</p>	<p>設工認のリ（２） （ｉ）（ｂ）（ロ）２-６ は、事業変更許可申請 書（本文）のリ（２） （ｉ）（ｂ）（ロ）２-６ を具体的に記載してお り整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-7                      冷却水配管・弁（凝縮器）（設計基準対象の施設と一部兼用（第3表(7)）） 11系列</p>	<p>g. 冷却水配管・弁（凝縮器）（設計基準対象の施設と一部兼用（第9.5-16図））                      数 量 11系列</p>	<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-7                      前処理建屋                      2系列                        （中略）</p> <p>分離建屋                      3系列      </p> <p>精製建屋                      2系列    </p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋                      迅速流体継手凝縮器～予備                      迅速流体継手凝縮器～凝縮                      2系列分</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋                      2系列                        （中略）                        （中略）</p>	<p>設工認の「リ（2）」                      「（i）（b）（ロ）2）-7」                      は、事業変更許可申請書（本文）の「リ（2）」                      「（i）（b）（ロ）2）-7」                      を具体的に記載しており整合している。</p>	




事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-8                      高レベル廃液ガラス固化建屋の凝縮器冷却水給排水配管・弁                      1 系列</p>	<p>h. 高レベル廃液ガラス固化建屋の凝縮器冷却水給排水配管・弁                      数 量 1 系列</p>	<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-8                      高レベル廃液ガラス固化建屋                      1 系列</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	<p>設工認のリ（2）                      (i) (b) (ロ) 2) -8                      は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）                      (i) (b) (ロ) 2) -8                      を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２）－９  「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器  （設計基準対象の施設と兼用（第３表(1)）  53 基</p>		<p>設工認のト（１）（ｉ）（ｂ）（イ）－１２１と同じ</p>	<p>設工認のト（１）  （ｉ）（ｂ）（イ）  －１２１は、事業変更許可申請書（本文）のリ（２）  （ｉ）（ｂ）（ロ）２）－  ９を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>[可搬型重大事故等対処設備]                      リ(2)(i)(b)(ロ)2)-10                      可搬型建屋外ホース 1 式</p>	<p>[可搬型重大事故等対処設備]                      a. 可搬型建屋外ホース                      数 量 1 式</p>	<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2)-10</p> <table border="1" data-bbox="1537 325 2107 661"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>材料</th> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p>	変更前				変更後				品名	数量	単位	材料	品名	数量	単位	材料									<p>設工認のリ(2)                      (i)(b)(ロ)2)-10は、事業変更許可申請書（本文）のリ(2)(i)(b)(ロ)2)-10を具体的に記載しており整合している。</p>	
変更前				変更後																								
品名	数量	単位	材料	品名	数量	単位	材料																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																													
<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 1</p> <p>可搬型中型移送ポンプ 13 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 7 台）</p> <p style="padding-left: 40px;">容量 約 240 m<sup>3</sup>/h/台</p>	<p>b. 可搬型中型移送ポンプ</p> <p>種 類           うず巻式</p> <p>台 数           13（予備として故障時及び待機除外時バックアップを 7 台）</p> <p>容 量           約240m<sup>3</sup>/h/台</p>	<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 1</p> <p>(2) ポンプ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>可搬型中型移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*2</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*2</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">ポンプ 主 要 寸 法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全幅</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全高</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原 動 機</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃 料 タ ン ク</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*2</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*2</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづき)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：重大事故等時における使用時の値を示す。  *3：前処理建屋に送水する場合の値を示す。  *4：分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋に送水する場合の値を示す。  *5：高レベル廃液ガラス固化建屋に送水する場合の値を示す。  *6：燃料タンクの個数は可搬型中型移送ポンプ 1 台あたり 1 個。</p>			変更前	変更後	名称			可搬型中型移送ポンプ	種類		—		容量	m <sup>3</sup> /h/個			吐出圧力	MPa			最高使用圧力*2	MPa			最高使用温度*2	℃			ポンプ 主 要 寸 法	吸込口径	mm		吐出口径	mm		たて	mm		横	mm		高さ	mm		全長	mm		全幅	mm		全高	mm		主要材料	ケーシング	—		原 動 機	種類	—		出力	kW/個		燃 料 タ ン ク	種類	—		容量	L/個		最高使用圧力*2	MPa		最高使用温度*2	℃			主要材料	—		個数		—				変更前	変更後	取付箇所		—	—	<p>設工認のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 1 は、事業変更許可申請書（本文）のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 1 を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																														
名称			可搬型中型移送ポンプ																																																																																														
種類		—																																																																																															
容量	m <sup>3</sup> /h/個																																																																																																
吐出圧力	MPa																																																																																																
最高使用圧力*2	MPa																																																																																																
最高使用温度*2	℃																																																																																																
ポンプ 主 要 寸 法	吸込口径	mm																																																																																															
	吐出口径	mm																																																																																															
	たて	mm																																																																																															
	横	mm																																																																																															
	高さ	mm																																																																																															
	全長	mm																																																																																															
	全幅	mm																																																																																															
	全高	mm																																																																																															
主要材料	ケーシング	—																																																																																															
原 動 機	種類	—																																																																																															
	出力	kW/個																																																																																															
燃 料 タ ン ク	種類	—																																																																																															
	容量	L/個																																																																																															
	最高使用圧力*2	MPa																																																																																															
	最高使用温度*2	℃																																																																																															
	主要材料	—																																																																																															
個数		—																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																														
取付箇所		—	—																																																																																														

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																												
<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 2 可搬型建屋内ホース（内部ループへの通水用） 1 式</p>	<p>c. 可搬型建屋内ホース（内部ループへの通水用）（冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水と一部兼用） 数 量 1 式</p>	<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 2 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 367 2142 724"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 892 2142 1249"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1270 2142 1627"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	変更前						変更後						名称	構造	用途	用途	用途	用途	名称	構造	用途	用途	用途	用途													変更前						変更後						名称	構造	用途	用途	用途	用途	名称	構造	用途	用途	用途	用途													変更前						変更後						名称	構造	用途	用途	用途	用途	名称	構造	用途	用途	用途	用途													<p>設工認のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 2は、事業変更許可申請書（本文）のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 2を具体的に記載しており整合している。</p>	
変更前						変更後																																																																																																										
名称	構造	用途	用途	用途	用途	名称	構造	用途	用途	用途	用途																																																																																																					
変更前						変更後																																																																																																										
名称	構造	用途	用途	用途	用途	名称	構造	用途	用途	用途	用途																																																																																																					
変更前						変更後																																																																																																										
名称	構造	用途	用途	用途	用途	名称	構造	用途	用途	用途	用途																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																															
		<p style="text-align: center;"><b>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; margin: 0;">代替安全冷却水系（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</p>  <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p style="font-size: small;">                     *4: メーカー仕様によるものとし、受取品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が食塩水の状態において強度が確保できるものを使用する。                      *5: 冷却ループへの通水用として必要事項を踏まえて冷却用のポンプアップの設置、冷却ジャケットへの通水用として必要事項を踏まえて貯槽等への注水用として必要事項を踏まえてジャケットに付設したポンプアップの設置、セルへの導出設備の設置等の通水用として必要事項を踏まえてセルに設けられたポンプアップの設置を示す。                      *6: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～貯槽への通水接続口（東側ルート）に敷設した場合の本数を示す。                      *7: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～貯槽等への注水接続口（西側ルート）に敷設した場合の本数を示す。                      *8: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～冷却ジャケットへの通水接続口（東側ルート）に敷設した場合の本数を示す。                      *9: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～セル導出設備の凝縮器への通水接続口（東側ルート）に敷設した場合の本数を示す。                 </p> </div> <p style="text-align: center;"><b>高レベル廃液ガラス固化建屋</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th colspan="10">高レベル廃液ガラス固化建屋</th> <th colspan="10">高レベル廃液ガラス固化建屋</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>内径 (mm)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>材質</th> <th>設計圧力 (MPa)</th> <th>設計温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>内径 (mm)</th> <th>材質</th> <th>設計圧力 (MPa)</th> <th>設計温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>内径 (mm)</th> <th>材質</th> <th>設計圧力 (MPa)</th> <th>設計温度 (°C)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>内径 (mm)</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	高レベル廃液ガラス固化建屋										高レベル廃液ガラス固化建屋										名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	内径 (mm)	外径 (mm)	材質	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	外径 (mm)	内径 (mm)	材質	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	外径 (mm)	内径 (mm)	材質	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	外径 (mm)	内径 (mm)	材質																								
高レベル廃液ガラス固化建屋										高レベル廃液ガラス固化建屋																																																									
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	内径 (mm)	外径 (mm)	材質	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	外径 (mm)	内径 (mm)	材質	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	外径 (mm)	内径 (mm)	材質	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	外径 (mm)	内径 (mm)	材質																																															

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																								
<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 3 可搬型建屋内ホース（貯槽等への注水用） 1 式</p>	<p>d. 可搬型建屋内ホース（貯槽等への注水用） 数 量 1 式</p>	<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 3 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1528 357 2136 724"> <thead> <tr> <th colspan="4">実測値</th> <th colspan="4">実設計</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>品名</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1528 945 2136 1176"> <thead> <tr> <th colspan="4">実測値</th> <th colspan="4">実設計</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>品名</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1528 1323 2136 1690"> <thead> <tr> <th colspan="4">実測値</th> <th colspan="4">実設計</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> <th>品名</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p>	実測値				実設計				品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	(中略)								実測値				実設計				品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	(中略)								実測値				実設計				品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	(中略)								<p>設工認のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 3は、事業変更許可申請書（本文）のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 3を具体的に記載しており整合している。</p>	
実測値				実設計																																																																								
品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)																																																																					
(中略)																																																																												
実測値				実設計																																																																								
品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)																																																																					
(中略)																																																																												
実測値				実設計																																																																								
品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)	品名	最高使用圧力 (MPa)	外径 (mm)	長さ (m)																																																																					
(中略)																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">代替安全冷却水系・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋(内ホース)</p> <p style="font-size: small;">代替安全冷却水系・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋(内ホース)</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">(中略)</p> <p style="font-size: x-small;">*4: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用能力及び使用温度が示された仕様において強度が確保されるものを使用する。  *5: 内部ルーブへの注水用として必要本数に示された冷却水のポンプの数量、冷却ジャケットへの注水用として必要本数に示されたポンプの数量、冷却ジャケットへの注水用として必要本数に示されたポンプの数量、セルへの導出設備の数量への注水用として必要本数に示されたポンプの数量を示す。  *6: 東側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～内部ルーブへの注水接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。  *7: 東側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～貯槽等への注水接続口(西側ルート)に敷設した場合の本数を示す。  *8: 東側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～冷却ジャケットへの注水接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。  *9: 東側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～セル導出設備の凝縮器への注水接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th colspan="6">実用機</th> <th colspan="6">実用機</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>外形寸法</th> <th>容積</th> <th>材質</th> <th>備考</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>外形寸法</th> <th>容積</th> <th>材質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(中略)</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">(中略)</p> </div>	実用機						実用機						名称	構造	外形寸法	容積	材質	備考	名称	構造	外形寸法	容積	材質	備考	(中略)						(中略)							
実用機						実用機																																		
名称	構造	外形寸法	容積	材質	備考	名称	構造	外形寸法	容積	材質	備考																													
(中略)						(中略)																																		



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																												
<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2)-14 可搬型建屋内ホース（冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水用） 1式</p>	<p>e. 可搬型建屋内ホース（冷却コイル又は冷却ジャケットへの通水用） 数 量 1式</p>	<p>リ(2)(i)(b)(ロ)2)-14 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 363 2131 720"> <thead> <tr> <th colspan="6">基本情報</th> <th colspan="6">気密性</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>注記 ※1：最大等価質量に於ける構造耐力を示す。 ※2：1階以上にて規定する構造耐力を示す。 ※3：1階以下に規定する構造耐力を示す。当該構造耐力は、当該構造耐力に相当する構造耐力を示すものとする。構造耐力に相当する構造耐力を示すものとする。 ※4：1階以上にて規定する構造耐力を示す。 ※5：1階以下にて規定する構造耐力を示す。</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 919 2131 1140"> <thead> <tr> <th colspan="6">基本情報</th> <th colspan="6">気密性</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1287 2131 1654"> <thead> <tr> <th colspan="6">基本情報</th> <th colspan="6">気密性</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>用途</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> <th>最高圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	基本情報						気密性						名称	構造	用途	用途	用途	用途	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧													基本情報						気密性						名称	構造	用途	用途	用途	用途	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧													基本情報						気密性						名称	構造	用途	用途	用途	用途	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧													<p>設工認の「リ(2)(i)(b)(ロ)2)-14」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(2)(i)(b)(ロ)2)-14」を具体的に記載しており整合している。</p>	
基本情報						気密性																																																																																																										
名称	構造	用途	用途	用途	用途	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧																																																																																																					
基本情報						気密性																																																																																																										
名称	構造	用途	用途	用途	用途	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧																																																																																																					
基本情報						気密性																																																																																																										
名称	構造	用途	用途	用途	用途	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧	最高圧																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																				
		<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>代替安全冷却水系（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</p> <p>代替安全冷却水系用20m可搬型建屋内ホース</p>  </div> <p>(中略)</p> <p>*4: メーカー仕様によるものとし、受取品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が食品法に定められた状況において強度が確保できるものを使用する。          *5: 内層ルーブへの漏水用として必要事項を○印に取組みのチェック項目の数量、冷却ジャケットへの漏水用として必要事項を□印に取組みのチェック項目の数量、セルへの導出設備の数量として必要事項を△印に取組みのチェック項目の数量を示す。          *6: 東側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～内層ルーブへの漏水接続口（東側ルート）に敷設した場合の本数を示す。          *7: 西側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～貯槽等への漏水接続口（西側ルート）に敷設した場合の本数を示す。          *8: 東側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～冷却ジャケットへの漏水接続口（東側ルート）に敷設した場合の本数を示す。          *9: 西側ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～セル導出設備の凝縮器への漏水接続口（西側ルート）に敷設した場合の本数を示す。</p> <p>高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">高レベル廃液ガラス固化建屋</th> <th colspan="4">高レベル廃液ガラス固化建屋</th> <th colspan="4">高レベル廃液ガラス固化建屋</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>材質</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>材質</th> <th>名称</th> <th>構造</th> <th>用途</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <p>(中略)</p>	高レベル廃液ガラス固化建屋				高レベル廃液ガラス固化建屋				高レベル廃液ガラス固化建屋				名称	構造	用途	材質	名称	構造	用途	材質	名称	構造	用途	材質														
高レベル廃液ガラス固化建屋				高レベル廃液ガラス固化建屋				高レベル廃液ガラス固化建屋																																
名称	構造	用途	材質	名称	構造	用途	材質	名称	構造	用途	材質																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																								
<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 5 可搬型建屋内ホース（セル導出設備の凝縮器への通水用） 1 式</p>	<p>f. 可搬型建屋内ホース（セル導出設備の凝縮器への通水用） 数 量 1 式</p>	<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 5 前処理建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 361 2131 718"> <thead> <tr> <th colspan="4">定置品</th> <th colspan="4">定置品</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>材質</th> <th>規格</th> <th>品名</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>材質</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>注記 ※1: 最大使用温度における使用材料を示す。 ※2: 1-1において規定する材料を示す。 ※3: 1-1-1において規定する材料を示す。1-1-1において規定する材料は、1-1-1-1において規定する材料を示す。 ※4: 必要に応じて「1-1-1-1」を記入する。 ※5: 必要に応じて「1-1-1-1」を記入する。</p> <p>分離建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 919 2131 1138"> <thead> <tr> <th colspan="4">定置品</th> <th colspan="4">定置品</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>材質</th> <th>規格</th> <th>品名</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>材質</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>精製建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 1297 2131 1654"> <thead> <tr> <th colspan="4">定置品</th> <th colspan="4">定置品</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>材質</th> <th>規格</th> <th>品名</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>材質</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中略)</p>	定置品				定置品				品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格	品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格									定置品				定置品				品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格	品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格									定置品				定置品				品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格	品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格									<p>設工認のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 5は、事業変更許可申請書（本文）のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-1 5を具体的に記載しており整合している。</p>	
定置品				定置品																																																																								
品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格	品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格																																																																					
定置品				定置品																																																																								
品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格	品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格																																																																					
定置品				定置品																																																																								
品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格	品名	最高使用温度 (°C)	材質	規格																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																						
		<p style="text-align: center;">ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">代替安全冷却水系（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: x-small;">代替安全冷却水系用20m可搬型建屋内ホース</div> </div>  <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p style="font-size: x-small;">             *4: メーカー仕様によるものとし、受取品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が告示された状態において強度が確保できるものを使用する。              *5: 冷却ループへの漏水防止として必要事項を冷却ループに取付済のトップアップの取付、冷却ジャケットへの漏水防止として必要事項を冷却ジャケット、貯槽等への注水用として必要事項を冷却ジャケットに取付済のトップアップの取付、セルへの導出設備の取付への漏水防止として必要事項を冷却ジャケットに取付済のトップアップの取付の数量を示す。              *6: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～貯槽への注水接続口（東側ルート）に取設した場合の本数を示す。              *7: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～貯槽等への注水接続口（西側ルート）に取設した場合の本数を示す。              *8: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～冷却ジャケットへの注水接続口（東側ルート）に取設した場合の本数を示す。              *9: 冷却ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋外取合～セル導出設備の凝縮器への注水接続口（東側ルート）に取設した場合の本数を示す。         </p> <p style="text-align: center;">高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th colspan="6">ガラス固化機</th> <th colspan="6">ガラス固化機</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>材料</th> <th>備考</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>材料</th> <th>備考</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>材料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 	ガラス固化機						ガラス固化機						名称	数量	単位	材料	備考	数量	単位	材料	備考	数量	単位	材料	備考															
ガラス固化機						ガラス固化機																																				
名称	数量	単位	材料	備考	数量	単位	材料	備考	数量	単位	材料	備考																														

事業変更許可申請書 (本文)	事業変更許可申請書 (添付書類六)	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																											
<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-16                      可搬型排水受槽                      16 基 (予備として故障時バックアップを                      8 基)                      容量 約 300 m<sup>3</sup>/基</p>	<p>g. 可搬型排水受槽                      基 数 16 (予備として故障時のバックアップを 8 基)                      容 量 約300m<sup>3</sup>/基</p>	<p>リ (2) (i) (b)(ロ)2)-16</p> <table border="1" data-bbox="1543 325 2122 882"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>可搬型排水受槽</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*2</td> <td></td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*2</td> <td></td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">取付箇所</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			可搬型排水受槽	種類		-		容量		m <sup>3</sup> /個		最高使用圧力*2		MPa		最高使用温度*2		℃		主要寸法	外径	mm		高さ	mm		主要材料				個数		-		取付箇所		-		<p>設工認のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-16は、事業変更許可申請書 (本文) のリ (2) (i) (b)(ロ)2)-16を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																												
名称			可搬型排水受槽																																												
種類		-																																													
容量		m <sup>3</sup> /個																																													
最高使用圧力*2		MPa																																													
最高使用温度*2		℃																																													
主要寸法	外径	mm																																													
	高さ	mm																																													
主要材料																																															
個数		-																																													
取付箇所		-																																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																								
<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-17 高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管 1 式</p>	<p>h. 高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型配管 数 量 1 式</p>	<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-17 高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <table border="1" data-bbox="1537 352 2145 651"> <thead> <tr> <th colspan="4">実設機</th> <th colspan="4">実設機</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>最高出力 (MW)</th> <th>炉心長さ (m)</th> <th>炉心径 (m)</th> <th>炉心長さ (m)</th> <th>炉心径 (m)</th> <th>炉心長さ (m)</th> <th>炉心径 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実設機				実設機				名称	最高出力 (MW)	炉心長さ (m)	炉心径 (m)	炉心長さ (m)	炉心径 (m)	炉心長さ (m)	炉心径 (m)									<p>設工認のリ（2） （i）（b）（ロ）2）-17は、事業変更許可申請書（本文）のリ（2）（i）（b）（ロ）2）-17を具体的に記載しており整合している。</p>	
実設機				実設機																								
名称	最高出力 (MW)	炉心長さ (m)	炉心径 (m)	炉心長さ (m)	炉心径 (m)	炉心長さ (m)	炉心径 (m)																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２-１８                      可搬型中型移送ポンプ運搬車（MOX燃料加工施設と共用）                      ５台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを３台）</p>	<p>i. 可搬型中型移送ポンプ運搬車（MOX燃料加工施設と共用）                      台数 ５（予備として故障時及び待機除外時バックアップを３台）</p>		<p>事業変更許可申請書（本文）で許可を受けたリ（２）（ｉ）（ｂ）（ロ）２-１８は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-19                      ホース展張車 5 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3台）</p>	<p>j. ホース展張車                      台 数 5（予備として故障時及び待機除外時バックアップを3台）</p>		<p>事業変更許可申請書（本文）で許可を受けたリ（2）（i）（b）（ロ）2）-19は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ（2）（i）（b）（ロ）2）-20 運搬車 5 台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3台）</p>	<p>k. 運搬車 台 数 5（予備として故障時及び待機除外時バックアップを3台）</p>		<p>事業変更許可申請書（本文）で許可を受けたリ（2）（i）（b）（ロ）2）-20は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																
<p>(ii) 蒸気供給施設（蒸気供給設備） (a) 構造</p> <p>蒸気供給設備は、一般蒸気系及び安全蒸気系で構成し、再処理施設の機器の加熱、液移送等に使用する蒸気を供給する。</p> <p>リ(2)(ii)(a)-①一般蒸気系は廃棄物管理施設へ蒸気を供給し、MOX燃料加工施設へ燃料を供給する。このため、蒸気供給設備のうち、一般蒸気系リ(2)(ii)(a)-②を廃棄物管理施設と共用リ(2)(ii)(a)-③し、一般蒸気系リ(2)(ii)(a)-④の一部は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>リ(2)(ii)(a)-⑤他施設と共用する蒸気供給設備は、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>(b) 主要な設備 1) 安全蒸気系ボイラ 2 基リ(2)(ii)(b)-①</p> <p>(3) 主要な試験施設の構造及び設備 試験施設を設置しないので該当なし。</p>	<p>9.6 蒸気供給設備 9.6.1 概要</p> <p>蒸気供給設備は、一般蒸気系及び安全蒸気系で構成し、再処理施設内の各施設で使用する蒸気を供給する設備である。</p> <p>一般蒸気系は、廃棄物管理施設と共用し、一般蒸気系の一部はMOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>9.6.2 設計方針 (7) 一般蒸気系は、廃棄物管理施設と共用し、廃棄物管理施設における使用を想定しても、再処理施設に十分な蒸気を供給できる容量を確保し、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を防止する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>第9.6-1表 蒸気供給設備の主要設備の仕様</p> <table border="1" data-bbox="899 1549 1433 1745"> <thead> <tr> <th colspan="2">ボイラ(一般蒸気系)</th> <th colspan="2">ボイラ(安全蒸気系)**</th> </tr> <tr> <th>容 量</th> <th>基 数</th> <th>容 量</th> <th>基 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約10 t/h (1基当たり)</td> <td>2*</td> <td>約1 t/h (1基当たり)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>約50 t/h (1基当たり)</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) *印の設備は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る設備である。 **印の設備は、一般蒸気系が使用できない場合に使用する。 一般蒸気系は、廃棄物管理施設と共用する。</p>	ボイラ(一般蒸気系)		ボイラ(安全蒸気系)**		容 量	基 数	容 量	基 数	約10 t/h (1基当たり)	2*	約1 t/h (1基当たり)	2	約50 t/h (1基当たり)	3			<p>7.5 蒸気供給設備</p> <p>蒸気供給設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、 「3. 自然現象等」、 「4. 閉じ込めの機能」、 「5. 火災等による損傷の防止」、 「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、 「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>蒸気供給設備は、一般蒸気系及び安全蒸気系で構成し、再処理施設の機器の加熱、液移送等に使用する蒸気を供給する設計とする。</p> <p>7.5.1 一般蒸気系 リ(2)(ii)(a)-①一般蒸気系リ(2)(ii)(a)-②は廃棄物管理施設と共用リ(2)(ii)(a)-③する。また、一般蒸気系リ(2)(ii)(a)-④のうち、燃料貯蔵設備は、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>リ(2)(ii)(a)-⑤一般蒸気系は、廃棄物管理施設における使用を想定しても、再処理施設に十分な蒸気を供給できる容量を確保できる設計とする。また、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を防止する設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>設工認の「リ」 (2)(ii)(a)-①, ②, ③は、事業変更許可申請書（本文）の「リ」 (2)(ii)(a)-①, ②, ③と同義であり整合している。 設工認の「リ」 (2)(ii)(a)-④は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(2)(ii)(a)-④」を具体的に記載しており整合している。 設工認の「リ」 (2)(ii)(a)-⑤は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(2)(ii)(a)-⑤」を具体的に記載しており整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた「リ」 (2)(ii)(b)-①本設工認の対象外である。</p>	
ボイラ(一般蒸気系)		ボイラ(安全蒸気系)**																		
容 量	基 数	容 量	基 数																	
約10 t/h (1基当たり)	2*	約1 t/h (1基当たり)	2																	
約50 t/h (1基当たり)	3																			

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(4) その他の主要な事項 前記「ハ. 使用済燃料の受入施設及び貯蔵施設の構造及び設備」から「リ. その他再処理設備の附属施設の構造及び設備」に掲げる施設に係る分析設備、化学薬品貯蔵供給設備、火災防護設備、竜巻防護対策設備、溢水防護設備、化学薬品防護設備、補機駆動用燃料補給設備、放出抑制設備、水供給設備、緊急時対策所及び通信連絡設備を、以下に示す。</p> <p>(i) 分析設備 分析設備は、再処理施設内の各施設から分析試料を採取し、<u>リ(4)(i)-①</u>分析する設備で構成し、分析結果は中央制御室等に送る。<u>リ(4)(i)-②</u></p> <p>分析設備は、分析建屋に収納する。</p> <p>分析建屋の主要構造は、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）で、地上3階、地下3階、建築面積約4,900m<sup>2</sup>の建物である。<u>リ(4)(i)-③</u></p>	<p>9.8 分析設備 9.8.1 概要 分析設備は、再処理設備本体、放射性廃棄物の廃棄施設等の工程管理、安全確保等のために分析試料を採取、移送及び分析するとともに分析試料の分析により生じる分析済溶液等処理する設備である。</p> <p>分析設備は、再処理施設内の各建屋に設置する分析試料採取装置、分析建屋等に設置する分析装置等で構成する。</p> <p>9.8.2 設計方針 (1) 分析設備は、再処理施設内の各施設から分析試料を採取、移送及び分析できる設計とする。</p> <p>(1) 系統構成 分析結果は、中央制御室等に送り、工程管理等に使用する。</p>	<p>7.3 その他の主要な事項 7.3.1 分析設備 分析設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「1. 核燃料物質の臨界防止」、「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「4. 閉じ込めの機能」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>分析設備は、再処理施設内の各施設から分析試料を採取、<u>リ(4)(i)-①</u>移送及び分析するとともに分析試料の分析により生じる分析済溶液及び分析残液を処理する設備で構成し、分析結果は中央制御室及び使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設の制御室に伝送する設計とする。<u>リ(4)(i)-②</u></p> <p>分析設備は、分析建屋に収納する設計とする。</p> <p>分析建屋は、地上3階、地下3階の建物とする設計とする。<u>リ(4)(i)-③</u></p>	<p>事業変更許可申請書（本文）は、概要の書き出しであり詳細は後段に示す。</p> <p>設工認（本文）の<u>リ(4)(i)-①</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(i)-①</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認（本文）の<u>リ(4)(i)-②</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(i)-②</u>を具体的に記載しており整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）において許可を受けた分析建屋の主要構造及び建築面積は、本設工認の対象外である。設工認（本文）の<u>リ(4)(i)-③</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(i)-③</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>分析建屋機器配置概要図を第172図から第178図に示す。リ(4)(i)-④</p>		<p>分析建屋の一部は、六ヶ所保障措置分析所と共用する。六ヶ所保障措置分析所と共用する分析建屋の一部は、共用によって、当該部位の仕様に変更が無いため、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>分析設備は、再処理施設内の各建屋に設置する分析試料採取装置、分析試料移送装置、分析建屋等に設置する分析装置、グローブボックス等及び分析済溶液処理系で構成する。</p> <p>分析建屋にて分析試料の分析により生じる分析済溶液については、分析試料の性状に応じて分類し、分析済溶液処理系、液体廃棄物の廃棄施設及び分析設備に移送する設計とする。</p> <p>なお、分析設備は、可燃性分析試薬による火災及び爆発を防止する設計とする。</p> <p>(1) 分析試料採取装置 分析試料採取装置は、再処理施設内の各施設に設置し、分析試料を採取できる設計とする。</p> <p>(2) 分析試料移送装置 分析試料移送装置は、気送管等で構成し、再処理施設内の各施設に設置した分析試料採取装置で採取した分析試料を、分析建屋、ウラン脱硝建屋又はウラン・プルトニウム混合脱硝建屋に設置する所定の分析装置に移送する設計とする。また、分析試料移送装置は、移送経路通過を確認できる設計とする。</p> <p>なお、放射線量が極めて低く、比較的多くの量を必要とする分析試料は、手持ち移送にて分析建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設に移送する設計とする。</p> <p>(3) 分析装置 分析装置は、分析建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン脱硝建屋及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設に設置し、分析試料を分析項目に応じた分析ができる設計とする。</p> <p>主要な試料採取項目として清澄・計量設備の計量・調整槽の溶解液等とする設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書(本文)において許可を受けたリ(4)(i)-④は、本設工認では仕様表対象外である。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>(4) 分析セル等            分析設備の分析セル，グローブボックス及び操作ボックスは，可能な限り不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし，閉じ込め部材に可燃性材料のパネルを使用する場合は，パネルを難燃性材料により被覆することで，火災の発生を想定しても閉じ込め機能を損なわない設計とする。</p> <p>(5) 分析済溶液処理系            分析済溶液処理系は，プルトニウムを含む分析済溶液を小容量の回分操作による濃縮及び抽出を行い，プルトニウムを回収し，回収したプルトニウム溶液を分析残液とともに分離建屋一時貯留処理設備に移送する設計とする。</p> <p>プルトニウムを含む分析済溶液については，分析セル及びグローブボックスから分析済溶液受槽に受け入れ，分析済溶液供給槽を経て濃縮操作ボックスに移送し，濃縮操作ボックス内で濃縮を行う設計とする。</p> <p>濃縮液については，濃縮操作ボックスから濃縮液受槽に受け入れ，濃縮液供給槽を経て抽出操作ボックスに移送し，抽出操作ボックス内でプルトニウムの抽出を行う設計とする。</p> <p>回収したプルトニウム溶液については，抽出液受槽に受け入れ，試料採取してプルトニウム量を分析し，プルトニウム濃度を確認した後，回収槽を経て分離建屋一時貯留処理設備に移送する設計とする。</p> <p>分析残液については，分析セル及びグローブボックスから分析残液受槽に受け入れ，分析残液希釈槽に移送し，試料採取してプルトニウム量を分析し，プルトニウム濃度を確認した後，回収槽を経て分離建屋一時貯留処理設備に移送する設計とする。</p> <p>濃縮操作に伴う凝縮液及びプルトニウムを除去した抽出残液については，各々凝縮液受槽及び抽出残液受槽に受け入れ，試料採取してプルトニウム量を分析し，プルトニウム濃度が有意量以下であることを確認した後，液体廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備及び分析設備へ移送する設計とする。</p> <p>なお，分析済溶液処理系の臨界安全管理を要する機器は，技術的に見て想定されるいかなる場合でも，全濃度安全形状寸法管理，濃</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>度管理，質量管理，同位体組成管理及び中性子吸収材管理並びにこれらの組合せにより，単一ユニットとして臨界を防止する設計とする。また，各単一ユニットは，適切に配置することにより，複数ユニットの臨界を防止できる設計とする。</p> <p>分析設備の対象となる主要な設備について、「第 1-7-3-1 表 分析設備の主要設備リスト」に示す。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ. その他再処理設備の附属施設の構造及び設備            (4) その他の主要な事項            (ii) 化学薬品貯蔵供給設備</p> <p>化学薬品貯蔵供給設備は、化学薬品貯蔵供給系、窒素ガス製造供給系及び酸素ガス製造供給系で構成する。</p> <p>化学薬品貯蔵供給系は、再処理施設で使用する化学薬品の受入れ、貯蔵、調整及び供給を行うリ(4)(ii)-①設備である。</p> <p>窒素ガス製造供給系リ(4)(ii)-②及び酸素ガス製造供給系は、再処理施設で使用する窒素ガスリ(4)(ii)-②及び酸素ガスの製造及び供給を行うリ(4)(ii)-③設備である。</p>	<p>9.9 化学薬品貯蔵供給設備            9.9.1 概要</p> <p>化学薬品貯蔵供給設備は、化学薬品貯蔵供給系、窒素ガス製造供給系及び酸素ガス製造供給系で構成する。</p> <p>化学薬品貯蔵供給系は、再処理施設で使用する化学薬品の受入れ、貯蔵、調整及び供給を行う設備である。</p> <p>窒素ガス製造供給系及び酸素ガス製造供給系は、再処理施設で使用する窒素ガス及び酸素ガスの製造及び供給を行う設備である。</p>	<p>(基本設計方針)            7.3.2 化学薬品貯蔵供給設備            化学薬品貯蔵供給設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「5. 火災等による損傷の防止」、及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>化学薬品貯蔵供給設備は、化学薬品貯蔵供給系、窒素ガス製造供給系及び酸素ガス製造供給系で構成する。</p> <p>(1) 化学薬品貯蔵供給系            化学薬品貯蔵供給系は、化学薬品を貯蔵あるいは移送する貯槽、機器及び配管並びにそれに付随する計器で構成する。            化学薬品貯蔵供給系は、再処理施設で使用する化学薬品の受入れ、貯蔵、調整及び供給を行うリ(4)(ii)-①設計とする。            化学薬品貯蔵供給系で取り扱う化学薬品は、硝酸、水酸化ナトリウム、TBP、n-ドデカン、硝酸ヒドラジン、硝酸ヒドロキシルアミン、炭酸ナトリウム、NOxであり、これらは受入れ貯槽及び移送設備から使用する各施設に移送する設計とする。            なお、NOxについては放射性廃棄物の廃棄施設の気体廃棄物の廃棄施設の塔槽類廃ガス処理設備のウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備において廃ガスから回収し、移送する設計とする。            試薬建屋の化学薬品貯蔵供給系は、化学薬品が漏えいしたとしても、建屋外部への漏えいの拡大を防止できる設計とする。</p> <p>(2) 窒素ガス製造供給系            窒素ガス製造供給系は、再処理施設で使用する窒素ガスの製造及び供給を行うリ(4)(ii)-③設計とする。リ(4)(ii)-②</p> <p>(3) 酸素ガス製造供給系            酸素ガス製造供給系は、再処理施設で使用する酸素ガスの製造及び供給を行うリ(4)(ii)-③設計とする。リ(4)(ii)-②</p>	<p>設工認のリ(4)(ii)-①は、事業変更許可申請書（本文）リ(4)(ii)-①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(ii)-②,③は、事業変更許可申請書（本文）リ(4)(ii)-②,③と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(iii) 火災防護設備  <u>火災防護設備</u>リ(4)(iii)-①は、<u>安全機能を有する施設に対する火災防護設備と</u></p> <p><u>重大事故等対処施設</u>リ(4)(iii)-②に対する<u>火災防護設備で構成する。</u></p>	<p>9.10 火災防護設備  <u>火災防護設備は、安全機能を有する施設に対する火災防護設備及び重大事故等対処施設に対する火災防護設備で構成する。</u></p>	<p>(基本設計方針)            第2章 個別項目            7. その他再処理設備の附属施設            7.3 その他の主要な事項            7.3.3 火災防護設備            火災防護設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。            火災防護設備は、火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備並びに火災影響軽減設備で構成する。  <u>火災防護設備</u>リ(4)(iii)-①の基本設計方針については、<u>安全機能を有する施設が、火災又は爆発により再処理施設の安全性が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行い、かつ、火災及び爆発の影響を軽減するために、火災防護上重要な機器等を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u>  <u>また、重大事故等対処施設</u>リ(4)(iii)-②が、<u>火災又は爆発により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、火災及び爆発の発生を防止し、早期に火災発生を感知し消火を行うために、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講ずる設計とする。</u></p> <p>火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備並びに火災及び爆発の影響軽減設備については、以下の設計とする。</p>	<p>設工認の<u>リ(4)(iii)-①</u>は、事業変更許可申請書（本文）<u>リ(4)(iii)-①</u>の機能を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認の<u>リ(4)(iii)-②</u>は、事業変更許可申請書（本文）<u>リ(4)(iii)-②</u>の機能を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(4)(iii)-③安全機能を有する施設を火災から防護するための火災防護設備は、リ(4)(iii)-④火災発生防止設備、火災感知設備、消火設備及び火災影響軽減設備で構成する。</p> <p>リ(4)(iii)-⑤また、重大事故等対処施設を火災から防護するための火災防護設備は、リ(4)(iii)-⑥火災発生防止設備、火災感知設備及び消火設備で構成する。</p>	<p>9.10.1 安全機能を有する施設に対する火災防護設備</p> <p>9.10.1.1 概要 再処理施設内の火災区域及び火災区画に設置する安全機能を有する施設を火災及び爆発から防護することを目的として、火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災及び爆発の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる。</p> <p>9.10.1.4 主要設備 (1) 火災発生防止設備 火災発生防止設備である水素漏えい検知器は、各火災区域又は火災区画に設置する蓄電池の上部に設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の1/4以下で中央制御室又は使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室に警報を発する設計とする。</p> <p>9.10.2 重大事故等対処施設に対する火災防護設備</p> <p>9.10.2.1 概要 再処理施設内の火災区域及び火災区画に設置する重大事故等対処施設を火災及び爆発から防護することを目的として、火災及び爆発の発生防止、火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講ずる。</p> <p>9.10.2.4 主要設備 (1) 火災発生防止設備 火災発生防止設備である水素漏えい検知器は、各火災区域又は火災区画に設置する蓄電池の上部に設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の1/4以下で中央制御室又は使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室若しくは緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p>	<p>&lt;中略&gt; 火災防護設備は、火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備並びに火災影響軽減設備で構成する。</p> <p>第1章 共通項目 5. 火災等による損傷の防止 5.2 火災及び爆発の発生防止 5.2.2 再処理施設の火災及び爆発の発生防止 火災及び爆発の発生防止における水素ガス漏えい検出は、蓄電池の上部にリ(4)(iii)-④水素漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の4分の1以下で中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p> <p>第2章 個別項目 7. その他再処理設備の附属施設 7.3 その他の主要な事項 7.3.3 火災防護設備 &lt;中略&gt; リ(4)(iii)-⑤火災防護設備は、火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備並びに火災影響軽減設備で構成する。</p> <p>5.2 火災及び爆発の発生防止 5.2.2 再処理施設の火災及び爆発の発生防止 火災及び爆発の発生防止における水素ガス漏えい検出は、蓄電池の上部にリ(4)(iii)-⑥水素漏えい検知器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の4分の1以下で中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室又は緊急時対策建屋の建屋管理室に警報を発する設計とする。</p>	<p>事業変更許可申請書（本文）リ(4)(iii)-③は、前段の設工認のリ(4)(iii)-①で示しており整合している。</p> <p>リ(4)(iii)-④は、事業変更許可申請書（本文）における「火災発生防止設備」を設工認のリ(4)(iii)-④共通項目の火災及び爆発の発生防止対策（水素漏えい検知器）として整理しており整合している。</p> <p>事業変更許可申請書（本文）リ(4)(iii)-⑤は、前段の設工認のリ(4)(iii)-②で示しており整合している。</p> <p>リ(4)(iii)-⑥は、事業変更許可申請書（本文）における「火災発生防止設備」を設工認のリ(4)(iii)-⑥共通項目の火災及び爆発の発生防止対策（水素漏えい検知器）として整理しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(4)(iii)-⑦火災感知設備は、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器を組み合わせることを基本とするが、各火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や火災の性質を考慮し、</p> <p>リ(4)(iii)-⑧上記の設置が適切でない場合においては、非アナログ式の炎感知器（熱感知カメラ含む）、非アナログ式の熱感知器等の火災感知器も含めた中から2つの異なる種類の感知器を設置する。</p>	<p>9.10.1.4 主要設備</p> <p>(2) 火災感知設備</p> <p>火災感知設備は、固有の信号を発する異なる種類の感知器及び受信器盤により構成する。火災感知設備の火災感知器は、各火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件、炎が生じる前に発煙すること等、予想される火災の性質を考慮して、火災感知器を設置する火災区域又は火災区画の安全機能を有する構築物、系統及び機器の種類に応じ、火災を早期に感知できるように、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器の異なる種類の感知器を組み合わせる設計とする。</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>7. その他再処理設備の附属施設</p> <p>7.3 その他の主要な事項</p> <p>7.3.3 火災防護設備</p> <p>(1) 火災区域構造物及び火災区画構造物</p> <p>火災区域は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する設計とする。</p> <p>火災区画は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて火災区域を細分化する設計とする。</p> <p>このうち、火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</p> <p>(2) 火災感知設備</p> <p>リ(4)(iii)-⑦火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知器の型式は、放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件及び予想される火災の性質を考慮しリ(4)(iii)-⑦で選定するとともに、火災を早期に感知できるように固有の信号を発する異なる種類の火災感知器として、アナログ式煙感知器及びアナログ式熱感知器の組合せを基本として設置する設計とする。</p> <p>リ(4)(iii)-⑧屋内において取り付け面高さが熱感知器又は煙感知器の上限を超える場合及び外気取入口など気流の影響等を受ける場合は、アナログ式の感知器(煙又は熱)と非アナログ式の炎感知器を組み合わせる設計とする。リ(4)(iii)-⑧屋外構築物の監視に当たっては、アナログ式の感知器の設置が適さないことから、非アナログ式の炎感知器及び非アナログ式の熱感知カメラを組み合わせる設計とする。</p> <p>リ(4)(iii)-⑧また、発火性又は引火性の</p>	<p>設工認のリ(4)(iii)-⑦は、事業変更許可申請書（本文）リ(4)(iii)-⑦と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(iii)-⑧は、事業変更許可申請書（本文）リ(4)(iii)-⑧を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>雰囲気を形成するおそれのある場所については、<u>防爆型のアナログ式の熱感知器(熱電対)に加え、防爆型の非アナログ式の炎感知器を設置する設計とする。</u></p> <p>非アナログ式の火災感知器は、環境条件等を考慮することにより誤作動を防止する設計とする。</p> <p>非アナログ式の炎感知器及び非アナログ式の熱感知カメラを設置する場合は、それぞれの監視範囲に火災の感知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p> <p>非アナログ式の炎感知器を屋内に設置する場合は、誤動作防止対策のため、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置する設計とする。</p> <p>非アナログ式の炎感知器及び非アナログ式の熱感知カメラを屋外に設置する場合は、屋外型を採用するとともに、必要に応じて太陽光の影響を防ぐ遮光板を設置する設計とする。</p> <p>消防法施行令及び消防法施行規則において火災感知器の設置が除外される区域についても、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設が火災による影響を考慮すべき場合には火災感知器を設置する設計とする。</p> <p>火災感知器については消防法施行規則第二十三条第4項に従い設置する設計とする。</p> <p>また、環境条件等から消防法上の火災感知器の設置が困難となり、感知器と同等の機能を有する機器を使用する場合には、同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令第十二条～第十八条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置する設計とする。</p> <p>ただし、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、コンクリート製の構造物や金属製の配管、タンク等のみで構成する機器等を設置する火災区域又は火災区画は、火災の影響により機能を喪失するおそれがないことから、固有の信号を発する異なる種類の火災感知器の組合せは行わず、消防法に基づいた設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>また、中央制御室又は使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室で常時監視(4)(iii)-⑨可能な火災受信器盤を設置する。</p>	<p>9.10.1.6 評価            (2) 火災感知設備は、安全機能を有する施設に適切に配置する設計とするので、火災発生時には中央制御室並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室に火災信号を表示することができる。</p>	<p>また、通常作業時に人の立入りがなく可燃性物質がない区域、通常作業時に人の立入りがなく少量の可燃性物質の取扱いはあるが取扱いの状況を踏まえると火災のおそれがない区域又は可燃性物質の取扱いはあるが火災感知器によらない設備により検出方法の多様性を確保し、火災発生の前後において有効に火災等を検出できる区域は火災感知器を設置しない設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、外部電源喪失時にも火災の感知が可能となるよう、蓄電池を設け、火災感知の機能を失わないよう電源を確保する設計とする。</p> <p>また、火災防護上重要な機器等を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備については、火災防護上重要な機器等の耐震重要度分類に応じて、非常用母線又は運転予備用母線から給電する設計とする。</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、中央制御室又は使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室若しくは緊急時対策建屋の建屋管理室に(4)(iii)-⑨設置する火災受信器盤(火災監視盤)に火災信号を表示するとともに警報を発することで、常時監視できる設計とする。とともに、火災感知器の設置場所を1つずつ特定できることにより、火災の発生場所を特定できる設計とする。</p> <p>火災感知器は、自動試験機能又は遠隔試験機能により点検ができる設計とする。</p> <p>自動試験機能又は遠隔試験機能を持たない火災感知器は、機能に異常がないことを確認するため、消防法施行規則に基づく煙等の火災を模擬した試験を定期的実施することを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>屋外の火災区域又は火災区画に設置する火災感知器は、設計上考慮する自然現象に対する環境条件を満足する設計とする。</p> <p>屋外の火災感知設備は、外気温が-15.7℃まで低下しても使用可能な屋外仕様とする。とともに火災感知器の予備を確保し、風水害の影響を受けた場合は、早期に火災感知器の取替えを行うことにより、当該設備の</p>	<p>設工認の(4)(iii)-⑨は、事業変更許可申請書（本文）(4)(iii)-⑨と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>火災感知設備の一部は、廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>消火設備は、破損、誤作動又は誤操作により、<u>リ(4)(iii)-⑩安全上重要な施設の安全機能を損なわない設計とし...</u></p> <p>火災発生時の煙<u>リ(4)(iii)-⑪</u>の充満又は放射線の影響により消火活動が困難である火災区域又は火災区画であるかを考慮し、<u>固定式消火設備等を設置する。</u></p>	<p>9.10.1.1 概要 火災感知設備の一部は、廃棄物管理施設と共用する。</p> <p>9.10.1.2 設計方針 (2) 火災の感知及び消火 ＜中略＞ 消火設備は、破損、誤作動又は誤操作により、<u>安全上重要な施設の安全機能及び放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>(2) 火災の感知及び消火 ＜中略＞ 消火設備は、<u>安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画のうち、煙又は放射線の影響により消火困難となる箇所については、自動又は制御室等からの手動操作による固定式消火設備を設置する設計とする。</u></p>	<p>機能及び性能を復旧する設計とする。</p> <p>(5) 設備の共用 <u>火災感知設備の一部は、廃棄物管理施設と共用する。</u></p> <p>廃棄物管理施設と共用する火災感知設備は、共用によっても早期の火災感知に影響がない設計とすることで、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>(3) 消火設備</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の<u>消火設備は、破損、誤作動又は誤操作により、<u>リ(4)(iii)-⑩火災防護上重要な機器等の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。</u></u></p> <p>火災の影響を受けるおそれのある火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、<u>火災発生時の煙又は放射線の影響により消火活動が困難<u>リ(4)(iii)-⑪</u>となる箇所として多量の可燃性物質を取り扱う火災区域又は火災区画(危険物の規制に関する政令に規定される著しく消火困難な製造所等に該当する場所となる放射性物質が含まれる有機溶媒等を貯蔵する設備を設置するセル)、可燃性物質を取扱い構造上消火活動が困難となる火災区域又は火災区画(中央制御室床下、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室、緊急時対策建屋の対策本部室の床下及び一般共同溝)、等価火災時間が3時間を超える火災区域又は火災区画及び電気品室等の火災区域又は火災区画)については、自動又は中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室、緊急時対策建屋の建屋管理室からの手動操作による<u>固定式消火設備を設置することにより、消火活動を可能とする設計とする。</u></u></p>	<p>設工認の<u>リ(4)(iii)-⑩</u>は、事業変更許可申請書（本文）<u>リ(4)(iii)-⑩</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ(4)(iii)-⑪</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(iii)-⑪</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>消火設備のうち、消火用水を供給するリ(4)(iii)-⑫消火水供給設備は、<u>廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用し、消火設備のうち、消火栓設備の一部、消火器の一部及び防火水槽の一部は、廃棄物管理施設と共用する。</u></p> <p>また、再処理施設境界の扉については、火災区域設定のため、火災影響軽減設備とする設計とし、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>リ(4)(iii)-⑬他施設と共用するリ(4)(iii)-⑬火災防護設備は、<u>共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p>	<p>9.10.1.2 設計方針</p> <p>(6) <u>消火用水貯槽に貯留している消火用水を供給する消火水供給設備は、<u>廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用し、消火栓設備の一部及び防火水槽の一部は、廃棄物管理施設と共用する。</u></u></p> <p>9.10.1.2 設計方針</p> <p><u>廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用する消火水供給設備並びに廃棄物管理施設と共用する消火栓設備及び防火水槽は、<u>廃棄物管理施設又はMOX燃料加工施設へ消火水を供給した場合においても再処理施設で必要な容量を確保する設計とし、消火水供給設備においては、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を防止する設計とすること</u>で、<u>共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></u></p> <p>リ(4)(iii)-⑬また、<u>廃棄物管理施設と共用する区域の消火器は、必要数を配備する設計とすること</u>で、<u>共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>さらに、緊急時対策建屋等に設置する火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>これらの共用設備は、共用によって仕様、火災感知に係る機能、消火機能に変更はないため、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>火災防護設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-3-3表 火災防護設備の主要設備リスト」に示す。</p> <p>本設備の設備として兼用する場合に主要</p>	<p>(5) 設備の共用</p> <p>消火設備のうち、消火用水を供給するリ(4)(iii)-⑫電動機駆動消火ポンプ、ディーゼル駆動消火ポンプ、圧力調整用消火ポンプ、消火用水貯槽及び過水貯槽は、<u>廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用し、消火栓設備の一部、消火器の一部及び防火水槽の一部は、廃棄物管理施設と共用する。</u></p> <p>リ(4)(iii)-⑬廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設と共用するリ(4)(iii)-⑬消火水供給設備並びに廃棄物管理施設と共用する消火栓設備及び防火水槽は、<u>廃棄物管理施設又はMOX燃料加工施設へ消火用水を供給した場合においても再処理施設で必要な容量を確保する設計とし、消火水供給設備においては、故障その他の異常が発生した場合でも、弁を閉止することにより故障その他の異常による影響を局所化し、故障その他の異常が発生した施設からの波及的影響を防止する設計とすること</u>で、<u>共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>リ(4)(iii)-⑬また、<u>廃棄物管理施設と共用する区域の消火器は、必要数を配備する設計とすること</u>で、<u>共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</u></p> <p>さらに、緊急時対策建屋等に設置する火災区域構造物及び火災区画構造物、火災感知設備、消火設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>これらの共用設備は、共用によって仕様、火災感知に係る機能、消火機能に変更はないため、共用によって再処理施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>火災防護設備の対象となる主要な設備について、「第1-7-3-3表 火災防護設備の主要設備リスト」に示す。</p> <p>本設備の設備として兼用する場合に主要</p>	<p>設工認のリ(4)(iii)-⑫は、事業変更許可申請書（本文）リ(4)(iii)-⑫を具体的に記載しており整合している。</p> <p>MOX燃料加工施設との共用は、本設工認の対象外である。</p> <p>設工認のリ(4)(iii)-⑬は、事業変更許可申請書（本文）リ(4)(iii)-⑬を具体的に記載しており整合している。</p>	<p>別途、MOX燃料加工施設との接続工事に関する設工認にて適合性を示す。</p>

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(4)(iii)-⑭火災及び爆発の影響軽減の機能を有するものとして、安重機能を有する機器等及び放射性物質貯蔵等の機器等を設置する火災区域又は火災区画及び隣接する火災区域又は火災区画の火災及び爆発による影響を軽減するため、火災耐久試験で確認した3時間以上の耐火能力を有する耐火壁</p> <p>リ(4)(iii)-⑮又は1時間以上の耐火能力を有する隔壁等を設置する。</p>	<p>9.10.1.4 主要設備 (4) 火災影響軽減設備 (b) 火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有することを確認した耐火壁 ＜中略＞</p> <p>b. 火災防護上の最重要設備の火災及び爆発の影響軽減のための対策を実施する設備 再処理施設における安全上重要な施設の中でも、火災防護上の最重要設備を設置する火災区域又は火災区画に対して、火災区域又は火災区画内の火災及び爆発の影響軽減のための対策や隣接する火災区域又は火災区画における火災及び爆発の影響を軽減するための対策を実施するための隔壁等として、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した隔壁等を設置する。</p> <p>1.5.2 重大事故等対処施設に対する火災及び爆発の防止に関する設計 1.5.2.1 火災及び爆発の防止に関する設計方針 (1) 火災区域及び火災区画の設定 ＜中略＞ 火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有することを確認した耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</p> <p>9.10.1.4 主要設備 (4) 火災影響軽減設備 (b) 火災防護上の最重要設備の火災及び爆発の影響軽減のための対策を実施する設備 ＜中略＞ これと同等の対策として火災耐久試験により1時間以上の耐火能力を確認した隔壁等と火災感知設備及び消火設備を設置する。</p>	<p>設備リストに記載されない設備については、「第2-7-3-3表 火災防護設備の兼用設備リスト」に示す。</p> <p>(1) 火災区域構造物及び火災区画構造物 リ(4)(iii)-⑭火災区域は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する設計とする。 リ(4)(iii)-⑭火災区画は、第1章 共通項目の「5.1.1 安全機能を有する施設」及び「5.1.2 重大事故等対処施設」に示す耐火壁、離隔距離及び系統分離状況に応じて火災区域を細分化する設計とする。 リ(4)(iii)-⑭このうち、火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。 リ(4)(iii)-⑭また、重大事故等対処施設を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。</p> <p>(4) 火災及び爆発の影響軽減設備 a. 火災防護上の最重要設備の系統分離のための火災影響軽減設備 (c) 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備 リ(4)(iii)-⑮1時間耐火隔壁は、互いに相違する系列を分離し、火災及び爆発の影響を軽減するために、1時間以上の耐火能力を有する耐火隔壁を設置する設計とする。 また、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計とする。 なお、火災感知設備及び自動消火設備については、「(2) 火災感知設備」及び「(3) 消火設備」に基づく設計とする。</p>	<p>設工認のリ(4)(iii)-⑭は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iii)-⑭を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(iii)-⑮は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iii)-⑮を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(iv) 竜巻防護対策設備</p> <p>リ(4)(iv)-①設計竜巻から防護する施設（以下「竜巻防護対象施設」という。）は建屋内に設置し、建屋による防護によって、設計荷重に対して安全機能を損なわない設計とすることを基本とする。ただし、建屋による防護が期待できない竜巻防護対象施設及び屋外に設置される竜巻防護対象施設については、設計飛来物の衝突によって安全機能を損なうことを防止するため、竜巻防護対策設備を設置する。</p> <p>(a) 構造</p> <p>リ(4)(iv)-②竜巻防護対策設備は、設計竜巻によって発生する設計飛来物による安全機能を有する施設への影響を防止するための飛来物防護板及び飛来物防護ネットで構成する。</p> <p>リ(4)(iv)-③飛来物防護板及び飛来物防護ネットは、地震、火山の影響及び外部火災により竜巻防護対象施設に波及的影響を与えない設計とする。</p>		<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 7. その他再処理設備の附属施設 7.3 その他の主要な事項 7.3.4 竜巻防護対策設備 竜巻防護対策設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>リ(4)(iv)-①竜巻に対する防護設計においては、建屋による防護が期待できない竜巻防護対象施設及び安全機能を損なうおそれのある屋外に設置される竜巻防護対象施設が設計飛来物の衝突によって安全機能を損なうことを防止するため、竜巻防護対策設備を設置する設計とする。</p> <p>リ(4)(iv)-②竜巻防護対策設備は、設計竜巻によって発生する設計飛来物による竜巻防護対象施設への影響を防止するための飛来物防護板及び飛来物防護ネットで構成する。</p> <p>竜巻防護対策設備の設計に際しては、竜巻防護対象施設が安全機能を損なわないよう、次のような方針で設計する。</p> <p>(1) 飛来物防護板 リ(4)(iv)-③e. 飛来物防護板は、竜巻以外の自然現象及び人為事象により、竜巻防護対象施設に波及的影響を与えない設計とする。 &lt;中略&gt;</p> <p>(2) 飛来物防護ネット リ(4)(iv)-③i. 飛来物防護ネットは、竜巻以外の自然現象及び人為事象により、</p>	<p>設工認のリ(4)(iv)-①は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iv)-①と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(iv)-②は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iv)-②と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(iv)-③は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iv)-③と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(b) 主要な設備の種類</p> <p>リ(4)(iv)-④飛来物防護板 種類 防護板 材 料 鋼材又は鉄筋コンクリート</p> <p>リ(4)(iv)-⑤飛来物防護ネット 種類 防護ネット 材 料 鋼線(ネット) 鋼材(支持架構)</p>		<p>竜巻防護対象施設に波及的影響を与えない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(1) 飛来物防護板 リ(4)(iv)-④飛来物防護板は、防護板(鋼材)とそれを支持する支持架構又は建屋に支持される防護板(鉄筋コンクリート)で構成し、以下の設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 飛来物防護ネット リ(4)(iv)-⑤冷却塔周りに設置する飛来物防護ネット(補助防護板を含む。)は、防護ネット及び防護板(鋼材)とそれらを支持する支持架構で構成し、以下の設計とする。</p> <p>(1) 飛来物防護板</p> <p>a. 防護板は、設計飛来物の貫通及び裏面剥離を防止できる設計とする。</p> <p>b. 支持架構は、設計荷重(竜巻)に対し、防護板(鋼材)を支持できる強度を有する設計とする。</p> <p>c. 飛来物防護板は、排気機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 飛来物防護板は、設計荷重(竜巻)により、竜巻防護対象施設に波及的影響を与えない設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 飛来物防護ネット</p> <p>a. 防護ネットは、設計飛来物の運動エネルギーを吸収できる強度を有する設計とする。</p> <p>b. 防護ネットは、飛来物の衝突によりたわみが生じた場合でも、竜巻防護対象施設に衝突しない離隔距離を確保する設計とする。</p> <p>c. 防護ネット(補助防護板を含む。)は、設計飛来物の通過及び貫通を防止できる設計とする。</p> <p>d. 支持架構に直接設置する防護ネットは、ネットと支持架構の隙間を設計上考慮する飛来物の大きさ以下とするため、鋼製の補助防護板を設置する設計とする。</p> <p>e. 防護板(鋼材)は、設計飛来物の貫通を防止できる設計とする。</p> <p>f. 支持架構は、設計荷重(竜巻)に対し、防護ネット及び防護板(鋼材)を支持できる</p>	<p>設工認のリ(4)(iv)-④は、事業変更許可申請書(本文)のリ(4)(iv)-④を具体的に記載しており整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(iv)-⑤は、事業変更許可申請書(本文)のリ(4)(iv)-⑤を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																												
		<p>強度を有する設計とする。</p> <p>g. 飛来物防護ネットは、内包する冷却塔の冷却能力に影響を与えない設計とする。</p> <p>h. 飛来物防護ネットは、設計荷重(竜巻)により、竜巻防護対象施設に波及的影響を与えない設計とする。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>竜巻防護対策設備の対象となる主要な設備について、「第 1-7-3-4 表 竜巻防護対策設備の主要設備リスト」に示す。</p> <p>リ(4)(iv)-④【その他再処理設備の附属施設】(仕様表)</p> <table border="1" data-bbox="1537 865 2145 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (前処理建屋、安全蒸気 系設置室)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板 (鉄筋コン クリート リート)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td rowspan="4">-</td> <td>450以上</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td>11400</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td>3275</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3940</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 材料</td> <td colspan="2">コンクリート</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鉄筋</td> <td>-</td> <td>S0345</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基礎</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 * 1 : 公称値を示す。</p> <table border="1" data-bbox="1537 1308 2145 1663"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (冷却塔接続、屋外設 備)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板 (鉄筋コン クリート リート)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td rowspan="4">-</td> <td>500以上</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td>3025</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td>11700</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3790</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 材料</td> <td colspan="2">コンクリート</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鉄筋</td> <td>-</td> <td>S0345</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基礎</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 * 1 : 公称値を示す。</p>			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (前処理建屋、安全蒸気 系設置室)		種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)		主要 寸法	防護板 (鉄筋コン クリート リート)	厚さ	mm	-	450以上	東西	mm	11400	南北	mm	3275	高さ	mm	3940	主要 材料	コンクリート		N/mm <sup>2</sup>	30	鉄筋		-	S0345	基礎		式	1			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (冷却塔接続、屋外設 備)		種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)		主要 寸法	防護板 (鉄筋コン クリート リート)	厚さ	mm	-	500以上	東西	mm	3025	南北	mm	11700	高さ	mm	3790	主要 材料	コンクリート		N/mm <sup>2</sup>	30	鉄筋		-	S0345	基礎		式	1	<p>設工認のリ(4)(iv)-④は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iv)-④を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前		変更後																																																																																												
名称		-		飛来物防護板 (前処理建屋、安全蒸気 系設置室)																																																																																												
種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)																																																																																												
主要 寸法	防護板 (鉄筋コン クリート リート)	厚さ	mm	-	450以上																																																																																											
		東西	mm		11400																																																																																											
		南北	mm		3275																																																																																											
		高さ	mm		3940																																																																																											
主要 材料	コンクリート		N/mm <sup>2</sup>	30																																																																																												
	鉄筋		-	S0345																																																																																												
	基礎		式	1																																																																																												
		変更前		変更後																																																																																												
名称		-		飛来物防護板 (冷却塔接続、屋外設 備)																																																																																												
種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)																																																																																												
主要 寸法	防護板 (鉄筋コン クリート リート)	厚さ	mm	-	500以上																																																																																											
		東西	mm		3025																																																																																											
		南北	mm		11700																																																																																											
		高さ	mm		3790																																																																																											
主要 材料	コンクリート		N/mm <sup>2</sup>	30																																																																																												
	鉄筋		-	S0345																																																																																												
	基礎		式	1																																																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (精製建屋_非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室_A)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板 (鉄筋コンク リート)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">500以上</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td>(東)1500</td> <td>(西)1700</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2475</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 材料</td> <td>コンクリート</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td colspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>-</td> <td colspan="2">SD345</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (精製建屋_非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室_B)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート板</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板 (鉄筋コンク リート)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">500以上</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td>(東)1700</td> <td>(西)1500</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2475</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 材料</td> <td>コンクリート</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td colspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>-</td> <td colspan="2">SD345</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (制御建屋_中央制御室 換気設備設置室)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板 (鉄筋コンク リート)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">500以上</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td colspan="2">1500</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4200</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3530</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 材料</td> <td>コンクリート</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td colspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>-</td> <td colspan="2">SD345</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。</p>			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (精製建屋_非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室_A)		種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)		主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	500以上		東西	mm	(東)1500	(西)1700	南北	mm	-		高さ	mm	2475		主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30		鉄筋	-	SD345		基数	式	1				変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (精製建屋_非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室_B)		種類		-		鉄筋コンクリート板		主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	500以上		東西	mm	(東)1700	(西)1500	南北	mm	-		奥行	mm	2475		主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30		鉄筋	-	SD345		基数	式	1				変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (制御建屋_中央制御室 換気設備設置室)		種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)		主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	500以上		東西	mm	1500		南北	mm	4200		高さ	mm	3530		主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30		鉄筋	-	SD345		基数	式	1			
		変更前		変更後																																																																																																																																																			
名称		-		飛来物防護板 (精製建屋_非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室_A)																																																																																																																																																			
種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)																																																																																																																																																			
主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	500以上																																																																																																																																																			
		東西	mm	(東)1500	(西)1700																																																																																																																																																		
		南北	mm	-																																																																																																																																																			
		高さ	mm	2475																																																																																																																																																			
主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30																																																																																																																																																				
	鉄筋	-	SD345																																																																																																																																																				
	基数	式	1																																																																																																																																																				
		変更前		変更後																																																																																																																																																			
名称		-		飛来物防護板 (精製建屋_非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室_B)																																																																																																																																																			
種類		-		鉄筋コンクリート板																																																																																																																																																			
主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	500以上																																																																																																																																																			
		東西	mm	(東)1700	(西)1500																																																																																																																																																		
		南北	mm	-																																																																																																																																																			
		奥行	mm	2475																																																																																																																																																			
主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30																																																																																																																																																				
	鉄筋	-	SD345																																																																																																																																																				
	基数	式	1																																																																																																																																																				
		変更前		変更後																																																																																																																																																			
名称		-		飛来物防護板 (制御建屋_中央制御室 換気設備設置室)																																																																																																																																																			
種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)																																																																																																																																																			
主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	500以上																																																																																																																																																			
		東西	mm	1500																																																																																																																																																			
		南北	mm	4200																																																																																																																																																			
		高さ	mm	3530																																																																																																																																																			
主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30																																																																																																																																																				
	鉄筋	-	SD345																																																																																																																																																				
	基数	式	1																																																																																																																																																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_A_北プロセ ッ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄骨造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板(鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">40 *1</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td>(東) 4680</td> <td>(西) 14440</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td>2180</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4343</td> <td>7500以上</td> </tr> <tr> <td>主要 材料</td> <td>防護板(鋼板)</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基数</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_A_南プロセ ッ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄骨造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板(鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">40 *1</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td colspan="2">13760</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">7500以上</td> </tr> <tr> <td>主要 材料</td> <td>防護板(鋼板)</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基数</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_B_北プロセ ッ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄骨造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板(鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">40 *1</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td>(東) 14440</td> <td>(西) 4680</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td>-</td> <td>2180</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>7500以上</td> <td>4343</td> </tr> <tr> <td>主要 材料</td> <td>防護板(鋼板)</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基数</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_A_北プロセ ッ)		種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)		主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1		東西	mm	(東) 4680	(西) 14440	南北	mm	2180	-	高さ	mm	4343	7500以上	主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400		基数		式	1				変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_A_南プロセ ッ)		種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)		主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1		東西	mm	13760		南北	mm	-		高さ	mm	7500以上		主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400		基数		式	1				変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_B_北プロセ ッ)		種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)		主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1		東西	mm	(東) 14440	(西) 4680	南北	mm	-	2180	高さ	mm	7500以上	4343	主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400		基数		式	1			
		変更前		変更後																																																																																																																																										
名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_A_北プロセ ッ)																																																																																																																																										
種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)																																																																																																																																										
主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1																																																																																																																																										
		東西	mm	(東) 4680	(西) 14440																																																																																																																																									
		南北	mm	2180	-																																																																																																																																									
		高さ	mm	4343	7500以上																																																																																																																																									
主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400																																																																																																																																											
基数		式	1																																																																																																																																											
		変更前		変更後																																																																																																																																										
名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_A_南プロセ ッ)																																																																																																																																										
種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)																																																																																																																																										
主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1																																																																																																																																										
		東西	mm	13760																																																																																																																																										
		南北	mm	-																																																																																																																																										
		高さ	mm	7500以上																																																																																																																																										
主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400																																																																																																																																											
基数		式	1																																																																																																																																											
		変更前		変更後																																																																																																																																										
名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋_第2非常用デ ィンゼル発電機及び非常用所内 電源系統設置室_B_北プロセ ッ)																																																																																																																																										
種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)																																																																																																																																										
主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1																																																																																																																																										
		東西	mm	(東) 14440	(西) 4680																																																																																																																																									
		南北	mm	-	2180																																																																																																																																									
		高さ	mm	7500以上	4343																																																																																																																																									
主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400																																																																																																																																											
基数		式	1																																																																																																																																											

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (非常用電源建屋、第2非常用予 コンクリート発電機及び非常用所内 電源系統設置室、B、南プロセ ス)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄骨造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板(鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">40 *1</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td colspan="2">13575</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">7500以上</td> </tr> <tr> <td>主要 材料</td> <td>防護板(鋼板)</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基款</td> <td colspan="2">式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (第1ガス固化体貯蔵 建屋、床面走行クレ ン、油断容器設置室)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 寸法</td> <td rowspan="4">防護板 (鉄筋コンク リート)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">450以上</td> </tr> <tr> <td>東西</td> <td>mm</td> <td colspan="2">14400</td> </tr> <tr> <td>南北</td> <td>mm</td> <td colspan="2">5150</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">11300</td> </tr> <tr> <td>主要 材料</td> <td>コンクリート</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td colspan="2">30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鉄筋</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">SD345</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基款</td> <td colspan="2">式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋、第2非常用予 コンクリート発電機及び非常用所内 電源系統設置室、B、南プロセ ス)		種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)		主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1		東西	mm	13575		南北	mm	-		高さ	mm	7500以上		主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400		基款		式		1				変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (第1ガス固化体貯蔵 建屋、床面走行クレ ン、油断容器設置室)		種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)		主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	450以上		東西	mm	14400		南北	mm	5150		高さ	mm	11300		主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30		鉄筋		-		SD345		基款		式		1			
		変更前		変更後																																																																																																				
名称		-		飛来物防護板 (非常用電源建屋、第2非常用予 コンクリート発電機及び非常用所内 電源系統設置室、B、南プロセ ス)																																																																																																				
種類		-		飛来物防護板 (鉄骨造)																																																																																																				
主要 寸法	防護板(鋼材)	厚さ	mm	40 *1																																																																																																				
		東西	mm	13575																																																																																																				
		南北	mm	-																																																																																																				
		高さ	mm	7500以上																																																																																																				
主要 材料	防護板(鋼板)	-	SS400																																																																																																					
基款		式		1																																																																																																				
		変更前		変更後																																																																																																				
名称		-		飛来物防護板 (第1ガス固化体貯蔵 建屋、床面走行クレ ン、油断容器設置室)																																																																																																				
種類		-		飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)																																																																																																				
主要 寸法	防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm	450以上																																																																																																				
		東西	mm	14400																																																																																																				
		南北	mm	5150																																																																																																				
		高さ	mm	11300																																																																																																				
主要 材料	コンクリート	N/mm <sup>2</sup>	30																																																																																																					
鉄筋		-		SD345																																																																																																				
基款		式		1																																																																																																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称</td> <td>名称</td> <td>-</td> <td>飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管及び屋外ダクト _(主排気筒周り)_)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>防護板_(鋼材)_</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護板 (鋼材)</td> <td>厚さ mm</td> <td>3.2以上 (8*1, 12*1, 16*1, 18*1, 20*1)</td> </tr> <tr> <td>支持 架構</td> <td>たて mm</td> <td>(西) 20300*1, (中央) 33100*1, (東) 16400*1</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td>(西) 8350*1, (中央) 44400*1, (東) 8900*1</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td>(西) 12830*1, (中央) 38000*1, (東) 18418*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>防護板_(鋼材)_</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>SS400 SM490A SM490B,C TMCP355B,C TMCP355B,C TMCP440B,C</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗料***</td> </tr> <tr> <td>厚さ mm</td> <td>-</td> <td>2以上**</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">杭基礎</td> <td rowspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>杭基礎** (鋼管コンクリート杭)</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>たて×横 mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎梁</td> <td>幅 mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭の径 mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎式</td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。  *2：建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。  *3：波及的影響を及ぼし得る部材については、火災直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。  *4：主材厚さを示す。  *5：飛来物防護板は杭基礎を介して鷹架層に支持する。</p> <p>波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">炭素鋼</td><td>19</td><td>1</td></tr> <tr><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>10</td><td>6</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>9</td></tr> <tr><td>6</td><td>10</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>12</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>13</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>15</td></tr> <tr><td rowspan="5">ステンレス鋼</td><td>2.11</td><td>17</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>1</td></tr> <tr><td>18</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称	名称	-	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管及び屋外ダクト _(主排気筒周り)_)	種類	-	防護板_(鋼材)_	主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ mm	3.2以上 (8*1, 12*1, 16*1, 18*1, 20*1)	支持 架構	たて mm	(西) 20300*1, (中央) 33100*1, (東) 16400*1	横 mm	(西) 8350*1, (中央) 44400*1, (東) 8900*1	高さ mm	(西) 12830*1, (中央) 38000*1, (東) 18418*1	主要材料	防護板_(鋼材)_	-	SUS304	支持架構	-	SS400 SM490A SM490B,C TMCP355B,C TMCP355B,C TMCP440B,C	耐火被覆	種類	-	耐火塗料***	厚さ mm	-	2以上**	杭基礎	種類	-	杭基礎** (鋼管コンクリート杭)	主要寸法	たて×横 mm		基礎梁	幅 mm		高さ mm		杭の径 mm		主要材料	-	鉄筋コンクリート	基礎式	式		1	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	19	1	14	3	12	4	11	5	10	6	9	7	8	8	6.4	9	6	10	4.5	12	3.9	13	3.2	15	ステンレス鋼	2.11	17	1.2	19	20	1	18	2	12	4	9	7		
		変更前	変更後																																																																																																			
名称	名称	-	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管及び屋外ダクト _(主排気筒周り)_)																																																																																																			
	種類	-	防護板_(鋼材)_																																																																																																			
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ mm	3.2以上 (8*1, 12*1, 16*1, 18*1, 20*1)																																																																																																			
		支持 架構	たて mm	(西) 20300*1, (中央) 33100*1, (東) 16400*1																																																																																																		
	横 mm	(西) 8350*1, (中央) 44400*1, (東) 8900*1																																																																																																				
	高さ mm	(西) 12830*1, (中央) 38000*1, (東) 18418*1																																																																																																				
主要材料	防護板_(鋼材)_	-	SUS304																																																																																																			
	支持架構	-	SS400 SM490A SM490B,C TMCP355B,C TMCP355B,C TMCP440B,C																																																																																																			
耐火被覆	種類	-	耐火塗料***																																																																																																			
	厚さ mm	-	2以上**																																																																																																			
杭基礎	種類	-	杭基礎** (鋼管コンクリート杭)																																																																																																			
		主要寸法	たて×横 mm																																																																																																			
	基礎梁	幅 mm																																																																																																				
	高さ mm																																																																																																					
	杭の径 mm																																																																																																					
主要材料	-	鉄筋コンクリート																																																																																																				
基礎式	式		1																																																																																																			
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																																																				
炭素鋼	19	1																																																																																																				
	14	3																																																																																																				
	12	4																																																																																																				
	11	5																																																																																																				
	10	6																																																																																																				
	9	7																																																																																																				
	8	8																																																																																																				
	6.4	9																																																																																																				
	6	10																																																																																																				
	4.5	12																																																																																																				
	3.9	13																																																																																																				
	3.2	15																																																																																																				
ステンレス鋼	2.11	17																																																																																																				
	1.2	19																																																																																																				
	20	1																																																																																																				
	18	2																																																																																																				
	12	4																																																																																																				
9	7																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																											
		<table border="1" data-bbox="1537 317 2145 869"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護板 (主排気管に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (分離建屋屋外))</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">防護板(鋼材)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護板 (鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">8.2以上 (9*1)</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">(屋上部) 17475*1 (壁面部) 13700*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支持 架構</td> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">(屋上部) 62100*1 (壁面部) 7250*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">(屋上部) 9480*1 (壁面部) 17470*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td colspan="2">防護板(鋼材)</td> <td>-</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支持架構</td> <td>-</td> <td colspan="2">SM490, SSKR490</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">耐火塗料**3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2以上*4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基致</td> <td colspan="2">式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1537 898 2145 1075">                     注記 *1：公称値を示す。                      *2：建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP080CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。                      *3：波及的影響を及ぼし得る部材については、火炎直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。                      *4：主材厚さを示す。                 </p> <table border="1" data-bbox="1537 1165 2145 1728"> <caption>波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表</caption> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">炭素鋼</td><td>18</td><td>1</td></tr> <tr><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>10</td><td>6</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>9</td></tr> <tr><td>6</td><td>10</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>12</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>13</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>15</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>17</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>18</td></tr> <tr><td rowspan="3">ステンレス鋼</td><td>20</td><td>1</td></tr> <tr><td>16</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護板 (主排気管に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (分離建屋屋外))		種類		-		防護板(鋼材)		主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm	8.2以上 (9*1)		たて	mm	(屋上部) 17475*1 (壁面部) 13700*1		支持 架構	横	mm	(屋上部) 62100*1 (壁面部) 7250*1		高さ	mm	(屋上部) 9480*1 (壁面部) 17470*1		主要材料	防護板(鋼材)		-	SUS304		支持架構		-	SM490, SSKR490		耐火被覆	種類		-	耐火塗料**3		厚さ		mm	2以上*4		基致		式		1		材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	18	1	14	3	12	4	11	5	10	6	9	7	8	8	6.4	9	6	10	4.5	12	3.9	13	3.2	15	2.11	17	1.2	18	ステンレス鋼	20	1	16	2	12	4		9	7		
		変更前		変更後																																																																																																											
名称		-		飛来物防護板 (主排気管に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (分離建屋屋外))																																																																																																											
種類		-		防護板(鋼材)																																																																																																											
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm	8.2以上 (9*1)																																																																																																											
		たて	mm	(屋上部) 17475*1 (壁面部) 13700*1																																																																																																											
	支持 架構	横	mm	(屋上部) 62100*1 (壁面部) 7250*1																																																																																																											
		高さ	mm	(屋上部) 9480*1 (壁面部) 17470*1																																																																																																											
主要材料	防護板(鋼材)		-	SUS304																																																																																																											
	支持架構		-	SM490, SSKR490																																																																																																											
耐火被覆	種類		-	耐火塗料**3																																																																																																											
	厚さ		mm	2以上*4																																																																																																											
基致		式		1																																																																																																											
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																																																													
炭素鋼	18	1																																																																																																													
	14	3																																																																																																													
	12	4																																																																																																													
	11	5																																																																																																													
	10	6																																																																																																													
	9	7																																																																																																													
	8	8																																																																																																													
	6.4	9																																																																																																													
	6	10																																																																																																													
	4.5	12																																																																																																													
	3.9	13																																																																																																													
	3.2	15																																																																																																													
	2.11	17																																																																																																													
1.2	18																																																																																																														
ステンレス鋼	20	1																																																																																																													
	16	2																																																																																																													
	12	4																																																																																																													
	9	7																																																																																																													

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																		
		<table border="1" data-bbox="1534 352 2148 907"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>-</td> <td>飛来物防護板 (主排気管に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (精製建屋屋外))</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>防護板(鋼材)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>防護板 (鋼材)</td> <td>厚さ mm</td> <td>8.2以上 (9*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支持 架構</td> <td>たて mm</td> <td>(屋上部) 10500*1 (壁面部) 8750*1</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td>(屋上部) 25400*1 (壁面部) 5950*1</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td>(屋上部) 5300*1 (壁面部) 18700*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>防護板(鋼材)</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>SM490,STKR490</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗料***2</td> </tr> <tr> <td>厚さ mm</td> <td>-</td> <td>2以上*4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基效</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1534 934 2148 1113">           注記 *1：公称値を示す。            *2：建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP0800N-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。            *3：波及的影響を及ぼし得る部材については、火災直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。            *4：主材厚さを示す。         </p> <table border="1" data-bbox="1534 1150 2148 1705"> <caption>波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表</caption> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">炭素鋼</td><td>19</td><td>1</td></tr> <tr><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>10</td><td>6</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>9</td></tr> <tr><td>6</td><td>10</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>12</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>13</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>15</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>17</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>19</td></tr> <tr><td rowspan="4">ステンレス鋼</td><td>20</td><td>1</td></tr> <tr><td>16</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称		-	飛来物防護板 (主排気管に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (精製建屋屋外))	種類		-	防護板(鋼材)	主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ mm	8.2以上 (9*1)	支持 架構	たて mm	(屋上部) 10500*1 (壁面部) 8750*1	横 mm	(屋上部) 25400*1 (壁面部) 5950*1	高さ mm	(屋上部) 5300*1 (壁面部) 18700*1	主要材料	防護板(鋼材)	-	SUS304	支持架構	-	SM490,STKR490	耐火被覆	種類	-	耐火塗料***2	厚さ mm	-	2以上*4	基效		式	1	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	19	1	14	3	12	4	11	5	10	6	9	7	8	8	6.4	9	6	10	4.5	12	3.9	13	3.2	15	2.11	17	1.2	19	ステンレス鋼	20	1	16	2	12	4	9	7		
		変更前	変更後																																																																																			
名称		-	飛来物防護板 (主排気管に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (精製建屋屋外))																																																																																			
種類		-	防護板(鋼材)																																																																																			
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ mm	8.2以上 (9*1)																																																																																			
	支持 架構	たて mm	(屋上部) 10500*1 (壁面部) 8750*1																																																																																			
		横 mm	(屋上部) 25400*1 (壁面部) 5950*1																																																																																			
		高さ mm	(屋上部) 5300*1 (壁面部) 18700*1																																																																																			
主要材料	防護板(鋼材)	-	SUS304																																																																																			
	支持架構	-	SM490,STKR490																																																																																			
耐火被覆	種類	-	耐火塗料***2																																																																																			
	厚さ mm	-	2以上*4																																																																																			
基效		式	1																																																																																			
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																																				
炭素鋼	19	1																																																																																				
	14	3																																																																																				
	12	4																																																																																				
	11	5																																																																																				
	10	6																																																																																				
	9	7																																																																																				
	8	8																																																																																				
	6.4	9																																																																																				
	6	10																																																																																				
	4.5	12																																																																																				
	3.9	13																																																																																				
	3.2	15																																																																																				
	2.11	17																																																																																				
1.2	19																																																																																					
ステンレス鋼	20	1																																																																																				
	16	2																																																																																				
	12	4																																																																																				
	9	7																																																																																				



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																			
		<table border="1" data-bbox="1537 352 2145 793"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>-</td> <td>飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管 及び屋外ダクト、 (高レベル廃液ガラス固化建屋 屋外))</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>防護板(鋼材)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>防護板 (鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支持 架構</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>防護板(鋼材)</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>SM490, SIKR490</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基款</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1537 823 1733 844">注記 * 1 : 公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名称		-	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管 及び屋外ダクト、 (高レベル廃液ガラス固化建屋 屋外))	種類		-	防護板(鋼材)	主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm	支持 架構	たて	mm	横	mm		高さ	mm	主要材料	防護板(鋼材)	-	SUS304	支持架構	-	SM490, SIKR490	基款		式	1		
		変更前	変更後																																				
名称		-	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管 及び屋外ダクト、 (高レベル廃液ガラス固化建屋 屋外))																																				
種類		-	防護板(鋼材)																																				
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm																																				
	支持 架構	たて	mm																																				
		横	mm																																				
	高さ	mm																																					
主要材料	防護板(鋼材)	-	SUS304																																				
	支持架構	-	SM490, SIKR490																																				
基款		式	1																																				

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																				
		<p>リ(4)(iv)-⑤【その他再処理設備の附属施設】（仕様表）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td></td> <td>飛来物防護ネット (再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔A)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>防護ネット：金属製ネット 基礎：杭基礎</td> </tr> <tr> <td>支持地盤</td> <td>-</td> <td></td> <td>鷹架層*2</td> </tr> <tr> <td>杭の強度</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護ネット</td> <td>線径 mm</td> <td>4*1</td> </tr> <tr> <td>網目 mm</td> <td>50*1, 40*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防護板</td> <td>厚さ mm</td> <td>9*1</td> </tr> <tr> <td>たて mm</td> <td>4700*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支持架構</td> <td>横 mm</td> <td>3600*1</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td>2030*1</td> </tr> <tr> <td>補助防護板</td> <td>厚さ mm</td> <td>9*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>防護ネット</td> <td>-</td> <td>硬質線材</td> </tr> <tr> <td>防護板</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>BCP325, G325, SN490B</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗料**4</td> </tr> <tr> <td>厚さ mm</td> <td></td> <td>2以上*5</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：飛来物防護ネットは杭基礎を介して鷹架層に支持する。 *3：建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。 *4：航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火災直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。 *5：主材厚さを示す。</p> <p>波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">炭素鋼</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>6.4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>4.5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>3.9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>3.2</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>2.11</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ステンレス鋼</td> <td>1.2</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称	-		飛来物防護ネット (再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔A)	種類	-		防護ネット：金属製ネット 基礎：杭基礎	支持地盤	-		鷹架層*2	杭の強度	N/mm <sup>2</sup>		27	主要寸法	防護ネット	線径 mm	4*1	網目 mm	50*1, 40*1	防護板	厚さ mm	9*1	たて mm	4700*1	支持架構	横 mm	3600*1	高さ mm	2030*1	補助防護板	厚さ mm	9*2	主要材料	防護ネット	-	硬質線材	防護板	-	SUS304	支持架構	-	BCP325, G325, SN490B	耐火被覆	種類	-	耐火塗料**4	厚さ mm		2以上*5	基礎	式		1	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	19	1	14	3	12	4	11	5	10	6	8	7	6.4	9	6	10	4.5	12	3.9	13	3.2	15	2.11	17	ステンレス鋼	1.2	18	20	1	16	2	12	4		9	6	<p>設工認のリ(4)(iv)-⑤は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(iv)-⑤を具体的に記載しており整合している。</p>	
		変更前	変更後																																																																																																					
名称	-		飛来物防護ネット (再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔A)																																																																																																					
種類	-		防護ネット：金属製ネット 基礎：杭基礎																																																																																																					
支持地盤	-		鷹架層*2																																																																																																					
杭の強度	N/mm <sup>2</sup>		27																																																																																																					
主要寸法	防護ネット	線径 mm	4*1																																																																																																					
		網目 mm	50*1, 40*1																																																																																																					
	防護板	厚さ mm	9*1																																																																																																					
		たて mm	4700*1																																																																																																					
	支持架構	横 mm	3600*1																																																																																																					
		高さ mm	2030*1																																																																																																					
補助防護板	厚さ mm	9*2																																																																																																						
主要材料	防護ネット	-	硬質線材																																																																																																					
	防護板	-	SUS304																																																																																																					
	支持架構	-	BCP325, G325, SN490B																																																																																																					
耐火被覆	種類	-	耐火塗料**4																																																																																																					
	厚さ mm		2以上*5																																																																																																					
基礎	式		1																																																																																																					
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																																																						
炭素鋼	19	1																																																																																																						
	14	3																																																																																																						
	12	4																																																																																																						
	11	5																																																																																																						
	10	6																																																																																																						
	8	7																																																																																																						
	6.4	9																																																																																																						
	6	10																																																																																																						
	4.5	12																																																																																																						
	3.9	13																																																																																																						
	3.2	15																																																																																																						
	2.11	17																																																																																																						
ステンレス鋼	1.2	18																																																																																																						
	20	1																																																																																																						
	16	2																																																																																																						
	12	4																																																																																																						
	9	6																																																																																																						

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																						
		<table border="1" data-bbox="1537 325 2145 1092"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">飛来物防護ネット （再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔目）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">金属製ネット</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護ネット</td> <td>線径</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>網目</td> <td>mm</td> <td colspan="2">50<sup>*1</sup>, 40<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防護板(鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">8.2以上 (9<sup>*1</sup>, 12<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>補助防護板<sup>*2</sup></td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">8.2以上 (9<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支持架構</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="2">47900<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">36000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">20300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td colspan="2">防護ネット</td> <td>-</td> <td colspan="2">硬鋼線材</td> </tr> <tr> <td colspan="2">防護板(鋼材)</td> <td>-</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補助防護板<sup>*2</sup></td> <td>-</td> <td colspan="2">SUS304</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支持架構</td> <td>-</td> <td colspan="2">BCP325, 6385, SN490B, BT-LYP225<sup>*6</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">耐火塗料<sup>*3*4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">厚さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2以上<sup>*5</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">杭基礎</td> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">杭基礎<sup>*7</sup> (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td rowspan="2">基礎梁</td> <td>たて×横</td> <td>mm</td> <td colspan="2">39600<sup>*1</sup>×51500<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2300<sup>*1</sup>, 3600<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">3000<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">杭の径</td> <td>mm</td> <td colspan="2">1000<sup>*1</sup>, 1500<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>-</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基礎式</td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1537 1134 2145 1491">           注記 *1：公称値を示す。            *2：補助防護板は、支持架構に直接設置する防護ネットを構成する部品の一部である。            *3：建築基準法第二條第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。            *4：周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、破損又は落下等の影響により、外部火災防護対象施設等に波及的影響を及ぼすおそれがある部材については、火災直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。            *5：主材厚さを示す。            *6：支持架構の一部である座屈拘束ブレース（制振用アンボンドブレース）は、一般財団法人日本建築センターのBCJ評定-ST0126を取得したものを使用する。            *7：飛来物防護ネットは杭基礎を介して鷹架層に支持する。         </p>			変更前		変更後		名称		-		飛来物防護ネット （再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔目）		種類		-		金属製ネット		主要寸法	防護ネット	線径	mm	4 <sup>*1</sup>		網目	mm	50 <sup>*1</sup> , 40 <sup>*1</sup>		防護板(鋼材)	厚さ	mm	8.2以上 (9 <sup>*1</sup> , 12 <sup>*1</sup> )		補助防護板 <sup>*2</sup>	厚さ	mm	8.2以上 (9 <sup>*1</sup> )		支持架構	たて	mm	47900 <sup>*1</sup>		横	mm	36000 <sup>*1</sup>		高さ	mm	20300 <sup>*1</sup>		主要材料	防護ネット		-	硬鋼線材		防護板(鋼材)		-	SUS304		補助防護板 <sup>*2</sup>		-	SUS304		支持架構		-	BCP325, 6385, SN490B, BT-LYP225 <sup>*6</sup>		耐火被覆	種類		-	耐火塗料 <sup>*3*4</sup>		厚さ		mm	2以上 <sup>*5</sup>		杭基礎	種類		-	杭基礎 <sup>*7</sup> (鉄筋コンクリート造)		主要寸法	基礎梁	たて×横	mm	39600 <sup>*1</sup> ×51500 <sup>*1</sup>		幅	mm	2300 <sup>*1</sup> , 3600 <sup>*1</sup>		高さ	mm	3000 <sup>*1</sup>		杭の径		mm	1000 <sup>*1</sup> , 1500 <sup>*1</sup>		主要材料		-	鉄筋コンクリート		基礎式		式	1			
		変更前		変更後																																																																																																																						
名称		-		飛来物防護ネット （再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔目）																																																																																																																						
種類		-		金属製ネット																																																																																																																						
主要寸法	防護ネット	線径	mm	4 <sup>*1</sup>																																																																																																																						
		網目	mm	50 <sup>*1</sup> , 40 <sup>*1</sup>																																																																																																																						
	防護板(鋼材)	厚さ	mm	8.2以上 (9 <sup>*1</sup> , 12 <sup>*1</sup> )																																																																																																																						
		補助防護板 <sup>*2</sup>	厚さ	mm	8.2以上 (9 <sup>*1</sup> )																																																																																																																					
	支持架構	たて	mm	47900 <sup>*1</sup>																																																																																																																						
		横	mm	36000 <sup>*1</sup>																																																																																																																						
高さ		mm	20300 <sup>*1</sup>																																																																																																																							
主要材料	防護ネット		-	硬鋼線材																																																																																																																						
	防護板(鋼材)		-	SUS304																																																																																																																						
	補助防護板 <sup>*2</sup>		-	SUS304																																																																																																																						
	支持架構		-	BCP325, 6385, SN490B, BT-LYP225 <sup>*6</sup>																																																																																																																						
耐火被覆	種類		-	耐火塗料 <sup>*3*4</sup>																																																																																																																						
	厚さ		mm	2以上 <sup>*5</sup>																																																																																																																						
杭基礎	種類		-	杭基礎 <sup>*7</sup> (鉄筋コンクリート造)																																																																																																																						
	主要寸法	基礎梁	たて×横	mm	39600 <sup>*1</sup> ×51500 <sup>*1</sup>																																																																																																																					
			幅	mm	2300 <sup>*1</sup> , 3600 <sup>*1</sup>																																																																																																																					
		高さ	mm	3000 <sup>*1</sup>																																																																																																																						
	杭の径		mm	1000 <sup>*1</sup> , 1500 <sup>*1</sup>																																																																																																																						
	主要材料		-	鉄筋コンクリート																																																																																																																						
基礎式		式	1																																																																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																										
		<p style="text-align: center;">波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">材料</th> <th style="width: 30%;">板厚 (mm)</th> <th style="width: 40%;">必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">炭素鋼</td><td>36</td><td>-</td></tr> <tr><td>28</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>1</td></tr> <tr><td>19</td><td>1</td></tr> <tr><td>15</td><td>3</td></tr> <tr><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>13</td><td>4</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>10</td><td>6</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>6.5</td><td>9</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>9</td></tr> <tr><td>6</td><td>10</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>12</td></tr> <tr><td>3.91</td><td>13</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>13</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>15</td></tr> <tr><td>2.3</td><td>17</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>17</td></tr> <tr><td>1.2</td><td>19</td></tr> <tr><td rowspan="3">ステンレス鋼</td><td>20</td><td>1</td></tr> <tr><td>16</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	36	-	28	-	22	1	19	1	15	3	14	3	13	4	12	4	11	5	10	6	9	7	8	8	6.5	9	6.4	9	6	10	4.5	12	3.91	13	3.9	13	3.2	15	2.3	17	2.11	17	1.2	19	ステンレス鋼	20	1	16	2	12	4		9	7		
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																												
炭素鋼	36	-																																																												
	28	-																																																												
	22	1																																																												
	19	1																																																												
	15	3																																																												
	14	3																																																												
	13	4																																																												
	12	4																																																												
	11	5																																																												
	10	6																																																												
	9	7																																																												
	8	8																																																												
	6.5	9																																																												
	6.4	9																																																												
	6	10																																																												
	4.5	12																																																												
	3.91	13																																																												
	3.9	13																																																												
3.2	15																																																													
2.3	17																																																													
2.11	17																																																													
1.2	19																																																													
ステンレス鋼	20	1																																																												
	16	2																																																												
	12	4																																																												
	9	7																																																												

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																		
		<table border="1" data-bbox="1537 310 2145 1003"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td></td> <td>飛来物防護ネット （滅火非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系統配塔A、B）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>防護ネット：金属製ネット 基礎：直接基礎</td> </tr> <tr> <td>支持地盤</td> <td>-</td> <td></td> <td>鷹架層*1</td> </tr> <tr> <td>杭の強度</td> <td>N/mm<sup>2</sup></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護ネット</td> <td>線径</td> <td>4<sup>**2</sup></td> </tr> <tr> <td>網目</td> <td>50<sup>**2</sup> × 40<sup>**2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防護板</td> <td>厚さ</td> <td>8.2以上<sup>**3</sup> _(9) _ (10) _ (12) _ _ _(13) _ (21) _<sup>**2</sup></td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>たて mm 横 mm 高さ mm</td> <td>20525<sup>**2</sup> 26300<sup>**2</sup> 17100<sup>**2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助防護板</td> <td>厚さ</td> <td>8.2以上<sup>**3</sup> _(9) _ (12) _<sup>**2</sup></td> </tr> <tr> <td>防護ネット</td> <td>-</td> <td>硬鋼線材</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>防護板</td> <td>-</td> <td>SUS304, SM490B, SS400</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>BCP325, G385, SM490B</td> </tr> <tr> <td>補助防護板</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被覆</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗料*4**6</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>2以上**6</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>式</td> <td></td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1537 1008 2145 1260"> 注記 *1：飛来物防護ネットは直接基礎を介して鷹架層に支持する。  *2：公称値を示す。  *3：飛来物貫通防止の最小厚さを示す。  *4：建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。  *5：航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火災直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。  *6：主材厚さを示す </p> <table border="1" data-bbox="1537 1323 2145 1848"> <caption>波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表</caption> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>必要離隔距離 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">炭素鋼</td><td>19</td><td>1</td></tr> <tr><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>10</td><td>6</td></tr> <tr><td>8</td><td>7</td></tr> <tr><td>6.4</td><td>9</td></tr> <tr><td>6</td><td>10</td></tr> <tr><td>4.5</td><td>12</td></tr> <tr><td>3.9</td><td>13</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>15</td></tr> <tr><td>2.11</td><td>17</td></tr> <tr><td rowspan="4">ステンレス鋼</td><td>1.2</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>1</td></tr> <tr><td>16</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称	-		飛来物防護ネット （滅火非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系統配塔A、B）	種類	-		防護ネット：金属製ネット 基礎：直接基礎	支持地盤	-		鷹架層*1	杭の強度	N/mm <sup>2</sup>		-	主要寸法	防護ネット	線径	4 <sup>**2</sup>	網目	50 <sup>**2</sup> × 40 <sup>**2</sup>	防護板	厚さ	8.2以上 <sup>**3</sup> _(9) _ (10) _ (12) _ _ _(13) _ (21) _ <sup>**2</sup>	支持架構	たて mm 横 mm 高さ mm	20525 <sup>**2</sup> 26300 <sup>**2</sup> 17100 <sup>**2</sup>	補助防護板	厚さ	8.2以上 <sup>**3</sup> _(9) _ (12) _ <sup>**2</sup>	防護ネット	-	硬鋼線材	主要材料	防護板	-	SUS304, SM490B, SS400	支持架構	-	BCP325, G385, SM490B	補助防護板	-	SUS304	耐火被覆	種類	-	耐火塗料*4**6	厚さ	mm	2以上**6	基数	式		1式	材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)	炭素鋼	19	1	14	3	12	4	11	5	10	6	8	7	6.4	9	6	10	4.5	12	3.9	13	3.2	15	2.11	17	ステンレス鋼	1.2	19	20	1	16	2	12	4	9	6		
		変更前	変更後																																																																																																			
名称	-		飛来物防護ネット （滅火非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系統配塔A、B）																																																																																																			
種類	-		防護ネット：金属製ネット 基礎：直接基礎																																																																																																			
支持地盤	-		鷹架層*1																																																																																																			
杭の強度	N/mm <sup>2</sup>		-																																																																																																			
主要寸法	防護ネット	線径	4 <sup>**2</sup>																																																																																																			
		網目	50 <sup>**2</sup> × 40 <sup>**2</sup>																																																																																																			
	防護板	厚さ	8.2以上 <sup>**3</sup> _(9) _ (10) _ (12) _ _ _(13) _ (21) _ <sup>**2</sup>																																																																																																			
		支持架構	たて mm 横 mm 高さ mm	20525 <sup>**2</sup> 26300 <sup>**2</sup> 17100 <sup>**2</sup>																																																																																																		
	補助防護板	厚さ	8.2以上 <sup>**3</sup> _(9) _ (12) _ <sup>**2</sup>																																																																																																			
		防護ネット	-	硬鋼線材																																																																																																		
主要材料	防護板	-	SUS304, SM490B, SS400																																																																																																			
	支持架構	-	BCP325, G385, SM490B																																																																																																			
	補助防護板	-	SUS304																																																																																																			
耐火被覆	種類	-	耐火塗料*4**6																																																																																																			
	厚さ	mm	2以上**6																																																																																																			
基数	式		1式																																																																																																			
材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)																																																																																																				
炭素鋼	19	1																																																																																																				
	14	3																																																																																																				
	12	4																																																																																																				
	11	5																																																																																																				
	10	6																																																																																																				
	8	7																																																																																																				
	6.4	9																																																																																																				
	6	10																																																																																																				
	4.5	12																																																																																																				
	3.9	13																																																																																																				
	3.2	15																																																																																																				
	2.11	17																																																																																																				
ステンレス鋼	1.2	19																																																																																																				
	20	1																																																																																																				
	16	2																																																																																																				
	12	4																																																																																																				
9	6																																																																																																					

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																						
		<table border="1" data-bbox="1537 310 2148 808"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>飛来物防護ネット（使用済機材の受入れ施設及び貯蔵施設用_安全冷却水系冷却塔）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護ネット</td> <td>線径</td> <td>4.0<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>網目</td> <td>50<sup>*1</sup>, 40<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防護鉄板追加部材<sup>**</sup></td> <td>厚さ</td> <td>7.4以上 (8.0<sup>*1</sup>, 10.0<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>防護板 (鋼材)</td> <td>厚さ</td> <td>8.0以上 (8.0<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支持架構</td> <td>たて</td> <td>4300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>5300<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>18480<sup>*1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>防護ネット</td> <td>-</td> <td>SUSF-4</td> </tr> <tr> <td>防護鉄板追加部材</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>防護板 (鋼材)</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>SM490A, STKR490</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被膜</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗装<sup>***</sup></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>2以上<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">杭基礎</td> <td rowspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>杭基礎<sup>**</sup> (鉄筋コンクリート造)</td> </tr> <tr> <td>基礎梁</td> <td>たて×横 mm</td> <td>49700×58550</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>4550, 5200, 6200, 7700</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3000 (一部 2500)</td> </tr> <tr> <td>杭の径</td> <td>mm</td> <td>1100, 1300, 1500</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1537 814 2148 1092">                     注記 *1: 公称値を示す。                      *2: 防護鉄板追加部材は、防護ネット及び支持架構の間隙から設計飛来物の通過を防止するための部材である。                      *3: 建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0000を取得した主材及び下塗り材を使用する。                      *4: 航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火災直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。                      *5: 主材厚さを示す。                      *6: 飛来物防護ネットは杭基礎を介して鷹架層に支持する。                 </p>	名称		変更前	変更後	種類		-	飛来物防護ネット（使用済機材の受入れ施設及び貯蔵施設用_安全冷却水系冷却塔）	主要寸法	防護ネット	線径	4.0 <sup>*1</sup>	網目	50 <sup>*1</sup> , 40 <sup>*1</sup>	防護鉄板追加部材 <sup>**</sup>	厚さ	7.4以上 (8.0 <sup>*1</sup> , 10.0 <sup>*1</sup> )	防護板 (鋼材)	厚さ	8.0以上 (8.0 <sup>*1</sup> )	支持架構	たて	4300 <sup>*1</sup>	横	5300 <sup>*1</sup>	高さ	18480 <sup>*1</sup>	主要材料	防護ネット	-	SUSF-4	防護鉄板追加部材	-	SUS304	防護板 (鋼材)	-	SUS304	支持架構	-	SM490A, STKR490	耐火被膜	種類	-	耐火塗装 <sup>***</sup>	厚さ	mm	2以上 <sup>**</sup>	杭基礎	種類	-	杭基礎 <sup>**</sup> (鉄筋コンクリート造)	基礎梁	たて×横 mm	49700×58550	主要寸法	幅	mm	4550, 5200, 6200, 7700	高さ	mm	3000 (一部 2500)	杭の径	mm	1100, 1300, 1500	主要材料	-	鉄筋コンクリート	基礎	式	1		
名称		変更前	変更後																																																																							
種類		-	飛来物防護ネット（使用済機材の受入れ施設及び貯蔵施設用_安全冷却水系冷却塔）																																																																							
主要寸法	防護ネット	線径	4.0 <sup>*1</sup>																																																																							
		網目	50 <sup>*1</sup> , 40 <sup>*1</sup>																																																																							
	防護鉄板追加部材 <sup>**</sup>	厚さ	7.4以上 (8.0 <sup>*1</sup> , 10.0 <sup>*1</sup> )																																																																							
		防護板 (鋼材)	厚さ	8.0以上 (8.0 <sup>*1</sup> )																																																																						
	支持架構	たて	4300 <sup>*1</sup>																																																																							
		横	5300 <sup>*1</sup>																																																																							
高さ		18480 <sup>*1</sup>																																																																								
主要材料	防護ネット	-	SUSF-4																																																																							
	防護鉄板追加部材	-	SUS304																																																																							
	防護板 (鋼材)	-	SUS304																																																																							
	支持架構	-	SM490A, STKR490																																																																							
耐火被膜	種類	-	耐火塗装 <sup>***</sup>																																																																							
	厚さ	mm	2以上 <sup>**</sup>																																																																							
杭基礎	種類	-	杭基礎 <sup>**</sup> (鉄筋コンクリート造)																																																																							
		基礎梁	たて×横 mm	49700×58550																																																																						
	主要寸法	幅	mm	4550, 5200, 6200, 7700																																																																						
		高さ	mm	3000 (一部 2500)																																																																						
		杭の径	mm	1100, 1300, 1500																																																																						
	主要材料	-	鉄筋コンクリート																																																																							
基礎	式	1																																																																								

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>飛来物防護ネット（使用済燃料の 受入れ施設及び貯蔵施設用 - 安全 冷却水系冷却塔用） 金属製ネット</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要 寸法</td> <td rowspan="2">防護ネット</td> <td>線径</td> <td>4.0<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>網目</td> <td>50<sup>※1</sup>, 40<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防護鉄板追加部材<sup>※2</sup></td> <td>厚さ</td> <td>7.4以上（9.0<sup>※1</sup>, 10.0<sup>※1</sup>）</td> </tr> <tr> <td>防護板 （鋼材）</td> <td>厚さ</td> <td>9.0以上（9.0<sup>※1</sup>）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支持架構</td> <td>たて</td> <td>8400<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>81500<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>18700<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要 材料</td> <td>防護ネット</td> <td>-</td> <td>SWG4</td> </tr> <tr> <td>防護鉄板追加部材</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>防護板 （鋼材）</td> <td>-</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>-</td> <td>SM490A, STKR490 SM490C, STK500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火 被膜</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>耐火塗装<sup>※3※4</sup></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>2以上<sup>※5</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">杭基礎</td> <td rowspan="2">種類</td> <td>-</td> <td>杭基礎<sup>※6</sup> （鉄筋コンクリート造）</td> </tr> <tr> <td>たて×横</td> <td>mm</td> <td>88700×88850</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要 寸法</td> <td rowspan="2">基礎梁</td> <td>幅</td> <td>5275, 5700, 5900, 6475, 8799, 8900, 7878, 8100, 8350, 8700, 9400, 9750, 12350, 14700, 13425, 18200</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3000（一部2000及び1500）</td> </tr> <tr> <td>杭の径</td> <td>mm</td> <td>1000, 1200, 1500</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>-</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。  *2: 防護鉄板追加部材は、防護ネット及び支持架構の隙間から設計飛来物の通過を防止するための部材である。  *3: 建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0000を取得した主材及び下塗り材を使用する。  *4: 航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火炎直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。  *5: 主材厚さを示す。  *6: 飛来物防護ネットは杭基礎を介して鷹架層に支持する。</p>	名称		変更前	変更後	種類		-	飛来物防護ネット（使用済燃料の 受入れ施設及び貯蔵施設用 - 安全 冷却水系冷却塔用） 金属製ネット	主要 寸法	防護ネット	線径	4.0 <sup>※1</sup>	網目	50 <sup>※1</sup> , 40 <sup>※1</sup>	防護鉄板追加部材 <sup>※2</sup>	厚さ	7.4以上（9.0 <sup>※1</sup> , 10.0 <sup>※1</sup> ）	防護板 （鋼材）	厚さ	9.0以上（9.0 <sup>※1</sup> ）	支持架構	たて	8400 <sup>※1</sup>	横	81500 <sup>※1</sup>	高さ	18700 <sup>※1</sup>	主要 材料	防護ネット	-	SWG4	防護鉄板追加部材	-	SUS304	防護板 （鋼材）	-	SUS304	支持架構	-	SM490A, STKR490 SM490C, STK500	耐火 被膜	種類	-	耐火塗装 <sup>※3※4</sup>	厚さ	mm	2以上 <sup>※5</sup>	杭基礎	種類	-	杭基礎 <sup>※6</sup> （鉄筋コンクリート造）	たて×横	mm	88700×88850	主要 寸法	基礎梁	幅	5275, 5700, 5900, 6475, 8799, 8900, 7878, 8100, 8350, 8700, 9400, 9750, 12350, 14700, 13425, 18200	高さ	mm	3000（一部2000及び1500）	杭の径	mm	1000, 1200, 1500	主要材料	-	鉄筋コンクリート	基数	式	1		
名称		変更前	変更後																																																																							
種類		-	飛来物防護ネット（使用済燃料の 受入れ施設及び貯蔵施設用 - 安全 冷却水系冷却塔用） 金属製ネット																																																																							
主要 寸法	防護ネット	線径	4.0 <sup>※1</sup>																																																																							
		網目	50 <sup>※1</sup> , 40 <sup>※1</sup>																																																																							
	防護鉄板追加部材 <sup>※2</sup>	厚さ	7.4以上（9.0 <sup>※1</sup> , 10.0 <sup>※1</sup> ）																																																																							
		防護板 （鋼材）	厚さ	9.0以上（9.0 <sup>※1</sup> ）																																																																						
	支持架構	たて	8400 <sup>※1</sup>																																																																							
		横	81500 <sup>※1</sup>																																																																							
高さ		18700 <sup>※1</sup>																																																																								
主要 材料	防護ネット	-	SWG4																																																																							
	防護鉄板追加部材	-	SUS304																																																																							
	防護板 （鋼材）	-	SUS304																																																																							
	支持架構	-	SM490A, STKR490 SM490C, STK500																																																																							
耐火 被膜	種類	-	耐火塗装 <sup>※3※4</sup>																																																																							
	厚さ	mm	2以上 <sup>※5</sup>																																																																							
杭基礎	種類	-	杭基礎 <sup>※6</sup> （鉄筋コンクリート造）																																																																							
		たて×横	mm	88700×88850																																																																						
	主要 寸法	基礎梁	幅	5275, 5700, 5900, 6475, 8799, 8900, 7878, 8100, 8350, 8700, 9400, 9750, 12350, 14700, 13425, 18200																																																																						
			高さ	mm	3000（一部2000及び1500）																																																																					
		杭の径	mm	1000, 1200, 1500																																																																						
	主要材料	-	鉄筋コンクリート																																																																							
	基数	式	1																																																																							

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(v) 溢水防護設備</p> <p><u>安全機能を有する施設は、再処理施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>そのために、再処理施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）による溢水、再処理施設内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水又は燃料貯蔵プール・ピット等のスロッシングによる溢水が発生した場合においても、リ. (4)(v)-①再処理施設内における扉、堰、遮断弁等により溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、燃料貯蔵プール・ピット等の冷却機能及び燃料貯蔵プール・ピット等への給水機能を維持できる設計とする。</u></p>	<p>9.12 溢水防護設備</p> <p><u>安全機能を有する施設は、再処理施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>そのために、再処理施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）による溢水、再処理施設内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水又は燃料貯蔵プール・ピット等のスロッシングによる溢水が発生した場合においても、再処理施設内における扉、堰、遮断弁等により溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、燃料貯蔵プール・ピット等の冷却機能及び燃料貯蔵プール・ピット等への給水機能を維持できる設計とする。</u></p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目</p> <p>7. その他再処理設備の附属施設 7.3 その他の主要な事項 7.3.5 溢水防護設備</p> <p><u>溢水防護設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。</u></p> <p><u>安全機能を有する施設は、再処理施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>そのために、再処理施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)による溢水、再処理施設内で生じる異常状態(火災を含む。)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水又は燃料貯蔵プール・ピット等のスロッシングによる溢水が発生した場合においても、リ. (4)(v)-①溢水防護設備により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>また、燃料貯蔵プール・ピット等の冷却機能及び燃料貯蔵プール・ピット等への給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p><u>溢水防護設備は、壁(貫通部止水処置を含む。)、防水扉、水密扉、堰、床ドレン逆止弁、溢水防護板、自動検知・遠隔隔離システム、ターミナルエンド防護カバー、蒸気防護板、地震計、緊急遮断弁、漏えい検知器、液位計、止水板及び蓋で構成し、以下の設計とすることにより、溢水防護対象設備が溢水により安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>事業変更許可申請書（本文）第四号リ項において、設工認の内容は、以下の通り整合している。</p> <p>設工認のリ. (4)(v)-①は、事業変更許可申請書（本文）のリ. (4)(v)-①を具体的に記載しており整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>(1) 流入防止対策として設置する壁(貫通部止水処置を含む。), 防水扉, 水密扉, 堰及び床ドレン逆止弁は, 壁, 扉, 堰, 床段差等の設置状況を踏まえて流入防止対策を図ることにより, 溢水防護区画外の溢水に対して, 流入を防止する設計とする。</p> <p>また, 溢水防護対象設備周囲に設置する堰は, 溢水防護対象設備が没水しないよう設置する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁(貫通部止水処置を含む。), 防水扉, 水密扉, 堰及び床ドレン逆止弁並びに溢水防護対象設備周囲に設置する堰は, 発生した溢水による水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに, 基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護板は, 発生した溢水の溢水防護対象設備への被水を防止する設計とし, 溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なわないよう設置する設計とする。</p> <p>溢水防護対象設備を覆う溢水防護板は, 主要部材に不燃性材料又は難燃性材料を用いて製作し, 基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を有する設計及び実機を想定した被水条件を考慮しても当該機能を損なわないことを被水試験等により確認する設計とする。</p> <p>(3) 自動検知・遠隔隔離システム(温度検出器, 蒸気遮断弁)は, 蒸気影響を緩和するため, 蒸気の漏えいを検知し, 自動で漏えい蒸気を隔離する設計とする。</p> <p>溢水源となる一般蒸気等に設置する蒸気遮断弁は, 隔離信号発信後10秒以内に自動隔離する設計とする。</p> <p>また, 自動検知・遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には, 破損想定箇所にターミナルエンド防護カバーを設置することで蒸気影響を軽減する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>(4) 蒸気防護板は、溢水防護対象設備が蒸気の影響により安全機能を損なわないよう、溢水防護対象設備に対して設置する設計とする。</p> <p>蒸気防護板は、実機を想定した蒸気条件を考慮した耐蒸気性能を有する設計とする。</p> <p>蒸気防護板は、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を有する設計並びに蒸気配管の破損により生じる環境温度及び圧力に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(5) 溢水防護建屋内又は建屋間(建屋外の洞道含む。)に設置する緊急遮断弁は、制御建屋に設置する地震計からの信号で作動する又は弁の感震機構で作動することにより、他建屋から流入する系統を隔離できる設計とし、溢水防護建屋内で発生する溢水量を低減する設計とする。</p> <p>地震計及び緊急遮断弁は、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を有する設計とする。</p> <p>(6) 漏えい検知器及び液位計は、溢水の発生を検知し、中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室からの手動遠隔操作又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>(7) 止水板及び蓋は、燃料貯蔵プール・ピット等の周囲に設置することによりスロッシング水量を低減し、燃料貯蔵プール・ピット等の冷却機能及び燃料貯蔵プール・ピット等への給水機能が確保されることを確認し、それらを用いることにより適切な水温及び遮蔽に必要な水位を維持できる設計とする。</p> <p>止水板及び蓋は、地震、火災荷重及び環境条件に対して、スロッシング水量を低減する性能が損なわれない設計とする。</p> <p>溢水防護設備については、保守点検等の運用を適切に実施することを保安規定に定めて、管理する。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(vi) 化学薬品防護設備</p> <p>安全機能を有する施設は、再処理施設内における化学薬品の漏えいが発生した場合（漏えいに伴い有毒ガスが発生した場合を含む。）においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、再処理施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）による化学薬品の漏えい、再処理施設内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの消火剤の放出による化学薬品の漏えいが発生した場合においても、<u>リ. (4)(vi)-①再処理施設内における扉、堰、遮断弁等により化学薬品防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p>	<p>9.13 化学薬品防護設備</p> <p>安全機能を有する施設は、再処理施設内における化学薬品の漏えいが発生した場合（漏えいに伴い有毒ガスが発生した場合を含む。）においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、再処理施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）による化学薬品の漏えい、再処理施設内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの消火剤の放出による化学薬品の漏えいが発生した場合においても、再処理施設内における扉、堰、遮断弁等により化学薬品防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>(基本設計方針) 第2章 個別項目 7. その他再処理設備の附属施設 7.3 その他の主要な事項 7.3.6 化学薬品防護設備</p> <p>化学薬品防護設備の設計に係る共通的な設計方針については、第1章 共通項目の「2. 地盤」、「3. 自然現象等」、「5. 火災等による損傷の防止」、「6. 再処理施設内における溢水による損傷の防止」、「7. 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止」及び「9. 設備に対する要求」に基づくものとする。</p> <p>安全機能を有する施設は、再処理施設内における化学薬品の漏えいが発生した場合（漏えいに伴い有毒ガスが発生した場合を含む。）においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、再処理施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）による化学薬品の漏えい又は再処理施設内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの消火剤の放出による化学薬品の漏えいが発生した場合においても、<u>リ. (4)(vi)-①化学薬品防護設備により、化学薬品防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>化学薬品防護設備は、<u>壁（貫通部止水処置を含む。）、防水扉、水密扉、堰、床ドレン逆止弁、薬品防護板、地震計、緊急遮断弁、機器収納ボックス、二重管、漏えい検知器及び液位計で構成し、以下の設計とすることにより、化学薬品防護対象設備が化学薬品の漏えいにより安全機能を損なわない設計とする。</u></p> <p>(1) 流入防止対策として設置する壁（貫通部止水処置を含む。）、防水扉、水密扉、堰及び床ドレン逆止弁は、壁、扉、堰、床段差等の設置状況を踏まえて流入防止対策を図ることにより化学薬品防護区画外の化学薬品の漏えいに対して、流入を防止する設計とする。</p>	<p>設工認の<u>リ. (4)(vi)-①</u>は、事業変更変更申請書（本文）の<u>リ. (4)(vi)-①</u>を具体的に記載しており整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
		<p>また、化学薬品防護対象設備周囲に設置する堰は、化学薬品防護対象設備が没液しないよう設置する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁（貫通部止水処置を含む。）、防水扉、水密扉、堰及び床ドレン逆止弁並びに化学薬品防護対象設備周囲に設置する堰は、発生した化学薬品の漏えいによる液位、水圧及び腐食又は劣化に起因する化学的損傷の影響に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の化学薬品の漏えいの要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(2) 薬品防護板は、漏えいした化学薬品の化学薬品防護対象設備への被液を防止する設計とし、化学薬品防護対象設備が被液により安全機能を損なわないよう設置する設計とする。</p> <p>化学薬品防護対象設備を覆う薬品防護板は、主要部材に不燃性材料又は難燃性材料を用いて製作し、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を有する設計とするとともに、機器の破損により漏えいした化学薬品の腐食又は劣化に起因する化学的損傷の影響に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) 化学薬品防護建屋内又は建屋間（建屋外の洞道含む。）に設置する緊急遮断弁は、制御建屋に設置する地震計からの信号で作動することにより、他建屋から流入する系統を隔離できる設計とし、化学薬品防護区画で発生する化学薬品の漏えい量を低減する設計とする。</p> <p>地震計及び緊急遮断弁は、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を有する設計とする。</p> <p>(4) 機器収納ボックス及び二重管は、破損を想定する配管に設置することにより、化学薬品が区画内に漏えいすることを防止し、化学薬品の漏えい量を低減する設計とする。</p>		

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>なお、化学薬品の影響を受けたとしてもその影響を軽減する機能が損なわれないリ。  <u>（4）（vi）-②</u>扉、堰、遮断弁等の溢水防護設備については、化学薬品防護設備として兼用する。</p>		<p>(5) 漏えい検知器及び液位計は、化学薬品の漏えいの発生を検知し、中央制御室、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室からの手動遠隔操作又は現場操作により隔離を行うことで発生する化学薬品の漏えい量を低減する設計とする。</p> <p>化学薬品防護設備については、化学薬品の影響を受けたとしてもその影響を軽減する機能が損なわれない設計にするとともに、保守点検等の運用を適切に実施することを保安規定に定めて、管理する。</p> <p>なお、化学薬品の影響を受けたとしてもその影響を軽減する機能が損なわれないリ。  <u>（4）（vi）-②</u>溢水防護設備については、化学薬品防護設備として兼用する。</p>	<p>設工認の<u>リ。（4）（vi）-②</u>は、事業変更変更申請書（本文）の<u>リ。（4）（vi）-②</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(vii) 補機駆動用燃料補給設備</p> <p>リ(4)(vii)-①重大事故等時に重大事故等対処設備へ補機駆動用の軽油を補給するための設備として、補機駆動用燃料補給設備を設置及び保管する設計とする。</p> <p>(a) 重大事故等対処設備の補機駆動用燃料補給設備</p> <p>(i) 補機駆動用燃料補給設備</p> <p>リ(4)(vii)-②重大事故等の対処に用いる設備に対する補機駆動用の燃料を補給する設備は、軽油貯槽及び軽油用タンクローリを使用する。</p> <p>リ(4)(vii)-③重大事故等の対処に用いる軽油貯槽は、地下に設置し、第1非常用ディーゼル発電機及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能を損なわないよう、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクから離れた異なる場所に設置することにより、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-④重大事故等対処設備の補機駆動用燃料補給設備は、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能を損なわないよう、異なる燃料とすることで多様性を有する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑤補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、常設重大事故等対処設備として設置し、可搬型中型移送ポンプ、可搬型中型移送ポンプ運搬車、大型移送ポンプ車、ホース展張車、運搬車、監視測定用運搬車、けん引車、ホイールローダ及び軽油用タンクローリに燃料を補給できる設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑥補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、可搬型重大事故等対処設備として配備し、可搬型発電機、可搬型空気圧縮機、可搬型中型移送ポンプ、大型移送ポンプ車に燃料を補給できる設計とする。</p>		<p>(基本設計方針)</p> <p>7.1.1.11 補機駆動用燃料補給設備</p> <p>リ(4)(vii)-①重大事故等時に重大事故等対処設備へ補機駆動用の軽油を補給するための設備として、補機駆動用燃料補給設備を設ける設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-②補機駆動用燃料補給設備は、第1軽油貯槽、第2軽油貯槽（以下「軽油貯槽」という。）及び軽油用タンクローリで構成する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-③重大事故等の対処に用いる軽油貯槽は、地下に設置し、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能を損なわないよう、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクから離れた異なる場所に設置することにより、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-④補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、共通要因によって第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと同時にその機能を損なわないよう、異なる燃料とすることで多様性を有する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑤補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、常設重大事故等対処設備として設置し、可搬型中型移送ポンプ、可搬型中型移送ポンプ運搬車、大型移送ポンプ車、ホース展張車、運搬車、監視測定用運搬車、けん引車、ホイールローダ及び軽油用タンクローリに燃料を補給できる設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑥補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、可搬型重大事故等対処設備として配備し、可搬型発電機、可搬型空気圧縮機、可搬型中型移送ポンプ、大型移送ポンプ車に燃料を補給できる設計とする。</p>	<p>設工認のリ(4)(vii)-①は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-①」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-②」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-②」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-③」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-③」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-④」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-④」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-⑤」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑤」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-⑥」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑥」と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>とする。</p> <p><u>リ(4)(vii)-⑦補機駆動用燃料補給設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</u>  <u>MOX燃料加工施設と共用する補機駆動用燃料補給設備は、MOX燃料加工施設への燃料の補給を考慮し、十分な容量を確保することで、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>軽油貯槽及び軽油用タンクローリにより燃料を補給する設備を、「ロ.(7)(i)(1)制御室等」、「ロ.(7)(i)(p)監視設備」、「ロ.(7)(ii)(d)冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備」、「ロ.(7)(ii)(e)放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備」、「ロ.(7)(ii)(g)使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備」、「ロ.(7)(ii)(i)工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための設備」、「ロ.(7)(ii)(j)重大事故等への対処に必要な水の供給設備」、「ロ.(7)(ii)(l)計装設備」及び「ロ.(7)(ii)(r)緊急時対策所」に示す。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-⑧補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、地下の異なる場所に設置することで、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクに対して、独立性を有する設計とする。</u></p>		<p><u>リ(4)(vii)-⑦MOX燃料加工施設と共用する軽油貯槽は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な容量を確保することで、共用によって重大事故時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-⑧補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、共通要因によって第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、地下の異なる場所に設置することで、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクに対して、独立性を有する設計とする。</u></p>	<p>設工認の<u>リ(4)(vii)-⑦</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(vii)-⑦</u>と同義であり整合している。</p> <p>変更許可申請書（本文）「<u>ロ.(7)(i)(1)制御室等</u>」，「<u>ロ.(7)(i)(p)監視設備</u>」，「<u>ロ.(7)(ii)(d)冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備</u>」，「<u>ロ.(7)(ii)(e)放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備</u>」，「<u>ロ.(7)(ii)(g)使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備</u>」，「<u>ロ.(7)(ii)(i)工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための設備</u>」，「<u>ロ.(7)(ii)(j)重大事故等への対処に必要な水の供給設備</u>」，「<u>ロ.(7)(ii)(l)計装設備</u>」及び「<u>ロ.(7)(ii)(r)緊急時対策所</u>」に示す。</p> <p>設工認の<u>リ(4)(vii)-⑧</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(vii)-⑧</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(4)(vii)-⑨補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、外部保管エリアの地下に設置することにより、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑩補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑪MOX燃料加工施設と共用する軽油貯槽は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するために必要な容量約800m<sup>3</sup>を1基あたり容量約100m<sup>3</sup>の軽油貯槽に第1軽油貯槽へ4基、第2軽油貯槽へ4基有する設計とするとともに、予備を含めた数量約660m<sup>3</sup>以上を有する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑫地震を要因として発生した場合に対処に用いる補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、「ロ、(7)(ii)(b)地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑬補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑭補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護する設計とす</p>		<p>リ(4)(vii)-⑨補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、共通要因によって第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、外部保管エリアの地下に設置することにより、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑩補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑪MOX燃料加工施設と共用する軽油貯槽は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するため、予備を含めた必要な容量を有する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑫地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑬補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、風（台風）、竜巻、積雪及び火山の影響に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重、積雪荷重及び降下火砕物による積載荷重により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑭補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの設置、被水防護及び被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必</p>	<p>設工認のリ(4)(vii)-⑨は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-⑨と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑩は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-⑩と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑪は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-⑪と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑫は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-⑫と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑬は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-⑬と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑭は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-⑭と同義であ</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>る。</p> <p>リ(4)(vii)-⑮補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、配管の全周破断に対して、影響を受けない外部保管エリアの地下に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑯補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽と軽油用タンクローリとの接続は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑰補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、再処理施設の運転中又は停止中に外観の確認等が可能な設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑱地震を要因として発生した場合に対処に用いる補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、「ロ」(7)(ii)(b)(ホ)地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑲補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、他の設備から独立して単独で使用することで、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクに対して独立性を有する設計とする。</p>	<p>リ(4)(vii)-⑳なお、軽油用タンクローリは、第1非常用ディーゼル発電機及び第2非常用ディーゼル発電機に用いる燃料と異なる種類の燃料を運搬することで、多様性を図る。</p>	<p>要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑮補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、配管の全周破断に対して、影響を受けない外部保管エリアの地下に設置することにより、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）により重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑯補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽と軽油用タンクローリとの接続は、コネクタ接続に統一することにより、速やかに、容易かつ確実に現場での接続が可能な設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑰補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽は、通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するため、外観の確認等が可能な設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑱地震を要因とする重大事故等が発生した場合に対処に用いる補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、第1章 共通項目の「9.2 重大事故等対処設備」の「9.2.7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計」に基づく設計とすることでその機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑲補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、共通要因によって第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、他の設備から独立して単独で使用することで、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクに対して独立性を有する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-⑳軽油用タンクローリは、第1非常用ディーゼル発電機及び第2非常用ディーゼル発電機に用いる燃料と異なる種類の燃料を運搬する</p>	<p>り整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑮は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑮」と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-⑯は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑯」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-⑰」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑰」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-⑱」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑱」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-⑲」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑲」と同義であり整合している。</p> <p>設工認の「リ(4)(vii)-⑳」は、事業変更許可申請書（本文）の「リ(4)(vii)-⑳」と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(4)(vii)-㉑補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時バックアップを含めて必要な数量を、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクから100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>リ(4)(vii)-㉒屋外に保管する補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉓MOX燃料加工施設と共用する軽油用タンクローリは、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数として4台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを5台の合計9台以上を確保する。</p> <p>リ(4)(vii)-㉔補機駆動用燃料補給設備の屋外に保管する軽油用タンクローリは、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉕補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護をする設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉖補機駆動用燃料補給設備の</p>		<p>ことで、多様性を図る設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉑補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、共通要因によって第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクと同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を、第1非常用ディーゼル発電機の重油タンク及び第2非常用ディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクから100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉒屋外に保管する補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉓MOX燃料加工施設と共用する軽油用タンクローリは、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するために必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数並びに予備として故障時及び点検保守による待機除外時のバックアップを含め必要な台数を確保する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉔屋外に保管する補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、風（台風）及び竜巻に対して、風（台風）及び竜巻による風荷重を考慮し、当該設備の転倒防止、固縛等の措置を講じて保管する設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉕補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、溢水量及び化学薬品の漏えい量を考慮し、影響を受けない高さへの保管、被水防護及び被液防護を行うことにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</p> <p>リ(4)(vii)-㉖補機駆動用燃料補給設備の軽油用</p>	<p>(4)(vii)-㉑と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-㉑は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-㉑と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-㉒は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-㉒と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-㉓は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-㉓と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-㉔は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-㉔と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-㉕は、事業変更許可申請書（本文）のリ(4)(vii)-㉕と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(4)(vii)-㉖</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p><u>軽油用タンクローリは、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-27補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない外部保管エリアに保管することにより、機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-28補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の設備に使用することができるよう、より簡便な接続方式を用いる設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-29補機駆動用燃料補給設備のうち軽油用タンクローリは、再処理施設の運転中又は停止中に外観点検、性能確認等が可能な設計とする。また、軽油用タンクローリは、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p>		<p><u>タンクローリは、内部発生飛散物の影響を考慮し、外部保管エリアの内部発生飛散物の影響を受けない場所に保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-27補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、配管の全周破断に対して、漏えいした放射性物質を含む腐食性の液体（溶液、有機溶媒等）の影響を受けない外部保管エリアに保管することにより、重大事故等への対処に必要な機能を損なわない設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-28補機駆動用燃料補給設備の軽油用タンクローリは、容易かつ確実に接続でき、かつ、複数の設備に使用することができるよう、より簡便な接続方式を用いる設計とする。</u></p> <p><u>リ(4)(vii)-29補機駆動用燃料補給設備のうち軽油用タンクローリは、通常時において、重大事故等への対処に必要な機能を確認するため、外観点検、性能確認等が可能な設計とする。また、軽油用タンクローリは、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</u></p>	<p>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(vii)-26</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ(4)(vii)-27</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(vii)-27</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ(4)(vii)-28</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(vii)-28</u>と同義であり整合している。</p> <p>設工認の<u>リ(4)(vii)-29</u>は、事業変更許可申請書（本文）の<u>リ(4)(vii)-29</u>と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																							
<p>リ(4)(vii)-㉔主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <p>[常設重大事故等対処設備] 第1軽油貯槽（MOX燃料加工施設と共用）</p> <table border="1" data-bbox="474 483 727 556"> <tr> <td>基数</td> <td>4基</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約100m<sup>3</sup>/基</td> </tr> </table>	基数	4基	容量	約100m <sup>3</sup> /基		<p>リ(4)(vii)-㉔【その他再処理施設の附属施設】 (仕様表)</p> <p>1.1.1.10 補機駆動用燃料補給設備 (1) 容器</p> <table border="1" data-bbox="1543 409 2136 1123"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>第1軽油貯槽(9915-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> <td>横置円筒形</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*2</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>90以上(100*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*5</td> <td>℃</td> <td></td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>3200*2</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>11.2(12.0*2)</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>10.0(12.0*2)</td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> <td>14066*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>第1軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>屋外 T.M.S.L.約49.45m 地下埋設</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*3</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第1軽油貯槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2: 公称値を示す。 *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>	名称		変更前	変更後	種類	—		第1軽油貯槽(9915-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)	容量	m <sup>3</sup> /個		横置円筒形	最高使用圧力*2	MPa		90以上(100*2)	最高使用温度*5	℃		静水頭				40	主要寸法	胴内径	mm	3200*2	胴板厚さ	mm	11.2(12.0*2)	鏡板厚さ	mm	10.0(12.0*2)	全長	mm	14066*2	主要材料	胴板	—	SS400	鏡板	—	SS400	個数	—		4	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)	設置床	—	屋外 T.M.S.L.約49.45m 地下埋設	溢水防護上の区画番号	—	*3	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*3	化学薬品防護上の区画番号	—	*4	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*4	<p>設工認のリ(4)(vii)-㉔は、事業変更許可申請書(本文)のリ(4)(vii)-㉔と同義であり整合している。</p>	
基数	4基																																																																										
容量	約100m <sup>3</sup> /基																																																																										
名称		変更前	変更後																																																																								
種類	—		第1軽油貯槽(9915-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*, MOX燃料加工施設と共用)																																																																								
容量	m <sup>3</sup> /個		横置円筒形																																																																								
最高使用圧力*2	MPa		90以上(100*2)																																																																								
最高使用温度*5	℃		静水頭																																																																								
			40																																																																								
主要寸法	胴内径	mm	3200*2																																																																								
	胴板厚さ	mm	11.2(12.0*2)																																																																								
	鏡板厚さ	mm	10.0(12.0*2)																																																																								
	全長	mm	14066*2																																																																								
主要材料	胴板	—	SS400																																																																								
	鏡板	—	SS400																																																																								
個数	—		4																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	—	第1軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)																																																																								
	設置床	—	屋外 T.M.S.L.約49.45m 地下埋設																																																																								
	溢水防護上の区画番号	—	*3																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*3																																																																								
	化学薬品防護上の区画番号	—	*4																																																																								
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*4																																																																									

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																				
<p>第2軽油貯槽（MOX燃料加工施設と共用）</p> <p>基数 4基 容量 約100m<sup>3</sup>/基</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>第2軽油貯槽(9916-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>—</td> <td>横置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/個</td> <td></td> <td>90以上(100*2)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*5</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*5</td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>3200*2</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>11.2(12.0*2)</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>10.0(12.0*2)</td> </tr> <tr> <td>法</td> <td>全長</td> <td>mm</td> <td>14066*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>第2軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>屋外 T.M.S.L.約42.95m 地下埋設</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*3</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>*4</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>*4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 第2軽油貯槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。 *2: 公称値を示す。 *3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。 *5: 重大事故等時における使用時の値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			第2軽油貯槽(9916-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	種類		—	横置円筒形	容量	m <sup>3</sup> /個		90以上(100*2)	最高使用圧力*5	MPa		静水頭	最高使用温度*5	℃		40	主要寸法	胴内径	mm	3200*2	胴板厚さ	mm	11.2(12.0*2)	鏡板厚さ	mm	10.0(12.0*2)	法	全長	mm	14066*2	主要材料	胴板	—	SS400	鏡板	—	SS400		個数	—	4	取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)	設置床	—	屋外 T.M.S.L.約42.95m 地下埋設	溢水防護上の区画番号	—	*3	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*3	化学薬品防護上の区画番号	—	*4	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*4		
		変更前	変更後																																																																					
名称			第2軽油貯槽(9916-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)																																																																					
種類		—	横置円筒形																																																																					
容量	m <sup>3</sup> /個		90以上(100*2)																																																																					
最高使用圧力*5	MPa		静水頭																																																																					
最高使用温度*5	℃		40																																																																					
主要寸法	胴内径	mm	3200*2																																																																					
	胴板厚さ	mm	11.2(12.0*2)																																																																					
	鏡板厚さ	mm	10.0(12.0*2)																																																																					
法	全長	mm	14066*2																																																																					
主要材料	胴板	—	SS400																																																																					
	鏡板	—	SS400																																																																					
	個数	—	4																																																																					
取付箇所	系統名(ライン名)	—	第2軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)																																																																					
	設置床	—	屋外 T.M.S.L.約42.95m 地下埋設																																																																					
	溢水防護上の区画番号	—	*3																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	*3																																																																					
	化学薬品防護上の区画番号	—	*4																																																																					
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	*4																																																																						

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																															
<p>[可搬型重大事故等対処設備]  <u>軽油用タンクローリ（MOX燃料加工施設と共用）</u>            台数 9台（予備として故障時及び待機除外時のバックアップを5台）            容量 約4kl/台</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td></td> <td>軽油用タンクローリ(再処理施設<sup>*1</sup>, MOX燃料加工施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td>横置楕円形</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kL/個</td> <td></td> <td>3.4以上(4.0<sup>*1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*3</sup></td> <td>kPa</td> <td></td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度<sup>*3</sup></td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">主要寸法</td> <td>胴長径</td> <td>mm</td> <td>1,700<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>胴短径</td> <td>mm</td> <td>880<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>2.8(3.2<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>2.8(3.2<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm</td> <td></td> <td>1700<sup>*2</sup> (鏡板の内面における長径)</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td></td> <td>90<sup>*2</sup>(鏡板の内面における短径の2分の1)</td> </tr> <tr> <td>排出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>-</td> <td>137.9<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>排出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2.8(3.2<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径</td> <td>mm</td> <td></td> <td>406.4<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2.8(3.2<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2.8(3.2<sup>*2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> <td></td> <td>3735<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>車両全長</td> <td>mm</td> <td></td> <td>6700<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>車両全幅</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2200<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>車両高さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2470<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>胴板</td> <td>-</td> <td>SAPH400, SS400</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>-</td> <td>SAPH400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>-</td> <td>9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを5)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td>-</td> <td>保管場所: ・外部保管エリア1 屋外 エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称			軽油用タンクローリ(再処理施設 <sup>*1</sup> , MOX燃料加工施設と共用)	種類		-	横置楕円形	容量	kL/個		3.4以上(4.0 <sup>*1</sup> )	最高使用圧力 <sup>*3</sup>	kPa		24	最高使用温度 <sup>*3</sup>	℃		40	主要寸法	胴長径	mm	1,700 <sup>*2</sup>	胴短径	mm	880 <sup>*2</sup>	胴板厚さ	mm	2.8(3.2 <sup>*2</sup> )	鏡板厚さ	mm	2.8(3.2 <sup>*2</sup> )	鏡板の形状に係る寸法	mm		1700 <sup>*2</sup> (鏡板の内面における長径)	mm		90 <sup>*2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	排出口管台外径	mm	-	137.9 <sup>*2</sup>	排出口管台厚さ	mm		2.8(3.2 <sup>*2</sup> )	マンホール管台外径	mm		406.4 <sup>*2</sup>	マンホール管台厚さ	mm		2.8(3.2 <sup>*2</sup> )	マンホールふた厚さ	mm		2.8(3.2 <sup>*2</sup> )	全長	mm		3735 <sup>*2</sup>	車両全長	mm		6700 <sup>*2</sup>	車両全幅	mm		2200 <sup>*2</sup>	車両高さ	mm		2470 <sup>*2</sup>	主要材料	胴板	-	SAPH400, SS400	鏡板	-	SAPH400	個数		-	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを5)	取付箇所		-	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外 エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約		
		変更前	変更後																																																																																																
名称			軽油用タンクローリ(再処理施設 <sup>*1</sup> , MOX燃料加工施設と共用)																																																																																																
種類		-	横置楕円形																																																																																																
容量	kL/個		3.4以上(4.0 <sup>*1</sup> )																																																																																																
最高使用圧力 <sup>*3</sup>	kPa		24																																																																																																
最高使用温度 <sup>*3</sup>	℃		40																																																																																																
主要寸法	胴長径	mm	1,700 <sup>*2</sup>																																																																																																
	胴短径	mm	880 <sup>*2</sup>																																																																																																
	胴板厚さ	mm	2.8(3.2 <sup>*2</sup> )																																																																																																
	鏡板厚さ	mm	2.8(3.2 <sup>*2</sup> )																																																																																																
	鏡板の形状に係る寸法	mm		1700 <sup>*2</sup> (鏡板の内面における長径)																																																																																															
		mm		90 <sup>*2</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)																																																																																															
	排出口管台外径	mm	-	137.9 <sup>*2</sup>																																																																																															
	排出口管台厚さ	mm		2.8(3.2 <sup>*2</sup> )																																																																																															
	マンホール管台外径	mm		406.4 <sup>*2</sup>																																																																																															
	マンホール管台厚さ	mm		2.8(3.2 <sup>*2</sup> )																																																																																															
	マンホールふた厚さ	mm		2.8(3.2 <sup>*2</sup> )																																																																																															
	全長	mm		3735 <sup>*2</sup>																																																																																															
	車両全長	mm		6700 <sup>*2</sup>																																																																																															
	車両全幅	mm		2200 <sup>*2</sup>																																																																																															
車両高さ	mm		2470 <sup>*2</sup>																																																																																																
主要材料	胴板	-	SAPH400, SS400																																																																																																
	鏡板	-	SAPH400																																																																																																
個数		-	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを5)																																																																																																
取付箇所		-	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外 エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約																																																																																																

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>(viii) 放出抑制設備</p> <p>(a) 放水設備</p> <p>リ(ロ)(viii)-①-1再処理施設のうち使用済燃料受入れ・貯蔵建屋，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋において重大事故等が発生し，大気中への放射性物質の放出に至るおそれがある場合，建物に放水し，放射性物質の放出を抑制するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-②-1放射性物質の放出を抑制するための対処及び航空機燃料火災，化学火災への対処では，放水設備の大型移送ポンプ車，可搬型放水砲，ホイールローダ及び可搬型建屋外ホース，リ(ロ)(viii)-④-1水供給設備の一部である第1貯水槽，リ(ロ)(viii)-⑤-1代替安全冷却水系の一部であるホース展張車及び運搬車，リ(ロ)(viii)-⑥-1補機駆動用燃料補給設備の軽油貯槽及び軽油用タンクローリ並びにリ(ロ)(viii)-⑦-1計装設備の一部を使用する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑧-1再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災，化学火災が発生した場合，泡消火又は放水による消火活動を実施するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-③-1放水設備は，大型移送ポンプ車，可搬型放水砲，ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースで構成する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑨-1水供給設備の一部である第1貯水槽，リ(ロ)(viii)-⑩-1補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油貯槽及びリ(ロ)(viii)-⑪-1計装設備の一部を常設重大事故等対処設備として設置する。</p>		<p>7.3.7.1 放水設備</p> <p>リ(ロ)(viii)-①-1再処理施設のうち使用済燃料受入れ・貯蔵建屋，前処理建屋，分離建屋，精製建屋，ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋において重大事故等が発生し，大気中への放射性物質の放出に至るおそれがある場合，建物に放水し，放射性物質の放出を抑制するために必要な重大事故等対処設備として，放水設備を設ける設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-②-1放射性物質の放出を抑制するための対処及び航空機燃料火災，化学火災への対処では，水供給設備の一部である第1貯水槽，代替安全冷却水系の一部であるホース展張車及び運搬車を使用する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑧-1再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災，化学火災が発生した場合，泡消火又は放水による消火活動を実施するために必要な重大事故等対処設備として，放水設備を設ける設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-②,③-1放水設備は，大型移送ポンプ車，可搬型放水砲，ホイールローダ及び可搬型建屋外ホースで構成する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-④-1水供給設備の一部である第1貯水槽を常設重大事故等対処設備として設置する。</p>	<p>設工認のリ(ロ)(viii)-①-1は，事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-①-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-②-1は，事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-②-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-⑧-1は，事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-⑧-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-③-1は，事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-②,③-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-④-1は，事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-④-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(ロ)(viii)-⑫-1 代替安全冷却水系の一部であるホース展張車及び運搬車、リ(ロ)(viii)-⑬-1 補機駆動用燃料補給設備の一部である軽油用タンクローリ並びにリ(ロ)(viii)-⑭-1 計装設備の一部を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑮-1 水供給設備については「リ.(2)(i)(b)(ロ)1 水供給設備」に、リ(ロ)(viii)-⑯-1 補機駆動用燃料補給設備については「リ.(4)(vii) 補機駆動用燃料補給設備」に、リ(ロ)(viii)-⑰-1 計装設備については「へ.(3)(ii)(a) 計装設備」に、リ(ロ)(viii)-⑱-1 代替安全冷却水系については「リ.(2)(i)(b)(ロ)2 代替安全冷却水系」に示す。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑲-1 放水設備は、再処理施設のうち使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋において重大事故等が発生し、大気中への放射性物質の放出に至るおそれがある場合、大型移送ポンプ車から供給する水を、可搬型建屋外ホースを介して可搬型放水砲により建物に放水できる設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑳-1 また、セル又は建物へ注水できる設計とする。</p>		<p>リ(ロ)(viii)-⑤-1 代替安全冷却水系の一部であるホース展張車及び運搬車を可搬型重大事故等対処設備として配備する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑥-1, ⑦-1, ⑩-1, ⑪-1, ⑫-1, ⑬-1, ⑭-1, ⑮-1, ⑯-1, ⑰-1, ⑱-1 大気中への放射性物質の放出に至るおそれがある場合及び航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災が発生した場合の必要重大事故等対処設備として、放水設備の他、水供給設備の第1貯水槽、補機駆動用燃料補給設備の第1軽油貯槽及び第2軽油貯槽、軽油タンクローリ及び燃料補給用可搬型ホース、計測制御設備の可搬型放水砲圧力計等、代替安全冷却水系のホース展張車及び運搬車を使用する設計とする。なお、水供給設備については第2章 個別項目の「7.3 その他の主要な事項」の「7.3.8 水供給設備」に、補機駆動用燃料補給設備については第2章 個別項目の「7.1.1 電気設備」の「7.1.1.11 補機駆動用燃料補給設備」に、計測制御設備については第2章 個別項目の「4.1 計測制御設備」に、代替安全冷却水系については第2章 個別項目の「7.2 給水施設及び蒸気供給設備」の「7.2.2.3 代替安全冷却水系」に示す。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑲-1 放水設備は、再処理施設のうち使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋において重大事故等が発生し、大気中への放射性物質の放出に至るおそれがある場合、大型移送ポンプ車から供給する水を、可搬型建屋外ホースを介して可搬型放水砲により建物に放水できる設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-⑳-1 また、セル又は建物へ注水できる設計とする。</p>	<p>設工認のリ(ロ)(viii)-⑤-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-⑤-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-⑥-1, ⑦-1, ⑩-1, ⑪-1, ⑫-1, ⑬-1, ⑭-1, ⑮-1, ⑯-1, ⑰-1, ⑱-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-⑥-1, ⑦-1, ⑩-1, ⑪-1, ⑫-1, ⑬-1, ⑭-1, ⑮-1, ⑯-1, ⑰-1, ⑱-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-⑲-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-⑲-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-⑳-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-⑳-1と同義であり整合している。</p>	



事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(ロ)(viii)-㉑-1放水設備は、再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災が発生した場合、大型移送ポンプ車から供給する水を、可搬型建屋外ホースを介して可搬型放水砲による泡消火又は放水による消火活動を行い、航空機燃料火災、化学火災に対応できる設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉒-1放水設備は、移動等により複数の方向から再処理施設の各建物に向けて放水することが可能な設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉓-1放水設備の可搬型放水砲は、ホイールローダを用いて運搬できる設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉔-1放水設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉕-1放水設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な数量を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>リ(ロ)(viii)-㉔-1建物への放水については、臨界安全に及ぼす影響をあらかじめ考慮し、実施する。</p>	<p>リ(ロ)(viii)-㉑-1放水設備は、再処理施設の各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災が発生した場合、大型移送ポンプ車から水及び泡消火薬剤2m<sup>3</sup>を、可搬型建屋外ホースを介して可搬型放水砲へ供給することで、泡消火又は放水による消火活動を行い、航空機燃料火災、化学火災に対応できる設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉒-1放水設備は、移動等により複数の方向から再処理施設の各建物に向けて放水することが可能な設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉓-1放水設備の可搬型放水砲は、ホイールローダを用いて運搬できる設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉔-1建物への放水については、臨界安全に及ぼす影響をあらかじめ考慮して行うことを、保安規定に定めて、管理する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉕-1放水設備は、MOX燃料加工施設と共用する。</p> <p>MOX燃料加工施設と共用するリ(ロ)(viii)-㉖-1放水設備は、再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等対処に同時に対処することを考慮し、十分な数量を確保することで、共用によって重大事故等時の対処に影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>る。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉑-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉑-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉒-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉒-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉓-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉓-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉔-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉔-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉕-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉕-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉖-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉖-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考
<p>リ(ロ)(viii)-⑳-1 放水設備の大型移送ポンプ車、可搬型放水砲及び可搬型建屋外ホースは、故障時バックアップを含めて必要な数量を使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉑-1 屋外に保管する放水設備の大型移送ポンプ車、可搬型放水砲及び可搬型建屋外ホースは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉒-1 MOX燃料加工施設と共用する大気中への放射性物質の放出を抑制するために使用する放水設備の大型移送ポンプ車は、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の最高点である屋上全般にわたって放水設備の可搬型放水砲で放水するための水を供給する。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉓-1 放水設備の可搬型放水砲で放水する最大の流量が約900m<sup>3</sup>/hであり、放水設備の可搬型放水砲の2台同時放水を可能にするために、放水設備の大型移送ポンプ車は、約1,800m<sup>3</sup>/hの送水流量を有する設計とするとともに、保有数は、必</p>	<p>リ(ロ)(viii)-㉔-1 放水設備の大型移送ポンプ車は、回転体が飛散することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>リ(ロ)(viii)-㉕-1 放水設備の大型移送ポンプ車、可搬型放水砲及び可搬型建屋外ホースは、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないように、故障時のバックアップを含めて必要な数量を使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋から100m以上の離隔距離を確保した複数の外部保管エリアに分散して保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉖-1 放水設備の大型移送ポンプ車は、回転体が飛散することを防ぐことで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉗-1 屋外に保管する放水設備の大型移送ポンプ車、可搬型放水砲及び可搬型建屋外ホースは、竜巻により飛来物とならないよう必要に応じて固縛等の措置をとることで他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉘-1 MOX燃料加工施設と共用する大気中への放射性物質の放出を抑制するために使用する放水設備の大型移送ポンプ車は、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋の最高点である屋上全般にわたって放水設備の可搬型放水砲で放水するための水を供給する設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-㉙-1 放水設備の可搬型放水砲で放水する最大の流量が約900m<sup>3</sup>/hであり、放水設備の可搬型放水砲の2台同時放水を可能にするために、放水設備の大型移送ポンプ車は、必要な容量を有する設計とするとともに、保有数は、必要数並びに予備として故障時のバックアップ及び点検</p>	<p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉕-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉕-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉖-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉖-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉗-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉗-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉘-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉘-1と同義であり整合している。</p> <p>設工認のリ(ロ)(viii)-㉙-1は、事業変更許可申請書（本文）のリ(ロ)(viii)-㉙-1と同義であり整合している。</p>	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考																																																																																																																
<p>要数として8台、予備として故障時及び保守点検による待機除外時バックアップを9台の合計17台以上を確保する。</p>		<p>保守による待機除外時のバックアップを含め十分な台数を確保する設計とする。</p> <p>リ(ロ)(viii)-①-1【その他再処理施設の附属施設】（仕様表）</p> <p>(1) ポンプ</p> <table border="1" data-bbox="1543 457 2148 1325"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">ポンプ</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">大型移送ポンプ車(再処理施設<sup>*1</sup>、MOX燃料加工施設と共用)<sup>*2*</sup></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個</td> <td colspan="3">うず巻形 1800以上<sup>*6*</sup> 1410以上<sup>*9</sup> 900以上<sup>*10</sup> (1800<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td colspan="3">1.17以上<sup>*6*</sup> 0.60以上<sup>*7</sup> 1.12以上<sup>*8</sup> 1.19以上<sup>*9</sup> (1.2<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*5</sup></td> <td>MPa</td> <td colspan="3">1.4</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度<sup>*5</sup></td> <td>℃</td> <td colspan="3">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td colspan="3">350<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td colspan="3">300<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td colspan="3">1125<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1290<sup>*4</sup></td> <td>1340<sup>*4</sup></td> <td>1340<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td colspan="3">585<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>車両全長</td> <td>mm</td> <td>11580<sup>*4</sup></td> <td>11995<sup>*4</sup></td> <td>12690<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>車両全幅</td> <td>mm</td> <td colspan="3">2495<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td colspan="3">ダクタイル鋳鉄</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機</td> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td colspan="3">1193</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="3">角形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料タンク</td> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td colspan="3">155以上(495<sup>*4</sup>)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*5</sup></td> <td>MPa</td> <td colspan="3">静水頭</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンク</td> <td>最高使用温度<sup>*5</sup></td> <td>℃</td> <td colspan="3">40</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td colspan="3">ステンレス鋼</td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前	変更後			ポンプ	種類	—	大型移送ポンプ車(再処理施設 <sup>*1</sup> 、MOX燃料加工施設と共用) <sup>*2*</sup>			容量	m <sup>3</sup> /h/個	うず巻形 1800以上 <sup>*6*</sup> 1410以上 <sup>*9</sup> 900以上 <sup>*10</sup> (1800 <sup>*4</sup> )			吐出圧力	MPa	1.17以上 <sup>*6*</sup> 0.60以上 <sup>*7</sup> 1.12以上 <sup>*8</sup> 1.19以上 <sup>*9</sup> (1.2 <sup>*4</sup> )			最高使用圧力 <sup>*5</sup>	MPa	1.4			最高使用温度 <sup>*5</sup>	℃	40			主要寸法	吸込口径	mm	350 <sup>*4</sup>			吐出口径	mm	300 <sup>*4</sup>			たて	mm	1125 <sup>*4</sup>			横	mm	1290 <sup>*4</sup>	1340 <sup>*4</sup>	1340 <sup>*4</sup>	高さ	mm	585 <sup>*4</sup>			車両全長	mm	11580 <sup>*4</sup>	11995 <sup>*4</sup>	12690 <sup>*4</sup>	車両全幅	mm	2495 <sup>*4</sup>			主要材料	ケーシング	—	ダクタイル鋳鉄			種類	—	ディーゼル機関			原動機	出力	kW/個	1193			種類	—	角形			燃料タンク	容量	L/個	155以上(495 <sup>*4</sup> )			最高使用圧力 <sup>*5</sup>	MPa	静水頭			ポンク	最高使用温度 <sup>*5</sup>	℃	40			主要材料	—	ステンレス鋼				
名称		変更前	変更後																																																																																																																	
ポンプ	種類	—	大型移送ポンプ車(再処理施設 <sup>*1</sup> 、MOX燃料加工施設と共用) <sup>*2*</sup>																																																																																																																	
	容量	m <sup>3</sup> /h/個	うず巻形 1800以上 <sup>*6*</sup> 1410以上 <sup>*9</sup> 900以上 <sup>*10</sup> (1800 <sup>*4</sup> )																																																																																																																	
	吐出圧力	MPa	1.17以上 <sup>*6*</sup> 0.60以上 <sup>*7</sup> 1.12以上 <sup>*8</sup> 1.19以上 <sup>*9</sup> (1.2 <sup>*4</sup> )																																																																																																																	
	最高使用圧力 <sup>*5</sup>	MPa	1.4																																																																																																																	
	最高使用温度 <sup>*5</sup>	℃	40																																																																																																																	
	主要寸法	吸込口径	mm	350 <sup>*4</sup>																																																																																																																
		吐出口径	mm	300 <sup>*4</sup>																																																																																																																
		たて	mm	1125 <sup>*4</sup>																																																																																																																
		横	mm	1290 <sup>*4</sup>	1340 <sup>*4</sup>	1340 <sup>*4</sup>																																																																																																														
		高さ	mm	585 <sup>*4</sup>																																																																																																																
		車両全長	mm	11580 <sup>*4</sup>	11995 <sup>*4</sup>	12690 <sup>*4</sup>																																																																																																														
		車両全幅	mm	2495 <sup>*4</sup>																																																																																																																
	主要材料	ケーシング	—	ダクタイル鋳鉄																																																																																																																
		種類	—	ディーゼル機関																																																																																																																
	原動機	出力	kW/個	1193																																																																																																																
種類		—	角形																																																																																																																	
燃料タンク	容量	L/個	155以上(495 <sup>*4</sup> )																																																																																																																	
	最高使用圧力 <sup>*5</sup>	MPa	静水頭																																																																																																																	
ポンク	最高使用温度 <sup>*5</sup>	℃	40																																																																																																																	
	主要材料	—	ステンレス鋼																																																																																																																	

事業変更許可申請書（本文）	事業変更許可申請書（添付書類六）	設工認申請書 該当事項	整合性	備考												
		<p>(つづき) (続き)</p> <table border="1" data-bbox="1531 317 2151 961"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>17(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを9)*11</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>                     保管場所：                      ・外部保管エリア1 屋外エリア                      T.M.S.L.約55.00m及びT.M.S.L.約57.50m(8台)                      ・外部保管エリア2 屋外エリア                      T.M.S.L.約48.50m(9台)                      取付箇所：                      ・屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約55.00m(3台)                      ・屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L.約55.00m、屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L.約55.00m 屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 精製建屋付近 T.M.S.L.約55.00m(1台)                      ・屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 精製建屋付近 T.M.S.L.約55.00m(1台)                      ・屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約55.00m(1台)                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：大型移送ポンプ車は、再処理施設にて設備登録を行っている。                  *2：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備と兼用する。                  *3：待機除外時のバックアップ1台をその他再処理設備の附属施設のうち水供給設備と兼用する。                  *4：公称値を示す。                  *5：重大事故等時における使用時の値を示す。                  *6：重大事故等時にその他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備として大気中への放射性物質の放出抑制に使用する場合の値を示す。                  *7：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備として燃料貯蔵プール等への大容量の注水に使用する場合の値を示す。                  *8：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備として燃料貯蔵プール等への水のスプレーに使用する場合の値を示す。                  *9：重大事故等時にその他再処理設備の附属施設のうち水供給設備として使用する場合の値を示す。                  *10：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備として各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災、化学火災に使用する場合の値を示す。                  *11：燃料タンクの個数は大型移送ポンプ車1台あたり2個。</p>			変更前	変更後	個数	—	—	17(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを9)*11	取付箇所	—	—	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約55.00m及びT.M.S.L.約57.50m(8台) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L.約48.50m(9台) 取付箇所： ・屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約55.00m(3台) ・屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L.約55.00m、屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L.約55.00m 屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 精製建屋付近 T.M.S.L.約55.00m(1台) ・屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 精製建屋付近 T.M.S.L.約55.00m(1台) ・屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約55.00m(1台)		
		変更前	変更後													
個数	—	—	17(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを9)*11													
取付箇所	—	—	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約55.00m及びT.M.S.L.約57.50m(8台) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L.約48.50m(9台) 取付箇所： ・屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約55.00m(3台) ・屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L.約55.00m、屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L.約55.00m 屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 精製建屋付近 T.M.S.L.約55.00m(1台) ・屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 精製建屋付近 T.M.S.L.約55.00m(1台) ・屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L.約55.00m又は屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約55.00m(1台)													